

目次

凡例	1577
17-1 日付紹介	1581
17-2 ウエペケレ「トランネ アオナ トウラ オカ アン」	1582
17-3 ウエペケレ「トランネ アオナ トウラ オカ アン」解説	1630
17-4 カムイユカラ「カンヌサカチューレ」	1632
17-5 カムイユカラ「カンヌサカチューレ」日本語交じりで内容説明	1637
17-6 ウエペケレ「アコロ エカシ イレス」	1640
17-7 ウエペケレ「アコロ エカシ イレス」解説	1660
17-8 カムイユカラ「イワンレクトウシペ（ノペ）」	1663
17-9 カムイユカラ「イワンレクトウシペ（ノペ）」質問と解説	1673
17-10 カムイユカラ「イワンレクトウシペ（ノペ）」再演	1682
18-2 ウエペケレ「トパットウミ オッタ アサハ トウラ アエイッカ」	1694
18-3 ウエペケレ「トパットウミ オッタ アサハ トウラ アエイッカ」解説	1737
18-4 ウエペケレ「ウッコッナイ アイヌ アネ」途中でテープ切れ	1741
18-5 19号へ続くこと説明	1774
19-1 テープ番号18号から続いていること説明	1775
19-2 ウエペケレ「ウッコッナイ アイヌ アネ」	1776
19-3 ウエペケレ「ウッコッナイ アイヌ アネ」質問と解説	1792
19-4 ルパイェユカラ「ポイスルンクル」	1798
19-5 ウエペケレ「ユペッ イリワク ウコイキ」	1831
19-6 ウエペケレ「ユペッ イリワク ウコイキ」内容説明 テープ内容紹介	1870
20-2 ウエペケレ「チナナサパ」	1871
20-3 ウエペケレ「チナナサパ」解説	1905
20-4 ウエペケレ「カウカウ ノカ オマ コソソテ ミ カムイ アオナハ ネ」	1909
20-5 ウエペケレ「カウカウ ノカ オマ コソソテ ミ カムイ アオナハ ネ」題名紹介	1931
20-6 ウエペケレ「イエマカアトウサレ メノコ」	1932
20-7 ウエペケレ「イエマカアトウサレ メノコ」題名紹介 チチケウについて会話	1966
20-8 テープ番号 日にち再紹介	1968
21-1 テープ番号 きみさん紹介	1969
21-2 ウエペケレ「アサハ セタネ イカラ」	1970
21-3 ウエペケレ「アサハ セタネ イカラ」質問と解説	2001
21-4 ウエペケレ「モシリパサリヒタ ソアタイ タックス アラパアン」	2007

21-5	ウエペケレ「モシリパサリヒタ ソアタイ タックス アラパアン」解説	2052
21-6	ウエペケレ「ポンニマ」途中テープ切れ 22号へ続く	2054
22-1	21号から続いていること説明	2080
22-2	ウエペケレ「ポンニマ」	2081
22-3	黒川てしめさん テープ番号紹介	2087
22-4	ウエペケレ「アスチヒ イレス」	2088
22-6	ウエペケレ「ホイヌトノ イカオピューキ」	2109
22-7	ルパイェユカラ	2127
22-8	ルパイェユカラで出てくる言葉について質問	2169
23-1	テープ内容説明	2172
23-3	カムイユカラ「ヌプリ コロ カムイポホ (ヘイノ)」	2173
23-4	カムイユカラ「ポロシルン カムイ トウレシ イレス (ヘイノ)」	2193
23-5	ウエペケレ「ペトウエカリ ウン カムイ」	2207
23-6	ウエペケレ「ピラトルン ヌプル エカシ」	2222
23-8	ウエペケレ「ケトウペトノ イカオピューキ」	2232
24-1	日付 テープ内容 てしめさん紹介	2258
24-2	ウエペケレ「アレヘ パシクルイワ」	2259
24-3	ウエペケレ「ケレブノイエ ケレプトウルセ」	2269
24-4	ウエペケレ「スルクトノ イピリマ」	2287
24-5	ウエペケレ「カネサンペアッ イワンサンペアッ」	2300
24-6	カムイユカラ「ポンオキクルミ ヤイエイソイタク (ハラカッコク)」	2308
24-7	カムイユカラ「ポンオキクルミ ヤイエイソイタク (ハラカッコク)」日本語交じりでの補足	2324
24-8	カムイユカラ「ポンオキクルミ ヤイエイソイタク (ココクンパイェヘーキント)」	2327
24-9	カムイユカラ「レブンカムイ トウレシヒ アネ (アトウイカ ラクラク)」	2348
24-10	カムイユカラ「レブンカムイ トウレシヒ アネ (アトウイカ ラクラク)」日本語による補足	2375
24-11	テープ内容再説明	2388

凡 例

- ・各話のタイトルは、原資料（オープンリール）の箱に萱野茂氏が記したものをそのまま使用した。ただし、和訳は各担当者による。
また、原資料にタイトルがない話については、担当者が適宜つけた。
- ・アイヌ語カナ表記は話者の発音をそのまま記したが、ローマ字表記においては単語の切れ目などがわかるように分析した表記をとっている。そのため、両者の間にずれが生じる場合もある。
例) **sekor** 「〜と」の **e** が弱化している場合は、「シコロ／**sekor**」とそれぞれ表記。
- ・アイヌ語ローマ字表記は、中川裕、1995『アイヌ語千歳方言辞典』（草風館）の表記方法に準拠した。
- ・アイヌ語カナ表記は、インターネット上のアイヌ語変換プログラム（「アイヌ語ローマ字カナ変換 HTML Application」<http://www.geocities.jp/aynuitak/WEBhenkan/chiyu.htm>）を使用したため、上記のプログラムによる表記に従っている。詳細は「事業の概要」23-24 ページ参照。
- ・アイヌ語のなかに日本語が混じる場合、ローマ字表記ではローマ字の大文字、カナ表記ではひらがなで記した。
- ・言いさし（言いかけ）は、… もしくは …… で示した。
- ・音が変化する部分は、変化する部分の直後にアンダーバーで表した。
（例：オッタ→**or_ ta** / アンマ→**an w_a**）
- ・聞き起こし・解釈に疑問が残る部分は、直後に(?) を付した。
- ・不明点は、**XXX** であらわした。
- ・何らかの理由で、単語の一部のみが発音されている場合などは（ ）でその内容を補った。
例) ソンだけしか聞こえないが、ソンコ **sonko** 「伝言」の意味だと考えられる場合
ソン (コ) **son(ko)**

- ・英雄叙事詩において、韻律の都合による挿入音が聞こえる場合、カナ表記ではそれも反映している。ローマ字表記においては [] で記した。これは文法上・解釈上は意味のない音である。
- ・和語解説中においてアイヌ語が混じる場合、ローマ字で表記し、意味は、読んだときにわかる程度におぎなった。その場合は、直後に亀甲カッコ [] の中に意味を入れている。
- ・語釈などについては各担当者の判断にゆだね、全体として統一はしていない。同じ語であっても、語の区切り・和訳などに違いがあるのはそのためである。
- ・なお、テキストのうち、1-1、7-1、13-3、14-1、18-1、20-1、22-5、23-2、23-7 については、個人情報を含む内容のため、非公開とした。

参考文献略称

- 『アイヌの叙事詩』：鍋沢元蔵（筆録）、門別町郷土史研究会（編）、1969『アイヌの叙事詩』門別町郷土史研究会
- 『音声資料』：田村すず子（編著）、1984～1999『アイヌ語音声資料』早稲田大学語学教育研究所
- 『萱野辞典』：萱野茂、2002（1996）『萱野茂のアイヌ語辞典〔増補版〕』三省堂
- 『クトゥネシリカ』：鍋沢元蔵（筆録）、門別町郷土史研究会（編）、1965『アイヌ叙事詩 クト[°]ネシリカ』門別町郷土史研究会
- 『久保寺辞典稿』：久保寺逸彦（編）、1992『アイヌ語・日本語辞典稿』北海道教育委員会
- 『沙流方言辞典』：田村すず子、1996『アイヌ語沙流方言辞典』草風館
- 『静内語彙集』：奥田統己（編）、1999『アイヌ語静内方言文脈つき語彙集』札幌学院大学
- 『神謡・聖伝の研究』：久保寺逸彦、1977『アイヌ叙事詩 神謡・聖伝の研究』岩波書店
- 『神話集成』：萱野茂、1998『萱野茂のアイヌ神話集成』（全10巻）ビクターエンタテインメント
- 『千歳方言辞典』：中川裕、1995『アイヌ語千歳方言辞典』草風館
- 『知里動物篇』：知里真志保、1976『知里真志保著作集別巻Ⅰ 分類アイヌ語辞典 動物篇・植物篇』平凡社
- 『知里人間篇』：知里真志保、1975『知里真志保著作集別巻Ⅱ 分類アイヌ語辞典 人間篇』平凡社
- 『バチェラー辞典』：ジョン・バチェラー、1995（1939）『アイヌ・英・和辞典』岩波書店
- 『ユーカラ集』：金成まつ（筆録）、金田一京助（訳注）、1959-75『アイヌ叙事詩ユーカラ集』（全9巻）三省堂

17-1 日付紹介

語り手：鍋澤ねぶき

解説：萱野茂

萱野：昭和 44 年 2 月 19 日、鍋澤ねぶきさんに、

鍋澤：フッフッ（笑）。

萱野：uepeker〔散文説話〕をやってもらっています。

鍋澤：うん。

萱野：はい、どうぞ、お願いします。

17-2 ウエペケレ

「トランネ アオナ トウラ オカ アン」

怠け者の父と暮らす

語り：鍋澤ねぷき

アオナハ アン アウヌフ アニネ オカアニケ
a=onaha an a=unuhu an h_ine oka=an h_ike
 私には父と母がいて、私達は暮らしていました。

アアア…… アウヌ エネ ハウエアニ
aaa... a=unu ene hawean h_i
 私の母が言うことには、

「イシカラ セコロ アイェ ペツ タ……
“Iskar sekor a=ye pet ta...
 「石狩という川、

イシカラ ホン…… ホントモ…… イシカラ エムコ タ
Iskar hon... hontomo... Iskar emko ta
 石狩の奥のほうで

オカアン ルウエ ネ。」
oka=an ruwe ne.”
 私たちは暮らしているのよ。」

セコロ アウヌフ ハウエアニ コロ オカアン ペ ネ イケ
sekor a=unuhu hawean kor oka=an pe ne h_ike
 とそのように母は言い、私達は暮らしていましたが、

ネウン ネ ワ ネ ヤ アオナハ アナク ホッケ ワ パテク アン。
neun ne wa ne ya a=onaha anak hotke wa patek an.
 どういうわけか、私の父親は寝っころがってばかりいます。

ネプ カ カラ カ ソモ キ ノ ホツケ ワ パテカン コロ
 nep ka kar ka somo ki no hotke wa patek an kor

父は何もしないで横になってばかりいて、

アウヌフ ウン…… キナ ラタシケプ カラ コロ スパ ワ アエ コロ エ……
 a=unuhu un... kina rataskep kar kor supa wa a=e kor e...

母は山菜の入ったまぜ煮をつくって料理して、私達はそれを食べていました。

アオナ アナク ホプニ ワ イペ エカラ、スイ ホツケ ワ アン コロ
 a=ona anak hopuni wa ipe ekar, suy hotke wa an kor

父はというと、食事のために起き上がって、また横になっています。

ア…… アウニ シソケ タ ポロ チセ アン マ オロ タ スイ
 a... a=uni sisoke ta poro cise an w_a oro ta suy

私の家の北側には大きな家があつて、そこにまた、

シネ アチャポ ホツケ ワ パテク アン ペ アン ペ ネ コロ
 sine acapo hotke wa patek an pe an pe ne kor

一人のおじさん、寝っころがってばかりいる人がいました。

「エウン シソ タ アナチャポ コヤニ。」

“eun siso ta an acapo koyani.”

「その北側に住んでいるおじさんに、食べ物を届けてきて。」

セコロ アウヌ イイエ コロ イタンキ オリオ ワ イアニレ コロ
 sekor a=unu i=ye kor itanki or io wa i=anire kor

と私の母は言い、お椀に食べ物をよそって私に持たせると、

イコブンテク ア イコブンテク ア コロ エ コロ オラウン
 ikopuntek a ikopuntek a kor e kor oraun

おじさんは喜んで喜んでそれを食べて、それで

さっき ゆうとおり ポン ク ポナイ カラ ワ イコレ。

SAKKI YUTORI pon ku pon ay kar wa i=kore.

小さな弓と小さな矢をつくって、私にくれました。

「ポノッカヨ アナク タ…… タオカイペ エシノッ ペ ネ ナ。」

“pon okkayo anak ta... taokaype esinot pe ne na.”

「男の子はこれらで遊ぶんだよ。」

セコロ ハウエアン コロ キ ワ アエシノッ コロ

sekor hawean kor ki wa a=esinot kor

とおじさんは言いつくってくれました。私はそれで遊びながら

アウニ タ アラパ コロ アアンパ ア アン^[1] コロ オラノ

a=uni ta arpa kor a=anpa w_a an kor orano

私の家に戻ると

アオナハ ネ ワ イルシカ

a=onaha ne wa iruska

私の父は怒って

「アイヌ ネ クニ ペ ヘマンタ ネ エネ アン ペ エエシノッ イ アン？」

“aynu ne kuni pe hemanta ne ene an pe e=esinot h_i an?”

「人間たるものが、なんでそんなもので遊んでいるのだ？」

セコロ ハウエアン コロ ケッケ ケッケ ワ ホカ オ ワ イサム コロ オラ

sekor hawean kor kekke kekke wa hoka o wa isam kor ora

と言いながら、それらをぼきぼき折って火にくべてしまいました。

アサク ノ スイ ネア アチャポ アコヤニ ワ アラパアン コロ

a=sak no suy nea acapo a=koyani wa arpa=an kor

私が弓と矢を持たずに、またそのおじさんのところに食べ物を持って行くと、

「ネア エコロ ポン ク ポン アイ イネ？」

“nea e=kor pon ku pon ay ine?”

「お前の小さな弓と小さな矢はどうした？」

セコロ

sekor

と（おじさんから聞かれて、）

「タプネ アオナハ ケツケ ケツケ ワ オスラ ネ ヤ ホカ オ ネ ワ

“tapne a=onaha kekke kekke wa osura ne ya hoka o ne wa

「こうして私の父がぼきぼき折って、捨てたり火にくべて

キ ワ イサム ルウエ ネ。」

ki wa isam ruwe ne.”

しまったのです。」

セコロ ハウエアナン コロ オラノ イルシカ ア イルシカ ア

sekor hawean=an kor orano iruska a iruska a

と私が言うと、おじさんは怒りに怒り

パシロタ ア パシロタ ア コロ スイ カラ ワ イコレ。

pasrota a pasrota a kor suy kar wa i=kore.

文句を言いながら、また私にそれらをつくってくれました。

「ヌイナ ノ エエシノツ ペ ネ ナ。」

“nuyna no e=esinot pe ne na.”

「隠して遊びなさいね。」

セコロ ハウエアナン コロ キ コロ…… コロ オカアン ペ ネ ア プ、

sekor hawean kor ki kor... kor oka=an pe ne a p,

とおじさんは言いながら作ってくれて、私たちは暮らしていました。

シネアンタ スイ アオナ…… アウヌフ キナ ラタシケブ

sineanta suy a=ona... a=unuhu kina rataskep

さて、ある日のこと、また私の母親が山菜のまぜ煮をつくって、

スウエ イネ オラ イアニレ ヒネ アラパアン ルウエ アクス

suwe h_inine ora i=anire hine arpa=an ruwe akusu

私がおじさんにそれを持って行くと、

アパ ワノ (?) ホン…… タ…… あの……

apa wano(?) hon... ta... ANO...

玄関から (?)

ウパシ ネノ カネ アン ポン エレム ホユプ イ クス
 upas neno kane an pon ermu hoyupu h_i kusu
 雪のようなちっちゃなネズミが走ったので

ネア イタンキ アアシ テキネ ケセ アアンパ ヒネ
 nea itanki a=asi tek h_ine kese a=anpa hine
 そのお椀をちょっと立てておいて、そのネズミを追いかけて

アウク ルウェ ネ イネ オラ
 a=uk ruwe ne h_ine ora
 捕りました。それで

アウプソロマレ ヒネ ネア イタンキ トウラノ
 a=upsoromare hine nea itanki turano
 私はそれをふところに入れて、そのお椀と一緒に

ネア アチャポ オロ タ アアニ イネ ネア イタンキ カ アコレ オラ
 nea acapo oro ta a=ani h_ine nea itanki ka a=kore ora
 そのおじさんのところに持って行き、そのお椀もわたして、

「タアンペ ヘマンタ アニネ エネ ホユプ ワ
 “taanpe hemanta an h_ine ene hoyupu wa
 「これは、何かがいて走っているのを

アヌカラ ペ ネ イ クス アウク ルウェ ネ。」
 a=nukar pe ne h_i kusu a=uk ruwe ne.”
 私が見つけたものだから、私は捕ったのです。

セコロ イタカン アクシ オロワノ キ……
 sekor itak=an akus orowano ki…
 と私が言うと、

「ソレクセネ カトゥ アヌカラ ペ アコロ ヘカチ ネ ア ワ
 “sorekus ene katu a=nukar pe a=kor hekaci ne a wa
 「それこそ、このように私が見込んだ男の子だ。

タップ タ エ…… エチカシヌカン ルウエ アン ナ。」

tap ta e... e=cikasinukar_ ruwe an na.”

このように神様に見守られているのだよ。」

セコロ ハウエアン コロ オラノ イナウ ケ ア イナウ ケ ア イネ

sekor hawean kor orano inaw ke a inaw ke a h_ine

とおじさんは言いながら、イナウをたくさん削り、

イナウ ウコタクタク イネ スウオプ オロ オマレ シリ

inaw ukotaktaku h_ine suwop or omare siri

それをイナウにくるんで、箱の中に入れるのを

アヌカラ ルウエ ネ イネ オラウン

a=nukar ruwe ne h_ine oraun

私は見ました。

アウヌ エウン カ アイェ カ ソモ キ ノ

a=unu eun ka a=ye ka somo ki no

そのことを私の母にも言わず、

オカアン ルウエ ネ アイネ ネエ…… ネイ パクノ オカアナツカ

oka=an ruwe ne ayne nee... ney pakno oka=an y_akka

私達は暮らし、いつまでもそうして暮らしていましたが、

アオナ アナクネ ネプ カ カラ カ ソモ キ ノ エネ イペ コロ

a=ona anakne nep ka kar ka somo ki no ene ipe kor

私の父は何もせずに、そのように食べて

パテカン イネ ネア アツチェ タ アン アアチャハ

patek an h_ine nea atce ta an a=acaha

ばかりいます。例のよそにいるおじさんも

フンタ ネ エネ ホツケ ワ パテク アン ペ ネ ア コロカ オラ

hnta ne ene hotke wa patek an pe ne a korka ora

どうしてだかそのように寝てばかりいたのですが

オリキクッコロ ワ ソイネ ワ イトゥラ ワ キム タ……

orikikutkor wa soyne wa i=tura wa kim ta...

着物をまくって帯にはさんで外に出て、私と一緒に山へと（行きました）。

タネ ポンノ ポロアナクシ オラノ

tane ponno poro=an akus orano

もう今や少し私は大きくなり、すると、

「オッカヨ アナク タ ネノ オカイ ペ

“okkayo anak ta neno okay pe

「男というのは、このようにいるものが

イラマンテ ネ ナ。エオナ アナクネ アラウエン カムイ

iramante ne na. e=ona anakne arwen kamuy

狩猟するものであるのだよ。お前の父は悪い神様が

シカサニレ[㊦] ペ ネ クニ アラム ワ エネ アニ ネ クス。」

sikasanire pe ne kuni a=ramu wa ene an h_i ne kusu.”

憑いていると私は思うものだから。」

セコロ ハウエアン コロ クアリ ネ ヤ エネ オカイ ペ

sekor hawean kor kuari ne ya ene okay pe

とおじさんは言い、仕掛け弓やいろいろなことを、

オッカヨ モンライケ ネ ヒ イエパカシヌ ワ

okkayo monrayke ne hi i=epakasnu wa

男のやる仕事を私に教えてくれて、

アエイコイサンパ ワ クアリアン コロ オロ イセポ カ オシマ

a=eykoysampa wa kuari=an kor oro isepo ka osma

私はそれを真似て弓を仕掛ければ、そこにウサギもかかり、

チロンヌプ カ オシマ コロ オラウン ネア アアチャハ イエコプンテク

cironnup ka osma kor oraun nea a=acaha i=ekopuntek

狐もかかりました。おじさんは私のことを喜んで

「ケライ ネプタ ウン オアラ カトゥ アヌカラ ペ アコロ ヘカチ ネ ア ワ
 “keray nepta un oar katu a=nukar pe a=kor hekaci ne a wa
 「さすがは私がまるっきり見込んだ男の子だ。」

イキ シリ アン！」
 iki siri an!”
 その子がやってくれたぞ。」

セコロ ハウエアン コロ イエコプンテク コロ オラノ コント
 sekor hawean kor i=ekopuntek kor orano konto
 と言いながら、私のことを喜んでくれました。それからは、

ネア アアチャ オロ タ アウヌフ トウラノ パイエアン マ オカアン コロ
 nea a=aca oro ta a=unuhu turano paye=an w_a oka=an kor
 おじさんのところに母親と一緒に行って、そうして私達は暮らしました。

ネア アオナハ アナク ネノ ホツケ ワ パテク アン コロ
 nea a=onaha anak neno hotke wa patek an kor
 私の父は、同じように寝てばかりいました。

アコヤニ コロ イペ アナク キ コロ オカアン ペ ネ アイネ
 a=koyani kor ipe anak ki kor oka=an pe ne ayne
 私が食事を届けると食事だけはしていて、そのように暮らしていましたが、そのうちに、

スイ タネ ヤイラムコパシテアン。
 suy tane yayramkopaste=an.
 またもう私は自分で何でもできるようになりました。

アアチャ イエパカシヌ ワ アエラマン ペ クアリ カ
 a=aca i=epakasnu wa a=eraman pe kuari ka
 おじさんが私に教えてくれて、仕掛け弓も

イラマンテ カ ネ クス ア…… ア……
 iramante ka ne kusu a... a...
 狩猟も私は覚えたので、

アエヤイラムコパシテ コロ アナナクス

a=eyayramkopaste kor an=an akusu

私は自分で何でもやって暮らしていると、

スイ シネアンタ エキムネアン ルスイ クス シピネアン コロカ オラ

suy sineanta ekimne=an rusuy kusu sipine=an korka ora

またある日、私は山に行こうと身支度をしていたのですが、

ルトム タ アアニネ ソイネウヌニアニネ アアニネ

rutom ta a=an h_ine soyneununi=an h_ine a=an h_ine

その途中で私は座りこみ、でかけるのも大儀になって座りこんで

アナナクシ アシケトコ チヌマカ ヒネ

an=an akus a=siketoko cinumaka hine

いると、私の眼前が開き、

ペツ ペシ インカラン フミ エネ アニ

pet pes inkar=an humi ene an h_i

川下のほうを眺めて見たものはこのようなことでした。

トオプ ペツ ペシ ル アニネ カラ…… オペシノ インカラナイネ

toop pet pes ru an h_ine kar... opesno inkar=an ayne

遠い向こうの川沿いに道があって、そこに沿って下のほうへ眺めると、

フナク タ トシカ カ タ チセ アン イネ オロワ

hunak ta toska ka ta cise an h_ine orowa

どこか土手の上に家があって、

ワッカタル ペトルン ラン ペツ…… ペタル ラン イネ

wakkataru pet or un ran pet... petaru ran h_ine

水を汲む道が川のところに下りて、水汲み道が下りていて、

カリ メノコ シネプ ワッカタ クス

kari menoko sinep wakkata kusu

そこへ向かって女性が一人、水を汲みに

オンタロ セ イネ ラニネ エウン モノ ア、ホペチネア カネ イネ
 ontaro se h_ineran h_ineraneun mono a, hopecinea kane h_ine
 樽を背負って下りて、そこへ座り、しゃがんでいます。

ワッカケ…… ワッカタ ネア オンタロ オロ キ アクス
 wakkake... wakkata nea ontaro oroki akusu
 女はその樽のなかに水を汲むと、

ノシケ パクノ エラシラシケ プ、ヘカチ^[3]
 noskepakeno erasraske p, hekaci
 真ん中までかさぶたのある子どもが

ネア メノコ チヌトルケ オシマ テクミ ネ ペコロ
 neamenoko cinuturke osimatekumi nepekor
 その女の股の中にすっと入ったように

ヤイヌアン ヒ クス オラウン タプネ インカラン セコレネ
 yaynu=an hi kusu oraun tapne inkaran sekorene
 私は思ったので、このように見えたとも

イタカン カ ソモ キ ノ アウヌフ エウン
 itakan kasomokino aunuhu eun
 私は言わずに、母へ

「エキムネアン ナ イテキィ イエポタラ ヤン。」
 “ekimne=an na iteki i=epotara yan.”
 「私達は山に行きますから、どうか心配しないでください」

セコロ イタカン コロ ソイネアニネ オロワノ
 sekoritakan kor soyne=an h_inerorwano
 と私は言って、外へ出ました。それから

エネ インカラナ イ ネノ ペッ ペシノ
 ene inkaran a h_inenepeshino
 さっき私が見たように、川に沿って

テレケアン カネ パサン カネ サナン ルウェ ネ アクス
 terke=an kane pas=an kane san=an ruwe ne akusu
 下って小走りに下りて行くと、

ソンノカ チセ アン トシカ カ タ チセ アニネ
 sonnoka cise an toska ka ta cise an h_ine
 やはり土手の上に家がありました。

オロ ワ ル ラン、ペトルン ワッカタ ル ラン ヒネ
 oro wa ru ran, pet or un wakkata ru ran hine
 そこから川に水汲みに行く道が下りて

アン クス…… ルウェ ネ コロカ ネ メノコ カ アナク
 an kusu... ruwe ne korka ne menoko ka anak
 いたのですが、その女も

オアリサミネ オラ カリ ヘメスアニネ
 oar isam h_ine ora kari hemesu=an h_ine
 誰もおらず、そこを私はのぼって

チセ ソイ タ アラパアナクス イエトコ ウン
 cise soy ta arpa=an akusu i=etoko un
 家の前に行くと、私の前を

ウキマテッカ ハウ ウェンルイ チシ ハウ カ アシ。
 ukimatekka haw wenruy cis haw ka as.
 一同大慌てで叫び、泣く声がします。

ウキマテッカ ハウ ウェンルイ クス
 ukimatekka haw wenruy kusu
 みな大慌てで叫んでいるので

ネ (ウ) シ エエク タ ワ ウン エエク アワ^[4]
 ne(u)n e=ek ta wa un e=ek awa
 どこへお前は来るつもりでやってきたのだ

セコロ ヤイヌアン クス アパ アマクテクテク アフナナクス
sekor yaynu=an kusu apa a=maktektek ahun=an akusu
 と私は思ったので、戸をぱっと開けて家の中に入って、

インカラナクス メノコ シネプ ライ ワ
inkar=an akusu menoko sinep ray wa
 見ると女性が一人死んで

トゥルセ ヒネ アニネ オラウン
turse hine an h_inine oraun
 倒れていました。

アエウキマテッカ コロ シラン ウシケ タ アフナン。
a=eukimatekka kor siran uske ta ahun=an.
 そのせいでみなが大慌ての様子であり、そうしているところへ私は入って行きました。

「マク ネ シリ アン？」
“mak ne siri an?”
 「どうしたんだい」

セコロ イタカナクス
sekor itak=an akusu
 と私は言うと、

「タアン…… テウン コシマツ ネ ワ アナ プ、
“taan... teun kosmat ne wa an a p,
 「ここの嫁さんなのですが、

エネ エウン ワッカタ クシ ラン アコラク
ene eun wakkata kus ran akorak
 このようにそこへ水を汲みに下りるとすぐに

ワッカ セ ヒネ アフニネ アヌ テク コロ ライ ワ トウルセ ワ
wakka se hine ahun h_inine anu tek kor ray wa turse wa
 水を背負って家に入り、置いた瞬間、死んで倒れてしまって、

エネ アエウキマテッカ シリ エネ アニ ネ。」

ene a=eukimatekka siri ene an h_i ne.”

それでこうして私たちは慌てているのです。」

セコロ ハワシ。エエン……

sekor hawas. een...

と言う。

「ネイ ワ エク ペ アネ ヤッカ

“ney wa ek pe a=ne yakka

「私がどこから来た者だとしても

ポタラアン チキ ウエン ルウエ アン？」

potara=an ciki wen ruwe an?”

魔払いしてよろしいでしょうか？」

セコロ ハウエアナナク (シ)

sekor hawean=an aku(s)

と私が言うと、

「ピリカ ピリカ。」

“pirka pirka.”

「構わない、やってくれ。」

セコロ ハワシクス ネア メノコ アオリキライテクテク アクシ

sekor hawas h_i kusu nea menoko a=orikiraytektek akus

というので、私がその女の着物をさっとたくしあげると

トイ エレム ポロ エレム オソロ^同 エタラ ヒネ…… イネ

toy ermu poro ermu osoro etara hine... h_ine

大ネズミが彼女のお尻にささっていて、

アウク テキネ アオスラ。テッテレケ オラノ

a=uk tek h_ine a=osura. tettereke orano

私はそれをすぐにとって捨てました。ネズミはびよんびよん跳ねて、

エウキマテッカ コロ アトウムンコヌウェ ヒネ アオスラ。

eukimatekka kor a=tumunkonuwe hine a=osura.

それでみな慌てていると、私はゴミとともに掃いて捨てました。

トオプ コタナパパ ウン アオスラ オラノ

toop kotan apapa un a=osura orano

遠くの村の入り口の向こうへ私は捨てました。すると、

チシ…… イ…… チャチャ カムイ アン

cis... i... caca kamuy an

翁神と

ルプネ マツ カムイ アン ペ ネ クス

rupne mat kamuy an pe ne kusu

媼神がいたものだから、

オラノ ネア チャチャ カムイ ラマッタキコロ サンケ ワ

orano nea caca kamuy ramattakikor sanke wa

その翁神は魂を呼び戻すちっちな刀を出して、

ネア メノコ コッパラ カシ オマレ オラノ

nea menoko kotpara kasi omare orano

その女の胸の上に載せて、

ソイ ワ アシ アウ ワ アシ、カムイオロイタク アイネ

soy wa as aw wa as, kamuy'oroytak ayne

外からも内からも、立って神へ祈りをとなえました。すると

「ネア メノコ ヘセ ルウェ ネ。」

“nea menoko hese ruwe ne.”

「女が息を吹き返したぞ。」

セコロ ハウエオカ コロ オラノ ヘセ ヒネ

sekor haweoka kor orano hese hine

と人々が口々に言い、女は息を吹き返して

アプンノ ヘプニ ワ モノ ア カ キ コロ

apunno hepuni wa mono a ka ki kor

無事に起き上がって、座りもしているのです。

ラポッケ タ シリクンネ ペ ネ クシ オラウン レウシアン。

rapokke ta sirkunne pe ne kus oraun rewski=an.

そんなことをしているうちに夜になって私は休みました。

オロ タ レウシアナクス

oro ta rewski=an akusu

そこで泊まって休んでいると、

ネ…… ネア チャチャ カムイ エネ ハウエアニ

ne... nea caca kamuy ene hawean h_i

翁神がこのように言うのです。

「シネ ポ アコロ ペ ネ イネ

“sine po a=kor pe ne h_ine

「私達には息子が一人いて、

タン パ ネ コシマツ アコン ルウエ ネ ヒネ

tan pa ne kosmat a=kor_ ruwe ne hine

今年になってお嫁さんをもらって、

オカアン ルウエ ネ ア プ、ネア アポホ ヤ エサン クス

oka=an ruwe ne a p, nea a=poho ya esan kusu

私達は暮らしていたのです。(ある日) 私の子どもは網のところへ下りるのに、

イシカラ プツ…… プトゥ ウン サン ルウエ ネ オカケ タ

Iskar put... putu un san ruwe ne okake ta

石狩川の河口へ下りて行って、その後、

オカアナワ エネ ウン……

oka=an awa ene un...

私達は暮らしていましたが、

ネイ ウン オツカイポ イサマ チキ アコロ……

ney un okkaypo isam a ciki a=kor...

どこかへ旦那がいなくなってしまったから

アコシマチヒ ポイシクヌ ソモ キ ア ルウェ ネ ワ……。」

a=kosmacihi poysiknu somo ki a ruwe ne wa....”

お嫁さんは生きる望みも無くなっているのです。」

セコロ アン ペ イェ コロ ソレクス イコヘポキ

sekor an pe ye kor sorekusu i=kohepoki

と翁神は言いながら、それこそ、私に頭を下げて、

イコオンカミ ア イコオンカミ ア コロ オラ ラ……

i=koonkami a i=koonkami a kor ora ra...

私に何度も拝礼しているのです。

レウシアン ルウェ ネ イネ オラウン イシムネ エネ ハウエアニ

rewsi=an ruwe ne h_in e oraun isimne ene hawean h_i

そうして私が泊まって、その翌日、翁神はこう言いました。

「アコロ アポホ アイヌ サキネ クニ アラム (?)。

“a=kor a=poho aynu sak h_in e kuni a=ramu(?)。

「私の息子は人を連れて行かずに行ったと思います。」

ヤイコヤコロ…… ヤ エサン クシ サン ルウェ ネ コロカ

yaykoyakor... ya esan kus san ruwe ne korka

網のところへ行くのに山を下りていったのですが、

ヤイコヤコロ ネ クニ アラム ルウェ ネ。」

yaykoyakor ne kuni a=ramu ruwe ne.”

一人網漁だと私は思うのです。」

セコロ カネ ハウエアヒ クス コント

sekor kane hawean hi kusu konto

などと私は言うので、

「サナン マ アカスイ チキ ウエン ルウェ エ アン？」

“san=an w_a a=kasuy ciki wen ruwe h_e an?”

「私が下りていき、その人を助けたらだめですか。」

セコロ ハウエアン…… ハウエアナナクシ

sekor hawean... hawean=an akus

と私が言うと、

「ピリカ ピリカ。ピリカ ハウエ ネ エネ ヤイコヤコロ ヒ ネ クニ

“pirka pirka. pirka hawe ne ene yaykoyakor hi ne kuni

「構いませんよ。それは良かった。こうして息子が一人網漁をしているように

アラム コロ サン ルウェ ネ ワ アエポタラ ア プ

a=ramu kor san ruwe ne wa a=epotara a p

私は思い、下りていったことを心配していました。

ピリカ ハウエ ネ ナ。」

pirka hawe ne na.”

うれしいよ。」

セコン ネア チャチャ カムイ ハウエアン コロ オラウン

sekor_ nea caca kamuy hawean kor oraun

とその翁神は言いながら、

チプ イエルサ イネ

cip i=erusa h_ine

舟を私に貸してくれて、

アオ イネ サナニネ イシカラ プトゥ タ サナン。

a=o h_ine san=an h_ine Iskar putu ta san=an.

私はそれに乗って石狩の河口に下りて行きました。

「エウエペケンヌ ヤクン エエラマン ペ ネ ナ。」

“e=wepekennu yakun e=eraman pe ne na.”

「尋ねればわかるよ。」

セコロ ネア チャチャ カムイ イイエ イネ
sekor nea caca kamuy i=ye h_ine

とその翁神は私に言い、

イシカラ プトゥ タ サナナクシ
Iskar putu ta san=an akus

私は石狩の河口に下りると、

ソンノカ エへ…… ヤコロ ウタラ インネ ウタラ オカ コロカ…… イネ
sonnoka ehe... yakor utar inne utar oka korka... h_ine

やはり網漁をしているたくさんの人々がおおり、

ウエペケンヌアナクシ ソンノカ
uepekennu=an akus sonnoka

私が尋ねると、やはり本当に

「イシカラ ホントモ ワ サノツカイポ アナク
“Iskar hontomo wa san okkaypo anak

石狩川の中程からきたその若者は

アイヌ サク ワ ヤイコヤコロ ルウエ ネ。」
aynu sak wa yaykoyakor ruwe ne.”

人手を借りず、一人で網漁をしているんだ。」

セコロ ハワシ クシ オロ タ コント アコヤイエコラムコロ アクシ
sekor hawas kus oro ta konto a=koyayekoramkor akus

と言うので、そこで私はその若者に相談すると

エヤイコブンテク コロ オラン
eyaykopuntek kor oran

彼はそれを喜んで、

アカスイ コロカ タプネ カネ ネ
a=kasuy korka tapne kane ne

私が手伝ったが、このような次第だ

セコロ アン ペ エネ アイェ カ ソモ キ ノ オラノ アカスイ イネ…… クス
 sekor an pe h_ene a=ye ka somo ki no orano a=kasuy h_ine... kusu
 ということも言いもせずに、私はそれを手伝ったので、

チェプ ヌコ カ アン オラウン アサッサトウ ネ ヤ オロワ
 cep nuko ka an oraun a=satsatu ne ya orowa
 魚も大漁でした。魚はよく乾かして干物にしたり、

トノ オロ ウン イシカラ プトゥ タ シサム シレシク ペ ネ クス
 tono oro un Iskar putu ta sisam siresik pe ne kusu
 和人の殿様がそこへ、石狩の河口は和人でいっぱいだったので、

アエイヨクシケ アエイヨク、
 a=eyyok uske a=eyyok,
 私は売るものは売って、

アサッサトウ イケ アサッサトウ ワ オラノ
 a=satsatu h_ike a=satsatu wa orano
 干物にするものは干物にして、そうして

アエイヨク ペ ネ クス ウサ タンパク ネ チキ アミプ ネ チキ
 a=eyyok pe ne kusu usa tampaku ne ciki amip ne ciki
 私達は売ったので、煙草や、着物、

アマム タラ ネ チキ サケ ネ チキ アホク ア アホク ア ヒネ オラン
 amam tara ne ciki sake ne ciki a=hok a=hok a hine oran
 米俵や酒やらを私は買いに買いました。すると、

ネア アコロ オツカイポ エネ ハウエアニ
 nea a=kor okkaypo ene hawean h_i
 その若者はこのように言いました。

「タネ アイヌ オピッタ ヤイエシマッタ エトコ タ タ…… コ……
 “tane aynu opitta yayesimatta etoko ta ta... ko...
 「もう人々がみな帰ってしまう前に

インネ コタン カ アン ペ ネ クス コタノルン パイエアン。

inne kotan ka an pe ne kusu kotan or un paye=an.

人口の多い村もあるので、私たちは村に帰って、

サケ カ アホク アマム カ アホク ワ キ ワ イクアン

sake ka a=hok amam ka a=hok wa ki wa iku=an

酒も買い、米も買って、帰って飲んで

カムイノミアン イクアン マ オラウン パイエアン ランケ プ ネ。」

kamuynomi=an iku=an w_a oraun paye=an ranke p ne.”

カムイノミをやって飲んで、何度も通いましょう。」

セコロ ハウエアン ヒ クス オラ アシヌマ カ サケ いっそ ヘマホク

sekor hawean hi kusu ora asinuma ka sake ISSO hem a=hok

と若者が言うので、私も酒一升と

アマム いっそ ヘマホキネ オラン

amam ISSO hem a=hok h_in_ine oran

米一升を買って、

ネア アコロ オツカイポ アトウラ ヒネ

nea a=kor okkaypo a=tura hine

その若者と一緒に

ネア コタノルン パイエアン ルウエ ネ イネ

nea kotan or un paye=an ruwe ne h_in_ine

その村に行き、

コタン コン ニシパ ウニヒ ネ ヤク イェ プ (?) オロ タ イクアン。

kotan kor_nispa unihi ne yak ye p(?) oro ta iku=an.

村長の家であるというところで (?) 私達は飲みました。

アイヌ オピッタ ウエカラパ ワ ネア シリ アイコヤイラウ……

aynu opitta uekarpa wa nea siri a=i=koyayraw...

人々は皆集まって、その様子について

アイコヤイライケ ハウ コカリ⁶ コロ イクアン。

a=i=koyairayke haw kokari kor iku=an.

私達は感謝の言葉を口々に聞かされながら、私達は飲みました。

イク パ コロカ アシヌマ アナク ネプ カ ネノ カ イク マラット ヘネ

iku pa korka asinuma anak nep ka neno ka iku maratto hene

人々は酒を飲んだのですが、私はそのようにお酒を飲む酒宴などにも

アエヨロッ カ エラミシカリ プ ネ クス

a=eyorot ka eramiskari p ne kusu

参加したことがなかったので、

イク ヘネ カ アン カ ソモ キ ノ イヨロインカラアン。

iku hene ka =an ka somo ki no ioroinkar=an.

お酒を飲むなんてこともせずに、遠くから眺めていました。

ホリッパ チキ ホリッパ、シノッ トイエチウチウパレ (?) オラノ

horippa ciki horippa, sinot toyeciwiwpare(?) orano

輪踊りをすれば輪踊りをして、並んで激しく踊っていて (?)、

シノッ ワ アエヨロインカラ ウシケ タ シネ ポン メノコ

sinot wa a=eoroinkar uske ta sine pon menoko

人々が踊って私がそれを見ているところに、一人の

ピリカ ワ オケレ ポン メノコ オラウン あの…… レクトウンペ

pirka wa okere pon menoko oraun ANO... rekutunpe

非常に美しい御嬢さんが首飾り

カネ コトウク コトウク カネ アン レクトウンペ ムッ ルウエ ポ ヘネ

kane kotuk kotuk kane an rekutunpe mut ruwe po hene

金属がついている首飾りをつけて、なおさら

コトム ピリカ ポン メノコ カ スケ エイカスイ ペ ネ コロカ オラウン

kotom pirka pon menoko ka suke eykasuy pe ne korka oraun

その首飾りに似合う美しい御嬢さんも料理をして手伝っているのですが、

エシルイネ シキル コッ チサ チサ プ ネ シリキ。

esiruyne sikiru kor_ cis a cis a p ne siriki.

家の奥の方へ行くと泣きながらいるようです。

ヘサシ シキル コロ ヤイナンカピリパ プ ネ シリキ コロ イカスイ シリ

hesasi sikiru kor yaynankapirpa p ne siriki kor ikasuy siri

奥から炉のほうへ前に来ると自分の顔を拭って手伝っているようで、

マカナキキ プ イキ シリ アン セコロ ヤイヌアン コロ

makanak iki p iki siri an sekor yaynu=an kor

どうしてそのようにしているのだろうと私は思いながらも、

イヨロッ ルウェ ネ オラノ ピリカ アエシルワンテ

iyorot ruwe ne orano pirka a=esiruwante

彼女は参加しています。それで私はよくよく探ってみました。

ネ エネ イキ イネ エフナラ パ プ ネ イ

ne ene iki h_ine ehunara pa p ne h_i

どのようなことで悲しんでいるのかを

ア…… ピリカ アエシリワンテ コロ アン ワ

a... pirka a=esirwante kor an wa

よくよく彼女について探ると、

アシヌマ アナク イクアネネ キ カ ソモ キ プ ネ クス ア……

asinuma anak iku=an h_ene ki ka somo ki p ne kusu a...

私は酒を飲んでいるわけでもないので、

アエシリワンテ コロ アナナイネ ソイネ シリ イキ

a=esirwante kor an=an ayne soyne siri iki

彼女のことをうかがっているうちに、彼女は外に出て行ったようで、

タネ イク…… イク オカ アン ヒ オラ ソイネ シリ イキ クシ

tane ik...iku oka an hi ora soyne siri iki kus

もう宴会が終わって、それで外に出て行ったようだったので、

オシ アプンノ ヤイソイネレアニネ オシンカラナクス
 os apunno yaysoynere=**an h_ine** osinkar=**an akusu**
 後からそっと私も外に出て、後ろから見ていると

チセ シソ タ ピリカ ポン チセ、サク ネ ヘネ ン……
 cise siso ta **pirka pon cise, sak ne hene n...**
 家の右座のほうに可愛らしい家が、去年の夏に

アカラ ノイネ アン ピリカ ポン チセ アニネ エウン アフン シリ
 a=**kar noyne an pirka pon cise an h_ine eun ahun siri**
 作られたような素敵な小さい家があり、彼女がそこへ入る様子を

アヌカラ ヒ クス オラウン タネ イホシキ ウタラ オピッタ
 a=**nukar hi kusu oraun tane ihoski utar opitta**
 私は見ました。もう酔っ払いたちはみんな

ホッケ チキ ホッケ。ウタリ ウン…… パイ…… だの (?)
 hotke ciki hotke. utari un... pay... **DANO(?)**
 横になれば寝っころがっていたり (?)、

ウニ ウン パイエ イケ パイエ オカケ タ オラウン
 uni un **paye h_ike paye okake ta oraun**
 家に帰るものは帰ったりした後で、それで

アロロキシネ ネア ポン チセ オツ タ アラパアニネ アフナナクシ
 arorkisne nea pon cise or_ ta arpa=**an h_ine ahun=an akus**
 こっそりその小さな家の中に私は行って入ると、

ポン アペポ コリネ オラウン オシソウン ア ワ チシ コロ アン イネ
 pon apepo kor **h_ine** oraun osisoun a wa cis kor **an h_ine**
 彼女は小さな火をたいて、右座に座って泣いています。

オロ タ アフナニ クス
 oro ta **ahun=an h_i kusu**
 そこに私が入って行ったので、

「マカナキキ プ エネ シリ アン？」

“makanak iki p ene siri an?”

「どうしてそのように泣いているのですか。」

セコロ イタカナクス イタカウエ エネ アニ

sekor itak=an akusu itak h_awe ene an h_i

と私が言うと、彼女はこのような言いました。

「ア…… アウヌフ アオナハ ネ クナク アラム プ イレシパ ワ

“a... a=unuhu a=onaha ne kunak a=ramu p i=respa wa

「私の母と父であると思っていた人が私を育てて

タ エネ オカアン オラ ポナユピ アン ポロ アユピ アニケ

ta ene oka=an ora pon a=yupi an poro a=yupi an h_ike

これこのように私は暮らしていました。私には小さな兄と大きな兄がいて、

アユピヒ、アユプタリ、アオナウタリ ネ ワ ポホ アネ ヤクン

a=yupih, a=yuputari, a=onautari ne wa poho a=ne yakun

あの人達は私の兄達と両親でありました。私とその人達の子どもなら

アユプタリ ネ クナク アラム コロ アナン ルウエ ネ アワ

a=yuputari ne kunak a=ramu kor an=an ruwe ne awa

私の兄達であると私が思っていたのですが、

『ポナユピ アイコレ。』

‘pon a=yupi a=i=kore.’

『小さな兄の嫁になりなさい』

セコロ アイイエ ワ

sekor a=i=ye wa

と言われて

フンナ イリワク ウコロ ペ ネ ワ エネ ハワシ アン

hunna irwak ukor pe ne wa ene hawas h_i an

どうして兄弟と結婚しろと言うのか

セコロ ヤイヌアン マ アコパン ルウェ ネ ン…… タ オロ……

sekor yaynu=an w_a a=kopan ruwe ne n... ta oro...

と私は思って拒んだのです。

アウニヒ カ オロ タ オカアン クニ カ チセカラ パ ワ

a=unihi ka oro ta oka=an kuni ka cisekar pa wa

私の家も、そこで私と小さな兄が暮らすようにと父親達がつって

オロ タ ホシキ アイエクテ ワ アナン エ…… オラノ

oro ta hoski a=i=ekte wa an=an e... orano

私はそこへ先に行かされて、暮らしていました。

『ネ ポナユピ アイコレ プ ネ。』

‘ne pon a=yupi a=i=kore p ne.’

『小さな兄のお嫁にやりますからね。』

セコロ ハワシ コロ オラノ アコパン マ アコロ……

sekor hawas kor orano a=kopan w_a a=kor...

というので私はそれを拒み、

オロワ アコパン コロ アナン ルウェ ネ アクス

orowa a=kopan kor an=an ruwe ne akusu

拒んでいました。すると、

タアン アコタヌン ポン メノコ ウタラ

taan a=kotan un pon menoko utar

その私の村の若い娘たちが

イピリマ ハウエ エネ アニ ンン……

i=pirma hawe ene an h_i nn...

私にこっそり教えてくれたのは、

『タアン チャチャ カムイ ルプネ マツ カムイ

‘taan caca kamuy rupne mat kamuy

『あなたはその翁神と媪神の

ポホ エヌ…… エネ ルウエ カ ソモ ネ。ン……

poho e=nu... e=ne ruwe ka somo ne. n...

子どもではないのですよ。

アエエイッカ プ ネ イネ アエレス ルウエ ネ ア プ、

a=e=eikka p ne h_in e a=e=resu ruwe ne a p,

あなたは盗まれて来て育てられていたのです。

エラムニンカ ワ ポネユピ エコロ コパナウエ ネ ヤカナク

e=ramuninka wa pon e=yupi e=kor kopan h_awe ne yak anak

あなたにその記憶がなく、小さな兄と結婚するのを嫌がっているのなら、

エ…… エエ…… エアン…… エエラムアン、 エエシカルン ワ

e... ee... ean... e=eramuan, e=esikarun wa

あなたはそれを思い出すのです。

エハウエアナウエ ネ ヤカナクネ オアラ ウン…… アエク…… ア……

e=hawean h_awe ne yak anakne oar un... aek... a...

あなたの言うこと次第では、

エコタン オロケ ウオマ クニ プ ソモ ネ ハウエ ネ クス

e=kotan orke uoma kuni p somo ne hawe ne kusu

あなたの故郷の村は人口が多いわけではないようなので、

タア ヤ エサプタラ パイエ ウサ キ ヤクン

taa ya esap utar paye usa ki yakun

あの網漁で下りてきた人々が山に帰りなどすれば

オカケヘ タ アエライケ クシ ネ

okakehe ta a=e=rayke kus ne

その後、あなたは殺されるだろう

セコロ ハワシ ルウエ ネ ナ。』

sekor hawas ruwe ne na.'

という噂ですよ。』

セコロ アン ペ アコタヌ ウン ポン メノコ ウタラ イエピリマ ワ
 sekor an pe a=kotanu un pon menoko utar i=epirma wa
 ということを私の村の若い娘たちがこっそり教えてくれて、

エネ チサン コロ パテク アナン ルウェ エネ アニ ネ。」
 ene cis=an kor patek an=an ruwe ene an h_i ne.”
 それで私は泣いてばかりいるんです。」

セコロ ハウエアン。 ウェニヨクヌレアン コロ
 sekor hawean. wenyokunnure=an kor
 と彼女は言います。私はひどくあきれながら、

「ピリカ ハウエ ネ ネク。」
 “pirka hawe ne nek.”
 「それはいいことを聞いたな。」

セコロ ハウエアナン コロ…… ハウエアナン コロ コント
 sekor hawean=an kor... hawean=an kor konto
 と私は言い、

アコエカッタ (?)、パイネ ホツケアン ルウェ ネ アクス
 a=koekatta(?), puyne hotke=an ruwe ne akusu
 彼女を私のほうへぐいっと引き寄せて (?)、一緒に寝ていると

シリクンネイワノ ネア アコヤコロ オツカイポ アフニネ ユ……
 sirkunneywano nea a=koyakor okkaypo ahun h_inē yu…
 夜明けになり、私が網漁を手伝った若者が入って来て

「アコロ オツカイポ、フナクン アラパ ワ アトゥライヌ ワ
 “a=kor okkaypo, hunak un arpa wa a=turaynu wa
 「若旦那がどこかに行って、見つからなくなり、

アエヤイサンペポカサ プ、
 a=eyaysampepokas a p,
 心配していたのに、

マツ コホツケ ワ アン ルウエ ネ アクン ピリカ ワ。」

mat kohotke wa an ruwe ne y_akun pirka wa.”

女と一緒に寝ていたんだったら結構なこった」

セコロ ハウエアン コロ シ…… ソイネ ヒ クス オシ……

sekor hawean kor s... soyne hi kusu os...

と言いながら外へ出たので、

アホトウイエカリネ イタカナウエ エネ アニ

a=hotuyekar h_ine itak=an h_awe ene an h_i

私は彼を呼んでこう言いました。

「ウタ…… ウサ ウサ チパコロ ペ ネ クス

“uta... usa usa cip a=kor pe ne kusu

「それぞれ私達は舟を持っているので

アコロ オツカイポ ホシキ アラパ ヤク ピリカ。

a=kor okkaypo hoski arpa yak pirka.

にいさんが先に行ってください。

ポンノ モイレアン ナ

ponno moyre=an na

私はちょっと遅れて行くから

ホシキ アコラ オツカイポ アラパ ワ イコレ。」

hoski a=kor a okkaypo arpa wa i=kore.”

先ににいさんが行ってください。」

セコロ…… イネ

sekor... h_ine

と

「ネプタ カ タプネ カネ タン ポン メノコ ハウエアン。」

“nepta ka tapne kane tan pon menoko hawean.”

「何かこのようなことをこの娘が言っているのです。」

セコレネ イタカン カ ソモ キ ノ

sekor ene itak=an ka somo ki no

などと私は言うこともなく、

「タア アコロ オッカイポ ホシキ アラパ ワ イコレ。

“taa a=kor okkaypo hoski arpa wa i=kore.

「にいさん、先に行ってください。

ポンノ オシ……… モイレアン ナ。」

ponno os... moyre=an na.”

私はちょっと遅れます。」

セコロ イタカナクシ オラ

sekor itak=an akus ora

と私が言うと、

「アラパアン クス ネ。」

“arpa=an kusu ne.”

「じゃあ、私は行きますよ。」

セコロ ハウエアン コロ ペトルン ラン ワ イサム。

sekor hawean kor pet or un ran wa isam.

と言って川へ下りて行ってしまった。

オカケヘ タ ネア メノコ

okakehe ta nea menoko

その後で、その女に

「エシクヌ ルスイ チキ ホクレ エコロ ワ オカイ ペ

“e=siknu rusuy ciki hokure e=kor wa okay pe

「生き延びたいなら、早く持っているものを

ネプ カ オカ チキ ウコムイマム パ。」

nep ka oka ciki ukomuymam pa.”

何でもあればかき集めなさい。」

セコロ アイェ プ ネ クス ン…… イホシキ ウタラ アナク

sekor a=ye p ne kusu n... ihoski utar anak

と私は言いました。それで、酔っぱらっている人なら

ナ モコロ ワ オカイ ペ ネ クス

na mokor wa okay pe ne kusu

まだ眠っているので、

ネア コロ ワ オカイ ペ ウコムイマム パ イネ アコリネ

nea kor wa okay pe ukomuymam pa h_ine a=kor h_ine

その人達が持っているものを娘がかき集めて、私達はそれらを持って

ネア アコツ チプ オルン キラアン パ ヒネ サパン オラノ

nea a=kor_ cip or un kira=an pa hine sap=an orano

舟に逃げ込み、出て行きました。

ネア ポン メノコ アエキ…… アエキラ ワ

nea pon menoko a=eki... a=ekira wa

その若い娘を私は連れて逃げました。

チプ…… チポユッパ…… アッサユッパアン^[7] マ オラノ

cip... cipoyuppa... assayuppa=an w_a orano

私は力いっぱい櫂を漕いで、

ラリワン マ パイエアン アイネ

rariw=an w_a paye=an ayne

舟を漕ぎ、そうして私達は川をのぼりました。

ネア ン…… メノコ アシクヌレ ウシケ タ パイエアン ルウェ ネ アクス

nea n... menoko a=siknure uske ta paye=an ruwe ne akusu

その娘を生き延びさせられるような場所に行くと、

ネア チャチャ カムイ イエトコ ウシネ アニネ

nea caca kamuy i=etoko us h_ine an h_ine

その翁神は私達を出迎えて

イコチペタイェ ヒ ネ アクス ネウン ネ ルウェ ネ ア、
i=kocipetaye hi ne akusu neun ne ruwe ne a,
 私のほうに舟を引くと、何故なのか、

イポロ クルクサペコロ アン。
iporo kurkus apekor an.
 しぶい顔をしているようでした。

アオヤモクテ コロ オラ エア…… アコロ チプ オロ オ プ ヤプテ ワ
a=oyamokte kor ora ea... a=kor cip oro o p yapte wa
 それを私は不審に思いながら、私の舟の中に入れたものを陸にあげて

イコレ イネ アエヤン イネ オラウン パイエアン。
i=kore h_ine a=eyan h_ine oraun paye=an.
 くれて、それで私達は陸に上がり、進みました。

エエフケ…… サケ カ アコロ ネプ ネ アッカ
eehuke... sake ka a=kor nep ne y_akka
 酒も私は持ち、何であっても

アエプ カ ポロンノ アホク ワ アセ プ ネ クス
aep ka poronno a=hok wa a=se p ne kusu
 食べる物を沢山買って背負って来たものなので、

ネア チャチャ カムイ オロ タ スイ イクアン パ ワ オラウン
nea caca kamuy oro ta suy iku=an pa wa oraun
 翁神のところでもた私達は酒を飲みました。

タシ アラパアン ペ ネ ネク
tasi arpa=an pe ne nek
 そのために私が行って来たんだぞ

セコロ ラマナン コロ ヤパン ルウェ ネ ア プ、
sekor raman=an kor yap=an ruwe ne a p,
 と思いながら、私達は戻って来たのですが、

エネ ウン…… ネア…… ネア オツカイポ カ アコヤコロ オツカイポ カ
ene un... nea... nea okkaypo ka a=koyakor okkaypo ka

このように、その私が網漁を手伝った若者も

イポロ クルクシ カネ セ…… マク ネ ルウェ アン
iporo kurkus kane se... mak ne ruwe an

しぶい顔をしていて、どうしたのだろう

セコロ ヤイヌアン。

sekor yaynu=an.

と私は思っていました。

イ…… イオヤモクテアン ル…… ルウェ ネ アクス
i... ioyamokte=an ru... ruwe ne akusu

私が不審に思っていると、

ネア チャチャ カムイ エネ ハウエアニ

nea caca kamuy ene hawean h_i

翁神はこのように言いました。

「タア アポホ エク ルウェ ネ アクス エネ アコシマチ ハウエアニ
“taa a=poho ek ruwe ne akusu ene a=kosmaci hawean h_i

「その私の息子が戻って来ると、嫁さんがこう言うのです。

『タア イシカラ エムコ ワ サノツカイポ イ…… イパ カトウ ウエン
‘taa Iskar emko wa san okkaypo i... i=pa katu wen

『その石狩の奥のほうから下りてきた若者に見られた姿はみっともなく

イシクヌレ カトウ ウエン ワ[s]…… ヤツカ

i=siknure katu wen wa... yakka

助けられた姿もみっともなく、けれども、

クスケライ シクヌアン ペ ネ クス アトウラ エアシリキ。』

kusukeray siknu=an pe ne kusu a=tura easirki.’

そのお陰で私は生き延びたのですから、私は彼と一緒にいかなければならないわ。』

セコロ ハウエアン マ キ ウコイキ ヒ ノイネ イラムアン マ
 sekor hawean w_a ki ukoyki hi noyne iramu=an w_a
 と言って喧嘩しそうに思えて、

アエヤイサンペポカシ ネ ルウエ ネ ナ。」
 a=eyaysampepokas h_i ne ruwe ne na.”
 私はそれに困り果てていたのだよ。」

セコロ ネア チャチャ カムイ カ イピリマ ルウエ ネ。
 sekor nea caca kamuy ka i=pirma ruwe ne.
 と翁神も私にこっそり教えてくれました。

イヨクヌレアン クシ オラノ ネア ポン メノコ アコパシロタ
 iokunure=an kus orano nea pon menoko a=kopasrota
 私はあきれて、その娘を私はののしって

「ソモ アン クニ プ エイエ ハウエ ネ ナ、
 “somo an kuni p e=ye hawe ne na,
 「あなたは、あってはならないことを言っているのですよ、

アエパ カトゥ ウェナ プ クシ ウン。
 a=e=pa katu wen a p kus un.
 私に見られた姿がはずかしかったからといって。

タア メノコ カ アパ ワ アトゥラ ワ エカン ルウエ ネ イケ
 taa menoko ka a=pa wa a=tura wa ek=an ruwe ne h_ike
 その子も私が見つけて連れてきたのですが、

アッカリ ヘマンタ エカレ？
 akkari hemanta e=kar h_e?
 その子よりも何かできるのかい？

イトウラ ハウエ？
 i=tura hawe?
 私と一緒に行くだっ？

ソモ アン クニ プ エイエ ハウエ ネ ナ。」

somo an kuni p e=ye hawe ne na.”

ありえないことをあなたは言っているのですよ。」

セコロ アイエ コロ アコパシロタ。

sekor a=ye kor a=kopasrota.

と私は言いながらののしりました。

「ネウ カ アエパ カトゥ アナ プ クシ ウン。

“new ka a=e=pa katu an a p kus un.

「なんとか私はあなたを見つけたというのに。

ネプ カ エコパク アエオイ…… アオイキ ヘ キ プ ネ アワ

nep ka e=kopak a=eoy... a=oyki he ki p ne awa

私が何をあなたへしたか（おわかりですか）。それなのに、

エネ エハウエアニ アン？」

ene e=hawean h_i an?”

こんなふうにあなたは言うのですか。」

セコロ アイエ コロ アコパシロタ ルウエ ネ アクス

sekor a=ye kor a=kopasrota ruwe ne akusu

と私は言いながらののしると、

ネア アコヤコロ オッカイポ カ エラムヘメスス ノイネ

nea a=koyakor okkaypo ka eramuhemesusu noyne

その私が網漁を手伝った若者も心がいそいそしているように

アラム プ ネ オラン オロ タ スイ イクアン イペアン ヒネ オラウン

a=ramu p ne oran oro ta suy iku=an ipe=an hine oraun

私は思いました。そうして、そこでまた私達は飲んで食べました。

ネウン ネ アッカ アエイッカ ワ エカン ペ アコロ ポン メノコ

neun ne y_akka a=eikka wa ek=an pe a=kor pon menoko

なんであれ、御嬢さんを私が盗んで連れて来ていた

ネ クシ オラウン スイ ネア チプ ナニ アエトウニネ
ne kus oraun suy nea cip nani a=etun h_ine

ために、またすぐに舟を借りて、

スイ アコロ ワ オカイ ペ アクサ イネ
suy a=kor wa okay pe a=kusa h_ine

また私の持ち物を舟で渡し、

パイェアニネ アウニ タ パイェアン ルウエ ネ アクシ
paye=an h_ine a=uni ta paye=an ruwe ne akus

そうして私の家に行くと、

エネ ヤ エサナ ル ウン イトゥラアン イ ネ クニ
ene ya esan a ru un itura=an h_i ne kuni

このように網漁へ一緒に行ったとは

ラム パカ ソモ キ プ ネ クシ
ramu pa ka somo ki p ne kus

(親たちは) 思っていないので、

ネプ カ ペトルネネ ラウ…… ラプ ルウエ カ イサム コロカ オラ
nep ka pet or un h_ene raw... rap ruwe ka isam korka ora

誰も川に下りてもこなかったけれど、

チパヤンケ オラノ アコロ ワ オカイ ペ アヤプテ イネ オラ
cip a=yanke orano a=kor wa okay pe a=yapte h_ine ora

私は舟をあげ、それで私の持ち物を陸にあげて、それから

アウニ タ パイェアン アクス アウ…… アアチャハ ア…… アウヌフ
a=uni ta paye=an akusu au... a=acaha a... a=unuhu

私の家に行くと、私のおじさんと母は、

ウアラソ オツ タ ヘムイムイパ ワ オカ。
uarso or_ ta hemuymuyppa wa oka.

向かい合わせの座で寝込んでいました。

「エエキムネ ヤク エイエ ア ポラ エネ セタッコ エイサマクン

“e=ekimne yak e=ye a p ora ene setakko e=isam y_akun

「お前が山に行くと言ったまま、長い間、お前がいなくて、

タネ アナク ネプ ピリカピ アン ルウェ ソモ ネ ヒ クス

tane anak nep pirkapi an ruwe somo ne hi kusu

もはや良いこともないので、

『ネノ ソモ イペアン ノ オカアン マ ラヤン クシ ネ。』

‘nenosomo ipe=an no oka=an w_a ray=an kus ne.’

『そのように食べずに暮らして、私達は死ぬのだ。』

セコロ ハウオカアン コロ オカアナワ

sekor hawoka=an kor oka=an awa

と言いながら暮らしていたが、

エネ エシクヌ ワ エエク ルウェ エネ アン。」

ene e=siknu wa e=ek ruwe ene an.”

そこにお前が生きて帰ってきたのが、こうだ。」

セコロ ハウオカ コロ オラウン

sekor hawoka kor oraun

と言っています。

ネア アアチャハ カ ホプニ ヒネ メノコ アトウラ ルウェ

nea a=acaha ka hopuni hine menoko a=tura ruwe

おじさんも起き上がって、女と私が一緒にいるのを

ヌカラクシ オロワノ ピリカ フイマンパ ノ ヌカラヌカラ アイネ

nukar akus orowano pirka huymampa no nukarnukar ayne

見て、よく注意してじっくり見たあげく、

「マカナキキ イ ポンメノコ フナク ワ エトウラ ルウェ アン？」

“makanak iki h_i ponmenoko hunak wa e=tura ruwe an?”

「どうやって、どこから若い娘を連れて来たんだい。」

セコロ アイェ ネ クシ タプネ カネ ネ ヒ アイェ ルウェ ネ アクシ オラノ
 sekor a=ye ne kus tapne kane ne hi a=ye ruwe ne akus orano

と言われたので、こうこうこのようなことだと私が言うと、

ウェニオクヌレ ハウエ エネ ネ イ アク…… アクセ……
 weniokunure hawe ene ne h_i ak... akse...

ひどくあきれた声でこのように、

「アコロ カツケマツ ソレクシ ニシパ サニ ピリカ カツケマツ アコリネ
 “a=kor katkemat sorekus nispa sani pirka katkemat a=kor h_ine

「私の妻はそれこそ長者の血統で、素晴らしい奥さんと私は結婚して、

オカアン ルウェ ネ ア イケ エ…… タネポ アウココロ ペ
 oka=an ruwe ne a h_ike e... tanepo a=ukokor pe

暮らしていて、初めて私達の間に来た子、

ピリカ マツネ マツカチ アウ…… アコロ ヒネ オカアン ルウェ ネ ア プ、
 pirka matne matkaci aw... a=kor hine oka=an ruwe ne a p,

美しい女の子を授かって、私達は暮らしていた。

イシカッ タ アナクネ イラマンテ クス エキムネアナッカ
 Iskar_ ta anakne iramante kusu ekimne=an y_akka

石狩では、狩猟するのに山に行くにも

ネプ クシ パヨカアナッカ チプ アニ パテク パヨカアン ペ ネ。
 nep kus payoka=an y_akka cip ani patek payoka=an pe ne.

何へ通うにも舟でばかり往来するものだ。

イラマンテアン クシ トオプ ペニ ウン アラパアン。
 iramante=an kus toop peni un arpa=an.

私は狩猟するために、向こうの川上へ行った。

イヨカケ タ アマチヒ…… トウレプタアン クス
 iokake ta a=macihi... turepta=an kusu

その後、オオバユリを掘るのに、

スイ チプ アニ ペツ トウラシ アラパアナイネ

suy cip ani pet turasi arpa=an ayne

また舟で川を上って行くと、

フナク タ チパヤンケ ヒネ ヘ…… トウレパシ ウシケ タ

hunak ta cip a=yanke hine he... turep as uske ta

私はどこかに舟をあげて、オオバユリが生えるところに

アラパアニネ トウレプタアナ アナイネ オラウン

arpa=an h_ineturepta=an a =an ayne oraun

行き、オオバユリを掘っていた。

アコロ ポンペ シサム タ アホツケレ ワ

a=kor ponpe sisam ta a=hotkere wa

私の子どもは自分の側に寝かせて、

トウレプタアナ アナ ルウェ ネ ア コロカ オラ

turepta=an a =an a ruwe ne a korka ora

オオバユリをどんどん掘っていたのだが、

スイ トウイ…… トウレプ チポルン アセ ウシケ タ

suy tuy... turep cip or un a=se uske ta

またオオバユリを舟の中へ、私の背中に

アコロ ポンペ ホシキ アカイ ワ チポツ タ アホツケレ ヒネ オラウン

a=kor ponpe hoski a=kay wa cip or_ ta a=hotkere hine oraun

私の子どもを先に負ぶって舟の中に寝かせて、それから

チェ…… チプ キルル…… って チプ パルル ネ ハウ だかんな (?) コロ

ce... cip kiruru... TTE cip parur ne haw DAKANNA(?) kor

舟のへり

アコシナ イネ オ…… シアチアチ (?) ヤッカ

a=kosina h_ineo... siaciaci(?) yakka

に縛り付けて、もぞもぞしても (?)

ソモ…… イヤイキプテ ソモ クニ ネ アアヌ ヒネ オラ

somo... iyaykipte somo kuni ne a=anu hine ora

あぶなくないように子どもを置いて

スイ トウレパタ クシ ケナソルン アラパアニネ サナナクシ

suy turep a=ta kus kenas or un arpa=an h_ine san=an akus

またオオバユリを掘りに林の中に行つて、そして下りていくと

ネア アコロ ポンペ オアリサム イネ オロワノ

nea a=kor ponpe oarisam h_ine orowano

私の子どもはいなくなつていて、

シアチアチ アイネ ウオロシマ ルウェ アン セコロ ヤイヌアン マ オラノ

siaciaci ayne worosma ruwe an sekor yaynu=an w_a orano

もぞもぞしているうちに(?) 水の中に落っこちてしまったと私は思つていた。

『ネウン ペツ トウラシ ペツ ペサウナラ ヤッカ イサム ルウェ ネ。』

‘neun pet turasi pet pes a=h_unara yakka isam ruwe ne.’

『どう川を上つて下つて探しても子どもがいない。』

セコロ ハウエアン コロ パラパラク コロ アヌシケ タ

sekor hawean kor parapararak kor an uske ta

と言つてわんわん泣きながら

クチャサンケアン ルウェ ネ イネ オラノ

kucasanke=an ruwe ne h_ine orano

私は狩小屋から村に下りて来た。それから

トウナネ ワ ネウン ペツ ペシ ペツ トウラシ

tun a=ne wa neun pet pes pet turasi

(妻と) 2人でどう川を下つて上つて

アフナラ ヤッカ イサム オラノ

a=hunara yakka isam orano

探しても子どもはいない。それで

アコロ カツケマツ アナク チシ アイネ チセコツ ワ イサム。

a=kor katkemat anak cis ayne cis ekot wa isam.

私の妻ときたら、泣いて、泣きすぎて死んでしまった。

オカケ タ アシヌマ カ ン…… ネノ ソモ イペアン ノ アナナイネ

okake ta asinuma ka n... neno sono ipe=an no an=an ayne

その後、私もそのように食事をすることもなく暮らして、

ラヤン ヤクン ラヤン

ray=an yakun ray=an

死ぬときは死ぬ

セコロ ヤイヌアン クシ アナン ルウエ ネ アワ

sekor yaynu=an kus an=an ruwe ne awa

と思っていたので、そうして暮らしていたのだが、

エネ エウヌフ キナ ラタシケプ ポカ カラ コロ イコアニ プ アエ。

ene e=unuhu kina rataskep poka kar kor i=koani p a=e.

あなたの母が山菜のまぜ煮だけでも作って、私に持ってきてくれたものは食べていた。

エオナ アナクネ ソンノ ウエン カシ カムイ コロ

e=ona anakne sonno wen kasi kamuy kor

あなたの父は本当に悪い憑神を持ち、

ウエン カムイ シカサニレ イ ネ クニ アラム ワ

wen kamuy sikasanire h_i ne kuni a=ramu wa

悪い神が憑いているように私は思っていて、

エネ トランネ ウエン トランネ ワ ネプ カ カラ カ ソモ キ ノ

ene toranne wen toranne wa nep ka kar ka sono ki no

父親がこのようにひどく怠けて、何もしないで

アニ ネ ヤッカ ウエエエ…… エ…… エカタヌカラ ソレクス

an h_i ne yakka ueee... e... e=kat a=nukar sorekusu

くらしながらも、あなたは将来有望だと私は見込んでいた。

タアン ヘカチ アナクネ オラ ピリカ ヘカチ ネ ノイネ イキ
 taan hekaci anakne ora pirka hekaci ne noyne iki
 この子は素晴らしい子ようだ

セコロ ヤイヌアナ イ ネノ タアン エコロ ワ エエク ペ カ
 sekor yaynu=an a h_i neno taan e=kor wa e=ek pe ka
 と私が思ったとおり、そのお前が持ってきたものも

ウパシ チロンヌプ って いうんだと
 upas cironnup TTE IUNTATO
 「白狐」って言うんだと

(萱野：ああー)

それ アコシンニヌ コロ
 SORE a=kosinninu kor
 それを絶対人に見せないで家宝として持っていて、

(萱野：うん)

パク アヌヌケ プ イサム ペ エパ ワ エエク シリ
 pak a=nunuke p isam pe e=pa wa e=ek siri
 これ以上大事にするものは無いというものをお前が見つけて来て、

パテク カ アエエコプンテカ プ
 patek ka a=e=ekopuntek a p
 それだけでも、私はお前のことを喜んでいて。

オラウネネ エエキムネ ヤク エイエ ア ポラン
 oraun ene e=ekimne yak e=ye a p oran
 (そんなある日、) このようにお前が山に行くと言い出したのだ。

エイサム マ チサン パ コロ オカアナ プ
 e=isam w_a cis=an pa kor oka=an a p
 お前がいなくて私達は泣いて暮らしていたのだ。

エネ エエク タ エネ ネ レクトウンペ アムツテ

ene e=ek ta ene ne rekutunpe a=mutte

そこで、このようにお前が来て、これこのように私が首飾りをつけた

カネ、トネ カネ^[9] セコロ アイエ、

kane, tone kane sekora a=ye,

金属、トネカネという

イコレタブ エムセタブ コトウクツペ^[10] カネ

ikor h_etalap emus h_etalap kotukuppe kane

宝刀やら太刀やらについている金属を

アメシパ ワ レクトウンペ アコトウツカ ワ アムツテ コロ

a=mespa wa rekutunpe a=kotukka wa a=mutte kor

はぎとって首飾りにつけ、それを自分の子どもにつけて、

ポ ヘネ アエオマブカラ ワ キ ア プ、

po hene a=eomapkar wa ki a p,

なおいっそう私はそれで子どもをあやし、そうしていたのだが、

ネア レクトウンペ ムツ カネ アン ペ

nea rekutunpe mut kane an pe

その首飾りをしている人を

エネ エトウラ、エエク ルウエ ネ ヤクン イサッカモモム (?) イネ

ene e=tura, e=ek ruwe ne yakun isatkamom(?) h_ine

このようにお前が連れてきたのだったら、…… (?)

アコロ ポンペ エイッカ パ ワ イシカラ プトウ ウイルプ キ ワ

a=kor ponpe eikka pa wa Iskar putu uyrup ki wa

石狩川の河口の住民が私の子どもを盗んで、

サピ ネ アアン ハウエ ネ。」

sap h_i ne aan hawe ne.”

やまを下りたということだったのだな。」

セコロ ハウエアン コロ オロワノ ルイルイパ、カシ タ チシ コロ
sekor hawean kor orowano ruyruypa, kasi ta cis kor

とおじさんは言い、娘と会えたことを喜んでなですり、その上で泣きながら

エヤイコブンテク コロ オラノ オカアナイネ ワル……
eyaykopuntek kor orano oka=an ayne waru...

喜んで、そうして私達は暮らしていました。

ネ ヒ パクノ ネ カ
ne hi pakno ne ka

いつまでも、

「にくたらしいから。」
“NIKUTARASIKARA.”

「憎たらしいから。」

セコロ ネア アアチャ ハウエアン コロ オラウン ウ…… イシレニネ
sekor nea a=aca hawean kor oraun u... i=siren h_ine

とおじさんは言っていて、私を連れて

サパン イネ イシカラ プトゥ タ サパン ルウエ ネ イネ オラノ
sap=an h_ine Iskar putu ta sap=an ruwe ne h_ine orano

下り、石狩川の河口に私達は下り、それで、

チャランケ エアア……
caranke eaa...

談判をしました。

「ソンノカ エネ ウエンカス ピリカ ルウエ アン ペ
“sonnoka ene wenkasu pirka ruwe an pe

「やはりこのようにあまりにも素晴らしい

ポンペ ネ ワ クス アエイッカ ワ サパナ ヒ
ponpe ne wa kusu a=eikka wa sap=an a hi

御嬢さんであったために、私達が盗んで下りました。このことは、

ウェナナアナウエ ネ イネ。」
wen=an aan h_awe ne h_i ne.”
 私達が悪うございました。」

セコロ ハウエオカ オラノ
sekor haweoka orano
 と石狩川の河口の人は口々に言っています。

「シルン エチライケ アナク ソモ キ ルウエ ネ ヤッカ
“sirun eci=rayke anak somo ki ruwe ne yakka
 「まさかあなた方がこの娘を殺しはしなかったとしても

アコロ カッケマツ アナクネ チサン アイネ チセコツ ワ
a=kor katkemat anakne cis=an ayne cis ekot wa
 私の妻なら、私が泣いているうちに泣いて

イサム ルウエ ネ ワ エウンカ タプ ネ アエチロンヌ ヤッカ
isam ruwe ne wa eunka tap ne a=eci=ronnu yakka
 死んでしまったのだ。本当にできるならお前達を殺したいと思うけれど、

アコロ ポンペ ポカ アナク エチシクヌレ プ、
a=kor ponpe poka anak eci=siknure p,
 我が子だけでもお前達がここまで生かしたのに、

シルン アエチロンヌ アナク ソモ キ ルウエ ネ ナ。」
sirun a=eci=ronnu anak somo ki ruwe ne na.”
 まさか私がお前達を殺すこともない。」

ハウエアン コロ コイキ ロク コイキ ロク コロ
hawean kor koyki rok koyki rok kor
 とおじさんは言う、石狩の人々をいじめていじめて

オラノ ネプ カ アシンペ エネ
orano nep ka asinpe h_ene
 何か償いでも

ウク パ ウク ワ ネ ハウエ だか アラキアニネ オラン
 uk pa uk wa ne hawe DAKA arki=an h_ine oran

おじさんは受け取りだかして、私達は戻り、

スイ アウニ タ オカアン オラノ ネア イシカラ ホントモ タ
 suy a=uni ta oka=an orano nea Iskar hontomo ta

また私の家で暮らしていました。その石狩の中流で

ネア メノコ アシクヌレ ウシケ タ スイ オヤウタアン (?) マ
 nea menoko a=siknure uske ta suy oyauta=an(?) w_a

その女を救ったところで、また…… (?)

イクアニ ネ ヤ イペアニ ネ ヤ キ クシ ネア メノコ カ
 iku=an h_i ne ya ipe=an h_i ne ya ki kus nea menoko ka

飲んだり食べたりしていたので、その女も

センネ ラム オヨ カ (?) オマ、

senne ramu oyo ka(?) oma,

本当に心が…… (?) にあって、

ネウ カ ウコイキ カトウネネ キ パ カ ソモ キ シリ
 new ka ukoyki katun h_ene ki pa ka somo ki siri

どうにも喧嘩する素振りもなく、その様子に

アエラムシンネ コロ オラウン

a=eramusinne kor oraun

私は安心して、

アウニ タ アラキアン マ オラウン ネア ポン メノコ ナニ
 a=uni ta arki=an w_a oraun nea pon menoko nani

自分の家に戻って、その若い娘をすぐに

ネア アアチャハ イコレ ワ オカアン マ

nea a=acaha i=kore wa oka=an w_a

おじさんは私の嫁にくれて、そうして私達はくらしていました。

エアシリ ユプテク カ キ ポシレシクテ カ キ ワ

easir yuptek ka ki posiresikte ka ki wa

彼女はまことに働き者で、子どもをたくさん授かり、

アシヌマ アナク オロワノ あれも コント

asinuma anak orowano AREMO konto

私はそれから

ネプ カ ネイ タ カ アエラナク ペ アン コロ モトホ アエラムアン。

nep ka ney ta ka a=eranak pe an kor motoho a=eramuan.

何でもどこでも人が困っていることの原因がわかるようになった。

(萱野：あー。)

モトホ アヌカラ ワ

motoho a=nukar wa

そのわけを見て

(萱野：うん。)

ネワアンペ トウ アタイ シリ レ アタイ シリ アイコレ ア…… コロ

newaanpe tu atay siri re atay siri a=i=kore a... kor

それで、その二倍三倍の値に見えるものをもらって、

オカアン オラ ネア ア…… アオナ アナクネ

oka=an ora nea a... a=ona anakne

私達は暮らしていました。あの父親は

エネ トランネ ワ ホッケ ワ アナイネ

ene toranne wa hotke wa an ayne

怠けて寝っころがっていて、そのあげく、

ウエン エコツ コロカ シンリッ ネ クス

wen ekot korka sinrit ne kusu

ひどい死に方で死んだのですが、それが先祖なのだから

セコロ ランマ ラムオカアン クス

sekor ramma ramuoka=an kusu

といつも思っていました。それで、

アピリカエヤイラムヌイナ ルウェ ネ ヒネ オラノ

a=pirkaeyayramunuyna ruwe ne hine orano

私は大事にそれを葬りました。

オカケ タ ネア ポン メノコ コ…… アコロ ワ

okake ta nea pon menoko ko... a=kor wa

その後、その若い娘と私は結婚して、

ネア アアチャハ カ アピリカオンネレ、

nea a=acaha ka a=pirkaonnere,

おじさんも立派にあの世に送り

アウヌフ カ アピリカオンネレ オラン

a=unuhu ka a=pirkaonnere oran

私の母も立派にあの世に送りました。それから

ネア アコロ ポンメノコ トウラノ オラ ネア イシカラ ホントモ ウン

nea a=kor ponmenoko turano ora nea Iskar hontomo un

若い娘と一緒に、その石狩の中流にある

オロ タ メノコ アシクヌレ ワ オッカイポ トウラノ イリワク シン ネ

oro ta menoko a=sikunure wa okkaypo turano irwak sir_ ne

ところで私は女を生き延びさせたところの若者と兄弟のように、

トウイマ コロカ ウコアプカサニネ ヤ エサン クシ ネ コロ

tuyma korka ukoapkas=an h_inne ya esan kus ne kor

遠いけれど私達は一緒に歩いて、若者は網漁をする時には

イヌレ ワ アトゥラ ワ ウコヤコラン コッ チェプヌコオカアン マ

i=nure wa a=tura wa ukoyakor=an kor_ cepnukooka=an w_a

私を誘い、私と一緒に網漁をして魚をたくさん獲って

アラキアン ネ ヤ キ コロ シノ ニシパ アネ ワ オカアン クス

arki=an ne ya ki kor sino nispa a=ne wa oka=an kusu

きたりして、私は大長者になったので、

エネ アエイッカ ポン メノコ アパ ワ

ene a=eikka pon menoko a=pa wa

このように盗まれた若い娘を見つけて、

マツ ネ アコン ルウエ ネ セコロ。

mat ne a=kor_ ruwe ne sekor.

妻として結婚したのですよ、と。

(萱野：ああー。)

【注】

- [1] arpa kor anpa=an wa an : 前の arpa に人称接辞がついていないので、a=anpa wa an は arpa=an を言い直した箇所かもしれない。
- [2] sikasanire : 「～に憑く」であろうか。語構成は、「si-kas-ani-re 自分・の上・を持つ・させる」。
- [3] 『萱野辞典』(p. 158)によると、erasraske pon hekaci は「河童(かっぱ)」のことを指す。また、erasraske は「痂が生じる」(「痂」は「かさぶた」のこと)という意味であるらしい(『知里人間篇』p. 101)。eraske は「…のいない所を切り取る」(『沙流方言辞典』p. 117)。
- [4] 自分を鼓舞するために、自分に向かって言っている。
- [5] osoro は「尻」だが、この場合は後ろの部分ではなくて、前のほうのことを言っている。
- [6] a=i=koyairayke haw kokari : 「人々が皆で私に感謝の言葉を言う」というのが直訳である。参考は、『沙流方言辞典』(p. 321)の yayapapu haw kokari 「皆で口々謝る」。
- [7] assaeyupu で「漕ぐ(力いっぱい櫂を漕ぐ)」(『萱野辞典』p. 21)。assaeyuppa はその複数形。
- [8] 着物をまくりあげられて、股の間からねずみを引っ張り出されたことを言っている。
- [9] tone kane。『久保寺辞典稿』(p. 276)に「刀の部分名」とある。
- [10] kotukuppe : pone kotukup kam で「骨についている肉」(『久保寺辞典稿』p. 211)。

17-3 ウエペケレ「トランネ アオナ トウラ オカ アン」解

説

語り手：鍋澤ねぶき
聞き手・解説：萱野茂

萱野：この uepeker [散文の物語] のあれは、toranne a=ona tura oka=an [なまけ者の私の父親と一緒にいた] と

鍋澤：うん。

萱野：あたくしは一人のアイヌの子供でした、と。わたくしの父は、いわゆるからっぽやみ [なまけ者] で、寝てばかりおる、と。

鍋澤：iyohay [おやまあ]。

萱野：そして、あたしの母だけがいろいろなことをして、あたしたち生活をしておる。隣でおじさんが一人おって、そこへも母のつくったものを持って行って食べさしたりする。

そうするとおじさんのほうが弓矢をつくって、えー、私にくれ、それを持って帰ると、父のほうはそれを折って捨てたりというふうにする、と。

そうこうしておるうちに、えー、upas cironnup [オコジョ] といって、白キツネの、をみつけて、

鍋澤：うん。

萱野：それをその、守護神、守護神、いわゆる、それを自分の守り神としたので、

鍋澤：うん、うん。

萱野：なおさら、その、よかった、と。それが、まあ、それを守り神にしてか

ら、いろいろな、その、病気の原因だとか困る原因だとか分かるようになったので、えー、みなに助けたというような筋で、始まっていくわけですね？

鍋澤：うん、うん。

萱野：これは、toranne a=onaha i=resu [なまけ者の私の父が私を育てる] からっ……あ、いや、toranne a=onaha tura oka=an [なまけ者の私の父と一緒に暮らしていた]、「からっぼやみの父と我育っておる」という題ですね。

鍋澤：うん。

萱野：uepeker [散文説話]。

17-4 カムイユカラ

「カンヌサカチューレ」

クマゲラとウミスズメの由来

語り：鍋澤ねぷき

V=カンヌサカチューレ

V=kannusakacure

だから

V マクン マサラ

奥の砂浜と

V makun masar

サンケ マサラ

手前の砂浜の

sanke masar

ウトウルフ タ

間に

uturuhu ta

V ポン イタヤ

小さい板屋が

V pon itaya

アン ルウエ ネ

ありました

an ruwe ne

V ネア イタヤ

その板屋は

V nea itaya

V ピシ ワ アラケヘ

浜側の片面に

V pis wa arkehe

V レプ タ ロク ペ V rep ta rok pe	沖にいるものが
ニツネ ヒケ nitne hike	悪い神も
ペケレ ヒケ peker hike	善神も
トゥ ノカ オロケ tu noka orke	数多の姿が
アエヌイエカラ a=enuyekar	彫られていました
V キム マ アラケヘ V kim w_a arkehe	山側の片面には
V キム タ ロク ペ V kim ta rok pe	山にいるものが
ニツネ ヒケ nitne hike	悪い神も
ペケレ ヒケ peker hike	善神も
トゥ ノカ オロケ tu noka orke	数多の姿が
アエヌイエカラ a=enuyekar	彫られていました
V エエパキ タ V eepaki ta	その次に

V メノコ クワ V menoko kuwa	女の墓標と
オッカヨ クワ okkayo kuwa	男の墓標が
アン ルウエ ネ an ruwe ne	ありました
V メノコ クワ V menoko kuwa	女の墓標
V コッ サランペ V kor_ saranpe	についている絹織物を
V へ…… オマウスイエイエ ^[1] V he... omawsuyeye	風がゆらゆら揺らし、
オマウテスス ^[2] omawtesusu	風がそらしそらししています
V イウオロ ソ クルカ V iwor so kurka	獵場の上に
オパラセ ^[3] ワ oparse wa	宙を舞って
アラパ ヒケ arpa hike	行ったほうは
V トイコムニン V toykomunin	土とともに腐ってしまうのは
エヤイヌヌケ クス eyaynunuke kusu	もったいないので

ヤイカラ カトウ yaykar katu	変身した姿は
V ヤラペニ ネ ルウエ ネ V yarpeni ne ruwe ne	カンボク（肝木）でした
V チカプ ネ ヒケ V cikap ne hike	鳥になったほうは
V チプタチカプ V ciptacikap	舟を彫る鳥（クマゲラ）
ネ ルウエ ネ ne ruwe ne	になったのでした
V アトウイ ソ クルカ V atuy so kurka	海面の上へ
オパラセ ワ oparse wa	宙を舞って
アラパ ヒケヘ arpa hikehe	行ったほうが
V ヤイカラ カトウ V yaykar katu	変身した姿は
メナスキ menasuki	ウミスズメ
セコロ アイエ チカプ sekor a=ye cikap	という鳥
ネ ルウエ ネ (セ)コロ ne ruwe ne (se)kor	だったのです、と。

【注】

- [1] o- 「～の尻」 maw 「風」 suyeye 「～をゆらゆら揺する (suye の重複形)」で「風が～をゆらゆら揺する＝風で揺れる」。『沙流方言辞典』に「omawsuye 【自動】 [o-maw-suye その尻・風・ゆらす] (その尻が) 風でゆれる」とある。
- [2] o- 「～の尻」 maw 「風」 tesusu 「～を反らし反らしする (tesu の重複形)」で「風が～をそらしそらしする＝風でそれる」。
- [3] o- 「〈場所〉に」 parse 「宙を舞う」

17-5 カムイユカラ「カンヌサカチューレ」日本語交じりで

内容説明

語り手：鍋澤ねぶき
聞き手・解説：萱野茂

鍋沢：(sine(?))an... nen neanta hawas hi [ある日聞いたのは]、もうあの sine huci ye p ne kusu [ひとりのおばあさんが言ったことなので]、その、今はしないけども、昔 anakne [は]、あの、死んだ人 toma a=kokari する [ござにくるむ] べし [でしょう]。

kor [そして] この sinninup [ござピン (ござどめ)] って、あの、yarpeni ani imanit [カンボクで魚焼き串] みたいものを a=kar wa [作って] ani [それでもって] その toma [ござ] 離れないように ani [それでもって] しっかりとめるんだ。

で、今度あの、その、死んだ人 a=kopuni aep [供える食べ物] さ、pasuy ne ka a=kar wa [箸としても作って]、ne pasuy a=etarare [その箸を供物に刺す] したり、kimne wa... wa kusu ne yarpeni sekor a=ye cikuni anakne [山に行ったので、そのカンボクという木は] kaskamuye pirka cikuni ka somo ne wa [その憑き神が良い木ではなくて] nep ka hekattar esinot i... [何かで子供らが遊ぶのには (よくない)]。とってまああの、ipasi pirka たか [良い木材だから]、ki cikuni [する木] だ。

ne wa [であって]、ちよんと [丁度] あの、あのサビタ [ノリウツギ] っていう木あるべさ。あのよな木だんだ。

萱野：肌がね。

鍋澤：うん肌ね、うんだから、

萱野：削った肌がな、外 kapuhu [外皮] は違うけどな。

鍋澤：違うけども。

hekattar esinot kor [子供らがそれで遊ぶと] それは、何……、hekattar esinot [子供らがそれで遊ぶ] するもんでない、sekor he... huci

utar haweoka wa [とおばあさんたちが言っていて] 聞いたけども、その yarpeni [カンボク] っていう ci... cikuni [木] 薬だ。

萱野：うん。そうだな。

鍋澤：薬だ。あの腎臓ってゆって、小便詰まりして……する人、あれ飲めば治るんだ。

sine an kur_ne [ある人が]小便詰まり wa[して]、まるっで ci hupka pe ku=tuye wa ku=korpore wa [ひどく陰茎を腫らした人に、私が（カンボクの木を）切って与えて] それ飲んで治った人いるんだ。

萱野：この yarpeni [カンボク] と ciptacikap [クマゲラ] ともうひとつ何になったちゅったけ？ pis un arpa p [浜に行ったもの]

鍋澤：episne arpa p [浜のほうへ行ったもの] はあの、menasuki^[1] sekor a=ye cikap [ウミスズメっていう鳥]

萱野：あー、menasuki [ウミスズメ]

鍋澤：ponno sapaha [ちょっと頭] だか、どこだか hure kane oka cikap [赤くなっている鳥] いるもんだ話だ ne okay pe [それが]

萱野：pis ta? [浜に?]

鍋澤：うん。pis ta. repun cikap ne. [浜に。それが沖の鳥だ。]

萱野：この ciptacikap [クマゲラ] になったということは、ciptacikap kesokeso している [クマゲラは模様がついている] からあれ、あー、utokiat^[2] [墓標に巻く紐] ってもんみたいな

鍋澤：うん、んだんだ。

萱野：そういう関係もあるわけ。かもしれないな。

鍋澤：うんうんうんうん、そうだそうだ。そうだそうだ。

萱野：うん、そうかい。はい、どうもありがとうございます。

【注】

- [1] 『知里動物篇』には、menashuke で「ホウジロガモ」という記載もある。ここではどちらのことかは不明だが、「ちょっと頭 だか、どこだか赤くなっている鳥いるもんって話だ」ということからすると、ウミスズメ類にくちばしの赤いものがあるので、こっちを指しているのかもしれない。
- [2] utokiat 「墓標に巻く紐」シナ皮の黒白の4本編みの細紐（『萱野辞典』）。黒白斑点のような模様はクマガラよりもむしろヤマゲラなどの他のゲラ類に見られることを考えると、ここでの ciptacikap はいわゆるキツツキを広く指している可能性もある。

17-6 ウエペケレ

「アコロ エカシ イレス」

私はおじいさんに育てられた

語り：鍋澤ねぶき

シネ ヘカチ アネ ヒネ アナニケ
 sine hekaci a=ne hine an=an h_ike
 私は一人の少年であって

アエカシ イレシパ ワ オカアン ペ ネ コロ
 a=ekasi i=respa wa oka=an pe ne kor
 私のおじいさんが育てていたのだが

アエカシ スケ ヘネ キ カ ソモ キ ノ
 a=ekasi suke hene ki ka somo ki no
 おじいさんは料理もせず

シロヌマン コロ セセク アエプ アン マ アエ
 sironuman kor sesek aep an w_a a=e
 夜になるとあたたかい食べ物があってそれを食べ

クンネイワ アン コロ スイ セセク アエプ アン マ アエ コロ
 kunneywa an kor suy sesek aep an w_a a=e kor
 朝になるとまたあたたかい食べ物があってそれを食べ

アエカシ テク (?) イレス ワ
 a=ekasi tek(?) i=resu wa
 おじいさんは私をちょっと (?) 世話して

アエカシ アナク アペ ウシ ワ ホッケ ワ パテク アン コロ ヒケ カ
 a=ekasi anak ape us wa hotke wa patek an kor hike ka
 おじいさんは火が消えると寝るだけでいて

スケ カ ソモ キ ヤッカ

suke ka somo ki yakka

料理もしないのに

アエプ オカ ワ アエ コロ オカアン ペ ネ イケ

aep oka wa a=e kor oka=an pe ne h_ike

食べ物があって、それを私は食べて、私たちは暮らしていたのだが

ルウェ ネ アクス シネ アン タ エネ ハウエ アニ

ruwe ne akusu sine an ta ene hawe an h_i

すると、ある日おじいさんはこう言った

「アコロ ヘカチ ホッケ トウナシ。

“a=kor hekaci, hotke tunas.

「ぼうや、早く寝なさい。

シリペケレ イネ エイペ ワ オラ エホッケ プ ネ ナ。

sirpeker h_in e=ipe wa ora e=hotke p ne na.

明るくなったら食事してそれから寝るのだよ。

タヌクラン ネ アナクネ ネウン ハワシ ネウン フマサッカ

tanukuran ne anakne neun hawas neun humas y_akka

今晚はどんな話し声、どんな物音が聞こえても

イテキ ホプニ イテキ エ^[1]ハウエ アシテ ノ エホッケ ワ エアン ペ ネ ナ」

iteki hopuni iteki e=hawe aste no e=hotke wa e=an pe ne na.”

起きずに声を出さずに寝ているのだよ。」

セコロ ア…… アコロ エカシ イイエ コロ オカアン

sekor a... a=kor ekasi i=ye kor oka=an

とおじいさんは私に言いながら、私たちはいて

ホッケ ワ アペ ホシ コロ カシ タ

hotke wa ape hosi kor kasi ta

おじいさんは寝て火に背をむけて、その上で

レタラパシ メウエウケ コロ

retarpas mewewke kor

(積もった) 灰が崩れ落ちながら

ホッケ ワ パテク アン アコロ エカシ ネ コロカ

hotke wa patek an a=kor ekasi ne korka

おじいさんは寝てばかりいたのだが

オラノ エネ スケ カ ソモ キ コロカ

orano ene suke ka somo ki korka

それからそのように料理もせずにいるのに

ア…… セセク アエプ アン マ アエ コロ オカアン ペ ネ ア プ

a... sesek aep an w_a a=e kor oka=an pe ne a p

あたたかい食べ物があってそれを食べていたところ

エネ ハウエアン クス エネ ハウエアニ ネノ オラウン

ene hawean kusu ene hawean h_i neno orawn

これこれこのように言ったので、言われたとおりに

「シリペケレ ワノ イペアニネ

“sirpeker wano ipe=an h_ine

「明るくなってから食事して

オラ ホッケアン ネウン ハワシ ネウン フマサッカ

ora hotke=an neun hawas neun humas y_akka

寝てどのような話し声がしてどのような物音がしても

イテキ エホプニ プ ネ ナ」

iteki e=hopuni p ne na.”

決して起きるのではないよ。」

セコロ アエカシ イイエ プ ネ クス

sekor a=ekasi i=ye p ne kusu

とおじいさんは私に言うので

ホッケアニネ アナン ルウェ ネ アクス
 hotke=an h_ine an=an ruwe ne akusu
 私は寝ていると

タネ シリクンネ テク アクス
 tane sirkunne tek akusu
 もう暗くなると

オロワノ チセ ピシカン チキソキシソ ハウエ エネ アニ
 orowano cise piskan cikisokiso hawe ene an h_i
 家の周りがざわざわしてこう聞こえた

ウコピヤカカカカ パ ペ…… パヨカ ハウエ アシ ハウエ エネ アニ
 ukopiyakakakaka pa pe... payoka hawe as hawe ene an h_i
 こそこそ話し合って(?) 歩き回る音がしてこう聞こえた

「オピッタ アロンヌ フミ ネ クナク アラム ロク ペ
 "opitta a=ronnu humi ne kunak a=ramu rok pe
 「全部殺したと思っていたものの

ナ ネプ カ アン ノイネ イラムアン マ アラキアナワ
 na nep ka an noyne iramu=an w_a arki=an awa
 まだ誰かいるような気がして来たが

ネプ クス アイヌ アン ウシケ ネ コロカ ヘ (?)
 nep kusu aynu an uske ne korka he(?)
 何か人間がいるところであるけれども

エネ エイタサ イコラムヌクリアン フミ アン」
 ene eytasa ikoramnukuri=an humi an."
 このようにひどく怖い気がする。」

セコロ ウコピヌピヌ ハウ アシ
 sekor ukopinupinu haw as
 とこそこそ話している声がする

チセ ピシカン チキシソ アイネ エネ ハワシ

cise piskan cikisokiso ayne ene hawas h_i

家の周りがざわざわして、このように聞こえた

「ヘタク、トゥ ウタラパ、シサノンカラ ワ インカラ ヤン」

"hetak, tu utarpa, sisanonkar wa inkar yan."

「ほら、二人の若者よ、様子を見て来なさい。」

セコロ スイ ウコピヌピヌ ハウ アヌ ルウェ ネ アクス

sekor suy ukopinupinu haw a=nu ruwe ne akusu

とまたこそこそ話す声が聞こえると、

オラウン ネプ カ アフプ ノイネ

orawn nep ka ahup noyne

それから誰か家に入ってきたらしく

ネア アエカシ アペ ウナ ワ アペ トイ シンリチ プス ワ

nea a=ekasi ape una wa ape toy sinrici pusu wa

私のおじいさんは火を埋けて火の土の根(?)を掘り起こして

アペ ウナ ヒネ ホツケ ヒネ コトム アン

ape una hine hotke hine kotom an

火を埋けて寝たように思われて

「ネプ オラ エネ アシヌマ カ ネウン ハワシ ネウン フマサッカ

"nep ora ene asinuma ka neun hawas neun humas y_akka

「何かあれから私も何か話し声や物音が聞こえたけれど

イキヤ エハウエアシテ イキヤ エホプニ ナ」

ikiya e=haweaste ikiya e=hopuni na."

絶対に声を出すな、絶対に起きるなよ。」

セコロ アエカシ イエ プ ネ クス

sekor a=ekasi ye p ne kusu

とおじいさんは言うので

ホツケアン マ アナン ルウェ ネ アクス エネ ハワシ ア プ
 hotke=an w_a an=an ruwe ne akusu ene hawas a p
 私は寝ていると、このように聞こえた声と

トゥラ ネプ カ アフプ ノイネ エラムアニ クス
 tura nep ka ahup noyne eramuan h_i kusu
 ともに誰か入ってきたように思われたので

イコカヌアン マ アナン ペ ネ クス
 ikokanu=an w_a an=an pe ne kusu
 盗み聞きしていると

アパ サムン キニツ アエタイェ フム ネ ノイネ フマシ ヒ クス
 apa sam un kinit a=etaye hum ne noyne humas hi kusu
 (誰かが) 戸のそばのカヤを引き抜いたように聞こえたので

オラウン ネア チュナ アペ オロ アエポイポイエ アクス
 oraun nea cuna ape or a=epoypoye akusu
 その埋けてある火をかき回すと

ウフイ ヒネ シリマクナタラ ルウェ ネ ヒ クス
 uhuy hine sirmaknatara ruwe ne hi kusu
 燃えて明るく輝いたので

トゥサ プイ カリ インカラナクス
 tusa puy kari inkar=an akusu
 袖穴を通して見ると

ネア アエカシ オアラ イサム イネ オラウン
 nea a=ekasi oar isam h_ine oraun
 その私のおじいさんはいなくなって

タプネ アン クニ シオンネ シユク
 tapne an kuni sionne siyuk
 そこにいるのは大層年取った雄熊であった

タネ ホピタ クニ ネノ カネ

tane hopita kuni neno kane

今にも走り出しそうにして

エ…… アエカシ アン ウシケ タ アン マ アン ルウェ アヌカリクス

e... a=ekasi an uske ta an w_a an ruwe a=nukar h_i kusu

おじいさんがいたところにいるのを私は見て

ナニ ア…… アサパハ アセシケ テク クス

nani a... a=sapaha a=seske tek kusu

すぐ頭をさっと覆ったので

ネロク ペ XXX スネカラ ワ インカン ロク ペ

nerok pe XXX sunekar wa inkar_ rok pe

さっきのものはXXX明かりをつけて、(二人は)見たが

コント チュトムコホツパ (?) イネ

konto cutomkohoppa(?) h_ine

今度二人は互いを置いて (?)

チソイエカッタ チソヨクタ ペ ネア……

cisoyekatta cisoyokuta pe nea...

外に飛び出して、転げ出して

ネア タプネ アン クニ シオンネ シユク ハ…… ハウ コ メシコサンパ コロ

nea tapne an kuni sionne siyuk ha... haw ko meskosampa kor

その大層年取った雄熊がうなり声をあげながら

チソエカッタ ヒネ アクス オロワノ チセオカリ ウエンパラパラカウ

cisoekatta hine akusu orowano ciseokari wenparaparak h_aw

外へ飛び出すと、家の周りに泣きわめく声、

ウエン キマク^[2] アウ チャロシルシ^[3]

wen kimak h_aw carosirusi

驚いた声が大地に広がり (?)

オロワノ チセ ピシカン オピウキ ワ

orowano cise piskan opiwki wa

家の周りに襲ってきて

オロワノ パラパラク ハウ ペウタンケ ハウ シンロイセ フミ アイネ

orowano parapararak haw pewtanke haw sinroyse humi ayne

わんわん泣いて危急の叫びをあげているうちに

オカケ アン コロ オラ ラポク シリペケレ ヒネ ホプニアナクス

okake an kor ora rapok sirpeker hine hopuni=an akusu

それが止むと、そのうちに明るくなって、起きてみると

アコロ エカシ ア ワ アン

a=kor ekasi a wa an

おじいさんが座っていた、

オロ タ ホプニアン ルウェ ネ アクス オラウン エネ ハウエアニ

oro ta hopuni=an ruwe ne akusu oraun ene hawean hi

そこで私が起きるとこう言った

「タア イパナケ タ インネ コタン アン マ オロ タ

"taa i=panake ta inne kotan an w_a oro ta

「この下手に人が多く住む村があつて

エアチャ ウタリ カ エユプ ウタリ カ オカイ ペ ネ ナ

e=aca utari ka e=yupu utari ka okay pe ne na

お前のおじさんたちもお前の兄さんたちもいるのだよ

エウン サン マ

eun san w_a

そのほうに降りて

『アアチャハ アタク』

‘a=acaha a=tak.’

『おじさんを迎えに来た。』

セコロ エハウエアン コロ エサン ヤク ピリカ ナ。」

sekor e=hawean kor e=san yak pirka na.”

と言って降りなさい。」

セコロ カネ ハウエアン ヒ クス

sekor kane hawean hi kusu

と言ったので

オラウン サナン ルウェ ネ アクス ソンノ カ インネ コタン アン ヒネ

oraun san=an ruwe ne akusu sonno ka inne kotan an hine

降りるとたいへん栄えた村があつて

オラノ コタン ノシキ タ モシリ パク チセ アン ナ

orano kotan noski ta mosir pak cise an na

それから村の真中に島ほども大きい家があつた

「オロ タ エアフン ペ ネ ナ」

"oro ta e=ahun pe ne na.”

「そこにお前は入るのだよ」

セコロ アアチャ…… アエカシ イイエ プ ネ クス

sekor a=aca... a=ekasi i=ye p ne kusu

とおじいさんが私に言ったので

アフナン ルウェ ネ アクス アイヌ カ ウタラパケ オカ アイネ

ahun=an ruwe ne akusu aynu ka utarpake oka ayne

私は入ったところ、立派な男たちがいて

「タプネ カネ アエカシ イレシパ ワ オカアン ア プ

“tapne kane a=ekasi i=respa wa oka=an a p

「このようにおじいさんは私を育てていたのだが

アアチャハ エタク ヤク ピリカ セコロ ハウエアン マ サナン」

a=acaha e=tak yak pirka sekor hawean w_a san=an”

おじいさんを招くと良いとおじいさんは言って、私は降りてきた」

セコロ イタカン アクス

sekor itak=an akusu

と私は言う

オラウン ウトモホサラパ ルウェ ネ ヒネ

oraun utomohosarapa ruwe ne hine

互いに顔を見合わせて

オラウン エカニネ アナナクス…… ネ ルウェ ネ アクス

oraun ek=an h_in_ine an=an akusu... ne ruwe ne akusu

それから家に戻ると

ネロク トウ ウタラパ ウトゥラ ヒネ アラキ オシ インカラナクス

nerok tu utarpa utura hine arki os inkar=an akusu

あの二人の立派な男性と一緒にやってきた。後から見ると

イ…… イカヨプ セコロ アイェ プ ネ ノイネ オカイ ペ

i... ikayop sekor a=ye p ne noyne okay pe

矢筒と呼ばれるらしきものを

セ パ ヒネ アラキ プ ネ シリ イキ

se pa hine arki p ne siri iki

背負って来た様子で

アウン…… イエトク ペカ アフプ ルウェ ネ アクス インカラン アクス

aun... i=etok peka ahup ruwe ne akusu inkar=an akusu

私より先に家に入って、見ると

タ…… ネア ウクラン ネ アヌカラ タプネ アン クニ シオンネ シユク

ta... nea ukuran ne a=nukar tapne an kuni sionne siyuk

あの昨晚に私が見たような大層年取った雄熊が

ロルン プヤラ オメウテクテク ヒネ ソイネ

rorun puyar omewtektek hine soyne

神窓をメリメリいわせて外に出て

オシ ア…… アチョッチャ シンネ ノイネ シリ キ ルウェ ネ
 os a... a=cotca sirnne noyne siri ki ruwe ne
 その後を矢で射られたようであった。

オラノ パラパラカン コロ アフナン ルウェ ネ アクス
 orano parapararak=an kor ahun=an ruwe ne akusu
 それから私は泣きながら家に入ると

「イテキ エチシ ペ ネ ナ ネ ナ」
 "iteki e=cis pe ne na ne na."
 「決して泣くのではないぞ。」

セコロ ネロク アアチャ ウタリ ネ ヤク アイェ プ ハウオカ クス
 sekor nerok a=aca utari ne yak a=ye p hawoka kusu
 とそのおじさんだという人たちがそう言ったので

オラ シラナ ヘ ネ オシ パイエ アクス
 ora sirana he ne os paye akusu
 それからXXXの後ろを行くと

「ネ タプネ アン クニ シオンネ シユク スマウ ネ ワ アン ルウェ ネ」
 "ne tapne an kuni sionne siyuk sumaw ne wa an ruwe ne"
 「あの大層年取った雄熊はしとめられたのだ」

セコロ ハウエオカ コロ
 sekor haweoka kor
 と言うと

オラウン アニ なんでも その トウパットウミ アニ
 oraun ani NANDEMO SONO tupattumi ani
 それから、何でもその、夜討ちでもって

ウニヒ その ウタリ アロンヌ ワ イサム ペ^[4]
 unihi SONO utari a=ronnu wa isam pe
 家の者たちは殺されてしまって

オラウン ネア カムイ ネロク ウタラ リパ ヒネ

oraun nea kamuy nerok utar ripa hine

それからその熊を彼らは解体して

ソレクス カムイ ホプニ クニ オッカシ タ アホプニレ ルウェ ネ アクス

sorekusu kamuy hopuni kuni okkas ta a=hopunire ruwe ne akusu

それこそ通常の熊送りより立派に神の国へ送ると

オラウン ウェンタラパン ヘカチ アネ コロカ

oraun wentarap=an hekaci a=ne korka

それから私は夢を見た。私は少年ではあるが

ウェンタラパン フミ エネ…… ネ プ

wentarap=an humi ene... ne p

このような夢を見た。

「ソレクス エオナハ ポ ヘネ アコマラットネ ワ

"sorekusu e=onaha po hene a=komarattone wa

「それこそお前の父親はたいそう私を祀ってくれて

イノミ イピリカノミ イピリカホプニレ ワ

i=nomi i=pirkanomi i=pirkahopunire wa

私をよく拝んで私をよく送り返して

アエヤイライケ プ エオナハ ネ アワ

a=eyairayke p e=onaha ne awa

私が感謝したのがお前の父親であったのだが、

エネ…… トパットウミ コアン ウシケヘ タ ポン…… ポンペ エネ ヒネ

e=ne... topattumi koan uskehe ta pon... ponpe e=ne hine

夜討ちをうけたところに赤ん坊のお前がいて、

イナウチパ エコホラクテ コロ

inawcipa e=kohorakte kor

(お前の父は) お前の上に幣柵を倒しながら

『アノミ ヒケ インネプ カムイ ネ ロク

'a=nomi hike innep kamuy ne rok

『私の奉っているたくさんの神々よ、

ネア タプ エネ アエカラ シンネ チキ

nea tap ene a=ekar sinne ciki

例のこのように私がしますので

インキ カムイ インキ ピト ネ アッカ

inki kamuy inki pito ne y_akka

どの神もどのお方も

タアン ポンペ シクヌレ ワ イコレ ヤン』

taan ponpe siknure wa i=kore yan.'

この赤ん坊を生かしてやってください。』

セコロ ハウエアン コロ

sekor hawean kor

と（お前の父は）言いながら

イナウチパ エク…… エコホラクテ ルウエ ネ コロカ

inawcipa ek... e=kohorakte ruwe ne korka

幣柵をお前の上に倒したのであったけれど

カムイ オピッタ シツカムク ウシケ タ

kamuy opitta sikkamuk uske ta

神は皆見ないふりをしているところで、

エネ タプネ イノミ ヒケ アエヤイカムイネレ プ エオナハ ネ アワ

ene tapne i=nomi hike a=eyaykamuynerere p e=onaha ne awa

あのように私を拝んで私を立派な神にしてくれたのはお前の父親であったのに、

エモシマノ アナン ヤクネ シンリッ カ イコパク ワ

emosmano an=an yakne sinrit ka i=kopak wa

知らんふりをすれば先祖も私をとがめる

セコロ ヤイヌアン クス オラウン アイヌ ネ ヤイカラシ マ
sekor yaynu=an kusu oraun aynu ne yaykar=an w_a
 と私は思ったので私は人間に姿を変えて

アエレ…… エ…… アエレス ルウェ タネ タ パクノ ネア ヤッカ
aer... e... a=e=resu ruwe tane ta pakno nea yakka
 お前を今まで育ててきたけれど

タネ パクノ ポカ エアン カ キ タネ シニウカアン カ キ クス
tane pakno poka e=an ka ki tane siniwka=an ka ki kusu
 ここまでだけでもお前が（大きく）なり、私も疲れたので（?）

カムイ オルン アラパアン ルスイ ルウェ ネ アワ
kamuy or un arpa=an rusuy ruwe ne awa
 神のところに私は行きたくなかったのだが

スイ ネロク カメアシ ウタラ スプヤ アッ シリ ヌカラ パ プ ネ クス
suy nerok kameasi utar supuya at sir nukar pa p ne kusu
 また例の魔物どもが煙のたっている様子を見て

ナ ネプ カ アン クナク ラム パ ワ
na nep ka an kunak ramu pa wa
 まだ誰かいると思って

エ…… エロンヌ クス アラキ イ アエラムアン マ クス
e... e=ronnu kusu arki h_i a=eramuan w_a kusu
 お前を殺しに来たのだと私は気付いたので

アエヌイナクテ ヒネ ワ…… ルウェ ネ クス
a=e=nuynakte hine wa... ruwe ne kusu
 お前に隠れるように言ったのであって

アプンノ オロ タ ア…… アラキ ウタラ アナク
apunno oro ta a... arki utar anak
 無事にそこに来た者たちは、

エウタリ ヒネ…… エ…… エアチャ ウタラ ネ ヒ クス

e=utari hine... e... e=aca utar ne hi kusu

お前の親戚、お前のおじさんたちであったので

オロ タ エサン マ アエレス ヤクン オラウン

oro ta e=san w_a a=e=resu yakun oraun

そこにお前が降りていってお前を育てることを

タオカ ウタラ カ アエウエンタラプテ ワ シラン ルウェ ネ クス

taoka utar ka a=ewentarapte wa siran ruwe ne kusu

今言った者たちにも私が夢で見させて知らせておいたので

ヌプ…… ヌプリ コロ カムイ セコロ イタカナツカ

nup... nupuri kor kamuy sekor itak=an y_akka

山の神と言うけれど

ソンノ パセ カムイ ポホ アネ ワ アナン ルウェ ネ クス

sonno pase kamuy poho a=ne wa an=an ruwe ne kusu

非常に尊い神の息子で私はあったので

イノミ ヤクネ アエヤイカムイネレ ワ エポロ ヤクン オラウン

i=nomi yakne a=eyaykamuynera wa e=poro yakun oraun

私を奉れば私は立派な神となって、お前が大人になったら

エネ エオナ イキ イ ネ ア クス アイコマラットネ パ キ ヤクン

ene e=ona iki h_i ne a kusu a=i=komarattone pa ki yakun

このようにお前の父親がしてくれたので、私を送ってくれば

ネワアンペ アエヤイカムイネレ オラ イシムネ

newaanpe a=eyaykamuynera ora isimne

それで私は立派な神となる。明日

エアニ カ エアチャ ウタリ オロ タ エサン ワ

eani ka e=aca utari oro ta e=san wa

お前もお前のおじさんたちのところにおいて、

エアン ヤクン アレンカイネ ネ クス

e=an yakun a=renkayne ne kusu

暮らしていれば、私のおかげで

ネウカ アニ アエコレウエン カ ソモ キ ワ

newka ani a=e=korewen ka somo ki wa

何も運の悪いこともなく

ピリカ スクプ エキ ワ ポ カ エコロ ヤクン

pirka sukup e=ki wa po ka e=kor yakun

お前がよく育ち子供もできたならば

ネノ サスイシリ パクノ イノミ

nenno sasuisiri pakno i=nomi

同じようにいつまでもお前は私を奉り、

サスイシリ パクノ アエエブンキネ カ キ クシ ネ ナ」

sasuisiri pakno a=e=epunkine ka ki kus ne na”

いつまでも私はお前を見守りましょう」

セコロ カムイ ハウエアン ヤク アタカラ アイェ アクス

sekor kamuy hawean yak a=takar a=ye akusu

と神が語るのを夢にみたと言うと、

ア…… アアチャ ウタリ カ

a... a=aca utari ka

おじさんたちも

「ネノ ウェンタラパン ルウエ ネ」

“nenno wentarap=an ruwe ne.”

「そのようなことを夢に見た。」

セコロ ハウオカ コロ オンカミ ロク オンカミ ロク チサナ アナ

sekor hawoka kor onkami rok onkami rok cis=an a =an a

と言って拝んで拝んで、私は泣きに泣いて

アエカシ ネ ワ アエラムアン ア コロ エネ アライケ シラン
a=ekasi ne wa a=eramuan a kor ene a=rayke siran
 私のおじいさんであると思っていたのに、このように殺されてしまった。

チサナ アナ コロ
cis=an a =an a kor
 私は泣きに泣いて

「エミナ パ イテキ エチシ ペ ネ ナ」
"e=mina pa iteki e=cis pe ne na."
 「笑っていなさい、決して泣くのではないよ」

セコロ イイエ パ コロ キ アクス
sekor i=ye pa kor ki akusu
 とおじさんたちは言いながら、すると

オラ ソンノ ポカ タネ ネア アアチャウタリ
ora sonno poka tane nea a=acautari
 それから本当にもうもはやおじさんたちは

「オロ タ サナン ワ アナン エネ チウエンテ コタン アン ヒ アナク
"oro ta san=an wa an=an ene ciwente kotan an hi anak
 「そこに降りていてそのように滅ぼされた村があったことは

アエラムアン ヤッカ
a=eramuan yakka
 知っているが、

『エタラカ オロ タ パイエオカ ソモ アン ペ ネ』
'etarka oro ta payeoka somo an pe ne.'
 『むやみにそこで歩き回るものではない』

セコロ ハワシ ワ クス エネ パイエオカアン カ ソモ
sekor hawas wa kusu ene payeoka=an ka somo
 ということなので歩き回りもしなかった。

オヤチキ、シネン ネ ポカ エシクヌ ワ エアン アアン ヤ カ
 oyaciki, sinen ne poka e=siknu wa e=an aan ya ka
 思えば、ひとりでお前が生きていたのかどうかも

エラミシカリノ キ ヤク ペ ネ
 eramiskarino ki yak pe ne
 わからずにいたが、

カムイ エレス ワ エアン アアン ルウェ エネ アン」
 kamuy e=resu wa e=an aan ruwe ene an.”
 熊がお前を育てていたのだなあ。」

セコロ ハウオカ コロ ソレクス ネア カムイ
 sekor hawoka kor sorekusu nea kamuy
 と言いながら、それこそその熊を

ソレクス カムイ ホプニ クニ オッカシ タ アホプニレ ワ
 sorekusu kamuy hopuni kuni okkas ta a=hopunire wa
 それこそ（通常の）熊送りよりも立派に送って

ラ…… イウエンタラプテ ヤイライケ イエウエンタラプテ ワ
 ra... i=wentarapte yairayke i=ewentarapte wa
 私に夢を見させ、私に感謝の夢を見させて

ソンノ アプンノ ネア アアチャ ウタリ オロ タ アナン マ
 sonno apunno nea a=aca utari oro ta an=an w_a
 本当に無事にそのおじさんたちのところで暮らして

イラマンテ カ イエパカシヌ プ ネ クス
 iramante ka i=epakasnu p ne kusu
 狩りも私に教えてくれて

エネ オカイ ペ オッカヨ モンライケ ネ ヒ カ アエラマン ヒ クシ
 ene okay pe okkayo monrayke ne hi ka a=eraman hi kus
 このようなことが、男の仕事だということも覚えたので

タネ ポロ オッカヨ アネ アクス

tane poro okkayo a=ne akusu

私はもう大人の男になると

アラスイネ ネア アエカシ ネ ノイネ アラム スマウエ アコロ ワ

arsuyne nea a=ekasi ne noyne a=ramu sumawe a=kor wa

一度その私のおじいさんであるらしいと思う熊をしとめて

オラ スイ アピリカホプニレ ヒ オラノ

ora suy a=pirkahopunire hi orano

また立派に送って、それから

ピリカ ポン メノコ カ イコロパレパ ワ

pirka pon menoko ka i=korparepa wa

美しく若い女性も嫁にもらって

オラウン シンナ チセ アイ…… アイエアヌ アナン ワ

oraun sinna cise ay... a=i=eanu an=an wa

それから別の家に住まわされて。暮らして

アコロ ポン メノコ ポ シレシクテ カ キ ワ

a=kor pon menoko po siresikte ka ki wa

私の妻は子供をたくさん産んで

ネア ヌプリ コロ カムイ オイラ サク ノ アノミ コロ アナン ルウエ ネ ナ

nea nupuri kor kamuy oyra sak no a=nomi kor an=an ruwe ne na

山の神をいつも忘れずに私は拝んでいるのだよ

アポ ウタリ カ イキア ネア ヌプリ コロ カムイ ノミ パ オイラ ナ

a=po utari ka ikia nea nupuri kor kamuy nomi pa oyra na

私の子供たちも決してこの山の神を拝み忘れるなよ

セコロ シネ ニシパ ハウエアン セコロ アン……

sekor sine nispa hawean sekor an...

と一人の長者が語ったと

【注】

- [1] 人称接辞が入っているように聞こえる。このあとの iteki~の文章でも、同じ様なことがある。
- [2] 「kimak hau 吃驚した声, 叫声. 驚かす」『久保寺辞典稿』(p. 129)
- [3] carosirusi < ci 「自発」 -ar 「全く」 o- 「~の尻」 sir 「地面」 usi 「~を~につける」 = 「すごく地面に広がる」ということか。
- [4] この2行は、もっと後の方でいうべき話。次の行は内容的には2行前につながっている。

17-7 ウエペケレ「アコロ エカシ イレス」解説

語り手：鍋澤ねぶき

萱野：私は一人の少年でした、と。おじいさんに育てられて、何不自由なく生活しておった。何不自由なくということは、おじいさん自身が煮炊きをしたのは見ないのだけれども、朝になると、あったかいごはんができる、おいしい食べ物ができるといふうに、まだ夜も同じように、そういう生活を繰り返しておった。

ある日のこと、おじいさんは「今晚は決して、その、どんな音、物音がしても、動いてはいけませんよ」と言いながら、早く食べ物を食べさせてくれて、私は寝た、と。

鍋澤：うん。

萱野：どんな音がしても動くなと言われたので、まあ、自分の寝る場所で寝て、じっとしておると、すっかり暗くなると家のまわりが、ガサガサゴソゴソ音がして、話し声、外へ聞こえるのは、

鍋澤：うん。

萱野：必ず人間が、おったはずなのにさっぱり、「何だか、なかへ入るのは嫌だなあ、嫌だなあ」と言って、「おまえ入れよ」、「やだ」、というような話し声が外へ聞こえた。

そうしておるうちに、二人だけが選ばれたらしくて、なかへ入って。入り口のところでこう、あの、アイヌの家ですからこう、カヤの囲いですね。そのカヤを一本をこう引き抜いてこう、あの、**cuna ape** というのは、囲炉裏のなかでこんもりとこう、火を埋めてあるわけですね、おき〔燠〕なんか。そこへ、その、カヤ一本チュチュッと刺してサッと抜くと、それポツと火い、火いつくんです。その、その木に **etaye wa** [～を引き抜いて] た(?) それを、カヤ一本抜いて。

鍋澤：うんうん。

萱野：hoka epoypoye [火をかき回す] と、こう、木に……囲炉裏にボソボソッとこう刺してパッと抜くと火がつくんですが、そうやって、辺りをこううかがった。

そうすると、あたしも何か、見たくて、いわゆるおっかないもの見たさというか、その、袖口からこう、そっと見たら、あたしのおじいさんが座っておる場所で、大きなクマが、今にも、その、飛びかかるというような、そういう姿勢で、寝て、こう、両手のどこへあごをのせたようなかっこうでいた、と。

そうすると、その男二人がこう、その、カヤを引き抜いて、辺りを見回したらば、そのクマを見たので、先を争って外へ逃げ出した。それを、その、あたしのおじいさんであったはずの者が大きなクマになって、その、aynu [人間] たちを追いかけて外へ出て、かみ殺したり、叩き殺したりする、と。外での声は pewtanke [危急を知らせる叫び声] という危急の声を、知らせ合う声、あるいは泣き叫ぶ声、しばらく続いてそれも終わった、と。

だら、次の朝になって、起きてみると、やっぱりもとのおじいさんの姿になっておっていて、「すぐ近所の川下のほうで、おまえの、親戚のおじいさん……おじいさんがいるから、呼んできなさい」と、そう言われたので、私はまあ、走って行って、それを呼んできた。

そうすると、家へ来て、あたしが少し遅れて来たのに、えー、一緒に来たおじいさんたちがなかへ入って、あたしもちょっと2、3歩遅れて入ってみると、家のなかから、その大きなクマが外へ飛び出した。それを、窓から飛びだしたので、その後へ、一緒に来た人たちは矢を射て、そしてすぐに近くでそのクマは死んだ、と。

皮はいで、まあ神様として送ったわけですけども、夢に見た、見してくれたのは、昔々、その、この場合、pako oyan [流行病] でないんだな？

鍋澤：でない。

萱野：あの、topattumi [夜襲] だな？

鍋澤：topattumi。

萱野：うん。

鍋澤：topattumi。

萱野：うん。

「昔々、その、おまえの父や母が元気で、ここで村を持っておった時に、よそ村から topattumi [夜襲] という、いわゆる夜盗に襲われて、

鍋澤：ま、戦だな。

萱野：うんうん。襲われて全滅しかかった時に、おまえだけをその、外の祭壇の後ろへポンと置いて、祭壇を押し倒して、『たくさんあたくしは祭った神様がおりました』と。『その神様のどの神様が……か、来て育てて下さい』と言ったのに、どの神様も目をつぶって知らん顔をした。

それを見たあたくしは、その、知らぬ顔もできないので、人間の姿に身をかえて来て、おまえを育てたけれども、年をとったし、もう神の国へ帰りたいので、神として行ったのだから、後は泣かずに、おまえは一人前の男なって、私は nupuri kor kamuy [山を領有する神様]、山にいる神様として、お神酒をあげてくだされば、いつもそれは受け取ることができるから」と言いながら、そのおじいさんが夢枕に立った。

そういう同じような夢を、おじさん……、一緒に来た人間……、おじさんたちも見たらしくって、まあ、onkami [礼拝する] しながら、礼拝しながら、いろいろと、まあ、ていねいにお祭りをして、えー、あげた、と。

その後、あたくしも大人になり、嫁をもらって、何不自由なく生活して、まあ、生活しておる、クマ狩りのなかで私のおじいさんらしき形をしたクマを一度とったりしながら、まあ、成長して、今では一人前の大人人となっておりますが、kamuy nomi [神に祈る] をする時には必ず、その nupuri kor kamuy という山の神様に杯をあげ inaw [木幣] をあげることを忘れずに、あたくしは生活をしております、と、一人のアイヌが語りました。

鍋澤：うん。

萱野：こういうことだな？

鍋澤：そうかい、そう……。

17-8 カムイユカラ

「イワンレクトウシペ（ノペ）」

六つ首の化け物

語り：鍋澤ねぶき

サケヘ V=nope
V=ノペ

V ランマ カネ いつも
V ramma kane

V カッコロ カネ 変わりなく
V katkor kane

V オカアニケ 私は暮らしていたが
V oka=an h_ike

V エ…… シネアント タ ある日
V e... sineanto ta

V プヤロンネ ヒ 窓の方に
V puyar onne hi

V クルンクルン 影がさした。
V kurunkurun

V インカラナクス (そちらを) 見ると
V inkar=an akusu

V エヌノヤ セコロ シジュウカラと
V enunnoya sekor

V アイェ チカッポ V a=ye cikappo	呼ばれる小鳥が
V プヤラ シクラブ V puyar sikrap	窓の縁を
V トクパトクパ V tokpatokpa	つつきつつき
V リシパリシパ V risparispa	むしりむしり (するのが)
V エネ ネ ペコロ V ene ne pekor	こう言っているかのように
V アヌ ヒ タシ V a=nu hi tasi	聞こえたのは
V 「イワン レクトウシ ペ V "iwan rekutus pe	「6つの首を持つ者が
V エコエク キ ナ。 V e=koek ki na.	お前 (のところ) に来るぞ。
V ホクレ キラ V hokure kira	さあ逃げろ、
V トウナシノ キラ」 V tunasno kira”	早く逃げろ」
V セコン ネ ペコロ V sekor_ ne pekor	と (言う) かのように
V アヌ フミ アン V a=nu humi an	聞こえる音がした

V キ ヒ クス V ki hi kusu	ので
V ホカ ノシキ タ V hoka noski ta	炎の真ん中に
V ヤモッカヨ V yam okkayo	栗男を
V アヨコレ V a=yokore	仕掛け
V ソ ノシキ タ V so noski ta	座席の真ん中に
V ヌ…… ルウエ ケム オッカヨ V nu... ruwe kem okkayo	太針男を
アヨコレ a=yokore	仕掛け
V プヤロツ タ V puyar or_ ta	窓のところに
V ソヤ オッカヨ V soya okkayo	蜂男を
V アヨコレ V a=yokore	仕掛け
V オンタロ オツ タ V ontaro or_ ta	樽のところに
V アムシペ オッカヨ V amuspe okkayo	蟹男を

V アヨコレ V a=yokore	仕掛け
V アパ サム タ V apa sam ta	戸のそばに
V イユタニ オッカヨ V iutani okkayo	杵男を
V アヨコレ V a=yokore	仕掛け
V エトゥ カ タ V etu ka ta	屋根の棟木が張り出した上に
V ニス オッカヨ V nisu okkayo	白男を
V アヨコレ V a=yokore	仕掛けて
オカアナワ oka=an awa	いると
V ソンノ ポカ V sonno poka	聞いたとおり
V イワン レクトウシ ペ エク ハウエ エネ オカ ヒ V iwan rektus pe ek hawe ene oka hi	6つの首を持った者が来る音はこのようだ。
V シネ レクチ V sine rekuci	ひとつの首には
V サケハウキレ V sakehawkire	サケハウをさせて

V シネ レクチ V sine rekuci	ひとつの首には
V ハハセレ ^[1] V hahasere	息をさせて
V シネ レクチ V sine rekuci	ひとつの首には
V ポンペチシテ V ponpeciste	子どもの泣き声をさせて
V シネ レクチ V sine rekuci	ひとつの首には
V イハワシケレ ^[2] V ihawaskere	子守歌をさせて
V シネ レクチ V sine rekuci	ひとつの首には
V チャランケレ V carankere	談判をさせて
V シネ レクチ マケ タ ハワナ？ V sine rekuci mak h_e ta hawan y_a?	ひとつの首は、なんと行ったかな？ ^[3]
シネ レクチ sine rekuci	ひとつの首には
V マケ タ ハウエアナ？ V mak h_e ta hawean y_a?	なんと行ったかな？
V ペウタンケレ V pewtankere	危急の叫びをさせ（ながら）

V アラキ ハウエ V arki hawe	来る音が
V コクルラッキ V kokururarki	響き渡る
V キ ヒ クス V ki hi kusu	ので
V シネ キニツ ネ V sine kinit ne	一本のカヤの茎に
V ヤイカラニネ V yaykar=an h_ine	私は化けて
V アナナワ V an=an awa	いると
V オロ タ アラキ ヒネ V oro ta arki hine	そこに（6つ首の者が）来て
アペ エトク ape etok	火の前に
V コイサンコッカ V koysankokka-	ひざを揃えて
V エシッチウレ V esitciwre	座り
V エネ イタキ V ene itak h_i	こう言った。
V 「タップ タシアン マ アヌカラ ワ エカナ プ V "tap tasi an w_a a=nukar wa ek=an a p	「ここにいるからこそ、見に来たのに

フナクン アラパ？」 hunak un arpa?”	どこへ行った？」
V セコリタク コロ V sekor itak kor	と言いながら
V ホカ ノシキ V hoka noski	炎の真ん中を
V ポイエポイエ アクス V poyepoye akusu	かき回すと
V ヤム オッカヨ V yam okkayo	栗男が
V チパツケレ V cipatkere	はじけて
V ウナ ラヨチ V una rayoci	灰の虹
V アペ ルヤ…… ラヨチ V ape ruya... rayoci	火の虹が
V キ ア クス V ki a kusu	かかったので
「ハイ、クシキ」 “hai, ku=siki”	「ああ痛い、目が」
V セコロ イタク コロ V sekor itak kor	と言いながら
V ホマコチウエ キ アクス V homakociwe ki akusu	後ろに下がると

オソロホ ルウェ ケム オッカヨ オツケ ア クス osoroho ruwe kem okkayo otke a kusu	その尻を太針男が突いたので
「ハイ、 コソロ」 “hai, k=osoro”	「ああ痛い、尻が」
V セコロ イタク コロ V sekor itak kor	と言いながら
V プヤロツ タ アラパ アクス V puyar or_ ta arpa akusu	窓のところに行くと
ソヤ オッカヨ soya okkayo	蜂男が
V チョッチャ ア クス V cotca a kusu	刺したので
V 「ハイ、 クサパ」 V “hai, ku=sapa”	「ああ痛い、頭が」
V セコロ イタク コロ V sekor itak kor	と言いながら
V オンタロ オツ タ アラパ アクス V ontaro or_ ta arpa akusu	桶のところに行くと
V テケ アムシペ オッカヨ オロ ワ アクパパ ア クス V teke amuspe okkayo or wa a=kupapa a kusu	その手を蟹男に挟まれたので
「ハイ、 クテケ」 “hai, ku=teke”	「ああ痛い、手が」
V セコロ イタク コロ V sekor itak kor	と言いながら

V ソイエンパ アクス 外に出ると
 V soyenpa akusu

V イユタニ オッカヨ オロ ワ アオツケ アクス 杵男に突かれたので
 V iutani okkayo or wa a=otke akusu

「ハイ、クイツケウエ」 「ああ痛い、腰が」
 “hai, ku=ikkewe”

V セコロ イタク コロ と言いながら
 V sekor itak kor

V ソイエンパ アクス 外に出ると
 V soyenpa akusu

(ここから散文語りになる)

カシ ウン ニス テレケ ヒネ 上から白男が跳び下りて
 kasi un nisu terke hine

アヤク ワ トウ ライ ウェン ラ (イ) ^[4] ワ イサム
 a=yaku wa tu ray wen ra(y) wa isam
 潰されて、ひどい死に方悪い死に方をしてしまった

フンタ ハウエアナウエ ネ? (?)
 hunta hawean h_awe ne?(?)
 誰が言った話だろうね?

ネ キラ プ アナク フンタ ネ ヤ イタカウエアシ エネアン (?)
 ne kira p anak hunta ne ya itak h_aweas ene an(?)
 その逃げたやつが誰なのか、話したって言う、このような (?)

いたずら話か。うん? うん?

クヌ ネアプ スイ クイエ アアナウエ ネ(?)^[5]

ku=nu neap suy ku=ye aan h_awe ne(?)

私が聞いて、それをまた言ったんだよ。

(フチ：ウエイ ユク、だべし)

(フチ：wen_yuk、だべし)

(フチ：悪い熊でしょう)

ウエイ ユク

wen_yuk

悪い熊

【注】

- [1] ハハセレ hahasere は haha 「ハーハー (擬声語)」 se 「～という声を出す」 -re 「～させる」なので、直訳は「ハーハーと言わせる」。この物語の解説 (17-9) で「息をする」と説明されていることを参考に訳をつけた。
- [2] イハワシケレ ihawaskere は i- 「それ」 hawas 「声がする」 -ke 「～させる」 -re 「～させる」と考えられるが、この物語の解説 (17-9) では「子守歌」と説明されている。
- [3] ここからの3行は物語本文ではなく、語り手による独り言。6つの首にそれぞれ何をさせているかを思い出している。
- [4] wen ray の y はあまりはっきり聞こえないが、文脈から補って解釈した。
- [5] この行の「私」は語り手である鍋澤ねぶき氏のこと。

17-9 カムイユカラ「イワンレクトウシペ（ノペ）」質問と 解説

語り手：鍋澤ねぶき
聞き手・解説：萱野茂

萱野：ええっと、sonkokor [言づてを持っていく] してきたのは、何ちゅうあれ……（声が重なる）

鍋澤：enunnoya [ヤマガラ] っていう cikappo [小鳥]。

萱野：ああ、そうかい。

フチ1：ほんとにあんな ponpon cikap [とても小さい鳥]

鍋澤：あるんだ、うん。pon poon cikap だ、sonko ye p [言づてを言うもの] だ。nep ka easurani pa p [何か危急を知らせるもの] だと。

フチ1：そうだ。

鍋澤：うん。

萱野：どんな鳥だべ？

フチ1：あれ、青い。

フチ2：カケスよりちっちゃいんだ。

鍋澤他：ちっちゃい、ちっちゃい……

フチ1：ちっちゃい、ちっちゃいスズメみたいなもんでな……

鍋澤：うん、そんだ、そんだ。

萱 野：ふうん。enum... enunnoya [ヤマガラ] ?

鍋 澤：うん。

萱 野：ふうん。

鍋 澤：何か知らせにくる cikappo [小鳥] だ話だ。うん。

萱 野：そして、なかでいた kamuy [神様] は、何 kamuy だべ？ cise kor kamuy [家の神様] は。家にいた……

鍋 澤：その、kira p [逃げた者] は、何なんだかなあ、あれは、聞かないものだから……

萱 野：うん、よく分からない？

鍋 澤：分からない。

萱 野：その神様の名前は分かりやまだ……

鍋 澤：うん、分からん。分かれば良かったって。hunta ne [何で]、あれだつて、nupur pe ne wa kusu sine kinit ne yaykar=an w_a an=an [霊力があるものであるので一本のカヤの茎に変身している] っていうんだべさあ、きっと。

萱 野：うん。だ……。

鍋 澤：hemanta ne kusu [なぜ] 言わんで (?) ……

萱 野：まあ、アイヌふる……ふうのさるかに合戦みたいなもんだな、これな。

鍋澤他：フッフッ (笑)

萱 野：あたくしは一人の神様でありました。ま、今、何の神様だかよく分からないな。

鍋 澤：んー、んだ、んだ、んだ。

萱 野：家でおったら、そこへ *enumnoya* [ヤマガラ] という、その、これ、日本語何ちゅう鳥だべなあ？

鍋 澤：何ていう鳥だべ……

萱 野：その辺によく見えるか？ して。

鍋 澤：あの……

フチ 1：いるよ？ あの……

萱 野：ふうん。

フチ 2： *ecিকেপ্পো* [シジュウカラ] でもない。

フチ 1：こう……

フチ 2：ま、こうはあるんだわね……

フチ 1：こう……口のところ青いもんでなかったか？

萱 野：ふうん。

鍋 澤： *matek(?) okay pe ne* だか……

フチ 1：あの……

フチ 2：こう……。

フチ 1：茅わらにいるんだど。

萱 野：ああ、そうかい。ふうん……

鍋 澤：うん、うん。

フチ 1：あの、こう、草わらに。

萱 野：うん。enu... enumnoya [ヤマガラ] という小鳥が窓の上へ来て、「ちよつとちよつと、今か……、今もう少ししたら、あんたのところへ、六本の首のある化け物が来るぞ」と言ったんだな？ iwan rek... (声が重なる)

鍋 澤：そんだ、そんだ、そんだ。

萱 野：iwan rekut kor [六首を持つ] ……

鍋 澤：うんうん、iwan rekut kor [六首を持つ]。

萱 野：うん。「化け物が来るから」と言ったので、私はすぐにその、待ち伏せする用意をした。まず、火のなかへはクリをうずめ、それから、炉の、炉でない、この床の一番真ん中には ruwe kem okkayo [太い針男]、太い針をすえ、それから窓のときを……そこへはハチを置いた。それから、水……水がめのところへ amuspe [カニ]、えーカニですね。

鍋 澤：お……。

萱 野：置いた。それから、入り口のところへは iutani [きね]、きねですね。

鍋 澤：うん。

萱 野：それから、もっと外の入り口には nisu [うす] って、うすを。

鍋 澤：うす置いた。

萱 野：そうして待っておったら、その iwan rekut kor wenkamuy [六首の悪い神様] 来るのには、最初の、あれには、何っちゅったっけ？

鍋 澤：最初は、あの。

萱 野：うん。

鍋 澤：(節にのせて) sine rekuci nope [一つの首は] ……

萱 野：うん。

鍋 澤：ca... caranke [談判]。

萱 野：あ、caranke。

鍋 澤：うん。

萱 野：一つの、

鍋 澤：sine... sine rekuci は、

萱 野：caranke、それか（声が重なる）

鍋 澤：hahase ってせ、何ていうんだかよ？ それは、分からん。
(以下、節に乗せて語る)

hahasere	ハアハアと言わせ
nope sine rekuci	一つの首は
nope ponpe ciste	赤ん坊を泣かせ
nope sine rekuci	一つの首は
nope ihawaskere	子守唄をさせ
nope sine rekuci	一つの首は
nope sakehawkire	酒宴の歌を歌わせ
nope sine rekuci	一つの首は
nope carankere	談判をさせ
nope	

これでいちち [5つ] したな？

萱 野：うん。

鍋 澤：(以下、節に乗せて語る)

nope sine rekuci	一つの首は
------------------	-------

nope pewtankere 危急の叫びをあげさせ

nope... ep... haweas wa ora sine kinit ne yaykar=an w_a nuynak=an w_a an=an. oro ta ek sekor_ ne. hunta... hunta kamuy ne hawe ne ya. [その声がして、私は一本のカヤの茎に変身して隠れていた。そこに来たと。何の神様っていう話だか] ……

萱 野：うん。

鍋 澤：nep [何] でも、cise kor kamuy hene ne hawe だか [家の守り神様っていう話だか] ……

萱 野：ああ、なるほどね。

鍋 澤：mak ne hawe だか [どういう話だか] (笑)。

萱 野：そして、その来たの、六つの首の、ある化け物が来た。その来たのを聞けば、一つの首には caranke。

鍋 澤：うん。

萱 野：談判させて。

鍋 澤：うん。

萱 野：一つの首には、hahasere、これは息させているわけだな。一本の口はな……

鍋 澤：うん、んだ、んだ。きっと……

フチ 1：そうかしらん。

萱 野：それから、一つの首、口……首には……。

鍋 澤：ponpe ciste ってば……

萱 野：うん、赤ちゃんの泣き声をさせる。

鍋 澤：うん。

萱 野：それから、一つの、そ……あれには、iwa…

鍋 澤：ihaw… ihawaske ってばね [って言えばね]、やっぱり……

フチ 1：守り、子守り……

鍋 澤：守り子。

萱 野：ああ、なる、うん。iha… ihawaskere かい？

鍋 澤：うん。

萱 野：うん。

フチ 1：子守歌だ。

鍋 澤：フッフッフッ（笑）。

萱 野：うん。ihawaskere っちゅうわけだな？

鍋 澤：うんうんうん。

萱 野：そして、一つの首には、ま、子守歌、一つの首には sakehaw [酒宴の歌]。

鍋 澤：うん。

萱 野：sakehaw っちゅうのは、お酒を飲んで楽しくなった時の声をさせ、

鍋 澤：うんうんうん……。

萱 野：一つの首には pewtanke。

鍋 澤：うんうん。

萱 野：危急を知らず声をさせながら、やってきた

鍋 澤：うんうん（笑）

萱 野：そして、あたしの待ちぶ……待ち構えていたように来て、家のなかへ入って、「たった今いたのに、どこへ行ったんだろう」といいながら囲炉裏をおこしたら、そこでクリが待っていて、バチッとはねて、目えいっばいあく〔灰〕が入った。それから「これは熱い、熱い」。後ろへさがったら、**ruwe kem**〔太い針〕って針が、

鍋 澤：針。

萱 野：おしりに刺さった。それから窓へ逃げたら、ハチが待っていて頭を刺した。それから水のところへ行ったら、水のところでは **amuspe** といってカニが待っていて、カチッとはさんだ。外へ逃げようとしたら **iutani**、きねが待っていて、コチンとついた。外へ行ったら **nisu** が、うすが、その **sem**〔物置き〕の上において、落ちてきて、ピシャンとつぶれて死んでしまった、と

鍋澤他：フフフッ（笑）。

萱 野：一人の神様がいました、というのが、これの、あれだな？ **kamuyyukar**〔神謡〕だな。

鍋 澤：うん、うん。

フチ 1：い……犬ばり（？）ばば言ったんでしょ〔犬ばかりおばさん言ったんでしょ〕。

鍋 澤：フフフッ（笑）ほん……。

フチ 1：きのうよりいいわ

フチ 2：**taan rekut inumpe ne a(?)** って言ったの言って（？）。

萱 野：もう一回今のやつ、こう、言って。調子よく。

鍋 澤：ine ine? [どれ?]

萱 野：うん、今の、同じの。

鍋 澤：あの……。

萱 野：うん。今の kamuyyukar [神謡] さ。

フチ 1：atpake wa ne [最初からだ]

萱 野：うん、最初から。

鍋 澤：あの……うん、うん。

17-10 カムイユカラ

「イワンレクトウシペ（ノペ）」再演

六つ首の化け物

語り：鍋澤ねぶき

サケヘ V=nope
V=ノペ

V ランマ カネ いつも
V ramma kane

V カッコロ カネ 変わりなく
V katkor kane

V オカアナワ 私は暮らしていたが
V oka=an awa

V シネアント タ ある日
V sineanto ta

V プヤラ シクラブ 窓の縁に
V puyar sikrap

プ…… プヤロンネ ヒ 窓の方に
pu... puyar onne hi

V クルンクルン 影がさした。
V kurunkurun

V インカラン アクス (そちらを) 見ると
V inkar=an akusu

V エヌノヤ セコロ V enunnoya sekor	シジュウカラと
V アイェ チカッポ V a=ye cikappo	呼ばれる小鳥が
V プヤラ シクラブ V puyar sikrap	窓の縁を
V トクパトクパ V tokpatokpa	つつきつつき
V リシパリシパ V risparispa	むしりむしり（するのが）
V エネ ネ ペコロ V ene ne pekor	こう言っているかのように
V チヌ ヒ タシ V ci=nu hi tasi	聞いたのは
V 「タネ イワン レクトウシペ V “tane iwan rekutuspe	「いま、6つの首を持つ者が
V エコエク キ ナ。 V e=koek ki na.	お前（のところ）に来るぞ。
V ホクレ キラ V hokure kira	さあ逃げろ、
V トウナシノ キラ」 V tunasno kira”	早く逃げろ」
V セコン ネ ペコロ V sekor_ ne pekor	と（言う）かのように

V アヌ フミ アン V a=nu humi an	聞こえる音がした
V キ ヒ クス V ki hi kusu	ので
V ホカ ノシキ タ V hoka noski ta	炎の真ん中に
V ヤモッカヨ V yam okkayo	栗男を
V アヨコレ V a=yokore	仕掛け
V ソ ノシキ タ V so noski ta	座席の真ん中に
V ルウェ ケム オッカヨ V ruwe kem okkayo	太針男を
V アヨコレ V a=yokore	仕掛け
V プヤロツ タ V puyar or_ ta	窓のところに
V ソヤ オッカヨ V soya okkayo	蜂男を
V アヨコレ V a=yokore	仕掛け
V エ…… オンタロ オツ タ V e... ontaro or_ ta	樽のところに

V アユシペ…… アヌプ…… アムシペ	オッカヨ	蟹男を
V ayuspe... anup... amuspe	okkayo	
V アヨコレ		仕掛け
V a=yokore		
V アパ サム タ		戸のそばに
V apa sam ta		
V イユタニ	オッカヨ	杵男を
V iutani	okkayo	
V アヨコレ		仕掛け
V a=yokore		
V エトゥ カ タ		屋根の棟木が張り出した上に
V etu ka ta		
V ニス	オッカヨ	白男を
V nisu	okkayo	
V アヨコレ		仕掛け
V a=yokore		
V オロワ シネ キニッ ネ		それから一本のカヤの茎に
V orowa sine kinit ne		
V ヤイカラニネ		私は化けて
V yaykar=an h_ine		
V アナナワ		いると
V an=an awa		
V ソンノ ポカ		聞いたとおり
V sonno poka		

V イワン レクトウシペ V iwan rekutuspe	6つの首を持った者が
V エク ハウ コンナ V ek haw gonna	来る音が
V コクルラッキ V kokururutki	響くのは
V エネ オカ ヒ V ene oka hi	このようだ
V シネ…… シネ レクチ V sine... sine rekuci	ひとつの首には
V エム…… サケハウキレ V em... sakehawkire	サケハウをさせて
V シネ レクチ V sine rekuci	ひとつの首には
V ハハセ ^[1] V hahasere	息をさせて
V シネ レクチ V sine rekuci	ひとつの首には
V ポンペチシテ V ponpeciste	子どもの泣き声をさせて
V シネ レクチ V sine rekuci	ひとつの首には
V イハワシケレ ^[2] V ihawaskere	子守歌をさせて

V シネ レクチ
V sine rekuci

ひとつの首には

V チャランケレ
V carankere

談判をさせて

V シネ レクチ
V sine rekuci

ひとつの首には

V エ……
V e…

(フチ：サケハウキレ) (お婆さん：サケハウをさせる)
(フチ：sakehawkire)

V マケ タ ネ ヤ？
V mak h_e ta ne ya?

いったいどうだったかい？

(フチ：サ……)
(フチ：sa…)

(萱野：さあ、その、うーん、あれが来た。来たのから始まるんだな、

その、ネ ウエン カムイ エク ハウエ アシ っていうところから始めて。うん)
その、ne wen kamuy ek hawe as っていうところから始めて。うん)
その、「例の悪い神が来る音がする」っていうところから再開して)

ソンノ ポカ
sonno poka

聞いたとおり

V イワン レクトウシペ
V iwan rekutuspe

6つの首を持つ者が

V エク ハウ コンナ
V ek haw kappa

来る音が

V コクルラッキ V kokururarki	響くのは
V エネ オカ ヒ V ene oka hi	このようだ。
V シネ レクチ V sine rekuci	ひとつの首には
V チャランケレ V carankere	談判をさせて
V シネ レクチ V sine rekuci	ひとつの首には
V ハハセレ V hahasere	息をさせて
V シネ レクチ V sine rekuci	ひとつの首には
V ポンペチシテ V ponpeciste	子どもの泣き声をさせて
V シネ レクチ V sine rekuci	ひとつの首には
V イハウアシケレ V ihaw'askere	子守歌をさせて
V シネ レクチ V sine rekuci	ひとつの首には
V エム…… V em...	

チャランケ、言ってたか？
caranke、言ってたか？

「談判する」は（もう）言ってたか？

(萱野：サケハウだ)
(萱野：sakehaw だ)

(萱野：サケハウだ)

サケハウキレ
sakehawkire

サケハウをさせて

いや、シン……
いや、sin…

V シネ レクチ
V sine rekuci

ひとつの首には

V チャランケレ
V carankere

談判をさせて

V シネ レクチ
V sine rekuci

ひとつの首には

V ペウタンケレ
V pewtankere

危急の叫びをさせて

V これで6つだ？

(萱野：うん。コロ エク)
(萱野：うん。kor ek)

(萱野：（言い）ながら来た？)

エク キ クス
ek ki kusu

来るので

エカ クス
ek a kusu

来たので

V アペ サム タ V ape sam ta	火のそばに
V エ…… チョアシロツケ V e... coasirotke	どっかりと座り
V エネ イタキ V ene itak h_i	こう言った。
V 「タップ タシ アン マ エカナ プ V "tap tasi an w_a ek=an a p	「ここにいるからこそ、私が来たのに
フナクナラパ？」 hunak un arpa?"	どこへ行った？」
V セコロ オカイ ペ V sekor okay pe	ということを
V イエ カネ コロ V ye kane kor	言いながら
V ホカ ノシキ V hoka noski	炎の真ん中を
V ポイポイエ アクス V poypoye akusu	かき回すと
V ヤム オッカヨ V yam okkayo	栗男が
V パツケ ヒネ V patke hine	はじけて
V ウナ ラヨチ V una rayoci	灰の虹が

V チホプニレ V cihopunire	立った
V キ アクス V ki akusu	そうすると
「ハイ、クシキ」 “hai, ku=siki”	「ああ痛い、目が」
V セコロ イタク コロ V sekor itak kor	と言いながら
V ホマコチウエ V homakociwe	後ろに下がった。
V キ アクス V ki akusu	そうすると
V ルウエ ケム オッカヨ オツケ ヒネ V ruwe kem okkayo otke hine	太針男が突いて
「ハイ、コソロ」 “hai, k=osoro”	「ああ痛い、尻が」
V セコロ イタク コロ V sekor itak kor	と言いながら
V プヤラ オツ タ V puyar or_ ta	窓のところに
V アラパ アクス V arpa akusu	行くと
V ソヤ オッカヨ V soya okkayo	蜂男が

V チョッチャ ヒネ V cotca hine	刺して
V 「ハイ、クサパ」 V “hai, ku=sapa”	「ああ痛い、頭が」
V セコロ イタク コロ V sekor itak kor	と言いながら
V オンタロ オツ タ V ontaro or_ ta	樽のところに
V アラパ アクス V arpa akusu	行くと
V アムシペ オッカヨ オロ ワ アクパパ ア クス V amuspe okkayo or wa a=kupapa a kusu	蟹男に挟まれたので
V 「ハイ、クテケ」 V “hai, ku=teke”	「ああ痛い、手が」
V セコロ イタク コロ V sekor itak kor	と言いながら
V ソイエンパ アクス V soyenpa akusu	外に出ると
V イユタニ オッカヨ オロ ワ アオツケ ヒネ V iutani okkayo or wa a=otke hine	杵男に突かれて
「ハイ、クイツケウエ」 “hai, ku=ikkewe”	「ああ痛い、腰が」
V セコロ イタク コロ V sekor itak kor	と言いながら

ソイエンパ アクス
soyenpa akusu

外に出ると

エトゥ カワ
etu ka wa

屋根の棟木が張り出した上から

V ニス オッカヨ
V nisu okkayo

白男が

V テレケ ヒネ
V terke hine

跳び下りて

V アヤク ワ イサム
V a=yaku wa isam

つぶされてしまった

(萱野：うん)

【注】

- [1] ハハセレ hahasere は haha 「ハーハー（擬声語）」 se 「～という声を出す」 -re 「～させる」なので、直訳は「ハーハーと言わせる」。この物語の解説（17-9）で「息をする」と説明されていることを参考に訳をつけた。
- [2] イハワシケレ ihawaskere は i- 「それ」 hawas 「声がする」 -ke 「～させる」 -re 「～させる」と考えられるが、この物語の解説（17-9）では「子守歌」と説明されている。

18-2 ウエペケレ

「トパットウミ オッタ アサハ トウラ アエイッカ」

トパットウミで姉とともに連れ去られた話

語り：平目よし

アオナハ アン アウヌフ アン ワ

a=onaha an a=unuhu an wa

私には父と母がいて、

ピリカ アイレス キ コロ オカアニケ

pirka a=i=resu ki kor oka=an h_ike

私は大事に育てられて暮らしていました。

ソンノ アウヌフ ソンノ アオナ ネ クナク アラム コロ

sonno a=unuhu sonno a=ona ne kunak a=ramu kor

本当の母、本当の父であると私は思いながら

アイヨマプレス コロ オカアン アイネ ポンノ ポロアナクス

a=i=omapresu kor oka=an ayne ponno poro=an akusu

可愛がって育ててもらっていました。私が少し大きくなると

ア…… アウニヒ ワ アウニヒ パナケ タ インネ コタナン オロワ

a... a=unihi wa a=unihi panake ta inne kotan an orowa

私の家の川下のほうに人の多い村があって、

ポンノ イアッカリ アン マッカチ、ピリカ ワ オケレ ポン マッカチ エク ワ

ponno i=akkari an matkaci, pirka wa okere pon matkaci ek wa

少し私よりも年上の女の子、非常に美しい女の子が来て

ウトウラ シノタン ノ エアラキンネ イヨマピネ

utura sinot=an no earkinne i=omap h_ine

一緒に遊び、私をととても可愛がってくれました。

イアッカリ ポロ プ ネ クシ イヨマップ ワ

i=akkari poro p ne kus i=omap wa

その子は私より大きいものですから、私を可愛がり、

ネプ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ

nep a=esirkirap ka somo ki no

私は何に困ることもなく、

アオナウタリ カ イオマップ ペ ネ クス ウトウラ シノタン コロ

a=onautari ka i=omap pe ne kusu utura sinot=an kor

両親にも可愛がられていたので、私達が一緒に遊んでいると、

ウネノ ウパクノ アオナウタリ イイペレ パ ア イネ

uneno upakno a=onautari i=ipere pa a h_ine

同様に同じ分だけ、両親は私達にご飯を食べさせてくれ、

イコシネウエ プ カ トウラノ キ コロ オカアン ペ ネ ア プ、

i=kosinewe p ka turano ki kor oka=an pe ne a p,

私のところに遊びに来る子と一緒にご飯を食べさせてくれていましたが、

シネ アニ ワ エク ルウエ カ イサム。

sine an h_i wa ek ruwe ka isam.

ある時からその子が来なくなってしまいました。

ミシムアニケカ イコシネウエ クス エク ルウエ カ イサム マ

mismu=an h_ikeka i=kosinewe kusu ek ruwe ka isam w_a

私は寂しくなりましたが、彼女が私のところへ遊びに来なくなってしまって、

マク ネ ルウエ アン セコロ アラム…… ラムアナン ワ

mak ne ruwe an sekor a=ram... ramuan=an wa

どうしたんだろうと私は思い、

アエカヌナラ コロ アナナ プ、

a=ekanunara kor an=an a p,

彼女を待ち焦がれていました。

シネ アン ペ タ アウヌフ アオナハ ネ クナク アラム プ、
 sine an pe ta a=unuhu a=onaha ne kunak a=ramu p,
 ある日、私の母と父だと思っていた人が、

「タン アマツネポ、イタカン チキ エイヌ カトウ エネ アニ、
 “tan a=matnepo, itak=an ciki e=inu katu ene an h_i,
 「私のかわいい娘よ、私がいまから話すからよく聞きなさい。

ソンノ アエ…… アエエヌワフ ペ カ ソモ エネ カトウフ アイェ ワ
 sonno ae... a=e=enuwap pe ka somo e=ne katuhu a=ye wa
 本当に私が産んだのはお前ではないという事情を言って

アエヌレ チキ パクノ オカイ ペ カ ネプ カ アイェ コロ
 a=e=nure ciki pakno okay pe ka nep ka a=ye kor
 聞かせますから、これまでにあったことも言えば

エラムアン ペ ネ ナ。エコシネウエ ランケ、
 eramuan pe ne na. e=kosinewe ranke,
 理解するんだよ。お前のところにいつも遊びに来ていた、

トアン インネ コタノロ ワ エク マツカチ トウラノ
 toan inne kotan or wa ek matkaci turano
 あの人口の多い集落から来ていた女の子と

エチウサコロ ペ ネ ヒネ トパットウミ オルン アイシレン パ ヒネ
 eci=usakor pe ne hine topattumi or un a=i=siren pa hine
 お前たちは姉妹の関係なのです。夜襲に私達は連れられて

イトウラアン コロカ アオナウタリ エネ ハウエオカ イ、
 itura=an korka a=onautari ene haweoka h_i,
 行ったのだけれど、私の両親はこのように言いました。

『トパットウミ オルン パイエアン ヤッカ
 ‘topattumi or un paye=an yakka
 『夜襲へ行っても

イテキ シネン カ アライケ エイカスイ たれでも シネン でも アシクヌレ
 iteki sinen ka a=rayke eykasuy TAREDEMO sinen DEMO a=siknure
 一人も殺すのを手伝うんじゃない。誰でも一人でも生かして、

カシ アオピウキ プ ネ ナ。』
 kasi a=opiwki p ne na.’
 救うものだ。』

セコロ アウヌフ カ アオナハ カ イイエ プ ネ クス…… コロ
 sekor a=unuhu ka a=onaha ka i=ye p ne kusu... kor
 と私の母も父も言ったので

オカアン ペ ネ ア プ、トオカ インネ コタン ウイル^[1] ア…… (?)
 oka=an pe ne a p, tooka inne kotan uyru a...(?)
 そのようにしていたのですが、それで、その人口の多い村に

トパットウミ オルン イシレン パ ワ アコパニケカ
 topattumi or un i=siren pa wa a=kopan h_ikeka
 私達は夜襲で連れられて行って、私は断ったのですが、

『ソモ イトゥラ ヤクン アエチロンヌ クシ ネ。』
 ‘somo i=tura yakun a=eci=ronnu kus ne.’
 『一緒に行かないなら、お前たちが殺されるぞ。』

セコロ アイイエ プ ネ クス ウトゥラアニネ
 sekor a=i=ye p ne kusu utura=an h_ine
 と言われたものだから同行しました。

イトウラアン パ インネ ウタラ パイエ プ ネ クス
 itura=an pa inne utar paye p ne kusu
 一緒に行って、大勢で向かうので、

クンネ フナクン チプ オ パ ワ…… ワ パイエアナイネ
 kunne hunak un cip o pa wa... wa paye=an ayne
 夜にどこかへ舟に乗って行って、

フナク タ レウシ…… シネ アンチカン レウシアニ オラウン
hunak ta rewsu... sine ancikar_ rewsu=an h_i oraun
 どこかで一晩私達は泊まってから、そうして

フナク タ シレパアナクス ウ……
hunak ta sirepa=an akusu u...
 どこかへ着くと

コント インネ コタナン シリ イキ ア プ、
konto inne kotan an siri iki a p,
 人口の多い村が見えました。

オヤ…… シリクンネ パクノ アトウイ テクサム タ カシ カラ パ ワ
oya... sirkunne pakno atuy teksam ta kas kar pa wa
 夜になるまで海のそばに仮小屋をつくって、

オロ タ シリクンネ テレ パ アイネ シリクンネ ヒ オラウン
oro ta sirkunne tere pa ayne sirkunne hi oraun
 そこで夜を待っていました。そうして夜になると、

コタン セレマク ウシ パ ワ コタン パ ワ ヌイタク ホプニ ワ
kotan sermak us pa wa kotan pa wa nuytak hopuni wa
 一緒に来た人々は陰祈祷し、村の上端から炎の玉が飛び、

コタン ケスン トウルセ コ…… コタン ケシ ワ ヌイタク ホプニ ワ
kotan kes un turse ko... kotan kes wa nuytak hopuni wa
 村の下端へ落ち、村の下端から炎の玉が飛び、

コタン パ ウン トウルセ シリ イキ アクシ
kotan pa un turse siri iki akus
 村の上端に落ちるのが見えると、

『タネ コタンコサパン ヤッカ ピリカ ノイネ シリキ。』
 ‘tane kotankosap=an yakka pirka noyne sirki.’
 『もうそこの村に下りても良いようだ。』

セコロ ハウオカ コロ パイエアン ワ

sekor hawoka kor paye=an wa

と言って、それで私達は行って、

オラノ みんな コタネピッタ、ヘカッタラ カ ネプ ネ アッカ

orano MINNA kotan epitta, hekattar ka nep ne y_akka

村の全て、子どもでも何でも

ロンヌ パ アイネ シネ チセ オッ タ パイエアナクシ

ronnu pa ayne sine cise or_ ta paye=an akus

(一緒に行った者達が) 殺しているうちに、私達は一軒の家に行きました。すると、

ソレクス ピリカ ワ オケレ ポン マッカチ

sorekusu pirka wa okere pon matkaci

それこそ、とても美しい小さな女の子が

イワタラプ トウラノ シントコ オロ アオマレ ワ

iwatarap turano sintoko or a=omare wa

生まれたばかりの赤ん坊と一緒に行器の中に入れてられていて

チシ クル オカ ウシケ アパ ヒネ

cis kur oka uske a=pa hine

泣いている赤子達がいるところを見つけて、

エアラキンネ めんこい めんこい アオマップ ノ オカイ ペ ネ ヒ クス

earkinne MENKOI MENKOI a=omap no okay pe ne hi kusu

とても可愛らしい、かわいらしい女の子たちがいたので、

ポニケ アカイ、ポロ ヒケ

pon h_ike a=kay, poro hike

小さいほうを私がおぶい、大きいほうは、

トオカ パナ ウン コタノルイル プ コロ ワ パイエ ヒネ レシパ コロカ

tooka pana un kotan or uyru p kor wa paye hine respa korka

あの川下の村の住人が連れて行って育てたのですが、

エチルプネ アクシ エチウトウラシノタクン

eci=rupne akus eci=uturasinot y_akun

お前たちが大きくなるとお前たちは一緒に遊んでいて、

『ネイ ワ カ エチイリワク ネ ヒ エラムオカ ワ クス

‘ney wa ka eci=irwak ne hi eramuoka wa kusu

『どこからかお前たちが姉妹であるとわかったので、

イリワク ネ イ エラムアン マ

irwak ne h_i eramuan w_a

その子がお前の姉妹であるとわかって、

ウトウラ シノチ ネ ナンコロ クシ アシクヌレ ヤクン

utura sinot h_i ne nankor kus a=siknure yakun

一緒に遊んでいることなのだろうから、彼女を生かしておけば

アコタヌ ウオマ カ ソモ キ クス アロンヌ イケ。』

a=kotanu uoma ka somo ki kusu a=ronnu h_ike.’

私達の村がみな無事ではいられなくなるので、殺したらどうか。』

セコロ ハワシ コロ アイエコラムコロ コロカ

sekor hawas kor a=i=ekoramkor korka

と言われて相談されたのだが、

エネ アエオマプ コロ アエレス ア プ、

ene a=e=omap kor a=e=resu a p,

こんなに私はお前を愛し、育てたのです。それなのに、

アヌカラ コロ アエライケ シリ アヌカラ カ ヌクリ ワ

a=nukar kor a=e=rayke siri a=nukar ka nukuri wa

私が見ているながら、お前が殺されるのは見るのも嫌だから、

アイエ ハウエ ネ ナ。パクノ オカイ ペ カ ネプ カ アイエ コロ

a=ye hawe ne na. pakno okay pe ka nep ka a=ye kor

私は言うのですよ。これまでにあったことも言えば

コチャヌプコロ ペ ネ クス

kocanupkor pe ne kusu

参考になると思いましたから（言ったのです）。

チプ オロ アエオマレ ワ エエ クニ プ カ アオマレ。

cip or a=e=omare wa e=e kuni p ka a=omare.

私は舟にお前を乗せて、お前が食べるものも積み込みます。

チプ サパ タ カ チポソッ タ カ カムイニスクアン マ

cip sapa ta ka cip osor_ ta ka kamuynisuk=an w_a

舟頭にも舟尻にも神に言い聞かせるから、

エエブンキネ ワ カムイ エルラ。

e=epunkine wa kamuy e=rura.

神様がお前を守り運んでくれます。

ネウン ポカ エウタリ エパ ヤクン

neun poka e=utari e=pa yakun

どうかしてお前の親戚をお前が見つければ

アオカ アナク アエキラレ ヤクン……

aoka anak a=e=kirare yakun...

私達はお前を逃がしたら……

アオカ アナク アエライケ クニ アラム コロ

aoka anak a=e=rayke kuni a=ramu kor

私達はお前を殺したと思って、

アエキラ[㊦] イ ネ…… ヒ ネ ナ。

a=e=kira h_i ne... hi ne na.

お前を逃がすのですよ。

ネウン ポカ イキ ワ ヤイエトウイタク ワ

neun poka iki wa yayetuytak wa

ですから、お前はどうかして生計をたて、

ヤイエイモンタサ クニ ラム。」

yayeymontasa kuni ramu.”

復讐しようと思っていなさい。」

セコロ ハウエアン コロ パラパラカン コロ

sekor hawean kor parapark=an kor

と言います。私は泣き叫びながら、

「アウヌフ アオナハ！」

“a=unuhu a=onaha!”

「お母さん、お父さん！」

セコロ ハウエアナン ヤッカ

sekor hawean=an yakka

と言っても、

「ネノ エハワン コロ エアン ヤクン

“nenno e=hawan kor e=an yakun

「そのようにお前が言いながらいたら、

アシコロケ タ (?) アエライケ シリ

a=sikoroke ta(?) a=e=rayke siri

私の目の前で (?) お前は殺されてしまいます。その様子を

アヌカラ カ ヌクリ イネ

a=nukar ka nukuri h_inne

私は見るのも嫌だから、

イテキ ネノ ハワン コロ エアラパ プ ネ ナ。」

iteki nenno hawan kor e=arpa p ne na”

そう言わずにお行きなさい」

セコロ ハウエアン コロ ピリカ ポン アミプ カラ アウヌフ キ ワ イイミレ

sekor hawean kor pirka pon amip kar a=unuhu ki wa i=imire

と言い、美しい小さな着物を私の母は作って私に着せて、

ウサ ピリカ アエプ チポルン ルラ パ イネ

usa pirka aep cip or un rura pa h_iine

いろいろな美味しい食べ物を舟の中に運び込み、

チプ ノシキ タ アナン クニネ アエホツケ イ カ カラ パ ヒネ

cip noski ta an=an kunine a=ehotke h_i ka kar pa hine

舟の真ん中に私がいられるように私の寝床もしつらえて、

オラ チプ サパ タ チポソロ タ カムイニスク ワ アン ワ

ora cip sapa ta cip osoro ta kamuynisuk wa an wa

舟頭と舟尻に神頼みをしています。

「カムイ エエプンキネ ヤクン ネウン ポカ エイキ ワ

“kamuy e=epunkine yakun neun poka e=iki wa

「神様がお前を守ってくれれば、お前はどうかして

エウタリ エパ カ キ、エポロ チキ イェ ワ

e=utari e=pa ka ki, e=poro ciki ye wa

自分の親族を見つけ、お前は大きくなったらそれを言って、

ホクレ ヤイエイモンタサ クニ ラム。」

hokure yayeymontasa kuni ramu.”

すぐに復讐しようと思いなさい。」

セコロ アイェ。イヌ ネ ワ アキ プ ネ コロカ

sekor a=ye. inu ne wa a=ki p ne korka

と言われました。そう聞いたのですが、

オロヤチキ アサハ ネ アアン ペ トウラノ シノタン アイネ

oroyaciki a=saha ne aan pe turano sinot=an ayne

思うに、自分の姉であった人と一緒に遊んでいて、その結果

アライケ ワ エキサミ ネ アアナウエ アヌ オラノ

a=rayke wa ek isam h_i ne aan h_iawe a=nu orano

その人は殺されて来なくなったということだったのかとわかり、それで

ポ エネ チシアン。チプ オプトウイパ クシ ネ コロ
 po h_ene cis=an. cip oputuypa kus ne kor
 なおのこと私は泣きました。両親は舟を押しだそうとし、

「アウヌフ アオナハ！」
 “a=unuhu a=onaha!”
 「お母さん、お父さん！」

セコロ ハウエアナン コロ パラパラカン コロ
 sekor hawean=an kor parapark=an kor
 と私は言いながら泣き叫ぶと

イオピッパ カ コライニウケシ パ イネ
 i=opitpa ka korayniwkes pa h_ine
 育ての両親は私を手から放すこともできないように

「ネノ イキアナイネ アエオシコニ ヤクン
 “nenō iki=an ayne a=e=osikoni yakun
 「私達がそのようにして、お前が追いつかれたなら、

エラ…… アエライケ プ ネ ナ。
 era... a=e=rayke p ne na.
 お前は殺されるのですよ。

イテキ エハウエアシ、エチシ エサラ キ ヤクン
 iteki e=hawear, e=cis esara ki yakun
 声をあげ、大声で泣いてはいけません。もしそうすれば、

アラキ ワ アエライケ プ ネ ナ。
 arki wa a=e=rayke p ne na.
 (誰かが) やって来て、お前は殺されるのですよ。

イテキ エチシ ノ エモン マ エサナイネ アトウイ オロ エオシマ ワ
 iteki e=cis no e=mon w_a e=san ayne atuy or e=osma wa
 泣かないで、流れ下って海に入り、

アトウイ カ ペカ エアラパ コロ カムイ レンカイネ
atuy ka peka e=arpa kor kamuy renkayne
 海を進みなさい。神様の思召しで

カムイ エエブンキネ ワ エアラパ ヤクン
kamuy e=epunkine wa e=arpa yakun
 神様がお前を守り、お前が進んで行けば、

ネウン ポカ ネイ ワ カ エパ ヤクン
neun poka ney wa ka e=pa yakun
 そして、どうかどこからかお前が（親族を）見つけるので、

エ…… エヤイエイモンタサ。
e... e=yayeymontasa.
 お前は復讐をするのです。

エウタリ エケムヌ チキ ヤイエイモンタサ クニ ラム。」
e=utari e=kemnu ciki yayeymontasa kuni ramu.”
 お前の親族を可愛そうに思うのなら、復讐するように思いなさい。」

セコロ アウヌフ アオナハ ネ クナク アラム ウタリ イイエ コロ
sekor a=unuhu a=onaha ne kunak a=ramu utari i=ye kor
 と私の父と母だと思っていた人達は言いながら

チプ オプトウイパ ワ オラノ ピチシアン。
cip oputuypa wa orano picis=an.
 舟を押し、私は小声でしくしくと泣きました。

アウヌフ ネ クナク アラム ア プ エネ ハウオカ コロ
a=unuhu ne kunak a=ramu a p ene hawoka kor
 母だと私が思っていた人がこのように言いながら

チプ オプトウイパ プ ネ クシ パラパラカン、ピヌ ノ
cip oputuypa p ne kus parapark=an, pinu no
 舟を押ししたものだから、私はわんわん泣きました。小声で

「イテキ エサラ チシ。」

“iteki esara cis”

「声を出して泣いてはダメ」

コロ アイェ プ…… アイイエ プ ネ クス ピチ…… 又^[3] ノ チサン、
kor a=ye p... a=i=ye p ne kusu pici... nu no cis=an,
と言われたため、私はこっそりと泣いて、

チシコカラカラセアン チプ オンナイ タ キ コロ
ciskokarkarse=an cip onnay ta ki kor

舟の中で転がりながら泣いて、

モマニネ サナナイネ アトゥヨロ アオシマ イ ワノ アナクネ
mom=an h_ine san=an ayne atuy or a=osma h_i wano anakne

私は流れて下って、そうして海に入った時からは、

エサラ パラパラカン コロ カラカラセアン。

esara parapark=an kor karkarse=an.

私は声を出してわあわあ泣いて転がりました。

オラノ ク…… シリクンネ したり シトク…… シリトカプ したり
orano k... sirkunne SITARI sitok... sirtokap SITARI

それから、夜になったり、昼になったりして、

アエパナク ポロンノ ウサ シト ウサ サッ カム ウサ サッ チェプ
aep anak poronno usa sito usa sat kam usa sat cep

食べ物はたくさんの団子やら、干し肉やら、干し魚が、

チプ ノシキ タ、sama タ イ…… イホツケレ パ クニネ
cip noski ta, sama ta i... i=hotkere pa kunine

舟の中央やわきに私を寝かせるように、

アエプ ポロンノ アリ パ プ ネ クシ イペルスイアン コロ
aep poronno ari pa p ne kus iperusuy=an kor

食べ物がたくさん積んであるものなので、お腹がすくと

アクイクイ シト だの、ウサ チェプ だの キ コロ

a=kuykuy sito DANO, usa cep DANO ki kor

団子やら魚を私がかじって、

クンネ ヘネ ト……[4] カンペ クルカ ネア チプ エチャラセ ペコン

kunne hene to... kanpe kurka nea cip ecarse pekor_

夜も（昼も）海面をその舟で滑るように

ネン…… ネン カ チプ オ フム ネノ カネ カンペ クルカ

nen... nen ka cip o hum neno kane kanpe kurka

誰かが舟を漕いでいるかのように水面を

ネア チプ チャラセ[5] ワ ヒナク ウン アラパアナイネ

nea cip carse wa hinak un arpa=an ayne

その舟がすべり下りて、私はどこかに向かっているうちに

ヘンパク ト モマヌミ ネ ヤ アエラミシカリ コロカ

hempak to mom=an h_umi ne ya a=eramiskari korka

幾日私は流れていたのかわからないけれど、

オイケシネ チサナウエ キキリ ハウ ネノ カネ

oykesne cis=an h_awe kikir haw neno kane

しまいには泣き声がまるで虫の声のように、

チサン ハウエヘ カ サラ カ コヤイクシ。

cis=an hawehe ka sara ka koyaykus.

泣き声を出すこともできません。

ピチシ だから アハウエヘ カ サラ カ コヤイクシ。オラノ

picis DAKARA a=hawehe ka sara ka koyaykus. orano

小声で泣いているので、自分の声を出すこともできません。

チシコカラカラセアン コッ チポンナイ タ アナクス

ciskokarkarse=an kor_ cip onnay ta an akusu

私は転がって泣きながら舟の中にいました。すると、

フナク タ チプ エヤオタ クシ フム……

hunak ta cip eyaota kus hum...

どこやら舟が岸に乗り上げたので、

「ホシキ パ プ コロ ペ ネ。」

“hoski pa p kor pe ne.”

「先に見つけた者が手に入れるのよ。」

セコロ ハウオカ コン メノコ ネ ハウエ アシ パ。

sekor hawoka kor_ menoko ne hawe as pa.

と言う女たちの声がしました。

ウエトウシマク ワ アラキ ワ ピリカ ワ オケレ メノコ

uetusmak wa arki wa pirka wa okere menoko

女たちは先を争ってやってきて、とても美しい女性が

ホシキ チプ キシマ アクス イエヌチシシケ ワ アン。

hoski cip kisma akusu i=enucisiske wa an.

先に舟を掴むと、私をじっと見つめていました。

イエヘタク (?) カ イカランケ カ ソモ キ ア プ、

i=ehetak(?) ka i=karanke ka somo ki a p,

その女は私を急がせることも (?), 近寄ることもせずにはいましたが、

イオセキケ エキネ

ios ek h_ike ek h_ine

(そうしているうちに) 後から来たほうがやって来て、

「イラムハウケレ、フナク ワ エク ペ、

“iramhawkere, hunak wa ek pe,

「可愛そうに、あなたはどこから来て、

エネ パカン ペ エネ イキ イ アン ルウエ アン。」

ene pak an pe ene iki h_i an ruwe an.”

こんなに小さいものが、こうしていることなのでしょう。」

セコロ アン コン ナニ イコテッテレケ イネ

sekor an kor_ nani i=kotetterke h_ine

と言いながらすぐに私に飛びついて、

イケムヌハウコカリ コロ

i=kemnuhawkokari kor

私を気の毒だと何度も何度も言いながら、

イウカクス ホシキ エキケ イサネ イケ ネ アアニネ

i=uk akusu hoski ek h_ike isane h_ike ne aan h_ine

私を手にとると、先に来たのは姉のほうであったが、

「フンタ エネ アン シレトッコロ ペ アイヌ カ ソモ ネ ノイネ アニ

“hunta ene an siretokkor pe aynu ka somo ne noyne an h_i

「なんとまあ、このように美しいものは人間にも似つきませんから、

コシンプ ヘネ ネ ナンコロ ペ、イコンヌプ エク ルウエ ネ ナンコロ ペ、

kosimpu hene ne nankor pe, ikonnup ek ruwe ne nankor pe,

魔物でもありましように、化け物が来たのでしように、

エネ アマタキ ウク シリ アニ アン?

ene a=mataki uk siri an h_i an?

どうして妹は手をとるのですか?

ネ アシトマ カミアシ ヤイエイコンヌ ルウエ ネ ナンコロ ペ、

ne a=sitoma kamias yayeykonnu ruwe ne nankor pe,

人が恐れる化け物は凶事を招くでしょうし、

アイヌ ソモ ネ ノイネ アラム ペ

aynu somo ne noyne a=ramu pe

その者は人間ではないように思いますが、

エネ アトゥレシ イキ イ アン。」

ene a=turesi iki h_i an.”

なんてことを妹はするのですか。」

セコロ ハウエアン コロ トウレシ コパシロタ コロ
sekor hawean kor turesi kopasrota kor

と言いながらその妹を怒鳴りつけ、

ホシキ コタノルン アラパ。

hoski kotan or un arpa.

先に村に戻って行ってしまいました。

ネア ポン メノコ イケムヌハウコカリ コロ

nea pon menoko i=kemnuhawkokari kor

その若い娘は私が気の毒だということを繰り返しながら、

イウキネ イカイ ヒネ フナクン パイエアナイン

i=uk h_ine i=kay hine hunak un paye=an ayne

私の手をとって背負い、どこかに私達は向かって、

インネ コタン、コタン ソイ アクシ ワ

inne kotan, kotan soy a=kus wa

大きな村の家々の前を通過して

パイェアナイン コタン ノシキ タ モシリ パク チセ アン。

paye=an ayne kotan noski ta mosir pak cise an.

私達は進んでいくと、村の真ん中に島ほどの大きい家がありました。

ソイケヘ タ パイエアニネ ネア ポン メノコ イカイ ワ パイエアン。

soykehe ta paye=an h_ine nea pon menoko i=kay wa paye=an.

その玄関に私たちは行き、その若い娘は私を背負って行きました。(すると、)

「イェトクン タプネ タプネ カネ アン ペ

“i=etok un tapne tapne kane an pe

「私の目の前にこうこうこのようにいるものは

コシンプ ネ ノイネ アラム ペ、チポロ オマ ワ

kosimpu ne noyne a=ramu pe, cip or oma wa

化け物であるように私は思うのに、舟の中に入って

ヤン マ アン ペ アマタキヒ オマプ コロ ヘンコツパ コロ

yan w_a an pe a=matakihi omap kor henkotpa kor

陸に上がって来ていたものを、私の妹が可愛がっていつくしみ、

カイ ワ エク ルウエ ネ。

kay wa ek ruwe ne.

背負ってきたのです。

アシトマ プ ウエン カムイ ネ ノイネ アラム ペ キ ルウエ ネ。」

a=sitoma p wen kamuy ne noyne a=ramu pe ki ruwe ne.”

人が恐れる悪い神様のように私が思うものを背負ってきたのです。」

セコロ イヨンヌツパ コロ ネア イサネ イケ アラパ ハウエ アサ プ、

sekor ionnuppa kor nea isane h_ike arpa hawe as a p,

と告げ口をして、その姉のほうが行って言う声がしましたが、

ナニ ネア ポン メノコ アフニネ

nani nea pon menoko ahun h_ine

すぐに、その若い娘が家のなかに入りました。

チャチャ カムイ カ ピリカ ヒケ アン

caca kamuy ka pirka hike an

翁のなかでも美しい翁がいらっしやり、

ルプネ マツ カムイ カ ピリカ ヒケ アニネ

rupne mat kamuy ka pirka hike an h_ine

媼のなかでも美しい媼もいらっしやって、

ウコウトウルケ タ イランケ ヒネ イアヌ コロ

ukouturke ta i=ranke hine i=anu kor

二人の間に私をおろし置くと、

ネア ポン メノコ エネ ハワニ

nea pon menoko ene hawan h_i

その若い娘はこのように言いました。

「アイヌ テケニスク カムイ チプ サパ タ カ アン、
 “aynu tekenisuk kamuy cip sapa ta ka an,
 「人間の手で頼んだ神様が舟頭にいらっしゃり、舟尻にも

チプ オソツ タ カ アイヌ テケニスク カムイ アン ルウエ ネ ヤクン
 cip osor_ ta ka aynu tekenisuk kamuy an ruwe ne yakun
 人間の手で頼んだ神様がいらっしゃったのだから

アイヌ サニ ネ ルウエ ネ クニ アラム ワ クス
 aynu sani ne ruwe ne kuni a=ramu wa kusu
 それで人間の血統であるように私は思ったので、

アウク ワ アン コロ エカン ペ、アサハ アナク イコパシロタ
 a=uk wa an kor ek=an pe, a=saha anak i=kopasrota
 私はその子を連れて来たのに、姉は私をののしり、

『ウエン カムイ ネ ノイネ アラム。
 ‘wen kamuy ne noyne a=ramu.
 『その子は悪い神様のように私は思う。』

フンタ アイヌ エネ シレトク コロ ヒ ネ ワ
 hunta aynu ene siretok kor hi ne wa
 なんだって人間がこのような美貌をもつというのか。

エネ アマタキ イキ。』
 ene a=mataki iki.’
 妹はなんてことをするのか。』

セコロ ハワン コロ イウエ…… イコパシロタ コロ
 sekor hawan kor iwe... i=kopasrota kor
 と言って私をののしり、

ホシキ イコツチャ ワ エク ルウエ ネ。」
 hoski i=kotca wa ek ruwe ne."
 さっさと私の前から戻って来たのです。」

セコン ネア ポン メノコ ハウエアン コロ オナウタリ エウン イェ アクス
sekor_ nea pon menoko hawean kor onautari eun ye akusu

とその若い娘が言い、両親にそう言うと、

ネア オンネ クン ルプネ マッ イヌカン ロク イヌカン ロク アイネ
nea onne kur_ rupne mat i=nukar_ rok i=nukar_ rok ayne

その翁と媪は私を何度も見て、

「アイヌ ネ ノイネ アラム。」

“aynu ne noyne a=ramu.”

「人間であるように私は思います。」

セコロ ハウオカ コロ コント アイコウエペケンヌ ヒ クス
sekor hawoka kor konto a=i=kouepekennu hi kusu

とおっしゃり、私は尋ねられたので、

タップネ タプネ カネ アウヌフ アオナハ
tapne tapne kane a=unuhu a=onaha

かくかくしかじかで、お母さんお父さん

セコロ ハウエアナン コロ
sekor hawean=an kor

と呼びながら

イレシパ ワ イヨマップ コロ オカ イケ
i=respa wa i=omap kor oka h_ike

その人達は私を育て可愛がってくれていましたし、

アウヌフ ヘネ ネ クナク アラム コロ
a=unuhu hene ne kunak a=ramu kor

私は自分の母であると思いながら

アイレス コロ アナニネ オラ
a=i=resu kor an=an h_ine ora

育ててもらいました。

インネ コタナン ワ オロ ワ イアッカリ ポロ マッカチ エク ワ
inne kotan an wa oro wa i=akkari poro matkaci ek wa
 人口の多い村があり、そこから私よりも年上の女の子が来て、

ウトウラ シノッアン コロ パテク オカアン ペ ネ ア プ、
utura sinot=an kor patek oka=an pe ne a p,
 私達は一緒に遊んでばかりいたのですが、

ヘムトマニ ワノ エク ルウェ カ イサム。
hemtomani wano ek ruwe ka isam.
 近頃は来なくなってしまったのです。

オロヤチキ アライケ ワ イサム マ エキサム ルウェ ネ
oroyaciki a=rayke wa isam w_a ek isam ruwe ne
 思うに、女の子は殺されてしまって来なくなったのだ

エネ アニ ネ オラウン アシヌマ カ ああ きつと
ene an h_i ne oraun asinuma ka AA KITTO
 ということで、私もきつと

トパットウミ オッ タ アイエイッカ ワ アラキアン ペ ネ ア プ、
topattumi or_ ta a=i=eikka wa arki=an pe ne a p,
 夜襲で盗まれてきたのですが、

アイエイッカ イ ラムニンカ ワ クス
a=i=eikka h_i ramuninka wa kusu
 私が盗まれたことを忘れてしまっていたので、

「トウレシヒ ネ ヒ エラマン マ トウラ シノチ ネ ナンコロ クス
“turesihi ne hi eraman w_a tura sinot h_i ne nankor kusu
 「その女の子は自分の妹だとわかって一緒に遊んでいるのだろう。だから、

オピッタ アロンヌ ソモ キ ヤカナク
opitta a=ronnu somo ki yak anak
 もし（夜襲で）全員殺されていなかったのなら

アコタヌ ウオマ カ ソモ キ クス オピッタ アライケ イケ。」

a=kotanu uoma ka somo ki kusu opitta a=rayke h_ike.”

我々の村は全員無事ではいられなくなるから、みんな殺したらどうか。」

セコロ ハウオカ コロ

sekor hawoka kor

と村人達が言っていて、

アシヌマ カ アイライケ クナク アイェ ルウェ ネ ワ アエキマテク ワ

asinuma ka a=i=rayke kunak a=ye ruwe ne wa a=ekimatek wa

私も殺されると言われて、私はそれに驚きました。

「アヌカラ コロ アエライケ イ アヌカラ カ ヌクリ ワ

“a=nukar kor a=e=rayke h_i a=nukar ka nukuri wa

「私達が面倒を見ていながらお前が殺されるのを見るのも嫌だから

アエキラレ シンネ ナ。

a=e=kirare sinne na.

お前を逃がすのですよ。

カムイ アニスク ヤクン カムイ レンカネ ネイ タ カ アエパ ヤクン

kamuy a=nisuk yakun kamuy renkane ney ta ka a=e=pa yakun

私達は神様に頼み、神様のご加護でどこかで見つけてもらえたら、

ヤイエイモンタサ クニ ラム。」

yayeymontasa kuni ramu.”

復讐しようと思いなさい。」

セコロ アオナハ アウヌフ ハウオカ コッ チシ コロ

sekor a=onaha a=unuhu hawoka kor_ cis kor

と私の父と私の母は言って泣きながら

チポロ イオマレ ワ アイモムカ クス ネア チプ カンペ クル さ^[6]

cip or i=omare wa a=i=momka kusu nea cip kanpe kur SA

舟の中に私は入れられ、私は流されたので、その舟は波の上を

エチャララセ ワ クンネ ヘネ トカペネ エカナイネ
 ecararse wa kunne hene tokap h_ene ek=an ayne
 滑り下りて、夜も昼も私は流れて来て

チプ オヤオタ クス オロ タ アラキ ワ
 cip oyaota kusu oro ta arki wa
 舟が岸に乗り上げたので、そこに（あなた方の姉妹が）やって来て

アイパ ヒ アイェ アクス イヤイコルイルイパ、
 a=i=pa hi a=ye akusu i=yaykoruyruypa,
 私が見つけれられたのですということを話すと、翁は私を抱きしめ何度もなでて、

「アユピヒ トオ アコロ イシカラ セコロ アイェ ウシケ タ
 “a=yupihi too a=kor Iskar sekor a=ye uske ta
 「私の兄は遠い石狩と呼ばれる所の、

オロ ネ (?) ワ イシカラ プトゥ コン ニシパ アネ ルウエ ネ。
 oro ne(?) wa Iskar putu kor_ nispa a=ne ruwe ne.
 石狩川の河口を領有する長者なのだ。

オロワ イシカラ クシケ ワ、アユピヒ アン ペ ネ イネ
 orowa Iskar kuske wa, a=yupihi an pe ne h_ine
 石狩の向こう岸に、私の兄がいて

アユピヒ シネ ポ コリネ ピリカ メノコ エトウニネ
 a=yupihi sine po kor h_ine pirka menoko etun h_ine
 一人息子がいたので、美しい女性をお嫁さんにもらって

トゥ マッカチ ウココロ セコロ イヌアン ルウエ ネ ア プ、
 tu matkaci ukokor sekor inu=an ruwe ne a p,
 二人の女の子ができたとは私は聞いていた。

アカラク エキムネ オカケ タ ネア コタン トパットウミ オエキネ
 a=karku ekimne okake ta nea kotan topattumi oek h_ine
 （ある日のこと、）私の甥が山へ行った後に、その村に夜襲が来て、

アアラウシテッカ ヤカイエ

a=ar'ustekka yak a=ye

村が全滅させられたのだそうだ。

オカケ タ アカラク イワク オラノ パラパラク コロ

okake ta a=karku iwak orano parapararak kor

その後で、私の甥が山から帰ってきた。甥は泣き叫びながら

ケウ ウピシテ アクス エチオカ パテク エチイサム。

kew upiste akusu ecioka patek eci=isam.

亡骸を数えたところ、お前達だけがない。

『ネイ タ カ エチシクヌレ イ ネ ナンコロ。』

'ney ta ka eci=siknure h_i ne nankor.'

『どこかでお前たちが生きていることだろう。』

セコロ ハウエアン コロ ライ カ コヤイクシ オイケシネ オパカネレ ワ

sekor hawean kor ray ka koyaykus oykesne opakanere wa

と言いながら、甥は死ぬにも死にきれず、しまいには馬鹿になって、

ポン チセ カラ ワ オロ タ アン ワ ヤイコタメパシ^[7] (?)

pon cise kar wa oro ta an wa yaykotamepas(?)

小さな家をつくってそこに住み、自分に向けて刀をふりかざし (?),

ヤヨトゥリムコテ コロ アン コロ

yayoturimkote kor an kor

悪い出来事を知らせる前触れの声をあげている。

アポウタリ トウン アン ペ ネ ワ エキムネ ワ

a=poutari tun an pe ne wa ekimne wa

私には息子が二人いるので、彼らが山に行つて

ウサ チコイキプ コロ ワ アラキ コロ エクニ プ セ ワ

usa cikoykip kor wa arki kor e kuni p se wa

獲物やらをとって来て、いつも食べる物を背負って

パイェ ランケ コロ オカアナワ アンペ ソネ アマッ…… ア……

paye ranke kor oka=an awa anpe sone a=mat... a...

行って、私達は暮らしていたが、実際本当に

アカラクフ マツネポ エク ハウエ ネ ノイネ イソイタク クス

a=karkuhu matnepo ek hawe ne noyne isoytak kusu

私の甥の娘が来たかのように話しているので、

ネウン ポカ タアン ポン マツネブ…… ポン マッカチ ホクレ アイペレ ワ

neun poka taan pon matnep... pon matkaci hokure a=ipere wa

なんとかこの小さな女の子にはやくご飯を食べさせて、

アトゥマシヌレ ワ アカラクフ ナン コッチャケ アエスイェ コロ

a=tumasnure wa a=karkuhu nan kotcake a=esuye kor

体力をつけさせて、私の甥の顔の前でこの子を揺らし、

トモ アオイタク チキ ソモ カ^[8]…… あの……

tomo a=oytak ciki somo ka... ANO...

彼をなぐさめれば、

ヤイエイモンタサ ポカ キ イ…… ペ ヘ (?) アン。」

yayeymontasa poka ki i... pe he(?) an.”

復讐でも果たせるだろう。」

セコロ オンネクル ハウエアン コロ

sekor onnekur hawean kor

と翁は言いながら、

イウコルイルイパ イウコオマブ コロ アナン。

i=ukoruyruypa i=ukoomap kor an=an.

私と一緒になでて可愛がってくれました。

オラノ コント アクス オヌマナナクス ユク セ ウタラ イワキネ

orano konto akusu onuman an akusu yuk se utar iwak h_in

そうして、夕方になると、鹿を背負った人々が帰ってきました。

カラク…… ソンノカ ウイリワク ウタン ネ アニネ

karku... sonnoka uirwak utar_ ne an h_ine

やはり本当に兄弟であり、

トゥ オッカイポ アラキ イネ ユク シケ キ ワ アラキ ワ

tu okkaypo arki h_ine yuk sike ki wa arki wa

二人の若者が鹿を背負って来て、

ウコカムアフプテ パ ワ

ukokam'ahupte pa wa

その肉を家の中に入れて、

「フナク ワ エク マッカチ アン ルウェ アン？」

“hunak wa ek matkaci an ruwe an?”

「どこから来た女の子だい。」

セコロ ウエペケンヌ、ネ イポネ ウタラ キ アクス

sekor uepekennu, ne ipone utar ki akusu

とその息子たちが尋ねると、

「タップネ タプネ ハウエアン コロ エク ペ ネ ワ クスン

“tapne tapne hawean kor ek pe ne wa kusun

「こうこうこのようなことであると言って来た子であって、

アカラクフ サッカ マンネウ (?) …… マツネポ ネ ノイネ

a=karkuhu sakka mannew(?)... matnepo ne noyne

私の甥が失った娘であるように

ハウエアン ルウェ ネ クス ホクレ タアン マッカチ ピリカノ アレス ワ

hawean ruwe ne kusu hokure taan matkaci pirkano a=resu wa

この子が言うので、早くその子を大事に育てて、

オラ エチカイ ワ エチパイェ ワ

ora eci=kay wa eci=paye wa

お前たちが負ぶって行って、

アカラクフ ナン コツ…… ネン カ オシマケ ペカ

a=karkuhu nan kot... nen ka osmake peka

どうにか甥の後ろから

エチトウイエトウイエ ワ^[9] エチパイェ ワ タプコムイエ^[10] エチエシカリ ワ

eci=tuyetuye wa eci=paye wa tapkomuye eci=esikari wa

回って行って、甥をはがいじめにしてつかまえなさい。それで、

『タパン マッカチ エマツネポ ネ ノイネ ハワン コロ エク ナ

‘tapan matkaci e=matnepo ne noyne hawan kor ek na

『この女の子がお前の娘であるように言って来たのだから、

ホクレ ヤイパカシヌ。』

hokure yaypakasnu’

はやく気を取り直しなさい』

セコロ ハウオカ コロ アカラクフ ナン…… ナン コツチャケ

sekor hawoka kor a=karkuhu nan... nan kotcake

と言って、私の甥の顔の前で

タアン マッカチ エチエスイェカラ ワ トモ エチオイタク チキ

taan matkaci eci=esuyekar wa tomo eci=oytak ciki

この女の子をゆらして彼を慰めれば、

ソモ セコロ ヤイヌアン ルウェ ネ ナ ネノ アポウタリ イキ ワ

somo sekor yaynu=an ruwe ne na neno a=poutari iki wa

改心しまいかと私は思うのです。だから、息子たちよ、そうして

イコレ ヤン。」

i=kore yan.”

ください。」

セコロ ネア オンネクル ハウエアン アクス ネア オツカイポ ウタラ カ

sekor nea onnekur hawean akusu nea okkaypo utar ka

とその翁が言うと、その若者たちも

イヘンコツパ パ、イネアプ イヨマプ パ ワ

i=henkotpa pa, ineap i=omap pa wa

私をいつくしみ、なんとまあ可愛がってくださる

シリキ ヤ カ アエラミシカリ コント

sirki ya ka a=eramiskari konto

か、わからないほどで、

「ポナユピ、ポロ アユピ、ポン…… ポロ アサ、ポン アサ。」

“pon a=yupi, poro a=yupi, pon... poro a=sa, pon a=sa”

「小さい兄さん、大きい兄さん、大きい姉さん、小さい姉さん」

セコロ ハウエアナン コロ アナン ペ ネ クシ

sekor hawean=an kor an=an pe ne kus

と私は呼びながらいたので、

イトウマム クニ プ イコ…… イウコエウナラパ コロ

i=tumam kuni p i=ko... i=ukoewnarpa kor

兄さんや姉さんは私を抱いて寝るにも私を互いに譲ろうとはせずに、

オロ タ アナナ プ、

oro ta an=an a p,

そこで私は暮らしていました。

アイピリカコロ コロ アナン アイネ シネ アン ペ タ コント

a=i=pirkakor kor an=an ayne sine an pe ta konto

そうして大切に育てられていると、ある日、

チポロ アイヨマレ ヒネ アユプタリ アサウタリ トウラノ イシ……

cip or a=i=omare hine a=yuputari a=sautari turano is...

私は舟の中に入れられて、私の兄さん姉さんたちと一緒に

ペットモトウイエアン パ ヒネ パイエアナクシ

pettomotuye=an pa hine paye=an akus

川を渡って行くと、

ソノカ インネ コタン ネ アアン ペ アン ウフイ ニチチャハ パテク
sonnoka inne kotan ne aan pe an uhuy nicicaha patek
 聞いていたとおり、人口の多い村であったものの燃えた棒杭ばかり、

ポロンノ イクシペ ロシキ ロシキ カネ アン
poronno ikuspe roske roske kane an
 柱がたくさん立っていて、

イマカケ タ ポン チセ アン シリ イキ イネ オラウン
imakake ta pon cise an siri iki hine oraun
 その後ろに小さな家があるようでした。すると、

アチャポ シネブ アラトウサ シリ、
acapo sinep aratusa siri,
 おじさんが一人裸で、

コロ ポン チセ オカリ ヤヨトウム…… ヤヨトゥリムコテ コロ
kor pon cise okari yayotum... yayoturimkote kor
 その小さな家のまわりで悪い出来事を知らせる前触れの声あげ、

タシロ たか エムシ たか コロ カネ ワ ヤイコチュプシ…… チシアン^[11] ワ
tasiro TAKA emusi TAKA kor kane wa yaykocups... cis=an wa
 山刀だか太刀を持ち、ひとりで泣いて

ネ ヒ ヤヨロ…… トウリムコテ^[12]、カムヨロイタク キ コロ
ne hi yayor... turimkote, kamuyoroytak ki kor
 悪い出来事を知らせる前触れの声あげて、神様への祈り言葉を捧げて

アン シリ イキ アクス オラノ ネア アユプタリ アプ…… (?)
an siri iki akusu orano nea ayuputari ap... (?)
 いる様子でありました。すると、私の兄たちが、

オシマケ トウイエトウイエ ワ パイエ パ アイネ
osmake tuyetuye wa paye pa ayne
 おじさんの後ろから回って行って、

タプコムイエ エシカリ パ ワ ウコムンコキシマ (?) パ ヒネ
 tapkomuye esikari pa wa ukomunkokisma(?) pa hine
 おじさんをはがいじめにして地面に押さえ込み (?) して、

エウン コント アエカヒ…… アイトゥラ イネ
 eun konto a=e=kahi... a=i=tura h_ine
 そこへ私は連れていかれて、

「タアン マッカチ エマツネポ ネ ノイネ ハワン コロ エク ワ
 “taan matkaci e=matnepo ne noyne hawan kor ek wa
 「その女の子があなたの娘であるように言ってやって来て、

アパ ルウェ ネ ワ ヤイトモイタク ネウン ポカ
 a=pa ruwe ne wa yaytomoytak neun poka
 私達はその子を見つけました。気を落ち着けてどうにか

ヤイエイモンタサ クニ ラム。ヤイトモイタク。」
 yayeymontasa kuni ramu. yaytomoytak.”
 復讐するように思いなさい。落ち着きなさい。」

セコロ ハウオカ コロ ネア アユプタリ ネア アチャポ トモ オイタク
 sekor hawoka kor nea a=yuputari nea acapo tomo oytak
 とその私の兄たちはそのおじさんをなだめて

コツチャケヘ アイエスイエカラ クシ
 kotcakehe a=i=esuyekar kus
 彼の前で私は揺らされたので、

オロ タ エアシリ スム キナ ネ ノイコサンパ ア ヒネ オラノ
 oro ta easir sum kina ne noykosampa a hine orano
 そこでやっとおじさんは萎れた草のようにぼったり座り込んで、

「ソンノカ ラチウエ アキリ。」
 “sonnoka raciwe a=kir.”
 「確かにその眉のあたりの形に見覚えがある。」

セコロ ハウエアン コロ イカ タ ライ ランケ チサ チサ
sekor hawean kor i=ka ta ray ranke cis a cis a

と彼は言い、私の体の上に死んだかと思うほどに泣いて泣き崩れ、

カンナ ルイノ アイ…… アイコピシ プ ネ クス
kanna ruyno ay... a=i=kopisi p ne kusu

なおまた私は尋ねられるものだから、

エネ アイレス イ アイェ プ ネ クシ…… ヤクン
ene a=i=resu h_i a=ye p ne kus... yakun

このように私は育てられたと言うと、

「ポロ アマツネポ アライケ ワ イサム ハウエ ネ。」

“poro a=matnepo a=rayke wa isam hawe ne.”

「上の娘は殺されてしまったということか。」

セコロ ハウエアン コロ チシ コロ イカ タ チサ チサ オラノ コント
sekor hawean kor cis kor i=ka ta cis a cis a orano konto

と泣きながら私の上で泣き崩れて、

ネア アオナハ ネ アアン ペ イカ タ チシ コロ コント
nea a=onaha ne aan pe i=ka ta cis kor konto

私の（実の）父だった人は、私の上で泣き崩れながら、

イエフナラ プ ネ クス ポナサハ トウラノ コント
i=ehunara p ne kusu pon a=saha turano konto

私を他人にやりたがらないものだから、私の小さい姉とそこで暮らし、

オロ タ オカアン マ イトウマム マ オロ タ オカアン。
oro ta oka=an w_a i=tumam w_a oro ta oka=an.

私を抱いて寝て、そこで私達は暮らしていました。

アユプタリ コント ユク ヘネ チェペネ コイキ コロ
a=yuputari konto yuk hene cep h_ene koyki kor

私の兄達は鹿でも魚でも獲り、

アオナハ エ クニ プ コロ ワ アラキ ワ

a=onaha e kuni p kor wa arki wa

私の父の食料を持って来て、

「ホクレ イペ ワ トウマシヌ ヤクネ

“hokure ipe wa tumasnu yakne

「さあ、食べて体力をつければ、

タアン オペレ カリ エキ エラマン ノイネ ハウエアン クス

taan opere kari ek h_i eraman noyne hawean kusu

この少女は通ってきた道を覚えているようなことを言っているから、

アトウラ ワ イ…… ヤイエイモンタサアン クシ ネ ナ。」

a=tura wa i... yayeymontasa=an kus ne na.”

私はこの子と一緒に復讐する。」

セコン ネア アオナハ ネ アアン ペ ラムユプ……

sekor_ nea a=onaha ne aan pe ramuyup...

と私の（実の）父であったものは

ユッパ プ ネ クス ポン アサハ アン ワ アオナハ パロオスケ ワ

yuppa p ne kusu pon a=saha an wa a=onaha paroosuke wa

気持ちを引き締めたので、私の小さい姉は、私の父に食事をつくり、

アイペレ アイペレ クシ アイェ プ ネ クス イペ コロ チシ コロ

a=ipere a=ipere kus a=ye p ne kusu ipe kor cis kor

私が父にどんどん召し上がれと言うので、父は食事しながら泣いていて、

イヌカラ コロ イカ タ チサ チサ ランケ コロ

i=nukar kor i=ka ta cis a cis a ranke kor

私を見ては私の上に泣き崩れるようにしていました。

「アコロ オペレ サンペポ！」

“a=kor opere sanpepo!”

「私の娘、大事な娘よ！」

セコロ ハウエアン コロ イカ タ チシ コロ オカアン アイネ
sekor hawean kor i=ka ta cis kor oka=an ayne

といいながら、私の上で泣き崩れては、そうして私達は暮らしていました。

アオナハ カ トウマシヌ コロ
a=onaha ka tumasnu kor

そのうちに、私の父も体力が付き、

ネア アユプタリ ポナユピ、ポロ アユピ セコロ アイェ ア ウタラ
nea a=yuputari pon a=yupi, poro a=yupi sekor a=ye a utar

その私の兄達、小さい兄さん、大きい兄さんと私が呼んでいた人達が

コタヌ ワ イエパ カネ パナク オピッタ ニスク パ ワ
kotanu wa i=epa kane p anak opitta nisuk pa wa

村から私のところに来ていた者達みんなを頼んで、

トゥミ エシカラカラ パ ヒネ コント チプ トシカ アカラ パ ヒネ
tumi esikarkar pa hine konto cip toska a=kar pa hine

戦の準備をしてたくさんの舟をつくって、

カリ モマン エネ ネ コ…… エネネ ペコロ エカニ アイェ プ ネ クス
kari mom=an ene ne ko... enene pekor ek=an h_i a=ye p ne kusu

そこを流れて、このように私が来たと言ったので、

チポアン マ パイエアナインネ ネ オロワ モムアナ
cipo=an w_a paye=an ayne ne orowa mom=an a

私達は舟に乗って行き、私が流れてきた

ペツ ネ ア ペコロ ヤイヌアン ペ
pet ne a pekor yaynu=an pe

川であるように思われるところを、

「タアン ペトロ ワ モマン ペコロ ヤイヌアン。」

“**taan pet or wa mom=an pekor yaynu=an.**”

「この川から私が流れてきたように私は思います。」

セコロ ハウエアナナクシ コント

sekor hawean=an akus konto

と私が言うと、

オロ タ カシ カラ パ ヒネ レウシ パ ヒネ オラウン

oro ta kas kar pa hine rewsu pa hine oraun

そこで兄達は仮小屋をつくって泊まり

クンネ ネ ペツ トウラシ チプ アオ ワ

kunne ne pet turasi cip a=o wa

夜に、その川に沿って舟に乗って

パイェアナイネ ネア アウニヒ ネ ア プ、

paye=an ayne nea a=unihi ne a p,

進んでいき、例の私の住んでいた家、

オロシ…… オロ ソイケ タ チプ アヤプテ ヒネ オラノ

oros... oro soyke ta cip a=yapte hine orano

その外に舟をつけました。それから

「ホシキ エシラムキン ナ ホシキ アラパ ワ シサノンカラ。」

“hoski e=siramkir_ na hoski arpa wa sisanonkar.”

「さあ、お前が土地勘があるんだから、先に行って様子をうかがってこい。」

セコロ アイェ クス ネア アオナウタリ ペタルフ タ ヤナン ペ ネ クシ

sekor a=ye kusu nea a=onautari petaruhu ta yan=an pe ne kus

と言われたために、父親達の舟をつけた場所で私は陸にあがり、

パスン カネ テレケアン カネ ネア アウニヒ ネ ア プ、

pas=an kane terke=an kane nea a=unihi ne a p,

走り跳びながら、私の家であったところ、

アウヌフ ウタリ オロ タ プ…… アラパアナク

a=unuhu utari oro ta p... arpa=an y_ak

私の母達のところに行くと、

ソモ カ オロ タ アペ アン クナク アラム ア プ、
somo ka oro ta ape an kunak a=ramu a p,
 まさかそこに火があるとは思わなかったのですが、

アペ ルイルイ アペ ルイ ヒネ アニネ オロ タ アフナナクシ
ape ruyruy ape ruy hine an h_inine oro ta ahun=an akus
 火が激しく燃えていて、そこで私が家に入ると、

トゥン ネ ワ イサム ペ シユク ライ ペ シユク キ ヒネ オカ ウシケ タ
tun ne wa isam pe siyuk ray pe siyuk ki hine oka uske ta
 二人で死装束を着ている所に

「アウヌフ、アオナハ！」
“a=unuhu, a=onaha!”
 「お母さん、お父さん！」

セコロ ハウエアナン コロ アウオテレケアナクス
sekor hawean=an kor awoterke=an akusu
 と私が言って家の中に飛び込むと、

「アコロ オペレ、アンペ ソネ エシクヌ イネ エエク シリ アン。」
“a=kor opere, anpe sone e=siknu h_inine e=ek siri an.”
 「私の娘よ、本当にお前は生きて戻って来たんだね。」

セコロ ハウオカ コロ イカ タ ライ ランケ チシ パ コロ
sekor hawoka kor i=ka ta ray ranke cis pa kor
 と言い、私の上で泣き崩れるように泣きながら、

「ニサッタ ネ アン ヤクン アイライケ クシ ネ。」
“nisatta ne an yakun a=i=rayke kus ne.”
 「次の日になったら私たちは殺されてしまいます。」

セコロ ハウオカ プ ネ クス
sekor hawoka p ne kusu
 というもので、

「タネ アエキラレ ワ エイサミ ルシカ パ クス

“tane a=e=kirare wa e=isam h_i ruska pa kusu

「もはや私たちがあなたを逃がしてしまったことを（この村の人々は）怒っているので

『ニサッタ ネ アナク アイライケ クシ ネ。』

‘nisatta ne an y_ak a=i=rayke kus ne.’

『明日になったら、殺してやる。』

セコロ ハウオ…… ハウオカ コロ パイエ プ ネ クス

sekor hawo... hawoka kor paye p ne kusu

と言いながら出て行き、それで

ライアン クニ アラム ワ

ray=an kuni a=ramu wa

私たちは死ぬように思って、

エネ イサム ペ シユク ライ ペ シユク アキ ワ オカアン ルウェ ネ。」

ene isam pe siyuk ray pe siyuk a=ki wa oka=an ruwe ne.”

このように死装束を着ていたのです。」

セコロ ハウオカ コロ オカイ ペ ネ クス

sekor hawoka kor okay pe ne kusu

と言っています。それで、

オロ タ コント ネア アユプタリ アオナウタリ

oro ta konto nea a=yuputari a=onautari

そこにその私の兄達や父達が

アラキ イネ アン ペ ネ ヒ エラムオカ イ エヤイレンカ。

arki h_iner an pe ne hi eramuoka h_i eyayrenka.

来ていることがわかって、その再会を喜びました。

チシアン パ コロ オカアナウエ ヌ プ ネ クシ

cis=an pa kor oka=an h_awe nu p ne kus

私達が涙を流しながらいる声を聞いていたので、

アオナウタリ ア…… アユプタリ オピッタ

a=onautari a... a=yuputari opitta

私の父達や兄達みんな

ネア アオナウタリ ウニ タ アフピネ ヤイライケ イタク イェ パ

nea a=onautari uni ta ahup h_inē yairayke itak ye pa

その父達の家に入って来て、感謝の言葉を述べ、

ネア アウヌフ アオナハ コヤイライケ イ イェ パ ヒネ

nea a=unuhu a=onaha koyairayke h_i ye pa hine

私の母と私の父はそれに感謝の言葉を述べて、

オラ ネア アオナウタリ パナケ タ アン コタン

ora nea a=onautari panake ta an kotan

それから父達は川下にある村の

オシマク タ コタン セレマク ウシ パ ヒネ

osmak ta kotan sermak us pa hine

後ろの村に陰祈祷して、

イノンノイタク パ ルウェ ネ アクス

inonnoytak pa ruwe ne akusu

祈り言葉を捧げると

コタン パ ワ ヌイタク ホプニ ワ コタン ケスン トウルセ

kotan pa wa nuytak hopuni wa kotan kes un turse

村の上端から炎の玉が飛んで、村の下端に落ち、

コタン ケシ ワ ヌイタク ホプニ ワ コタン パ ウン トウルセ アクシ

kotan kes wa nuytak hopuni wa kotan pa un turse akus

村の下端から炎の玉が飛んで村の上端に落ちると、

「タネ コタンコサブアン ヤッカ ピリカ ノイネ シリキ。」

“tane kotankosap=an yakka pirka noyne siriki”

「もうそこの村に下りてもいいようだ」

セコロ ハウオカ コロ コタンコサプ パ ヒネ

sekor hawoka kor kotankosap pa hine

と父達は言い、その村に下りて、

「セタ キキリ アコケレケリ ノ アロンヌ ルウエ ネ。」

“seta kikir a=kokerkeri no a=ronnu ruwe ne”

「犬の蚤とともにやっつけて殺した」

セコロ ハウオカ コロ コント ホシッパ ヒネ アラキ イネ

sekor hawoka kor konto hosippa hine arki h_in

と言いながら帰ってきて、

ネア アオナハ オロ タ アラキ ワ オラノ

nea a=onaha oro ta arki wa orano

その私の父のところに来て、

アオナハ アウヌフ チシ トウラ

a=onaha a=unuhu cis tura

私の父と私の母は泣きながら

「アコロ オペレ、セレマク エコロ クス

“a=kor opere, sermak e=kor kusu

「わが娘よ、守護神をお前は有しているので、

イカカタ エネ エウタリ エパ ワ エエク シリ ネ。」

ikakata ene e=utari e=pa wa e=ek siri ne.”

本当にこのようにお前の親族を見つけて来たのですね。」

セコロ ハウオカ コロ カンナ ルイノ イヤイコルイルイエ、

sekor hawoka kor kanna ruyno i=yaykoruyrye,

と言い、再び私を抱きしめてなですり、

「アオカ カ ラヤン クニ アラム ア プ、

“aoka ka ray=an kuni a=ramu a p,

「私達も死ぬように思っていたましたが、

エアン クシケライポ シクヌアン シリ ネ。」

e=an kuskeraypo siknu=an siri ne.”

お前がいたおかげで命拾いしたようです。」

セコロ ハウオカ コロ イコプンテク ロク イコプンテク ロキネ

sekor hawoka kor i=kopuntek rok i=kopuntek rok h_ine

と言いながら私を褒めに褒めてくれました。

オラウン ネア アオナウタリ ネア トパツ…… たか

oraun nea a=onautari nea topat... TAKA

私の父親達は

ネア コタン オツ タ パイエ ワ

nea kotan or_ ta paye wa

その村に行き、

「タオカイ ペ カ アコロ ペ ネ。」

“taokay pe ka a=kor pe ne.”

「これも我々のものだ。」

セコロ ハウオカイ ペ ピリカ カニヒ (?) ヌムケ パ イネ

sekor hawokay pe pirka kanihi(?) numke pa h_ine

と言っていたのですがいい金属製品 (?) を選んで

チポルン ルラ パ オラ ネア コタン ヌイエオツケパ イネ

cip or un rura pa ora nea kotan nuyeotkepa h_ine

舟の中に一緒に入れて、その村に火をつけ、

オラ ネア アオナハ アウヌフ アナクネ

ora nea a=onaha a=unuhu anakne

私の (育ての) 父と母は

「トゥ…… トゥナネ ワ、テ タ オカアン カ ミシム クシ

“tu... tun a=ne wa, te ta oka=an ka mismu kus

「私達は二人でここで暮らしているのも退屈なので、

ニシパ ウタラ アトウラ ルスイ。」

nispa utar a=tura rusuy.”

旦那たちと一緒にいきたい。」

セコロ ハウエアニネ

sekor hawean h_inine

と言います。

「ピリカ ハウエ ネ。」

“pirka hawe ne”

「構いませんよ」

セコロ アイェ パ プ ネ コン ネア アオナハ、アウヌフ セコロ

sekor a=ye pa p ne kor_ nea a=onaha, a=unuhu sekor

と私が言ったので、お父さん、お母さんと

アイェ パ プ カ オピッタ コロ ワ オカイ ペ アチペクサ ヒネ

a=ye pa p ka opitta kor wa okay pe a=cipekusa hine

私が呼んでいた人もみんな持っているものを舟に乗せて運び、

イシカルン アラキアニネ ネア アオナハ ソイケ タ

Iskar un arki=an h_inine nea a=onaha soyke ta

石狩へ来ると、その私の（実の）父の家のそばに

ネア アオナハ アウヌフ カ ウニヒ アカラ ワ コント

nea a=onaha a=unuhu ka unihi a=kar wa konto

私の（育ての）父と母の家も私が作って、

オロ タ オカアン イネ オラ アオナハ カ オホンノ シネン ネ アン アイネ

oro ta oka=an h_inine ora a=onaha ka ohonno sinnen ne an ayne

そこで私たちは暮らしました。私の（実の）父も長い間一人でいて、

タネ オンネ ウシケ エパ コロカ

tane onne uske epa korka

もはや年老いた方になったけれど、

ピリカ メノコ アイ…… アアチャハ たか アユプタリ エトウニネ
pirka menoko ay... a=acaha TAKA a=yuputari etun h_ine
 美しい女性を私のおじさんだか私の兄達がお嫁にもらって、

アユピヒ コロ アッ…… アオナハ コロパレ ワ アオナハ カ マツコロ。
a=yupihi kor ac... a=onaha korpore wa a=onaha ka matkor.
 私の兄達は父にお嫁さんをやり、私の父も妻を持ちました。

アシヌマ カ タネ ポロアン ペ ネ クス
asinuma ka tane poro=an pe ne kusu
 私ももう大人になったので、

アシヌマ カ ピリカ ホク アイコレ ワ
asinuma ka pirka hoku a=i=kore wa
 私も素敵な旦那様をもらいました。

ネア アオナハ、アウヌフ セコロ ハウエアンアン コロ
nea a=onaha, a=unuhu sekor hawean=an kor
 お父さん、お母さんと呼び

イレス パ プ ネ ア クシ トウラノ アナン ワ ソンノ アオナハ トウ……
i=resu pa p ne a kus turano an=an wa sonno a=onaha tu...
 私を育ててくれたので、一緒に私は暮らし、本当の父親の

ソイケ タ アナン ペ ネ クス
soyke ta an=an pe ne kusu
 外で私は暮らしていたのですが、

アオナハ カ アヌヌケ ネア イレシパ ロク アオナハ カ アピリカレス。
a=onaha ka a=nunuke nea i=respa rok a=onaha ka a=pirkaresu,
 私の（実の）父も私は大事にして、私を育ててくれた父も私は養い、

ピリカ ホク アコロ ワ ネプ アエ ルスイ カ
pirka hoku a=kor wa nep a=e rusuy ka
 よい夫を持って、何を食べたいとも

ネパコン ルスイ カ ソモ キ コロカ

nep a=kor_ rusuy ka somo ki korka

何が欲しいとも思いませんでしたが

タプネ カネ ネ ワ アサハ カ アライケ ワ

tapne kane ne wa a=saha ka a=rayke wa

このようなことで私の姉も殺されて、

アエヤイスクプカ プ ネ ア コロカ

a=eyaysukupka p ne a korka

それを思い出すとつらくもあったけれど、

カムイレンカイネ アウタリ アパ ワ イカカタ ヤイエイモンタシパアン ワ

kamuyrenkayne a=utari a=pa wa ikakata yayeymontaspa=an wa

神様のおかげで、自分の親族を見つけて本当に復讐して

オピッタ アロンヌ プ ネ ア クス アイエ

opitta a=ronnu p ne a kusu a=ye

皆殺しにしたので、いまこのように話していることなのですよ、

セコロ シノ カツケマツ ハウエアン。

sekor sino katkemat hawean.

と真の淑女が言いました。

(萱野：はい、どうも。)

【注】

- [1] uyru 「～にある、～に住む」は inne kotan uyru p のように、連体的にかかる場合にはその後に住む主体が来るのが普通なので、ここでは後ろ文につながらなくなって、いいさしになったと思われる。
- [2] kira : 不明。kirare 「～を逃がす」と言いたかったところかもしれない。
- [3] pinu のいいさし。
- [4] tokap hene 「昼でも」と言おうとしてやめたのかもしれない。
- [5] ここは ecarse ではないが、そのように解釈した。
- [6] kurka 「～の上」と言いたかったところだと思われる。

- [7] yaykotamepas : 未詳。語構成は「yay-ko-tam-e-pas 自分・に対して・刀・で・走る」と考えられる。
- [8] こういった場面では復讐は善であるため、somo ka 「まさか」は、「まさか死にはしない」というようなことを言おうとした言いさしと捉えることにした。
- [9] oshmake wa, atuye tuye 「後から前の方へ出てゆく」(『久保寺辞典稿』 p. 193)
- [10] tapkomuye 「～をはがい締めにする」(『静内語彙集』 p. 142)
- [11] yaykocis=an の言いさし。
- [12] yayturimkote の言いさし。

18-3 ウエペケレ「トパットウミ オッタ アサハ トウラ アエイッカ」解説

語り手：平日よし
聞き手・解説：萱野茂

萱野：わたくしは、物心ついたころには一軒の大きな家に、父と母と思う人に養われて生活をしておりました。4つ5つ6つとなったころになってから、隣村から遊びに来たといって私より2つ3つ年上の女の子が遊びに来るので毎日一緒に遊んで、春は春、夏は夏というふうに、仲よく暮らしておった。

そういうふうにして何年かし、私自身も7、8つぐらいの女の子になり、まあ一緒に遊んでおった女の子も10……まあ2、3ぐらいになったと。そうやって毎日楽しく暮らしており、その遊びに来る女の子にも、わたくしの父や母たちは一緒に食べさせ、たまにまあ一緒に食べさせたり一緒に可愛がったりするので、まったく不自由もなければ楽しい生活を送っておった。

そうしておるうちに、その姉がぱったり来なくなった。どうしてこないのだろうか、姉というよりも一番いい遊び仲間の女の子が遊びに来なくて、寂しくておった。

ある日のこと、まあ父と思っておったその育ててくれた、おじさんの言うのには、本当は、あんたは私とこの子どもではありませんと。昔むか……昔々と言ってもまあ5年か6年昔に **topattumi** [夜襲] といって、この石狩の川尻の方の村へ、いわゆるその、村を襲って全部その隣村の者を殺すことに自分も誘われて行ってひと村を殺したことがあったと。けれどもその時にその、よくその……

まあここで話変わってるんですけど、その育てられたおじ……おじさんの話を言う……話が……育って……、女の子を育てたおじさんが今話をしておるんですが、私たちの父であった人の言うのには、「決してその **topattumi** [夜襲] というその、よそ村へ何かで襲って行っても、村の者全部殺すものではないよ」ということも聞かされており、「行っても人を殺したりはするもんでない」というふうにも聞かされておったんだけど、その **topattumi** に無理に誘われたと。

そしてその時に、行くの嫌がったら、「お前行かなけりゃお前も殺すぞ」と、脅かされたので不承不承にわたくしも一緒に行って、まあ村の近くへ行って、まあ野営して、そして **aynu** [アイヌ] の風習でその、そういう村を襲う時に何かその、いわゆるお祈りをすると、村の上はじから1つの炎の玉が下へ落ち、下はじから炎の玉が上がり、上はじへ落ちるともうその村の者は全員眠っているんだというその、迷信というか、そういう風習あるんで、まあそれと同じようなその、お祈りをし、そしたら今言ったような、村の上はじへ下はじへというふうに炎の玉が落ちたの見たと。

それで村をずっとまあ一軒一軒人を殺して行ったら、ある家へ行くと **sintoko** [行器] って言うまあ、いわゆるアイヌのあの、本州から渡って来たところの塗り物ですがその **sintoko** の中へ姉妹 (きょうだい)、お前といつもここへ、つい先日まで遊びに来ておった女の子、姉妹で **sintoko** の中へ入れられておったと。それをあまりにも綺麗な女の子姉妹であったので殺すの可哀そうで、それについて [連れて] 来て、わたくしは妹であるあんたを育てたと。

そしたら姉は隣村の者たちが育てたのに、この頃遊びに始終来るのを見て、きっとその、夜そういう泥棒ちゅうかその、夜その村を襲って助けて来たちゅうことをおぼえたので、遊びに来ているんだらうと。これは殺さなければ私たちの村が逆に襲われるおそれがあると、そんなふうに言ってその女の子を殺してしまったんだと。だからあんたもここでいつまでおっては、良くないことになるから舟にたくさんの肉とか魚とか積んだからもう今晚のうちにすぐに行きなさい」。

と言って、まあ丸木舟にたくさんの肉、魚そうしたものを積んで、そしてまあ干し肉ですね。それは干し肉とか干し魚を積んで舟の舳先と艫のほうに **aynu teke kar kamuy** [人間が手作りした神] というのは **aynu** [人間] が手作りの、その神様を作って乗せて舟をぼっとまあ沖へ押すと。それがずっと行ってドカンと、この神様の守り、守護によって、どこかへ寄り上がるだろうからまあ、絶対、動いたり大きい声で泣いてはいけませんと言って、まあそこで始めて本当の父でない母でないこと分かった。その夫婦はそう言って私を舟に乗せた。

まあそのあたり非常に細かく、その「乗るの嫌だ」「いや、行きなさい」というふうにする描写なんか細かく出ておりますが、そんなことでまあ舟に乗せられて、私は1人もう本当に泣きながらだけ大きい声で泣いちゃいけないので、そのまま舟の中へ座ってぼっと舟を押し出したと。舟はそのままもう **kanpe kurka earse** [水の上を滑る] というのはその

水面を滑るようにその流れて、下がって行ったと。そしてそのまま、まあ1日か2日流されて、海へ出て海辺をずっと流れて行ってどっかすつとその寄り上がった。

そしたらそこで姉妹（きょうだい）らしい人声がして「先に見つけた人が取るんだぞ」と言って競争してきて、みた。先にとつたのが姉だけれども私を見たのは、見たその瞬間というのは非常にその顔色変えて「こんなに、めんこい [かわいい] 子ども、これ人間じゃないかもしれない」といいながら、尻込みする。そこへ妹だな？ 妹のほうだな、負ぶったのな？

平目：はい

萱野：妹の方が走ってきた。こんなにかわいい子ども、これはもう人間に間違いないと、すぐに背負って歩き始めた。そしたら姉の方は走って行って自分の家へ飛び込んで今、海辺へ寄り上がった舟から女の子を背負ってきています。それはもう人間でないかもしれないよ。と言いながらまあ先に行って……行っている。

それを聞きながら、わたくしは一緒に家の中へ入って、いろいろとその、話を訊かれるままに「こうこうで舟に入れられて来たんですよ」と言ったら、「そうかそうかと、それは多分その、家のその甥子の子どもであるはずだと」と、川向かいでいる甥……弟の子どもかそれ？

平目：兄貴の息子だ。

萱野：兄貴の、兄貴の、ああそうか。そしたらやっぱり甥子になるわけだもんな。

平目：甥っ子。

萱野：その人からいえばな。

平目：ku=karkuhu [私の甥] っていうんだ。

萱野：その甥子の住んでおった村で、村が何年前に襲われて、その甥子は山へ行っている間に襲われたので、その村が全滅したんだけど、死体を数えてみたならば「お前ら姉妹だけがおらない」と言って、その甥子

はそれからもう気違いなるようにしてもう本当にまあ、すっ……すっかり気違いになってしまっておったと。

それはお前をでも連れて行って見せたらなんとか気が付くんじゃないかと、明日になったら行ってそれを見せなさい。というふうに言われて、まあ、そこのお爺さんお婆さんにも可愛がられながらまあ次の日になってから、まあ親戚なるわけだがその若い男の人や女の人が一緒に行つてその本当の父である人はもう裸すっかり、気違いになって裸みたいになっているところ行って「これがお前の子もだよ」と見せたことによってその、本当の父は気が付いたと。

そして涙ながらに、まあ再会を喜んだと。そしてかたき討ちにまだその、前のその娘は子どもが、女の子が育てられた家へ行こうと言ってそこを話きいて、なんとかしなくちゃというわけでまだ〔また〕舟を仕立てて石狩川を上って行ったと。

そして夜その、村を……、のそばを通るようにしてって自分だけがそうだ、自分が育てられた家へは到着して、そして、そこへ到着したら、そして夜、夜中なのに行ってみたら **ape nipek an** [火の光がある] というのはこう、火が外へ洩れておる、入ってみたらもう **ray pe siyuk** [死に装束を着る] と言ってもう死に装束そのまま、両方ともしておいて話を聞いたならば、「お前を逃がしたということで明日は殺す。というふうに言われたので、私たちはこのように死を覚悟して死に装束をしておるのですよ。」とそのように、言ってるそこへまあ一緒に行った人たちも入って来て話を聞いて「よし、それならもう、すぐに行って征伐してやる。」と逆にその隣村のその何軒かの家を行っ……とこへ行って、全部皆殺しにして、仇を討ったと。

そして、その早く私の育ての母や育ての父をも石狩の川尻の私たちの村へ連れて来て、うん、大切に養って、**onne** [亡くなる] した。いわゆる亡くなりましたと1人の女が語りましたという **uepeker** [散文説話] ですね。

やっぱり **uepeker** どれでも同じですけれども昔の生活が細かくその、描写されておるので、こうしたのも、ひと言ひと言するんであれば、和訳するんであれば今私が言ったような短いものではありませんが、あらずじのみを和訳しておきます。

18-4 ウエペケレ

「ウッコッナイ アイヌ アネ」途中でテープ切れ

好色が元で死んだ男の話

語り：平目よし

(萱野：はい)

イシカラ ホントモ タ アオナハ アン アウヌフ アン ヒネ オカアン

Iskar hontomo ta a=onaha an a=unuhu an hine oka=an

私は石狩川の中ほどに父と母と暮らしていました。

アイヌ シレトク アコロ カ ソモ キ プ ネ フミ ヤイカタ カ ヤイレカアン

aynu siretok a=kor ka somo ki p ne humi yaykata ka yayreka=an

特別に男前だというわけでもないのですが、自分自身では自慢

パクノ ピリカ おとこ アネ ワ アナン。ユク ヘネ カムイ ヘネ

pakno pirka OTOKO a=ne wa an=an. yuk hene kamuy hene

できる程にはいい男だと思っています。鹿や熊を

アエアウナルラ ワ アオナウタリ アピリカレス コロ アナン ペ

a=eawnarura wa a=onautari a=pirkaresu kor an=an pe

獲ってきては父たちの面倒をしっかりと見ていたの

アネ ア コロカ サケ アン ワ ネイ タ カ イヤシケ アウク ワ

a=ne a korka sake an wa ney ta ka iaske a=uk wa

ですが酒があると、どこからか人を集めて

アラパアン コロ ポン メノコ カ アヌカラ コロ アニンパ ワ

arpa=an kor pon menoko ka a=nukar kor a=ninpa wa

出かけていって 若い女にでもちょっかいをだし連れ込んで

アエパコアッ コロ アエ…… アオナ イアシンケ ランケ コロ オカアン
 a=epakoat kor a=e... a=ona iasinke ranke kor oka=an
 問題を起こし父が賠償を払うということが続けていたのです。

アイネ モシマ クル マチヒ カ アエイッカ コロ
 ayne mosma kur macihi ka a=eikka kor
 そうして他人の嫁にさえ手をつけては

アエヤヨカパシテ イケカ スイ エネ イキ アン コロ アオナハ クス
 a=eyayokapaste h_ikeka suy ene iki an kor a=onaha kusu
 後悔してもまたそのようなことをしでかした時、父に

イキッキク ヘネ イコイキ ヘネ キ ヤクン のほうええもの
 i=kikkik hene i=koyki hene ki yakun NOHOUEEMONO
 殴りつけられるなり、懲らしめられるなりした方がいいのに

イキッキッ カ ソモキ イコイキ カ ソモ キ
 i=kikkik ka somo ki i=koyki ka somo ki
 殴りつけもしない、懲らしめもしない。

アコヤイウエンヌカラ コロ キム ペカ アプカサン
 a=koyaywennukar kor kim peka apkas=an
 一人苦しみながら山に行き

ヘマンタ イケシケ ヘ キ クス エネ イキアニアン？
 hemanta i=keske he ki kusu ene iki=an h_i an?
 何に嫌われて俺はこんなことをするのだろう？

シコロ ヤイヌアン コロ アナン ペ アネ ルウェ ネ ア プ シネ アン タ
 sekor yaynu=an kor an=an pe a=ne ruwe ne a p sine an ta
 そのように思いながらいたのです。ある日

「エネ シネン ネ エアン ワ ポ ヘネ エネ アン パコアッ エキ クシ
 “ene sinen ne e=an wa po hene ene an pakoat e=ki kus
 「そんなふうに1人でいたのでは、なおさら罰当たりなことをしでかすので

ピリ…… ネン カ エマチヒ ネ クニ プ アエトウン クシ ネ」

pir... nen ka e=macihi ne kuni p a=etun kus ne”

お前に誰か嫁を貰うことにしよう。」

シコロ アオナ ハウエアン コロ ピリカ メノコ エトウン ヒネ

sekor a=ona hawean kor pirka menoko etun hine

そのように父がいい美しい女性を

ニシパ オロ ワ ピリカ メノコ エトウン ヒネ アイコレ ヒネ イネアプ

nispa or wa pirka menoko etun hine a=i=kore hine ineap

立派な人のところから貰い受けてきて 私にあてがいました。なんとまあと

ユプテク ワ シリキ ヤ カ アエラミシカリ エク ヒ…… エク ヒネ アニ

yuptek wa sirki ya ka a=eramiskari ek hi... ek hine an h_i

その女がよく働くこといったら見たこともないほどです。やって来てからは

オラノ アウヌ ネプ テケヘ ケレレ カ ソモ キ ノ ニナ ヘネ

orano a=unu nep tekehe kerere ka somo ki no nina hene

母にはいっさい手をかけさせず、薪ひろいでも

ワッカタ ヘネ スケ ヘネ ネプ ネ ヤッカ アウヌ カレ カ ソモ キ ノ

wakkata hene suke hene nep ne yakka a=unu kare ka somo ki no

水汲みでも料理でも何も母にはさせないで

アリキキ ワ アシヌマ カ ネノ エキムネアン コロ ユク ヘネ カムイ ヘネ

arikiki wa asinuma ka neno ekimne=an kor yuk hene kamuy hene

一生懸命にやるのです。私も山へ狩りに行き鹿や熊を

アエアウナ (ルラ) ㊦ ネプ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ オカ ア プ

a=eawna(rura) nep a=esirkirap ka somo ki no oka a p

獲ってくるので何も心配することもないという暮らしぶりだったので

シネ アン タ ホッケアナクス スイ アマチ アライケ ルスイ。

sine an ta hotke=an akusu suy a=maci a=rayke rusuy.

ある日、横になって休んでいると嫁を殺したくなりました。

アエヤイシッテッカ ルスイ ヤッカ ランマ アマチ
a=eyaysittekka rusuy yakka ranma a=maci

いくら我慢しようとしてもやっぱり嫁を

アライケ ルスイ ア アコソモモコロ アイネ アラムユプコサンパ
a=rayke rusuy a a=kosomomokor ayne a=ramuyupkosanpa

殺したかったのです。それで寝られずにいた挙句、ダメでとうとう決心し、

ヒネ スイ アマチ セウリポキ アアシケクシテ オラウン アナン ヤッカ
hine suy a=maci sewripoki a=askekuste oraun an=an yakka

嫁の喉元に指をまわし（殺しました。）それからそのままいても

せつないアン ペ ネ クス スウオプ シネプ アエタイェ ヒネ アオナ ウタリ
SETUNAI=an pe ne kusu suwop sinep a=etaye hine a=ona utari

せつないので箱を1つ引っ張り出して来て、そうして父たちが

モコン ラポク キラアン ヒネ ソイネアン ヒネ オラノ チサン コロ
mokor_ rapok kira=an hine soyne=an hine orano cis=an kor

寝ている間に逃げ出したのです。外へ出て泣きながら

「ヘマンタ イカツカラ クシ エネ カンナ ランケ (?) アン コロ エネ アン
“hemanta i=katkar kus ene kannan ranke(?) an kor ene an

「何が俺を惑わせていつでも何度でもこのような

パコアッ パテク アキ シリ エネ アニ アン！」

pakoat patek a=ki siri ene an h_i an !”

罪深いことばかりさせるんだ！」

シコロ ヤイヌアン オラノ チサン コロ フナクン ペッ トウラシ
sekor yaynu=an orano cis=an kor hunak un pet turasi

そう思い泣きながらどこか川に沿って上流に進みそうして

アラパアン アイネ オヤク ワ エク ペッ ペテトコ アエホムス (?) ワ
arpa=an ayne oyak wa ek pet tetetoko a=ehomsu(?) wa

別のところから来る川の水源に向かい (?)

フムネ レウシアン フムネ オヤコヤク タ ムン カ アエオコク コロ
 humne rewsian humne oyakoyak ta mun ka a=eokok kor

ときには野宿し(?) あちこちで草にひっかかりながら(?)

トウイ(?) ヌペ アニ アプカシ カ アコヤイクシ シノツチャ ネ ヤ
 tuy(?) nupe ani apkas ka a=koyaykus sinotca ne ya

涙で歩くこともままならなく歌ったり

チシ ネ ヤ アキ コロ

cis ne ya a=ki kor

泣いたりしながら

「ネプ ウエン カムイ イケシケ クス アオナハ カ アウヌ カ
 “nep wen kamuy i=keske kusu a=onaha ka a=unu ka

「いったいどんな神が私を嫌って父や母にまで

アラムペカマム シリ エネ アン クス ニタイ コッ トリ ニタイ コッ チカプ
 a=ramupekamam siri ene an kusu nitay kor_ tori nitay kor_ cikap

苦勞をさせることになっているのか林を司る鳥よ、鳥の神よ

ネ イウエンテ ペ ヌカラ ワ オロ…… オロ パスス ワ イコレ」
 ne i=wente pe nukar wa oro... oro pasusu wa i=kore”

何が私を悪くさせているのかその正体を見破ってくれ。」

シコロ アン ペ アシノツチャオロイエ コロ シネ スウオプ アセ カネ ワ
 sekor an pe a=sinotcaoroye kor sine suwop a=se kane wa

といったことを即興で歌いながら、1つの箱を背負いつつ

ヒナクン アラパアン アイネ オヤク ワ エク ペツ、ペツ ペシ
 hinak un arpa=an ayne oyak wa ek pet, pet pes

どこというあてもなく歩きました。別のところから来ている川があり、その川なりに

サナン アクス インネ コタン トカプチ シコロ アイェ コタン ホントモ タ
 san=an akusu inne kotan Tokapci sekor a=ye kotan hontomo ta

下って行くと大きな村、十勝と呼ばれる村があり、その中ほどまで

アラパアン ルウェ ネ ノイネ シラン インネ コタン ウセ クツ チセ オルン
 arpa=an ruwe ne noyne siran inne kotan use kur_ cise or un
 やって来たようです。大きい村で普通の人たちが住む家の

エアフンヒ (?) アッカリ セコロ ヤイヌアン クシ イヨッタ ポロ ノ アン
 eahunhi(?) akkari sekor yaynu=an kus iyotta poro no an
 戸口を過ぎたと思われるところに一番大きな

チセ ソイケ タ アラパアン アクシ アシンノ アナク ネプ カ アライケ ア
 cise soyke ta arpa=an akus asinno anak nep ka a=rayke a
 家がありその家の外に行くと新たには何も猟が

カトゥ カ イサム フシコ ノ アナク イソン クル アヌシ ネ ア ノイネ
 katu ka isam husko no anak ison kur an usi ne a noyne
 あった様子はないのですが昔は狩りの名手が住んでいたようで

カムイ カ ユク カ サパハ ピチウポネ アナク ポロンノ イナウチパ オツ タ
 kamuy ka yuk ka sapaha piciwpone anak poronno inawcipa or_ ta
 祭壇にはたくさんの熊や鹿の頭部の白骨が

オカ シリ イキ カ アシンノ ネプ カ アライケ ア カトゥ カ
 oka siri iki ka asinno nep ka a=rayke a katu ka
 あるのですが、最近は何も猟があった様子が

アエランペウテク ノ ソイ タ アコロ スウオプ アシサモマレ^[2]
 a=erampewtek no soy ta a=kor suwop a=sisamomare
 ありません。その家の外で箱を脇に置いて

イネ オム…… オムケオムケアン アクス
 h_ine om... omkeomke=an akusu
 そして咳払いをして訪問を告げると

ピリカ オケレ ルプネマツ ソイネ ヒネ イヌカラ クシ イエオリパク クシ
 pirka okere rupnemat soyne hine i=nukar kus i=eoripak kus
 美しい年配の女性が出てきて私を見るとかしこまり

イキ コロ アフナクス

iki kor ahun akusu

つつ家の中にもどり

「ソイ タ カムイ ネ ルウエ ネ ヤ アイヌ ネ ルウエ ネ ヤ アイヌ

“soy ta kamuy ne ruwe ne ya aynu ne ruwe ne ya aynu

「外に神なのか人間なのか、人間の

シレトク コロ カ ソモ キ クル

siretok kor ka somo ki kur

美貌ではないと思われるほど美しい人が

シネ スウオプ シサモマレ ワ ソイ タ アン」

sine suwop sisamomare wa soy ta an”

箱をそばに置いて外にいます。」

シコロ ハカキタクネ コロカ アプイコトロ チウニンパレ アナン アクシ

sekor hakakitakne korka a=puykotoro ciwninpare an=an akus

と低い声でしたが、聞こえてきました。そうしていると

イタサ オンネ クル イタク ハウエ エネ ハウエアシ

itasa onne kur itak hawe ene haweas

それに対し年配の男性が答えました。

「トウミ サウオッ ペ カ オカ ケム サウオッ ペ カ オカイ ペ ネ ナ

“tumi sawot pe ka oka kem sawot pe ka okay pe ne na

「戦から逃げてくる人もいる。飢饉から逃げてくる人もいるものだ。

ネン でも イトムンノ エク クル アナク アフプテ プ ネ ナ。アフンケ。

nen DEMO i=tom unno ek kur anak ahupte p ne na. ahunke.

誰であろうが私達の方に訪ねて来た人には入ってもらうものだ。入れなさい。

ソモ パロルイ ノ カ ソ カラ ヘム キ ムン ヌパ ヘム キ ワ

somo paroruy no ka so kar hem ki mun nupa hem ki wa

いろいろおしゃべりしないで墓を敷いたりごみを掃いたりして

イトムンノ エク クル ネ ハウエ ネ チキ ホクレ アフンテ」
i=tom unno ek kur ne hawe ne ciki hokure ahunte”

私達のほうに来た人ならばやく入ってもらいなさい。」

シコロ オンネクル イタク ハワシ ワクス オラ ソ カラ ヘム キ
sekor onnekur itak haweas wakusu ora so kar hem ki

と言ったので、女性は莫藎を敷きごみも掃いているようで

ムン ヌパ フミ アシ ヒネ オラウン ヘトポ ソイネ イエオリパク クシ
mun nupa humi as hine oraun hetopo soyne i=eoripak kus

その音が聞こえました。そうしてから外に戻って来て私に対しかしこまり

イキ コロ イアフンテ ヒネ ヒ クス フナク ウン エアラパ エアン ウシケ
iki kor i=ahunte hine hi kusu hunak un e=arpa e=an uske

ながら家の中に招き入れてくれました。お前はどこに向かってどこにいるかも

もわからないで エエク フミ ネ ヤクン テ ウン エアン ワ
MOWAKARANAIDE e=ek humi ne yakun te un e=an wa

分からないで来たのだからここにいて

オロ タ エアン したほうがいいな セコロ ヤイヌアン コロ オシ
oro ta e=an SITAHOUGAIINA sekor yaynu=an kor os

ここに留まっているのがいい。と、思って、後から

アフナン ヒネ ア…… オリパカン ヒネ アフナニネ ソ トウラシ アフナン
ahun=an hine a... oripak=an hine ahun=an h_inne so turasi ahun=an

家の中に礼儀をわきまえ遠慮しながら入りました。座に沿って進み

アペ エトク アエソンコッカエシッチウレ ヒネ ネア オンネ クル
ape etok a=esankokkaesitciwre hine nea onne kur

私が上座で膝を折って座るとその年配の男性が

イエランカラプ アシヌマ カ アエランカラプ ウタシパ キ ヒネ オラ
i=erankarap asinuma ka a=erankarap utaspa ki hine ora

私に対し挨拶を述べ、私も挨拶を交換したのですがその後は

イコウエペケンヌ ヘネ キ カ ソモ キ プ ネ クシ エネ イキ ワ エカン ペ
 i=kouepekennu hene ki ka somo ki p ne kus ene iki wa ek=an pe
 質問もしてこないなので、私もどういった理由で来た者

ネ ヒ カ アイェ カ ソモ キ ノ アナン チシ…… ヌペコラ PAPSEAN コロ
 ne hi ka a=ye ka somo ki no an=an cis... nupekorapapse=an kor
 であるのか話さずにいました。ただ泣いて涙をボロボロ流して

アナン。アオナ ウタリ マク ヤイヌ コロ マク イキ コロ オカ イネ オラ
 an=an. a=ona utari mak yaynu kor mak iki kor oka h_in_ine ora
 いたのです。父たちはどう思っどうしているだろうか、

エネ シネン ネ エアニ エアン。セコロ ヤイヌアン コロ
 ene sinen ne eani e=an. sekor yaynu=an kor
 こうしてお前は一人ぼっちだ。と自分のことを思いながら

ネイ タ ヌペサカン フミ カ イサム ノ ヤイヌアン コロ オカアナクシ
 ney ta nupesak=an humi ka isam no yaynu=an kor oka=an akus
 涙が枯れることもなく思いつめていると

オヌマン アン アクス ニシケ オスラ フミ アシ アクシ
 onuman an akusu nisike osura humi as akus
 夕方になると薪の荷を投げ出す音がすると

ル イポカシ ポン メノコ ニシケ ワ イワク ヒネ アニネ
 ru ipokas pon menoko nisike wa iwak hine an h_in_ine
 やや醜い若い女が薪を背負って帰ってきました。

ネア チセ コン ルプネマツ
 nea cise kor_rupnemat
 年配の女性の方が

「アヌン アヤントコン ナ オリパク ワ アン」
 “anun a=yantokor_ na oripak wa an”
 「お客さんを泊めますからね。慎みなさい。」

シコロ エカリ ソイネ ヒネ ハワン ペ ネ クス ソヨシピタ ヒネ オリパク
sekor ekari soyne hine hawan pe ne kusu soyosipita hine oripak

そう言って外に出て言ったので、若い娘は外で服装を整えかしこまり

オトプ チンキ エシッチウレ ヒネ アフン
otop cinki esitciwre hine ahun

髪が地面に触れるほどの慎みをあらわし入ってきました。

「ネ…… ヤントコラン ノ ピリカ ノ スケ」

“ne... yantokor=an no pirka no suke”

「泊まりのお客がいるのだからしっかり料理をこしらえなさい。」

セコロ オナハ は アイェ プ ネ クス ヤッ…… テムスツナ ワ ヤイフライエ
sekor onaha HA a=ye p ne kusu yat... temsutna wa yayhuraye

そう父親に言われ娘は袖を肩までまくしあげて、手を洗いました。

ピリカ スケ キ スケ トムテ シリ アヌカラ コロ アナン アイネ
pirka suke ki suke tomte siri a=nukar kor an=an ayne

すばらしい料理をつくり盛り付ける様子を私は見ていました。

メノコ パテク オカイ ペ ネ クス キナ ラタシケプ ネ ペコン ネ コロカ
menoko patek okay pe ne kusu kina rataskep ne pekor_ ne korka

働き手が女しかいないからか野草の混ぜ煮のようなものばかりでしたが、

ピリカ ノ スパ パ ヒネ アイコプニ ケシト ケシト
pirkano supa pa hine a=i=kopuni. kesto kesto

上手に煮込んだものを私に差し出してくれました。何日も

ソモ イペアン ノ アプカサン ペ ネ クス アエ ヒネ アエホッケイ カ
somo ipe=an no apkas=an pe ne kusu a=e hine a=ehotkey ka

食べずに歩いていたので食べました。寝床も

イランマカカ アカラ ピリカ ノ アイレウシレ オロ タ アナニネ コント
iramamakaka a=kar pirka no a=i=rewsire oro ta an=an h_inne konto

きれいにしつらえてくれて泊めてくれたのです。

ケシト ケシト アナン アクス ネア チセ コロ クル

kesto kesto an=an akusu nea cise kor kur

何日もそうして過ごしていると家の主人が

「モテキ オッカイポ^o イヨッ タ アン ルウェ ネ クシ アマツネポ^o

”moteki okkaypo i=or_ ta an ruwe ne kus a=matnepo

「せっかく立派な若者が私たちのところにいるのだから娘よ

アコロ クチャ チセ アン ウシケ エパカシヌ ヤク ヤイカタンテ ワ

a=kor kuca cise an uske epakasnu yak yaykatante wa

うちの狩り小屋の場所を教えるため、運動がてら

アプカシ クシ ネ ナ」

apkas kus ne na”

歩いてきなさい(?)」

シコロ ハウェアン ヤクン イトゥラ ヒネ ソンノ カ ホシキノ アナク カリ

sekor hawean yakun i=tura hine sonno ka hoskino anak kari

と言うので、(なので娘が)私を連れて行ったのですが、初めに

エキムネ ル チャナン キカル アン ヒネ カリ イトゥラ フシコ ノ コロ

ekimne ru canan kikaru an hine kari i=tura husko no kor

山へ行く道、ささやかな草わけ道があるので、そこを一緒に行くと古くから彼らが持っている

クチャ チセ ネ アン ペ カ アン ヒ オロ アマワシヌレ イネ ネア

kuca cise ne an pe ka an hi oro a=mawasnure h_ine nea

狩り小屋のようなものがありました。気を強く持ち(?)、その

ポン メノコ アナク イワク ワ イサム イネ シネン ネ アナン ペ ネ クス

pon menoko anak iwak wa isam h_ine sinen ne an=an pe ne kusu

娘は帰ってしまい一人きりになったので

キム タ エカン ヒ オラ ポ ヘネ シノツチャ ネ ヤ チシ ネ ヤ アキ コロ

kim ta ek=an hi ora po hene sinotca ne ya cis ne ya a=ki kor

山に行って、なおさら歌を歌ったり泣いたりしながら

ネプ ウェン カムイ イケシケ クス エネ アン カッチャム アコロ ワ オラ
 nep wen kamuy i=keske kusu ene an katcam a=kor wa ora
 どんな悪い神が私を嫌ってこのようなことになっているのだ。

アオナ ウタリ アホッパ ワ マク ヤイヌ コロ フンタ エ コロ オカイ ネ
 a=ona utari a=hoppa wa mak yaynu kor hnta e kor okay ne
 父たちを残して来たがどう思っているだろう。何を食べているだろう、

オラ エネ エアニ アン シコロ ヤイヌアン コロ ネイ タ アオナ ウタリ
 ora ene eani an sekor yaynu=an kor ney ta a=ona utari
 お前は何をしているんだ。と自分自身のことを考えながら、いつでも父たちのことを

アオイラ フミ カ イサム アマチヒ カ アオシクル アオナ ウタリ カ
 a=oyra humi ka isam a=macihi ka a=oskur a=ona utari ka
 忘れることはありません。(私が殺した)嫁のことも残念に思い、父たちのことも

アエランポクウェン コロ アナン ヒネ オラノ スイ エネ イキアン
 a=erampokwen kor an=an hine orano suy ene iki=an
 かわいそうに思いながらいて、そうしながらも

イネ アクス カムイ ヘネ ユク ヘネ アエアウナルラ アエレ コロ
 h_inē akusu kamuy hene yuk hene a=eawnarura a=ere kor
 私が熊でも鹿でも獲り運んできては食べさすので

ネ チ…… オンネクル ウタラ ウタラ…… ネ アクス オラウン イネアプ
 ne ci... onnekur utar utar... ne akusu oraun ineap
 家の主人たちがなんとも

エヤイコブンテク ワ ハワシ パ ヤ カ アエラミシカリ ノ
 eyaykopuntek wa hawas pa ya ka a=eramiskari no
 喜びの声を上げる様子は他に見たこともないといったほどです。

イエヤイコブンテク コロ オロ タ アナン ワ ネノ ウトウル タ
 i=eyaykopuntek kor oro ta an=an wa neno utur ta
 喜んでもらい私はそこにいたのです。彼らのところで

ホッケアン ワ アナン したり キ ケ カ ウトウル タ

hotke=an wa an=an SITARI ki ke ka utur ta

寝泊まりしていたのです。そうしているうちに

「キム ペカ エアプカシ したほうが エヤイタサラパレ (?) プ」

“kim peka e=apkas SITAHOUGA e=yaytasarpare(?) p”

「山にでも行ったほうがお前も気が晴れるだろう (?)」

シコロ ヤイヌアン コロ キム ペカ イキ アン コロ のほう (?)

sekor yaynu=an kor kim peka iki an kor NOHOU(?)

と自分に言い聞かせ山へ行っては

シノッチャ ネ ヤ ヤイコパシロタ ネ ヤ アキ コロ

sinotca ne ya yaykopasrota ne ya a=ki kor

歌ったり自分自身を罵ったりしました。そうして

キム ペカ イキアナイネ スイ シネアンタ ネア オンネクル

kim peka iki=an ayne suy sineanta nea onnekur

山に行っていたのですが、ある日のこと家の主人が

レポ ウサッ ラウオ…… ヤ オライエ ヤ オ ウサッ レポライエ コロ

rep o usat rawo... ya oraye ya o usat rep oraye kor

炉の中の燃えさしを岸へ寄せたり沖へ押し戻したりして

ネプ カ イェ ルスイ シン ネ ノイネ イキ アイネ アペオイ ナイパ カネ

nep ka ye rusuy sir_ ne noyne iki ayne apeoy naypa kane

何か言いたそうにしていたのですが炉の灰に線を曳き

コロ エネ ハウエアン。

kor ene hawean.

つつ、とうとうこのように言いました。

「タン アコロ オッカイポ エヘコテ ネノ ハウエアン カ アヌクリ コロカ

”tan a=kor okkaypo e=hekote neno hawean ka a=nukuri korka

「若者よ、お前の連れ添いに、と言うのさえ憚れる

シリ カ サク ナン カ サク ペ アウエンマツネポ ネ ヤッカ
 sir ka sak nan ka sak pe a=wenmatnepo ne yakka

容姿も悪い娘であるが、

エシパロスケレ ワ ナニ テ タ エアン ワ イコレ チキ
 e=siparosukere wa nani te ta e=an wa i=kore ciki

お前の食事の用意をさせるので今すぐここに居てくれというもの

ウエン ルウェ アン アコロ ワ オカイ ペ オピッタ エコロ。
 wen ruwe an a=kor wa okay pe opitta e=kor.

申し訳ないのだが、私の持ち物も全てお前に譲ろう。

オッカヨ ポ カ アサク ワ エネ イキ アイ…… アン^[3] ヒ カ イサム
 okkayo po ka a=sak wa ene iki ay... =an hi ka isam

息子もいないので、どうするという事も出来ないのだ。

ルウェ ネ ナ アコロ オッカイポ イポカシ ペ アマツネポ ネ ヤッカ
 ruwe ne na a=kor okkaypo ipokas pe a=matnepo ne yakka

若者よ醜い娘ではあるが

アコロ ワ オカイ ペ トウラ ノ アエコレ ナ
 a=kor wa okay pe tura no a=e=kore na

私の財産と共にさし上げるので

アン ワ イカオイキ ワ イコレ。」

an wa i=kaoyki wa i=kore.”

ここにいて私たちを助けてくれ。」

シコロ ハウエアン ヒケ ヤイコシラムスイパアン アコパン したって エウン
 sekor hawean hike yaykosiramshuypa=an a=kopan SITATTE eun

そう言われ私も考えました。断ったとしても、どこへ行くのにも

アラパアン にも アエランペウテク ペ ネノ ヘネ エイキ チキ
 arpa=an NIMO a=erampewtek pe neno hene e=iki ciki

分からないといった状態で、そのようにしない

ソモ シコロ ヘ

somo sekor he

理由があるだろうかと思ったので(?)

「ピリカ ハウエ ネ」

“pirka hawe ne”

「いいお話ですね。」

シコロ ハウエアナン コロカ オラ ヘタク カ アマチヒ ネ アカラ

sekor hawean=an korka ora hetak ka a=macihi ne a=kar

と返事したのですが、さっさと嫁にも

カ ソモ キ ノ ネノ オロ タ アナナイネ エイタサ エネ ハウ オカイ ペ

ka somo ki no neno oro ta an=an ayne eytasa ene haw okay pe

しないでそのままでした。しかしそう言われているものを

モシマノ アナン カ エアイカプ ペ ネ クス マツネ ネア メノコ ポ アコロ

mosmano an=an ka eaykap pe ne kusu matne nea menoko po a=kor

黙っていることもできないので女を、その娘を嫁として貰いました。

ヒネ ネプ カ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ オロ タ エアラキンネ

hine nep ka a=esirkirap ka somo ki no oro ta earkinne

そうしてみると何も心配する必要がなく、とても

イエオリパク ルプネマツ カ オンネクル カ キ ワ ピリカ ノ パテク

i=eoripak rupnemat ka onnekur ka ki wa pirka no patek

私を敬い大事にしてくれ義理の母も父もそうしてくれてやさしい言葉ばかり

ハウエオカ コロ オロ タ イヨロタン ワ アナン ヒケ カ アオナウタリ

haweoka kor oro ta iyorot=an wa an=an hike ka a=onautari

かけてくれながら私のところにいたのですが、私は自分の父親たちのことを

アエヤイコシラムスイパ コロ オラノ アロロキシネ

a=eyaykosiramsuba kor orano arorkisne

思い悩みながらこっそりと

ヌペコラパプセアン コロ アナン。

nupekorapapse=an kor an=an.

涙ながらに暮らしていました。

「アコロ オンネウタラ マク イキ ヒネ オラ シネンネ エネ エイキ
“a=kor onneutar mak iki hine ora sinenne e=ne e=iki

「我が父たちはどうしているのだろう、お前（自分のこと）は一人ぼっちで

エイペ コロ エアン ヒネ エオナウタリ フンタ エ コロ オカ イネ
e=ipe kor e=an hine e=onautari hnta e kor oka h_in

食べているが、父親たちは何を食べて暮らしていて（いるかわからないのに）、

エネ エアニ アン？」

ene e=an h_i an?”

お前（自分）はこんなことをしているのか？」

シコロ ヤイヌアン ウシケ アイパ コロ オラノ

sekor yaynu=an uske a=epa kor orano

と思うところにいきつくと（そういう心境になると）

アオッシケ タ アナク チシアン コロ パテク アナン。

a=ossike ta anak cis=an kor patek an=an.

心の中では泣いてばかりいるのです。

アイネ スイ ネア メノコ シネ パ ヘ トウ パ ヘ トウラノ アナン アクシ
ayne suy nea menoko sine pa he tu pa he turano an=an akus

そうして、その女と1年か2年一緒に過ごす、また

スイ ネア ホシキ アマチヒ ネノ アライケ ルスイ ワ エアラキンネ
suy nea hoski a=macihi neno a=rayke rusuy wa earkinne

前の嫁と同じように殺したくなりました。なんともその衝動を抑えるのが

アエヤイニタ カ コヤイクシ ネウン ネ ヤ ヤイエシ…… ヤイ……
a=eyaynita ka koyaykus neun ne ya yayes... yay...

難しいのです。なんとか我慢しよう、

ヤイエニタ だか アライケ クニ アエトランネ ワ アエヤイラムカラ ヤッカ
 yayenita DAKA a=rayke kuni a=etoranne wa a=eyayramkar yakka
 殺したくない、そんなことをしてはいけないと思ったのですがとうとう

アラム ユプコサンパ ヒネ スイ アライケ オラ ライパラパラカン アクス
 a=ramu yupkosanpa hine suy a=rayke ora rayparaparak=an akusu
 心を決めまた殺したのです。私が号泣していると

「マク ネ ハウエ アン」

“mak ne hawe an”

「どうしたのだ。」

アコロ オンネクル シコ…… ネノ ハウエアナン ヤクン
 a=kor onnekur seko... neno hawean=an yakun
 と義理の父が言ったので、そのように私が言ったなら

イライケ オロ ポ タ キ ノ オイ シコロ ヤイヌアン クス
 i=rayke oro po ta ki no oy sekor yaynu=an kusu
 いっそ私を殺してくれればいい(?)と思ったので、

「タップネ カネ ネ ワ ヤヨカパシテアン マ ハウエアナン ハウエ ネ」

“tapne kane ne wa yayokapaste=an w_a hawean=an hawe ne”

「こうしたわけで後悔の気持ちを述べているのです。」

シコロ ハウエアナン アクス
 sekor hawean=an akusu
 と言うと

「シネ アマツネポ エネ アン イポカシ ペ エライケ ヤッカ アオシクル カ
 “sine a=matnepo ene an ipokas pe e=rayke yakka a=oskur ka
 「あんな醜い娘を一人殺したからとて惜しがる者も

ソモ キ エアニ エイサミポ アコヤイウエンヌカラ イサム メノコ カ ソモ
 somo ki eani e=isamipo a=koyaywennukar isam menoko ka somo
 いまい、お前が死ぬほどつらい思いをする必要がある女ではあるまい。

ネ ナ。オッカイ だか ペウレクル アナク

ne na. okkay DAKA pewrekur anak

若者というものは

オトゥ スクプ ネ オレ スクプ ネ スクプ ペ ネ ナ

otu sukup ne ore sukup ne sukup pe ne na

2度も3度も成長をかさねていくというものだ。

イテキ トウムアン ケウトウム エコロ ペ ネ ナ

iteki tumuan kewtum e=kor pe ne na

妙な考えを起こすのではない。

イキヤ エライ オアシ ハウエ ネ ナ」

ikiya e=ray oasi hawe ne na”

死のうとしたりするのではないぞ。」

シコロ ハウエアン コロ アタプコムイエ エシカリ オンネクル ネ クナク

sekor hawean kor a=tapkomuye esikari onnekur ne kunak

そう言いつつ私の肩を掴むのでした。年よりだとばかり

アラム ア プ イネアプ トウマシヌ ワ フマサ カ エラミシカリ

a=ramu a p ineap tumasnu wa humas y_a ka eramiskari

思っていたのになんともその力のあることとといたら思いもよらないほどです。

アタプコムイエ イエシ…… イエシカリ ワ オラノ トウ ピリカ プ クニ

a=tapkomuye i=es... i=esikari wa orano tu pirka p kuni

肩を掴み私を掴まえては2度も

レ ピリカ クニ イエパカシヌ。

re pirka kuni i=epakasnu.

3度もよいように私を諭すのです。

「エイサム マ ネ ヤク アコヤイウエンヌカン ルウエ ネ ナ。

“e=isam w_a ne yak a=koyaywennukar_ ruwe ne na.

「お前にいなくなられては私たちがつらいのだ。

ナ ピリカ メノコ アエトゥン アマツネポ アッカリ ピリカ プ
 na pirka menoko a=etun a=matnepo akkari pirka p

もっと綺麗な女、娘より美しいのを

アエトゥン ワ アイコレ クシ ネ ナ アマツネポ ネプ カ ウエン プリ コロ
 a=etun wa a=i=kore kus ne na a=matnepo nep ka wen puri kor

お前の嫁にあてがってやろう。何か娘の行いが悪くて

ワクス エイルシカ ワ エカリ ネ クス アマツネポ アナク アオシクル カ
 wakusu e=iruska wa e=kar h_i ne kusu a=matnepo anak a=oskur ka

お前の怒りが強くなって、そんなことをしたのであろう。娘を殺したからといって惜しがる者も

ソモ キ ルウェ ネ エイサム ヤク アコヤイウエンヌカン ルウェ ネ ナ。
 somo ki ruwe ne e=isam yak a=koyaywennukar_ ruwe ne na.

いまい。お前がいなくなることの方が私はつらいのだ。

ヤイシッテッカ ワ イコレ イコレ」
 yaysittekka wa i=kore i=kore”

頼むから私たちのためにも耐えておくれ。」

シコロ ハウエアン コロ イトモイタク カ ソレクス ウコパラパラク パ
 sekor hawean kor itomoitak ka sorekusu ukoparaparak pa

と忠言してくるのです。それこそお互いに号泣して

ネ ヤ ルプネマツ カ オンネクル カ キ コロ イトモイタク パ プ ネ。
 ne ya rupnemat ka onnekur ka ki kor itomoitak pa p ne.

義理の母と父は2人して私を諭してくるので

エネ アイエ ヒ カ イサム オロ ポ タ イルシカ マツネポ ケムヌ ワ
 ene a=ye hi ka isam oro po ta iruska matnepo kemnu wa

私には話すべき言葉も見つかりません。怒り、娘を憐み

イライケ ヘネ キ ヤク ピリカ プ セコロ ヤイヌアン ペ
 i=rayke hene ki yak pirka p sekor yaynu=an pe

私を殺してもいいものを、と思ったのに

イコイキ カ ソモ キ ノ アマツネポ しとりぐらい
 i=koyki ka somo ki no a=matnepo SITORIGURAI
 私を責めもせずに娘1人くらい

ライ ヤッカ アオシクル カ ソモ キ プ ネ ナ ホクレ
 ray yakka a=oskur ka somo ki p ne na hokure
 死んでも惜しがる者もない、早く

(萱野：はい)

こん……… こんど ネア アマチヒ カツケマツ アオスラ クニ オッカシケ タ
 KON... KONDO nea a=macihi katkemat a=osura kuni okkasike ta
 次に嫁の遺体を母親が葬るため、いつも以上に

ピリカ アトムテ ワ アオスラ ワ オラ オカケ タ ヘムイムイエアン マ
 pirka a=tomte wa a=osura wa ora okake ta hemuymuye=an w_a
 綺麗に飾り立て(?)埋葬しました。その後は布団を頭から被って

ホッケアン マ パテク アナン コロ ライアン クナク アラム ヒケ カ
 hotke=an w_a patek an=an kor ray=an kunak a=ramu hike ka
 寝込んでばかりいて、このまま死のうと思っていたのに

ネア オンネクル エネ ハウエアン ペ ネ クス こんと アエプ イサム コロ
 nea onnekur ene hawean pe ne kusu KONTO aep isam kor
 義理の父に言われるので食べる物がなくなると

エキムネアン マ エ パ クニ プ アカラ ワ アコイキ ワ ウサ ユク ヘネ
 ekimne=an w_a e pa kuni p a=kar wa a=koyki wa usa yuk hene
 私は山へ行き、彼らの食べ物を作り、猟をして、いろいろ鹿でも

カムイ ヘネ アエアウナルラ ワ エ パ クニ プ アカラ コロ オラ スイ
 kamuy hene a=eawnarura wa e pa kuni p a=kar kor ora suy
 熊でも運び、食べるものを作ってはまた

ホッケアン マ アナン チサン コロ キ アエランポクウェン パ プ ネ クシ
 hotke=an w_a an=an cis=an kor ki a=erampokwen pa p ne kus
 横になっては泣いていて義理の父たちを憐れに思うので

ライ カ アコヤイクシ コロ アナン アイネ スイ ピリカ メノコ フナク ワ
 ray ka a=koyaykus kor an=an ayne suy pirka menoko hunak wa

死ぬこともできないでいると、またどこからか美しい女をどこからか

ニシパ ウタラ サム エトゥン ヒネ エク ワ イナンコッチャケエスイェ ワ
 nispa utar sam etun hine ek wa i=nankotcakeesuye wa

義父たちのところに貰い受けて来て、私の前に向けて(?)

トゥラ ワ エク ワ アン ヒケ カ ネン ポン メノコ カ エアラキンネ
 tura wa ek wa an hike ka nen pon menoko ka earkinne

連れてきたのだが、その娘もとても

ユプテク ワ アシウト ウタリ ネプ テケヘ ケレ シリ カ イサム ノ
 yuptek wa a=siwto utari nep tekehe kere siri ka isam no

働き者で姑たちの手は何も煩わせないといった様子で

ニナ ヘネ スケ ヘネ トムテ ワ キ イカスイ キ コロ アン ヒケ カ
 nina hene suke hene tomte wa ki i=kasuy ki kor an hike ka

薪集めも料理もしっかりこなし我われを助けてくれながらいました。

トゥ パ カ レ パ カ エウン テク トゥリ カ ソモ アキ ノ アナン
 tu pa ka re pa ka eun tek turi ka somo a=ki no an=an

2年も3年もの間私は手も出さずにいたのですが

ヒケ ネ メノコ ポ カ イルシカ ヘネ イコヘプトウトウ ヘネ
 hike ka ne menoko po ka i=ruska hene i=kohepututu hene

その娘は私に対し怒ったり、ふくれっ面をしたり

キ カ ソモ キ ノ ネイ パクノ アン アイネ ネア メノコ カ
 ki ka somo ki no ney pakno an ayne nea menoko ka

することもなく、いつまでもいます。そのうちにその女にも

アコオリパク カ キ クス ヘ…… マツネ アコロ ヒネ トゥラノ オカアン。
 a=kooripak ka ki kusu he... matne a=kor hine turano oka=an.

私は敬意を払って、(あらためて)妻にして一緒になったのです。

アイネ シネ パ ヘ トウラノ オカアン コロ スイ ネア アマチ スイ
 ayne sine pa he turano oka=an kor suy nea a=maci suy

そうして1年ほど一緒に過ごしたのですが、やはりその嫁も、また

アライケ ルスイ、ネウン アエヤイニタ ヤッカ アエヤイニタ カ コヤイクシ
 a=rayke rusuy, neun a=eyaynita yakka a=eyaynita ka koyaykus

殺したくなりました。いくら我慢しようとしても我慢できません。

アイネ スイ アライケ ネア ポン メノコ キ ヒネ オラ こんど スイ
 ayne suy a=rayke nea pon menoko ki hine ora KONDO suy

とうとう、またその娘も殺してしまいました。そうしてまた

アコロ スウオプ アウク イネ ネア シウト ウタリ モコン ラポク タ
 a=kor suwop a=uk h_inne nea siwto utari mokor_ rapok ta

持ってきた箱を取り出して、姑たちが眠っている間に

こんど アナク ヤイライケアン クニ アラム コロ ペツ トウラシ
 KONDO anak yayrayke=an kuni a=ramu kor pet turasi

今度はもう自殺しようと思いつながら川に沿って

ヒナク ウン クンネ ソイネアン ヒネ アラパアン
 hinak un kunne soyne=an hine arpa=an

どこか上流へと夜のうちに家から出て行ったのです。

アイネ オヤク ワ エク ペツ トカプチ ウン ウコエトク コロ だか
 ayne oyak wa ek pet Tokapci un ukoetok kor DAKA

そうして別のところから来る(別のところへ流れる)川、十勝へと流れる分水界

ウコシトウ コロ ウシケ タ ヘメスアン コロ ポロ スンク
 ukositu kor uske ta hemesu=an kor poro sunku

分稜線に向かって登っていくと、大きなエゾマツ

チェカントオロソイエ カネ アン ポロ スンク アン ヒネ ニテケヘ ヘポキ
 cekantoorsoye kane an poro sunku an hine nitekehe hepoki

天に向かってそびえるような大きなエゾマツがあり、その枝が垂れ下がり

ウコモムセ ウシケ チセ キタイ ネノ ウパシ アン ヤッカ
ukomomse uske cise kitay neno upas an yakka

湾曲したところに、家の屋根の上のように雪が積もっているのですが

ウパシ カラ カ ア ソモ ア…… アン ノイネ アン
upas kar ka a somo a... an noyne an

まるで掻いたかのように雪がない

ウシケ アニ クス チョロポッケ タ アコロ はこ アウヌ (?) [4] ヒネ オロ タ
uske an h_i kusu corpokke ta a=kor HAKO a=unu(?) hine oro ta

ところがあり、その下に私の箱を収め (?) て、そこで

ヤヨスラアン チシ ネ ヤ シノツチャ ネ ヤ アキ コロ アナン
yayosura=an cis ne ya sinotca ne ya a=ki kor an=an

横たわって泣いたり歌ったりしていたのです。

セコロ ネ コロ オラノ モシマ クル ヤイエイソイタク
sekor ne kor orano mosma kur yayeisoitak

ということでここからは別の人の語りです。

ユペツ セコロ アイェ イ ウン クル ポホ トウ ポ アネ ワ アユピヒ
Yupet sekor a=ye h_i un kur poho tu po a=ne wa a=yupihi

湧別というところの人に二人の息子がいて、私はその二男です。兄は

チセ オツ タ アン コロ アシヌマ エキムネアン ペ ネ ア プ スイ アユピヒ
cise or_ ta an kor asinuma ekimne=an pe ne a p suy a=yupihi

家にいるので私は山獵に行っていました。いつものように兄が

チセ オツ タ アオナ ウタリ トウラノ アニ クス アシヌマ エキムネアン
cise or_ ta a=ona utari turano an h_i kusu asinuma ekimne=an

父たちと共に留まっているので私は山獵に出ました。

クチャ ハンケ クチャチセ カ トウイマ クチャチセ カ アコロ ペ ネ
kuca hanke kucacise ka tuyma kucacise ka a=kor pe ne

私は近くと遠くに狩り小屋を持っているのですが

トウイマ クチャチセ オツ タ アラパアン ヒネ イナウ ロシキアン したり
 tuyma kucacise or_ ta arpa=an hine inaw roski=an SITARI
 遠いほうの狩り小屋まで行ってイナウを立てたり

キ ヒネ レウシアン ア プ アシリパ…… アサパ シリ カ タ アヌ コロ
 ki hine rewsu=an a p asirpa... a=sapa siri ka ta a=nu kor
 して泊まっていました。私が頭を地面に横たえていると

ネン カ クチペケレ オツカイ^ポ オク シノツチャキ ハウエ アヌ ア アヌ ア
 nen ka kucipeker okkaypo ok sinotcaki hawe a=nu a a=nu a
 誰か若者が美しい声で哀愁歌を歌うのが聞こえてくる

ペコロ ヤイヌアン アサパ アエプニ コロ アヌ フミ カ イサム ヒ クス
 pekor yaynu=an a=sapa a=epuni kor a=nu humi ka isam hi kusu
 ような気がします。しかし頭をもたげるとその声は聞こえなくなるのです。

アオヤモクテ エウン ネ ペコロ アヌ ウシケ ウン シピネアン テキネ
 a=oyamokte eun ne pekor a=nu uske un sipine=an tek h_inē
 不思議に思いさっと身支度を整え、聞こえてきた方に

オラノ アラパアン コロ ハンケ ノ ネ ペコロ アヌ ア プ アラパアン コロ
 orano arpa=an kor hanke no ne pekor a=nu a p arpa=an kor
 向かい、この辺りだなと思うところまで行くと

ランマ ウパクノ ハウエヘ アン トオプ アラパアン ア
 ranma upakno hawehe an toop arpa=an a
 またさっきと同じほど遠くに聞こえます。そこまで行くと、ずっと遠くまで行って

アラパアン ア アイネ トカプチ アコロ ペツ ウコエトク コロ だか キ
 arpa=an a ayne Tokapci a=kor pet ukoetok kor DAKA ki
 行って、とうとう十勝川、我が川の源流、分水界になっている

シトウ オツ タ アラパアン アクシ ポロ スンク カントコトロ
 situ or_ ta arpa=an akus poro sunku kantokotor
 尾根まで行ったのです。すると大きくて天を

エウシ カネ アン スク アン チョロポッケ ウン ネ ハウエ アシ。

eusi kane an sunku an corpokke un ne hawe as.

突き刺すほどのエゾマツがあり、その根元から声が聞こえていたのです。

カッ…… カットウイマノ アサン ヒネ イコカヌアナクス

kat... kattuymano as=an hine ikokanu=an akusu

離れたところに立ち、こっそりと聞いてみると（聞こえてきたのは）

「タン オッカイポ イタカン チキ エイヌ カトウ エネ アニ

“tan okkaypo itak=an ciki e=inu katu ene an h_i

「その若者よ。私の言うことをよく聞いておくれ。

シク…… シクヌアン マ ハウエアナニ カ ソモ ネ、ライアン アラマチヒ

sik... siknu=an w_a hawean=an h_i ka somo ne, ray=an a=ramacihi

私は生きていて喋っているのではない。死んでいるのだ。私の魂が

エアニ パクノ エケウトウム ピリカ ワ アヌカラ オッカイポ エネ ワ クス

eani pakno e=kewtumu pirka wa a=nukar okkaypo e=ne wa kusu

お前ほど心持ちのいい若者はいないと見込んだので

アシコエクテ ワ アコヤイウエンヌカラ ワ イサマン ペ カ アイェ ワ

a=sikoekte wa a=koyaywennukar wa isam=an pe ka a=ye wa

側に来させたのだ。私がつらい思いをして死んでしまった話を

アエヌレ ルスイ クシ アエシコエクテ ワ エエク ルウェ ネ カトウ

a=e=nure rusuy kus a=e=sikoekte wa e=ek ruwe ne katu

聞かせたくて私はお前を側に来させたのだ。お前が来た様子（聞く話）とは

エネ アニ。イシカラ セコロ アイェ イ ウン ペ アオナ ネ イネ ポホ

ene an h_i. Iskar sekora a=ye h_i un pe a=ona ne h_ine poho

こういうことだ。石狩というところの人が私の父で、その息子

シネ ポ アネ ワ アナン ペ マク カトウ ネ ワ オチャコッ パテク アン ワ

sine po a=ne wa an=an pe mak katu ne wa ocakot patek =an wa

私はその1人息子だった。どうしたわけか女好きでちょっかいばかりかけては

パコアッアン コロ アオナ イヤシンケ ヒケ カ
 pakoat=an kor a=ona iasinke hike ka

罪に問われ父がその償いをして回るのだが、

『エニウケシ ヘ キ ?

‘e=niwkes he ki ?

お前はどうしてもやめることができないのか？

エカリ ヤイカタ エコロ パ プ

e=kar h_i yaykata e=kor pa p

お前がしたこと、自分で持っているもの(=性欲(?))を

ネ プ エ…… エネプキ ヒケ エニウケシ ヘ キ ワ

ne p e... e=nepki hike e=niwkes he ki wa

いくら働いてもしきれないのであれば

ホクレ アリキキ ネン エイキ ヤッカ イルシカアン カ ソモ キ ナ。』

hokure arikiki nen e=iki yakka iruska=an ka somo ki na.’

さあ、頑張れ。何をお前がしでかしても怒ったりはしないぞ。』

シコロ アオナ ハウエアン コロ イクス イコイキ カ ソモ キ アイネ

sekor a=ona hawean kor h_ikusu i=koyki ka somo ki ayne

そう言いながら父は怒りもしなかった。そして

マツ エトゥン ワ イコレ ペ カ アライケ オラ トカプチ タ エカン アクシ

mat etun wa i=kore pe ka a=rayke ora Tokapci ta ek=an akus

嫁を私のために貰ってくれたのだが、その嫁を私は殺してしまった。十勝にやって来たら

スイ ナ ネノ マツ トウ スイ カ アコロ ヤッカ オピッタ アライケ ヒネ

suy na neno mat tu suy ka a=kor yakka opitta a=rayke hine

またすぐ同様に2度も嫁を持ったのに、それらもみんな殺してしまった。

アエ…… タネ ライアン クニ アラム クシ タン ウシケ タ エカン アクス

a=e... tane ray=an kuni a=ramu kus tan uske ta ek=an akusu

今度はもう死んでしまおうと思ってここに来て

ライアン コロ エアシリ インカラナクス アオナハ カ フシコトイ ワ イサム。
 ray=an kor easir inkar=an akusu a=onaha ka huskotoy wa isam.
 死につつ、あらためて見回してみると私の父もずっと前に死んでしまっている。

チセコッ。イオシクル アイネ キ カトウ エネ アニ
 cisekot. i=oskur ayne ki katu ene an h_i
 泣いて死んだのだ。私のことを惜しがってそうだったのだ。

カムイ サシミ アネ アアン ワクス アイヌ シレトク アコロ カ ソモ キ
 kamuy sasimi a=ne aan wakusu aynu siretok a=kor ka somo ki
 実は私は神の血筋の者だったので、人間の容姿ではない（神の立派な容姿をもっている。）

ネワアンペ カムイ オッ タ ヤイコトムカ プ イサム アニ
 newaanpe kamuy or_ ta yaykotomka p isam ani
 そして（雷神の妹は）神の世界では自分に似合いの者がいないが

カンナ カムイ コッ トウレシ アシヌマ パテク イヤイコトムカ アニ
 kanna kamuy kor_ turesi asinuma patek i=yaykotomka ani
 ふさわしいのは私だけだと雷神の妹は思っ

イシッカシマ ワ エネ イヤイヌレ ワ オチャコタン ヒ ネ アン
 i=sikkasma wa ene i=yaynure wa ocakot=an hi ne an
 私を見守り、私にそう思わせて、好色なふるまいをさせたのだ。

ライアン コロ エアシリ アエラマン ワ タアン スンク カ タ アン ワ
 ray=an kor easir a=eraman wa taan sunku ka ta an wa
 死んでしまうと、そこで初めて私は事情を飲み込んだ。（雷神の妹は）このエゾマツの上において

イウク クシ エク ワ アン エカリ エカン ペ ネ クス
 i=uk kus ek wa an ekari ek=an pe ne kusu
 私（の魂）を獲るために来ていたのだ。そこへ（雷神の妹の力によって）私は来たので

エネ ライアン コロカ アラマチ エウン アラパ カ アラスイ (?)
 ene ray=an korka a=ramaci eun arpa ka arsuy(?)
 私が死んでも私の魂はどこへ行くこともできない (?)

カムイ シク コロ ペ キ プ アン ヒネ

kamuy sik kor pe ki p an hine

神の目を持つ者（雷神の妹）がしたことなので

ヤイスクプ エピッタ エネ アン ヤイチシテ パテク アキ

yaysukup epitta ene an yayciste patek a=ki

私は自分が成長する間じゅう、自分を嘆かせることばかりした。

イウエンテ アイネ ライアン ワ…… ア コロカ ルシカ ルウェ ネ クス

i=wente ayne ray=an wa... a korka ruska ruwe ne kusu

自分自身（の行い）も悪くもさせた。そして私は死んだけれども腹立たしいので

アコロ スウオプ タ テ タ アオナ コロ スウオプ ピリカ ペ パテク

a=kor suwop ta te ta a=ona kor suwop pirka pe patek

私の箱がこれここに、私の父の箱には良い物ばかり

オマ プ ネ クス タアン ペ エコロ ワ オラウン トカプチ ウン アシウト カ

oma p ne kusu taan pe e=kor wa oraun Tokapci un a=siwto ka

入っているの、これをお前が持って（行け）。それから十勝の姑も

ウエンカス アヤイコケムヌ マツネポ カ アライケ ヒケ カ

wenkasu a=yaykokemnu matnepo ka a=rayke hike ka

あまりにも気の毒な娘を私が殺したというのに

『アッカリ アナクネ ポ アオシクル カ ソモ キ エイサム ヤクン

‘akkari anakne po a=oskur ka somo ki e=isam yakun

それ以上はさらに惜しがる人もいない。お前が死んでしまうことは

アコヤイウエンヌカラ ナ。』

a=koyaywennukar na.’

私もつらいのだ。』

セコロ イトモイタク。

sekor itomoitak.

となだめの言葉を言った。

『ペウレクル アナクネ オトゥ スイ レ スイ

'pewrekur anakne otu suy re suy

『若者というものは2度、3度と

オトゥ スクプ ネ オレ スクプ ネ スクプ ペ ネ ナ。』

otu sukup ne ore sukup ne sukup pe ne na.'

だんだんと成長を繰り返すものだ。』

シコロ イパカシヌ コロ……

sekor i=pakasnu kor...

と言って私を諭しながら

(萱野：はい……)

タップネ カネ アシウト ハウエアン コロ オロ タ アナン ア プ スイ アマチ
tapne kane a=siwto hawean kor oro ta an=an a p suy a=maci

このように姑が言うのを聞きながらいたのだがまた(次の)嫁も

アライケ ワ アコヤイウエンヌカラ クシ ライアン クニ アラム クシ
a=rayke wa a=koyaywennukar kus ray=an kuni a=ramu kus

殺してしまい、辛くて死んでしまおうと思い

タアン アエニヌイ スウオプ アセ ワ エカン マ テ タ アナン ワ
taan a=eninuy suwop a=se wa ek=an w_a te ta an=an wa

この枕にしている箱を背負って来てここに置いて

ライアン コロカ エアニ パクノ ケウトウム ピリカ オツカイポ エネ ワ
ray=an korka eani pakno kewtum pirka okkaypo e=ne wa

私は死んだ。しかし、お前が本当に心根のいい男であることを

アヌカラ ワ クス アエシコエクテ ワ エエク ルウェ ネ
a=nukar wa kusu a=e=sikoekte wa e=ek ruwe ne

私は見抜いたので、お前をここへ来させたのだ。

ライアン コロ エアシリ アオナ ウタリ カ イサム ルウェ カ アヌカラ ワ
ray=an kor easir a=ona utari ka isam ruwe ka a=nukar wa

自分が死んで初めて、父たちも死んでしまったことも知り

アイエレ…… アイエ ワ…… アエヌレ ワ

a=yer... a=ye wa... a=e=nure wa

お前に語って聞かせたのだ。

『タプネ カネ ハウエアン オツカイポ アヌカン ルウェ ネ。』

‘tapne kane hawean okkaypo a=nukar_ ruwe ne.’

『このように話す若者に私は会いました。』

シコロ エハワン コロ エアスルプス ワ トカプチ エムコ タ エサン ワ

sekor e=hawean kor e=asurpusu wa Tokapci emko ta e=san wa

と言いながらお前が知らせを持って十勝川の中ほどまで下がると

トカプチ ウイルプ アナク シンナ プリ コロ パ プ ネ クス

Tokapci uirup anak sinna puri kor pa p ne kusu

十勝の人たちは違う風習を持っているものだから

コタン カットウイマ ワノ エヤヨフムセウシ コロ エアスルコロ ヤクン

kotan kattuyuma wano e=yayohumseusi kor e=asurkor yakun

村から離れたところからお前が気合いの声を上げながら知らせを伝えると

エエカリ ハヨク…… ウハヨッコトウルパ メノコ アナクネ

e=ekari ayok... uhayokkoturpa menoko anakne

お前に向かってみんな武装し、女は

イヨクペ コロ コロ……ヒケ コロ オツカヨ アナク エムシ コロ ヒケ コロ

iyokpe kor kor hike kor okkayo anak emus kor hike kor

鎌を手に持ちながら……持つ者は持ちながら、男は刀を持つ者は持ち、

ナ タシロ コロ ヒケ コロ ワ

na tasiro kor hike kor wa

山刀を持つ者は持って、

エエカリ ニウエンホリピ ワ アラキ ナンコロ クシ

e=ekari niwenhoripi wa arki nankor kus

お前に向かって威嚇の舞をしながら近づいてくるだろうから

イテキ エウッチケ ノ エアニ カ エネ アイケン ネノ (?)

iteki e=utcike no eani ka ene aiken neno(?)

お前は気おくれせずに (?)

イタサ エイキ プ ネ ナ」

itasa e=iki p ne na.”

対峙するのだぞ。」

セコロ アン ペ イェ ヒネ アヌ イネアプ アヌ ワ ハワシ だか

sekor an pe ye hine a=nu ineap a=nu wa hawas DAKA

と言うのを私は聞いたのです。なんともまあ

アエランポクウェン ワ ハワサ カ アエラミシカリ。

a=erampokwen wa hawas y_a ka a=eramiskari.

憐れむべき聞いたこともないような話でした。

エネ ハワン コロ エアシリ サマ ウン アラパアン テクサマ タ

ene hawean kor easir sama un arpa=an teksama ta

そうしてあらためて側に、すぐ近くまで

アラパアン オラノ ケウエ アホムス ピシカニケ アトゥリメチウ コロ キ

arpa=an orano kewe a=homsu piskanike a=turimeciw kor ki

行き (死んでいる男に対し) ねぎらいの言葉をかけ辺りを刀の魔払いで清めました。

アイヌ ピリカ プ ネ ルウエ ポ ヘネ アオシクル コロ シネ はこ

aynu pirka p ne ruwe po hene a=oskur kor sine HAKO

立派ないい男なのでなおさら残念なことだと思いました。一つの箱を

エ…… エニヌイ ワ オアン ライ シリ アン オラノ

e... eninuy wa oar_ray sir an orano

枕にして (?) 完全に死んでいる様子です。それから

チサン コロ サナン ワ アスルプシアン⁵ マ エカン コロ エアシリ

cis=an kor san=an wa asurpus=an w_a ek=an kor easir

泣きながら (山を) 下り知らせを預かって戻りながらあらためて

「アエヤイラムヌイナ^[6] クシ ネ ナ」

“a=eyayramunuyna kus ne na.”

「弔いをしますよ。」

シコロ アイェ コロ アホッパ ヒネ オラノ パサン カネ テレケアン カネ
sekor a=ye kor a=hoppa hine orano pas=an kane terke=an kane

という言葉を残してきました。そして走る如く飛ぶ如く

ネ トカプチ ウン サナン アイネ ソンノ カ インネ コタン シエトク ウン
ne Tokapci un san=an ayne sonno ka inne kotan sietok un

十勝へ下って行くと本当に大きな村が前方に

アヌカラ オラノ オキムネ ワノ ニウエンホリピアン ワ アスルコロアニ
a=nukar orano okimne wano niwenhoripi=an wa asurkor=an h_i

見えました。そこで山の方から威嚇の舞を行い、知らせを持ってきたことを

アイェ コロ サナン アクス

a=ye kor san=an akusu

伝えながら下って行くと

「マク ネ ハウエ アン？」

“mak ne hawe an?”

「何を言っているんだ？」

セコロ ハワシ コロ みんな インネ ウタラ チソヨクタ イエカリ

sekor hawas kor MINNA inne utar cisoyokuta i=ekari

そう言いながら多くの方が外に飛び出してきました。私に向かって

ウコハヨクトウルパ ワ メノコ ウタリ イヨクペ コロ ヒケ コロ

ukohayokturpa wa menoko utari iyokpe kor hike kor

みんな武装し、女の人たちは鎌を持ち

オッカヨ ウタリ エムシ コロ ヒケ コロ ワ イエカリ インネ ルピヒ

okkayo utari emus kor hike kor wa i=ekari inne rupihi

男の人たちは刀を持ちながら、私に対し大勢の人が隊列を組み

ニウエンホリピ⁶ ワ イへ…… アラキ アシヌマ カ ニウエンホリピアン マ
niwenhoripi wa i=he... arki asinuma ka niwenhoripi=an w_a

威嚇の舞をしながら近づいてきます。私も威嚇の舞をやり

ソンコ アイェ アスルプシ^[7]アン ワ タプネ タプネ カネ ハウエアン
sonko a=ye asurpusi=an wa tapne tapne kane hawean

伝言を、知らせを伝えたのです。こうこうこうだと

オッカイポ⁸ キム タ アパ ワ エカン ヒ アイェ アクス オラノ
okkaypo kim ta a=pa wa ek=an hi a=ye akusu orano

男を山で見つけてきたということを私が言うと

「ソモ ライケ ワ エク ペ ハウエアン？」

”somo rayke wa ek pe hawean?”

「殺して来てそう言っているんじゃないのか？」

シコロ ネ オンネクル ハワン コロ ヤヨフムセウシ コロ
sekor ne onnekur hawean kor yayohumseusi kor

と、その老人は言いながら気合いの声を上げ

ホシキ ニウエンチニカ イコトゥリ ワ エク ワ ハウケ ヌイ……
hoski niwencinika i=koturi wa ek wa hawke nuy...

はじめに威嚇の足踏みを私に対してしてきて穏やかな炎……^[8]

【注】

- [1] アエアウナと聞こえるがアエアウナルラ a=eawnarura と言いたかったものか。
- [2] 他人の家を訪問するので、背負っていた箱を下して脇に置いた。家に入る前に身支度を解くのが、昔の作法。
- [3] イキアン iki=an の言い間違い。
- [4] あるいはここは a=anu 「私が～を置く」か。
- [5] asurpusu が予測されるが、asurpus と聞こえる。
- [6] 『久保寺辞典稿』に「[n] 葬儀, 不幸」とある。
- [7] asurpusu が予測されるが、asurpusi と聞こえる。
- [8] Disk19 トラック 2 に続く。

18-5 19号へ続くこと説明

解説：萱野茂

萱野：ええっと、18号テープが終わりましたので、この uepeker [散文説話] の続きは、19号へ移ります。

19-1 テープ番号 18 号から続いていること説明

語り手：平目よし

解説：萱野茂

萱野：えー18 号テープから続いております、uepeker [散文説話]、19 号の…
…19 号へ続きます。この録音は、昭和 44 年 2 月 21 日、あたくし萱野茂
のところで、平村よしさんに……。

平目：フッ (笑)。

萱野：御足労願って、続けております。はい、今の……。

19-2 ウエペケレ

「ウッコツナイ アイヌ アネ」

好色が元で死んだ男の話^[1]

語り：平目よし

イ…… イタシ…… ウタシパ パクノ

i... itas... utaspa pakno

お互いに

ハウケノ ウタウキアン ルイノ ウタウキアン

hawkeno utawki=an ruyno utawki=an

静かにまさかりで切り合い、激しく切り合い

メノコ ウタラ イヨクペ アニ

menoko utar iyokpe ani

女たちは鎌でもって

ハウケノ イトクパ ルイノ イトクパ

hawkeno i=tokpa ruyno i=tokpa

静かに私を刻み、激しく私を刻み、

アシヌマ カ イタサ ルイノ アタウキ ハウケノ アタウキ コロ

asinuma ka itasa ruyno a=tawki hawkeno a=tawki kor

私もお返しに激しくまさかりで切り、静かに切り、

オピッタ ウタシパ ウタウキアン ウトクパアン コロ

opitta utaspa utawki=an utokpa=an kor

皆互いにまさかりで切り合い、刻み合うと、

ウ…… アスルプシアン アクス オカケ アン コン ネア オンネネ クル

u... asurpusi=an akusu okake an kor_ nea onnne kur

私は知らせを告げ、それが終わると、老人は

「ソンノ アン ペ ネ ノイネ

“sonno an pe neno ye

「本当のことを言っているらしい

オッカイポ ニシパ イキ クス エキムネ アトゥラ ワ

okkaypo nispa iki kusu ekimne a=tura wa

若い長者の話なので、私は山へ一緒に行つて

ネア アコロ オッカイポ カムイシリコロペ

nea a=kor okkaypo kamuysirkorpe

その我が若者、カムイの姿を持つものは

エネ アン カトゥカラ ワ エネ アン ヤイエラムシツネレ

ene an katukar wa ene an yayeramusitnere

このようにばかされて、このように苦しんで

ペウレ エピッタ チシ コロ パテク アナ…… アナイネ

pewre epitta cis kor patek an a... an ayne

若い間中泣いてばかりでいて

アッパケ ワノ イエ ヘネ キ ヤク

atpake wano ye hene ki yak

最初から言ってくれたら

エペカ アイエイ…… アエポタラ ヘネ キ ペ

epeka aihey... a=epotara hene ki pe

それを心配もしたのに

アコウエペケンヌ アイヌ ピリカ プ ネ ワ

a=kouepekennu aynu pirka p ne wa

私が事情をたずねる人は良い人であつて

アヌカラ ワ ポ ヘネ アコオリパク ワ

a=nukar wa po hene a=kooripak wa

私は見て、なおさら私は敬つて

ネン カ アイェ カ ソ…… アコイキ カ ソモ キ
 nen ka a=ye ka so... a=koyki ka somo ki
 何も私は言いも、責めもしなかった。

ポ シリ ネ アコロ クニ アラム プ ネ クス
 po siri ne a=kor kuni a=ramu p ne kusu
 息子のように思っていたので

アマツネポ ライケ ヤッカ クス アコイキ カ ソモ キ アワ
 a=matnepo rayke yakka kusu a=koyki ka somo ki awa
 私の娘を殺しても私は責めもしなかったが

カムイシリコロ ペ エネ アン ウェンカッチャムコロ ワ
 kamuisirkor pe ene an wenkatcamkor wa
 カムイの姿をしながら、このような悪い性質であって

オッカイポ イヌヌカシキ エネ ヤイラムシツネレ アイネ
 okkaypo inunukaski ene yayramusitnere ayne
 若者はかわいそうにこのように苦しんでいたあげく

オナ ウタリ カ イサム アアン ハウエ エネ アン
 ona utari ka isam aan hawe ene an
 父たちも亡くなっていたということだった

ウェンカス アココウエ ニシパ アケムヌ クス
 wenkasu a=kokowe nispa a=kemnu kusu
 あまりにも私の娘の婿殿を哀れに思うので

キム タ アシヌマ カ オンネアン ヤッカ イトゥラアン ヤクン
 kim ta asinuma ka onne=an yakka itura=an yakun
 山へ、私も年を取っているけれど、一緒に行けば

アオイタクシ…… アオイタッコテ クシ ネ ナ
 a=oytaks... a=oitakkote kus ne na
 私は祈って引導渡しをしよう

コタン エピッタ ピリカ アエプ ネ ヤッカ ピリカ イケ
kotan epitta pirka aep ne yakka pirka h_ike
 村じゅう良い食べ物でも良いものを

ウエカリレ ワ セ パ ワ イトゥラ ヤン」
uekarire wa se pa wa i=tura yan”
 集めて背負って私を連れていきなさい」

セコン ネア オンネ クル ハウエアニネ
sekor_ nea onne kur hawean h_ine
 とその老人は言って

コタン エピッタ ウサ サッカム ウサ ピリケプ
kotan epitta usa satkam usa pirkep
 村じゅう干し肉やら精白した穀物やら

ウエカリレパ ヒネ インネ ウタリ イトゥラ ヒネ
uekarirepa hine inne utari itura hine
 集めて大勢の人々が一緒に行って

ネア オッカイポ オロ タ パイエアン ヒネ
nea okkaypo oro ta paye=an hine
 その若者のところに行って

カムイ だか ニシパ アオスラ クニ オッカシケ タ
kamuy DAKA nispa a=osura kuni okkaske ta
 カムイだか、長者を埋葬する（通常のやり方）以上に

エイノンノイタク だか カムイオロイタク
einonnoytak DAKA kamuy'oroitak
 祈りだかカムイへの祈りを

ネア オンネ クル ウコノヨイセ コロ
nea onne kur ukonoyoyse kor
 その老人は唱えながら（？）

ネア オツカイポ^o クルカシケ ヤイエシリパ パ
 nea okkaypo kurkaske yayesirpa pa

その若者の上に取りすがって、

「エネ アン ピリカ アココウエ ピリカ シリ ウエ…… ク……
 “ene an pirka a=kokowe pirka siri we... k...

このような良い婿、良い

カムイシリコロ ペ イエオチシパレ クシ
 kamuysirkor pe ieocispare kus

カムイの姿をしたものが、命をとられたので

エネ ネ ヤクン カムイ アナクネ オハ カムイ ネ ウコロ
 ene ne yakun kamuy anakne oha kamuy ne ukor

そういうことならば、カムイは同じカムイと結婚し

アイヌ アナク オハ アイヌ ネ ウコロ ペ ネ キ ネ プ クス
 aynu anak oha aynu ne ukor pe ne ki ne p kusu

人間は同じ人間と結婚するものであるため

エネ カムイシリコロ ペ アココウエ ニシパ エネ アン ヤイサンペポカシテ
 ene kamuysirkor pe a=kokowe nispa ene an yaysampepokaste

そのカムイのような婿殿をこうして困らせて

ウトウカリ タ ウトウカリ タ キ ア ハウエ ネ ヤクン
 utukari ta utukari ta ki a hawe ne yakun

しょっちゅうしょっちゅう困らせたのなら

カムイ ネ ヤッカ ウエンプリコロ ペ アナク アコイパク クス
 kamuy ne yakka wenpurikor pe anak a=koypak kusu

カムイであっても悪い性根をもつものは罰せられるので

イキ ワ イキ プ アナクネ アッ テイネ モシリ アコオテレケ クニ
 iki wa iki p anakne ar_ teyne mosir a=kooterke kuni

そうして（悪事を）したものは地獄へ蹴落とされるように

カムイ ウタラ エオルシペ ヌ ヤク ピリカ」

kamuy utar e=oruspe nu yak pirka”

カムイたちがお前の話を聞くと良い」

セコロ

sekor

と

「オッカイポ アナクネ ペケン ラマチ アイヌ

“okkaypo anakne peker_ ramaci aynu

「若者は良い魂の人間が

オリワク モシリ ウン アラパ クス ネ ナ」

oriwak mosir un arpa kusu ne na”

住む国に行くことになっているのだよ」

セコロ ネア オンネ クル イタク オマレ ワ

sekor nea onne kur itak omare wa

とその老人は話して

オイタッコテ ヒネ キム タ ニシパ オスラ クニ

oytakkote hine kim ta nispa osura kuni

引導渡しをして山に、(通常の) 長者を埋葬するやり方

オッカシケ タ アオスラ ヒネ オラ ネア スウオプ エム アセ カネ ワ

okkaske ta a=osura hine ora nea suwop h_em a=se kane wa

以上のやり方で埋葬して、それから例の箱も私は背負って

ネア オンネ クル ウタラ アトゥラ ワ サパナクシ

nea onne kur utar a=tura wa sap=an akus

その老人たちを連れて下りたところ

ヒネ オロ タ レウシアン パルウェ ネ アクス

hine oro ta rewski=an pa ruwe ne akusu

そこで泊まったところ

ネア オンネ クル カ ウェンタラブ ヒネ
 nea onne kur ka wentarap hine
 その老人も夢を見て

「タアン ネ オッカイポ パクノ
 “taan ne okkaypo pakno
 「ここにいるこの若者ほど

ケウトウム ピリカ プ オアラ イサム ルウェ ネ ナ
 kewtumu pirka p oar isam ruwe ne na
 性根が良いものはないのであるよ

ナニ シヨッ タ エアヌ ワ
 nani sior_ ta e=anu wa
 すぐに自分のところにあなたは置いて

ピリカ メノコ エチエトウンカラ ワ コロ ワ
 pirka menoko eci=etunkar wa kor wa
 良い女性をあなたたちは嫁にもらって

エオッ タ アン ヤクネ アナン シリ コラチ イソン ワ
 e=or_ ta an yakne an=an siri koraci ison wa
 あなたのところにいさせれば、私同様に獲物をたくさんとって

ネプ エエシリキラプ カ ソモ キ ルウェ ネ ナ
 nep e=esirkirap ka somo ki ruwe ne na
 何もあなたは困ることはないのだよ

ウェンカス アエケムヌ クス
 wenkasu a=e=kemnu kusu
 あまりにも私はあなたを気の毒に思うので

タアン オッカイポ パクノ ケウトウム ピリカ プ イサム マ
 taan okkaypo pakno kewtumu pirka p isam w_a
 ここにいる若者ほど性根が良いものはないのを

アシコエクテ ワ アコイタクムイエ…… ルウエ ネ クス
a=sikoekte wa a=koitakmuye... ruwe ne kusu
 私は自分のところに呼んで、事の次第を語り残したので

シヨッ タ ポ シリ ネ エアヌ ワ エシカオイキレ ヤク
sior_ ta po siri ne e=anu wa e=sikaoykire yak
 自分のところに、息子のように置いて、あなたを養ってくれれば

ピリカオンネ アエキレ ナ」
pirkaonne a=e=kire na”
 天寿をまっとうさせてもらえるぞ」

セコロ ネア ココウ
sekor nea kokow
 とその婿

オロ ワ アウエンタラプテ ネア チセコロ オンネ クル キ
oro wa a=wentarapte nea cisekor onne kur ki
 から、その家の主人である老人は夢を見せられて

オラノ ポ ヘネ イヘコテ イコオンカミ
orano po hene i=hekote i=koonkami
 それからなおさら私に向かって拝んで

「タプネ カネ アココウエ ニシパ イウエンタラプテ カ キ ヤクン
“tapne kane a=kokowe nispa i=wentarapte ka ki yakun
 「これこれこのように私の婿殿が私に夢を見させたのならば

アナイシリ イェ プ アナクネ アハイタ カ エカイカプ ペ ネ ナ
anaysir ye p anakne a=hayta ka eaykap pe ne na
 アナイシリ (=死者の霊) の言うことは、無視することもできないものだから

アコロ オッカイポ イオッ タ アン クニ ラム ワ イコレ」
a=kor okkaypo i=or_ ta an kuni ramu wa i=kore”
 私の若者よ、私のところにいようと思ってください」

セコン ネア オンネ クル チシ コロ イコオンカミ ワ
sekor_ nea onne kur cis kor i=koonkami wa

と、その老人は泣きながら私に拜んで

イアンテ クシ イェ プ ネ クス
i=ante kus ye p ne kusu

私にいてくれと言うものだから

「アシヌマ カ オナ カ アコロ ウヌ カ アコロ アユピ カ アン ペ ネ クス
“asinuma ka ona ka a=kor unu ka a=kor a=yupi ka an pe ne kusu

「私も父もいて母もいて兄もいるものだから

アラパアン マ アイェ オラ アナン ヤッカ アイェ ワ エカン クス ネ ナ」
arpa=an w_a a=ye ora an=an yakka a=ye wa ek=an kusu ne na”

行って言って、(そこにしばらく) いるが、私は言って戻って来るつもりです」

セコロ ハウエアナン コロ
sekor hawean=an kor

と私が言うと

コント ネア オンネ クル ウタラ エ クニ プ カ ポロンノ オロワ アナンワ
konto nea onne kur utar e kuni p ka poronno orowa an=an wa

今度その老人たちの食べるものもたくさんあったが、それから (そこに) 私はいて

エキムネアン マ ウサ ユク ウサ カムイ アウエカリレ ワ アホッパ ヒネ
ekimne=an w_a usa yuk usa kamuy a=uekarire wa a=hoppa hine

働いて鹿でも熊でも私は獲りたためて置いてきて

オラ ネア ……チクニ カ ポロンノ アルラ ヒネ
ora nea …… cikuni ka poronno a=rura hine

そしてその……薪もたくさん運んで

ヘトポ アコロ ユペトウン エカニネ タプネ タプネ ハウエアニ
hetopo a=kor Yupet un ek=an h_inetapne tapne hawean h_i

引き返して、私の湧別へ戻って来て、これこれこういうわけだと話して

オンネ クル ココウエ ネ アン ペ

onne kur kokowe ne an pe

老人の婿であるものが、

キム タ ペケレシ…… オッカヨ クチペケレ シノッチャ ハウ

kim ta pekera... okkayo kucipeker sinotca haw

山で、若者が澄んだ声で歌を歌うのを

アヌ ペコロ ヤイヌアン マ

a=nu pekor yaynu=an w_a

私は聞いたように思って

クチャ チセ オロ ウン アサパ アエプニ コロ アヌ ウミ カ イサム

kuca cise or un a=sapa a=epuni kor a=nu h_umi ka isam

仮小屋で頭をあげると聞こえる感じもしない。

アサパ シリカ タ アアヌ コロ アヌ ワクス

a=sapa sirka ta a=anu kor a=nu wakusu

頭を地面の上に置くと、聞こえるので

ハンケノ ネ ペコロ アヌ ワクス

hankeno ne pekor a=nu wa kusu

近くであるように私は聞いたので

トモ ウンノ アラパアナイネ トオプ アラパアン マ

tomo unno arpa=an ayne toop arpa=an w_a

まっすぐ向かって行ってそれからずっと遠くに行って

トカプチ アコロ ペッ ウコウトウツ タ ペテトク タ

Tokapci a=kor pet ukoutur_ ta petetok ta

十勝と私の川との間の川の奥で

シルウエ スンク アン チョロポッケ タ エネ ハワン

siruwe sunku an corpokke ta ene hawan

とても太いエゾマツの下でこのように言った

オッカイポ アパ ワ エカニ
okkaypo a=pa wa ek=an h_i
 若者を見つけて来たことを

アオナ ウタリ エウン オロ タ アラパアニネ アイェ アクス
a=ona utari eun oro ta arpa=an h_ine a=ye akusu
 父たちに、そこに私が行って言うと

アオナ ウタリ カ イケムヌ ハウ コカリ コロ
a=ona utari ka ikemnu haw kokari kor
 父たちもかわいそうに思って口々に

「セコン ネ ハウエ ネ ヤクン
“sekor_ ne hawe ne yakun
 「そういうことであるのなら

アラ…… アナイシリ イェ プ アナクネ アハイタ カ エアイカプ ペ ネ ナ
ar... anaysir ye p anakne a=hayta ka eaykap pe ne na
 アナイシリの言うことには背くこともできないものだから

ニシパ カムイ イヌヌカシキ ハウエ ネ ナ
nispa kamuy inunukaski hawe ne na
 ニシパカムイはかわいそうであるな

ホクレ アプ…… ポロ アポ ヘム イトゥラ ワ アラパ ワ
hokure ap... poro a=po hem i=tura wa arpa wa
 早く兄さんも一緒に行って

オンネ クル ウタラ オロ タ パイエ ワ イカスイ ワ
onne kur utar oro ta paye wa ikasuy wa
 老人たちのところに行って手伝いをして、

ア…… エアキヒ ホツパ ワ エク」
a... e=akihi hoppa wa ek.”
 お前の弟を置いてきなさい。」

セコロ アオナ カ ハウエアン ペ クス

sekor a=ona ka hawean pe kusu

と私の父も言ったので

アユピヒ カ トウラノ ヘトポ ホシッパアニネ

a=yupihi ka turano hetopo hosippa=an h_in

私の兄とも一緒にまた私は帰って

ネア トカプチ タ アラキアニネ ネア オンネ クル

nea Tokapci ta arki=an h_in

十勝に来て、その老人は

「ピリカ ヒ アオナ カ アユピヒ カ イェ ワ エカン ルウエ ネ」

“pirka hi a=ona ka a=yupihi ka ye wa ek=an ruwe ne.”

それでよいと私の父も私の兄も言うので、私は来たのだ。」

セコロ ハウエ…… ハウオカアン コロ パイエアン アクシ

sekor hawe... hawoka=an kor paye=an akus

と言いながら行くと

エアラキンネ チシ コロ イエヤイコブンテク コロ

earkinne cis kor i=eyaykopuntek kor

ひどく泣きながら喜んで

オロ タ アユピ トウッコ レレコ イコトリ ワ ウカスイ エキムネアン ワ

oro ta a=yupi tutko rerko i=kotori wa ukasuy ekimne=an wa

そこで私の兄は二、三日私のところに逗留して手伝って、私は山に行つて

ユク ヘネ カムイ ヘネ アエムルラ…… アエアウナルラ ワ

yuk hene kamuy hene aemrura... a=eawnarura wa

鹿でも熊でもとってきて

オラ サケ アカラ ワ カムイノミアニ タ

ora sake a=kar wa kamuynomi=an h_i ta

そして酒をつくってカムイノミをして

「トカプチ…… トカプチ…… イシカルン

“Tokapci... Tokapci... Iskar un

「石狩の

オロケシサク ニシパ アヌラッパ ナ」

orkessak nispa a=nurappa na.”

子孫のいない長者の供養をいたしますよ。」

セコロ ハウオカアン コロ

sekor hawoka=an kor

と私は言い

サケ アコロ コロ アヌラッパ クニ カ

sake a=kor kor a=nurappa kuni ka

酒が手に入ったら供養してくれということも

ネ イサム ニシパ イェ プ ネ ア クス イクアン コロ ピシノ トク……

ne isam nispa ye p ne a kusu iku=an kor pisno tok...

その亡くなった長者が言ったので、酒を飲むごとに

「イシカルン オロケシサク ニシパ アヌラッパ シンネ ナ」

“Iskar un orkessak nispa a=nurappa sinne na.”

「石狩の子孫のいない長者を私は供養いたしますよ。」

セコロ ハウエアナン コロ アヌラッパ ランケ ワ

sekor hawean=an kor a=nurappa ranke wa

と私は言って供養して

コロ スウオプ カ アコロ ネア トカプチ ウン クル コロ ワ オカイ ペ カ

kor suwop ka a=kor nea Tokapci un kur kor wa okay pe ka

彼の箱も私がもらい、その十勝人（=彼）が持っていたものも

オピッタ アコロ ワ

opitta a=kor wa

すべて私がもらって、

ピリカ メノコ エトウン ネア オンネ クル キ ワ アイコレ ワ
 pirka menoko etun nea onne kur ki wa a=i=kore wa
 美しい女性をあの老人が妻に迎えてくれて

オロ タ アナニ オラノ アピリカレス ピリカ アエプ アエレ パ ヒケ カ
 oro ta an=an h_i orano a=pirkaresu pirka aep a=ere pa hike ka
 そこで暮らしてそれから（老人を）良く世話をして良い食事も食べさせても

アッカリ ルシカ ヘネ キ シンネ ペコロ チシ ロク チシ ロク シリ
 akkari ruska hene ki sinne pekor cis rok cis rok siri
 かえって腹をたててでもいるかのように泣きに泣く様子を

ポ ヘネ アケムヌ コロ オロ タ オカアン
 po hene a=kemnu kor oro ta oka=an
 なおいっそう衰れに思いながら暮らしていた

アピリカレス コロ キ アイネ アピリカオンネレ オラ
 a=pirkaresu kor ki ayne a=pirkaonnere ora
 良く世話をしているうちに、天寿をまっとうさせると、それから

アオナウタリ カ オンネ ワ アピリカオンネレ クス
 a=onautari ka onne wa a=pirkaonnere kusu
 私の父たちも年老いて、天寿をまっとうさせたので

オロ タ パイエアン。アマチヒ カ ピリカ メノコ
 oro ta paye=an. a=macihi ka pirka menoko
 そこに（十勝に恒久的に）行った。私の妻も良い女性を

アエトウン ワ アコロ ペ ネ クス
 a=etun wa a=kor pe ne kusu
 私が妻にしていたものであるので

アシヌマ カ ポ カ アコロ アユピヒ カ マテコロ ワ ポ カ コロ ワ
 asinuma ka po ka a=kor a=yupihi ka matekor wa po ka kor wa
 私も子供をもうけ、兄も妻をめとって子供もできて

ウタシパ ウコシネウパアン アイネ

utaspa ukosinewpa=an ayne

互いに行き来して、

アオナ カ アシウト ウタリ カ アオンネレ ワ

a=ona ka a=siwto utari ka a=onnere wa

私の父も舅たちも私があの世界へ送って

タップネ カネ ネ ワ ヤイコペプカ アキ ワ

tapne kane ne wa yaykopezka a=ki wa

このようであって酷い目にあって、

もとから トカプチ ウン ペ アネ カ ソモ キ

MOTOKARA Tokapci un pe a=ne ka somo ki

もとから私は十勝の者ではなく

ユペトウン ペ アネ ア コロカ

Yupet un pe a=ne a korka

湧別の者であったが、

クニネ ネ ワ トカプチ ホントム タ アナン ルウエ ネ クス

kunine ne wa Tokapci hontom ta an=an ruwe ne kusu

なりゆきによって十勝の中ほどで暮らしているので

アポ ウタリ イテキィ アエチコイパク クニ ネ ト……

a=po utari iteki a=eci=koypak kuni ne To...

私の子供たちよ、決して罰があたるような……

ユペトウン ル イソロモノ (?)

Yupet un ru isoromono(?)

湧別のXXX (?)

セコロ アエチイエ ナ

sekor a=eci=ye na

と私はお前たちに言うておくぞ

セコロ アオナ…… アオナ だか アカシパオッテ カ

sekor a=ona... a=ona DAKA a=kaspaotte ka

と私の父……でなくて、私が言いつけて

アポ ウタリ キ コロ ピリカ オンネ アキ シンネ クス アイェ と

a=po utari ki kor pirka onne a=ki sinne kusu a=ye TO

私の子供たちがしてくれて、私は天寿をまっとうできるようなので、話したのだと。

クイエ カ エアイカプ

ku=ye ka eaykap

私は（うまく）言えない

また入れるんだら、また言うよ？ エアイカプ しても

また入れるんだら、また言うよ？ eaykap しても

また録音するのなら、また言うよ？ できなくても

【注】

[1] Disk18 トラック 4 の続き。

19-3 ウエペケレ「ウッコッナイ アイヌ アネ」質問と解説

語り手：平目よし
聞き手・解説：萱野茂

萱野：今の uepeker [散文説話] のなかでね？

平目：はい。

萱野：ocakok っちゅうの、言ったなあ？

平目：うん。

萱野：これはどういう意味だね？

平目：「色深い」っていう意味。

萱野：色深い？

平目：はい。

萱野：ふうん、ocakok。それから……

平目：ocakot.

萱野：うん。ocakok っちゅうの、したら、どういうこと？ 「色深い」といつても……。

平目：女引っ張るのよお。

萱野：うん、それ……

平目：人のかか [嫁] でも、人の娘でもみんな epakoat [罪にとらわれる] してるから。

萱野：ocakok という……

平目：ocakot ていうの。

萱野：後ろさ柴ふつついてる [くつついている] みたいだ。

平目：フッフッ (笑)。

萱野：ああ、引っかかって歩くからか？

平目：フッ (笑)。

萱野：そういう意味もあるの？

平目：知らないって (笑)、ocakot て。

萱野：うん。

平目：色深いっていう言葉だっけだったよ？

萱野：うん。ay... anaysir [死人] っちゅう言葉言ってたな、anaysir。

平目：anaysir ったら死人。

萱野：うん。

平目：ほとき [仏]。

萱野：うん、仏。

平目：うん。

萱野：うん、うん。

平目：仏さんの言ったことを。

萱野：うん。それは、反対できないって。

平目：うん。

萱野：遺言は……、その、「遺言には反対しないもんだ」ということだとかもあるわけだな？ したら。

平目：はい、はい。

萱野：うんうん。

フチ 1：死んだ人には（反対しないもんだ）。

萱野：フッフッ（笑）、ウーン、なるほど。

平目：フッ（笑）。

萱野：そうしたら、今の uepeker〔散文説話〕は、今日でおやすみ。

平目：フッフッ（笑）、今日で終わり。

萱野：エー、この uepeker〔散文説話〕は、これ 19 号の 38 分から、いや、18 号テープの 38 分から、この uepeker は入っております。

えーあたくしは一人の aynu〔人間〕でありました、と。一人前になってどういうわけか、とつても、その、色深いというか、今おばあさんの説明によれば、その、色深くって。えー自分の家内ばかりでなくって、娘であれ人の妻であれ、次から次と女関係でその、しかられることばかりする。

そうしておって、おるうちに、ある時に、自分の妻を急に急に夜殺したくなってしまって、それを両手で首を絞めた、と。

そして、首を絞めて殺してからはじめて気がついて、「こんなことではこれだめだ」と。「いつまでおっては、次々と、その、人の妻とか、それから娘にまでそういうことではだめだから、どっか行って死んででもしまおうか」と思って、ま、自分の妻を殺しただけで、夜こっそり家のなかである suwop〔箱〕といって宝物入れてある箱を一つ取り出して、そ

れを背負ってずっと、まあ、村をなげて〔捨てて〕出て行って。そして、何日か歩いて歩いて、一軒の家へたどり着いた、と。

そこでまだ（せき払い）……、そこでまだ何日か暮らしておいたら、そこで娘がおって、その娘あまり器量はよくないんだけど、まあ、その親父さんにも頼まれたので、その、そのあまり器量のよくない娘を嫁にして、そしてまあ、1年2年と暮らした、と。そうするとまだ、ある夜のこと急に、その、自分の妻である女を殺したくなったので、それを首、両手でポッと絞めて殺しちまった、と。

「このままでは、これ、まだ次から次と他の人にも何かそんなことで、女次々殺すようなことではいかん」と思ったので、もう自分で死のうかと思うぐらいにした、と。それでも、まあ、死のうかという、何か声を出したの、そののしゅうとじいさんが聞きつけて、まあ、飛び起きて、「そんなことではだめだ」と。「まあ、若い時というのはいろんなことがあるものだから、そういうことでおまえ自殺などしてはいけませんよ」と、まあ、なだめられて、まだそこで何日か……何日かでない、何年かおった。

その、まあ、しゅうとじいさんがまだ新しく別に嫁をもらって自分に預けてはくれたんだけど、それもどうも思わしくない、と。それでまだそれをも殺して、から「もうこのままではどうもならんから、どうせもう、どっか行って死んでしまおう」と、それを殺してから自分の **suwop**〔箱〕、いわゆる宝物箱を背負って、ずっと山奥へ入っていった、と。

そうすると一本の大きなエゾマツの木があって、そのエゾマツの枝が垂れ下がって、その下は家のようにおるので、そこへ入って。まあ、その **suwop** という宝物箱を枕にして寝たというところで話がかわって。

今度、石狩のほうからだな？ 人来たの、あの……。

平目：今死んだ人ね。

萱野：うん、死んだ人は石狩から来て。

平目：はい。

萱野：で、十勝のほうから来たのか？ あの、助けに来た……。

平目：Yupet〔湧別〕。

萱野：あ、Yupet から。その、話変わって、まあ、その宝物枕にして死んだ、その、何人もかか〔嫁〕を殺した人は別として、話変わって。Yupet の二人兄弟の非常にいい家の二人兄弟、あたしたちでありました、と。

ある夜のこと、こう寝ると、遠くのほうへ、その、男の人の yaysama〔即興歌〕というか、自分で何かその、物悲しげに yaysama をゆっておる声が聞こえるような気がする。頭を上げるとそれが聞こえなくなる、まだ〔また〕枕の上頭のせるとそれが聞こえるというふうな、ま、遠くも聞こえるし近くも聞こえるので、夜ではあるけれども、急いでまかない〔身支度〕をして、その声のするほうへ急ぎ足で、何ぼ行っても、だんだんだんだん山奥へ行く。

どうやら、その大きな一本のエゾマツの木のあるところへ行って、側近く行ったら、「私はもう死んでおるんだけど、あんたに来てもらいたい理由があって来てもらったんだから、ちょっと話を聞いてください」という。そこで黙って聞くと、その「そう今まで何人も妻を殺してきた理由は、あたし自身がそうしたくてしたんでなくって、私はもう生まれながらにして非常に器量よしであったので、それを」、うんっと、kannakamuy〔雷神、龍神〕？

平目：うん、kannakamuy。

萱野：tu... turesihi〔の妹〕……

平目：kamuy or_ ta〔神様のところで〕に一緒になる okkaypo〔青年〕いなくて、aynu or un〔人間のところを〕見れば。

萱野：うんうん。

平目：その okkaypo さばっかり kokow〔婿〕にして(?)

萱野：うん、うん、なるほど。えー、「死んでみてはじめて分かったんだけど、私は、まあ、非常に器量よしで生まれた。それで、その天にいる、龍……、龍神の妹の女神が『神様の国で自分の夫にしようとする者を探してもみつからなくって、aynumosir〔人間の国土〕へ目を落としてみたら、そこでおまえがおったので、妻にしようとして……、いや、夫に

しようとして、次々とそういうその、悪さをさせた』と。いわゆる **ocakok** させた、と。『色深くわざとしむけて、次々として、何とか自身、自分自身でその男が、まあ、今のような状態で死ねば、その魂をとって神の国でお嫁に……、いや一緒になろうと、お嫁にじゃなくて婿にしたい』と。そういうことで、こういうふうに、自分自身が考えてしたんでなくて **katu a=kar** [だまされて] だな？ いわゆるその、神様の……から、そういうふうにさせられて、しむけられて、こういうふうになったのが分かった』と。

「それ、死んではじめて分かったんだけど、私の育ての、実際の父も母ももう死んでしまったし、この後どうすることもできないから、この宝物はおまえにあげるが、行って、**asurpusu** [知らせを持っていく] といって、その私の住んでおった村へ行って、よくいろんな事情を話して、私自身も神の国へ帰れるようにしてください」というふうに、その湧別の人頼まれて、それを村へ知らせるのにも特別な、その村の、その風習があつて、村へ行ってものを知らせるのにも、急に「こうでした」と言わずに、村へ入る前に **yayoturimukote** [悪い出来事を知らせる前触れの声] という、アイヌ語で言うんですけれども、大きい声を出しながら勇み足を踏み、そして「こういうことで来ました」というと、向こうからもちゃんと武具をつけて、女も男も大勢集まって迎えられて、そこでその、そういうことを **asurpusu** というんですけれども、話をして。

それによってまあ、「神の国へ私も帰れるように」と言われたのでその村へ行き、そして、それぞれのことを知らせて。もう一度もとの場所へ戻って、まあ、それは山でちゃんと葬って、宝物だけ私がもらい、そして、十勝のほうへ来て、生活をするようになりました。

だから、もともと生まれが十勝の者でなくて、湧別生まれの私であったので、子供や孫たちも、決してその、あまりおごったまねというか、遠慮のない振る舞いをしてはいけませんよ、と。必ず、よそ者だと言われられないように仲よく暮らさなさい、と一人の男が言って死にました、というのが、今のあらあらの筋だな？

平目：うんうん。

【注】

[1] **ocakok** は **ocakot** の言い間違いであろうか。以下同様。

19-4 ルパイエユカラ

「ポイサルンクル」

若い沙流の人

語り：平目よし

シノッペトウンマッ^[1] アネ ヒネ**Sinotpetunmat a=ne hine**

シノッペトウンマッで私はあつて

オトウ カ シンコプ オレ カ シンコプ アラナランケ

otu ka sinkop ore ka sinkop a=ranaranke

二つの糸の輪、三つの糸の輪を下ろし（て糸よりをし）たり

ネ ウトゥル オトウク…… オトウ チキリペ オレ チキリペ

ne uturu otuku... otu cikirpe ore cikirpe

その間に二つの刺繍衣、三つの刺繍衣を

アカラ ケンポ エトク アヌカラ カネ イキアン コロ ケシト アナナワ

a=kar kempo etok a=nukar kane iki=an kor kesto an=an awa

作る針の先を見たりしながら毎日暮らしていたが

シネアント タ トウ モコロ カムイ レ モコロ カムイ

sineanto ta tu mokor kamuy re mokor kamuy

ある日、二人の眠りの神、三人の眠りの神が

イコエク ワ ネン アエヤイエラムアナ ヤッカ

i=koek wa nen a=eyayeramuan a yakka

私のほうに来て、どう意識を保とうとしても

ア…… モコロアン ルスイ アイネ

a... mokor=an rusuy ayne

私は眠くなったので

アカラ ワ アン ペ アケメニヌ ソウスツ アオライエ

a=kar wa an pe a=kemeninu sowsut a=oraye

作っていたものを針で貫いて（中断して）、（家の）隅っこに押しやり

アエホッケイ タ アラパアン ワ ホッケアン ヒ ワノ

a=ehotkey ta arpa=an wa hotke=an hi wano

寢床に行って横になったときから

クンネ…… トカプ ノイワン レレコ トカプ……

kunne... tokap noiwan rerko tokap...

昼は何十日

クンネ レレコ ノイワン レレコ

kunne rerko noiwan rerko

夜は3日も、何十日も

トカプ レレコ ノイワン レレコ

tokap rerko noiwan rerko

昼は3日も、何十日も

モコロ ヘ ネ ヤ タカラ ヘ ネ ヤ アキ アイネ

mokor he ne ya takar he ne ya a=ki ayne

眠りだか、夢見だかを私はしたあげく

アコロ アペオイ カ シプニ ㊦ カネ パクノ

a=kor apeoy ka sipuni kane pakno

炉が灰で山盛りになるまで、

アペ アアリ カ ソモ キ ノ

ape a=ari ka somo ki no

私は火を焚くこともしないで

ケシト アン コロ モコロ パテク アキ アイネ

kesto an kor mokor patek a=ki ayne

毎日、眠ってばかりいたあげく

シネアント タ イネフナクン カムイ エク フム コンナ プシコサヌ
sineanto ta inehunak un kamuy ek hum konna puskosanu

ある日、どこかの神の来る音がパッとほじけた。

カム…… シパセカムイ ネ コトムノ アエサンニヨ
kamu... sipasekamuy ne kotomno a=esanniyo

本当に重い神であるらしく思われて

カムイ エク フム ケウロトツケ
kamuy ek hum kewrototke

神の来る音がバリバリと音を立てる。

アウニ ソイケ タ カムイ テレケ フム ナイコサンパ
a=uni soyke ta kamuy terke hum naykosanpa

私の家の外に神が跳び下りる音がチャリンと響いた。

オッカヨ ネ ヤ たか、メノコ ネ ヤ コトム コロカ
okkayo ne ya TAKA, menoko ne ya kotom korka

男ではなくて女だか（であれば）それらしい（音がするだろう）が

オッカヨ ソネ トウンパ フミ シヨロツテ
okkayo sone tumpa humi siorotte

いかにも男であるらしく、鐙の音が鳴り響いた。

ラムノ カネ アパ チマカ アフン ワ インカラニケ
ramno kane apa cimaka ahun wa inkar=an h_ike

低く戸を開けて（男が）入ってきたのを、私が見やると

アエラミシカリ プ イキ コロカ
a=eramiskari p iki korka

知らないものだけれど

コタンブンキヨ モシリブンキヨ^[3] ネ ノイネ アラム
Kotanpunkiyō Mosirpunkiyō ne noyne a=ramu

コタンブンキヨ・モシリブンキヨであるらしく思った。

キムイカシ…… カムイ ネ クス カムイ イポロ アンノイエカラ

kimuykasi... kamuy ne kusu kamuy ipor annoyekar

神であるから、神の顔色をそなえていて

イメル チセ オンナイ エマッコサヌ

imeru cise onnay emakkosanu

(彼の放つ) 光で家の中がパッと明るくなった。

コロ シレトク アエフナラ ピリカ オツカイポ

kor siretok a=ehunara pirka okkaypo

彼の容貌は (他に) 探せないくらいの立派な若者で

タ…… キムイカシケ ワ ラン…… ラッキ エトロ

ta... kimuykasike wa ran... ratki etor

頭の上から垂れ下がっている鈴は

クッコロ ウシ アコエトウイエ

kutkor us(i) a=koetuye

帯を締めたところで切りそろえられ、

クッコロ ウシ ワ ラッキ エトロ チンキ ケセ アコエトウイエ

kutkor usi wa ratki etor cinki kese a=koetuye

帯を締めたところから垂れ下がっている鈴は裾の端で切りそろえられ

カネ エトロ ネ プ ネ クス ウケレ フミ カネマイ ネ ウエトウヌンセ

kane etor ne p ne kusu ukere humi kanemay ne uetununse

黄金の鈴であるため、互いに触れ合う音、金属の響きが美しく響いている。

オツカイポ カ ウタラパケ

okkaypo ka utarpake

その若者か、立派な人物 (か) が

ソ トウラシ ヒネ ヤイカタ アペ アリ イネ

so turasi hine yaykata ape ari h_ine

座を上手へ行き、自分で火を焚いて

アペサム コッカコエシッチウ アペ アリ アペエトク タ ア ヒネ
apesam kokkakoesciw ape ari apeetok ta a hine
 火のそばに膝をついて、火を焚き上座に座って

イ…… インネ プ…… イヘコテ ワ ナン キル ミナ カネ ヒネ
i... inne p... i=hekote wa nan kiru mina kane hine
 私のほうに顔を向けて笑いながら

「シノッペトウンマツ イタカン チキ ウオンネレ ヤン。
“Sinotpetunmat itak=an ciki uonnere yan.
 「シノッペトウンマツよ、私が話すからよく聞きなさい。

ヤイコタノロ アエシナ アナク エトランネ プ アネ ルウエ ネ。
yaykotanor a=esina anak etoranne p a=ne ruwe ne.
 自分の素性を隠すことは、私は好まないのだ。

アシヌマ アレヘ コタンブンキヨ モシリブンキヨ アネ ワ
asinuma a=rehe Kotanpunkiyō Mosirpunkiyō a=ne wa
 私の名はコタンブンキヨ・モシリブンキヨであって

タン モシリ アエブンキネ クシ
tan mosir a=epunkine kus
 この国を守るために

リクン カント ワ フンタ トウラノ ヤナン コロカ
rikun kanto wa hunta turano yan=an korka
 高天から役目を帯びて下りてきたが

カムイ オツ タ アコロ クニ メノコ アフナラ ヤッカ
kamuy or_ ta a=kor kuni menoko a=hunara yakka
 神のところで私が娶るべき女を探しても

アヤイコトムカ メノコ シネプ カ イサム
a=yaykotomka menoko sinep ka isam
 私に相応しい女は一人もいなかった。

アイヌ オルン インカラン コロ

aynu or un inkar=an kor

人間のところを見やると

エアニ パテク エコロ シレトク エコン ナネトク アエフナラ

eani patek e=kor siretok e=kor_ nanetok a=ehunara

お前だけが、美貌も器量も、（人にやるのが）惜しいほどだ。

ヘル アエヌカッ タクポカ セコロ ヤイヌアン クス

heru a=e=nukar_ takup oka sekor yaynu=an kusu

ただお前を見るばかりでもいたいと思ったから

ポニシカルンクル^[4] アエコレ クス

Poniskarunkur a=e=kore kusu

ポニシカルンクルにお前が（嫁に）やられるというのが

ポンラム マ ノ トット イタク ハポ イタク ネ ワ

ponram w_a no tutto itak hapo itak ne wa

小さいときからの（彼らの）母さんの言葉、母の言葉であった

シラン ルウエ アヌカラ コロカ

siran ruwe a=nukar a korka

様子を私は見たが

ヘル ウヌカッ タクプ アン ポカ キ セコロ ヤイヌアン クス

heru unukar_ takup an poka ki sekor yaynu=an kusu

ただ会うだけでもしたいと思ったので

ポンスルンクル^[5] エコロ クニ キマッタロ ルウエ カ

Ponsarunkur e=kor kuni kimattaro ruwe ka

ポンスルンクルがお前と結婚すべきと決まった様子も

アヌカラ コロカ エカン ワ

a=nukar korka ek=an wa

私は見ていたのだが、私はやって来て、

ヘル アエヌカッ タクプ キ クシ エカン ルウエ ネ ナ」

heru a=e=nukar_ takup ki kus ek=an ruwe ne na”

ただお前を見るだけでもするために来たのだよ」

セコロ トウ ミナサムクルオマ カネ

sekor tu minasamkur’oma kane

と、何度も笑みを浮かべながら (?)

イヘコテ ナン キル ワ エネ ハワン コロカ

i=hekote nan kiru wa ene hawan korka

私のほうに顔を向けてこのように言ったけれど

ヘキル テン…… ペントク シキル ペントク アアンヌクリ

hekiru ten... pentok sikiru pentok a=annukuri

顔を向けも、振り向きもするのがまったく億劫で

モコロ ヘ ネ ヤ タカラ ヘ ネ ヤ アキ コン ネスン アナナイネ

mokor he ne ya takar he ne ya a=ki kor_ nesun an=an ayne

眠りだか、夢見だかを私がしているうちにだか

ネア カムイ ネ アン クル ホプニ ヒネ エキネ

nea kamuy ne an kur hopuni hine ek h_ine

例の神なる人は立ち上がってやって来て、

イカワアンアミプ ウセ アヌ ヒネ

ikawaan’amip use anu hine

上着を脱いで

「タン アミプ エコン……

“tan amip e=kor_…

「この着物をお前の……

オルンペ ネ アミピ シネプ アエコレ ナ。ミ ワ イコレ」

orunpe ne amipi sinep a=e=kore na. mi wa i=kore”

持ち物として、着物をひとつ、私はお前にあげるよ。着てください」

セコラン コロ ミピ° イカ カムレ コロカ アウク カ ヌクリ

sekor an kor mipi i=ka kamure korka a=uk ka nukuri

と、着物を私の上にかぶせたけれど、私はそれを取るのも大儀で

ネノ クンネ ヘネ トカプ ヘネ アナイ…… アン^[6]。アラパ ワ イサム

nenokunnehene tokap hene an ay... =an. arpa wa isam

そのまま夜も昼もいるうちに、（彼は）行ってしまった。

エウン イタク カ ヌ…… アヌクリ プ ネ クシ

eun itak ka nu... a=nukuri p ne kus

私はそちらへ話すことも大儀なものだから

ネプ カ アイェ カ ソモ キ ノ キ アワ

nep ka a=ye ka somo ki no ki awa

何も言いもしないでいると

イネフイ コタン プシコサンパ カムイ エク フム ケウロトツケ

inehuy kotan puskosanpa kamuy ek hum kewrototke

どの村からか破裂する音がして神が来る音が鳴り響き

アウニ ソイケ タ カムイ テレケ フム ナイコサンパ

a=uni soyke ta kamuy terke hum naykosanpa

私の家の外に神が跳び下りる音がチャリンと響いた。

メノコ ネ ヤ コトム コロカ オッカヨ フミ トウンパ フミ シヨロツテ

menoko ne ya kotom korka okkayo humi tumpa humi siorotte

女であったら、それらしい音がする（はずだ）けれど、男の音、鏝の音が鳴り響いた。

アパオロツペ カン…… ラン…… タ…… マカ ヒ……

apaorotpe kan... ran... ta... maka hi...

（その男が）戸のすだれを

アパ マカ ヒネ アフン インカラニケ

apa maka hine ahun inkar=an h_ike

戸を開けて入ってきた（のを）見やると

アエラミシカリ イクヨ…… イキロ…… コイカ…… イキ ロク コロカ
a=eramiskari ikuyo... ikiro... koyka... iki rok korka
 私は知らないけれど

ポンサルンクン ネ コトムノ アエサンニヨ ピリカ オツカイポ
Ponsarunkur_ ne kotomno a=esanniyo pirka okkaypo
 ポイサルンクルであると思われる立派な若者で、

アイヌ ネ コロカ カムイ シレトツコロ ピリカ オツカイポ ナン ヌペキ
aynu ne korka kamuy siretokkor pirka okkaypo nan nupeki
 人間であるけれど神の（ような）美貌の立派な若者の顔の光で

チセ ウプソロ エマツコサヌ コロ アフニネ
cise upsor emakkosanu kor ahun h_ine
 家の中がパッと明るくなりながら入ってきて

アペ サム タ ア コロ アペアリ イネ オラウン イヘコテ ワ シキル ワ
ape sam ta a kor aperi h_ine oraun i=hekote wa sikiru wa
 火のそばに座ると火を焚き、そして私のほうを振り向いて

「ウエン メノコ シルン メノコ
“wen menoko sirun menoko
 「悪い女、ひどい女め、

テエタ ワノ シンリッ ウタラ イイエ イタク ネ ワ クス
teeta wano sinrit utar i=ye itak ne wa kusu
 昔から先祖たちが私たちに（お前たちは許嫁同士だと）言う言葉だから

タネポ タプ タプ アエフナラ クス エカナワ
tanepo tap tap a=e=hunara kusu ek=an awa
 今はじめて、私はお前を探してやってきたのに

コタンブンキヨ モシリブンキヨ トウラ
Kotanpunkiyō Mosirpunkiyō tura
 コタンブンキヨ・モシリブンキヨと

ウサ エチウミプミ パクノ エチイキ ルウエ ネ ヤクン

usa eci=umipmi pakno eci=iki ruwe ne yakun

いろいろと互いの着物を着るほど（のことを）⁷¹、お前たちがしているのだったら

タン イヌカラ イトウカプ シンネ エキ ナンコン ナ」

tan i=nukar itukap sinne e=ki nankor_ na”

もう私に会うことももうないだろうよ」

セコロ ハウエアン コロ

sekor hawean kor

と言うと

サンテク カ タ ポキシリ カ タ

santek ka ta pokisir ka ta

手の上で、足の上で

コプシチヨ…… コプシロトツケ たか キ ワ

kopusco... kopusrototke TAKA ki wa

破裂するような音だかがして

ナン…… ナヌフ タ ウオク プンカン ネ

nan... nanuhu ta uok punkar_ ne

その顔には結んだ蔓のように

ナン…… ナヌフ タ イルシカ イポロ ウオク プンカン ネ チホプニレ

nan... nanuhu ta iruska ipor uok punkar_ ne cihopunire

その顔には怒りの表情が結んだ蔓のように（青筋が）立つと

チフカイェ ヒネ ライ ワ トウルセ ワ

cihukaye hine ray wa turse wa

突然死して、死んで転がって

オロ タ エアシリ アネオロ アラカ イ カ アオイラ ノ

oro ta easir a=neor arka h_i ka a=oyra no

それで初めて、私のどこかが痛いのも忘れて

タン ペウタンケ アクススイェ オラノ パラパラカン コン
tan pewtanke a=kususuye orano paraparak=an kor_
 危急の叫びを上げると大声で泣きわめきながら

ネア オツカイポ クルカシケ ハワシ イェ する (?)
nea okkaypo kurkaske hawas ye SURU(?)
 例の若者の上で言ったのは

トゥ ピヌ フッサ リ…… レ ピヌ フシ…… フッセ アエカラ ヤッカ
tu pinu hussu ri... re pinu hus... husse a=ekar yakka
 二つの微かなフッサ、三つの微かなフッサを私がしても

トンケ カ ソモ キ
tonke ka somo ki
 何の反応もない。

セコン ネ コン ネア ポンサルンクル スイ ヤイエイソイタク
sekor_ ne kor_ nea Ponsarunkur suy yayeysoytak
 ということで (ここからは)、そのポンサルンクルがまた自叙します。

タプネ カネ ネ ワ アイコレ プ ネ ヤカイエ ワ クス
tapne kane ne wa a=i=kore p ne yak a=ye wa kusu
 このようなことで、私が (嫁に) もらえる者だということで

アヤイコフナラ クス エカナワ
a=yaykohunara kusu ek=an awa
 私は自ら探しに来たが

オロヤチキ コタンブンキヨ モシリブンキヨ トウラ
oroyaciki Kotanpunkiyō Mosirpunkiyō tura
 なるほど、コタンブンキヨ・モシリブンキヨと一緒に、

ウタシパ ウミプミ パクノ ウトクイエコロ ルウエ アヌカラ クス
utaspa umipmi pakno utokuyekor ruwe a=nukar kusu
 互いに、互いの着物を着るくらい仲睦まじい様子を私は見たので

ウェニルシカ トイ イルシカ アキ イネ

wen iruska toy iruska a=ki h_ine

酷い怒り、酷い怒りを私はすると

アサンテク カ タ チプクروتト ヒネ カムイ イルシカアニネ ラヤン

a=santek ka ta cipukrototo hine kamuy iruska=an h_ine ray=an

私の手元でポキポキ折れる音がして、神の怒りを私はして私は死んでしまった。

アライラマチ リクイ スイ カ アヤイペカレ

a=rayramaci rikun_ suy ka a=yaypekare

私の死霊は天窓の上に向かって

リ…… イテメニ カ タ ケマラチチ テクラチチ アキ ワ

ri... itemeni ka ta kemaracici tekraçici a=ki wa

梁の上で脚をぶら下げ手をぶら下げして

シチョロポクン インカラナクス オアラ ライ オックアイポ ネ コロカ

sicorpok un inkar=an akusu oar ray okkaypo ne korka

自分の下を見やると、完全に死んでいる若者であったが

イメル クス アヌカラ カ エアイカプ ピリカ オックアイポ

imeru kusu a=nukar ka eaykap pirka okkaypo

光で見ることもしない立派な若者が

オアンライ シリ クルカシケ

oanray siri kurkasike

完全に死んでいる様子の上に

シノッペトウンマツ トウ スイ チシ ネ レ スイ チシ ネ

Sinotpetunmat tu suy cis ne re suy cis ne

シノッペトウンマツが二度泣き、三度泣き

トウ ピヌ フシ レ ピヌ フッセ エカラ コロ アン シリ アヌカラ コロ

tu pinu hus re pinu husse ekar kor an siri a=nukar kor

二つの微かなフッサ、三つの微かなフッサをしている様子を私は見ると

アネ チュプキリ…… チュプ…… チュプキル クルカ アエホプニ
ane cupkir... cup... cupkiru kurka a=ehopuni
 細い月の光の上を私は飛んでいった。

ネイ タ パクノ シ……
ney ta pakno si...
 いつまでも

コタンブンキヨ モシリブンキヨ アコイルシカ プ ネ クス
Kotanpunkiyō Mosirpunkiyō a=koyruska p ne kusu
 コタンブンキヨ・モシリブンキヨには腹を立てているものだから

サンペ オツ タ コタンブンキヨ アコチャウキ クス
sampe or_ ta Kotanpunkiyō a=kocorawki kusu
 心でコタンブンキヨを攻撃するために

オラノ アネ キロル キロル クルカ アヘホプニ
orano ane kiroru kiroru kurka a=hehopuni
 そうして細い道、立派な道の上を飛んでいった。

オトゥ ル ユカラポ オトゥ ル シノツチャ アヤイカイキレ
otu ru yukarpo otu ru sinotca a=yaykaykire
 二つの叙事詩、二つの即興歌をしながら

キ コロ アラパアナイネ
ki kor arpa=an ayne
 しながら行くうちに

コタンブンキヨ モシリブンキヨ コツ チャシ オロ アエ……
Kotanpunkiyō Mosirpunkiyō kor_ casi or ae...
 コタンブンキヨ・モシリブンキヨの山城の中に

アオアフニネ アラパアナクシ
a=oahun h_ine arpa=an akus
 入って行くと

ネイ タ ナン カ ウェナ ネイ タ シリカ ウェナ

ney ta nan ka wen y_a ney ta sirka wen y_a

どこが顔が醜いことか、どこが容貌が醜いことか（わからないほど美しい）

コタンブンキヨ ネプ エヤイコウエペケレ ペ ネ ルウェ ネ ヤ

Kotanpunkiyō nep eyaykouepeker pe ne ruwe ne ya

コタンブンキヨは何をあれこれ思い悩んでいるのか

アペ ノシキ エヌトマム マ アヌシケ タ アウオテレケアニネ

ape noski enutomam w_a an uske ta awoterke=an h_ine

火の真ん中をじっと見つめているところに私は飛び込んで

アテムカ コンナ シカイェ カ セ……

a=temka konna sikaye ka se...

私の腕の上を振り回して（?）

「コタンブンキヨ モシリブンキヨ

“Kotanpunkiyō Mosirpunkiyō

「コタンブンキヨ・モシリブンキヨに

チマテケシケ イエカラカシ…… イエカラカラ クス

cimatekeske i=ekarkas... i=ekarkar kusu

妻を妬まれたために

シンリッ イタク トット イタク ネ ワ シラニケ

sinrit itak tutto itak ne wa siran h_ike

先祖の言葉、母さんの言葉で（我々が許嫁だと）あったのに

エネ イコソモクル ヤイカタヌ

ene ikosomokur yaykatanu

このようにあえて無礼をされて

アコロ クシ ネ メノコ エミピ カ エミレ パクノ

a=kor kus ne menoko e=mipi ka e=mire pakno

私が結婚することになっている女にお前の着物も着せるほど

エチウトクイエコン ルウエ アヌカリケ
eci=utokuyekor_ ruwe a=nukar h_ike
 お前たちが仲睦まじい様子を見ると

ウエン キンラ ネ イコヘタリ ワ
wen kinra ne i=kohetari wa
 激しい怒りがわきあがって

アエコチヨル…… アエコチヨラウキ ワ エカン ルウエ ネ
aekocoru... a=e=kocorawki wa ek=an ruwe ne
 お前を攻撃しに来たのだ。

イキア オッカヨ、イキア エモイモイケ ナ」
ikia okkayo, ikia emoymoyke na”
 絶対に、男なのだから、決して動くなよ」

セコロ ハワナン コロ
sekor hawan=an kor
 と私は言う

アコッ タメリリ アエカイエ (?) ワ クルカシケ アタモマレ
a=kor_ tameriri a=ekaye(?) wa kurkasike a=tamomare
 刀の光を閃かせながら刀を振るった。

アケ…… イネアプ エラムシ ペ ネ ヤ レラ ネ ウコホプニ
ake... ineap eramus pe ne ya rera ne ukohopuni
 なんとまあ（戦いに）慣れた者なのか、風のように一緒に飛び上がり

アタメトコ ワ アラキヤ…… キラ ワ オアリサム
a=tametoko wa arkiya... kira wa oarisam
 私の刀の先から逃げてしまった。

オラノ チセ パンノクン チセ ペンノクン アケサンパ アイネ
orano cise pannok un cise pennok un a=kesanpa ayne
 それから家の西の軒へ、家の東の軒へ追いかけたあげく

トゥプ ネ レプ ネ アオウサトゥ (イエ)

tup ne rep ne a=ousatu(ye)

二つに三つに斬り散らした。

イネアプ ヤヨマプ マ フマサ カ アエラミシカリ

ineap yayomap w_a humas y_a ka a=eramiskari

(斬られた相手の魂は) なんとまあ悔しがる様子であることか、わからない。

イルシカ ワ アラパ フミ ケウロトツケ

iruska wa arpa humi kewrototke

怒って行く音が鳴り響く。

ネ ヒ オロワ アネ チュプキル チュプキル コロ…… クルカ アエホプニ

ne hi orowa ane cupkiru cupkiru kor... kurka a=ehopuni

それから細い月の光、月の光の上を私は飛んで行った。

オトゥ ル シノツチャ オトゥ ル ユカラポ アヤイカイキリ コ (?)

otu ru sinotca otu ru yukarpo a=yaykaykir ko(?)

二つの即興歌、二つの叙事詩をしながら (?)

リクン カント ウン ヘメスアン ヒネ アラパアナクス

rikun kanto un hemesu=an hine arpa=an akusu

高天へのぼって行くと

クンネ コソンテ ヤイネナイネ^[8]

kunne kosonte yaynenayne

黒い小袖を上から下までそろいで

ウトムチウレ クル イエカリ ナイ…… ラン ヒネ

utomciwre kur i=ekari nay... ran hine

身に着けた人が私のほうに下りてきて

「アイヌ オポイスン ポイスルンクル

“aynu opoysan Poysarunkur

「人間の子孫 (である) ポイスルンクルよ、

エエク ワ ネ ヤク コタネウエン モシリ エウエン
e=ek wa ne yak kotan ewen mosir ewen
 お前が来たら村が荒れ国が荒れてしまう。

フナクン ネン エコイルシカ プ エライケ ヤクン
hunak un nen e=koyruska p e=rayke yakun
 どこの誰かお前が腹を立てた相手を殺したのなら

エホシピ^o エアシリ キ プ ネ ルウエ タパン
e=hosipi easir ki p ne ruwe tapan
 お前は帰らなければならないのだよ。

アシヌマ アナク ホロケウ カムイ ポニウネ イケ アネ ワ
asinuma anak horkew kamuy poniwne h_ike a=ne wa
 私はオオカミの神の年下のほうであって⁹⁾

アエシキレロツテ エセレマカ アウシ ペ アネ ルウエ ネ アワ
a=esikirerotte e=sermaka a=us pe a=ne ruwe ne awa
 私が目を向けてお前の背後に（憑いて）いるものが私であるのだが

フナクン エエイケスイ シリ アン？
hunak un e=eikesuy siri an?
 どこへ腹を立てて来ているのだ？

エエク ワ ネ ヤク コタネウエン モシレウエン ペ ネ ナ。ホシピ^o」
e=ek wa ne yak kotan ewen mosir ewen pe ne na. hosipi”
 お前が来たら、村が荒れ、国が荒れてしまうのだぞ。帰れ」

セコロ アン コロ エケシンネ イエトコ トウイエトウイエ コロ
sekor an kor ekesinne i=etoko tuyetuye kor
 と、あちこち、私の前を行ったり来たりすると

ウエン キンラ ネ イコヘタリ
wen kinra ne i=kohetari
 激しい怒りがわきあがり

オラノ スイ アムテムシ アシコエタイェ イネ
orano suy a=mut emus a=sikoetaye h_in
 それからまた私が佩いている刀を引き抜いて

オラノ アケサンパ コロ
orano a=kesanpa kor
 それから（黒い小袖の神を）追いかけると

カムイ ネ プ ネ クス チリ…… チリ ペコロ (?) ホユブ ワ
kamuy ne p ne kusu cir... cir pekor hoyupu wa
 神であるものだから、潮流のように (?) 走って

アオシコニ カ コライニウケシ
a=osikoni ka korayniwkes
 私は捕まえることもできずにいる。

イコパシロタ
i=kopasrota
 私をののしって

「フンナ トウレンペヘ コイキ プ……クル ネ?
“hunna turenpehe koyki p... kur ne?”
 「誰が（自分の）憑き神と戦うものか。

エエプンキネ クス エイキ (?) エ…… ウエン イタク ヘ アイェ ヒネ
e=epunkine kusu e=iki(?) e... wen itak he a=ye hine
 お前を守るためにしているのにお前はそうして、私が悪い言葉を言ったというのか?

エネ ピリカ イタク アエヌレ ワ ハワナナワ
ene pirka itak a=e=nure wa hawan=an awa
 あのようなよい言葉を私はおまえに聞かせて話したのに

フンタ クシ エネ イケサンパ シリ アニ アン?
hnta kus ene i=kesanpa siri an h_i an?”
 どうしてこのようにお前は私を追いかけているのだ?」

セコロ イコパシロタ ヤッカ アヌ シリ カ イサム
sekor i=kopasrota yakka a=nu siri ka isam

と、私をののしっても私は聞くこともない。

アケサンパ アイネ スイ トupp ネ レp ネ アオウサトウイエ コロカ
a=kesanpa ayne suy tup ne rep ne a=ousatuye korka

私は追いかけたあげく、また二つに三つに斬り散らしたが

シクヌ ピト ネ シクヌ カムイ ネ
siknu pito ne siknu kamuy ne

(黒い小袖の神は) 生き返る尊で、生き返る神で (あるから)

リクン カント オリキヌミ アヌ イネ
rikun kanto orikin h_umi a=nu h_ine

高天にのぼる音が聞こえる。

アラパアナクス ホシキ アン ペ コラチ
arpa=an akusu hoski an pe koraci

(また) 私が行くと前にいたもののように、

レタラ コソンテ ヤイネナイネ ウトムチウレ ポノッカイポ
retar kosonte yaynenayne utomciwre pon okkaypo

白い小袖を上から下までそろいで身に着けた若者が

ピリカ オク…… カムイ ネ クス
pirka ok... kamuy ne kusu

立派な神なので

カムイ ポン…… アンノイエカラ ピリカ オッカイポ イエカリ ラン ワ
kamuy pon... annoyekar pirka okkaypo i=ekari ran wa

神の容貌の立派な若者が私に向かって下りて来て

「アイヌ オポイサン フナクン エアラパ シリ アン?
“aynu opoysan hunak un e=arpa siri an?”

「人間の子孫よ、どこへお前は行くのだ？」

エアラパ ネ ヤ…… だか リクン カント ウン エアラパ ヤッカ
e=arpa ne ya... DAKA rikun kanto un e=arpa yakka
 お前が行くのか、ではなく、高天へお前が行ったら

エコツ トット カ エコロ アイヌ カ エイリワキ カ オカ コロカ
e=kor_ totto ka e=kor aynu ka e=irwaki ka oka korka
 お前の母さんも、お前の父親も、お前の兄弟姉妹もいるけれど

タネ リクン カント ウン エアラパ ヤクン
tane rikun kanto un e=arpa yakun
 いま高天へお前が行ったら

アイヌ モシリ エエプンキネ コタネウエン
aynu mosir e=epunkine kotan ewen
 人間の国のお前が守っている村が荒れてしまう。

エイサム ヤクン キ プ ネ ナ。ホシピ」
e=isam yakun ki p ne na. hosipi”
 お前がいなかったらそうなるのだぞ。帰れ」

へ…… セコロ ホロケウカムイ アキヒ ネ ヤク イエ プ イイエ コロ
he... sekor horkewkamuy akihi ne yak ye p i=ye kor
 と、オオカミ神の弟だというのが私に言いながら

イトモイタク コロカ スイ ウエン キンラ ネ イコエタリ
i=tomoytak korka suy wen kinra ne i=koetari
 私をなだめるけれど、またひどい怒りが湧き上がって

オラノ トウ ル エトコ レ ル エトコ
orano tu ru etoko re ru etoko
 それから、二つの道の先々、三つの道の先々を

アトウイエトウイエ ア アケサンパ ア アコタメタイエ
a=tuyetuye a=a=kesanpa a=a=kotametaye
 私は先回りして、私は追いかけて刀を振るった。

オラノ イコパシロタ コロ

orano i=kopasrota kor

そうすると、私をしっかりと

「フンナ アエ…… ウェン イタク ヘ アイエ ヒネ

“hunna ae... wen itak he a=ye hine

「私が悪い言葉を使ったというので、

エネポ エイキ シリ アン？

enepo e=iki siri an?

そんなふうになっているのか？

ピリカノ アエカシパオツテ ワ

pirkano a=e=kaspaotte wa

私はしっかりとお前をさとして

エセンピリケ アエプンキネ ワ クス エアナワ

e=sempirke a=epunkine wa kusu e=an awa

お前の陰を守っているのだが

ヘマンタ エルシカ シリ エネ アン？

hemanta e=ruska siri ene an?

何を怒ってそうしているのだ？

エコイルシカ コタンブンキヨ カ イサム ヤクン

e=koyruska Kotanpunkiyō ka isam yakun

お前が怒ってもコタンブンキヨもいなくなったら

コタネウエン モシレウエン ペ ネ ヒ タ (?)

kotan ewen mosir ewen pe ne hi ta(?)

村が荒れ、国が荒れるのに (?)

コタンブンキヨ カ コロ ウェン プリ クルカシケ エオトウイエカリネ

Kotanpunkiyō ka kor wen puri kurkasike e=otuyekar h_ine

コタンブンキヨを、悪いふるまいの上で斬って、

オラ カンナ カムイ アキヒ カ エライケ

ora kanna kamuy akihi ka e=rayke

そして雷の神の弟もお前が殺して

オラ スイ エネ エイキ シリ アン?

ora suy ene e=iki siri an?

それからまたお前はそうするのか?

ソノノ ヘタプ アイヌ オポイスン エイタツカシ シリ エネ アニ アン」

sonno hetap aynu opoysan e=itakkasi siri ene an h_i an”

本当に人間の子孫よ、お前は言うことを聞かないなあ」

セコロ イイエ コツ トウ ウエンパ カムイ シロタツパ イコパシロタ

sekor i=ye kor_ tu wenpa kamuy sirotatpa i=kopasrota

と、私に言いながら、何度も悪口をぶちまけ、私を罵った。

スイ トウプ ネ レプ ネ アオウサトウイエ

suy tup ne rep ne a=ousatuye

(彼も) また二つに三つに私は斬り散らした。

オラノ スイ アネ チュプキル から

orano suy ane cupkiru KARA

それから細い月の光の上から

オトゥ ル ユカラ オトゥ ル シノツチャ アヤイカイキレ コロ (?)

otu ru yukar otu ru sinotca a=yaykaykire kor(?)

二つの叙事詩、二つの即興歌をしながら (?)

スイ ヘメスアナクス

suy hemesu=an akusu

また私がのぼると

スイ クンネ コソソテ ヤイネナイネ ウトムチウレ メノコ

suy kunne kosonte yaynenayne utomciwre menoko

上から下までそろいで、また黒い小袖を身に着けた女で

ポロ スクプ メノコ イエカリ ラン ヒネ

poro sukup menoko i=ekari ran hine

年たけた女が私に向かって下りてきて

「タン アポホ イタカン チキ エイヌ カトウ

“tan a=poho itak=an ciki e=inu katu

「私の息子よ、私が話すからよく聞くのだよ。

アシヌマ アナク エ…… カムイ オツ タ タネ アナン コロカ

asinuma anak e... kamuy or_ ta tane an=an korka

私は神のところに今は暮らしているけれど

エコロ トット エコロ ハポ アネ ワ

e=kor tutto e=kor hapo a=ne wa

お前の母さん、お前の母親が私なのだよ。

タネ カムイ オツ タ カムイ アホクフ トウラノ アネ ワ

tane kamuy or_ ta kamuy a=hokuhu turano a=ne wa

今は神のところで神の夫と一緒にいるのだよ。

ネパエシリキラプ カ ソモ キ コロカ

nep a=esirkirap ka somo ki korka

何も困ることはないけれど

アイ…… アイヌ モシツ タ アエエヌワプ ペ エアニ ワ

ay... aynu mosir_ ta a=e=enuwap pe eani ne wa

人間の国で私が生んだのがお前で

アコツ チャシ エエプンキネ ワ エアン クシ ネ ワ

a=kor_ casi e=epunkine wa e=an kus ne wa

我々の山城をお前が守っているのだよ

トット イタク ハポ イタク ネ ワ シラン マ

tutto itak hapo itak ne wa siran w_a

母さんの言葉、母の言葉であるから

アエチウコレス シノッペトウンマツ トウラノ キ アワ

a=eci=ukoresu Sinotpetunmat turano ki awa

私がお前たちを許嫁としてシノッペトウンマツと一緒に育てたのだが

エコイパク ペ エライケ イネ オラ アッカリ

e=koypak pe e=rayke h_ine ora akkari

お前が憤慨した相手を殺して、そのあとには

エネ エトウレンペ ウタラ カ エコイキ

ene e=turenpe utar ka e=koyki

ああしてお前の憑き神たちとも戦うとは、

フンタ エエニシテ クス エネ エイキ ヤ?

hnta e=eniste kusu ene e=iki ya?

何を頼りにするためにお前はそうしているのだ?

ホシピ° ワ イコレ、アイヌ アポホ」

hosipi wa i=kore, aynu a=poho”

帰りなさい、人間の息子よ」

セコロ ポロ スクプ メノコ イイエ スイ ウエン キンラ ネ イコヘタリ

sekor poro sukup menoko i=ye suy wen kinra ne i=kohetari

と、年たけた女が私に言うと、またひどい怒りがわきあがり

オラノ エケシンネ タメタイェアン マ

orano ekesinne tametaye=an w_a

それから、あちこちに私は刀を振るって

「オロ…… オロヤ チキ

“or... oroya ciki

「なるほど

ウヌ ネ マヌ プ オナ ネ ナ…… マヌ プ エコロ アナウエ ネ プ

unu ne manu p ona ne na... manu p e=kor an h_awe ne p

母親というもの、父親というものをお前が^[10]持っていたということだが

エネ エホツパ ノ リクン カント タ アン オラ ハウエアン？」

ene e=hoppa no rikun kanto ta an ora hawean?"

(彼らは) ああしてお前を後に残して、高天にいたということか」

セコロ ヤイヌアン ウェン キンラ ネ イコヘタリ

sekor yaynu=an wen kinra ne i=kohetari

と思うと、ひどい怒りがわきあがった。

オラノ トウ ル エトコ レ ル エトコ アトウイェトウイェ アイネ

orano tu ru etoko re ru etoko a=tuyetuye ayne

それから、二つの道の先々、三つの道の先々に先回りしたあげく

ネオロ オシマ イ ネオロ ウン ヌイナク ルウェ ネ ア？

neoro osma h_i neoro un nuynak ruwe ne y_a?

どこに消えた、どこへ隠れたのか

アオカトウライヌ エ…… ウェニルシカ トイ イルシカ アキ コロ

a=okaturaynu e... wen iruska toy iruska a=ki kor

私は後を見失って、ひどく怒り、激しく怒ると

スイ ヘリカシ ワ アネ チュプキル から ホユプアン ワ

suy herikasi wa ane cupkiru KARA hoyupu=an wa

また上方へ、細い月の光から走って

オトウ ル ユカラ オトウ ル シノツチャ アイェ コロ アラパアナクス

otu ru yukar otu ru sinotca a=ye kor arpa=an akusu

二つの叙事詩、二つの即興歌を口にしながら行くと

イワン コソンテ ウコエクッコロ イワン コソンテ オパンナアッテ フチ

iwan kosonte ukoekutkor iwan kosonte opannaatte huci

六枚の小袖を重ねて帯を締め、六枚の小袖をうちはおったおばあさんで

アネ クワ チノイェ クワ エテテ フチ イエカリ ラン

ane kuwa cinoye kuwa etete huci i=ekari ran

細い杖、ねじれた杖を杖にしたおばあさんが私に向かって下りてきて

「ソノノ ヘタプ アイヌ ヘカッタラ アイヌ オポイサン
“sonno hetap aynu hekattar aynu opoysan

「本当に人間の坊や、人間の子孫よ、

エイタッカシ シリ エネ アニ アン？

e=itakkasi siri ene an h_i an?

お前が言うことを聞かない様子はこうなのかい？

エトゥレン ピト カ エロンヌ イサム ヤク コタネウエン ペ

e=turen pito ka e=ronnu isam yak kotan ewen pe

お前の憑神も殺してしまったら村を荒らされるものが

コタンブンキヨ モシリブンキヨ ネ ア ワ カ エライケ ヒケ

Kotanpunkiyō Mosirpunkiyō ne a wa ka e=rayke hike

コタンブンキヨ・モシリブンキヨであったが、それを殺して

アッカリ ヘマンタ エルシカ クス フナクン エエク シリ アン？

akkari hemanta e=ruska kusu hunak un e=ek siri an?

その上、何を怒って、どこへ来たのだ？

ソノノ ヘタプ エチルイ シリ エネ アニ アン」

sonno hetap e=ciruy siri ene an h_i an”

本当にお前はやんちゃであることだね」

セコロ イイエ コロ クワハ エケシンネ トウクテクテク

sekor i=ye kor kuwaha ekesinne tuktektek

と言いながら、杖をあちこちにちょっと伸ばす。

アアッカリ カ エアイカプ

a=akkari ka eaykap

私は通り過ぎることもできない。

イコパシロタ コロ キ アイネ

i=kopasrota kor ki ayne

(老婆が) 私をののしっていたあげく

フレ ヌイ タプコプ レタン ヌイ タプコプ クンネ ヌイ タプコプ
hure nuy tapkop retar_ nuy tapkop kunne nuy tapkop
 赤い炎の小山、白い炎の小山、黒い炎の小山を

イカ ウン エンプイナレ
i=ka un empuynare
 私の上へあびせかけた。

オラノ タネ チアンヌイネ フマシ ペ ネ クス
orano tane ciannuyne humas pe ne kusu
 それから、ものすごい炎となった様子なので

ヘトポ^o ホロカ アイエオヌイタプクテ プ ネ クス
hetopo horka a=i=eonuytapukte p ne kusu
 逆に、炎が湧き上がって

チアンヌイネ フマシ ペ ネ クス
ciannuyne humas pe ne kusu
 ものすごい炎となった様子なので

エネ ホシピアナイネ ノ ホシピアン コロ
ene hosipi=an ayne no hosipi=an kor
 このように戻ったあげく、戻ると

オラノ フレ ヌイ タプコプ イオシ エク ワ
orano hure nuy tapkop i=os ek wa
 それから赤い炎の小山が私の後ろから来て

タネ イチレ ノイネ フマシ ペ ネ クス
tane i=cire noyne humas pe ne kusu
 今や私を焼きそうな様子なので

アラキマテッカ アキ ワ ラナナイネ
arkimatekka a=ki wa ran=an ayne
 非常にびっくりして私は下りたあげく

ネア シノッペトウンマツ ウニヒ イテメニ カ アコラッコサンパ キ ア プ
nea Sinotpetunmat unihi itemeni ka a=koratkosanpa ki a p

例のシノッペトウンマツの家の梁の上に私はずっと下りたのだが

ネア フチ クワ エシスイェ イ タ
nea huci kuwa esisuye h_i ta

例のおばあさんが杖を振ったときに、

イキク オアシ フミ ネ ペコロ ヤイヌアン
i=kik oasi humi ne pekor yaynu=an

まさに私を叩こうとするように思い、

シチョロポクン インカラナクス ランマ ネア イ ネノ
sicorpok un inkar=an akusu ramma nea h_i neno

私の下を見やると、依然として

ネア シノッペトウンマツ トウ…… トウ チシ ウエン ペ だか
nea Sinotpetunmat tu... tu cis wen pe DAKA

例のシノッペトウンマツ（すなわち）、ひどく泣いているものだが

チシ コロ ネア オ…… オアラ ライ オッカイポ カシ オヌペチッカ
cis kor nea o... oar ray okkaypo kasi onupecikka

泣きながら、例の完全に死んだ若者の上に涙をこぼし

トウ ピヌ フッセ ル…… レ ピヌ フッセ エカラ コロ アン シリ
tu pinu husse ru... re pinu husse ekar kor an siri

ふたつのかすかなフッサ、みつつのかすかなフッサをしている様子を

シチョロポクン アヌカラ プ
sicorpok un a=nukar a p

自分の下に私は見て

ラポク タ ネア フチ クワ エシスイェ フミ アエキマテキネ
rapok ta nea huci kuwa esisuye humi a=ekimatek h_ine

その間にも、例のおばあさんが杖を振る音に私は驚いて

アエシシ クシ ネ ア プ トウルセアン ペコロ ヤイヌアン
a=esisi kus ne a p turse=an pekor yaynu=an
 避けようとしたところ、私は落ちたように思った。

モコロ ヘ ネ ヤ タカラ ヘ ネ ヤ アキ アイネ
mokor he ne ya takar he ne ya a=ki ayne
 眠りだか、夢見だかを私はしたあげく

アコヤイモソソ インカラナワ
a=koyaymososo inkar=an awa
 私は目が覚めて見たのだが

ネア ポン メノコ ウセイ アッテ オラノ アパロオッテ ワ
nea pon menoko usey atte orano a=parootte wa
 例の女がお湯を（火に）かけて、それから私の口に飲ませて

トゥ ピヌ フッセ レ ピヌ フッセ イエカラ
tu pinu husse re pinu husse i=ekar
 二つのかすかなフッサ、三つのかすかなフッサを私にすると、

タンタニ ア…… アサンペケセヘ コシトゥリリ アイネ
tantani a... a=sampekesesehe kosituriri ayne
 だんだんに私の心臓の端が伸びてほっとしたあげく

テエタ ネットパ アコロ トウマシヌアン
teeta netopa a=kor tumasnu=an
 昔の（とおりの）体を私は持って元気になった。

オラノ エネ イヤイ…… チヤイポカシテ イエカラカラ クス
orano ene iyay... ciyappokaste i=ekarkar kusu
 それから、（女が）私にもたれかかっていたので

コタンピ…… プンキヨ^[11] ミピヒ カ ミ ワ アナ プ
Kotanpi... punkiyo mipihi ka mi wa an a p
 （彼女は）コタンブンキヨの着物も着ていたが

「エネ フンタ ネ イオシクル クシ エネ イシクヌレ フミ アン？」
“ene hnta ne i=oskur kus ene i=siknure humi an?”
 「なんで私を（死んで）惜しいと思うためにこのように私を生き返らせたのか？」

セコロ ハウエアナン コロ シクトウル パクノ アエパコヤサ イネ
sekor hawean=an kor sikutur pakno a=epakoyasa h_ine
 と言うと、（彼女の）目の間まで頭を打ち割って^[12]

オラウン アウニ ウン ホシピアン イネ
oraun a=uni un hosipi=an h_ine
 それから私の家に戻って

「オホンノ タネ サケ カ アカラ カ ソモ キ ワ
“ohonno tane sake ka a=kar ka somo ki wa
 「長いこと今は酒も造ってもないので

シンリッ ウタラ カ ヌ…… ヌサハ イナウエ カ ラパプセ ルウエ ネ クス
sinrit utar ka nu... nusaha inawe ka rapapse ruwe ne kusu
 先祖たちの祭壇（も崩れ）イナウも倒れているので

サケカラン マ ウエチウサケ アカラ ペ ネ ナ。シ…… サケカラ」
sakekar=an w_a ueciwsake a=kar pe ne na. s... sakekar”
 酒を造って、婚姻の酒を造るのだよ。酒を造りなさい」

セコロ アイェ ク…… コロ アホツパ ヒネ
sekor a=ye k... kor a=hoppa hine
 と言うと、後に残して

コント サケヘ…… サケカラ ワ カムイ オピッタ アニスク ワ
konto sakehe... sakekar wa kamuy opitta a=nisuk wa
 今度は酒を造って神々すべてを頼って

オロ タ イネアプ アウタリ インネ ワ エケシンネ イヤシケウカン ワ
oro ta ineap a=utari inne wa ekesinne iaskeuk=an wa
 そこで、なんとまあ仲間が多くて、あちこちへ招待して

オロ タ エアシリ ウエチウ サケ アカラ ペ ネ クス

oro ta easir ueciw sake a=kar pe ne kusu

そこではじめて婚姻の酒を作ったので

ウコロ クニ プ マテオンカミ、ホク コロ クニ プ ホク コオンカミ ワ

ukor kuni p mateonkami, hoku kor kuni p hoku koonkami wa

結婚するものは妻へ拝礼して、夫を持つようになるものは夫へ拝礼して

ピリカ トノト アウコマクテッカ ワ

pirka tonoto a=ukomaktekka wa

素晴らしい酒宴をともに開いて

オラノ アシヌマ アナク

orano asinuma anak

それから私は

シノツペトウンマツ オロ タ ポニウネ クル アネ ワ

Sinotpetunmat oro ta poniwne kur a=ne wa

シノツペトウンマツのところに、私は（ポンサルンクルの）弟のほうであって

オロ タ アナン クニ キマッタロ プ ネ クス

oro ta an=an kuni kimattaro p ne kusu

そこで私たちが暮らすようにと決まったものだから

シノツペトウンマツ オロ タ アナン ア プ

Sinotpetunmat oro ta an=an a p

シノツペトウンマツのところで私は暮らしていたが、

ポ…… ポロ アユピ アン ポ…… アユピ アナクネ

po... poro a=yupi an po... a=yupi anakne

（私には）大きい兄がいて、私の兄は

イシカラ タ ポロ アユピ アコツ チャシ エブンキネ ワ

Iskar ta poro a=yupi a=kor_ casi epunkine wa

イシカラに（いる）私の大きい兄さんは、我らの山城を守っていて

アシヌマ アナク シノッペツ タ イヨロツ ペ アネ ワ

asinuma anak Sinotpet ta iorot pe a=ne wa

私はシノッペツに混じって暮らしている者となって

タプネ カネ ラヤン マ アラパアナ コロカ

tapne kane ray=an w_a arpa=an a korka

これこれこうして死んで行ったけれど

ヘトポ カムイ フチ オロ ワ アイケサンパ ワ

hetopo kamuy huci oro wa a=i=kesanpa wa

引き返して、火の女神のところから追いかけて

ヘトポ ホシピアン ワ シクヌアン ペ ネ ワ

hetopo hosipi=an wa siknu=an pe ne wa

引き返してきて、生き返ったので

オラノ ネア シノッペトウンマツ アコロ ワ

orano nea Sinotpetunmat a=kor wa

それから例のシノッペトウンマツと結婚して

ネプ アエシリキラプ カ ソモ キ コロカ

nep a=esirkirap ka somo ki korka

何も困ることもないけれど

ホタシヌ パテク インクシ パテク アキ コロ アナン ペ アネ ルウエ ネ

hotasnu patek inkus patek a=ki kor an=an pe a=ne ruwe ne

不安だけ、悪い予感だけしながら暮らしているのが私なのだ

セコロ ポイスルンクル ハウエアン

sekor Poysarunkur hawean

と、ポイスルンクルが話した。

カムイ フチ は メム…… こう、あの

kamuy huci は mem... こう、あの

火の女神は……

サケヘ オマ プ ネ コロカ サケヘ 入れたらケヤイカプ しるし、長いから
 sakehe oma p ne korka sakehe 入れたら k=eyaykap しるし、長いから
 節もあるのだけれど、節を入れたらできないし、長いから（言わない）。

【注】

- [1] 人物名。「シノッペツ Sinotpet に住む女」の意。
- [2] apeoy ka sipuni は直訳すれば「炉が持ち上がる」となるが、炉に積んであった薪が燃え尽きて山盛りの灰になったことを言うのだと考えられる。
- [3] コタンブンキヨ モシリブンキヨ Kotanpunkiyō Mosirpunkiyō は、これ全体でひとりの神の名。
- [4] Poniskarunkur : 人名。pon「若い」Iskar「石狩」un「～に住む」kur「人」の意味。以下の話の流れでは、シノッペトウンマツは Poysarunkur と許嫁であるため、ここでは言い間違えたものであろう。
- [5] Ponsarunkur : 人名。pon「若い」Sar「沙流」un「～に住む」kur「人」の意味。
- [6] アナイアンはアナン an=an の言い間違い。
- [7] ここでボンサルンクルは、モシリブンキヨが残していった服を見て、シノッペトウンマツがモシリブンキヨと一緒に寝るような仲になったものと思っている。
- [8] 実際の音はナイネナイネ naynenayne のように聞こえる。以下、すべて同様。
- [9] ここではオオカミ神の弟だと述べているが、後に「オオカミ神の弟」とされる別の人物が「雷の神の弟のほう」に言及していることから、ここは言い間違いであり、この人物は「雷の神の弟」だと考えられる。
- [10] ここでの「お前」は叙述者（ボンサルンクル）のこと。自分で自分を「お前」と呼んでいる。
- [11] コタンブンキヨの言い間違い。
- [12] 目の間（眉間）を打ち割るとするのは、魔払いの儀式のひとつ。

19-5 ウエペケレ

「ユペツ イリワク ウコイキ」

湧別の兄弟げんか

語り手：平目よし

(萱野：はい)

アホクフ アニネ オカアン。

a=hokuhu an h_ine oka=an.

私には夫がいて、私達は暮らしていました。

アホク ユプタリ イワニウ アン

a=hoku yuputari iwaniw an

私の夫の兄は六人いて、

イワニウ カシパ プ アホク ネ イネ オカアン。

iwaniw kaspā p a=hoku ne h_ine oka=an.

六人のさらにもう一人（末っ子）が私の夫でありました。

アシウトウタリ カ トウラノ オカアン ペ ネ ア プ、

a=siwtoutari ka turano oka=an pe ne a p,

旦那の両親とも一緒に私達は暮らしていたのですが、

エタカシレ アホクフ イソン カ ネプ カラ ヤッカ モニ オマ ワ

etakasre a=hokuhu ison ka nep kar yakka moni oma wa

抜きんでて私の夫が獲物に恵まれ、何をやっても手に入れて、

ネプ ネ ヤッカ ヌウエ コアン ワ オカアナクシ オラノ

nep ne yakka nuwe koan wa oka=an akus orano

何でも獲物を取り、そうして私達は暮らしていました。

ネア ユプタリ サケ コロ パ コロ アタク ワ アラパ コン
 nea yuputari sake kor pa kor a=tak wa arpa kor_

その兄達が酒を手に入れると、招かれて夫は行き

ネプ イク オッ タ ラム トテクノ ホシピ° ハウエ カ イサム ノ
 nep iku or_ ta ramu totekno hosipi hawe ka isam no

なんと飲んだ席で心ほがらかに帰宅することもなく、

イク トウイカ タ イペ トウイカ タ アコサカヨカラ ワ
 iku tuyka ta ipe tuyka ta a=kosakayokar wa

飲んで食べている最中に怒鳴りつけられて、

ヘプトウトウ ワ ホシピ° ランケ コロ アン コロカ クス……[1]
 hepututu wa hosipi ranke kor an korka kusu...

ふくれっ面をしてはいつも帰ってくるのですが、

ネプ ネ ヒ カ イェ カ ソモ キ ノ アン
 nep ne hi ka ye ka somo ki no an

夫はどういうことかも言わずに、

トゥラノ オカアン アイネ
 turano oka=an ayne

私達は一緒に暮らしていました。

シネアンタ タネ ホンコロアン カ キ ワ ポロアン コロ…… ワ
 sineanta tane honkor=an ka ki wa poro=an kor... wa

ある日のこと、いまや私は妊娠もしていて、(お腹が)大きくなり、

タネ ヌワパン クニ ネ ノ アナン ルウエ ネ。
 tane nuwap=an kuni ne no an=an ruwe ne.

もう出産するところでした。

アホク エネ ハウエアニ
 a=hoku ene hawean h_i

私の夫はこのように言いました

「タン アマチ、イタカン チキ エイヌ カトウ エネ アニ

“tan a=maci, itak=an ciki e=inu katu ene an h_i

「妻よ、私がこれから話しますから、聞いているのだよ。

アオナ エタカスレ ニシパ ネ コロカ

a=ona etakasure nispa ne korka

私の父は抜きんでた長者なのだが、

アロラムンノ ニシパ ネ イネ クナク アラム ア プ、

aroramunno nispa ne h_ine kunak a=ramu a p,

別に特別なわけもなく、父は長者なのだとは私は思っていたのだが、

アオナ エネ ハウエアニ

a=ona ene hawean h_i

私の父の話によれば、

『アポホ インネ コロカ イ……

‘a=poho inne korka i...

『私には子どもがたくさんいるが、

イヨッタ アオタイ…… アオトゥワシ プ エアニ エネ ワ。

iyotta aotay... a=otuwasi p eani e=ne wa.

一番私が頼りにしているのがお前なのだよ。

アコロ キムシプ アン ペ ネ ア ネ キムシプ

a=kor kimuspu an pe ne w_a ne kimuspu

私には山に秘密の倉があり、その山の倉を

いちばん アコロ アポウタリ では イヨッタ アオタ…… アオトゥワシ プ

ICHIBAN a=kor a=poutari DEWA iyotta a=ota... a=otuwasi p

一番私の子ども達のなかで私が頼りにしている子に

アコレ クニ アラム コロ アナナ コロカ

a=kore kuni a=ramu kor an=an a korka

やろうと思っていたのだが、

イヨッタ ポン アポホ シノ トウマシヌ カ アオトウワシ カ キ クス
 iyotta pon a=poho sino tumasnu ka a=otuwasi ka ki kusu

末っ子が実に丈夫でもあるし、私が頼りにもしているので、

アポホ エネ ワ アコロ キムシプ アエコレ、
 a=poho e=ne wa a=kor kimuspu a=e=kore,

息子よ、私の山の倉をお前にやり、

アヌシケ カ アエエパカシヌ クシ ネ ナ。

an uske ka a=e=epakasnu kus ne na.

その在り処も教えよう。

ピリカノ ネ キムシプ オツ タ アラパアン コロ
 pirikano ne kimuspu or_ ta arpa=an kor

うまく山の倉に私がたどりついたときに、

イナウ アロシキ ワ エカン コロ ポ ヘネ ヌウェ アパ (?)

inaw a=roski wa ek=an kor po hene nuwe a=pa(?)

私が幣を立てて来て、それでなおいっそう獲物を見つけ (?),

ポ ヘネ ヌコアナン ペ ネ コロカ

po hene nukoan=an pe ne korka

私はたくさん獲物が獲れるようになったのだが、

ルプネ アポウタラ アナクネ オアラ アララ ワ クス

rupne a=poutar anakne oar arara wa kusu

年上の子ども達は、完全に人をみくびっているので、

エポン コロカ アコロ キムシプ アエコレ ナ。

e=pon korka a=kor kimuspu a=e=kore na.

お前は年下だけど、私の山の倉をやるからね。

エウン カムイノミ ヤクネ エニシパネ クシ ネ プ ネ ナ。」

eun kamuynomi yakne e=nispane kus ne p ne na.’

そこで神に祈ってお前は長者になりなさい。』

セコロ アオナハ ヌイナノ アユプタリ ソモ ヌレ ノ
 sekor a=onaha nuynano a=yuputari somo nure no
 と私の父はこっそりと私の兄達には聞かせずに

『イキア エイエ プ ネ ナ。』

‘ikia e=ye p ne na.’

『決して言うてはいけないよ。』

セコロ アオナ ハウエアン コロ イヌレ ワ
 sekor a=ona hawean kor i=nure wa
 と私の父は言って私に聞かせ、それで

エウン オンカミアン コロ アナン。イナウロシキアナ コロ
 eun onkami=an kor an=an. inawroski=an a kor
 私はそこで拝んでいた。幣を立てたら、

ポ ヘネ ヌコアン…… ヌウェ アパ (?)

po hene nukoan... nuwe a=pa(?)

なおいっそう獲物を見つけ (?)

ポ ヘネ ヌコアンアン ランケ コロ アナナクス オラノ

po hene nukoan=an ranke kor an=an akusu orano

なおさらいつも獲物がたくさんとれた。すると

アユプタリ サケ コロ パ ワ イタク ワ アラパアン コロ

a=yuputari sake kor pa wa i=tak wa arpa=an kor

私の兄達は酒を持ち、私を招待した。私が行くと、

『アオナ キムシプ コロ ペ ネ ノイネ ハワシ ア プ、

‘a=ona kimuspu kor pe ne noyne hawas a p,

『父は山に秘密の倉を持っていたようだと言いたが、

きっと エエラマン マ クス エアニ カ エタカスレ イヤプ……

KITTO e=eraman w_a kusu eani ka etakasure iyap...

きっとお前はそれを知っているから、お前も抜きんでて、

アオカ アッカリ イソン カ アイヌ アク…… カス
aoka akkari ison ka aynu ak... kasu

私達よりも猟運があり、(普通の)人より、

エイソン、エニシパネ ヒ ネ ナンコロ。

e=ison, e=nispane hi ne nankor.

猟運がある長者にお前はなったんだろう。

フナク タ ア…… アン ペ ネ ワ ソモ アオナハ イェ プ
hunak ta a... an pe ne wa somo a=onaha ye p

山の倉がどこかにあって、父親はそれを言わず、

エアニ パテク エヌ ワ クス エニシパネ シリ ネ ナンコロ。』

eani patek e=nu wa kusu e=nispane siri ne nankor.’

お前だけがそれを聞いたので、お前は長者になったんだろう。』

セコロ ハウオカ コロ イコイニンピシパ ヤッカ ア……

sekor hawoka kor i=koyninpispa yakka a...

と兄達は言う。私は問いただされても、

『アヌ カ エラミシカリ。ネイ タ アン ペ ネ ヤ カ エラミシカリ。』

‘a=nu ka eramiskari. ney ta an pe ne ya ka eramiskari.’

『私は聞いたこともない。どこにあるものかも知らない。』

セコロ シカシケアン コロ オラノ

sekor sikaske=an kor orano

と知らないふりをすると、

イカ タ ハウ ウタサ。

i=ka ta haw utasa.

私の上で声が飛び交い、

アユプタリ イコサカヨカラ

a=yuputari i=kosakayokar

兄達は私を怒鳴りつけ

アオナウタリ カ コサカヨカリケカ アオナ カ イェ カ ソモ キ
a=onautari ka kosakayokar h_ikeka a=ona ka ye ka somo ki
 私の両親にも怒鳴りつけたのだが、父親はそれを言わなかった。

アシヌマ カ アイェ カ ソモ キ ノ アナン ルウエ ネ ア プ、コント
asinuma ka a=ye ka somo ki no an=an ruwe ne a p, konto
 私も言わずにいた。そうしたら、今度は

『アン パクノ シオハイ (?) ソモ エイエ ヤクン アエライケ クシ ネ。』
‘an pakno siohay(?) somo e=ye yakun a=e=rayke kus ne.’
 『XXX (?) お前が言わないのなら、お前を殺してやる。』

セコロ イイエ パ コロカ
sekor i=ye pa korka
 と兄達に言われたが、

スンケ ソモ ネ イ ノイネ アラム
sunke somo ne h_i noyne a=ramu
 それは嘘ではないように私は思った。

コント アオナウタリ ワ カ ネ アユプタリ シンナ チセ カラ カッ……
konto a=onautari wa ka ne a=yuputari sinna cise kar kat...
 それで、両親とも兄達は別に家を建て、

アオナハ カットウイマノ オカ ワ ネプ カ エレ パ カ ソモ キ ノ
a=onaha kattuymano oka wa nep ka ere pa ka somo ki no
 父から離れて兄達は暮らし、両親は兄達に何も食べさせずに

シンナ オカイ ペ だから アオ……
sinna okay pe DAKARA a=o...
 別々に暮らしていたものだから、

アシヌマ カ ピリカノ イラム パ カ ソモ キ ノイネ アラム。
asinuma ka pirkano i=ramu pa ka somo ki noyne a=ramu.
 兄達は私のこともよく思っていないように思う。

アイライケ ヤクン アイライケ ヤッカ ピリカ コロカ
 a=i=rayke yakun a=i=rayke yakka pirka korka
 私は殺されるなら殺されたほうがいいのだが

エホニ オマ プ マッカチ エネ オッカヨ ヘネ ネ ヤッカ
 e=honi oma p matkaci h_ene okkayo hene ne yakka
 お前のお腹にいるのが女でも男でも、

エホニ オマ プ ネウン ポカ イキ ワ シクヌ ヤクン
 e=honi oma p neun poka iki wa siknu yakun
 お前のお腹の子がどうにかして生き延びれば。

ネ アイエケシケ キムシプ アヌシケ ヘ クンネ パイエアン コロ
 ne a=i=ekeske kimuspu an uske HE kunne paye=an kor
 その私が妬まれた原因である山の倉があるところへ夜に行くと、

シリペケレ ワ チュピポラン ルウェ ネノ エウン
 sirpeker wa cupipor an ruwe neno eun
 明るく、月明かりが照らすように、そこの

ポル…… ポル…… ヌプリ スットム ポル ポロ ポル オマ ワ
 poru... poru... nupuri suttom poru poro poru oma wa
 山の麓に大きな穴があって、

オンナイケヘ シンルスシ、オンナイケ イランマカカ チセ オンナイ ネノ
 onnaykehe sinrus us, onnayke irammakaka cise onnay neno
 その中は苔が生えていて、穴の中はきれいな家の中のように

シンルスシ。ソイケヘ レタラ ピオタ アン ワ
 sinrus us. soykehe retar piota an wa
 苔が生えている。外側の白い火山灰があるので、

ネ ウシケ トンナタラ、クンネ アヌカラ コロ スクシ……
 ne uske tonnatara, kunne a=nukar kor sukuš...
 そこがぴかぴか光って、夜に見ると

トノンスクシ アン アペコロ シリペケレ ワ

tononsukus an apekor sirpeker wa

まるで昼の光に照らされているように明るい。

アエキリカラ (?) ワ アヌカラ ウシケ ネ クス ネウン ポカ エイキ ワ

a=e=kirkar(?) wa a=nukar uske ne kusu neun poka e=iki wa

私はお前に覚えさせ (?), 私が見つけたところだからお前はどうかして

オロウン アエシレパカシヌ ワ エアラパ チキ

oroun a=e=sirepakasnu wa e=arpa ciki

私がお前に道を教えてお前が行けば、

ア…… エホニ オマ プ ポカ アサンテケ ネ アン クニ ネ。

a... e=honi oma p poka a=santeke ne an kuni ne.

お前のお腹にいる子だけでも私の子孫になるはずだ。

アユプタリ イケシケ ワ イロンヌ ノイネ ハウオカ ルウェ ネ。

a=yuputari i=keske wa i=ronnu noyne hawoka ruwe ne.

私の兄達が私を憎み、私達を殺すように言っているんだ。

エアニ ポカ。アシヌマ カ アイライケ ヤクン

eani poka. asinuma ka a=i=rayke yakun

せめてお前だけでも。私も殺されれば

エアニ カ アエライケ シリ ネ クニ アラム ルウェ ネ ナ

eani ka a=e=rayke siri ne kuni a=ramu ruwe ne na

お前も殺されるような気がしているものだから、

シネン ネ ポカ シクヌ ワ エホニ オマ プ シクヌレ ワ イコレ。

sinen ne poka siknu wa e=honi oma p siknure wa i=kore.

一人でも生き延びて、お前のお腹にいる子を救ってくれ。

クス アイオ…… アイライケ プ ネ クス アイェ カ ソモ キ プ ネ クス

kusu a=io... a=i=rayke p ne kusu a=ye ka somo ki p ne kusu

私は殺されるから、(その穴のことを) 言うこともない。だから、

エオッシケ オマパナクネ アサンテケ ネ アン マ
e=ossike oma p anakne a=santeke ne an w_a

お前のお腹の子どもは私の世継ぎとなって、

ネ ポル コロ クニ ネ。

ne poru kor kuni ne.

その穴を持つことになる。

アシヌマ レンカイネ ネイ ワ カ ピリカ オッカイポ エク ワ
asinuma renkayne ney wa ka pirka okkaypo ek wa

私のおかげで、どこからか美しい若者がやってきて

エコロ ヤクン アシヌマ コラチ カムイ イカ…… エカオピウキ ワ
e=kor yakun asinuma koraci kamuy ika... e=kaopiwki wa

お前はその人と結婚したら、私と同様に神がお前を助けるからね。だから、

アコロ アサンテケヘ マッカチ ヘネ オッカヨ エネ
a=kor a=santekehe matkaci hene okkayo h_ene

私の子孫である女の子でも男の子でも

エコロ ヤッカ ネウン ポカ イキ ワ レス ワ
e=kor yakka neun poka iki wa resu wa

お前は生んだら、どうにかして育てて

イヨカケヘ タ アン クニ ネ、イキ ワ イコレ。」
i=okakehe ta an kuni ne, iki wa i=kore.”

私が死んだ後も生きるように。そうしてくれな。」

セコロ イイエ コロカ
sekor i=ye korka

と夫は私に言うけれど、

「アホクフ エコッ ペ ネ ヤクン
“a=hokuhu ekot pe ne yakun

「夫がそれで死ぬのなら、

アシヌマ カ アホク エコッ ペ ネ ヤクン
 asinuma ka a=hoku ekot pe ne yakun
 私も夫が死んだら、

イエレパク ライアン ヤッカ ピリカ。」
 ierpak ray=an yakka pirka.“
 一緒に死んでもいい。」

セコロ ハウエアナン ヤッカ
 sekor hawean=an yakka
 と私が言っても

「ハウエ ネ ヤクン タネ アエライケ クシ ネ。」
 “hawe ne yakun tane a=e=rayke kus ne.”
 「それならば、もうお前を殺そう。」

セコロ ハウエアナン コロ
 sekor hawean kor
 と言うと

シイエ…… ネ クシ シエ…… だから エムシ エタイエ ワ
 siye... ne kus sie... DAKARA emus etaye wa
 刀を引き抜いて

「スンケ ソモ ネ ノイネ アエライケ クシ ネ ナ。」
 “sunke somo ne noyne a=e=rayke kus ne na.”
 「嘘にならないようにお前を殺す。」

セコロ ハウエアナン コロ シエ…… イネ エムシ ラリラリ たか…… キ ワ
 sekor hawean kor sie... h_inine emus rarirari TAKA... ki wa
 と言って、刃先をゆらゆらだかさせて、

イシエキマテッカ ワ ヒネ チプ アニ ペツ トウラシ イルラ ワ
 i=siekimatekka wa hine cip ani pet turasi i=rura wa
 私をおどかして、舟で川を上って私を連れて行って

ホク…… クンネ イルラ クナク キ コロ イシエキマテッカ コロ

hok... kunne i=rura kunak ki kor i=siekimatekka kor

夜に私を送るとそのように言って私をおどして、

チプ オロ ウン オロ ウン サツ カム ネ ヤ サツ チェプ ネ ヤ ルラ ワ

cip or un oro un sat kam ne ya sat cep ne ya rura wa

舟のなかに乾燥させた肉や魚を運び入れて、

アエヤイラメコテ クニ ス だの ウサ オカイ ペ

a=eyayramekote kuni su DANO usa okay pe

私の生活用具になる鍋などいろいろなものを

ルラ アホクフ キ ヒネ オラ チパニ ペツ トウラシ

rura a=hokuhu ki hine ora cip ani pet turasi

私の夫は運び、舟で川を上って

フナクン イクサ ワ パイエアン。だから イエラリウ ヒネ

hunak un i=kusa wa paye=an. DAKARA ierariw hine

どこかに私を連れて行きました。夫が漕いで

パイエアナイネ

paye=an ayne

私達は行くと、

「タパヌシケ タ エヤン ワ テ ワノ ペツ テクサム ペカ

“tapan uske ta e=yan wa te wano pet teksam peka

「ここらで陸にあがり、ここから川岸を

エアラパ ヤクン ポロ ヌプリ アン ワ

e=arpa yakun poro nupuri an wa

進んで行けば大きな山があって、

ヌプリ スットムン アヌカラ ペ ネ ナ。

nupuri suttom un a=nukar pe ne na.

山の麓に見えるものがそれだからね。

オロ タ アラパ ワ アン。」

oro ta arpa wa an.”

そこに行っていなさい。」

セコロ アホクフ イイエ ワ

sekor a=hokuhu i=ye wa

と私の夫は言って、

「アホクフ エコツ ペ ネ ヤクン ウエレパク ラヤン ヤッカ ピリカ プ

“a=hokuhu ekot pe ne yakun uerpak ray=an yakka pirka p

「あなたがそれで死ぬなら、私は一緒に死んでもいいと言ったのに

エネ アホクフ ハウエアン。」

ene a=hokuhu hawean.”

あなたはそう言うのね。」

セコロ ハウエアナン コロ アホカムライパ コロ

sekor hawean=an kor a=hoku_ a=muraypa kor

と私は言いながら、夫を抱きしめると、

シヌマ カ コライニウケシ シリ ネ ノイネ イキ ア イケカ

sinuma ka korayniwkes siri ne noyne iki a h_ikeka

彼も（離れることが）できない様子でしたが、

ラムユプコサンパ コント チプ オプトウイエ イネ

ramuyupkosanpa konto cip oputuye h_ine

心を決めて舟を押し、

イオプトウイテクテキネ

i=oputuytektek h_ine

私をちょっと押して、

オラウン チプ オプトウイエ ワ オ ワ サン ワ イサム オラノ

oraun cip oputuye wa o wa san wa isam orano

舟を押しして乗り込んで下りて行ってしまいました。

パラパラカン コロ オロ タ アイヤンケ ウシケ タ

paraparak=an kor oro ta a=i=yanke uske ta

私はわんわん泣きながら、そこで、私が陸にあげられた場所で

チサナ アナ コロ アナン アイネ シリペケレ イ オラ

cis=an a =an a kor an=an ayne sirpeker h_i ora

泣きに泣いていました。そうしているうちに朝になりました。

「エレウシ ウシケ タ アナク

“e=rewsi uske ta anak

「お前が泊まる場所では

エアリ アペ ケシ カ オピッタ ウオロヌパ ワ

e=ari ape kes ka opitta woronupa wa

お前が焚いた火の燃え尻もみんな水をかけて消し、

ア…… アペ アアリ オカケ カ イサム クニ ネ エカラ ペ ネ ナ。」

a... ape a=ari okake ka isam kuni ne e=kar pe ne na.”

火が焚かれた後も無いようにするんだよ。」

セコロ アホク アウエアン ペ ネ コロ アペアリアン ウシケヘ カ

sekor a=hoku h_awean pe ne kor aperi=an uskehe ka

と私の夫が言っていて、私が火を焚いたところも

アウオロヌパ ワ アペ ケシ カ ウサツ カ オピッタ アウオロヌパ オラウン

a=woronupa wa ape kes ka usat ka opitta a=woronupa oraun

水をかけて消して、燃え尻も燠も全部、水をかけて消しました。それから、

ペツ トウラシ アラパアナインネ ソンノカ エネ ハウエアニ ネ アクス

pet turasi arpa=an ayne sonnoka ene hawean h_i ne akusu

川を上って行くと、確かに夫が言っていたとおりで、

ソン…… ヌブ…… ポン ヌプリ リ ヌプリ アン スットモ ウン

son... nup... pon nupuri ri nupuri an suttomo un

小さな山、高い山がある麓に

クンネ アナクシ エウン ト…… スクサナペコロ

kunne an akus eun to... suku an apekor

夜になると、苔があるように

インカラヌシケ ウン ヘメスアニネ アラパアナクシ

inkar=an uske un hemesu=an h_inine arpa=an akus

見えるところに登って行きました。すると、

フシコトイ ワ イナウチパ アロシキ ウシケ エネ アニネ

huskotoy wa inawcipa a=roski uske ene an h_inine

ずっと昔から幣柵がたてられている所がこうしてあり、

イナウチパ フシコノ ロシキ プ カ アシンノ ロシキ プ カ

inawcipa huskono rosiki p ka asinno rosiki p ka

幣柵が、昔にたてたものか、新しくたてたものか

ポロンノ アン ヒネ オラ ソイケヘ レタラ ピオタ ポロ ピタン ネノ

poronno an hine ora soykehe retar piota poro pitar_neno

沢山ありました。外側は白い火山灰が、大きな川原のように

レタラ ピオタ アニ オラ ポル アパ アニ カリ アフンアン マ

retar piota an h_i ora poru apa an h_i kari ahun=an w_a

白い火山灰があり、穴の入口があるところから私が入って

インカラシ ルウェ イランマカカ イヌンペ カ アン アペオイ カ アニネ

inkar=an ruwe irammakaka inunpe ka an apeoy ka an h_inine

見ると、綺麗な炉縁もあり、囲炉裏もありました。

オラウン サツ チクニ カ ポロンノ アン オロワ

oraun sat cikuni ka poronno an orowa

乾いた木もたくさんあり、

シンルシ ウシネ オンナイケ シンルシ ウシ ワ カシ タ ホツケアン ヤツカ

sinrus us h_inine onnayke sinrus us wa kasi ta hotke=an yakka

苔が生えていて、内側には苔が生えていて、その上に寝ころがっても

アエポプケ ノ シンルシ イロンネ シンルシ ヘトウク ワ
a=epopke no sinrus ironne sinrus hetuku wa
 それで暖かく、厚い苔が生えて

アヌシケ タ アナニノラノ パラパラカン。
an uske ta an=an h_ine orano paraparak=an.
 いるところで私は暮らし、わんわん泣いていました。

「アホクフ マク アカラ イネ オラ
“a=hokuhu mak a=kar h_ine ora
 「あなた。どうして、

オカケ タ エウエンシクヌレ^[2] フミ アン？」
okake ta e=wensiknure humi an?
 その後、私はこんなひどい状況で生かされているの？」

セコロ ヤイヌアン コロ パラパラカン コロ オロ タ アナン。
sekor yaynu=an kor paraparak=an kor oro ta an=an.
 と私は思っ、わんわん泣いてそこで暮らしました。

アペアリアン ワ イペルスイアン コロ スケアン マ アエ したり
apeari=an wa iperusuy=an kor suke=an w_a a=e SITARI
 火を焚いてお腹が空くと料理して食べたり

キ コロ アナナイネ イルカ ネ コロ アホニヒ アラカ ワ
ki kor an=an ayne iruka ne kor a=honihi arka wa
 しているうちに、ちょっとしてからお腹が痛くなって

リ まくら アカラ オラノ ヌワプコシキルルアナイネ
ri MAKURA a=kar orano nuwapkosikiruru=an ayne
 高い枕をつくって、陣痛でころげまわっているうちに、

アホクフ アラケ チヤサ アラケ チポンテ ピリカ オッカヨ ヘカチ
a=hokuhu arke ciyasa arke ciponte pirka okkayo hekaci
 夫を半分に裂いて、半分は小さくしたような、夫によく似た男の子を

アヤイココロ アクス ポ ヘネ

a=yaykokor akusu po hene

私は独りで産むと、なおさら

アホクフ ヌカラ コン ヌワパン マ ネ ヤクン

a=hokuhu nukar kor_ nuwap=an w_a ne yakun

私の夫が見ていてくれて出産したのであったら

イコブン…… イエヤイ…… エカ…… エヤイコブンテク^[3] ペ

i=kopun... i=eyay... eka... eyaykopuntek pe

喜んでくれるのに、

エネ シネン ネ マク エイキ クス。

ene sinen ne mak e=iki kusu.

このように、ひとりでどうして。

セコロ ヤイヌアン コロ ウエンノ パラパラカン コロ アナン。

sekor yaynu=an kor wenneo paraparakan kor an=an.

と私は思いながらひどく私は泣いていて、

ネア テ…… テンネブ アヤラペコカリ イネ シサム タ アニネ オラノ

nea te... tennep a=yarpekokari h_ine sisam ta an h_ine orano

その赤ちゃんを布でくるんで、自分の側に赤ちゃんがいて

チシ パテク アキ コロ アナナイネ タネ アタンネタス

cis patek a=ki kor an=an ayne tane a=tannetasu

泣いてばかりいました。そのうちにもはや私の長い息は

イコイニンニンセ パクノ ヨワッタロアン セコン ネ コロ

ikoininninse pakno yowattaro=an sekor_ ne kor

絶え絶えになるまでに弱っているというところで（叙述者が変わる）

ユペツ セコロ アイエ イ ウン クル アネ ヒネ

Yupet sekor a=ye h_i un kur a=ne hine

私は湧別というところの者です。

トゥ イリワケタプ レ イリワケタプ アネ ワ オカアン ペ
 tu irwak h_etap re irwak h_etap a=ne wa oka=an pe

二人兄弟なんだか三人兄弟なんだか、たくさんの姉妹兄弟がいて暮らし、

ポニウネ イケ アネ ヒネ クチャ チセ オッ タ アナナ プ
 poniwne h_ike a=ne hine kuca cise or_ ta an=an a p

私はその末っ子で、それで狩り小屋に私はいたのですが、

ネウン カ メノコ チシ ハウ アヌ ペコロ ヤイヌアン。

neun ka menoko cis haw a=nu pekor yaynu=an.

どこかで女の泣く声が聞こえるように思いました。

ペウタンケ ハウ カ アヌ ペコロ ヤイヌアン ワ

pewtanke haw ka a=nu pekor yaynu=an wa

危急の声も聞こえるようだと思って、

イヨヤモクテアン マ アサパハ シリカ タ アアヌ コロ

ioyamokte=an w_a a=sapaha sirka ta a=anu kor

私は不思議に思って、自分の頭を地面の上につけると

アヌ オラ アエ…… アサパ アエプニ コロ アヌ カ ソモ キ オラノ

a=nu ora ae... a=sapa a=epuni kor a=nu ka somo ki orano

その声が聞こえて、私の頭をあげると聞こえません。

アオヤモクテ クシ コント シピネアニネ エウン ネ ペコロ

a=oyamokte kus konto sipine=an h_ine eun ne pekor

私はそれを不思議に思ったので、身支度をして、そっちのほうに

アヌ イ ウン アラパアナイネ フナク タ アラパアナクシ

a=nu h_i un arpa=an ayne hunak ta arpa=an akus

聞こえる方向へ私は行き、どこかに行くと

ヌプリ スットム トノンスクシ オマ アペコロ インカラアン ウシケヘ

nupuri suttom tononsukus oma apekor inkar=an uskehe

山の麓に昼間の日差しが差しこんでいるように見えるところ

トモ ウンノ アラパアン ルスイ イネ アラパアナクス
tomo unno arpa=an rusuy h_ine arpa=an akusu
 その中へ私は行きたくなって行きました。すると、

フシコトイ ワ イナウチパ カ アン ペ ネ アン
huskotoy wa inawcipa ka an pe ne an
 昔からの幣柵もあるところがあり、

アシンノ カ アロシキ イナウ ポロンノ アン イネ
asinno ka a=roski inaw poronno an h_ine
 新しく立てた幣もたくさんあって、

ポル アパ アニケ カリ アフナニネ インカラン、
poru apa an h_ike kari ahun=an h_ine inkar=an,
 洞窟の入口があるほうへ入って行くと、

アペ アアリ オカケ カ アニノラ アペ サム タ
ape a=ari okake ka an h_ine ora ape sam ta
 火が焚かれた後もあって、火の側で

リチ ヌイヌイエ (?) ペコロ メノコ サマ タ ポン イワタラプ アン カネ
rici nuynuye(?) pekor menoko sama ta pon iwatarap an kane
 筋を描いたように（骨と皮ばかりになって (?)）、女の脇に小さな生まれたばかりの赤ちゃんが

シラニネ オラン ポエ…… ポオン ヘセヘセ タク マク……
siran h_ine oran poe... poon hesehese tak mak...
 いるようで、とても小さく息を吐いて、

タシマクタシマク コロ アン ウシケ タ アフナニネ オラノ
tasmaktasmak kor an uske ta ahun=an h_ine orano
 虫の息のようになっているところに私は入って行きました。

ラマッタキコロ アサナサンケ。
ramattak ikor a=sanasanke.
 魂を呼ぶちっちな刀を前に出して、

「ネイ ワ エク メノコ ネ ルウエ ネ アッカ

“ney wa ek menoko ne ruwe ne y_akka

「どこから来た女でも

カムイ チャシ コロ ポル ネ ルウエ ネ ヤクン

kamuy casi kor poru ne ruwe ne yakun

神の城の穴なので

カムイ オカ ウシ タ メノコ ネ イサム カネ

kamuy oka usi ta menoko ne isam kane

神がいるところで女として死に、

ヌワプ カ キ ワ ライ ヤクン カムイ カ エチャッケ プ

nuwap ka ki wa ray yakun kamuy ka ecatke p

出産して死ねば、神も汚がるもの

アイヌ オロ タ ライ ヤクン アイヌ フラ コカララセ プ ネ ルウエ ネ ナ。

aynu oro ta ray yakun aynu hura kokararse p ne ruwe ne na.

人間がここで死ねば、ここは人間の匂いがまとわりつきますよ。

ネウン ポカ タアン メノコ シクヌレ ワ イコレ ヤン。

neun poka taan menoko siknure wa i=kore yan.

どうかこの女を生き延びさせてくださいな。

ネプ カムイエ エワク シロロケ ネ ルウエ ネ ヤッカ

nep kamuye ewak sirorke ne ruwe ne yakka

どんな神が鎮座するところでも

タン メノコ ア…… シクヌ ヤクン モトホ エネ アニ カ

tan menoko a... siknu yakun motoho ene an h_i ka

この女が生き延びれば、その素性がどうなのかも

アヌ ヤクン ネノ アコイカラ ワ カムイ カ アコヤヤッタサ

a=nu yakun neno a=koykar wa kamuy ka a=koyayattasa

私は聞き、そのように私がして、神にも私が返礼

クシ ネ ナ。」

kus ne na.”

致しますから。」

セコロ ハウエアナン コロ ソイ ワ アサン アウ ワ アサン

sekor hawean=an kor soy wa as=an aw wa as=an

と私は言いながら、外に立ったり、中に立ったりして、

ラマッタキコロ アコロ オラノ イノンノイタカン、カムイオロイタカン。

ramattak ikor a=kor orano inonnoitak=an, kamuy'oritak=an.

魂を呼ぶちっちな刀を持って祈り言葉を捧げ、神へ祈りました。

ネア メノコ ウセイ アカラ ワ

nea menoko usey a=kar wa

その女に白湯をつくって、

パロ アオツテ アイネ ヘセ ウシケ アエパ イネ

paro a=otte ayne hese uske a=epa h_ine

飲ませて、そうして息をふきかえさせ、

イコセマ…… シクマカカ アクシ シッケシ コンナ コプユイアツキ

ikosema... sikmakaka akus sikkes konna kopuyuy'atki

目が開くと、目が涙でくもっています。

「マク エイキ イネ オロ タ ヘネ エアン ペ エネ ルウエ アン？」

“mak e=iki h_ine oro ta hene e=an pe e=ne ruwe an?”

「あなたは どうして、こんなところにいるのですか。」

セコロ アコウエペケンヌ アクシ

sekor a=kowepekennu akus

と私が尋ねると、

「タップネ タプネ アホク ハウエアン コロ

“tapne tapne a=hoku hawean kor

「こうこうこのように夫は言い、

エカン ペ アネ ア プ オラ エネ ヌワパン ワ ホッ…… オッカヨ ヘカチ
ek=an pe a=ne a p ora ene nuwap=an wa hot... okkayo hekaci
 私はやって来たのですが、このように私は出産して男の子を

アヤイココロ コロカ エネ チサナイネ エネ イキアナ イ カ
a=yaykokor korka ene cis=an ayne ene iki=an a h_i ka
 一人で産んだのですが、こうして泣いているうちに、私は何をしているかも

アオイラオイラ コロ アナナワ ネユン ニシパ イパ シリ
a=oyraoyra kor an=an awa ney un nispa i=pa siri
 忘れていましたが、どこかの旦那様が私を見つけてくれて、

エネ アン ヒ アン。」
ene an hi an.”
 いまこのようにいます。」

セコロ アン コロ チシ クシ
sekor an kor cis kus
 と言いながら泣いているので、

「イテキ ネノ ハウエアン ノ、ネノ エハウエアン ソモ キ ノ
“iteki neno hawean no, neno e=hawean somo ki no
 「決してそのままじゃべらず、

ホクレ イペ ワ トウマシヌ。アエトゥラ ヤクネ
hokure ipe wa tumasnu. a=e=tura yakne
 はやく食事をして力をつけなさい。一緒に行ったら、

エホク エネ アカン ルウェ カ アヌカラ。
e=hoku ene a=kar_ ruwe ka a=nukar.
 あなたの夫がどうされているかも見に行きましょう。

アラパアン ヤクネ アパカシヌ パクシ ネ ナ
arpa=an yakne a=pakasnu pa kus ne na
 行ったら、僕が（兄たちを）罰しますから。

トゥマシヌ、ホクレ イペ イペ。

tumasnu, hokure ipe ipe.

元気になるのです。さあさあお食べなさい。

エホク エヌカン ルスイ ア ヤクン (?) ホクレ イペ イペ。」

e=hoku e=nukar_ rusuy a yakun(?) hokure ipe ipe.”

夫に会いたかったら (?), はやくどんどんお食べなさい。」

セコロ アイェ コロ サヨ カ アカラ ワ アエレ アエレ。

sekor a=ye kor sayo ka a=kar wa a=ere a=ere.

と言って、重湯も作ってどんどん食べさせ

オハウ カ アカラ ワ アイペレ クシ アエハウコイキ アクシ イペ オラノ

ohaw ka a=kar wa a=ipere kus a=ehawkoyki akus ipe orano

お汁も作って食べるように強く言いつけると、女は食べて

カシ アウイエ ヒネ ヘンパクト ヘタップ オロ タ トウラノ アナナイネ

kasi a=h_uye hine hompok to hetap oro ta turano an=an ayne

私は彼女の看病をして、幾日だろうか、そこで一緒に過ごした後、

カリ エキ アコピシ イネ オラノ コント

kari ek h_i a=kopisi h_ine orano konto

どこを通過して来たのか女に私は尋ねて、それから

ネ ポンペ アカイ ワ ネ メノコ アトゥラ ヒネ ペッペサナイネ

ne ponpe a=kay wa ne menoko a=tura hine petpes=an ayne

赤ん坊を私が背負い、その女と一緒に川を下り、

オロ タ レウシ ウシケ タ カ パイエアン ワ アペアリアン マ

oro ta rewsu uske ta ka paye=an wa aperi=an w_a

休憩所にも私達は行き、火を焚いて、

ヌワプ オウシ ネ プ ネ クシ アプカシ カ コヤイクシ ペ ネ クス

nuwap ous ne p ne kus apkas ka koyaykus pe ne kusu

産後すぐなので、歩くのも難しかったので、

ルツ…… リトウルオレウシアニネ オラウン エアシリ スイ アトゥラ ワ
rut... ritur'orewsi=an h_ine oraun easir suy a=tura wa
 途中で休憩して、そうしてやっとまた私達と一緒に

ペッペサナイ…… アナイネ ホシキ ウニヒ ネ ヤク イェ プ
petpes=an ay... =an ayne hoski unihi ne yak ye p
 川を下り、以前女の家であったというところに

アコシレパ。スプヤ カ イサム。
a=kosirepa. supuya ka isam.
 私達は到着しました。煙は上がっていません。

オラ シウト ウタリ ウニ ウン パテク
ora siwto utari uni un patek
 旦那の両親の家には

スプヤ アッ ヒネ パイエアン ワ ウニ タ アフパン アクシ
supuya at hine paye=an wa uni ta ahup=an akus
 煙があがっていて、私達は行ってその家に入ると、

ネ ホクフ ネ アアン ペ アペ エコホピ ホクシネ ライ ワ アン。
ne hokuhu ne aan pe ape ekohopi hokus h_ine ray wa an.
 夫であった人は囲炉裏に背を向けて倒れて死んでいました。

ルラ ワ オスルパ ワ カ ソモ キ ノ アン ペ ネ クニ
rura wa osurpa wa ka somo ki no an pe ne kuni
 (ここから叙述者が妻である女性に代わる) 運んで埋葬することもせずにいるので

パラパラクアン コロ
paraparak=an kor
 私は泣きながら

「アホクフ、サンペポ！」
“a=hokuhu, sampepo!”
 「あなた、あなた！」

セコロ ハウエアナン コロ キ アクス

sekor hawean=an kor ki akusu

と言いながら、泣いていると、

ネア アトゥラ オ…… ア…… ネア オッカヨ

nea a=tura o... a... nea okkayo

私と一緒に来た男が

「エシウトウタリ アン。ヘタ ヘタ。」

“e=siwtoutari an. heta heta.”

「あなたのお姑さんたちがいますよ。はやく、はやく」

セコロ ハウエアナン コロ イシレン ペ ネ クス オロ タ パイエアニネ

sekor hawean kor i=siren pe ne kusu oro ta paye=an h_ine

と言い、私を連れて行くので、そこに私達は行きました。

ネ アシウトウタリ タ パイエアナクス

ne a=siwtoutari ta paye=an akusu

夫の両親のところに行くと、

「アコシマチ カ ネン カ イキ ワ ライ ヘ キ ルウエ アン

“a=kosmaci ka nen ka iki wa ray he ki ruwe an

「嫁さんもどうにかして死んでしまったのか

セコロ ヤイヌアン マ ポ アオカ カ ライ シリ ネ

sekor yaynu=an w_a po aoka ka ray siri ne

と私達は思っていて、なおさら私達も死んだように

ヘムイムイパアン マ チサン コロ オカアナワ

hemuymuypa=an w_a cis=an kor oka=an awa

着物を頭からかぶってふさぎ込み、泣きながら暮らしていたのですが、

アコシマチ シクヌ ルウエ アン。」

a=kosmaci siknu ruwe an.”

貴女は生きていたのですね。」

セコロ ハウエオカ コロ イカ タ ライ ランケ チシ パ
sekor haweoka kor i=ka ta ray ranke cis pa

旦那の両親は口々に言いながら、私の上で死んだかと思うほど泣きくずれています。

アコロ テンネプ カ アン ルウエ ヌカラ パ アクシ
a=kor tennep ka an ruwe nukar pa akus

私に赤ちゃんもいるのを見ると、

ポ ヘネ ウコパラパラク パ コロ
po hene ukoparaparak pa kor

いっそう二人は泣いていて、

コント ネア アトゥラ クル ネア アホク ユプタリ ウン
konto nea a=tura kur nea a=hoku yuputari un

私が連れてきた人が私の夫の兄達のところへ

チョラウキ ヒネ
corawki hine

怒って向かって行き、

「ナニ オロポタ、アロンヌ ヤクン ウエン。」

“nani oropota, a=ronnu yakun wen.”

「すぐに殺すのも良くない。」

セコロ ハウエアン コロ オプ リチ テム リチ トウイパ、オロキツキク ワ
sekor hawean kor op rici tem rici tuypa, orokikkik wa

と言って、首の後ろにある筋と腕の筋を切って、叩きすえました。

「フンナ イリワキ ニシパ ネ コロ エポクパ プ ネ イネ
“hunna irwaki nispa ne kor epokpa p ne h_ine

「誰が、兄弟が長者で憎むものがあるか。」

シネン でも ニシパ ネ せば アエニシテ プ ネ ヒケ
sinen DEMO nispa ne SEBA a=eniste p ne hike

一人でも長者であれば、頼りにされるものだが、

ヘマンタ イリワク エネ ウコウエイサンペコロ ペ ネ ヒネ
hemanta irwak ene ukoweysampekor pe ne hine
 なんと兄弟がこのようにみんな悪い心を持っていて、

エネ エチパカネ クス エネ エチアキヒ エチライケ オラ
ene eci=pakane kusu ene eci=akihi eci=rayke ora
 このようにバカなので、こうして自分達の弟を殺して

エチオスラ ポカ ソモ キ ルウエ エネ アニ アン？」
eci=osura poka somo ki ruwe ene an h_i an?”
 葬ることさえもせずにいるというのか。」

セコロ ハウエアン コロ オロ ニウンテプ オピッタ キツキク パ ワ
sekor hawean kor oro niuntep opitta kikkik pa wa
 と男は言いながら、打ち叩いて追い払い、みんな叩いて

オク リチ テム リチ アトゥイパ パ プ ネ クス
ok rici tem rici a=tuypa pa p ne kusu
 彼らは首の筋と腕の筋も切られたものだから、

ヌワパウ……… ヌワプ ハウエ………
nuwap h_aw...nuwap hawe...
 うめき声を…

(録音中断)

(萱野：よし、はい。ピリカ)

(萱野：よし、はい。pirka)

(萱野：よし、はい。いいよ)

ネノ アキツキク パ ワ アパカシヌ パ プ ネ クス オラ
nenno a=kikkik pa wa a=pakasnu pa p ne kusu ora
 そのように叩かれて、懲らしめられたものだから、そこで

ネア オツカイポ エキネ オンネクル ウタラ オロ タ エキネ
nea okkaypo ek h_inne onnekur utar oro ta ek h_inne
 若者は戻って来て、年寄りたちのところへ行き、

ネア アホクフ アオスラ クニ エトコ アオイキ ワ

nea a=hokuhu a=osura kuni etoko a=oyki wa

私は夫を葬るように準備して、

ソレクス ニシパ オスラ クニ オッカシケ タ アホクフ アオスラ オラ

sorekusu nispa osura kuni okkaske ta a=hokuhu a=osura ora

長者を埋葬するよりもっと立派に私達は夫を葬りました。それから、

ネア オッカイポ エウン アシウト チャチャ エネ ハウエアニ

nea okkaypo eun a=siwto caca ene hawean h_i

私と一緒に来た若者に、私の義理の父はこう言いました。

「アコロ オッカイポ アン クシケライポ アコシマチヒ カ シクヌ ワ

“a=kor okkaypo an kuskeraypo a=kosmacihi ka siknu wa

「若者のお陰でお嫁さんも生き延び、

アコロ ポル カ エヌカラ カ キ ハウエ ネ ヤクン

a=kor poru ka e=nukar ka ki hawe ne yakun

私の洞窟もお前が見たのだということなら

アコロ ポル エコロ ワ タヌシケ タ エアン マ

a=kor poru e=kor wa tan uske ta e=an w_a

私の洞窟はお前のものにして、ここでお前は暮らさない。

パテク アエニシテ アポホ アライケ ワ イサム ルウエ ネ クシ

patek a=eniste a=poho a=rayke wa isam ruwe ne kus

私達が頼りにしていた子どもも殺されてしまったから

タアン メノコ エコロ ワ アコロ ワ オカイ ペ エコロ クシ ネ ナ

taan menoko e=kor wa a=kor wa okay pe e=kor kus ne na

この娘と結婚して、私達の持っているものを持って、

アン ワ イコレ。」

an wa i=kore.”

（このままここに）いてください。」

セコロ ネア アシウト ハウエアン ペ ネ クシ

sekor nea a=siwto hawean pe ne kus

と私の姑たちが言うので、

「オナ カ イリワク カ アコロ ペ ネ クシ アラパアン アウニ タ キ ワ

“ona ka irwak ka a=kor pe ne kus arpa=an a=uni ta ki wa

「僕には父も兄弟もいるので、家に行つて

アオナウタリ ウン カ アイェ アユピヒ エウン カ アイェ ワ

a=onautari un ka a=ye a=yupihi eun ka a=ye wa

両親にも言い、兄達にも言つて、

オラ カ (?) エカン クシ ネ ナ。」

ora ka(?) ek=an kus ne na.”

そうしてから (?) 戻つて来ますから。」

セコロ ネア オッカイポ ハウエアン コロ ウニ ウン アラパ ワ イサム

sekor nea okkaypo hawean kor uni un arpa wa isam

と若者は言う、彼は家に行つてしまった。

トゥッコ レレコ シラン コロ ユピヒ ネ アン クツ

tutko rerko siran kor yupihi ne an kur_

二日三日して、若者の兄であるらしい人と

トゥラノ イコロ シケ キ ワ アラキ ヒネ

turano ikor sike ki wa arki hine

一緒に宝物を背負つて戻つてきて、

『セコン ネ ハウエ ネ ヤクン

“sekor_ ne hawe ne yakun

『そういうことなら

オンネクル カ イヌヌカシキ ハウエ ネ ナ。

onnekur ka inunukaski hawe ne na.

年寄りもかわいそうだから、

ホクレ。モテキ ハウエ ネ ナ。ホクレ アラパ アラパ。』

hokure. moteki hawe ne na. hokure arpa arpa.'

さあ急げ。ちょうどいい話だ。はやく行きなさい。』

セコロ アオナウタリ カ イイエ アユピヒ カ イコラムオシマ ワ

sekor a=onautari ka i=ye a=yupihhi ka i=koram'osma wa

と私の両親たちも言い、私の兄達も同意してくれて、

アユピ^o イトゥラ ワ アラキアン ルウエ ネ。」

a=yupi i=tura wa arki=an ruwe ne."

私は兄と一緒に来たのですよ。」

セコロ ハウエオカ コロ イコロ シケ キ ワ

sekor haweoka kor ikor sike ki wa

などと言いながら宝物を背負って

ネア イパ オッカイポ^o コロ クニ イコロ オナハ ワ アコウサライエ^o ワ

nea i=pa okkaypo kor kuni ikor onaha wa a=kousaraye wa

私を見つけた若者が持つようにと、宝物が父によって二つに分けられて

セ ワ エク ワ トゥラノ ネア アコロ アシウトウタリ オロ タ

se wa ek wa turano nea a=kor a=siwtoutari oro ta

背負って来て、一緒に私の前の夫の両親のところで

オカアン ワ アシウトウタリ カシ アオイキ コロ オカアン オロワ

oka=an wa a=siwtoutari kasi a=oyki kor oka=an orowa

私達は暮らし、前の夫の両親の世話をしていました。

アシウトウタリ ウン エ パ クニ プ ウサ チェクニプ ネ ヤ

a=siwtoutari un e pa kuni p usa cekunip ne ya

前の夫の両親へ食べるもの、食べ物や

ウサ オカイ ペ ポロンノ ウユピコロ ワ エキムネ パ ワ

usa okay pe poronno uyupikor wa ekimne pa wa

いろんなものを沢山、兄弟で山に行って

ユク ヘネ カムイ ヘネ エアウナルラ パ ワ チェプ コイキ パ ラポク タ
 yuk hene kamuy hene eawnarura pa wa cep koyki pa rapok ta
 鹿だの熊だのをとってきて、彼らが魚を捕っている間に、

ニナアン ポロンノ キ ワ ニウカオシマレアン アクス
 nina=an poronno ki wa niukaosmare=an akusu
 私は薪を沢山とって薪をためておくと、

オンネクルウタリ エ プ オカ クス
 onnekur'utari e p oka kusu
 年寄りたちが食べるものは（たくさん）あるので、

「アオナハ エウン アコシマチヒ アトゥラ ルスイ。」
 “a=onaha eun a=kosmacihi a=tura rusuy.”
 「私の父のところへお嫁さんを連れて行きたい」

セコン ネア イユプネ パウエアニネ
 sekor_ nea iyupne p h_awean h_ine
 とその兄が言い、

コント アシヌマ カ アイシレニネ アコロ ポンペ スイ
 konto asinuma ka a=i=siren h_ine a=kor ponpe suy
 私も連れられて、私の赤ちゃんもまた

アホクフ カイ ヒネ フナク ウン アイトゥラ ヒネ
 a=hokuhu kay hine hunak un a=i=tura hine
 私の夫が背負って、どこかに連れられて行き、

ユペツ セコロ アイエ ウシケ タ アイトゥラ ワ
 Yupet sekor a=ye uske ta a=i=tura wa
 湧別という所に連れられて、

ネ アシウトウタリ コタヌ タ シレパアン ワ
 ne a=siwtoutari kotanu ta sirepa=an wa
 私の今の旦那の両親の村に私達は着きました。

ルプネ マツ カ ピリカ イケ アン チャチャ カムイ カ ピリカ イケ アン
 rupne mat ka pirka h_ike an caca kamuy ka pirka h_ike an
 おばさまもおじさまも美しい方々でありました。

イネアプ イエヤイコブンテク パ ワ ハワサカ⁴ アイネ
 ineap i=eyaykopuntek pa wa hawas y_a ka ayne
 なんとまあ、私の事を喜んでくれるかわからないほどで、そのうち

ルプネ マツ ソイネ イネ イサム ペ チシ カン ライ ペ チシカラ
 rupne mat soyne h_ine isam pe cis kar_ray pe ciskar
 おばさまは外へ出て行って、死者哭泣を

イエカラカリネ アテケヘ アニ ワ アフパン
 i=ekarkar h_ine a=tekehe ani wa ahup=an
 してくださり、私の手をとって、私達は家に入り、

オンネクル カ イエランカラブ
 onnekur ka i=erankarap
 そこの年寄りもご挨拶してくださり、

イケムヌ ハウ コカリ コロ
 i=kemnu haw kokari kor
 私を気の毒に思うということをいろいろ述べると、

カムイ レンカイネ アポホ エパ クシ
 kamuy renkayne a=poho e=pa kus
 神の御加護があって、私の息子が貴女を見つけたので、

エシクヌ ハウエ エネ ハワシ カ アン コロ
 e=siknu hawe ene hawas h_i ka an kor
 貴女は生き延びたということを聞いてもいますと

イケウエホムス コロ アシウトホ ウタリ……
 i=kewehomsu kor a=siwtoho utari…
 私を労ってくれて、

ユペトウン アシウトウタリ カ ピリカノ イイエ コロ

Yupet un a=siwtoutari ka pirkano i=ye kor

湧別にいる姑さん達も私をよく言ってくれて、

オロ タ アコトリトリ パ ヒネ オラウン

oro ta a=kotoritori pa hine oraun

そこにしばらく逗留しました。

アホクフ トウラノ ホシツパアン ヒ ワノ アナクネ

a=hokuhu turano hosippa=an hi wano anakne

夫と一緒に（前の夫の両親のところに）帰った時からは、

ホシキ アホクフ カ ピリカ プ ネ ア コロカ

hoski a=hokuhu ka pirka p ne a korka

前の私の夫も素晴らしい人であったけれど、

イヨシ アホクフ カ アリキキ ワ

ios a=hokuhu ka arikiki wa

その後の旦那も働き者で

ネプ アエ ルスイ カ ネパコン ルスイ カ ソモ キ ヒケカ

nep a=e rusuy ka nep a=kor_ rusuy ka somo ki hikeka

何を食べたいとも欲しいとも思わずにいました。それでも

ネイ タ ホシキ アホクフ アオイラ フミ カ イサム ノ

ney ta hoski a=hokuhu a=oyra humi ka isam no

どこでも前の夫を忘れるようなことはなく、

アコロ ポイソン アヌカラ コロ アホクフ ネノ カネ アン ルウエ

a=kor poyson a=nukar kor a=hokuhu neno kane an ruwe

赤ちゃんを見ると夫のようであって、

ポ ヘネ マク アホク アン ヤクン エヤイコプンテク ペ アン

po hene mak a=hoku an yakun eyaykopuntek pe an

なおさら夫が生きていたらどんなに喜ぶだろう

セコロ ヤイヌアン コロ アホクフ アエヤイコシラムスイパ カ
sekor yaynu=an kor a=hokuhu a=eyaykosiramsuypa ka
 と思って、夫のことを考えても

イヨシ アホク エア…… エウン オリパカン ペ ネ クシ
ios a=hoku ea... eun oripak=an pe ne kus
 後の旦那に敬意を払っていました。ですから、

ソモカ ウエン ペ コロ。
somoka wen pe kor.
 まさか悪い人と結婚したということではありません。

イワク コロ ミナ トウラ
iwak kor mina tura
 旦那が山仕事から帰ってくると、私は笑いながら、

エトコ アシ…… アオスケ ワ オカアン ペ ネ クス
etoko as... a=osuke wa oka=an pe ne kusu
 食事の準備をしておりましたし、

イネアプ アリキキ ワ シリキ ヤ カ エラミシカリ プ ネ クシ
ineap arikiki wa sirki ya ka eramiskari p ne kus
 なんと旦那はこれまでに見たこともないほどの働き者でしたので、

ネプ アコン ルスイ カ ネプ アエ ルスイ カ ソモ キ アイネ
nep a=kor_ rusuy ka nep a=e rusuy ka somo ki ayne
 私は何を欲しいとも食べたいとも思わずにいました。そのうちに、

イヨシ アホクフ エウン カ ウコポコロアン。
ios a=hokuhu eun ka ukopokor=an.
 後の旦那とのあいだにも子どもができました。

ホシキ アポ アナク オホンノ ポサカン
hoski a=po an y_ak ohonno posak=an
 前の夫との子どもがいて、長い間、私に子どもがいなくて

シリキラパン ヘ クス ヘ ネ ヤ。

sirkirap=an he kusu he ne ya.

困っていたからでしょうか。

タネ オポクタラ (?) ㊦ コロ エアシリ ホンコロアン ワ

tane opoktara(?)kor easir honkor=an wa

もう（お腹が）突き出て（？）いて、初めて妊娠して、

イヨシ アホクフ コロ パ プ ノカン コロカ

ios a=hokuhu kor pa p nokan korka

後の旦那の子供はまだ小さいけれど、

ホシキ アポ ポロ プ ネ クス アホクフ トウラノ

hoski a=po poro p ne kusu a=hokuhu turano

前の夫の子どもが大きくなったので、旦那と一緒に

ネプ カ カラ パクノ タネ ホシキ アポ ポロ ワ

nep ka kar pakno tane hoski a=po poro wa

何をするまでも、もう前の夫の子どもは大きくなって、

アシウトウタリ だか パイエアン ランケ アラキアン ランケ アイネ

a=siwtoutari DAKA paye=an ranke arki=an ranke ayne

今の旦那の両親たちのところにもいつも私達は行き来していて、

ホシキ アホクフ オナウタリ カ ピリカ オンネレ ア プ…… アオンネレ ワ

hoski a=hokuhu onautari ka pirka onnere a p... a=onnere wa

前の夫の両親も天寿をまっとうさせてやりました。

カシ アオイキ ワ ピリカ オンネ アキレ パ オラ

kasi a=oyki wa pirka onne a=kire pa ora

私が世話をして、天寿をまっとうさせてやって、

アシウトウタリ イサミ タ アナク、

a=siwtoutari isam h_i ta anak,

前の夫の両親は亡くなった時には

ポヌコアナン ペ ネ クス アラパアン カ

ponukoan=an pe ne kusu arpa=an ka

子供たちがたくさんいたので、私達は獲物を獲りに行くことも

エアイカプ ペ ネ クシ アホクフ アラパ ワ

eaykap pe ne kus a=hokuhu arpa wa

できなくなってしまったので、私の旦那が行って、

オナウタリ オカ ヌラッパ ワ エク オラノ

onautari oka nurappa wa ek orano

前の夫の両親の後を供養して来て、

ユプタリ トウラノ ウタシパ パイエ ランケ アラキ ランケ クス

yuputari turano utaspa paye ranke arki ranke kusu

旦那の兄達と一緒に代わる代わる行って来て、いつもそうしていたので

アシウトウタリ アラキ コロ クステライ イヨシ アシウトウタリ カ

a=siwtoutari arki kor kusukeray ios a=siwtoutari ka

姑さん達もやってきてくれたおがで、後の旦那の両親のことも

アヌカン ランケ アイネ アポウタリ カ ルプネ ワ

a=nukar_ ranke ayne a=poutari ka rupne wa

私が面倒を見ていました。そのうちに、私の子ども達も大きくなって

アポウタリ カ カラ ペ アエ ワ

a=poutari ka kar pe a=e wa

子ども達がつくったものを私達は食べて、

オラ ホシキ アポ アナク ネア ポル コロ ペ ネ

ora hoski a=po anak nea poru kor pe ne

前の夫の子どもは例の洞窟の所有者となり、

イヨシ アホクフ ホシキ アホク ワ…… エネ ハウエアニ ネ クシ

ios a=hokuhu hoski a=hoku wa... ene hawean h_i ne kus

後の旦那は、前の夫がそう言っていたので、

ネア ポル ホシキ アポホ コロ ペ ネ、エイノンノイタク ワ
nea poru hoski a=poho kor pe ne, eynonnoitak wa
 その洞窟を前の夫の子どものものとして、それに祈り言葉を捧げました。

アホクフ コロ ペ カ シンナ アン ワ ネア ホシキ アポホ
a=hokuhu kor pe ka sinna an wa nea hoski a=poho
 前の夫の持ち物も別にあるので、旦那は前の夫の子どもに

アホクフ コロ チョイペプ カ オピッタ ポロ アポホ コレ、
a=hokuhu kor coypep ka opitta poro a=poho kore,
 夫の宝器も全て、上の（前の夫の）子どもにやりました。

イヨシ ポホ ヤイカタ コロパ プ コレ。
ios poho yaykata korpa p kore.
 後の旦那の子どもには自分で得た物をやりました。

コレウエン カ ソモ キ ノ イコオマップ ペ ネ クス
korewen ka somo ki no i=koomap pe ne kusu
 旦那はつらくあたることなく私の子どもを可愛がってくれ、

オナ わ ソンノ オナハ ネノ ポロ アポホ
ona WA sonno onaha neno poro a=poho
 本当に父親のように、上の子どもと

ネア イヨシ アポホ アホクフ カ ヌヌケ ワ
nea ios a=poho a=hokuhu ka nunuke wa
 後にできた子どもを私の旦那は大事にして、

エアラキンネ ウトクイエコロ。
earkinne utokuyekor.
 子ども達はとても親しくしています。

ネプ アエ シリキラプ カ ソモ キ ア コロカ
nep a=e sirkirap ka somo ki a korka
 私達は食べ物に困ることもなかったので、

タップネ カネ ネ ワ アホクフ コロ クシ ネ ア ポル も……

tapne kane ne wa a=hokuhu kor kus ne a poru MO...

こうして、旦那が持つはずだった洞窟も

イヨシ エク アホクフ アン クシケライ シクヌアン マ

ios ek a=hokuhu an kuskeray siknu=an w_a

後に来た旦那がいてくれたお陰で、私は生き延び、

アポロ アポホ だけ ク…… イム……

a=poro a=poho DAKE ku... im...

私の上の（前の夫の）子どもだけ

キムシプ コロ ペ ネ ア ルウエ ネ クシ

kimuspu kor pe ne a ruwe ne kus

山の倉を持ったということなので、

イテキイ イヨシ アポウタリ ウコヤイトウナプ ノ アシトマ プ ネ クシ

iteki ios a=poutari ukoyaytunap no a=sitoma p ne kus

後の子ども達は決して羨ましがらずに、恐ろしいことですから、

ウタサロシキアン コロ アシトマ プ ネ ナ。

utasaroski=an kor a=sitoma p ne na.

互いに争うと恐ろしいことになりますから、

イテキイ ウタサロシキ ヤン

iteki utasaroski yan

決して互いに争ってはいけませんよ、

セコロ シノ カツケマツ ハウエアン コロ イサム。

sekor sino katkemat hawean kor isam.

と真の淑女が言って亡くなりました。

（萱野：うん。）

【注】

- [1] korka を kus で言い直しているようだが、前後関係から korka のほうが自然であるように思われる。
- [2] e=wensiknure を直訳すると、「彼はあなたを悪く生かしたの？」となるが、ここは自分に向かって言っていると考え、「(夫は)私をこんなひどい有様で生かしたのか？」と解釈する。
- [3] i=eyaykopuntek と言いたかったところ。
- [4] hawas ya ka a=eramiskari となるところだが、a=eramiskari 「私は～したことがない」を省略したようである。
- [5] opoktara : 不明。

19-6 ウエペケレ「ユペツ イリワク ウコイキ」内容説明

テープ内容紹介

語り手：平目よし

解説：萱野茂

萱野：この uepeker [散文説話] は、アイヌの昔の風習として山で、kimuspu [山の倉] といいまして、倉をつくってそこへ、持ち物を置いておくというような、その、昔の生活の一面、その kimuspu、山の倉の取り合いをして兄弟げんかをし、兄弟が殺し合いをするというような、ことが、この uepeker の筋書きでした。

昭和 44 年 2 月 22 日、平目……エー、平目よしさんがしゃべった uepeker でした。

平目：フッフッ (笑)。

萱野：……録音者、あたくし萱野茂です。

20-2 ウエペケレ

「チナナサパ」

ホッチャリの頭

語り：木村きみ

アウヌフ アン アオナハ アン ヒネ オカアニケ

a=unuhu an a=onaha an hine oka=an h_ike

私は母、父と共に暮らしていました。

アオナハ パクノ ニシパ イサム ニシパ ネ ワ

a=onaha pakno nispa isam nispa ne wa

父ほどの立派な人は他になく

アウヌフ カ パク カツケマツ イサム カツケマツ ネ ワ

a=unuhu ka pak katkemat isam katkemat ne wa

母もこれほど立派な女性はいないといえる人で

ネプ アエ ルスイ カ ネプ アコン ルスイ カ ソモ キ ノ

nep a=e rusuy ka nep a=kor_ rusuy ka somo ki no

何を食べたいとも何が欲しいとも思わない幸せな暮らしぶり

アユピヒ トウラノ オカアン。アオナハ パク イソン クル イサム クル ネ ワ

a=yupihi turano oka=an. a=onaha pak ison kur isam kur ne wa

兄も一緒に暮らしていました。父ほど獵運がある人は他にないといった様子

タネ パロ オクシ ネ パ プ カ チェプ(?)^[1] イエレパ コロ オカアン

tane paro o kus ne pa p ka cep(?) i=erepa kor oka=an

今やもう口に入れるものをたくさん、魚をたくさん私に食べさせてくれて、暮らしていました。

アイネ ルプネアン ヒ オラノ アオナ イエトコイキ ワ アユピヒ トウラノ

ayne rupne=an hi orano a=ona i=etokoyki wa a=yupihi turano

そして私が大きくなると、父が狩りの用意をしてくれて兄と共に

エキムネアン コロ ソンノ ヌウェ コアン ペ チコイキプ ネ コロカ^[2]

ekimne=an kor sonno nuwe koan pe cikoykip ne korka

猟に行き、父は本当に獲物をたくさん仕留めるのだけれど、

アオカ ポ ヘネ ヌウェ アコオカ ワ アオナハ

aoka po hene nuwe a=kooka wa a=onaha

我われがなおいっそう獲物を仕留めるので父は

「アポウタリ トupp ネ ワ アコロ ヤク エネ アエピリカ シリ

“a=poutari tup ne wa a=kor yak ene a=epirka siri

「私のかわいい息子たち2人のおかげでこうして私は裕福になっている

エネ アニ アン」

ene an h_i an”

ことだなあ」

セコロ アオナ ハウエアン コロ イコプンテク ア イコプンテク ア コロ

sekor a=ona hawean kor i=kopuntek a i=kopuntek a kor

と言っては私たちのことをたいそう喜んで

オカアン ペ ネ。イシカラ エムコホ タ オカアン イネ

oka=an pe ne. Iskar emkoho ta oka=an h_inē

いたのです。石狩川の上流に

イシカラ エムコホ…… イシカラ ホントモ タ オカアン ワ

Iskar emkoho... Iskar hontomo ta oka=an wa

石狩川の中ほどに我われは住んでいたのですが

イシカラ エムコホ ワ コン ニシパ ウイマム エサン ランケ コロ ホシピ° ワ

Iskar emkoho wa kor_nispa uymam esan ranke kor hosipi wa

石狩川の奥のほうから、そこの村長が交易のために度々下って来てはその帰りに

アオナハ コシニ ワ ウク…… ウコシリ…… ウコシニパ ワ

a=onaha kosini wa uk... ukosir... ukosinipa wa

私の父のところへ寄って休んでいき、共に仕事を休んで情報交換や

ウコウエペケレ パ ネ ヤ ウエネウサラ コロ パテク オカ
ukouepeker pa ne ya uenewsar kor patek oka
 よもやま話をしてばかりいるということを

ケシ パ アン コロ キ プ ネ ア プ シ…… スイ ウイマム エサン
kes pa an kor ki p ne a p s... suy uymam esan
 毎年続けていました。(ある時) またいつもと同じように交易のため

ネア ニシパ キ ヒネ ホシピ° コロ イオツ タ シニ ヒネ
nea nispa ki hine hosipi kor i=or_ ta sini hine
 その村長が川を下った帰りにうちで休んでいき

オラ アラパ オカケ タ アオナ エネ ハワニ。
ora arpa okake ta a=ona ene hawe an h_i.
 彼が帰ったその後、父がこのようなことを言いました。

「『アコロ ニシパ トウ ポ° カ コロ オラ トウ マツネポ° アコロ ワ
“a=kor nispa tu po ka kor ora tu matnepo a=kor wa
 「『親愛なる旦那様には息子が2人もいて、私には娘が2人います。

ポ°エイコイトウパアン クス アコロ ニシパ イナン ポ°ホ° カ
poeykoytupa=an kusu a=kor nispa inan poho ka
 私は息子が欲しいので、息子さんのどちらかを

エ…… イコレ ヤクネ アコロ ワ オカイ ペ ウオマ クシ ネ ナ』
e... i=kore yakne a=kor wa okay pe uoma kus ne na'
 是非とも私のところに頂きたい。そうすれば私の持っているものが揃います。』

シコロ アコロ ニシパ ハウエアン コロ イワン シサクペ ホツパパ ヘネ
sekor a=kor nispa hawean kor iwan sisakpe hoppapa hene
 と(石狩川の奥の) あの方が言いながら、珍しき宝を6つ置きそうわれた。

キ ワ ネ イワン ペ カ ホツパ プ オラ アコパン カ エアイカプ ワ
ki wa ne iwan pe ka hoppa p ora a=kopan ka eaykap wa
 宝を6つも置いて行かれては断ることもできず、

『アポウタリ イナン クル カ アアラパレ クシ ネ ワ』

‘a=poutari inan kur ka a=arpare kus ne wa’

『息子たちのうちどちらかを行かせることにしましょう。』

シコロ ハウエアナン ルウエ ネ」

sekor hawean=an ruwe ne”

とやってしまったのだ。」

シコロ カネ アオナ ハウエアナン ルウエ ネ アクス

sekor kane a=ona hawean ruwe ne akusu

と父が言うのでした。すると

アユピヒ エネ ハワニ。

a=yupihi ene hawean h_i.

兄はこう言いました。

「ヘマンタ ネ イコロ オカ、イコロ アコロ イケ

“hemanta ne ikor oka, ikor a=kor h_ike

「宝物が何だっているのか。私たちが宝を持っていても

イリワク ネ アコレヘ キ? ヘマンタ ネ プ アサケ キ。

irwak ne a=kor h_e ki? hemanta ne p a=sak h_e ki.

それが兄弟（の代わりに）なるのですか? いったい私たちに何が足りないというのですか。

アオナハ サケ キ プ ネ イネ ヘマンタ ネ プ オカ」

a=onaha sak h_e ki p ne h_ine hemanta ne p oka”

父さんに足りないものは、何だというのですか」

シコロ アユピ ハワン コロ アオナハ コパシロタ

sekor a=yupi hawean kor a=onaha kopasrota

と言いながら兄が父を責めたり

ヤイコシラムスイエ ヘム キ。アオナハ エランポキウエン イ クス

yaykosiramseye hem ki. a=onaha erampokiwen h_i kusu

一人で考え込んだりもしています。私は父のことがかわいそうになり

「アラパアン ヤッカ ピリカ」

“arpa=an yakka pirka”

「私が行ってもいいですよ。」

シコロ ハウエアナン ルウェ ネ アクス オラ

sekor hawean=an ruwe ne akusu ora

と言いました。

「アアキ アラパ アッカ ピリカ クナク キ ハウエ ネ ヤクン

“a=aki arpa y_akka pirka kunak ki hawe ne yakun

「弟が行っても良いと言うのだったら、

アシク…… アルラ クシ ネ ワ。」

asik... a=rura kus ne wa.”

私が送って行きましょう。」

シコロ アオナ…… アユピ° ハワン コロ サケ ネ プ ウエウンノ オカ

sekor a=ona... a=yupi hawean kor sake ne p ueunno oka

そのように兄が言い、酒の材料もたくさん

アウヌフ カリネ オラ ア…… アセ ヒネ アウヌフ

a=unuhu kar h_ine ora a... a=se hine a=unuhu

母が用意して私がそれらを背負い、母に、

ウサ ハルフ アセ クニ プ カラ イネ オラウン

usa haruhu a=se kuni p kar h_ine oraun

いろいろな食糧も背負えるものを母に作ってもらい、そして

アユピ°ヒ トウラノ スイ アサ…… アセ ヒネ パイエアン

a=yupihituranosui a=sa... a=se hine paye=an

兄と共にそれらを背負って

ネ イシカラ エムコ タ キ ルウェ ネ インネ コタン ポロ コタン アニネ

ne Iskar emko ta ki ruwe ne inne kotan poro kotan an h_ine

石狩川の奥の方に向かって行きました。すると大きな村があり、

コタン ソイ タ コツ…… トウラシアン^[3] イネ コタン ノシキ タ
 kotan soy ta kot...turasi=an h_ine kotan noski ta
 村の外側を村に沿って進んで行くとその中心に

モシリ パク チセ アン イネ ソイケ タ
 mosir pak cise an h_ine soyke ta
 島ほどもあるような大きい家がありました。外から

シムシシカアン パ ルウェ ネ アクス ピリカ オケレ ポロ スクプ メノコ
 simusiska=an pa ruwe ne akusu pirka okere poro sukup menoko
 我々の存在を知らせると、美しい大人の女性が

ソイネ イネ イヌカリネ オラ アフン イネ エア……
 soyne h_ine i=nukar h_ine ora ahun h_ine ea...
 出てきて我々を見るとまた中にもどり

「ネ イシカラ ホントモ コロ オツカイポ ウタラ アラキ ルウェ ネ。」
 “ne Iskar hontomo kor okkaypo utar arki ruwe ne.”
 「石狩の中ほどの村の息子さんたちがきていますよ。」

シコロ カネ ハウエアン ハウエ アシ ルウェ ネ アクス オラ
 sekor kane hawean hawe as ruwe ne akusu ora
 という声がします。すると

「ソアヌ ムンヌパ イネ イアフプテ クス イェ」
 “soanu munnupa h_ine i=ahupte kusu ye”
 「莫藪を敷いて、掃除をして、入ってもらおうよう言いなさい。」(と言う声が奥から聞こえて)

シヌ カネ レイエ カネ ワ アフパン アクシ アン ワ (?)
 sinu kane reye kane wa ahup=an akus an wa(?)
 我われは、ずるように這うように(礼節をわきまえ)家に入りました。

ネア コタン コン ニシパ アナク アアムキリ ペ ネ クス
 nea kotan kor_ nispa anak a=amkir pe ne kusu
 その村長は顔見知りなので

イエランカラプ アエランカラプ ルウェ ネ ワ オラン
 i=erankarap a=erankarap ruwe ne wa oran
 挨拶をお互いに交わし、それから

アオン…… アユピ° エネ ハワニ。
 a=on... a=yupi ene hawean h_i.
 兄がこのように言いました。

「アアキヒ アコン ニシパ ココウ ネ アコレ クシ ネ
 “a=akihi a=kor_ nispa kokow ne a=kore kus ne
 「弟をあなたの娘婿にさし上げます。

ルウェ ネ クス ウ……サク アニ…… サケスパアン クニ
 ruwe ne kusu u... sak ani... sakesupa=an kuni
 なので酒を作れるよう

ス ネ ヤッカ シントコ ネ ヤッカ イエルサ ア ヤクネ
 su ne yakka sintoko ne yakka i=erusa a yakne
 鍋やシントコをお貸し頂ければ

サケカラン ワ コタン コン ニシパ ウタン ネ ヤッカ
 sakekar=an wa kotan kor_ nispa utar_ ne yakka
 私たちが酒を醸してこちらの村の方々も

アシラム…… ラムキレ^[4] クシ ネ クス。」
 a=siram... ramkire kus ne kusu.”
 ご案内致します。」

セコロ アユピ° ハウエアン イネ ルウェ ネ アクシ ポロ ス ネ ヤ
 sekor a=yupi hawean h_ine ruwe ne akus poro su ne ya
 と兄が言うと大きな鍋や

シントコ ネ ヤ ネア チセ コン ニシパ サンケ ヒネ
 sintoko ne ya nea cise kor_ nispa sanke hine
 シントコなどを村長は出してきた

アユピヒ コレ ルウエ ネ。ウンン……

a=yupihi kore ruwe ne. unn...

兄に預けました。

オラノ アユピヒ イシムネ サケ スパ ワ サケ カラ アイネ

orano a=yupihi isimne sake supa wa sake kar ayne

そうして兄は次の日に酒を煮て醸し

トウツコ レレコ ネ ア コロ サケ ピリカ ルウエ ネ

tutko rerko ne a kor sake pirka ruwe ne

2、3日するといい酒になりました。

アクシ オラウン エネ アユピ ハワニ。

akus oraun ene a=yupi hawean h_i.

そこで兄はこう言いました。

「コタン コロ ウタラ ヘカッタン ネ ヤッカ オンネ ウタラ パイエ……

“kotan kor utar hekattar_ ne yakka onne utar paye...

「村長、村の人たちは子どもであろうが年を取り

アプカシ エアイカプ パ プ カ オピッタ

apkas eaykap pa p ka opitta

歩けない人たちであろうが誰だろうが全員

アコン ニシパ タク ワ……ヤク ピリカ。」

a=kor_ nispa tak wa... yak pirka.”

旦那様ならば呼んでいただいてもかまいませんよ。」

シコロ アユピヒ ハワン ルウエ ネ アクス ソンノ ポカ インネ ウタラ

sekor a=yupihi hawean ruwe ne akusu sonno poka inne utar

そう言ったので本当に沢山の人が

ウエカラパ ソレ ウンン…… アプカシ カ エアイカプ ノ オカ

uekarpa sore unn... apkas ka eaykap no oka

集まりました。歩けない

オンネ ウタラ カ アカイ ワ カ アラキ パ ヒネ

onne utar ka a=kay wa ka arki pa hine

老人たちもおぶってもらって来て

ネ サケ アク ルウェ ネ エンカシケ^{5]} タ アユピヒ エネ ハワニ。

ne sake a=ku ruwe ne enkasike ta a=yupihi ene hawean h_i.

その酒が飲まれた上で、兄がこう言いました。

「タプネ イシカラ ホントモ ワ アアキ ココウ ネ エク ルウェ ネ クス

“tapne Iskar hontomo wa a=aki kokow ne ek ruwe ne kusu

「このように石狩の中程の村より弟が婿となるために参りました。

アコン ニシパ ウタラ イシラムキレ ワ アユ…… アアキヒ

a=kor_ nispa utar i=siramkire wa a=yu... a=akihi

どうかこの村の方々にはこの土地のことを教えていただき、私の弟を

ピリカノ エヤム パ ワ イコレ プ イコロパレ パ ヤク ピリカ。」

pirkano eyam pa wa i=kore p i=korporare pa yak pirka.”

大事にしていなければと存じ上げます。」

シコロ アユピ ハウエアン コロ オンネ ウタン ネ ヤッカ オピッタ

sekor a=yupi hawean kor onne utar_ ne yakka opitta

と兄は言いながら年よりたちにもみんなに

イクレ ヤイテクナタ^[6] イクレ ワ ア ソ…… イネ オラウン

ikure yayteknata ikure wa a so... h_ine oraun

酒を振る舞い、兄が自ら酌してまわり、そして

ウエコホッパ オカケ タ ソンノ カ イサネ イケ

uekohoppa okake ta sonno ka i=sane h_ike

皆が帰った後、やはり姉のほうは

イポカシ ワ イマタクネ イケ ピリカ ポン メノコ ネ イネ

ipokas wa imatakne h_ike pirka pon menoko ne h_ine

醜くかったのですが、妹のほうは美しい娘で（それで妹と結婚し）

こんど アウニヒ ネ ヤッカ コタン コロ ウタラ オピッタ

KONDO a=unihi ne yakka kotan kor utar opitta

それから、私の家を作るにも村中の人たちがみんな

ウエカラパ ヒネ アウニ アカラ アウニヒ ウンン…… アカラ イネ

uekarpa hine a=uni a=kar a=unihi unn... a=kar h_ine

集まって建ててくれて、そして

オロ タ ネア コタン コン ニシパ ピリカ コロ ペ ネ プヤラ カリ

oro ta nea kotan kor_ nispa pirka kor pe ne puyar kari

そこに村長が窓からよい品物を窓から出すものは（窓から）

ソヨ ヒケ ソヨ アパ カリ ソヨ ヒケ ソヨ イネ チセ オンナイ

soyo hike soyo apa kari soyo hike soyo h_ine cise onnay

外に出し、戸から出すものは（戸から）外に出して、そうして私の新しい家の中を

アエトムテ カ アン ルウェ ネ イネ オラノ…… オラ アユピ

a=etomte ka an ruwe ne h_ine orano... ora a=yupi

それらの物で飾り、そして兄は

イホッパ ヒネ サン ワ イサム オラノ アナン パク イソン クル

i=hoppa hine san wa isam orano an=an pak ison kur

自分の村へと帰って行き、私は残ったのです。私ほどの狩りの名手は

イサム クル アネ プ ネ クス オナ ウワッテ ン…… ポ ロシキ(?)

isam kur a=ne p ne kusu ona uwatte n... po rosiki(?)

いないのでその父が増えた子を立てて (?)

オラノ アユピヒ

orano a=yupihi

それから兄は、

「ネア ポン メノコ オナウタリ アラソケ タ プイネ アン ヤク ウエン。」

“nea pon menoko onautari arsoke ta puyne an yak wen.”

「あの若い娘が父親たちの炉の向かいに一人でいるのはよくない。」

シコロ ハウエアン コロ ヤイラムレ オッカイポ エト…… エトウン ヒネ
sekor hawean kor yairamre okkaypo etu... etun hine
 と言って、身寄りのない一人ぼっちの若者を（姉婿に）もらって

ネア アマチヒ オナウタリ アラソケ タ ウイルテ(?)^[7] イネ オラウン
nea a=macihi onautari arsoke ta uyrute(?) h_ine oraun
 その妻の父親（義父）たちの炉向かいにいさせることにしました。

アユピヒ サン ワ イサム オカケ タ オカアン ルウェ ネ。
a=yupihi san wa isam okake ta oka=an ruwe ne.
 兄が帰ってしまった後はそのように過ごしていたのです。

オラノ ナ ウアツチェ ウン…… ユク ネ チキ カムイ ネ チキ
orano na uatce un... yuk ne ciki kamuy ne ciki
 そして、それぞれの家に鹿や熊を獲っては

アルラ コロ アナン セコロ ネ コロ
a=rura kor an=an sekor ne kor
 運んでいたのですが

コント ネア ンン…… イユプネ クル イソイタク
konto nea nn... iyupne kur isoytak
 さて今度はその兄の方が話します。

アアキ アン イネ オカアン。ネア アアキ トウラノ
a=aki an h_ine oka=an. nea a=aki turano
 私には弟がいました。弟とは

ネウン パイエアン ヤッカ ウトゥラアン カネ オカアン ワ
neun paye=an yakka utura=an kane oka=an wa
 どこへ行くのも一緒でした。

アアキヒ カ ソレク(ス) パク イソン クル イサム クン ネ。
a=akihi ka soreku(su) pak ison kur isam kur_ ne.
 弟ほどの狩りが上手な男は他にはいないのですが

アシヌマ カ パク イソン クル イサム クル アネ ヒネ オカアニケ
 asinuma ka pak ison kur isam kur a=ne hine oka=an h_ike
 私もまた他に比べる者がいないと言える狩りの名手でした。

アコロ イシカラ エムコ コロ ニシパ ウイマム エサン コロ
 a=kor Iskar emko kor nispa uymam esan kor
 我らの石狩川の奥のほうを治める村長は交易する為に川を下ると

オラ ホシピ° コロ アオナハ コレウシ ワ トリ カネ ウエネウサラ コロ
 ora hosipi kor a=onaha korewsi wa tori kane uenewsar kor
 その帰りには父のところに寄って泊まって行ってはいろいろな話をする

パテク オカイ ペ ネ プ、シネアニネ ンン…… スイ
 patek okay pe ne p, sineanine nn... suy
 ということばかりをしていたのですが、あるときに、また

ウイマム エエク ル…… オロワ ホシピ° ルウェ ネ ヤク イェ コロ シニ ワ
 uymam eek ru... orowa hosipi ruwe ne yak ye kor sini wa
 交易に来た帰りだといいいながら休んで

アオナ トウラ ウコトリ ヒネ オカ ルウェ アヌカラ コロ
 a=ona tura ukotori hine oka ruwe a=nukar kor
 父と一緒に泊まっている様子を私たちは見ながら

エキムネアン イネ イワカン パ ルウェ ネ アクス
 ekimne=an h_ine iwak=an pa ruwe ne akusu
 山猟に行っただけです。私たちが山から帰ってくると

アオナ エネ ハウエアニ。
 a=ona ene hawean h_i.
 父はこのようにことを言いました。

「『アコン ニシパ、アポウタリ ヒナアン ヒケカ
 “a=kor_ nispa, a=poutari hinaan hikeka
 「『親愛なる旦那様、あなたの息子さんのうち、どちらかを

アコン ルスイ ルウェ ネ』

a=kor_ rusuy ruwe ne'

私どものところにいたきたいのです。』

セコロ カネ ハウエアン ヒ クス。」

sekor kane hawean hi kusu.”

と石狩川の奥の村長に言われたので」と。それで

「ヘマンタ ネ アオナハ サケ キ プ ネ イネ ヘマンタ ネ シサク ペ オカ。」

“hemanta ne a=onaha sak h_e ki p ne h_ine hemanta ne sisak pe oka.”

「なんだって父さんが足りないものが、なぜ珍しき宝なのですか。」

シコロ ハウエアナン コロ イルシカアン マ アオナ アナクネ

sekor hawean=an kor iruska=an w_a a=ona anakne

と言って私は怒ったのですが、父は

アコホッパ プ ネ クス コパン カ エアイカプ イネ ルウェ ネ アク (ス)

a=kohoppa p ne kusu kopan ka eaykap h_ine ruwe ne aku(su)

珍しい宝を置いていかれて断ることもできなかったのでした。すると

アアキヒ アラパ クナク イェ ヒ クス アルラ ヒネ

a=akihi arpa kunak ye hi kusu a=rura hine

弟が行くと言ったので私が送って行き

サケ ネ プ ウエウン マ アカリネ トウラノ アアキ アルラ イネ

sake ne p ueun w_a a=kar h_ine turano a=aki a=rura h_ine

酒になるものを一式つくって一緒に弟を送って行き

サケカラン イネ オンネ ウタン ネ ヤッカ アカイ カ…… アカイ ワ

sakekar=an h_ine onne utar_ ne yakka a=kay ka... a=kay wa

そこで酒を作りました。村の年寄りも背負ってもらい

アラキ プ カ オピッタ アン。ネア ニシパ オロ タ アルラ ヒネ

arki p ka opitta an. nea nispa oro ta a=rura hine

来る人もみんな（沢山）いました。その村長のところに私は弟を送っていき

エア…… イクアン ヒネ オラウン イシムネ イク オカ アン イネ オラ
 ea... iku=an hine oraun isimne iku oka an h_ine ora
 宴を催し、宴が終わった次の日には、

イシムネ ネア コタン コロ ウタラ イカスイ パ イネ
 isimne nea kotan kor utar i=kasuy pa h_ine
 翌日にはその村の人たちが手伝ってくれて

アコタン コン ニシパ ウニヒ シソケ ワ ピリカ チセ アカラ イネ
 a=kotan kor_ nispa unihi sisoke wa pirka cise a=kar h_ine
 村長の家の右横に立派な家を建て

オロ タ コタン コン ニシパ ウニヒ オ プ、オ プ ピリカ ウシケ
 oro ta kotan kor_ nispa unihi o p, o p pirka uske
 そこに村長の家にあった物の中で良い物を

ムイエ ア…… プヤラ カリ ア……[8]
 muye a... puyar kari a...
 束にして、(あるものは)窓から(外に出し)

マカン オカイ ペ アパ カリ ソヨ アイネ
 makan okay pe apa kari soyo ayne
 あるものは戸口から外へ出して

ウニ アトムテ イネ オロ タ アアキヒ シネ アンチカラ
 uni a=tomte h_ine oro ta a=akihi sine ancikar
 新居をそれらで飾りました。その新居で弟と共に一晩

アコレウシ シリ ネ オラ サナン オラノ ミシムアン コロ
 a=korewsi siri ne ora san=an orano mismu=an kor
 泊まり私は川を下ってきたのです。そして寂しさを感じながら

エキムネアン コロ アアキヒ トウラ ウトウラアン カネ ワ
 ekimne=an kor a=akihi tura utura=an kane wa
 山獵に出たのです。以前は弟と一緒に

イラマンテアン ペ ネ ア プ、ア…… シネン アネ プ ネ クス
 iramante=an pe ne a p, a... sinen a=ne p ne kusu
 狩りをしていたものが、今は一人ぼっちなのを

ミシムアン コロ イキ ア プ、シネ オヌマン イペアン イネ
 mismu=an kor iki a p, sine onuman ipe=an h_inē
 寂しく思いながら猟をしました。ある日の夕方、晩飯を、

オラ アロヌマン スケアン マ イペアン ヒネ
 ora aronuman suke=an w_a ipe=an hine
 宵の口の食事を作って食べたあと

オラ アシンル オツ タ アラパアン イネ ホロカ ノ アナン ヒネ エ……
 ora asinru or_ ta arpa=an h_inē horka no an=an hine e...
 用足しに外の厠に出て、そして（小屋の方向とは）逆向きにおいて、

アシンル オツ タ アナン ワ アナン。ヘマンタ シウシワツキ コロ
 asinru or_ ta an=an wa an=an. hemanta siwsiwatki kor
 厠に私はいたのですが、どこかで何かシューシューという、風のうなりのような音が

オキムネ サン ウミ アシ クシ インカラン
 okimune san h_umi as kus inkar=an
 山の方から下ってくるのが聞こえたので見てみると

ホマツ チュプ イポロ アン ペ ネ クシ インカラン イネ
 homar_ cup iporo an pe ne kus inkar=an h_inē
 おぼろ月夜なので、よく見ていると

アナナクス ヘマンタ オウセ ホプニ ヒネ チセ ソイ タ サン ヒネ
 an=an akusu hemanta ouse hopuni hine cise soy ta san hine
 その得体の知れないものが空中に飛び上がり狩り小屋の外まで下ってきて

「アコロ ニシパ、エイコモイレ ヤク エアキ ソモ エヌカン ナ」
 “a=kor nispa, e=ikomoyre yak e=aki somo e=nukar_ na”
 「旦那さん、遅れを取っては、あんたの弟に二度と会えないことになるよ。」

シコロ カネ ハウエアン ク…… クス

sekor kane hawean ku... kusu

と言います。そして

「オウセ ホプニアン ペ ネ クシ

“ouse hopuni=an pe ne kus

「離れて空中に飛び上がるので、あんたは、

イチョロポッケ エエホユプ ヤク ピリカ ナ」

i=corpokke e=ehoyupu yak pirka na”

私の下を走ればいい。」

シコロ ハウエアン コロ チセソイ ウン ヘマンタ トウルセ フミ アシ クス

sekor hawean kor cisesoy un hemanta turse humi as kusu

と得体のしれないものが言いながら、小屋の外で何か落ちた音がしたので

アフナン イネ エ…… ホッケアン パクノ イウオロ オツ タ ネプ ネ クシ

ahun=an h_ine e... hotke=an pakno iwor or_ ta nep ne kus

私は小屋の中に入りました。床につくまでは、山中の狩場ではなんであれ

ソモ シピタアン ノ アナン アイネ ホッケアン クシ ネ コロ

somo sipita=an no an=an ayne hotke=an kus ne kor

着物は解かずにいました。そして、寝るときは

シピタアン ペ ネ ア プ、シピネアニ ネノ アナン ペ ネ コロ

sipita=an pe ne a p, sipine=an h_i neno an=an pe ne kor

着物を脱ぐものですが（その時は）着物を着たままでいたのです。

アアヨピ アウク ワ クワ アウク テク ヒネ オラ ソイネアン アクシ スイ

a=ayopi a=uk wa kuwa a=uk tek hine ora soyne=an akus suy

矢筒をとり、杖をさっとつかみ外へ出るとまた

ネアプ オウセ ホプニ ヒネ オラノ ペツ トウラシ アラパ チョロポッケ

neap ouse hopuni hine orano pet turasi arpa corpokke

あの得体の知れないものが空中に飛び上がり、川なりに上流へと進んで行きます。その下を

アエホユプ ヒネ アラパアン アイネ ネア コタン オッ タ パク
a=ehoyupu hine arpa=an ayne nea kotan or_ ta pak
 私も走り、ついにあの(弟のいる)村まで

アラパアン ルウェ ネ アクス コタン コン…… コン ニシパ ウニ ウン
arpa=an ruwe ne akusu kotan kor_... kor_ nispa uni un
 行きました。すると村長の家は

アペ ニペク マクナタラ ヒネ オラ アアキヒ ウニ ウン
ape nipek maknatara hine ora a=akihi uni un
 火の明かりがこうこうとしているのに、弟の家には

アペ ニペク カ イサム ノ シラン ルウェ ネ アクシ ネア ホプ……
ape nipek ka isam no siran ruwe ne akus nea hop...
 明かりが灯っている様子もありません。そして

オウセ ホプニ ワ アラパ プ ロルン プヤラ カリ
ouse hopuni wa arpa p rorun puyar kari
 空中を飛んできたものは、神窓より

アフン シンネ ノイネ シラン。イラマンテ クス
ahun sinne noyne siran. iramante kusu
 中に入った様子でした。狩りに行っているためか

チセ オカリ アプカサン ヒケカ アペ ニペク カ イサム クス
cise okari apkas=an hikeka ape nipek ka isam kusu
 家の周りを歩いても、火の明かりもないので

ロロ ペカ アプンノ エカニネ コタン コン ニシパ ウニ タ
ror peka apunno ek=an h_ine kotan kor_ nispa uni ta
 家の上座側にそっとまわり村長の家を

イ…… イプヤロポセレアン ルウェ ネ ア プ
i... ipuyaroposere=an ruwe ne a p
 窓からのぞいてみると

ネア アアキ マチヒ ンヤ…… オハラキソウン ソ ウサコロ ヒネ
 nea a=aki macihi nnya... oharkisoun so usakor hine
 弟の嫁が左座にその姉と揃って

ロク ヒネ オカ イネ オラ ネア ア…… ココウ ネ ヒケ
 rok hine oka h_inine ora nea a... kokow ne hike
 座っています。そしてその姉の婿にあたる人が

アペエトク タ アン イネ イペ パクシ ネ
 apeetok ta an h_inine ipe pa kus ne
 上座にいて、皆で食事をする様子なのですが

ルウェ ネ アクス
 ruwe ne akusu
 すると（姉婿は）

「アアキヒ、カムイ アアキ マク キ ヒネ イワク ルウェ カ イサム イネ
 “a=akihi, kamuy a=aki mak ki hine iwak ruwe ka isam h_inine
 「我が弟、神のように立派な弟はどうして帰ってこないのだ。」

オラ エネ エア…… アコロ カツケマツ
 ora ene ea... a=kor katkemat
 妻よ

イネ アン ルウェ エネ アン イ アン？」
 ine an ruwe ene an h_i an?”
 これはいったいどういうことなのだ？」

ア…… シコロ ハウエアン コロ アコ…… アコイプニ イケカ
 a... sekor hawean kor a=ko... a=koypuni h_ikeka
 そう言いながら食事を供されても

イペ カ ソモ キ。
 ipe ka somo ki.
 手も付けません。

「カムイ アアキ ソモ イワク ヒネ アン アワ アシヌマ アナク

“kamuy a=aki somo iwak hine an awa asinuma anak

「大切な弟が帰って来ていないのならば、私は

ソモ イペアン ペ ネ。アン クシケライポ オ……

somo ipe=an pe ne. an kuskeraypo o...

食事を摂りません。弟がいてはじめて

シリキラプ サク ノ イペ コロ アン ペ アネ

sirkirap sak no ipe kor an pe a=ne

私達は心配事もなく食事ができるというものです。

エネ カムイ アアキ イワク クシ イサム ワ マク キ ヒネ

ene kamuy a=aki iwak kus isam wa mak ki hine

このように大切な弟が帰ってくるはずなのにまだ戻らず

エネ ポン メノコ アン ルウェ ネ ヤッカ アシヌマ アナクネ

ene pon menoko an ruwe ne yakka asinuma anakne

何故か妹が来ているが、私は

カムイ アアキ イワク パクノ ソモ イペアン ペ ネ」

kamuy a=aki iwak pakno somo ipe=an pe ne”

彼が帰るまでは食事を摂りません。」

シコロ ハウエアン コロ イペ カ ソモ キ クシ オラノ エウミナレ パ。

sekor hawean kor ipe ka somo ki kus orano ewminare pa.

そう言って食事に手をつけないので、その言葉に他の者たちは笑いだしました。

「マカナク アニ エネポ エアシリ アココウエヘ カムイ アキ イ……

“makanak ani enepo easir a=kokowehe kamuy aki i...

「どうして、そんなにも婿さんである素晴らしい弟のこと

パテク イエ ハウエ エネ アン？」

patek ye hawe ene an?”

ばかり言っているのだ？」

シコロ ネア チセ コロ オンネ クル ハウエアン ハウエ アヌ テク コロ
 sekor nea cise kor onne kur hawean hawe a=nu tek kor
 と家の主人（義父）が言ったのを聞いてすぐ

アウオシマアン イネ
 awosma=an h₁ine
 私は家の中に飛び込み

「ヒンタ エイエ パ ハウ ネ ヤ ネ ヤ？」
 “hinta e=ye pa haw ne ya ne ya?”
 「お前は何を言っているんだ？」

シコロ ハウエアナン コロ ネア アアキ マチヒ サパ ウシ ペ
 sekor hawean=an kor nea a=aki macihi sapa us pe
 と言いながら私は弟の嫁の髪を

アテッコノイエ ヒネ アシエキマテッカ ルウエ ネ アクス
 a=tekkonoye hine a=siekimatekka ruwe ne akusu
 手に巻き付けて脅したところ（弟の嫁はこう言いました。）

「『アココウエ アナクシ オラノ アアスルフ カ イサム ノ
 “a=kokowe an akus orano a=asuruhu ka isam no
 「『私の娘婿がいるばかりに私の評判は立たずに、

アアキ アスル パ…… アココウエ アスル パテク アン ルウエ ネ クス
 a=aki asuru pa... a=kokowe asuru patek an ruwe ne kusu
 私の娘婿の評判ばかり立っているので

アライケ ヤク ピリカ ピリカ。』
 a=rayke yak pirka pirka.’
 あいつを殺してやろう。』

シコロ アオナ イエ ワ オラノ アコパン ヤッカ
 sekor a=ona ye wa orano a=kopan yakka
 と父はいいます。私が嫌がっても

『ソモ エライケ ヤクン ホシキ アエライケ プ ネ』

'somo e=rayke yakun hoski a=e=rayke p ne'

『お前がそいつを殺さないのなら、俺がまずお前を殺してやる。』

シコロ アオナ イイエ コロ ケシト アン コロ キ。アヘコテ ニシパ

sekor a=ona i=ye kor kesto an kor ki. a=hekote nispa

と毎日父に言われました。あの人が

エキムネ ワ イサム コロ オラノ キ ワ エ……

ekimne wa isam kor orano ki wa e…

山へ狩りに出かけていなくなったら

『アコロ オツカイポ アニ イラマンテ スルク アニ エエレ ヤク

'a=kor okkaypo ani iramante surku ani e=ere yak

『わが息子(婿)が猟で使う毒で(毒を盛って)お前が食べさせればいい

ピリカ ピリカ。』

pirka pirka.'

そうしろ。』

シコロ イイエ ヒ クス コント アエ…… エネ エイタサ アオナ イエ ワクス

sekor i=ye hi kusu konto ae… ene eytasa a=ona ye wakusu

と父が言うので、あまりにもしつこく言うので

ウ…… オヌマン スケアン ヒ タ スルク アオマレ ヒネ

u… onuman suke=an hi ta surku a=omare hine

夕方、食事を作ったときに毒を盛っておいて

アアヌ イネ イワク キ クル シンキ コロ イワク ペ ネ クス……

a=anu h_inewak ki kur sinki kor iwak pe ne kusu…

仕事帰りの人は疲れて帰ってくるものだから

ア イ ナニ アコイプニ アク

a h_i nani a=koypuni y_ak

座ったらすぐに食事を盛って差し出すと

『ヒンタ クシ ソモ エイペ?』

‘**hinta kus somo e=ipe?**’

『どうしてお前は食べないのだ。』

シコロ ハウエアン クシ

sekor hawean kus

とあの人が言うので

『ホ…… イペルスイアン ヒ クシ ホシキ イペアン ルウエ ネ。』

‘**ho... iperusuy=an hi kus hoski ipe=an ruwe ne.**’

『お腹が空いていたので先に食べてしまったのです。』

シコロ ハウエアナン イネ アイペレ ア プ

sekor hawean=an h_in e a=ipere a p

と言って、あの人に食べさせたのです。するとすぐに

ナニ ナ イタンキ オハレ ホントモ タ

nani na itanki ohare hontomo ta

まだお椀の中身を平らげないうちから

『アオッシケ アラカ』

‘**a=ossike arka**’

『腹が痛い。』

シコロ ハウエアン コロ ナニ ライ ヒネ ホクシ ルウエ ネ ヒ クス

sekor hawean kor nani ray hine hokus ruwe ne hi kusu

と言いながら、すぐにこと切れて倒れました。なので

アエホッケイ オソロケセ タ アニンパニンパ ヒネ アヌイナ

a=ehotkey osorkese ta a=ninpaninpa hine a=nuyna

私の寝床の足元の端のほうに引きずって行って隠し

オラ エカン ルウエ ネ ア プ、

ora ek=an ruwe ne a p,

そして戻って来たのですが、

エネ エ…… アココウエヘ

ene e... a=kokowehe

このように私の婿を

『カムイ アアキ、カムイ アアキ。』

‘kamuy a=aki, kamuy a=aki.’

『大切な弟よ、神のように立派な弟よ。』

シコロ ハウエアン コロ アン イネ

sekor hawean kor an h_in

と姉婿が言っていて

カムイ パク ペ ネ クス ネ ハウエ ネ。」

kamuy pak pe ne kusu ne hawe ne.”

神のように立派な人であったんでしょうね。」

シコロ カネ ネア アアキ マチヒ ハウエアン クシ

sekor kane nea a=aki macihi hawean kus

と私の弟の嫁が言ったので

アトイコキッキク テク ヒネ オラノ ソイ タ ソイエネアン イネ

a=toykokikkik tek hine orano soy ta soyene=an h_in

私はめちやくちやに殴りつけました。それから私は外に出て

コタン エピッタ コタン ケスン コタン パ ウン ウ……

kotan epitta kotan kes un kotan pa un u...

村中、村の下手の端から上手の端まで

ホトゥイパアン コロ アアキ オロ タ エカン。ネア オツカイポ

hotuypa=an kor a=aki oro ta ek=an. nea okkaypo

叫び声を上げながら、弟のところに来ました。あの若者(姉婿)も

エキネ アペ リキプニ イネ ナニ エホツケイ オソロケシ タ

ek h_in ape rikipuni h_in nani ehotkey osorkes ta

来て火を高く掲げて、すぐに妹の寝床の足元の方へ

アラパアン アクシ アアキヒ オアン ライ シリ

arpa=an akus a=akihi oar_ ray siri

行くと弟が全くもって死んでいる様子なのを

アニンパ ア アニンパ ヒネ アニネ

a=ninpa a a=ninpa hine an h_in

私は引きずって、

エホッケイ オソロケセ タ キ ヒ クス チセ ウン アペサム タ

ehotkey osorkese ta ki hi kusu cise un apesam ta

妹の寝床の足元のところにいたので、家の中の囲炉裏の側に

アサ…… アサンケ ルウェ ネ アクス

a=sa... a=sanke ruwe ne akusu

引きずり出し

オンネ ウタラ ウエカラパ ルウェ ネ アクス

onne utar uekarpa ruwe ne akusu

村の年寄りたちが集まって来ると

「ウレチャヤヤ ソモ キ プ アナクネ ネウン アカラ ヤッカ ソモ

“urecayaya somo ki p anakne neun a=kar yakka somo

「足の指が開いてない者はどうやっても

シクヌ プ ネ オラウンノ ウレユププ ウレユププ

siknu p ne oraunno ureyupupu ureyupupu

助からない。足の指が丸まってしまっていては

ソ…… ソモ シクヌ プ ネ。ウレチャヤヤ ワ アン ワ アン……

so... somo siknu p ne. urecayaya wa an wa an...

助かる見込みがないのだ。指がまだ開いている

アン ペ アナクネ ネア…… ネウン ポカ シクヌ プ ネ クス

an pe anakne nea... neun poka siknu p ne kusu

者は何とか助かるものだ。

ウレチャヤヤ アコロ オツカイポ キ ワ アン クシ
 urecayaya a=kor okkaypo ki wa an kus

それでこの若者は指が開いているから、

ネウン ポカ アカラ ヤクネ シクヌ ルウエ ネ。」
 neun poka a=kar yakne siknu ruwe ne.”

どうにか看病すれば助かるぞ。」

シコロ オンネ ウタラ ハウオカ コロ オラノ
 sekor onne utar hawoka kor orano

と年寄りたちが話しています。それから、老人たちは

スルクトノマツ ネ ヤ オラウン…… ア……
 surkutonomat ne ya oraun... a...

毒（トリカブト）の女神なんかも、そうして……

スルクトノマツ トモイタク エウシ(?) パ ワ オラノ カムイオロイタク
 surkutonomat tomoytak eus(?) pa wa orano kamuy'oroytak

毒（トリカブト）の女神をなだめる言葉もそえ、そして神々に対する言葉を

ス ワ…… ソイ ワ ロシキ、アウ ワ ロシキ パ ヒネ カムイオロイタク
 su wa... soy wa rosiki, aw wa rosiki pa hine kamuy'oroytak

外で上げ、家の中でも上げて祈りました。年寄りたちが神々に対する言葉を述べ

アイネ アアキヒ ヘセ トウリリ(?)^[9] ルウエ ネ ヒネ オラ ウン……
 ayne a=akihi hese turiri(?) ruwe ne hine ora un...

そうすると弟が息を吹き返し

ラン(?)^[10] ウセイ ポ アカラ イネ パロ アオツテ クシ
 ran(?) usey po a=kar h_inē paro a=otte kus

年寄りたちは湯冷ましをつくって弟に飲ませるのに

オ(?) ケシト イキ ルウエ ネ クシ オラ コント アラパアン イネ
 o(?) kesto iki ruwe ne kus ora konto arpa=an h_inē

毎日来ていたので私が行って

ネア オンネ ウタラ カ ソレクス ケイキリチ……

nea onne utar ka sorekusu keykirici...

その年寄りたち（村長一家）も脚の裏の腱を……

アニサプXXX(?) カ ルシカ クシ アルシカ クシ ケイキリチ アトウイパ

a=nisapXXX(?) ka ruska kus a=ruska kus keykirici a=tuypa

すぐに(?) するのも腹立たしいので、怒って脚の裏の腱を切ってやったのです。

ネア メノコ アアキヒ マチヒ ネ ヤッカ オピッタ ネノ アカラ イネ

nea menoko a=akihi macihi ne yakka opitta neno a=kar h_in

あの女、弟の嫁も皆そのようにしてやったのです。

オラ コント オッ アカリネ コタ…… アコタヌ タ ネア アアキ

ora konto ot a=kar h_in kota... a=kotanu ta nea a=aki

そこで私は棺を作って、そして自分たちの村へ弟を

アサンケ ワ オラノ アオナ ソレクス アコパシロタ

a=sanke wa orano a=ona sorekusu a=kopasrota

連れて帰りました。私は父に対し罵り、

「ヘマンタ ネプ コン ルスイ クシ

“hemanta nep kor_rusuy kus

「一体何が欲しいからといって

ナアニ アアキ ソモ アヌカラ ルウエ エネ アン」

naani a=aki somo a=nukar ruwe ene an”

もう少しで弟に会えなくなるどころだったのですよ」

シコロ ハウエアナン コロ アアク……

sekor hawean=an kor a=ak...

と言って

アオナ アコパシロタ ルウエ ネ アクシ オラノ

a=ona a=kopasrota ruwe ne akus orano

私は父をとがめ罵りました。すると

「ソモ エネ アン ペ アコラムヌ プ

“somo ene an pe a=koramunu p

「まさかそのようなことを企むような

アコン ニシパ ネ アワ エネ ネ イ アン。」

a=kor_nispa ne awa ene ne h_i an.”

旦那様とは思わなかったが、こんなことになるとは。」

シコロ カネ ハウエアン アウヌ アオナ ネ ヤッカ キ コロ キ ヒネ

sekor kane hawean a=unu a=ona ne yakka ki kor ki hine

と私の母も父も、そんなことを言っていました。

レウシオカアナク アカラ イネ

rewsioka=an y_ak a=kar h_ine

我われは一晩泊まって夜が明けると私達が看病して

アアキ アシクヌレ ルウエ ネ イネ オラ

a=aki a=siknure ruwe ne h_ine ora

弟を生き返らせることができたので、

コント ネア イ…… イルラ ウタラ オピッタ ホシッパ。

konto nea i... i=rura utar opitta hosippa.

あの私を送ってきてくれた人たちは全員帰りました。

ネア ウエンクル オッカイポ アナッカ

nea wenkur okkaypo an y_akka

あの貧しい若者（姉婿）がいましたが

「イテキ ホシピ ノ アアキヒ カシ フィエ ヤク ピリカ」

“iteki hosipi no a=akihi kasi huye yak pirka”

「帰らないで弟の看病をすればいい。」

シコロ アイエ コロ アン ルウエ ネ オラノ イキ アイネ

sekor a=ye kor an ruwe ne orano iki ayne

と言ってやりました。そうして

アアキヒ トウサ クニ アエパレ ルウエ ネ オラノ オカアン ノ オラノ
a=akihi tusa kuni a=epare ruwe ne orano oka=an no orano
 弟を快復させて私たちは暮らしている

ソ…… オラノ ポ アナクネ アアキ アエヤム ペ ネ クス…… コロ
so... orano po anakne a=aki a=eyam pe ne kusu... kor
 なおいっそう弟のことを大事にしながら

オカアン アイネ すっかり (?) アアキヒ ピリカ イ オラ
oka=an ayne SUKKARI(?) a=akihi pirka h_i ora
 私たちは過ごしました。そうして、すっかり弟がよくなると

シンナ チセ アカラ イネ ネア オッカイポ トウラノ オロ タ
sinna cise a=kar h_ine nea okkaypo turano oro ta
 別の家を建てて、その若者と一緒に弟をそこに

アアヌ ルウエ ネ。アオナハ ピリカ コロ ペ プヤラ カリ アパ カリ
a=anu ruwe ne. a=onaha pirka kor pe puyar kari apa kari
 住まわせました。父が持っている良い物を窓からも戸口からも

ソイ アオ ワ ネア アアキ ウニ アエシクテ イネ オラ ピリカ メノコ
soy a=o wa nea a=aki uni a=esikte h_ine ora pirka menoko
 外に運びだし弟の家をそれらの物でいっぱいにしました。そして美しい女性を

アエトゥン ワ アアキ アコレ。アシヌマ カ ヤイラメコテアン コント
a=etun wa a=aki a=kore. asinuma ka yayramekote=an konto
 私はもらって弟と結婚させました。私も結婚して

ネア ウェンクル オッカイポ ネ ヤッカ アオナハ アイ シロシヒ イ……
nea wenkur okkaypo ne yakka a=onaha ay sirosihi i...
 あの貧しい若者も父の矢に刻む家系印に

エイノンノイタク ワ^[11]…… ネア シンナ チセ アカリネ
eynonnoitak wa... nea sinna cise a=kar h_ine
 祈りを捧げて、別の家を建ててやり

オロ タ ピリカ メノコ アエウタンネレ オラノ ネア オツカイポ ネ ヤッカ
oro ta pirka menoko a=ewtannere orano nea okkaypo ne yakka
 そこで美しい女性と一緒にさせました。その若者もまた、これほど狩りの上手な者は

パク イソンクル イサム クン ネ ワ アシヌマ ネ ヤッカ
pak isonkur isam kur_ ne wa asinuma ne yakka
 いないと言えるような男です。

ヤイラメコテアン ワ アオナウタリ アエプンキネ
yayramekote=an wa a=onautari a=epunkine
 私も結婚して、父たちを守り

アアキヒ ネ ヤッカ キ オラ アナン ヒケカ アシヌマ アツカリ ネ ヤ
a=akihi ne yakka ki ora an=an hikeka asinuma akkari ne ya
 弟も父たちを守り、私は暮らしていましたが、私以上に弟が

「ウエンクル オツカイポ パテク アアキヒ
“wenkur okkaypo patek a=akihi
 「貧しい若者だけが、まるで私の弟

イリワク ネ コロ シンネ ペコロ イキ コロ アン クシケライポ
irwak ne kor sinne pekor iki kor an kuskeraypo
 兄弟であるかのようにしてくれたおかげで

シクヌアン ペ、アコロ オツカイポ ケウトウム ピリカ クシケライポ
siknu=an pe, a=kor okkaypo kewtum pirka kuskeraypo
 私は生き延びた。若者の心根がよかったので

シクヌアン ルウェ ネ」
siknu=an ruwe ne”
 私は助かったのだ。」

シコロ ハウエアン コロ オラノ キ オラウン
sekor hawean kor orano ki oraun
 と言います。

ネア アコロ イシカラ エムコ ウン アウ…… ウタラ ソレクス
nea a=kor Iskar emko un a=u... utar sorekusu

同じ石狩川の奥のほうに私の仲間が

オカ クシケライポ オンネ ウタラ オカ クシケライポ アアキ
oka kuskeraypo onne utar oka kuskeraypo a=aki

いたおかげで、年寄りたちがいたおかげで、私の弟は

シクヌ プ ネ クス カシ アオシケ ワ パイエアン。
siknu p ne kusu kasi a=osike wa paye=an.

助かったので、私たちはそこへ土産の荷物をたくさん背負い、通いました。

イコイトウパ パ オンネ ウタラ キ プ アイェ ワ
ikoytupa pa onne utar ki p a=ye wa

老人たちが暮らしに不自由していると言うので

ウタラ カシ アオシケ ワ パイエアン。シネ チュプ タ
utar kasi a=osike wa paye=an. sine cup ta

その人たちに土産を背負って行きます。ひと月に

アラスイ ネ カ トウ スイ カ パイエアン ランケ コロ オカアニ
arsuy ne ka tu suy ka paye=an ranke kor oka=an h_i

一度か二度の割合で私たちは通っていました。

オラ サケ アコロ コロ イコシネウパ プ アサケコロパ コロ アン、
ora sake a=kor kor i=kosinewpa p a=sakekorpa kor an,

私たちは酒宴を開くと、私のところに遊びに来ている人たちに酒を持たせ

パイェアン ロク コン ラポッケヘ エ…… ネ ロク
paye=an rok kor_ rapokkehe e... ne rok

私も何度も通ったのでした。そのうちに、あの

ケイキリチ アトウイパ パ プ エア…… フムコ ヘレレセ パ ヤ カ
keykirici a=tuyppa pa p ea... humko hererse pa ya ka

私が脚の腫を切った人たちが咳をしているのか

ライ カ エランペウテク ノ オカイ ペ ネ ヤク アイエ イ
 ray ka erampewtek no okay pe ne yak a=ye h_i
 死んでいるのか分からないでいるということを入づてに

アヌ コロ ウコパヨカアン。
 a=nu kor ukopayoka=an.
 聞きつつ、私たちはお互い行き来するようになりました。

アコン ニシパ ウタラ オロ ワノ イコパヨカ
 a=kor_ nispa utar oro wano i=kopayoka
 村長たちのところから私のところに訪ねて来ます。

「トウイマ ヤッカ ニシパエニシテアン」
 “tuyma yakka nispaeniste=an”
 「遠くても、貴方のことを頼りにしています。」

セコロ ハウエオカ コロ イコパヨカ コロ オカアン ロク アイネ
 sekor haweoka kor i=kopayoka kor oka=an rok ayne
 と言いながら、私のところを何度も訪ねてくるのです。そして

アシヌマ カ ポシレシッテアン^[12]、アアキ カ ポシレシッテ
 asinuma ka posiresitte=an, a=aki ka posiresitte
 私もたくさんの子どものに恵まれ、弟にも子どもがたくさんでき、

ネア ウェンクル オッカイポ カ ポシレシッテ
 nea wenkur okkaypo ka posiresitte
 あの貧しかった若者も子宝に恵まれました。

アス…… メノコ アパ サク ノ オカイ ペ アネ ア コロカ
 asu... menoko apa sak no okay pe a=ne a korka
 私には女の親戚がないものでしたが

ネア ウェンクル オッカイポ クス ウ…… イリワク ネ アコロ ワ
 nea wenkur okkaypo kusu u... irwak ne a=kor wa
 その貧しい若者を兄弟としてもらい

レ イリワク ネ オカアン ワ シアスラシテアン コロ

re irwak ne oka=an wa siasuraste=an kor

3人兄弟として私たちは暮らし、私たちにはたいそうな評判が立って

オカアン ソレクシ ペッ エピッタ アスル アシ レン アネ ワ キ コロ

oka=an sorekus pet epitta asuru as ren a=ne wa ki kor

いました。それこそ、この川筋中に知れ渡る評判の3人兄弟と

オカアン。ラポッケ アウヌウタリ イコヨマップ パ ワ アオナ ウアツチェ タ

oka=an. rapokke a=unuutari ikoyomap pa wa a=ona uatce ta

なったのです。母親たちは我われの子どもたちをかわいがり、父はそれぞれの家に

パイェ ワ ウコ…… ウコ…… ウエライ…… ライニンネ^[13] パ コロ

paye wa uko... uko... ueray... rayninne pa kor

行ってみんなで苦労して、

キ アイネ アオナウタリ アピリカオンネレ パ

ki ayne a=onautari a=pirkaonnere pa

そうして父親たちに幸福な晩年を送らせました。

オカケ タ オカアン ワ

okake ta oka=an wa

両親が亡くなったあとも私たちは（変わらずに）暮らし

アポウタリ タネ ルプネ ワ ヤイラメコッパ シリ カ

a=poutari tane rupne wa yayramekoppa siri ka

私の子どもたちがもう成人して、それぞれ結婚して生活している様子も

アヌカラ。アマッネポウタリ アポウタリ キ コロ タネ オンネアン シリ

a=nukar. a=matnepoutari a=poutari ki kor tane onne=an siri

見ています。娘たちや息子たちのそういった様子を見つつ、今はもう私も年を取って

エネ アン イ ネ クス ネプ ネ ヤッカ アコチャヌプコロ ワ

ene an h_i ne kusu nep ne yakka a=kocanupkor wa

このようなことでなので、何であっても私が聞いて為になっているもの（教訓）を

オカアン ペ ネ プ アポ ウタリ ピリカ ヌ。ネウン ライ…… ライ ペ カ
oka=an pe ne p a=po utari pirka nu. neun ray... ray pe ka
 息子たちよ、よく聞きなさい。死んだものも、

ウレユププ プ アナク アカラ ニウケシ ペ ネ。
ureyupupu p anak a=kar niwkes pe ne.
 足の指が縮こまり丸まっているものはどうすることもできない。

オラ ウレチャヤヤ プ アナクネ アシクヌレ エアシカイ ペ ネ
ora urecayaya p anakne a=siknure easkay pe ne
 一方、指が開いているものは命をとりとめることができるものだ。

シコロ アコロ ペツ エムコ コロ オンネ ウタラ ハウエオカ クシケライポ
sekor a=kor pet emko kor onne utar haweoka kuskeraypo
 ということはこの川筋の奥のほうにある村の年寄りたちが教えてくれたおかげで

アアキ アシクヌレ プ ネ プ アポウタリ アエパシクマ
a=aki a=siknure p ne p a=poutari a=epaskuma
 私の弟を助けることができたのだ。息子たちよ、そのことを話しておくぞ。

シコロ シノ ニシパ ハウエアン コロ……[14]
sekor sino nispa hawean kor...
 と本当に立派な男が言いながら(年をとって亡くなりました)。

【注】

- [1] paro o kus ne pa p ka cep は不明。o に人称接辞がなく、kus ne pa p という言い方ができるのかという点も問題になるところである。
- [2] sonno nuwe koan pe cikoykip ne korka : 文字通りの意味としては「父がとてもたくさん獲ったものが獲物だけれど」。
- [3] kot... は、kotan を言いかけたような音である。ここでは kotanturasi 「村に沿って進む」と解釈した。
- [4] siramkire の言いさし。
- [5] ここの enkasike の用法は不明である。
- [6] yayteknata で「自ら」という意味。
- [7] uyru に -te がついて「～を～に位置させる、～を～にいさせる」というような意味

であろうか。ただし、そうなると前の ta「～に」という助詞が不要になるので、要検討である。同じ意味・機能をもつ動詞として、uyruke という動詞がある。

[8] unihi o p pirka uske muye makan okay pe puyar kari soyo と言うところだったので、省略されている。

[9] はっきりとは聞こえないが、文脈上 turi か turiri である可能性がある。

[10] pan usey 「ぬるま湯」であろうか。

[11] ay sirosi eynonnoytak 「矢の祖印に祈る」というのは、その若者を父親が自分の家系の一員として迎え入れることを意味する。

[12] 語源としては po-sir-e-sikte 「子ども・あたり・で・一杯にする」だが、木村きみさんは posiresitte と発音する。

[13] uerayninne の言いさし。

[14] 録音が途中で切れているが onne などが来るところであろうと思われる。

20-3 ウエペケレ「チナナサパ」解説

語り手：木村きみ
聞き手・解説：萱野茂

萱野：わたくしは二人兄弟で、何不自由なく仲良く生活をしておったアイヌでございました。何不自由なく生活をしておった二人兄弟でありました。父の友達が、**uymam** [交易] と言ってこう、山の方へ行ったりいや……海の方に行って、いろいろな宝物を交換して帰るとか、行きながらよく寄って休む人だった。

ある時に、まだその父の友人が寄って、たくさんの宝物を置いて、「自分は子供がなくて、子供欲しいので、あんたの息子一人、頼むから養子に出来ないか」とそう言って、どっさり宝物を置いていった。父は日頃仲良しをしておった人からの申し入れなので断り切れずに、自分の一番仲良しの弟をやることにした。弟を連れて送って行って、どっさり酒をつくり、そして、村中の人達を呼んで、弟がこの村の仲間入りをするから、どうぞよろしくとゆうふうにして置いて帰ってきたと。

そうして、何か月か経ったある日、**kimun** と言って、山へ猟に行つて、そしてこれいま喋っているのは兄なんです、山へ行って、**kucacise** という狩小屋に行っていると、そしてまあ、ちょっとした月明かり、星明りのときなので、外へ出て便所へ行っておった。そうすると向こうのほうから何かその、目には見えないけれども飛んできて、そして声を出して言うのには、

木村：声だすより、**cinana sapa motot otura(?) hine puyar kari ahun h_ine an h_ine...** [ホッチャリの頭が背骨をつけて (?) 窓から入って来ていて…]

萱野：あーなるほど。

木村：**omotone(?) cinana sapa** [もとになっている (?) ホッチャリの頭]

萱野：ちゃんと座って言うてくれてかまわないよ。いいからなんでもないので、そのまま座って。

木村：cinana sapa konto inaw a=kore wa a=hopunire, an kuskeraypo
i=koasurani a=akihi a=siknure p ne kus [ホッチャリの頭にイナウを
あげて神の国へ送った。そのおかげで危急の知らせをもらい、弟を私が
生き返らせたから] って。

萱野：あーなるほどなるほど。cinana ちゅったらなんだこれは。

木村：秋味の motot [鮭の背骨]、sapaha [頭]、ホッチャリの sapaha [頭]。

萱野：あーなるほどね、それがどう言う訳でそういうふうにしてまた

木村：asurkor [知らせをもって] してさ。

萱野：あーなるほどね

木村：kamuy [神] だから。

萱野：その何やらが飛んで来て言うのには、「お前がいま急いで行かないとその弟が死んでしまうよ。」と、そのように言ったので、もう外へ出て、便所におったんだけど、飛び出して、すぐに猟の生活であるだけに、すぐまかないほども [着ているものを脱ぐ] という事もしていないので、手に持った杖ぐらい手に持って、すぐにその何やら目には見えないのだけれども、神様か化け物かわからないけれども、そのあとついて走った。

そして、弟の村へ一足飛びに飛んでみると、弟の別居するのに家を建てたその家には、人のおる気配もなく、その隣の舅の家だけに明々と火が灯っておると。様子を伺ってもさっぱりわかんない。黙って聞いたら中でその話をしておる様子では、弟の、なんか不吉なことがあった様子なので、家の中へ飛び込んで、その弟の妻であったものの髪の毛を手に巻きつけて、「お前どうしたんだ」と聞いたら、舅じいさんが、婿さんが来てから自分の名前がさっぱりなくて、婿さんばかりが有名になったから「お前殺せ殺せ」と言うので、たったさっき夕飯に、その食べ物に surku [トリカブト] といって毒を入れたんだと。クマ獲り用の毒を入れた。

で、山から帰ってきてすぐにそれを食べて死んだから、そこへ引きずって、家の隅へ置いてきたと言うんで、すぐその弟のそこへ、家のそこ

へ飛び込んで行って、その弟を引きずり出してみると、もう死んで、完全にみたい死んでいると。で、もう村中の人たちに、大声で呼んだので大勢の人たちが集まって来て、みな年寄り達が見たらその **ureyupupu** と言うのは、この足の指をすっかり、**ureyupupu** ったら、こう指かい？ 足の指だな。

木村：そうだ。足こうしっかり [すっかり]

萱野：足の指が、こう丸まされたような感じになっていけば、これはどうしてもその、もう生きないもんだと。けれども、この **urecyaya** と言って、足の指なんかはまだこう広がっている感じであれば、生きる見込みあると。それを見たら、これは生きる見込みがあると言うんで、村の人達みんな集まって手当をしたと。こういうところも細かく言うておるんですけども、まあ **surku** を飲ましたというその毒、日本語ではこれはトリカブトとかオオトリカブトと言うんですが、アイヌ語でその **surku** というその **surku** の神様にも、みなが呼びかけて、助けるようにして、何とかして助かったと。

そしてそのあとは、自分の村へついて帰ってきて、村で一緒に生活をしたということで終わっておりますが、この病人の手当の仕方、いま言ったその、そういう半死状態になったものでも **ureyupupu** したものは、助かる見込みがないと。 **urecayaya** と言ってこの足の指を広げているものは助かるものだ、こういうことは経験として覚えておいた方が良いでしょうと一人のその男が物語りました、というのがこの **uepeker** [散文説話] でした。

えー大変いい **uepeker** でしたよ。

木村：えへへ (笑)。

萱野：そして知らせに来てくれた神様の名前は **cinana sapa** [ホッチャリの頭] と言って、そのいわゆるホッチャリのこと **cinana** と言うんだな。

木村：ホッチャリの

萱野：秋味 [鮭]、ホッチャリ、秋味の頭が知らせてきてくれたので、その頭に **inaw** [木幣] をつけて厚くお礼を申し上げたそうゆうことでしたね。

木村：そうです……

20-4 ウエペケレ

「カウカウ ノカ オマ コソンテ ミ カムイ アオナハ ネ」

霰模様の小袖を着た神が私の父だった

語り：木村きみ

アオナハ パク イソンクル イサム クン ネ

a=onaha pak isonkur isam kur_ ne

私の父ほどの狩りの名人で

パクノ ニシパ イサム ニシパ ネ ワ ネプ アエ ルスイ

pakno nispa isam nispa ne wa nep a=e rusuy

立派な男は他にいなかったので私は何を食べたいとも

ネプ アコン ルスイ カ ソモ キ ノ オカアン ペ ネ ア プ

nep a=kor_ rusuy ka somo ki no oka=an pe ne a p

何が欲しいとも思わない暮らしをしていました。

ポロアニ オラノ アオナハ チセ オツ タ イエトコイキ^[1] ワ

poro=an h_i orano a=onaha cise or_ ta i=etokoyki wa

私が成長すると、父は家で私の帰ってからの支度をして

アオナ エトコ アオイキ…… エトコ…… イエトコイキ コロ

a=ona etoko a=oyki... etoko... i=etokoyki kor

私の支度をして

オカアン オラ エキムネアン ワ ユク エネ カムイ エネ ネ カ……

oka=an ora ekimne=an wa yuk h_ene kamuy h_ene ne ka...

そして私は山へ行っては鹿でも熊でも

トゥプ レプ アワ…… アロンヌ ケシト アン コロ キ コロ

tup rep awa... a=ronnu kesto an kor ki kor

2頭も3頭も獲るので毎日そうやって

オカアン ペ ネ ルウェ ネ ア プ、エネ アオナ ハウエアニ。

oka=an pe ne ruwe ne a p, ene a=ona hawean h_i.

暮らしていたのですが、(あるとき)父がこのようなことを言いました。

「アペ…… アコロ ペッ エムコ コロ ニシパ シネ マッ

“ape... a=kor pet emko kor nispa sine mat

「この川筋の奥を治める人というのが

エアチャ アン ワ シネ マツネポ コロ ワ

e=aca an wa sine matnepo kor wa

お前のおじにあたる人がいるのだが1人、娘がいる。

ネワアン エアチャハ マツネポホ エコロ ヤク エアシリ

newaan e=acaha matnepoho e=kor yak easir

そのおじの娘をお前がもらってようやく

アコロ ワ オカイ ペ エアチャ コロ ワ オカイ ペ

a=kor wa okay pe e=aca kor wa okay pe

私の家族とその、お前のおじの家族が

ウオ…… ウオマ プ ペ ネ ナ。」

uo... uoma p pe ne na.”

1つとなるというものだ。」

シコロ アオナ イイエ コロ パテク オカアン ペ ネ イケカ

sekor a=ona i=ye kor patek oka=an pe ne h_ikeka

と父はそのようなことを言ってばかりいたのですが

アラパアン カ エラミシカリ アホタヌカラ パ カ エラミシカリ。

arpa=an ka eramiskari a=hotanukar pa ka eramiskari.

私はそこには行ったこともなかったのです。様子を見に行くこともありませんでした。

「オッカヨポ カ サク クス イコイトウパ コロ オカ ナンコロ ナ

“okkayopo ka sak kusu ikoytupa kor oka nankor na

「息子もいないので難儀していることだろう

トゥナシノ アラパ。」

tunasno arpa.”

早く行きなさい。」

シコロ アオナ イイエ ヒケカ アラパアン カ エラミシカリ ノ

sekor a=ona i=ye hikeka arpa=an ka eramiskari no

そのように父は言うのですが行きもしないで

アナン アイネ コタノッ タ アオトゥワシ オッカイポ シネン

an=an ayne kotan or_ ta a=otuwasi okkaypo sinen

いました。しかしとうとう村で頼りになる若者を1人

アシレン イネ ウエチポアン イネ オラノ パイエアン ネ コロ…… ワ

a=siren h_ine uecipo=an h_ine orano paye=an ne kor... wa

誘い一緒に舟に乗って出かけました。

チプ サパ タ アナン ワ チプ オソッ タ アトゥラ オッカイポ

cip sapa ta an=an wa cip osor_ ta a=tura okkaypo

私は舳先に、一緒の若者は艫（とも）に乗って

アン ヒネ パイエアン ワ ウエラリワン ワ

an hine paye=an wa uerariw=an wa

行き、一緒に漕いで

パイェアン ルウェ ネ アクス オラ エネ ネ ペコロ

paye=an ruwe ne akusu ora ene ne pekor

進んで行くと、このように

イエンカシケ ウン ハワシ。

i=enkaske un hawas h_i.

上の方から声が聞こえてきました。

「アイヌ アポホ エネ ヒネ エアプカシ クシ ネ ア プ

“aynu a=poho e=ne hine e=apkas kus ne a p

「人間の子よ、お前は（歩いて）行こうとしているが

エアプカシ ワ ウトゥル トウイマ トウイマ ラポッケ エアチャハ コタヌフ
e=apkas wa uturu tuyma tuyma rapokke e=acaha kotanuhu

お前が（歩いて）いくその間、遠い遠い（その道のりの）間に、お前のおじの村では

パオヤン イネ エアチャウタリ カ シネ アンチカン ネ
paoyan h_ine e=acautari ka sine ancikar_ ne

伝染病が流行って、お前のおじたちも一晩のうちに

オピッタ イサム イネ エコロ クシ ネ メノコ パテク シネン ネ
opitta isam h_ine e=kor kus ne menoko patek sinen ne

みんな死んでしまい、お前が娶るはずの女一人だけが

シクヌ ワ アン ルウェ ネ オラ ネ ル…… コロ
siknu wa an ruwe ne ora ne ru... kor

生き残った。そうってから

エアシリ エウン ホサリアン ルウェ ネ ワ
easir eun hosari=an ruwe ne wa

私はようやくそちらへ目を向けたのだが

タン カム オハウ エチエ ワ エアトゥ クル アナクネ ライ。
tan kam ohaw eci=e wa eatu kur anakne ray.

この肉汁をお前たちが食べて、吐く者は死ぬ。

エアトゥ ソモ キ クル アナク シクヌ プ ネ ルウェ ネ ナ」
eatu somo ki kur anak siknu p ne ruwe ne na”

吐かない者は生き残るぞ。」

シコロ ハウ…… カムイ イタク ハウ イエンカシケ ウン アヌ コロ
sekor haw... kamuy itak haw i=enkasike un a=nu kor

という上の方から聞こえる神の声を私が聞いている間に

チプ オツ タ レ カム オハウ
cip or_ ta re kam ohaw

神は舟に三杯の肉汁、

チニンパ カム (?) オハウ レ カム オハウ

cininpa kam(?) ohaw re kam ohaw

串刺しになった肉の汁 (?) 三杯の肉汁が

チプ オツ タ トウルセ イサム ウン キ クシ アウキネ オラウン

cip or_ ta turse i=sam un ki kus a=uk h_ine oraun

舟の中の私の近くに落ちてきたので私はそれを取りました。そして

アアチャ トウナシ アホタヌカラ カ ソモ キ アイネ エネ ネ ハワン

a=aca tunas a=hotanukar ka somo ki ayne ene ne haw an

おじにさっさと会いにいかないでいるうちに、こんな話になってしまった

シコロ ヤイヌアン クス ケウトウム オツ タ チサン コロ

sekor yaynu=an kusu kewtum or_ ta cis=an kor

と思い、心の中で私は泣きながら

パイェアン イネ アアチャ コタヌフ ペタル オツ タ チプ アヤンケ ヒネ

paye=an h_ine a=aca kotanuhu petaru or_ ta cip a=yanke hine

我われは進み、おじの村の舟着き場に舟を着け

ナニ アラパアン ルウエ ネ アク (ス) コタン エピッタ

nani arpa=an ruwe ne ak(usu) kotan epitta

そしてすぐにすすんで行くと村中

スプヤ サク ルウエ ネ ヒネ オラウン アアチャ ウニヒ タ

supuya sak ruwe ne hine oraun a=aca unihi ta

煙も上がっていない様子です。おじの家に

アフナン ルウエ ネ アクス ネプ カ シルイ タ

ahun=an ruwe ne akusu nep ka siruy ta

私が入ると、何かが奥の方で

ホッケ ワ アン ルウエ ネ ノイネ インカラニ クス

hotke wa an ruwe ne noyne inkar=an h_i kusu

横になっているように見えたので

アラパアン ルウェ ネ アクシ ネプ イメル ウシ カネ アン ポン メノコ
 arpa=an ruwe ne akus nep imeru us kane an pon menoko
 近づいてみると、なんとも輝くほどに美しい娘

アオナ イェ ワ アヌ プ ネ ア プ ア…… タネ
 a=ona ye wa a=nu p ne a p a... tane
 父が言っていた一人娘が

ライ アンキ アン イネ ア…… オロ タ アフナン イネ
 ray anki an h_ine a... oro ta ahun=an h_ine
 今にも死にそうな様子でいました。そこへ我われは入り

アペ アアリ ナニ アペ アアリ トウッコ レレコ ネ ワ
 ape a=ari nani ape a=ari tutko rerko ne wa
 すぐに火をおこしました。2、3日すると

ネ アアチャウタリ カ アペ エコホピ ホクシ ホクシ カネ オカ ワ オカ。
 ne a=acautari ka ape ekohopi hokus hokus kane oka wa oka.
 おじたちも囲炉裏を離れてどんどん倒れていってしまいました。(?)

「アエオハイシトマ コン ネ コロカ…… クス
 “a=eohaysitoma kor_ ne korka... kusu
 「恐ろしいことだが、

アナイシリカムイ ウタン ネ ヤッカ イセレマクシ ヤッカ
 anaysirkamuy utar_ ne yakka i=sermakus yakka
 おじたちが死霊の神になっても、私たちを守ってくれて

アマツ…… アトゥレシ シネプ ポカ アシクヌレ ヤクネ
 a=mat... a=turesi sinep poka a=siknure yakne
 私の妻（許嫁である娘）1人だけでも生かされていれば

アアチャウタリ サンテケ ネ シトゥリ クシ ネ ナ」
 a=acautari santeke ne situri kus ne na”
 私のおじの子孫の系統も続いていくというものですから。」

シコロ ハウエアナン コロ アペ アアリ ヒネ アペ アアリ ヒネ オラウン
sekor hawean=an kor ape a=ari hine ape a=ari hine oraun
 と私は言って火を焚いては焚いて

ナニ ス アアッテ ヒネ ネ カ…… レ カム オハウ アポプテ ヒネ
nani su a=atte hine ne ka... re kam ohaw a=popte hine
 そうして私はすぐに鍋を火に掛けて三杯の肉汁を温めて

アシヌマ カ アエ アニ[2]…… アクイクイ。ネア ポン メノコ カ
asinuma ka a=e ani... a=kuykuy. nea pon menoko ka
 私もそれを食べ、私が口のなかで噛みちぎった肉をその娘にも

パロホ アオ ルウェ ネ アクス エサンペシトゥリ シンネ ノイネ イキ プ
paroho a=o ruwe ne akusu esanpesituri sinne noyne iki p
 食べさせるとそれで生気を取り戻した様子でしたが

オラ ネ アトゥラ オッカイポ アナクネ エアトゥ ルウェ ネ ヒネ
ora ne a=tura okkaypo anakne eatu ruwe ne hine
 一緒にいた若者の方はその肉を吐き出してしまったのです。

オロワ スケアン イネ イペアン。アエプ アナク ポロンノ
orowa suke=an h_ine ipe=an. aep anak poronno
 それから、料理をして食事を摂りました。食べる物はたくさん

アセ プ ネ クス スケアン ヒネ アチャラパ。ネア アアチャウタリ カ
a=se p ne kusu suke=an hine a=carpa. nea a=acautari ka
 背負って来たので料理をして（供養のために）撒き散らしました。

アペ エコホピ ホクシ ワ オカイ ペ ネ プ
ape ekohopi hokus wa okay pe ne p
 おじたちも囲炉裏に背を向けて倒れていましたが

アコロシキ したり キ ヒネ オラウン レウシオカアン イネ
a=koroski SITARI ki hine oraun rewsioka=an h_ine
 私は食べ物を供えました。そうして私達は一晩すごし

クンネイワ ホプニアン ルウェ ネ アクス ネア アトゥラ オツカイポ
kunneywa hopuni=an ruwe ne akusu nea a=tura okkaypo
 朝起きると一緒に来た若者は

オアン ライ シリヒ アン ルウェ ネ。オラノ ウエン イルシカ アキ コロ
oar_ray sirihi an ruwe ne. orano wen iruska a=ki kor
 完全に死んでしまっています。ひどい怒りを覚えながら

オラ スケアン イネ ネア ポン メノコ パロホ アオ したり
ora suke=an h_inine nea pon menoko paroho a=o SITARI
 私は食事を用意し、娘の口に入れたり

アエレ したり キ ワ
a=ere SITARI ki wa
 食べさせたりしました。

スケアン ワ アン ルウェ ネ クシ エ コロ アン ヤクネ
suke=an wa an ruwe ne kus e kor an yakne
 私が料理をした物があるので、娘がそれを食べているのなら

「コタン オルン アスルコラン クシ ネ」
“kotan or un asurkor=an kus ne”
 「村に知らせに行ってきます。」

シコロ ハウエアナン コロ ナニ トゥナシノ オ…… チプ アオ イネ
sekor hawean=an kor nani tunasno o... cip a=o h_inine
 と私は言い、すぐに急いで舟に乗り川を下り

サナン イネ アコタヌ タ サナン ルウェ ネ ア (クス) アオナ
san=an h_inine a=kotanu ta san=an ruwe ne ak(usu) a=ona
 私の村まで下ると父が

「トゥナシ ホシピアン シリ マカナク ネ ルウェ シンネ ヤ ネ ヤ？」
“tunas hosipi=an siri makanak ne ruwe sinne ya ne ya?”
 「早い帰りだが、どうしたことだ？」

シコロ ハウエアン コロ

sekor hawean kor

と言いました。

「タップネ カネ ネ ワ パイエアン ホントモ タ

“tapne kane ne wa paye=an hontomo ta

「こうしたわけで向かう途中に

カム オハウ レ ペ チプ オツ タ トウルセ コロ

kam ohaw re pe cip or_ ta turse kor

肉汁三杯が舟の中に落ちてきて

イエンカシケ ウン タプネ カネ カムイ アオナ ネ ヤク イェ プ

i=enkaske un tapne kane kamuy a=ona ne yak ye p

我われの上の方からこうして神である私の父という者が

イピリマ ヒネ パイエアン ルウエ ネ ア プ、アトウラ オツカイポ ネア……

i=pirma hine paye=an ruwe ne a p, a=tura okkaypo nea...

私にそっと警告してくれて、それで私たちは進んで行ったのですが、私が連れて行った若者は

ネア カム オハウ アラ…… アスパ ヒネ ルリヒ ネ ヤッカ

nea kam ohaw ara... a=supa hine rurihi ne yakka

その肉汁を私が煮て、汁であっても

カム…… ネ カム レン アネ アエ ルウエ ネ アクス エアトウ。

kam... ne kam ren a=ne a=e ruwe ne akusu eatu.

その肉を三人で私たちが食べたところ、若者はそれを吐いてしまったのです。

『エアトウ クル アナクネ ライ ペ ネ。』

‘eatu kur anakne ray pe ne.’

『吐く者は死ぬ。』

シコロ アイイエ ア プ、ソソノカ キ ルウエ ネ ナ。アシヌマ ネ ヤ

sekor a=i=ye a p, sonnoka ki ruwe ne na. asinuma ne ya

と言われたのですが、やはり本当に死んでしまいました。私と

ア…… シクヌ ワ アン アトゥレシヒ パテク エ ワ シクヌアン パ ヒネ
a... siknu wa an a=turesihi patek e wa siknu=an pa hine
 命をとりとめた私の許嫁だけが食べて生き残っています。

オラウン アスルコラン クシ サナン ルウェ ネ」
oraun asurkor=an kus san=an ruwe ne
 それで私が知らせに下って来たのです。」

シコロ ハウエアナン オラノ ソレ (クシ) アオナ パラパラク コロ
sekor hawean=an orano sorek(us) a=ona parapararak kor
 と私が言うとそれこそ父はワアワアと泣き叫び

コタン エピッタ ハウシタイキ イネ オラノ イトゥラ カネ
kotan epitta hawsitayki h_inine orano i=tura kane
 村中に知らせて回って、そして父は私と一緒に（舟に乗り）

チプ アナク ポロンノ オカイ ペ ネ クシ チプ アニ アエプ ネ ヤ
cip anak poronno okay pe ne kus cip ani aep ne ya
 舟はたくさんあるので、舟で食べ物などを

アクシパ ヒネ パイエアン。オラノ ネア アコロ オツカイポ ユプタリ
a=kuspa hine paye=an. orano nea a=kor okkaypo yuputari
 運ぶことにして出発しました。あの若者の兄たちや

オナウタリ ネ ヤッカ ウコパラパラク コロ パイエアン イネ
onautari ne yakka ukoparapararak kor paye=an h_inine
 父たちも皆ワアワア泣きながら一緒に行きました。

ネア アコロ ペツ エムコ タ パイエアン ルウェ ネ イネ オラノ
nea a=kor pet emko ta paye=an ruwe ne h_inine orano
 我らの川の上流へと進み

アコロ ペツ エムコ タ ネア アコロ オンネ ウタラ ウニ タ
a=kor pet emko ta nea a=kor onne utar uni ta
 我らが川の奥の方のおじたちの家の中に

アフパン オラノ ソレクス ウコパラパラク パ ウタリ キ パ コロ

ahup=an orano sorekusu ukoparaparak pa utari ki pa kor

入りました。そして、それこそ一緒に行った人たちはみんなでワアワアと泣いていたところ

キ ルウェ ネ ア プ ネア ポン メノコ イペ プ ネ クス

ki ruwe ne a p nea pon menoko ipe p ne kusu

あの娘は食事を摂ったので

サンペシトゥリ ワ チサ チサ コロ アン イネ オロ タ

sampesituri wa cis a cis a kor an h_ine oro ta

気持ちがゆるんで泣き続けていました。そこに

アフパン ルウェ ネ ヒネ オラノ ネア アコロ オツカイポ アナクネ

ahup=an ruwe ne hine orano nea a=kor okkaypo anakne

私たちが入って行ったのです。私が連れて行った若者は

ナニナニ アコロ イシカラ ホントモ アオサンケ チポロ

naninani a=kor Iskar hontomo a=osanke cip or

すぐに石狩川の途中の我らの村へ下る舟へ

アオマレ ワ キ クシ ネ ヤク アイェ コロ キ ルウェ ネ イネ オラノ

a=omare wa ki kus ne yak a=ye kor ki ruwe ne h_ine orano

運び込もうと私が言って、そのようにしました。それから、

アウタリ ネ ヤ ケシト アン コロ スケアン ワ イチャラパアン パ ワ

a=utari ne ya kesto an kor suke=an wa icarpa=an pa wa

私の親戚（死んだおじたち）にも、私は毎日料理をこしらえて供養しました。それこそ

ソレクス ニシパ ウタラ…… ニシパ ウタラ アプンノ

sorekusu nispa utar... nispa utar apunno

立派な人たちがつつがなく

カムイ オパイェ クニ アイェ ロク アイェ ロク パ イネ

kamuy opaye kuni a=ye rok a=ye rok pa h_ine

神の国へ行けるようにという祈り言葉を私は言い続けました。

オラ ネ アンチカリ ウェンタラパナク (シ) スイ
 ora ne ancikari wentarap=an aku(s) suy
 そうしてその夜、私は夢を見たところ、再び

カウカウ ノカ オ コソソテ ミ クル アン マ プヤラ
 kawkaw noka o kosonte mi kur an w_a puyar
 霰の模様が入った小袖を着た人が窓のところを

オリケカッタ ヒネ エネ ハウエアニ。
 orikekatta hine ene hawean h_i.
 グイと引き上げ、このように言いました。

「タン アイヌ アポ エネ ワ イタカン チキ エイヌ カトウ エネ アニ
 “tan aynu a=po e=ne wa itak=an ciki e=inu katu ene an h_i
 「人間であるわが子よ、私がこれから話すから聞きなさい。

オリパク セコロ アイェ プ カ インネ カムイ アナク インネ プ
 oripak sekora a=ye p ka inne kamuy anak inne p
 疫病神と言われるものであっても大勢いるもので

ネ クス アシヌマ アウタリ ソモ ネ ノ モシマ ウタラ パヨカ ヒ タ
 ne kusu asinuma a=utari somo ne no mosma utar payoka hi ta
 私の仲間の神ではない他の神々が歩きまわっている時に

シネ アンチカン ネ コタン アアルシテッカ ルウェ ネ ヒネ オラウン
 sine ancikar_ ne kotan a=arustekka ruwe ne hine oraun
 一晩の中にその村は全滅させられたのだ。そして

XXX…… アイヌ シンリッ オルン カムイ オピッタ……
 XXX... aynu sinrit or un kamuy opitta...
 人間の先祖のもとへと

アイヌ オピッタ ラマチ カムイ オッ タ パイエ ルウェ ネ コロカ コント
 aynu opitta ramaci kamuy or_ ta paye ruwe ne korka konto
 全ての人間の魂が神の国に向かって行ったのだが

ニシパ コロ ペ ル アン トイ クルカ アオスラ ヒ ウェン ルウェ ネ クス
nispa kor pe ru an toy kurka a=osura hi wen ruwe ne kusu

立派な方の持ち物が道のある地面の上に放って置かれるというのも良くないことなので

インネ ウタラ エトウラ ルウェ ネ クス レ パ シラン チキ
inne utar e=tura ruwe ne kusu re pa siran ciki

大勢の人々をお前は連れて行くのだから、3年たったなら

オロワ エチアラキ ワ イオイキリ オカ ウシケヘ ペカ エチオプシ パ ワ
orowa eci=arki wa ioykir oka uskehe peka eci=opus pa wa

お前たちは来て、家の宝を並べている場所に穴を開けて

カリ ニシパ コロ ペ ソイ エチオ ワ エチコタノッ タ エチサプテ ヤッカ
kari nispa kor pe soy eci=o wa eci=kotan or_ ta eci=sapte yakka

そこから立派な方が持っていた物を外へ出し、お前の村へ下げるとよい。ただし

イテキ ニサプノ チセ オロ エチオ ヤク ピリカ オラウン
iteki nisapno cise or eci=o yak pirka oraun

いきなりは家の中に入れてないようにしなさい。

エチエブンキネ ヤク エチコタヌ アナク ネプ レラハ ネプ タシコリ
eci=epunkine yak eci=kotanu anak nep reraha nep taskori

私がお前たちを見守るのでお前の村にどんな風やどんな寒波が

アン ヤッカ ネプ エラナク カ ソモ キ。

an yakka nep eranak ka somo ki.

来ようとも、何も心配ない。

エチエラナク カ ソモ キ ルウェ ネ オラ タン ポン メノコ カ
eci=eranak ka somo ki ruwe ne ora tan pon menoko ka

お前達は何も心配する必要はないのだぞ。そしてこの娘は

カムイ サシミ ネ。エアニ カ カムイ サシミ エチネ ワ
kamuy sasimi ne. eani ka kamuy sasimi eci=ne wa

神の系統である。お前もまた神の系統なので

エチオカ エチウ……エチウコロ アタリマエ ネ ワクス ネウン ポカ
eci=oka eci=u... eci=ukor atarimae ne wakusu neun poka

お前たちが一緒になることは当然のことなのだ。だから、なんとしてでも

カムイ サシミ アナクネ カムイ シッカシマ ワ ライ カ エランペウテク
kamuy sasimi anakne kamuy sikkasma wa ray ka erampewtek

神の系統は神が守ったので死ななかったということだ。

ルウェ ネ ワクス タン ポン メノコ ウオヤ カムイ
ruwe ne wakusu tan pon menoko uoya kamuy

なのでこの娘は別の神が

エイカシヌカラ ペ ネ クス エエウタンネ ワ アン ナ。
eykasnukar pe ne kusu e=ewtanne wa an na.

お前に授けたので、お前と一緒にになったのだ。

ネプ エコン ルスイ エエ ルスイ ソモ キ ノ
nep e=kor_ rusuy e=e rusuy somo ki no

お前は何が欲しいとも何が食べたいとも思わないで

カムイ ラマツ ネ エチ オカイ ペ ネ クシ キ オラウン サケ エチコロ コロ
kamuy ramat ne eci=okay pe ne kus ki oraun sake eci=kor kor

お前達自身が神の魂なのだから、そのように暮らすのだ。そして酒宴を開いたなら

サケ ネプ ウエウンノ イオイキリ ネ ヤッカ ヌサ ケシ タ^[3]
sake nep ueunno ioykir ne yakka nusa kes ta

酒の材料でもたくさん、宝壇でも祭壇の端にででも

エチアヌ ワ ネ ヤクネ アウク ワ カムイ オツ タ
eci=anu wa ne yakne a=uk wa kamuy or_ ta

お前たちが供えれば、私が受け取り神々の世界で

アエヤイカムイネレ ヤクネ カムヨロ オカアン ワ アエチエペンキネ ワ
a=eyaykamuynerere yakne kamuy oro oka=an wa a=eci=epunkine wa

立派な神となれる。そうすれば、神々の世界に私たちはいてお前たちを見守るので

ネプ エチエ ルスイ エチコン ルスイ ソモ キ ノ

nep eci=e rusuy eci=kor_ rusuy somo ki no

お前たちは何を食べたいとも何が欲しいとも思わない

エチオカイ ペ ネ ナ ネノ エイキ プ ネ ナ」

eci=okay pe ne na neno e=iki p ne na”

幸福な生活を送ることができるであろう。お前はそうにするのだぞ。」

シコロ ウエンタラパン ルウェ ネ ヒネ オラ イシムネ

sekor wentarap=an ruwe ne hine ora isimne

という夢をみました。そして翌日

ネア アアチャウタリ アナクネ エネ アカラ パ ヒ カ イサム パ プ ネ クス

nea a=acautari anakne ene a=kar pa hi ka isam pa p ne kusu

私のおじたちは私たちがどうすることも出来ずいたため

オカ イ ネノ オカ イネ ライ クル エシユッパ プ アアチャ アウナラペ

oka h_i neno oka h_ine ray kur esiyuppa p a=aca a=unarpe

そのままの状態になっていたので、私は死人に着せる死装束をおじやおばに

アエシユクテ ヒネ オラ ネノ アアリ ヒネ オラウン ネア コタン カ

a=esiyukte hine ora neno a=ari hine oraun nea kotan ka

着せてそのまま置いてきました。そしておじの村を

エネ アウフイカ ヒ カ イサム。アイヌ コロ パ プ

ene a=uhuyka hi ka isam. aynu kor pa p

燃やすこともなかったのです。人間が持っている物

シンリッ コロ パ プ オカイ パ プ アウフイカ ヒ カ イサム ペ ネ クス

sinrit kor pa p okay pa p a=uhuyka hi ka isam pe ne kusu

先祖が持っていたものがたくさんありましたが、燃やすこともなく

オラノ ネプ カ アウイナ カ ソモ キ ノ アオピッタ

orano nep ka a=uyna ka somo ki no a=opitta

何も取らずに我われは全員

ネア アコタヌン アトゥラ オッカイポ パテク アクサ ヒネ サパン イネ
 nea a=kotanu un a=tura okkaypo patek a=kusa hine sap=an h_inē
 私の村と一緒にいった若者（の遺体）だけを運んで下りました。

コタン オツ タ サパン イネ ニシパ アオスラ クニ オッカシケ タ
 kotan or_ ta sap=an h_inē nispa a=osura kuni okkaske ta
 村まで下り、その若者を立派な人を葬る時以上（立派）に

アオスラ ルウェ ネ オラノ アエシオシクル ネウン アプカサン ヤッカ
 a=osura ruwe ne orano a=esioskur neun apkas=an yakka
 葬りました。私は彼のことを本当に惜しく思いました。どこを歩くにも

アトゥラ カネ オッカイポ ネ アオトゥワシ プ ネ ワ
 a=tura kane okkaypo ne a=otuwasi pu ne wa
 連れて行く若者でした。私が頼りにして

ウトウラアン カネ プ ネ ア プ、アエウエンラムコロ(?) コロ
 utura=an kane pu ne a pu, a=ewenramkor(?) kor
 一緒に行動したものでした。私はそれで沈んだ気持ちになって(?)

オラノ アナン オラ ネア ポン メノコ アエシエウタンネレ ワ ネ コロカ
 orano an=an ora nea pon menoko a=esiewtannere wa ne korka
 暮らしていました。それから、あの若い娘と私は結婚したのですが

ネイ タ ヌペ サク シリ カ イサム ノ キ オラ アアチャウタリ
 ney ta nupe sak siri ka isamu no ki ora a=acautari
 その娘は涙を流さない時がないというほど泣いて、私はおじたちに

アラスイ ポカ アヌカラ カ ソモ キ ノ カムイ パ オロ アオヒカ
 arasyu poka a=nukar ka somo ki no kamuy pa ora a=ohika
 1度も会うことなく疫病にやられてしまったことも

アアチャウタリ アエトウヤシカラプ アエランポキウエン パ コン ノ
 a=acautari a=etuyaskarap a=erampokiwen pa kor_ no
 おじたちを憐れみ、かわいそうに思いながら

ネ コロカ サケ アコロ コロ アアチャウタリ アノミ ヒ アイエ
ne korka sake a=kor kor a=acautari a=nomi hi a=ye
 なかったのですが、酒宴を開くとおじたちに祈り言葉を上げ

シンヌラッパアン。ネアプ サケ ネプ ウエウンノ ヌサ ケシ タ
sinnurappa=an. neap sake nep ueunno nusa kes ta
 先祖供養をしました。その酒の材料をたくさん祭壇の端に

アアヌ コロ ネ アンチカリ イサム イ アナク
a=anu kor ne ancikari isam h_i anak
 供えると、その晩にはなくなってしまうということは

カムイ アオナハ ウイナ ワ ネ クニ アラム コロ オカアン。
kamuy a=onaha uyna wa ne kuni a=ramu kor oka=an.
 神である私の父が受け取ったように思いながら我々は暮らしました。

ネプ アエ ルスイ ネプ アコン ルスイ カ ソモ キ ノ アオナウタリ
nep a=e rusuy nep a=kor_ rusuy ka somo ki no a=onautari
 私は何を食いたい、何が欲しいとも思わないで過ごしていて、私の父たちが

エイコイトウパ プ アイヌ ネ マヌ プ ミッポ ネ マヌ プ
eykoytupa p aynu ne manu p mippo ne manu p
 うらやみ欲しがるのは人間という者、孫という者だった

ネ ア コ…… コロカ ネア アマチヒ ソレコ…… ポシレシッテ ワ
ne a ko... korka nea a=macihi soreko... posiresitte wa
 のですが、私の嫁はたくさん子どもを産み

アオナウタリ イコエライニンネ、イコイオマプ コロ オカアン アイネ
a=onautari ikoerayninne, ikoy'omap kor oka=an ayne
 私の父たちはその子たちを面倒見、かわいがりながら過ごしました。そして

レ パ シラニ オラ コント スイ アウタリ アシレン イネ
re pa siran h_i ora konto suy a=utari a=siren h_ine
 3年ほどたつと再び村の人たちを連れて

アチポ (エア)シカイ パ プ アナク インネアン イネ
 a=cipo (ea)skay pa p anak inne=an h_ine
 舟に乗れる者もたくさんいるので私たちは大勢で

パイェアン イネ オラノ インネ コタン ネ プ ネ クシ
 paye=an h_ine orano inne kotan ne p ne kus
 (おじの村へ) 行きました。大きな村なので

イオイキリ オカ ウシケ ペカ アオプシパ ワ ニシパ コロ ペ
 ioykir oka uske peka a=opuspa wa nispa kor pe
 宝壇があるところに穴を開け、立派な人の持っていた物を

ソイ アオ ワ アウタリヒ クシパ ワ サプ パ。
 soy a=o wa a=utarihi kuspa wa sap pa.
 外に運び出し、それを我われの村の者が舟で運び下ろしました。

アアチャ コロ オカ ピリカ コロ ペ ヤイカタ アコロ ワ
 a=aca kor oka pirka kor pe yaykata a=kor wa
 おじが持っていた良い物は自分で貰い

アウニ タ ホシピアン ワ ネ コロカ ニサプ ノ、ニサプ ノ
 a=uni ta hosipi=an wa ne korka nisap no, nisap no
 私の家に持ち帰りました。しかし、いきなりは

チセ オロ アオ カ エアイカプ ペ ネ クス エアッチセカラシ ワ
 cise or a=o ka eaykap pe ne kusu eatcisekar=an wa
 家の中に入れることは出来ないので、片流れの家を建てて、

コタン キム タ アアリ ヒネ オカアン アイネ
 kotan kim ta a=ari hine oka=an ayne
 村の山手に持ち帰ったものを置いておきました。そして

エアシリ シネ チュプ カ チュプ ウク トウ チュプ…… カ キ イネ
 easir sine cup ka cup uk tu cup... ka ki h_ine
 あらためて、ひと月もふた月もそうしておいてそれで

チセ オロ アオ ルウェ ネ オラノ ポ ヘネ ネア ソレ (クシ)

cise or a=0 ruwe ne orano po hene nea sorek(us)

家の中に入れたのです。それこそ今まで以上に

ホマコチウエ カ ホサオチウエ カ ニウケシ ニシパ アネ

homakociwe ka hosaochiwe ka niwkes nispa a=ne

私は後ろに倒れることも前に倒れることもできないというほどの物持ちとなり

(萱野：はい、その続き。)

ネブ アウヌフ テケヘ ケレ⁴ スイ…… シリ イサム ノ

nep a=unuhu tekehe kere suy... siri isam no

私の母には何の仕事をさせるということもなく

ナ…… ネア アコロ カツケマツ アウヌウタリヒ カシ オイキ

na... nea a=kor katkemat a=unuutarihi kasi oyki

私の妻は母たちの面倒やら

パロ オイキ ネ ヤ ウエライニンネ オポソ ネ ヤツカ

paro oyki ne ya uerayninne oposo ne yakka

食事の世話やらで面倒を見続けて(?)

アオナウタリ ピリカコロ パ コロ オカアン ナ…… ナ

a=onautari pirkakor pa kor oka=an na... na

私の父たちを大事にしてくれながら暮らしました。

オラウン アウタリヒ ウタラ ネ ヤツカ

oraun a=utarihi utar ne yakka

村の人たちも

「アコン ノ ニシパ アン クシケライ アコロ オツカイポ アン

“a=kor_ no nispa an kuskeray a=kor okkaypo an

「貴方がいたおかげで、我々の若者がいたおかげで

クシケライポ ニシパ コロ ペ アコロ ワ ニシパ アネ」

kuskeraypo nispa kor pe a=kor wa nispa a=ne”

立派な人の持ち物を私たちは手に入れ、我々も物持ちになれた。」

シコロ ハウエオカ コロ ポ^o ヘネ オラノ ポ^o ヘネ アウタリ ウタリ
sekor haweoka kor po hene orano po hene a=utari utari

と口々に言いながら、なお一層、私の村の仲間たちは

イトウカリ エマウララパ ワ ネプ アエ ルスイ ネプ アコン ルスイ
i=tukari emawrarpa wa nep a=e rusuy nep a=kor_ rusuy

私に対し畏敬の念を表してくれて、私たちは何を食べたいとも何が欲しいとも

ソモ キ ノ オカアン ワ イコイトウパ パ プ アイペレ
somo ki no oka=an wa ikoytupa pa p a=ipere

思わない幸せな生活を送っていて、困っている人には食べさせ、

アイコロパレ パ コロ オカアン ペ ネ クシ ポ^o ヘネ
a=ikorpore pa kor oka=an pe ne kus po hene

ものをあげながら過ごしていました。だからこそ、さらに

アウタリ ウタラ キ コロ オカアナ プ オ……
a=utari utar ki kor oka=an a p o…

私の仲間たちは尊敬してくれて

キ ワ ネプ アエシリキラプ ソモ キ ノ キ。アポウタリヒ ラポッケ
ki wa nep a=esirkirap somo ki no ki. a=poutarihi rapokke

何を心配するということもありませんでした。私の子どもたちもそのうちに

メノコ オツ タ オツカヨ オツ タ ルプネ パ ワ
menoko or_ ta okkayo or_ ta rupne pa wa

娘たちも息子たちもそれぞれ成人して

ヤイラメコツパ ワ アミッポ カ ポロンノ アコロ。
yayramekotpa wa a=mippo ka poronno a=kor.

結婚して、孫もたくさんできました。

アオナウタリ アピリカコロネレ オカケ タ キ ワ
a=onautari a=pirkakoronere okake ta ki wa

父たちには幸せな晩年を送らせて見送りました。その後は、

アオナウタラ…… アポウタリ イカオイキ イパロイキ キ パ ワ
a=onautar... a=poutari i=kaoyki i=paroyki ki pa wa
 私の子どもたちが私たちの面倒を見て食べさせてくれるので

ネプ アエ ルスイ ソモ キ アイネ
nep a=e rusuy somo ki ayne
 私は何が食べたいとも思わないで

タネ アポウタリ ヤイラメコツパ ワ オロ ペカ イキアン カ キ ヒ
tane a=poutari yayramekotpa wa oro peka iki=an ka ki hi
 今ではもう子どもたちが結婚していて、そこに出向いたりしている中に

アミツポウタリ カ ルプネ パ シリ アヌカラ パクノ アナン ワ
a=mippoutari ka rupne pa siri a=nukar pakno an=an wa
 孫たちが成人した姿を見るまで長生きして

オンネアン シリ エネ アニ ネ クス タプネ カネ ネ ワ……
onne=an siri ene an h_i ne kusu tapne kane ne wa...
 私も歳をとってしまったので、このようにこうして

ネ オリパク オツ タ カムイオロオピリマアン (?) ワ
ne oripak or_ ta kamuyor'opirma=an(?) wa
 疫病の神からの警告があつて(?)

カム オハウ ニソツ タ ネ ヤッカ
kam ohaw nisor_ ta ne yakka
 肉の汁が空でも

チプ アオ ワ チプ オツ タ ネ ヤッカ ネプ アカラ ヤッカ
cip a=o wa cip or_ ta ne yakka nep a=kar yakka
 私が舟に乗り、舟の中であっても何をしても

オロ タ セレマク コロ ペ アネ ワ オロ タ カムイ オロ ワ
oro ta seremak kor pe a=ne wa oro ta kamuy oro wa
 守り神がついているのであるから、神からの

アピリマ イ タ ソモ…… エ ワ エアトゥ ソモ キ クル アナクネ
 a=pirma h_i ta somo... e wa eatu somo ki kur anakne

警告があった時には、食べて吐かない者は

シクヌ プ ネ ワ エアトゥ クル アナクネ ライ ペ ネ クシ カ
 siknu p ne wa eatu kur anakne ray pe ne kus ka

生き残るが、吐きだす者は死んでしまうということも

アポウタリ アエパシクマ ハウエ ネ。

a=poutari a=epaskuma hawe ne.

私の子どもたちに教えておくぞ。

シコロ ハウエアナン コロ アポウタリ アホッパ ワ
 sekor hawean=an kor a=poutari a=hoppa wa

そう言いながら、息子たちを残して

オンネアン ペ ネ クシ アイエ

onne=an pe ne kus a=ye

私はもう年老いて死ぬので言うのですよ。

セコロ イシカラ エムコ コン ニシパ ハウエアナン コン ライ。
 sekor Iskar emko kor_nispa hawean kor_ray.

と、石狩川の奥の方を治める男が言いながら亡くなりました。

(萱野：あー)

【注】

- [1] 父親は年をとったので自分では狩りに行かなくなり、息子が帰ってきた時のために食事の支度をしてきていたということ。
- [2] kamihi 「その肉」であろうか。
- [3] 疫病神に対しては、通常のカムイに対するようなイナウや供物を送ることはしない。そこで、sake「酒」そのものではなく、酒の材料である麴や米などを、祭壇の隅などに供えろと指示しているのである。
- [4] 直訳は、「何かに私の母の手が触れる」ということである。

20-5 ウエペケレ「カウカウ ノカ オマ コソソテ カムイ アオナハ ネ」題名紹介

語り手：木村きみ
聞き手・解説：萱野茂

萱野：これは “kawkaw noka oma kosonte mi kamuy a=onaha ne” という、

木村：うん、kamuy a=onaha [神なる私の父]。

萱野：kamuy a=onaha [神なる私の父] だな。

木村：うん。

萱野：そうゆうことだな。これは kawkaw ちゅーのは霰だな。

木村：そうそうそう。

萱野：霰の形のついた、

木村：着物。

萱野：着物を着た神様がわたくしの父であったという uepeker [散文説話] ですね。

木村：うん。

萱野：これもあとで、時間を作って和訳したいと思います。

20-6 ウエペケレ

「イエマカアトウサレ メノコ」

もろ肌を脱いだ女

語り：木村きみ

アユピヒ アン イネ トウ ポ

a=yupihi an h_inē tu po

私の兄がいて、2人の子

トウ ポ アネ ヒネ オカアン ペ ネ ヒケ

tu po a=ne hine oka=an pe ne hīke

私たちは2人の子供で、そうして暮らしていたが

アユピヒ トウラノ ケシト アン コロ ウトウラアン ワ

a=yupihi turano kesto an kor utura=an wa

私の兄と一緒に、毎日一緒に連れ立って

ユク ネ チキ カムイ ネ チキ

yuk ne ciki kamuy ne ciki

シカでもクマでも

ヌウエ アコオカ コロ オカアン ペ ネ ア プ

nuwe a=kooka kor oka=an pe ne a p

豊富に獲って暮らしていたのだが

アオナ エネ ハウエアニ

a=ona ene hawean h_i

私の父はこう言っていた

「イワン ナイ アカマ コロ アオラン ヒ イマカケタ

“iwan nay a=kama kor a=oran hi imakaketa

「六つの沢を越えて、下ったところの向こう側には

ソモ エキムネアン ノ ホシッパアン ペ ネ ナ」
somo ekimne=an no hosippa=an pe ne na
狩に入らずに、帰ってくるんだぞ」

セコロ アオナ ハウエアン
sekor a=ona hawean
と父は言い

パシクマ コロ パテク オカアン ペ ネ ア プ
paskuma kor patek oka=an pe ne a p
いつも言い聞かせながら暮らしていたのだが

アユピ アイカラ コロ アニネ
a=yupi aykar kor an h_in
兄は矢を作っていて

シネン アネ ソイネアン ルウェ ネ ア プ オラノ
sinen a=ne soyne=an ruwe ne a p orano
私は一人で出かけたのだが、それから

(萱野：イワンデ？)

イワンナイ。
iwannay.
6つの沢。

(萱野：ああ、イワンナイ)

うん。沢むっち [六つ] とおりこしたら、もうあとおつかないんだから。

(萱野：ああ、ああ。)

戻れっていう。

(萱野：ああ、なるほどなるほど。)

アオナ イパシクマ コロ パテク オカアン ペ ネ ア プ
 a=ona i=paskuma kor patek oka=an pe ne a p
 父がいつも私に言い聞かせていたのだったが

シネンネ エキムネアン プ オラノ コント
 sinenne ekimne=an p orano konto
 一人で狩に行ったのだが、それから、今度、

ペツ トウラシ オムケナン ペコン ネ オラノ
 pet turasi omuken=an pekor_ ne orano
 川沿いには、何も獲物がないみたいで、それから

ペツ トウラシ ホユプアニネ アラパアン ア プ
 pet turasi hoyupu=an h_in e arpa=an a p
 川沿いに私は走って行ったのだったが

オラ イワン ナイ アカマ コロ エアシリ ヤイコシラムスイェアン
 iwan nay a=kama kor easir yaykosiramusuye=an
 六つの沢を越えるとようやく思い当たった

「タプ ネ カネ アオナ イイエ プ ハウエアン ペ ネ ア プ
 “tap ne kane a=ona i=ye p hawean pe ne a p
 「このように父が言っていたのに、

エネ イワン ナイ カ アカ…… アカマ ヒネ エキムネアニ アン」
 ene iwan nay ka aka... a=kama hine ekimne=an h_i an”
 その六つの沢も私は越えて狩りにきてしまった」

セコロ ヤイヌアン エマカアシテカナ プ オラウン スイ
 sekor yaynu=an emakaastek=an a p oraun suy
 と思って立ち止まったのだが、それからまた

アラパルスヤニ クス アラパアン ルウエ ネ アクス
 arparusuy=an h_i kusu arpa= an ruwe ne akusu
 私は行ってみたいので、進んでいったところ

タンネ シトゥ アニネ

tanne situ an h_ine,

長い尾根があって

シトゥ ペシ ネプ カ ホユプ ワ ラン ヒ ネ ノイネ

situ pes nep ka hoyupu wa ran hi ne noyne

尾根にそって何かが走って降りてくるように

インカラニ クス オロ タ アサン マ

inkar=an h_i kusu oro ta as=an w_a

見えたので、そこで立ち止まって、

ネプ ネ ヤッカ ランニ ネ ヤクン

nep ne yakka ran h_i ne yakun

どんなものでも降りてきたなら

エウン アチョッチャ ヘネ アキク ヘネ キ ワ

eun a=cotca hene a=kik hene ki wa

そこへ射でも叩きでもして

アライケ シ…… エアシカイ ノ アン

a=rayke si... easkay no an

仕留められるように

ポロ シコタンコンニ オシマク タ アナン ルウェ ネ アクシ…… クス

poro sikotankonni osmak ta an=an ruwe ne akus... kusu

大きな木の後ろに私はいたところ、

イメル ウシ カネ アン メノコ イエマカアトゥサレ カネ ヒネ

imeru us kane an menoko iemakaatusare kane hine

輝くような女性が、もろ肌を脱いだまま

イカヨプ セトゥル タ オマウスイエ コロ ラン ルウェ ネ イネ、

ikayop seturu ta omawsuye kor ran ruwe ne h_ine,

矢筒を背負って（その矢筒を）風でゆらしながら降りてきて

オシ チチケウニツネイ イ…… テレケ ワ ラン ルウェ ネ
 os cicikewnitney i... terke wa ran ruwe ne

後からチチケウニツネヒという化物が跳びながら降りてきたのだった

ネノ アン メノコ イアッカリ イクス
 neno an menoko i=akkari h_ikusu

その女性が私のところを通り過ぎたので

ネア チチケウニツネイ エキムネクワ アエタリ
 nea cicikewnitney ekimnekuwa a=etari

そのチチケウニツネヒを、私は山獵杖を振り上げて

アエタムタララ ヒネ ラン ヒクス アエサパコキキネ オロ タ アトゥルセレ
 a=etamtarara hine ran hikusu a=esapakokik h_ine oro ta a=tursere

刀を持ちあげるようにして、降りてきたのでそれで頭をなぐってそこに倒して

サラレ パルンペ サマッケ エクパ カネ アン ヒネ ラン ペ ネ ク (ス)
 sarare parunpe samakke ekupa kane an hine ran pe ne ku(su)

出した舌の傍らをかんだまま降りて

アエサパコキク ヒネ アライケ イネ ルウェ ネ アクス オラ
 a=esapakokik hine a=rayke h_ine ruwe ne akusu ora

私はそれで頭をなぐって殺したところ、それから

ネア メノコ オ…… イエマカアトゥサレ ワ
 nea menoko o... iemakaatusare wa

その女性はもろ肌を脱いでいて

レラリヒ サンケ カネ ヒネ ホユプ プ ネ ア プ
 rerarihi sanke kane hine hoyupu p ne a p

胸も出したまま走っていたのだったが

チサ チサ コロ イミ ナ
 cis a cis a kor imi na

泣きながら服を着た。

イトゥカリケ タ オリパキネ アニクス
i=tukarike ta oripak h_ine an h_ikusu
 私の前にかしこまっているので

オロタ アラパアニネ アエレン…… アエランカラプ ヒネ オラ
orota arpa=an h_ine a=eren... a=erankarap hine ora
 私はそこへ行って、挨拶をして、それから

マク イキ ワ ネ ヤ
mak iki wa ne ya
 どうしたのかと

アコピシ アクス エネ ハウエアニ
a=kopisi akusu ene hawean h_i
 と私がたずねるところ語った

「アオナハ アン アユプタリ トゥナニネ オカアン ペ ネ ヒケ
“a=onaha an a=yuputari tun an h_ine oka=an pe ne hike
 「私の父がいて、兄が二人いて暮らしていたのだが

アユプタリ ピリカ パ シリ アコタヌ ウン ウタラ エケシケ パ ワ
a=yuputari pirka pa siri a=kotanu un utar ekeske pa wa
 兄たちが優れているのを私の村の人々が妬んで

ウサ ウエン カムイ コノンノイタクパ ロク アイネ
usa wen kamuy kononnoitakpa rok ayne
 さまざまな悪神に祈りを捧げ

オピッタ アオナウタリ アユプタリ オピッタ アロンヌ ワ イサミネ
opitta a =onautari a=yuputari opitta a=ronnu wa isam h_ne
 そのうちに父たち^[1]、兄たちはみな殺されてしまい

オラウン エネ イキパアニ カ イサム ペ ネ クス コント
oraun ene ikipa=an h_i ka isam pe ne kusu konto
 どうにもしようがなかったので、今度

アオナハ オッカヨ ラマツ ネ イエイノンノイタキネ ノ
a=onaha okkayo ramat ne i=eynonnoitak h_ine no
 父は男性の魂として私のために祈り^[2]

イラマンテアン コロ
iramante=an kor
 私が狩をして

アユプタリ イキ シンネ ノ イキアン コロ アナナ プ
a=yuputari iki sinne no iki=an kor an=an a p
 兄たちがしていたようにしながら暮らしていたところ

ネワアンペ スイ イ…… アコタヌ ウタラ イエケシケパ ヒネ オラノ
newaanpe suy i... a=kotanu utar i=ekeskepa hine orano
 彼らはまた私の村の人々は私のことを妬み、それから

ウサ ウエンカムイ イコノンノイタクパ ヤッカ オラノ
usa wenkamuy i=kononnoitakpa yakka orano
 さまざまな悪神に私のことを祈ったが、それから

アシオポソレ ワ イワカン ランケ ア プ
a=sioposore wa iwak=an ranke a p
 私はそれらを切り抜けて家に帰っていたのだが

タンペ オツ タ アナク ネウン イキアン ヤッカ
tanpe or_ ta anak neun iki=an yakka
 今回はどうやっても

アイマケタ クニ アラム チチケウニツネイ
a=i=maketa kuni a=ramu cicikewnitney
 かなわないと思うチチケウニツネヒが

イケサンパ プ ネ クシキ ア プ
i=kesanpa p ne kuski a p
 私を追ってきたのであったが

ネノ オツカイポ ニシパ アン クス ケライポ
nenō okkaypo nispa an kusu keraypo
 かく立派な若者がいてくれたおかげで

シクヌアン オアシ シリ エネ アン」
siknu=an oasi siri ene an”
 私は命拾いしたのだ」

セコロ ハウエアン
sekor hawean
 と言った

ヒクス オラ ウニ ウンノ シリハンケ プ ネ アコピシ アクス
hikusu ora uni unno sirhanke p ne a=kopisi akusu
 そこで、家まで近いのか私が尋ねると

「シリハンケ クニ アラム」
“sirhanke kuni a=ramu”
 「近いように思う」

セコロ ハウエアン クス コント
sekor hawean kusu orano konto
 と言うので、それから今度

アトゥラ ヒネ ネア シトゥ カリ ヘメシピアニネ
a=tura hine nea situ kari hemespa=an h_ine
 彼女を連れて、その尾根沿いに登って行って

シトゥ カ タ ヘメシピアン ルウェ ネ アク (ス)
situ ka ta hemespa=an ruwe ne aku(su)
 尾根の上に登ったところ

オイクシネ シポロ ペツ アン ルウェ ネ ヒネ
oykusne siporo pet an ruwe ne hine
 向こう側に大きな川があつて

ペッ オロ アオラプ ワ サ…… シ…… シトゥ カリ ラパン ヒネ
 pet or a=orap wa sa... si... situ kari rap=an hine
 川のところへ降りて、尾根づたいに降りて行って

ペッ オロ アオラプ ヒネ ペッ ペシ サパン ヒネ オロワ
 pet or a=orap hine pet pes sap=an hine orowa
 川のところへ降りて川沿いに下がって行ってそれから

ネア ルイノ ペッ ペシ サパン ルウェ ネ アクス
 nea ruyno pet pes sap=an ruwe ne akusu
 そのさらに川に沿って下がって行ったところ

インネ コタン ポロ コタン アニネ
 inne kotan poro kotan an h_ine
 家の連なる村、大きな村があつて

ネア インネ チセ オロ ウン アフン ルウェ ネ アクス エネ ハウエアニ
 nea inne cise or un ahun ruwe ne akusu ene hawean h_i
 その連なった家へ入って行くと、こう言った

ニ…… 「タンペ オツ タ アナクネ マク イキ ワ
 ni... “tanpe or_ ta anakne mak iki wa
 「今回こそはどのようにして

シクヌ クニ プ アネ ヤ カ アエラミシカリ クス
 siknu kuni p a=ne ya ka a=eramiskari kusu
 生き延びられるかも分からなかったの

アラ ウエンカムイ イケサンパ ワ キ ルウェ ネ ア プ
 uar wenkamuy i=kesanpa wa ki ruwe ne a p
 悪神に追いかけられたが

ネユン オッカイポ ネ ルウェ ネ ヤ イカオピウキ クス ケライポ
 neyun okkaypo ne ruwe ne ya i=kaopiwiki kusu keraypo
 いずこの若者であるのか私を救ってくれたために

シクヌアン ワ ホシピアン ワ オラ イトゥラ ルウェ ネ」

siknu=an wa hosipi=an wa ora i=tura ruwe ne”

生きて帰ってさらに私を送ってくれたのだ」

シコロ カネ ハウェアン ハワシ ワ アン ヒネ

sekor kane hawean hawas wa an hine

と語る声がして

アフン ヒネ ナニ ソアヌ ムンヌパ ヒネ

ahun hine nani soanu munnupa hine

家に入ってそれからすぐに座を作り、ゴミを掃いて

オラ イアフンテ クス イェ イネ アフナン ルウェ ネ アクス

ora i=ahunte kusu ye h_inine ahun=an ruwe ne akusu

それから私を入れるように言って、私がなかに入ってみると

オンネクル カ ルクネマツ カ ネオロ イタク クシル イサム ノ

onnekur ka ruknemat ka neor itak kus ru isam no

老人も老女も何も言わずに

オカ ウタラ オカ ルウェ ネ イネ イエランカラブ

oka utar oka ruwe ne h_inine i=erankarap

いる人たちがいて、私に挨拶した

「ネウン オッカイポ アネ ワ アン クシ ケライポ

“neun okkaypo a=ne wa an kus keraypo

「あなたはいずれの若い方か、おかげで

アマツネポ シクヌ ワ イコホシピ ルウェ エネ アン ナ

a=matnepo siknu wa i=kohosipi ruwe ene an na

私の娘が命びろいして私たちのところへ帰ってきました

アポウタリ ソイネ ワ……

a=poutari soyne wa…

私の子供たちは外に出て

カムイ シリ ネ ワ オカイ ペ アポウタリ ネ ルウェ ネ ア プ
kamuy siri ne wa okay pe a=poutari ne ruwe ne a p
 神のように立派な暮らしを送っていましたが

アコタヌ ウン ウタラ ケシケパ ワ
a=kotanu un utar keskepa wa
 私の村に暮らす人々はそれを妬んで

ウサ ウエンカムイ コノンノイタクパ ロク アイネ
usa wenkamuy kononnoitakpa rok ayne
 いろいろな悪神に祈りをあげてそうしているうちに

アポウタリ オピッタ アロンヌ ワ イサム ルウェ ネ ヒネ オラノ
a=poutari opitta a=ronnu wa isam ruwe ne hine orano
 私の子供たちはみな殺されてしまってそれからは

ウンノ…… アマツネポ エネ イキアニ カ イサム ペ クス
unno... a=matnepo ene iki=an h_i ka isam pe kusu
 私の娘を、どうにも仕様がなかったので

メノコ ネ クス ソモ カ スイ ネノ アカラ ペ ネ クナク アラム ワ
menoko ne kusu somo ka suy neno a=kar pe ne kunak a=ramu wa
 女であるからまさかあのように呪いをかけるまいと思って

オッカヨ ラマツ アエイノンノイタク ヒネ
okkayo ramat a=eynonnoitak hine
 男性の魂に祈りをあげて

イラマンテ ルウェ ネ ア プ オラノ
iramante ruwe ne a p orano
 娘が狩りをしていたのだがそれから

アポウタリ イキパ シンネノ イキ ワ
a=poutari ikipa sinneno iki wa
 息子たちがしていたようにして

クシケライポ^レ イペアン コロ オカアン ペ ネ ア プ
kuskeraypo ipe=an kor oka=an pe ne a p
 おかげで食べて暮らしていたのだが

スイ ネワアンペ アイエケシケ
suy newaanpe a=i=ekeske
 またそのことで私たちは憎まれて

ヘムトマニワノ ネイ タ イワク ヤッカ
hemtomaniwano ney ta iwak yakka
 いつの頃からか、いつ帰っても

ヤイケウコロ サク ノ イワク キ ハウエ カ イサム ノ
yaykewkor sak no iwak ki hawe ka isam no
 恐ろしい目に会わずに帰るといことがなく

オカアン ペ ネ ア プ
oka=an pe ne a p
 暮らしていたが

ネユン オッカイポ^レ アン クシ ケライポ
neyun okkaypo an kus keraypo
 いずれの若者かがおられたおかげで

アマツネポ^レ シクヌ ワ ホシピ ルウエ エネ アン」
a=matnepo siknu wa hosipi ruwe ene an”
 私の娘が生きて帰ったのだ」

セコロ カネ ハウエアン
sekor kane hawean
 と言いながら

ネア オンネクル キ コロ イコオンカミ ア イコオンカミ
nea onnekur ki kor i=koonkami a i=koonkami
 その老人は私に向かって何度も拝礼を繰り返した

イネアプ クス ニシパ ネ ワ シラナ カ

ineap kusu nispa ne wa siran y_a ka

どれほど立派な人物であるのか

アエラミシカリ ノ シラン ルウェ ヒネ オラウン

a=eramiskari no siran ruwe hine oraun

はかり知れない程の様子であって、それから

オロ タ モイレアン カ キ プ ネ クス レウシアニネ

oro ta moyre=an ka ki p ne kusu rewsu=an h_ine

そこで、遅くもなったので泊まって

オラノ コント ネア オンネ クル イシレパカシヌ

orano konto nea onne kur i=sirepakasnu

それから今度はその老人が私に道を教えてくれた

エネ ア プ…… エネ ホシピアン クニ イエパカシヌ ヒネ

ene a p... ene hosipi=an kuni i=epakasnu hine

どのように帰ればよいか教えてくれて

ホシピアン ルウェ ネ アクス シン…… シランケ プ ネ ア アニネ

hosipi=an ruwe ne akusu sin... siranke p ne a an h_ine

私は帰ったところ、家から近い場所であったのだった

アウニ タ オヌマン カネ シレパアン ルウェ ネ コロカ

a=uni ta onuman kane sirepa=an ruwe ne korka

私の家に夕暮れにたどり着いたのだが

オラ コント ネア メノコ アヤイカテカラ

ora konto nea menoko a=yaykatekar

それから今度はあの女性に私は恋をした。

コント アプカシ トウイカ タ ワ アヌ キ ヒネ アウニ タ ホシピアン

konto apkas tuyka ta wa a=nu ki hine a=uni ta hosipi=an

今度歩いている途上からそう感じていて、私は家に帰った。

アエホツケイ アオシマ ワ オラノ

a=ehotkey a=osma wa orano

私の寝床に入ってそれから

イペアン カ ソモ キ ノ ホツケアン ワ アナン ワ

ipe=an ka somo ki no hotke=an wa an=an wa

食事もしないで、横になっていて

オラノ アユピヒ ネ ヤッカ

orano a=yupihi ne yakka

それから私の兄であっても

「アアキヒ マク キ ヒネ エネ アン? ヒナコロ アラカ?

“a=akihi mak ki hine ene an? hinakor arka?

「弟よ、いったいどうした? どこか痛いかな?」

アアキ コン ルスイ ペ アナク アホク ワ ネ ヤッカ

a=aki kor_ rusuy pe an y_ak a=hok wa ne yakka

弟は欲しいものがあるなら私が買ってきても

アアキ アコレ ペ ネ ルウエ ネ ア プ

a=aki a=kore pe ne ruwe ne a p

おまえにやるのだけれども

ネイ タ カ ネプ カ コン ルスイ ペ アン ワ ネ ヤクン

ney ta ka nep ka kor_ rusuy pe an wa ne yakun

どこか、何か欲しい物があるのであれば

「イエ ヤク ピリカ」

i=ye yak pirka”

私に言ったら良い」

セコロ アウヌフ アユピ イイエ ヤッカ

sekor a=unuhu a=yupi i=ye yakka

と父も兄も言っても

アイエ ヤッカ ネノ アナン アイネ

i=ye yakka neno an=an ayne

言っても同じようにして

タネ ラヤン ノイネ ヤイヌアン ヒ クス

tane ray=an noyne yaynu=an hi kusu

もう私は死んでしまいそうに感じたので

アウヌフ アホトウイエカリネ

a=unuhu a=hotuyekar h_in

私の母を呼んで

タプネ ネ ルウエ ネ ヤク アイエ アクス オラウン

tapne ne ruwe ne yak a=ye akusu oraun

こういうことなのだ、と言うとそれから

アユピヒ エウン イエ

a=yupihi eun ye

母は兄に伝え

アオナ エウン イエ ルウエ ネ ノイネ ヤイヌアン ア プ

a=ona eun ye ruwe ne noyne yaynu=an a p

父に伝えたように思われた

「ハウエ ネ ヤクン アアキヒ ホプニ ワ イペ ヤクネ オラウン

“hawe ne yakun a=akihi hopuni wa ipe yakne oraun

「それならば、弟が起きて食事をしたならば、それから

ナ トウモ ヤク オラ

na tumo yak ora

もっと体力が戻ったなら

ネ メノコ ウタラ オンネウタラ カ アエランポキウエン クス

ne menoko utar onneutar ka a=erampokiwen kusu

その女性たち、年寄りたちも気の毒に思うから

エウン アルラ クシ ネ ナ」

eun a=rura kus ne na”

そこへ弟を連れて行こう」

セコロ アユピヒ ハウエアン ヒネ オラ

sekor a=yupihi hawean hine ora

と兄が言って、それから

ホプニアニネ イペアン アイネ ケウオロ アコロ ア クス

hopuni=an h_in_ine ipe=an ayne kewor a=kor a kusu

起き上がって食事をするうちに力が戻ったので

アサパハ カ ノ カリネ オラ

a=sapaha ka no kar h_in_ine ora

髪もよく整えそれから

よめ アコン ルスイ ワ アプカサン ペ ネ クス

YOME a=kor_rusuy wa apkas=an pe ne kusu

嫁にもraitakute、行くのだから

アオナハ ピリカ コロ ペ アセ ワ アユピヒ カ セ イネ

a=onaha pirka kor pe a=se wa a=yupihi ka se h_in_ine

父が秘蔵していた物を背負い、兄も背負って

イルラ アユピ キ ヒネ

i=rura a=yupi ki hine

兄は私を連れて

ネア メノコ ウタラ コタン オツ タ パイエアン ルウェ ネ アクス

nea menoko utar kotan or_ta paye=an ruwe ne akusu

その女性たちの村に私たちは出かけていくと

ネア メノコ カ イヌカリ ワ オラノ

nea menoko ka i=nukar h_i wa orano

その女性も私に会ってから

イエヤイカテカラ ワ ライ ノイネ アニネ
i=eyaykatekar wa ray noyne an h_ine
 私に恋をされていて死にそうになっていて

オロタ アユピヒ イルラ ヒネ オラウン
orota a=yupihi i=rura hine oraun
 そこへ兄が私を連れて行ってそれから

アユピヒトゥラ ウトゥラアン ワ パイエアン マ オラ
a=yupihi tura utura=an wa paye=an w_a ora
 兄と一緒に連れ立って行ってそれから

ネア ポン メノコ ウヌウタリ
nea pon menoko unuutari
 その若い女性の母親たちは

パイェアニ エヤイコブンテク パ クス オラノ
paye=an h_i eyaykopuntek pa kusu orano
 私たちが行ったことを喜んだのでそれから

ネア ポン メノコ ホプニ ヒネ イペ カ キ
nea pon menoko hopuni hine ipe ka ki
 その若い女性は起き上がって食事もし

ケウオロ やら サパハ カ カラパ ルウェ ネ アクス
kewor YARA sapaha ka karpa ruwe ne akusu
 体力やら（を取り戻し）髪を整えたところ

イネア ピリカ ポン メノコ ネ ヒネ
inea pirka pon menoko ne hine
 大変に美しい女性となって

オラウン アユピ イトゥラ ケシ……
oraun a=yupi i=tura kes...
 それから私の兄は

トゥッコ レレコ キ ヒネ イラマンテアン コロ

tutko rerko ki hine iramante=an kor

2、3日私に付きそって狩りをすると

アエモニピリカパ プ ネ クス

a=emonipirkapa p ne kusu

首尾よく行ったので

ユク ネ チキ カムイ ネ チキ ヌウェ アコオカ シリ

yuk ne ciki kamuy ne ciki nuwe a=kooka siri

シカでもクマでも豊富にとれる様子を

アユピヒ ウカスイ キ ヒネ

a=yupihi ukasuy ki hine

兄も手伝って

オラ アユピ イホツパ ワ サニネ イサム ルウェ ネ イネ

ora a=yupi i=hoppa wa san h_ine isam ruwe ne h_ine

それから兄は私を残して下がってしまっ

オラノ オカケ タ アナン

orano okake ta an=an

それから私は（その女性のところで）暮らした。

オラノ エキムネアン コロ

orano ekimne=an kor

そして狩りをすれば

ユク ネ チキ カムイ ネ チキ ヌウェ アコアンノ クス

yuk ne ciki kamuy ne ciki nuwe a=koanno kusu

シカでもクマでも獲物に恵まれたので

コタン エピッタ アプカサン ワ

kotan epitta apkas=an wa

村の家々を私はめぐって

「テワノ カ ネノ オカ ウェンプリ コロパ ヤク アナクネ アロンヌ クスネ」
 “tewano ka neno oka wenpuri korpa yak anakne a=ronnu kusune”
 「今後もあのような悪行をするのであれば殺すからな」

セコロ カネ ハウェアナン コロ アナン ペ ネ クス
 sekor kane hawean=an kor an=an pe ne kusu
 と言って暮らしていたので

オラノ イシトマ パ プ ネ クス
 orano i=sitoma pa p ne kusu
 それからは私に恐れをなしたために

ネン カ オカ ウェンプリコロ カ ソモ キ
 nen ka oka wenpurikor ka somo ki
 誰もその後悪さをしなくなった

コタン コロ ウタラ キ
 kotan kor utar ki
 村の人々はそうした

アフプ カ ソモ キ ア…… チセ ソユン カ
 ahup ka somo ki a... cise soyun ka
 家に入っても来ず、家の外にも

ネプ アヌカラ カ ソモ キ ノ オカアン ペ ネ ルウェ ネ ア プ ア……
 nep a=nukar ka somo ki no oka=an pe ne ruwe ne a p a…
 誰かがくる様子も見えずに暮らしていたが

オッカヨ ヘカチ ホシキ アウココロ ヒネ オカアン ルウェ ア プ
 okkayo hekaci hoski a=ukokor hine oka=an ruwe a p
 男の子を最初に授かって暮らしていたが

スイ オカケ タ マッカチ シネ プ アウココリネ
 suy okake ta matkaci sine p a=ukokor h_ine
 またその後に女の子も1人授かって

トゥ ヘカッター アコロ ヒネ オカアン コロ
 tu hekattar a=kor hine oka=an kor

2人の子供を持ってくらしていると

アユピヒ カ アオナハ カ アエシカルン ヒ クス
 a=yupihi ka a=onaha ka a=esikarun hi kusu

兄や父のことが思い出されるので

「イルカ アオナウタリ エウン アラパアン マ エカン ペ ネ ヤク
 “iruka a=onautari eun arpa=an w_a ek=an pe ne yak

「少しの間、私の父達のところへ行って来るから

アプンノ オカ ヤク ピリカ」
 apunno oka yak pirka”

平穏に暮らしていなさい」

セコロ ハウエアナン コロ シ…… アウニ タ ホシピアン
 sekor hawean=an kor s... a=uni ta hosipi=an

と言いながら私の家に帰った

オラノ アオナウタリ アユプタリ イエヤイコプンテクパ ワ
 orano a=onautari a=yuputari i=eyaykopuntekpa wa

それから父たち兄たちも帰郷を喜んでくれて

イネ トウツコ レレコ アナン ア プ
 h_ine tutko rerko an=an a p

そして2、3日過ごしたが

オラノ コント オロ アラカ ウシケ カ アエランペウテクノ
 orano konto or arka uske ka a=erampewtekno

それから今度どこが痛いということもないまま

イカ トイクサ トイクサ ペコロ ヤイヌアン マ ア……
 i=ka toykus a toykus a pekor yaynu=an w_a a...

私の上に土をかぶせられたかのような感覚で

ホプニ カ アヌクリ イペ カ アヌクリ ヒネ

hopuni ka a=nukuri ipe ka a=nukuri hine

体を起こすのも大義、食事も大義になって

オラノ ネノ アナナイネ シネ パ リヤ オシルサン マ アナン

orano neno an=an ayne sine pa riya osirus=an w_ a an=an

それから私がそうしているうちにとうとうひと冬こすまで床についていて

オラノ アオナハ タプネ ネ ヒ ヌ プ ネ クス

orano a=onaha tapne ne hi nu p ne kusu

それから、父はこうしたことを耳にして

オラノ ナ ネウンネウン イエポタラ アイネ カトウサツテカン イネ

orano na neunneun i=epotara ayne katusattek=an h_ine

それからまたいろいろと私を心配してうちに、私は痩せてきて

シネパ リヤ アナニネ オラウン

sinepa riya an=an h_ine oraun

ひと冬が過ぎてそれから

アコロ ソン ウタラ カ アオンネ ウタラ

a=kor son utar ka a=onne utar

私の子供たちも年寄りたちも

アエランポキウエンパ プ ネ クス

a=erampokiwenpa p ne kusu

気の毒になって来たので

アホタヌカラ クス アウ……

a=hotanukar kusu au…

様子を見るために

アヌカン ルスイパ ワ カ キ プ ネ クス アラパアン

a=nukar_ rusuywa wa ka ki p ne kusu arpa=an

会いたくもなってきたので私は出かけた

ネア コタン オロ タ イヨロタン コタン オツ タ
 nea kotan oro ta iyorot=**an kotan or_ ta**
 その村に、私が身内になっている村に

アラパアン ルウェ ネ アクス
 arpa=**an ruwe ne akusu**
 行ったところ

ネア…… アウニヒ カ オアラ イサム イネ
 nea... a=**unihi ka oar isam h_ine**
 私の家がすっかり無くなっていて

オラ クワコッ アニネ アウニ アパ パケ タ
 ora kuwakot **an h_ine a=uni apa pake ta**
 それから家の戸口のところに

エウトウラシ ポン チセ アン ヒネ
 euturasi pon cise **an hine**
 拝み小屋が、小さな家があって

オロ タ エカニクス イプヤロポソレアン ルウェ ネ アクス
 oro ta ek=**an h_ikusu ipuyaroposore=an ruwe ne akusu**
 そこまで来て私が窓越しに見ると

ネア アウナラペヘ ネア アコロ ヘカッターラ
 nea a=**unarpehe nea a=kor hekattar**
 あの私のおば（姑）、あの私の子供たちが

アペエトク タ ウコテレケ ワ シノッ コロ オカ
 apeetok ta ukoterke wa sinot kor oka
 炉頭で跳ね回って遊んでいた

ネア アウナラペ アナク チサ チサ コロ アニクス
 nea a=**unarpe anak cis a cis a kor an h_ikusu**
 そのおばは、泣きに泣いていたので

アフナニネ アコロ ソン ウタラ アウキネ
 ahun=an h_ine a=kor son utar a=uk h_ine
 私は入って行って子供たちを抱き寄せて

アオマパ アオマパ コロ…… アクス
 a=omap a a=omap a kor... akusu
 私がどんどん可愛がっていると

アウナラペ ソレクス パラパラク コロ イコテレケ
 a=unarpe sorekusu parapararak kor i=koterke
 おばがそれこそ泣きながら飛びつき

「アココウエ アラパ プ オラノ エク ルウエ カ イサム
 “a=kokowe arpa p orano ek ruwe ka isam
 「婿どのが出かけて、それから帰る様子もなく

オラノ アエプ カ イサミ オラノ
 orano aep ka isam h_i orano
 それから、食べるものも無くなって

アマツネポホ エキムネ ルウエ ネ アクス イワク イサム ルウエ ネ ヒネ
 a=matnepoho ekimne ruwe ne akusu iwak isam ruwe ne hine
 娘が狩りに行ったのだが帰って来ないで

オラ コント アコロ オンネクル アマツネポ ホタヌ……
 ora konto a=kor onnekur a=matnepo hotanu...
 それから今度うちのおじいさんが娘の様子をみに……

フナラ クス エキムネ ルウエ ネ ア プ
 hunara kusu ekimne ruwe ne a p
 さがしに山へ行ったのだが

アコロ オンネクル カ イワク イサム ルウエ ネ ア プ
 a=kor onnekur ka iwak isam ruwe ne a p
 お爺さんも帰ってこないのだが

オラノ コント ネア アコタヌ ウン ウタラ

orano konto nea a=kotanu un utar

それから今度あの私の村の人々が

アウニ オ プ ソヨ ロク ソヨ ロクパ アイネ

a=uni o p soyo rok soyo rokpa ayne

我が家にあるものを、次々に外へ運び出してとうとう

オラウン アウニ カ ヘチャウパレ パ ヒネ

oraun a=uni ka hecawpare pa hine

そうして我が家もバラバラにして

オラ エウトウラシプ カラパ ヒネ オロ タ イヤリ パ ワ

ora euturasip karpa hine oro ta i=ari pa wa

それから拝み小屋を立ててそこに私たちを置いて

アエプ カ イサム ノ エネ イキパアニ カ イサム ペ ネ ク (ス)

aep ka isam no ene ikipa=an h_i ka isam pe ne ku(su)

食べる物もなくどうしようもなく

アコロ スツ サマサイ ネ ヤ アコロ ワ オカイ ペ ヘム オカイ ペ

a=kor sut samasay ne ya a=kor wa okay pe hem okay pe

私の祖母伝来の首飾りだの私の持ち物だの何だのを

メノコ オロ ペカ アヌイナ ノ アレラ ワ

menoko or peka a=nuyna no a=rera wa

女性たちのところで隠れて交換して

クスケライ アコロ ソン ウタラ アエレ コロ オカアン

kusukeray a=kor son utar a=ere kor oka=an

そのおかげで子供たちにも食べさせていた

カムイ オカイ ペ エネ アン クニ イカウンクナク

kamuy okay pe ene an kuni ikaunkunak

神がおられるので、かならずや

アココウエ モイレ ヤッカ イフナラ ワ セコロ ヤイヌアン クス
a=kokowe moyre yakka i=hunara wa sekor yaynu=an kusu
 私の婿どのが遅くなったとしても私たちを探すだろうと思ったので

オロワノ アコロ ソン ウタラ パテク エネ ア…… ヤラ…… ソ……
orowano a=kor son utar patek ene a... yara... so...
 それから子供たちだけこのように

アエヤイコシラムスイエ プ ネ コロ
a=eyaykosiramsuye p ne kor
 考えてみると

アシヌマ アナクネ ソモ イペアン マ ラヤン ヤクン ラヤン ヤッカ
asinuma anakne somo ipe=an w_a ray=an yakun ray=an yakka
 私はものを食べないで死んだなら死んでもいい

セコロ ヤイヌアン ヤッカ
sekor yaynu=an yakka
 と思ったけれど

アコロ ソン ウタラ ケウエ アニウケシ クス エネ アナン アイネ
a=kor son utar kewe a=niwkkes kusu ene an=an ayne
 私の子供たちの世話をする事ができなくなるので、このように（生きて）いて

タネ アナクネ アレラ プ カ イサム
tane anakne a=rera p ka isam
 今や交換する物もなくなって

アエプ カ イサム ノ オカアン ルウエ ネ エネ アン イ ネ」
aep ka isam no oka=an ruwe ne ene an h_i ne”
 食べ物もなく暮らしていたんだ」

シコロ カネ ネア…… アウナラペ ハワン
sekor kane nea... a=unarpe hawan
 と、その、私のおばは言った

「ソレクス エネ ヘタプ ネ アラム プ

“sorekusu ene hetap ne a=ramu p

「それこそ、これほど思っ

アシウト ウタラ アシウト オンネクル ネ ア アマチヒ ネ ア プ」

a=siwto utar a=siwto onnekur ne a a=macihi ne a p”

私のしゅうと夫婦、私のしゅうとじいさんであって、私の妻だったのに」

セコロ ヤイヌアン

sekor yaynu=an

と思った

オラノ オロ タ パラパラカン コロ ネ コロカ

orano oro ta paraparak=an kor ne korka

それからそこで泣き叫んだけれども

コント コタン エピッタ ホユプアン オラノ

konto kotan epitta hoyupu=an orano

今度は村じゅうをかけ回ってそれから

イヘコテ キラ ワ オカイパ プ アシクヌレ

i=hekote kira wa okaypa p a=siknure

私に向かって逃げてくる者は生かし

イエコホピ キラ パ プ アロンヌ ワ ソレクス ワ

i=ekohopi kira pa p a=ronnu wa sorekusu wa

私に背を向けて逃げるものは殺して、それこそ

ネ エネ イキアナニ カ アエランペウテク ノ キ コロ

ne ene iki=an a h_i ka a=erampewtek no ki kor

無我夢中でそうしながら

キ アイネ ヌスンピタタアン^[3] ルウェ ネ アクス

ki ayne nusumpitata=an ruwe ne akusu

やがて我に返ってみると

ヘンパク アイヌ タクプ アシクヌレ ルウエ ネ アアン オラウン
hempak aynu takup a=siknure ruwe ne aan oraun
 数人だけを生かしていたのだった

オカケ アナク オピッタ アロンヌ ワ イサム ルウエ ネ アアン
okake anak opitta a=ronnu wa isam ruwe ne aan
 そのあとはみな殺してしまったのであった

オラノ アコロ ソン ウタラ ソレクス アヤイコウムライパ
orano a=kor son utar sorekusu a=yaykoumuraypa
 それから私の子供たちをそれこそ撫で回して

アウナラペヘ トウラノ
a=unarpehe turano
 おばとともに

ウムライパアン コロ ウコパラパラカン コロ キパ アイネ
umuraypa=an kor ukoparaparak=an kor kipa ayne
 お互い撫でさすりながら共に泣いたあげく

オラ ネア コタン オツ タ ネア アシウトホ コタヌフ
ora nea kotan or_ ta nea a=siwtoho kotanuhu
 それからその村に、そのしゅうとの村に

アスプヤサッカ カ エヤイカプ ペ ネ クス
a=supuyasakka ka eyaykap pe ne kusu
 煙を絶やすわけにもいかないので

オラ コタン マウカ タ ヘンパク チセ アカリネ
ora kotan mawka ta hempak cise a=kar h_ine
 それから村の風上に、数軒の家を立てて

アシクヌレパ プ カ トウラノ アアリ
a=siknurepa p ka turano a=ari
 生かした者もいっしょにそこに置いた

アシヌマ カ スイ アコロ ソン ウタツ トウラノ

asinuma ka suy a=kor son utar_ turano

自分もまた子供たちと一緒に

アシリ エアヌ チセ アカリネ オロタ オカアン ラポッケ

asir eanu cise a=kar h_ine orota oka=an rapokke

新しく住む家を立ててそこに暮らしている間

コント アユピヒ イエポタラ ヒネ イフナラ クシ

konto a=yupihi i=epotara hine i=hunara kus

今度兄が私を心配して探しに

エク ルウェ ネ ヤク イェ コロ

ek ruwe ne yak ye kor

来たのだと言いながら

アユピ^o イェ コロ アン マ

a=yupi ye kor an w_a

兄が言って

アユピヒ イケウェホムス ア イケウェホムス ア コロ

a=yupihi i=kewehomsu a i=kewe homsu a kor

私の無事を祝福しねぎらいの言葉をかけた

オラ ホシピ アク (ス) アウタリヒ アウタンニマラハ

ora hosipi aku(su) a=utarihi a=utannimaraha

それから戻ったら身内の半分を

トウラ ワ エク ルウェ ネ ヤク イェ コロ エキネ

tura wa ek ruwe ne yak ye kor ek h_ine

連れてこようと言って来て

アウタリヒ アウタンニマラハ カ イピシカニケ ペカ オカ イネ

a=utarihi a=utannimaraha ka i=piskanike peka oka h_ine

身内の半分も、私の周りに暮らして

モヨノ コタン アネ ヒネ オラウン コント

moyono kotan a=ne hine oraun konto

人の少ないながらも村になって、それから今度

アオナ エネ ハワ…… アユピヒ エネ ハワニ

a=ona ene hawa... a=yupihi ene hawan h_i.

父がこう言い……、兄がこう言った

「エアラ イルシカ

“ear iruska

「あまりに腹を立てる（嘆き悲しむ）ことは

メノコ ネ ヤッカ オッカヨ ネ ヤッカ ソモ キ プ ネ クス

menoko ne yakka okkayo ne yakka somo ki p ne kusu

女性であっても男性であってもすべきでないから

ヤイラメコテアン ヤク ピリカ」

yayramekote=an yak pirka”

再婚したら良い」

セコロ ハウエアン コロ アコタヌ ワ ピリカ メノコ トウラ ワ エキネ

sekor hawean kor a=kotanu wa pirka menoko tura wa ek h_ine

と言いながら私の村から良い女性を連れてきて

アシエウタンネレ ヒネ オラノ オカアン

a=sieutannere hine orano oka=an

私は迎え入れて、それから暮らした

オラノ アウナラペ アケムヌ プ ネ クス アピリカレス アピリカコロ。

orano a=unarpe a=kemnu p ne kusu a=pirkaresu a=pirkakor.

それからおばを気の毒に思うので大切に養い、孝行した

オラノ チサ チサ

orano cis a cis a

それからおばは何度も泣いて

「アシヌマ パテク エネ オンネ パクノ アイピリカレス ワ アナン」

“asinuma patek ene onne pakno a=i=pirkaresu wa an=an”

「自分だけがこうして年老いるまで大切にされて暮らしている」

セコロ ハウエアン コロ キ

sekor hawean kor ki

と言って泣いた。

オラノ アコロ ソン ウタラ ソレクス アエヤム ペ ネ クス

orano a=kor son utar sorekusu a=eyam pe ne kusu

それから子供たちもそれこそ、気の毒に思うので

アウナラペヘ トウラノ アン マ

a=unarpehe turano an w_a

おばと一緒に暮らして

アマチヒ トウラノ アアリ ワ エキムネアン

a=macihi turano a=ari wa ekimne=an

私の後妻も一緒に家に置いて山へ行くと

ユク ネ チキ カムイ ネ チキ ヌウェ アコアン

yuk ne ciki kamuy ne ciki nuwe a=koan

シカでもクマでも獲物に恵まれて

オハシリホッパ カ アエアイカプ ペ ネ クス

ohasirhoppa ka a=eaykap pe ne kusu

家を留守にすることもできないので

チセ オロ ワ アナン マ^[4]

cise or wa an=an w_a

私は家にいて

イラマンテアン ヤッカ ヌウェ アコアン コロ

iramante=an yakka nuwe a=koan kor

狩りをしてでも獲物に恵まれながら

オラノ アナン マ

orano an=an w_a

それから私たちは暮らして

アウタリ ウタリ イシトマパ ソレクス キ パ プ ネ クス

a=utari utari i=sitomapa sorekusu ki pa p ne kusu

私の村人は私に恐れをなしていたので

イトウカリ エマウララパ ワ

i=tukari emawrarpa wa

私に忠実に従うので

ネプ アエ ルスイ ネプ アコン ルスイ カ ソモ キ ノ

nep a=e rusuy nep a=kor_ rusuy ka somo ki no

何を食べたいとも何を欲しいとも思わず

ソレクス ウエンケウトウムコロ パ ウエイサンペコロ パ

sorekusu wenkewtumukor pa weysampekora pa

それこそ、悪い心を抱く、悪い精神を持つ

コタン オツ タ ネ プ ネ クス

kotan or_ ta ne p ne kusu

村でのことだったので

ヘンパク パ アシクヌレ プ カ

hempak pa a=siknure p ka

数年の間、私が生かした者も

「タプネ ネ ワ アコロ カツケマツ アイペレ

“tapne ne wa a=kor katkemat a=ipere

「こうしたわけで、奥さんを養い

ヘカッタラ アイペレ ヒ カ

hekattar a=ipere hi ka

子供たちを養うことも

アシトマ プ ネ クス ソモ ルウエ ネ^[5]」

a=sitoma p ne kusu somo ruwe ne”

恐ろしく思えたので、そうしなかったのだ」

シコロ ハウエオカ コロ キパ コロ オカアン アイネ

sekor haweoka kor kipa kor oka=an ayne

と言いながらそうして暮らしているうちに

タネ…… アコン ルプネマツ カ アピリカコロネレ

tane ...a=kor_ rupnemat ka a=pirkakoronere

今は、私の姑も幸福なまま見取り

アポウタリ カ ルプネパ ワ

a=poutari ka rupnepa wa

私の子供たちも成長して

アマツネポホ ホシキ アマツネポホ

a=matnepoho hoski a=matnepoho

娘が、最初の娘

ホシキ アポホ ヤイラメコツパ

hoski a=poho yayramekotpa

最初の息子が結婚した

イコヤントネ ポロ アポ キ

i=koyantone poro a=po ki

一緒に暮らしていた長男が結婚した。

イヨシ アコロ アマチ エウン カ ポシレシッテアン マ

ios a=kor a=maci eun ka posiresitte=an w_a

私の後妻にも子どもがたくさんできて

ヤイラメコツパパ ウモシマ ウモシマ キ ア イネ

yayramekotpapa umosma umosma ki a h_ine

それぞれ結婚して

アシリ アイヌ パテク オカイ ペ ネ クス

asir aynu patek okay pe ne kusu

新しい住人ばかり暮らしたので

インネ コタン ポロ コタン アネ ワ

inne kotan poro kotan a=ne wa

家の立ち並ぶ村、大きな村になって

ネプ アエ ルスイ カ ネプ アコン ルスイ カ ソモ キ ノ キ アイネ

nep a=e rusuy ka nep a=kor_ rusuy ka somo ki no ki ayne

何を食べたいとも何を欲しいとも思わずに暮らしているうちに

タネ オンネアン シリ エネ アニ ネ クス

tane onne=an siri ene an h_i ne kusu

もう私は年老いたので

タップネ カネ モト アン

tapne kane moto an

このような縁起があった。

アエラミシカリ コタン オッ タ エカン ワ ヤイラメコテアン ワ

a=eramiskari kotan or_ ta ek=an wa yayramekote=an wa

見知らぬ村にやって来て結婚して

ウェイサンペコロ ウタラ オカ クス ソレクス

weysampekor utar oka kusu sorekusu

悪い心を持つ者たちがいたために

アマチヒ カ アライケ アシウトホ カ アライケ ワ

a=macihi ka a=rayke a=siwtoho ka a=rayke wa

私の妻も殺され、しゅうとも殺されて

オカケ タ エアシリ アオナハ ウパシクマ コロ クル ネ クシケライポ

okake ta easir a=onaha upaskuma kor kur ne kuskeraypo

その後に、父が博識だったおかげではじめて

イエポタラ アイネ シクヌアン マ ホシピアン マ

i=epotara ayne siknu=an w_a hosipi=an w_a

私を心配してくれていたために生きて帰ってきて

オカケ タ ラヤン パクノ

okake ta ray=an pakno

その後死ぬまで

アコロ オンネ ウタラ アコロ カツケマツ アエヤイコシラムスイエ

a=kor onne utar a=kor katkemat a=eyaykosiramsuye

私の老親たち、妻のことを考えながら

チシ トウラノ ネ ヤッカ キ コロ アナナイネ

cis turano ne yakka ki kor an=an ayne

泣きながらもそうしながら暮らしているうちに

タネ オンネアン シリ エネ アニ ネ クス

tane onne=an siri ene an h_i ne kusu

もう私は年老いたのだから

アポウタリ アエパシクマ セコロ シノ ニシパ ハウエアン

a=poutari a=epaskuma sekor sino nispa hawean

私の子供たちに語り残すのだ、と真の長者が語った

(萱野：ああ)

【注】

- [1] 言い誤り。父親はまだ殺されていない。
- [2] 難解な表現だが、意図することは、神々に対し、この女性が男性として行動することの承認と加護を求めるということであろう。
- [3] nusumpitata 『知里人間篇』 p235 蘇生する。ここでは忘我の状態から元に戻ることと解釈した。
- [4] 家において狩りに行ったというのは、狩小屋を使わずに、日帰りで狩りに行って帰ってきたということ。
- [5] 精神の悪い者が大勢住む村だったので、わずかにいた良い精神の村人も、彼らの目を恐れて、主人公の姑や子供たちの世話をすることができなかった、ということ。

20-7 ウエペケレ「イエマカアトウサレ メノコ」題名紹介 チチケウについて会話

語り手：木村きみ
聞き手・解説：萱野茂

萱野：これは **ciemakaatusa** (=iemaka の言い間違い) **menoko cicikew nitnehi i=kesanpa** [もろ肌を脱いだ女とチチケウニツネヒが私を追いかけてきた] というのが、あれだな。

木村：**iemakatusare.**

萱野：あ、**iemakaatusa** ちゅーの。

木村：うん。こう腰から上裸にして、

萱野：**iemakaatusa menoko cicikew nitnehi...**

木村：何ていうんだろ？ **cicikew** ていうもの。

萱野：よし、と。**cicikew** ってなんだと思う？

木村：わからない。

萱野：うーん、クマだと思うか？

木村：違うと思う。

萱野：クマではない？

木村：うん、クマでない、

萱野：したら何だろう？

木村：cicikew って言ったら、尾、しょっぱ……あの、尻尾のほうさちよつと毛生えて、耳ちよつと毛ついて、あと禿げたみたいなもんだっていう。

萱野：オオカミとも違う？ horkew [オオカミ] とも違う？

木村：違う違う。

萱野：あーなるほどな。

木村：違うもんらしい。

萱野：したらライオンみたいなもんか？

木村：そんなようなもんだかもしらんねー。

萱野：あーそうかい。

木村：すごくきかないもんだって。

萱野：あー。

20-8 テープ番号 日にち再紹介

解説：萱野茂

萱野：えーとこれは44年2月20……今日は4日(=24日)。20……20号テープをこれで終わります。

21-1 テープ番号 きみさん紹介

解説：萱野茂

萱野：えーテープ番号21号です。えー木村きみさんにやってもらっております。

21-2 ウエペケレ

「アサハ セタネ イカラ」

姉が私を犬にした

語り手：木村きみ

アサハ アニネ オカアン。

a=saha an h_{ine} oka=an.

私には姉がいて共に暮らしていた。

アサハ イオマパ イオマパ コロ トウラノ オカアン ペ ネ ア プ、

a=saha i=omap a i=omap a kor turano oka=an pe ne a p,

姉は私をととても可愛がってくれ、一緒に生活していたのだが、

タ…… アサハ トイトイ ウシ カム

ta... a=saha toytoy us kam

土の付いた肉、

トイトイ ウシ チェプ ネイ ワ ネ ヤ コロエク ワ

toytoy us cep ney wa ne ya kor'ek wa

土の付いた魚をどこからか持って来て

フライェ ア フライェ ア スパ ワ ピリカスケ イエレ。

huraye a huraye a supa wa pirkasuke i=ere.

洗っては煮て、すばらしい食事を私に食べさせてくれた。

イオマパ イオマパ コロ オカアン アイネ

i=omap a i=omap a kor oka=an ayne

とても可愛がられながら暮らしているうちに

ポロアン ペ…… ルウエ ネ ア プ、

poro=an pe... ruwe ne a p,

私も大きくなったのだが、

オラノ ヘントマニワノ

orano hentomaniwano

するといつの頃からか

ア…… アサハ ヒナク ウン アラパ コロ イサム アイネ

a... a=saha hinak un arpa kor isam ayne

姉はどこかに行ってしまう、

トン…… サツ チェプ シケ キ ワ エク ワ アエ コロ オカアン ペ ネ ア プ、

ton... sat cep sike ki wa ek wa a=e kor oka=an pe ne a p,

干魚を背負って来て、私達はそれを食べながら暮らしていたのだが、

オラ チセ トム ワ ラチッケレ。

ora cise tom wa racitkere.

姉はそれを家の真中からぶら下げた。

アペ エンカ タ ラチッケレ。

ape enka ta racitkere.

火の上にぶら下げた。

ウサ サツチェプ ヘム ウサ カム ネ チキ キ コロ

usa satcep hem usa kam ne ciki ki kor

干し魚だの肉だのをそうして

オカアン ペ ネ ルウエ ネ アイネ

oka=an pe ne ruwe ne ayne

暮らしているうちに

ソイネ コロ シネ チュプ カ イサム。

soyne kor sine cup ka isam.

姉は外に出ると一月もいない。

トゥ チュプ カ イサム コロ オカアン アイネ

tu cup ka isam kor oka=an ayne

二月もいなくなって、暮らしていたのだが、

エカクシ オラ エネ ハウエ アニ。イ……

ek akus ora ene hawe an h_i. i...

姉は戻ってくるとこのように言った。

「メノコ アナク シネン ネ オカ コロ ウエン ペ ネ クス

“menoko anak sinen ne oka kor wen pe ne kusu

「女というものは一人でいると良くないものなので

タン アコロ ペテムコ ウン…… タ ニシパ オルン アラパアン ペ ネ クス

tan a=kor pet emko un... ta nispa or un arpa=an pe ne kusu

この私達の川の上流へ、ニシパのところへ私は行くので

アトウレシ エネ ワ シネン エネ エアン ペ ネ ナ。」

a=turesi e=ne wa sinen e=ne e=an pe ne na.”

あなたは妹なので、一人でいなさい」

セコロ ハウエアン コロ

sekor hawean kor

と話す、

タラペ ムイエ エホトウイトウイエ(?) ポロ ケトウシ トモ タルシ。

tarpe muye ehotuytuye(?) poro ketusi tomo tar usi.

ゴザを束ねて、大きな背負い袋に荷縄を掛けた。

オラノ アサハ ケセ アアンパ。パラパラクアン コロ ケセ アアンパ コロ

orano a=saha kese a=anpa. parapararak=an kor kese a=anpa kor

それから、私は姉を追った。泣き喚きながら追っていくと

シケ アキッキク ランケ コロ キ アイネ ケセ アアンパ アクシ コント

sike a=kikkik ranke kor ki ayne kese a=anpa akus konto

荷物を叩きながらそうして、追いかけていると、今度

イウキネ イヌヤヌヤ ルウエ ネ アクシ タ……

i=uk h_in e i=nuyanuya ruwe ne akus ta...

私を掴まえて揉んでいたのだが、やがて

コント ピリカ ポン マツネ セタ ネ アナン。

konto pirka pon matne seta ne an=an.

私はきれいな若い雌犬となっていた。

オラノ パラパラクアン コロ ホシピアニネ

orano paraparak=an kor hosipi=an h_inē

それから私は泣きながら帰った。

オラノ アウニ タ アナン ヤッカ

orano a=uni ta an=an yakka

それから、私は家にいても

フ アエプ アエ カ エラミシカリ プ ネ クス

hu aep a=e ka eramiskari p ne kusu

生の食べ物を食べたことがないので、

アエプ アナク オカ ヤッカ アウク ワ フ アエプ アエ カ ソモ キ ノ

aep anak oka yakka a=uk wa hu aep a=e ka somo ki no

食べ物はあっても手に取って生の食べ物を食べることもせず、

オラノ チサン コロ チサン クシ ネ コロ

orano cis=an kor cis=an kus ne kor

それから泣きながら、泣こうとすると、

セタ ハウ アキ コロ オラノ アナン。

seta haw a=ki kor orano an=an.

犬の声を出しながらいた。

オラノ オハシツ タ キ アイネ タネ サツテカン。

orano ohasir_ ta ki ayne tane sattek=an.

それから誰もいない家でそうしていたあげく、もうすっかりやせてしまった。

ラヤン ノイネ ヤイヌアニ クス オラ ペットウラシアン。

ray=an noyne yaynu=an h_i kusu ora petturasi=an.

死んでしまうと思ったので、それから川に沿って上って行った。

アサハ アラパ ワ アヌカリ クス
a=saha arpa wa a=nukar h_i kusu
 姉が行き、それを私は見ていたので

ペツ トウラシ オシ アラパアン ワ インカラン クナク アラム コロ
pet turasi os arpa=an wa inkar=an kunak a=ramu kor
 川に沿って上流の方に、その後ろから行ってみようと思いつつながら

ペツ トウラシ アラパアン。
pet turasi arpa=an.
 川に沿って行った。

チサン クシ ネ コロ キ ワ コロ アラパアン アイネ
cis=an kus ne kor ki wa kor arpa=an ayne
 泣きそうになりながら行ったところ、

ヒナク ウン チプマシ クス インカラナクス
hinak un cip h_um as kusu inkar=an akusu
 どこかへ舟の音がするので見てみると、

アサハ ホクフ ネ ノイネ アン クル チプ オソツ タ アン。
a=saha hokuhu ne noyne an kur cip osor_ ta an.
 姉の夫であるらしい人が舟の尻の方にいた。

アサハ ネ ヒケ チプ サパ タ アニネ
a=saha ne hike cip sapa ta an h_ine
 姉の方は舟の頭の方において、

ウエトウンソ…… ウシネ^[1] チェプ コイキ パ コロ
uetunso... us h_ine cep koyki pa kor
 一緒に舟に乗り、魚を取りながら

パイェ パルウエ ネ イネ…… ルウエ ネ アクス
paye pa ruwe ne h_ine... ruwe ne akusu
 行くと

シポロ セタ トシカ カ ペカ ホユプ コロ アナ プ、
siporo seta toska ka peka hoyupu kor an a p,
 とても大きな犬が川岸の上を走っていたのだが、

イウエンコイキカラ ルウエ ネ アクシ アサハ エネ ハウエ アニ。
i=wenkoykikar ruwe ne akus a=saha ene hawe an h_i.
 その大きな犬が私に大声で吠えかかると、姉は次のように言った。

「ヒナク ワ エク ウエイ セタ
“ hinak wa ek wen_ seta
 「どこからか来た悪い犬、

エネ ライ アンキ アン ペ エネ ルウエ ネ プ、アコロ ピンネ
ene ray anki an pe e=ne ruwe ne p, a=kor pinne
 このようにお前はもう死にそうなのだが、私の雄犬が

ネア…… ライケ ヤク ピリカ ペ シクヌレ ヒネ ホシピ シリ アン。」
nea... rayke yak pirka pe siknure hine hosipi siri an.”
 殺してしまえばよかったのに。生かして戻るのだね」

セコロ ハウエオカ コロ ペタル オツ タ チプ ヤプテ パ ヒネ オラ
sekor haweoka kor petaru or_ ta cip yapte pa hine ora
 と言いながら船着場に舟をあげ、それから

トゥリ オロ チェプ エウシパ ワ トゥリ エウン……
turi oro cep euspa wa turi eun...
 舟を漕ぐ竿のところに魚を付けた。

ラリウ カネ チェプ エウシパ ヒネ チセ オルン パイエ パ ヒ クス
rariw kane cep euspa hine cise or_ un paye pa hi kusu
 竿で舟を漕ぎながら、魚を付けて家まで行くので

オシ ア…… アコ…… ピクイラ^[2] パ ヒネ
os a... a=ko... pikuyra pa hine
 後をつけて

パイェアン ルウエ ア…… アラパアン ルウエ ネ アクス

paye=an ruwe a... arpa=an ruwe ne akusu

私が行くと

マラット アン ワ エトコ オイキ ヒネ カムイ アコプニ チェブ

maratto an wa etoko oyki hine kamuy a=kopuni cep

酒宴があつて、準備してカムイに差し出される魚を

コイキ パ アアン ネ ノイネ

koyki pa aan ne noyne

獲っていたのだったらしく、

チセ オルン ナニ アサハ カ ネア トゥリ ウエ(?)

cise or un nani a=saha ka nea turi we(?)

家にすぐ姉もあの竿を

トゥラノ アフプ パ ルウエ ネ。

turano ahup pa ruwe ne.

もって家に入った。

オラノ メノコ ポ トパ オッカヨ ポ…… オッカイポ トパ

orano menoko po topa okkayo po... okkaypo topa

それから若い女の一群、若い男の一群が

イユタ パ シトウタ パ コロ オカ イネ オラノ

iuta pa sitouta pa kor oka h_inine orano

穀物を臼でつき、団子の粉をついて、それから

トゥカリケ タ アナン ルウエ ネ アクス

tukarike ta an=an ruwe ne akusu

その前に私がいると

イエランポキウエンノ オカイ ペ ニス オロ ワ シト ミマラ イコロパレ パ。

i=erampokiwennenno okay pe nisu or wa sito mimara i=korpare pa.

私をかわいそうに思ったものが、臼から団子の残りを私にくれた。

ニス ピシカン ペカ アチャラパ プ アウモマレ コロ

nisu piskan peka a=carpa p a=umomare kor

臼の周りで散らされたものを私は集めていると、

オラノ アサハ オロ タ ソイネ。

orano a=saha oro ta soyne.

それから姉はそこに出てきた。

「ヒナク ワ エク ウェン セタ エネ アウタリ イペレ パ シリ アン。」

“hinak wa ek wen seta ene a=utari ipere pa siri an.”

「どこからか来た悪い犬に、こうやってみんなが食べ物をあげているのね」

セコロ ハウエオカ。アイヌ ニマラ

sekor haweoka. aynu nimara

と言った。人々の半分は、

「ヒナク ワ エク ペ エネ サツテク ヒネ エネ イキ シリ アン。」

“hinak wa ek pe ene sattek hine ene iki siri an.”

「どこからかやって来たもの、どうしてこのように痩せているのだろうか」

セコロ ハウエオカ。ミアラハ イオマプ ロク イオマプ ロク パ コロ

sekor haweoka. miaraha i=omap rok i=omap rok pa kor

と言い、もう半分は私を可愛がりながら

「ヒナク ワ エク ペ

“hinak wa ek pe

「どこからかやって来たもの、

イヌヌカシ シリ エネ アニネ サツテク ルウエ エネ アン。」

inunukasi siri ene an h_inne sattek ruwe ene an.”

かわいそうに。どうしてこのように痩せているのだろうか」

セコロ ハウエオカ コロ シト ミマラ イエレ パ アイネ

sekor haweoka kor sito mimara i=ere pa ayne

と話す、団子のいくらかを私に食べさせていたが、

マラット アン ペ ネ クス

maratto an pe ne kusu

酒宴があるので、

チセ オツ タ シロヌマニ オラ アフプ パ ヒネ オラウン

cise or_ ta sironuman h_i ora ahup pa hine oraun

家の中に日が暮れると入って、それから

ソユン アパ アコトウク イネ アナン。

soyun apa a=kotuk h_ine an=an.

外側の戸に私はくっ付いていた。

セム オンナイ ワ アパ アコトウク イネ アナナクス

sem onnay wa apa a=kotuk h_ine an=an akusu

物置の中から戸に私はくっ付いていると

オロ タ チョクサミプ^[3] ミ カネ アン オツカイポ エキネ

oro ta cokusamip mi kane an okkaypo ek h_ine

そこに裏返しにした着物を着た男がやって来て

「ヒナク ワ エク ペ エネ？」

“hinak wa ek pe e=ne?”

「お前はどこから来たんだい？」

イイヨマップカ エネ アニネ サッスイスイェ シラン。」

iiyomapka ene an h_ine satsuysuye siran.”

かわいらしい。こんなふうにしっぽを振っている」

セコロ ハウエアン コロ アサパ ラライパ コロ アフン。

sekor hawean kor a=sapa raraypa kor ahun.

と言いながら私の頭を撫で入った。

ネ ルウエ ネ パテク カ アエヤイコブンテク ルウエ ネ ア プ、

ne ruwe ne patek ka a=eyaykopuntek ruwe ne a p,

そのことだけで私は嬉しくなったのだが、

インネ ヘカッターン ネ ヤ インネ ウタラ

inne hekattar_ ne ya inne utar

たくさん子どもや、たくさんの人々が

マラット アン ペ ネ コロ アフプ イネ

maratto an pe ne kor ahup h_ine

酒宴が始まると家の中に入り、

マラット アン アイネ ソイエンパ パ。

maratto an ayne soyenpa pa.

終わりになり、外に出てきた。

ソイエンパ アイヌ オピッタ ソイエンパ コロ

soyenpa aynu opitta soyenpa kor

外に出る人がみんな外に出ると

イヨッタ イオシ ノ ネア アフン コロ

iyotta ios no nea ahun kor

一番最後に、例の、入るときに

アサパ ラライパ ア オッカイポ ソイネ コロ

a=sapa raraypa a okkaypo soyne kor

私の頭を撫でた若者が外に出てくると

チニンパ シト チニンパ カム アニ カネ ヒネ ソイネ ヒネ

cininpa sito cininpa kam ani kane hine soyne hine

串に刺した団子と串に刺した肉を持って外に出て

「イヌヌカシ。ヒナク ワ エク ペ エネ イエヤイコブンテク シリ アン？」

“inunukas. hinak wa ek pe ene ieyaykopuntek siri an?”

「かわいそうに。どこから来たものがこうやって喜んでいるのか？」

セコロ ハウエアン。サラスイエスイエアン コロ アエリキヌカラ ペ ネ クス

sekor hawean. sarsuyesuye=an kor a=erikinukar pe ne kusu

と話した。私が尻尾を振りながら上を見たので

シト ネ ヤ キリプ ネ ヤ ウサ アリ ヒネ

sito ne ya kirpu ne ya usa ari hine

団子や脂身を串から抜いて、

イヘクタ アヌ ヒネ オラ

i=hekota anu hine ora

私の方に置いたが

キ オカケ アン ヤクン エネ イキアン クニ アエランペウテク イ クス

ki okake an yakun ene iki=an kuni a=erampewtek h_i kusu

その後私はどうすればいいかわからないので、

ネワオカイペ アエ カ ソモ キ ノ

newaokaype a=e ka somo ki no

それらを食べずに

ケセ アアンパ ヒネ ソイネアナクシ

kese a=anpa hine soyne=an akus

若者の後を追って外に出て

コタン ケスン アラパ ワ オシ アン…… アラパアン ルウエ ネ アクス

kotan kes un arpa wa os an... arpa=an ruwe ne akusu

村の端へ行く後から私が行くと

コタン ケシ タ ピリカ ポン チセ アン イネ エウン アフニ クス

kotan kes ta pirka pon cise an h_ine eun ahun h_i kusu

村の端にきれいな小さな家があり、そこに入っていったので

オシ トイコオリパカン イネ アフナン イネ

os toykooripak=an h_ine ahun=an h_ine

後からかしこまって私も入り、

アパ サム タ アナン ルウエ ネ アクス

apa sam ta an=an ruwe ne akusu

戸のそばにいと

ネア オツカイポ エネ ハウエ アニ。

nea okkaypo ene hawe an h_i.

その若者はこのように話した。

「アマチヒ ニサプ ノ シイエイエ ヒネ

“a=macihi nisap no siyeye hine

「私の妻は急に病気にかかり

ライ ヒネ シネン ネ ヤイコアンノ アナン ア プ、

ray hine sinen ne yaykoanno an=an a p,

死んでしまったので一人で暮らしているのだが、

ネプ カ アエプ カ イサム ヒネ アイコロパレ プ

nep ka aep ka isam hine a=i=korpora p

何も食べ物がなく、もらったものは

ホシピアン アエ クナク アラム コロ キ ア プ、

hosipi=an a=e kunak a=ramu kor ki a p,

帰って食べようと思っていたのに

アエエランポキウエン クシ アエエレ ルウエ ネ ア プ、

a=e=erampokiwen kus a=e=ere ruwe ne a p,

お前がかわいそうなので食べさせたのだが、

スケアン カ エトランネ。

suke=an ka etoranne.

料理するのも億劫だ。

アエプ アナクネ オカ コロカ スケアン エトランネ クス

aep anakne oka korka suke=an etoranne kusu

食べ物はあるけれども料理するのも億劫なので

タノカ ウ克蘭 マラット オツ タ キ プ

tanoka ukuran maratto or_ ta ki p

あの、晩の酒宴で出たものを

アエエレ シンネ ワ。」

a=e=ere wa sinne wa.”

私はお前に食べさせるよ」

セコロ アペ サムン エク セコロ ハウエアニ クス

sekor ape sam un ek sekor hawean h_i kusu

と、火のそばにおいでというので

アペ サム タ アラパアン。

ape sam ta arpa=an.

火のそばに私は行った。

アラソケ タ オリパカン イネ アナナクシ

arsoke ta oripak=an h_ine an=an akus

反対の座の方に畏まっていると

エウン イコロパレ イネ アエ イネ オラノ アナン イケ カ

eun i=korporare h_ine a=e h_ine orano an=an h_ike ka

そちらの方へ（食べ物）くれて、私は食べていたのだが

ネプ カ アカラ カ エアイカプ ペ ネ クス

nep ka a=kar ka eaykap pe ne kusu

何も私は作れないので

クンネイワ ホプニ コロ ピリカ スケ キ コロ

kunneywa hopuni kor pirka suke ki kor

朝起きるとおいしい料理を作って

オラ シエレパ イイペレ

ora sierepa i=ipere

自分で食べ、私に食べさせてくれた。

イタンキ フライエ ア フライエ ア ワ アニ イイペレ。オラ

itanki huraye a huraye a wa ani i=ipere. ora

お椀を洗って洗って、それで私に食べさせてくれた。それから

オヌマン イワク コロ スイ ナニ ネノ イキ ワ、
onuman iwak kor suy nani neno iki wa,
 夕方になると若者は帰ってきて、すぐ同じようにした。

「ネウン カ タ イキアン ワ エトコ アオイキ。アペ ポカ アアリ。」
“neun ka ta iki=an wa etoko a=oyki. ape poka a=ari.”
 「どうにかして帰る前にご飯の支度をしてあげたい。火だけでも焚いておきたい」

セコロ ヤイヌアン。オラノ チサン コロ アナン。
sekor yaynu=an. orano cis=an kor an=an.
 と私は思った。それから私は泣きながらいた。

トカプ アン コロ ヤユコカラカリ^[4] ワ アナン。
tokap an kor yayukokarkari wa an=an.
 昼になると体を丸めていた。

オロ タ イワク コロ オラノ イオマパ イオマパ コロ
oro ta iwak kor orano i=omap a i=omap a kor
 そこに若者が帰ってくると、私を可愛がって

スケ ワ イイペレ コロ オカアン アイネ シネアンタ
suke wa i=ipere kor oka=an ayne sineanta
 料理して私に食事させてくれながら暮らしていたのだが、ある日

「ネウン カ タ イキアン ワ エトコ アオイキ。」
“neun ka ta iki=an wa etoko a=oyki.”
 「何とかして食事の支度をしよう」

セコロ ヤイヌアン クス
sekor yaynu=an kusu
 と思うと、

アニ ワッカタ ニアトウシ ワッカ オンタロ サム タ アニ クス
ani wakkata niatus wakka ontaro sam ta an h_i kusu
 水を汲む手桶が水樽の近くにあったので

アサパエオコクテ ヒネ コロ ワ ペトツ タ ラナン ヒネ
a=sapaeokokte hine kor wa pet or_ ta ran=an hine
 私は頭にひっかけて持ち、川に下り

アニ ワッカ アニセ ア プ ワッカ シクノ オシマ ワクス
ani wakka a=nise a p wakka sikno osma wakusu
 それで水を汲もうとしたところ、水がいっぱいに入ったので

トゥラノ モマン ヒネ アエキマテク ヒネ
turano mom=an hine a=ekimatek hine
 それと共に私は流れて慌てて

エッセエッセ^[5] アン ルウエ ネ ア プ、
esseesse=an ruwe ne a p,
 ばちゃばちゃしたのだが、

アイヌ アネ ヒネ アサン テク ルウエ ネ。
aynu a=ne hine as=an tek ruwe ne.
 人間となって立っていたのだ。

アエヤイコプンテク コロ ワッカタアン ヒネ エカン イネ
a=eyaykopuntek kor wakkata=an hine ek=an h_ine
 私はそのことに喜びながら、水を汲んで行った。

アペ アアリ ヒネ アナン ルウエ ネ アクス
ape a=ari hine an=an ruwe ne akusu
 火を焚いていると

「フンナ イエトク タ アニアン カ アラムノ カ ソモ キ ア プ、
“hunna i=etok ta an h_i an ka a=ramuno ka somo ki a p,
 「私より先に、(家に人が)いるとは思わなかったのに

アペ アアリ ルウエ アン。」
ape a=ari ruwe an.”
 火が焚いてあるぞ」

セコロ ハワン コロ イワク イネ アフン ヒネ イヌカラ ア プ、
sekor hawan kor iwak h_ine ahun hine i=nukar a p,
 と言いながら若者が帰って家に入り、私を見て

イイエ ル…… オルコサヌ^[6] (?) ルウエ ネ ノイネ アニネ
i=ye ru... orukosanu(?) ruwe ne noyne an h_ine
 私にものを言うのを遠慮しているようで

オラ セタ カ イサム ペ ネ クス
ora seta ka isam pe ne kusu
 それから犬もいないので、

シルワンテ ア シルワンテ ア ヒネ オラ
siruwante a siruwante a hine ora
 あたりを見廻し見廻しして、それから

ア ルウエ ネ ヒネ ネプ カ ソモ イエ ノ ア ワ アン アイネ
a ruwe ne hine nep ka somo ye no a wa an ayne
 座り、何も言わず座っていた挙句、

シオシマク ウン ホサリ ヒネ オッチケ オロ セツパ オマレ ヒネ
siosmak un hosari hine otcike or seppa omare hine
 自分の背後の方へ振り向いてお膳に刀のつばを入れ、

イサムン シ…… サ ウ…… ルトウルトウ コロ
i=sam un si... sa u... rutorutu kor
 私の側にずり寄せながら

「ヒナク ワ エク ペ エネ ルウエ エネ アン？」
“hinak wa ek pe e=ne ruwe ene an?”
 「あなたはどこから来たのですか？」

セコロ ハウエアン コロ イコウエペケンヌ ク (ス)
sekor hawean kor i=kouepekennu ku(su)
 と言いながら私に尋ねたので

「タプネ カネ アサハ トウラノ オカアン ワ

“tapne kane a=saha turano oka=an wa

「このように私は姉と暮らし、

アサハ イオマパ イオマパ コロ イレス プ ネ ア プ、

a=saha i=omap a i=omap a kor i=resu p ne a p,

姉は、それはもう私をかわいがってかわいがって育てていたのですが、

オラノ クスケライ

orano kusukeray

そのおかげで

ネ エネ イキ ワ オカイ ペ アネ イ カ アエランペウテク ノ

ne ene iki wa okay pe a=ne h_i ka a=erampewtek no

私は何もわからずいたのですが、

シネ チセ ネノ オカアン ルウエ ネ ア プ、

sine cise neno oka=an ruwe ne a p,

一つの家族として暮らしていたのですが、

ヒナクン アラパ コロ

hinak un arpa kor

どこかへ行くと、

トイトイ ウシ ケ…… チェプ トイトイ ウシ カム コロ ワ エク ワ

toytoy us ke... cep toytoy us kam kor wa ek wa

土のついた魚、土の付いた肉を持って来て、

フライェ ア フライェ ア

huraye a huraye a

洗っては

スパ ワ イエレ コロ オカアン アイネ コント

supa wa i=ere kor oka=an ayne konto

煮て私に食べさせながら暮らしていたところ、

カム ネ ヤッカ チェプ ネ ヤッカ ピリカ ウシケヘ ルラ ワ
kam ne yakka cep ne yakka pirka uskehe rura wa
 肉でも魚でもいいところを運んできては、

アエ コロ オカアン ルウエ ネ アイネ
a=e kor oka=an ruwe ne ayne
 私達はそれを食べて生活していたのですが、

ヒナク ウン アラパ トウ チュプ カ イサム。シネ チュプ カ イサム ノ
hinak un arpa tu cup ka isam. sine cup ka isam no
 姉はどこかへ行くと二月も帰ってこない。一月もいなくなるのです。

ホシピ コロ ネノ イキ コロ オカアン ア プ、コント
hosipi kor neno iki kor oka=an a p, konto
 帰ってくると、また同じようにして暮らしていたのですが、

『ヤイエラムコテアン。タン アコロ ペテムコ タ キ プ ネ ルウエ ネ。』
'yayeramkote=an. tan a=kor pet emko ta ki p ne ruwe ne.'
 『私は結婚することにした。この私達の川の上流の人とだよ』

セコロ ハウエアン コロ コロ……
sekor hawean kor kor...
 と言うと、

イホッパ クナク キ ワ ケセ アアンパ クシ ルシカ クス
i=hoppa kunak ki wa kese a=anpa kus ruska kusu
 私を残そうとして私は後を追ったので、姉は怒って

イウキネ イヌヤヌヤ アクス セタ ネ イカン ルウエ ネ イネ
i=uk h_ine i=nuyanuya akusu seta ne i=kar_ ruwe ne h_ine
 私を掴んで揉んだところ、私は犬にされてしまい、

イホッパ ルウエ ネ ワ オラノ チサン クシ ネ コロ
i=hoppa ruwe ne wa orano cis=an kus ne kor
 残されて、それから私は泣こうとすると

セタ ハウ アキ。オハシッ タ オラノ アナン コロ
 seta haw a=ki. ohasir_ ta orano an=an kor
 犬の声になり、空き家にいると

フ アエプ アエ カ エラミシカリ プ ネ クス
 hu aep a=e ka eramiskari p ne kusu
 生の食べ物を食べたことがないので

イペアン カ ソモ キ ノ タプ ネノ アナナイネ
 ipe=an ka somo ki no tap neno an=an ayne
 食事もせずずっとそうしていたあげく、

タネ ラヤン ノイネ ヤイヌアニ クス
 tane ray=an noyne yaynu=an h_i kusu
 もう死んでしまうと思ったので

アサハ アフナラ ルウエ ネ アクシ
 a=saha a=hunara ruwe ne akus
 姉を探すと、

エネ アサハ ウムレク チェプ コイキ パ ヒネ
 ene a=saha umurek cep koyki pa hine
 姉夫婦が魚をとって

トゥリ オロ チェプ エウシパ ヒネ パイエ パ。ケセ アアンパ。
 turi or cep euspa hine paye pa. kese a=anpa.
 竿に魚をつけて行き、私は後を追いました。

オラ ピンネ ポロ セタ イウエンコイキカン ルウエ ネ アクス
 ora pinne poro seta i=wenkoykikar_ ruwe ne akusu
 すると、雄の大きな犬が私に大声で吠えかかると、

『ピンネ ヒナク ワ エク ウエン セタ ライケ イケ マク？
 'pinne hinak wa ek wen seta rayke h_ike mak?
 『雄犬よ、どこからか来た汚らしい犬を殺したらどうだい。

ソモ ノ ホシピ° シリ アン。』

somo no hosipi siri an.'

そうしないで帰るのかい。』

セコロ ハウエアン コロ

sekor hawean kor

と姉は言いながら、

ネア コロ セタ コパシロタ コロ パイエ パ ルウエ ネ アクシ

nea kor seta kopasirota kor paye pa ruwe ne akus

その自分の犬を叱りながら行くと

マラット アン イネ シトカラ アン イネ

maratto an h_ine sitokar an h_ine

酒宴があり、団子づくりが行われていて、

イエランポキウエン ワ オカイ パ プ

i=erampokiwen wa okay pa p

私をかわいそうに思う人に

シ…… シト イエレ。

si... sito i=ere.

団子を食べさせてもらいました。

イコパシロタツパ イケ イコパシロタツパ コロ キ パ ルウエ ネ ヒネ

i=kopasirotatpa h_ike i=kopasirotatpa kor ki pa ruwe ne hine

私を罵るものは、私を罵って

シロヌマン ルウエ ネ アクス

sironuman ruwe ne akusu

日が暮れると

マラット アン ペ ネ コロ

maratto an pe ne kor

酒宴の時間になると、

アイヌ オピッタ ウエカラパ コタン エピッタ キ ヒネ
aynu opitta uekarpa kotan epitta ki hine
 人が村中から集まってきて

チセ オルン アフプ パ ワ
cise or un ahup pa wa
 家に入った後は、

オカケ タ アパ サム アコトウク ヒネ アナン ルウエ ネ アクス
okake ta apa sam a=kotuk hine an=an ruwe ne akusu
 戸のそばに私はぴったりとくっついていると

チョクサミプ ミ カネ アン オツカイポ
cokusamip mi kane an okkaypo
 裏返しにした着物を着た若者、

アコロ オツカイポ アサパ ラライパ コロ
a=kor okkaypo a=sapa raraypa kor
 私の若者が私の頭を撫でると

アフン ルウエ ネ ヒネ オラノ アエヤイコブンテク コロ アナナブ、
ahun ruwe ne hine orano a=eyaykopuntek kor an=an a p,
 入って行ったので、私は嬉しく思っていたのですが、

ソイネ コロ シト イコレ コロカ アエ イ ワ オラ
soyne kor sito i=kore korka a=e h_i wa ora
 外に出てくると、団子をくれたけれども、私は団子を食べてからでは、

アコロ オツカイポ ニシパ ヤクン…… アオラウキ ヤクン
a=kor okkaypo nispa yakun... a=orawki yakun
 私のニシパを逃したら、

エネ イキアニ カ アエランペウテク ワ
ene iki=an h_i ka a=erampewtek wa
 どうしたらいいかわからなくなってしまう。

アエ カ ソモ キ ノ アコロ ニシパケ ケセ アアンパ イネ
 a=e ka somo ki no a=kor nispake kese a=anpa h_ine
 食べずに、ニシパ、あなたの後を追いかけて、

エカン ルウエ ネ アクシ エネ イピリカコロ イイペレ ワ クス
 ek=an ruwe ne akus ene i=pirkakor i=ipere wa kusu
 来ると、こうやって私を大切に、食事もさせてくれたので

ネウン ポカ タ イキアン ワ
 neun poka ta iki=an wa
 何とかしてどうに

ニ ポカ ワッカ ポカ アタ ワ ヤヤッタサアン
 ni poka wakka poka a=ta wa yayattasa=an
 薪だけでもとり、水だけでも汲んでお返ししよう

セコロ ヤイヌアン コロ
 sekor yaynu=an kor
 と思いながら、

オラノ ケシト アン コロ イパロ アオイキ コロ アナナイネ
 orano kesto an kor i=paro a=oyki kor an=an ayne
 それから毎日私は面倒をみてもらいながら暮らしている

タネ トウマシヌアン カ キ。
 tane tumasnu=an ka ki.
 もう、すっかり元気になり

ケウオロ アオ プ ネ クス ネウン ポカ イキアン ワ
 kewor a=o p ne kusu neun poka iki=an wa
 力もついたので、何とかして

ワッカタアン ルスイ クス アレクチヒ ニアトウシ アエオコクテ ヒネ
 wakkata=an rusuy kusu a=rekucihi niatus a=eokokte hine
 水を汲みたいので、首に水桶を引っ掛け

ペトツ タ ラナニネ ワッカ アオマレ ア プ、
pet or_ ta ran=an h_ine wakka a=omare a p,
 川に下り水を入れたのですが、

ネア ニアトウシ ワッカ オシマ イネ ニアトウシ トウラノ モマン イネ
nea niatus wakka osma h_ine niatus turano mom=an h_ine
 その水桶に水が入った結果、水桶と共に流され

エッセエッセ^[7]アン。
esseesse=an.
 ばちやばちやしました。

ネウン ポカ ヤヤシピリカレアン ルスイ クス キ ルウエ ネ ア プ、
neun poka yayaspirkare=an rusuy kusu ki ruwe ne a p,
 なんとか立ちたいので、そうしていたのですが、

アイヌ アネ イネ アサン テク ルウエ ネ
aynu a=ne h_ine as=an tek ruwe ne
 私は人間になって立っていたので、

オラノ アエヤイコプンテク イネ
orano a=eyaykopuntek h_ine
 嬉しくなって

ワッカタアン ワ エカン ルウエ ネ。」
wakkata=an wa ek=an ruwe ne.”
 水を汲んできたのです」

セコロ ハウエアナン ルウエ ネ アクシ
sekor hawean=an ruwe ne akus
 と私が話すと

オラノ イケムヌ ハウ コカリ コロ オラノ オカアン。
orano i=kemnu haw kokari kor orano oka=an.
 それから、若者は私にかわいそうだと何度もいい、暮らしていた。

オラノ エトコ アオイキ。スケアン。

orano etoko a=oyki. suke=an.

それからは若者が帰ってくる前に食事の支度をした。

「ソモ ネプ アカラ ヤッカ ピリカ。

“somo nep a=kar yakka pirka.

「何も作らなくても良い。

アペ アニネ エウン イワカン すれば いい ルウエ ネ」

ape an h_ine eun iwak=an SUREBA II ruwe ne”

火のあるところに帰ればそれでいい」

セコロ ハウエアン。

sekor hawean.

と言った。

ネア オックアイポ ハウエアン コロ

nea okkaypo hawean kor

その若者は言いながら、

オラノ トウラノ オカアン アイネ エネ ハウエ アニ。

orano turano oka=an ayne ene hawe an h_i.

それからはしばらく一緒に暮らしていて、このように言った。

「シネン アネ ワ アナン。

“sinen a=ne wa an=an.

「私は独り者です。

オラ アコロ カツケマツ ネ ヤッカ

ora a=kor katkemat ne yakka

あなたも

エウン アラパ ヒ カ イサム ルウエ ネ ヤクン

eun arpa hi ka isam ruwe ne yakun

いくところがないのなら

ウエウタンネアン チキ ウェン ルウエ アン？」

ueutanne=an ciki wen ruwe an?”

私達は結婚してはどうだろうか？」

セコロ ハウエアニクス

sekor hawean h_ikusu

と話すので

「ヤッカ ピリカ。」

“yakka pirka.”

「いいですよ」

セコロ ハウエアナン ルウエ ネ。

sekor hawean=an ruwe ne.

と私は言った。

ラポッケ ネア コタン コン ニシパ オロ ワ

rapokke nea kotan kor_ nispa oro wa

そのうちに、この村の村長から

アイエトウン ルウエ ネ コロカ アコパン。

a=i=etun ruwe ne korka a=kopan.

結婚を申し込まれたが、私は断った。

「アン クシケライポ シクヌ プ アネ ルウエ ネ ヒネ オラ

“an kuskeraypo siknu p a=ne ruwe ne hine ora

「若者がいたおかげで私は生きているので、

アコロ オツカイポ モシマ プ アナク ソモ アエウタンネ プ ネ。」

a=kor okkaypo mosma p anak somo a=eutanne p ne.”

私のニシパと別の人とは結婚しなかったのです」

セコロ ハウエアナン ルウエ ネ ヒネ オラノ オカアン ルウエ ネ。

sekor hawean=an ruwe ne hine orano oka=an ruwe ne.

と話し、そして、一緒に生活した。

ネプ アエ ルスイ ネプ アコン ルスイ ソモ キ ノ
nep a=e rusuy nep a=kor_ rusuy somo ki no
 何を食べたいとも何を欲しいとも思わないくらい何不自由なく、

ネ アコロ オツカイポ エトコ アオイキ
ne a=kor okkaypo etoko a=oyki
 私の若者のために家事をした。

ニ ネ ヤ ケメイキ ネ ヤ アサハ エネ イキ ワ アヌカン イネ
ni ne ya kemeyki ne ya a=saha ene iki wa a=nukar_ h_ine
 薪でも、針仕事でも姉がするのを見ていて

ネン イエパカシヌ ペコロ ケメイキ ネ ヤ アキ コロ オカアン ルウエ ネ。
nen i=epakasnu pekor kemeyki ne ya a=ki kor oka=an ruwe ne.
 誰かに教わったように、針仕事もしながら暮らしていた。

オカアン ルウエ ネ アクス オラノ コント
oka=an ruwe ne akusu orano konto
 一緒に生活していると、今度

ネア アサハ ウムレク トウ ス アツ ウコトウイパ レ ス アツ ウコトウイパ
nea a=saha umurek tu su at ukotuyppa re su at ukotuyppa
 例の私の姉夫婦は鍋が煮立つわずかの間でも

ウコイキ コロ パテク オカイ パ プ ネ ヤク アイエ。アヌ。
ukoyki kor patek okay pa p ne yak a=ye. a=nu.
 けんかばかりしているという。そう聞こえてきた。

イテキ エタラカ アプカシ アン。イテキ エタラカ……
iteki etarka apkas y_an. iteki etarka...
 決してむやみに歩くものではない。

ケウトウム ウエン パ プ カ オカイ ペ ネ ナ。
kewtum wen pa p ka okay pe ne na.
 悪い心を持った者がいるものなのだよ。

イテキ キ クナク アヘコテ オツカイポ イイエ プ ネ クス
 iteki ki kunak a=hekote okkaypo i=ye p ne kusu
 決してそうしないようにと私は夫に言われたので

コタン オツ タ ポン メノコ
 kotan or_ ta pon menoko
 村の若い女性、

トウン レン トウラノ パテク エアン (?) クナク アイエ。
 tun ren turano patek ean(?) kunak a=ye.
 二、三人とだけいるように言われていた。

エアラキンネ ケウトウム ピリカ クル
 earkinne kewtum pirka kur
 とても気立てがよい人で、

コタン コン ニシパ ウタン ネ ア プ、
 kotan kor_ nispa utar_ ne a p,
 村長の家族はあったのだが、

「ネア メノコ アン イ
 “nea menoko an h_i
 「例の女性が来てからは

オラノ エアラキンネ ウエイ サンペ コロ パ ワ ソレクシ
 orano earkinne wen_ sampe kor pa wa sorekus
 (村長一家は)非常に悪い心を持つようになって

トモ アエオカ フミ ウエン ペ ネ ア プ、
 tomo a=eoka humi wen pe ne a p,
 側にいるのもよくないものだ

エネ…… エネ ハウエ エネ アン」
 ene... ene hawe ene an”
 ということだ」

セコロ ハウエオカ コロ キ コロ オラウン

sekor haweoka kor ki kor oraun

と(人々は(?))言いながら、そうして

オラ ネア アサハ ピリカノ エイタサ キ ルウエ^[8]

ora nea a=saha pirkano eytasa ki ruwe

あの、姉がとても良いことをしたのは、

イトウラ ヤクン アエマカ クニ ラム クス

i=tura yakun a=emaka kuni ramu kusu

私を連れていっていたら自分が嫌われると思ったので

セタ ネ イカラ ヒ ネ アアン ヒ カ アエラムアン ルウエ ネ。

seta ne i=kar hi ne aan hi ka a=eramuan ruwe ne.

私を犬にしたことがわかり、そうして暮らしている間に

オラノ オカアン ラポッケ ネ アコロ ニシパ アコポシレシッテ。

orano oka=an rapokke ne a=kor nispa a=koposiresitte.

夫と私の子どもがたくさんできた。

ネプ アエ ルスイ ネプ アコン ルスイ カ ソモ キ オラ

nep a=e rusuy nep a=kor_ rusuy ka somo ki ora

何を食べたい、何を欲しいとも思わずにいて

ネア アサハ トウ スイ レ スイ イソイケ タ エク。

nea a=saha tu suy re suy i=soyke ta ek.

姉は二度三度、私の家の外に来ていた。

アシワ アン ヒケカ エネ イ カ シラナク

as wa an hikeka ene h_i ka siran y_ak

立っていたけれども、どういうことで

エネ イイエ プ…… アク セコロ ヤイヌアン ペ ネ クス

ene i=ye p... y_ak sekor yaynu=an pe ne kusu

私に何を言うのだろうと思っていたので

エウン イタカン ヘネ キ カ ソモ キ ノ キ アイネ
 eun itak=an hene ki ka somo ki no ki ayne
 そちらに話すこともせずにいたところ、

ネ アサハ カ コント エク ルウエ カ イサム ノ
 ne a=saha ka konto ek ruwe ka isam no
 姉は来ることもなくなり

ウコイキ パテク キ パ オラノ
 ukoyki patek ki pa orano
 喧嘩ばかりして

ネア コタン コン ニシパ カ だんだんに ウエン クン ネ パ。
 nea kotan kor_ nispa ka DANDANNI wen kur_ ne pa.
 その村長も段々に貧乏人になった。

エネ イキ パ イペ カ キ ヒ カ イサム パ コロ オカ ヤク アイエ ヒケカ
 ene iki pa ipe ka ki hi ka isam pa kor oka yak a=ye hikeka
 どうしようもなく、食べ物を手に入れようもなくなっているということだったが、

アサハ オロ タ カ アラパアン カ エラミシカリ ノ オカアン アイネ
 a=saha oro ta ka arpa=an ka eramiskari no oka=an ayne
 私は姉のところにも行かずについて

アポ ウタリ ルプネ ワ
 a=po utari rupne wa
 私の子どもたちも大きくなり

ヤイラメコツパ ネ ヤ キ パ ワ オロ ペカ カ イキアン。
 yayramekotpa ne ya ki pa wa oro peka ka iki=an.
 結婚したりして、子どもたちのところに行ったりした。

ネプ アエ ルスイ ネプ アコン ルスイ カ ソモ キ。
 nep a=e rusuy nep a=kor_ rusuy ka somo ki.
 何を食べたい、何を欲しいとも思わなかった。

パク カツケマツ イサム カツケマツ アネ ワ

pak katkemat isam katkemat a=ne wa

これほどまで立派な女性はいないというほどの女性に私はなり、

タネ アポウタリ カ ルプネ

tane a=poutari ka rupne

もう私の子どもも大きくなり、

アミッポウタリ カ インネ ワ オカ シリ アヌカラ コロ

a=mippoutari ka inne wa oka siri a=nukar kor

孫もたくさんいる様子を私は見ながら

オンネアン ペ ネ クス

onne=an pe ne kusu

年をとったので、

タプネ カネ アサハ ピリカアン ルウエ イエケシケ クシ

tapne kane a=saha pirka=an ruwe i=ekeske kus

このように姉が私の美しい様子を嫌って

セタ ネ イカラ ヤツカ

seta ne i=kar yakka

犬にしたけれども

セレマカ アコロ クス ニシパ オロ アエオツ ワ

sermaka a=kor kusu nispa or a=eot wa

守護神がいたので、ニシパのところを訪れて

ネプ アコン ルスイ アエ ルスイ ソモ キ ノ キ アイネ

nep a=kor_ rusuy a=e rusuy somo ki no ki ayne

何を欲しいとも何を食べたいとも思わず

タネ オンネアン シリ ネ クス アポウタリ アエウパシクマ セコロ

tane onne=an siri ne kusu a=poutari a=eupaskuma sekor

もう年をとったので子どもたちに話すのだと

シノ カツケマツ ハウエアン コロ オンネ。

sino katkemat hawean kor onne.

立派な女性が話しながらこの世を去った。

【注】

- [1] uetunus 「相乗りする」と言おうとした可能性を考えた。
- [2] okapikuyra と言おうとしたと解釈した。
- [3] 裏返しにした着物を着ているということは、配偶者を亡くしたばかりであることを意味している。
- [4] 主人公の描写のようだが、人称接辞が付いていないので疑問が残る。
- [5] 辞書等では確認できない語だが、日本語解説から「ばちゃばちゃする」という訳を付けた。
- [6] 言いさしをしているようで、語形は判然としないが、日本語解説をもとに「遠慮している」という訳をつけた。
- [7] 辞書等では確認できない語だが、日本語解説から「ばちゃばちゃする」という訳を付けた。
- [8] 一種の反語的な言い方。「あんなひどいことをした

21-3 ウエペケレ「アサハ セタネ イカラ」質問と解説

語り手：木村きみ
聞き手・解説：萱野茂

萱野：あー非常にいいね。

(笑い声)

萱野：これは a=saha seta ne i=kar [姉が私を犬にした] という、そしていま
の中でね、tu su ak ikot... うーん ikotuypa re su ak ikotuypa ちゅう。

木村：あの一、喧嘩すること。

萱野：うん、喧嘩するから。

木村：うん、そうだ。鍋煮たるみたいに、一回煮立った鍋と二回煮立った鍋の
煮たる間の喧嘩 (笑)

萱野：あーそういうことを、こうゆうふうに言う。

木村：tu su... tu su at ikotuyere... ukotuypare したとかって。

萱野：あーはーあーそうか、鍋一回煮たる間

木村：喧嘩する、二回も三回もする間に、そのくらいの間喧嘩ばかりしてた。

萱野：あーなるほどなるほど。

木村：うん、昔の鍋は大きいから、その鍋、二回三回大きな鍋煮たる間の喧嘩
(笑い声)

萱野：そうすると、その喧嘩するのが非常に間近いということ。

木村：うんうんうん

萱野：tu su tu su... tu su ap ですか？ tu suwat？

木村：tu su at

萱野：あつ、tu su at

木村：suwo... suw、atuhu、atuhu、tu su at re su at...

萱野：tu su ak ikotuy... ikotuypare

木村：tu su at re su at iko... ukotuypa

萱野：ukotuypa、u... u だ、なるほどね。tu su at うん、tu su ak ukotuypa re su ak ukotuypa ukoyki patek oka yak a=ye と、こういう調子だな？

木村：うんうん、そうそうそう（笑い声）

萱野：あーそうかそうか、なるほどなるほど。この一、こういうの録音しててね、聞いたことない言葉だけをメモして待ってるの。そしてこうゆうふう聞く。そうするとそれによって、次々にアイヌ語わかるわけだな。それからなんたっけ？ もうひとつ。

木村：niatus〔水桶〕

萱野：niatus はわかったんだ。そーかい。今のは、えーわたくしは姉と二人で何不自由なく生活……ね、普段、あまり不自由なくないな。少しは、まー不自由はしたんだけど、まー兄が……あつ兄でない。姉が大切に私を育ててくれておった。それは子供のころは非常に仲良くしておったんだけど、やや一人前になったら姉はどこかへ出かけて行っては、一日いない二日いない。そして toytoy us se... toytoy us cep toytoy us kam〔土がついた魚、土がついた肉〕ちったか？

木村：うん、そう。

萱野：うん、そう、その土のついた肉、土のついた魚を持ってきてはそれを私に食べさせながら生活をしておった。でだんだん自分も一人前近く物心ついた以上に一人前の娘ぐらいになったら、姉はどっかに行っっては一週間いない、そのうち十日いない。その月……その次には一か月いないというふうに、そしてはよく乾いたいい魚をひと山背負ってきて、そして私に食べさせ食べさせ生活をしておった。

そしたらある日の事、姉の言うのには、「わたくしは隣村へお嫁に行くからお前は一人でいなさい。一人でとっても女というものは、一人前になればお嫁に行けるものだから、私はお嫁に行くからあんたは一人でいなさいよ。」と言って、私をおいて自分の物を大きな **toma** [ごぎ] に包んで、背負って出かけて行った。

それを見た私は本当に悲しくなって、なんとか姉と一緒に出かけ、ついて一緒に行きたいと、姉が行ってしまったらあと父がおるわけでもないし母がおるわけでもなし、誰も近所に人もおらないもう本当に寂しいので、なんとか一緒についてってと泣きながらあとを追いかけると、戻ってきて私をめちゃくちゃぶん殴りつけてぶっ飛ばして、さっさと歩き始める。まだあとを追いかけていく。何回か繰り返すうちに姉は私を押さえつけて、ぎゅぎゅっと。こーあの **nuyanuya** とアイヌの言い方でしたんですけど、何か髪でもその手の中でぐるぐるっと、ま、あのがちゃがちゃっとするような表現なんですけれども、私を押さえ、がしやがしやとやったと思ったら自分は一匹の犬になってしまったと。

それで姉はさっさと行く。あとへ追いかけて行こうとして、声を出せばワンワンという犬の吠え声しか出る。私は本当に悲しくなってしまうと、姉の行ったあとへ一緒に行こうとしてもそれもできないし、戻って自分たちの住んでいた家へきた。いままでは煮た物ばかり食べて生活しておったのに、急にそれが生ものを食べるということもできないし、腹すきまぎれに食べても、それも思うようにいかない。

それが何日か何か月か続いて、もういまはこのままだら死ぬんじゃないかとそんなふうに思われるぐらいに私も痩せ衰えて弱った犬になってしまった。それで姉が川を上ってずっと上の方へ行ったので、姉のどこに行きたいなとそんなふうに考えたものだから、だいぶ川を上の方へ上って。 **pet turasi** だな。

木村：そうだ

萱野：川を上って行ったと、そしたら姉が兄 (= 夫) と一緒に魚捕りをしてい

た。それは秋味、サケ、シャケですけれども、それを捕っておった。でもどっさり魚を捕っておるそのそばに行ったら、姉は「どっから来たこの瘦せ犬め」と言いながらも自分を見たふりもしない。そうすると一緒におった大きな大犬が自分に襲いかかってきて、もううんと虐められて本当に殺されるかと思いながらも、ようやく死にもしないでおった。

姉達は魚をいっぱい「トゥリ」(turi) といって、このウエペケレ〔散文説話〕、非常に情景描写が細かくできておるんですけれども、魚を捕った魚を「トゥリ」(turi) という舟を漕ぐ竿にいっぱい通して、その竿がたわわにしるぐらいに魚を家の中に持って入るなんて、そうゆう細かい描写してありますが、いっぱい魚を持って家の中に入ろうとした。私も一緒に入ろうとしてもさっぱりよくもしてくれないし、行ってよくよくこう……まあ、昔人間であったがゆえに人間の生活がよくわかるので、こうよくよく見ると何かそのお祝い事か何かあるらしく女の人達も大勢出たり入ったりしておると。家の外では iuta といっているいろいろ搦き物したり、餅をついたり、団子ついたりしておる。

そうすると女の人達おる人の半分は「何だ汚い犬だ」と言い、おる人の半分は「どっから来た犬だろ？ かわいそうにこんなに瘦せて」と言いながら、餅をくれたりするの、そこで晩までおった。

そして、家の中で酒盛りか何か始まって大勢の人達が出たり入ったりする時に、一人の男の人が ih_okus'amip... amip といって着物を裏返しに着た。これは、妻を亡くしたり、夫を亡くしたりすると、アイヌはそうゆう風習あるんですが、多分、最近妻を亡くしたらしき男の人が入りながら私の頭をなでながら入ってきた。

そして、酒盛りが終わって出る時も私の頭をなでながら、「これは、もらった肉だけどあなたにあげるよ」と言いながら肉をくれて、外へ出てったけれども、非常に好感の持てるひとなので、この人のあとになって私生きる道はないんじゃないかとそんなふう考えたので、大急ぎでその男の人のあとを追いかけて行った。

そうすると村外れに一軒の家があつて、そこへ入って行ったので一緒に入っていったら、「いやいや、つい最近自分の家内が死んでしまって、自分ひとり住まいなのに犬ではあつてもあなたが来ても食べさすものもないな」と言いながら何かかにか食べさしてくれた。そして、そこで他に誰も他に人間もおらないもんだから、その男の人が一緒におって何か炊いては食べさしてくれるものだから、何日か何か月か日が過ぎていった。

でも、昔は人間であつたし、いまは犬ではあるけれども考え方は一人

前の人間なので、何とかせめて猟に行き帰ってくるその男の帰ってくるまでに火の一つも焚きたいな。あるいは水一杯も汲みたいなどとそんなふうに考えて。

ある日の事、niatus といって木の皮で作ったバケツをくわえて川へ下りて行った。水……せめて水をくわえて、バケツをくわえて水を汲んできたなと、そんなふうに考えて川へ下りて行ったと。そして、バケツを川へ入れてボンと水を汲もうとした途端に、空の時は良かったんだけど水がいっぱいに入ると、ググッと流されて川へそのままその自分もその犬も一緒にもう自分も川中へそのバケツに引きずられて落ちちゃった。なんとかこのまま流れちゃ死んじゃう。立とう立とうとしてバチバチとやって立ったらそれが人間になって、わたくしは立った。

いや一本当に嬉しくて嬉しくて、犬であったものが元の人間に返ったものだから、それは本当に嬉しくなってしまうと、喜んで家の中へ入って行って、そして、その男の帰ってくる前に準備をした。いろいろ火を焚いたり、今度は犬でないものだからちゃんと準備をして待っておいたら、準備というのは山から帰ってくる前に火を焚いたり、掃除をしたり、水を汲んだり、ご飯を炊いたり準備でしょう。

そうやっておるところへ帰ってきて黙ってその男が入ってきたら、いつもの犬がいないで、本当に綺麗な綺麗な女の人が、しかもさっそくお嫁にできるような女がおるもんだからその男は嬉しいのか困ったのか、目のやり場もないというような風情でおったんだけど、黙って座って考えてから自分のうしろの方に手をやってというのは、その自分というのはその男なんです、男がそこへ手を伸ばして、一つの seppa [刀のつば] を取って、seppa だな。

木村：そう。

萱野：seppa というのは刀の鏢ですけども、それを取ってお膳に乗せて私の前へよこしながら、アイヌの風習そうゆうことあるんですけども、何かものを尋ねるとかそうゆう時に itak'ipe とか言うんだったな。

木村：うん、それそう

萱野：その「ものを喋るその代償をだしますから、喋ってください」と言ってその seppa [刀のつば] を自分のとこへよこして言うのには、「どうしてあなたが来たか知らないが、あなたの来た……あなたが犬であり、それ

が今人間になったのかもしれないけれども、それをひと通り話をしてはくれませんか」と言ってよこしたので、わたくしはもう嬉しさと悲しさと入り混じった気持ちを喋って言うのに、喋って、いままでの姉と生活をし、姉は私を置いて出てきた、そうゆうことを言ったら、「いやいやそれはそれは本当に大変でしたと。それではどうぞ私も独り者ですから、家において火を焚いたり薪を……薪の準備したりしてください」とそうゆうふうにして何か月か過ぎた。

そしたら男の言うのには「私も独り者だから、私のお嫁になってくださいませんか」と言うので、お嫁になることに決めて、そして、お嫁になった。そのうちに姉達は、私がこうゆうところへ来てお嫁になったのを聞いたからか、どうしてか知らないけれども、夫婦喧嘩ばかりをしてさっぱりいい生活もせずにおった。

私を犬にした理由は、姉はあまり器量がよくなくて、私自身が非常にいい器量であったので、それを妬んで私を犬にしたんであったと。いまの場合は非常に幸せに暮らしておるけれども、こうゆうことで精神のよくない姉に犬にされたこともあった私ですけれども、いまは子供もたくさんおって孫もたくさんおって、何不自由なく暮らしておると一人の男が語りました。

この中でさっきあのテープにも入っておりますが、**tu su ak ikotuypa re su ak ikotuypa** というふうに、喧嘩を夫婦喧嘩の始終するという表現にその鍋をかけて鍋を煮立つ間にでも二回も三回も喧嘩するぐらいにその喧嘩をするということなんか、新しい言葉としてでておって非常にいい **uepeker** [散文説話] だったと思います。

どうもありがとうございました。

これは録音はペナコリの木村きみさんにやっております。和訳はわたくし萱野茂です。

21-4 ウエペケレ

「モシリパサリヒタ ソアタイ タックス アラパアン」

斜里の村へ借金を請求しに私は行った

語り：木村きみ

アオナハ アニネ オカアン。

a=onaha an h_{ine} oka=an.

私には父がいて一緒に暮らしていた。

アオナハ パクノ ニシパ イサム ニシパ ネ ワ ネ プ

a=onaha pakno nispa isam nispa ne wa ne p

父は並ぶ者のいない長者であり、

パク イソンクル イサム クン ネ ワ

pak isonkur isam kur_{ne} wa

並ぶ者がいないほどの狩り上手であって、

ネプ アエ ルスイ カ ネパコン ルスイ カ ソモ キ ノ

nep a=e rusuy ka nep a=kor_{ne} rusuy ka sono ki no

私は何が食べたいとも、欲しいとも思うことなく

オカアン ペ ネ ルウエ ネ ア プ

oka=an pe ne ruwe ne a p

暮らしていたのだが、

アオナハ エネ ハウエアニ、

a=onaha ene hawean h_i,

父がこのように言った、

ポロアナクス オラノ エネ ハウエアニ、

poro=an akusu orano ene hawean h_i,

私が大きくなるとこのように言った。

「モシリパサリヒ ウン ニシパ ポロ アソウクテ キ ワ アン ペ ネ アクス
 “Mosirpasarihi un nispa poro a=suokte ki wa an pe ne akusu
 「北見の斜里の長者に対して、私は大きな貸付があるので、

エウン アラパアン マ アタイェ アタク ワ エカン ヤク ピリカ」
 eun arpa=an w_a ataye a=tak wa ek=an yak pirka”
 そこへ行って貸しを取り返してこなければならない」

セコロ パテク イイエ コロ オカアニケカ
 sekor patek i=ye kor oka=an h_ikeka
 とばかり父は私に言っていたのだが、

アプカサン カ ソモ キ ノ アナン ペ アネ プ ネ ルウエ ネ ア プ
 apkas=an ka somo ki no an=an pe a=ne p ne ruwe ne a p
 私は行くこともせずにはいたのだった。すると、

ニサプノ アオナハ スイ イェ ヒクス…… イェ ルウエ アン ペ エネ イイエ。
 nisapno a=onaha suy ye hikusu... ye ruwe an pe ene i=ye.
 急に父が再び言ったことを私に言った。

イオマプ シリ オカイ ペ ソモ アラパアン カ エアイカピクス コント
 i=omap siri okay pe somo arpa=an ka eaykap h_ikusu konto
 父は私を可愛がってくれているのに、行かないこともできないものだから、

アラパアン イネ レウシアン ランケ コロ アラパアナ プ
 arpa=an h_inine rewsian ranke kor arpa=an a p
 私は向かって行き、何度も泊まりながら出かけていった。

アオナハ エネ ハウエアニ、
 a=onaha ene hawean h_i.
 私の父が言うには、

「シポロ ピナイ アン ワ
 “siporo pinay an wa
 「とても大きな谷があって、

ピナイ トモトウイエ シコタンコンニ ホラク ワ アン ワ
pinay tomotuye sikotankonni horak wa an wa
谷をまたいで太い木が倒れている。

ネア ホラク ニ ナイ トモトウイエ キ ワ ルイカ ネ アコロ ワ
nea horak ni nay tomotuye ki wa ruyka ne a=kor wa
その倒れた木が川を横切って倒れているので、橋として

パヨカアン ペ ネ」
payoka=an pe ne”
人が（渡って）行けるんだよ」

セコロ ヘム アオナハ イパシクマ プ ネ ア プ
sekor hem a=onaha i=paskuma p ne a p
とも父は私に教えてくれていた。それで

アラパアナクス ルイカ エエパッケ ウン
arpa=an akusu ruyka eepakke un
私が行くと、橋のたもとから

ネプ カ パシクル サパ ネノ アン ペ
nep ka paskur sapa neno an pe
何かカラスの頭のようなものが

ルイカ エエパッケ ワ アヌカラ、ルイカ タンパ ワ カ
ruyka eepakke wa a=nukar, ruyka tanpa wa ka
橋のたもとに見える。橋のこちらの岸からも

アヌカラ ルウェ ネ イ カ イエ (?) ヤクン
a=nukar ruwe ne h_i ka ye (?) yakun
見える。ということは(?)

ネプ カ イエトクシ ワ ネ クニ アラム ヒクス オラノ
nep ka i=etokus wa ne kuni a=ramu hikusu orano
何か私の行く先に待ち構えているように思ったので

コント アオッシケ アラカ カ ソモ キ コロカ

konto a=ossike arka ka somo ki korka

お腹が痛くもないのに、

「アオッシケ アラカ。マカナク キ エクシコンナ キ フム アン？」

“a=ossike arka. makanak ki ekuskonna ki hum an?”

「お腹が痛い。どうして突然こんなことになるのだろうか？」

セコロ ハウエアナン コロ

sekor hawean=an kor

と言いながら、

オラノ オロ タ ヤヨスラノ ホチカチカアン ペコロ イキアニネ^[1]

orano oro ta yayosurano hocikacika=an pekor iki=an h_ine

そこで寝ころんで、苦しんでバタバタしているかのようにした。

オラ ホプニアニネ

ora hopuni=an h_ine

そして私は起き上がって

「アプカシ カ エアイカプ ワクス レウシアン クシ ネ」

“apkas ka eaykap wakusu rewsu=an kus ne”

「歩くこともできないので、泊まろう」

セコロ ハウエアナン コロ オラノ ニナアン。

sekor hawean=an kor orano nina=an.

と言うと、それから私は薪を取った。

サツ チクニ アタ ア アタ ア ヒネ

sat cikuni a=ta a a=ta a hine

乾いた木を集めて集めて、

オラノ ポロ アペ アアリ ルイ ルイ アペ アアリ ヒネ オラウン

orano poro ape a=ari ruy ruy ape a=ari hine oraun

そうして大きな火をたいて、大きな大きな火をたいて、

ムニン サمامニ アニクス

munin samamni an h_ikusu

腐った木、横倒しになった木があるので、

アトウイエ ヒネ トウプ アトウイエ ヒネ

a=tuye hine tup a=tuye hine

それを私は切って、二本切って、

オラノ アノンノイタク。

orano a=nonnoytak.

そして私は祈りの言葉を述べた。

「ソレクス ネプ カ イエトクシ ワ ネ クニ アラム クス

“sorekusu nep ka i=etokus wa ne kuni a=ramu kusu

「何かが私の前に待ち構えているように思うので、

シリコロカムイ イセレマクシ ワ ネ ヤコラ

sirkorkamuy i=sermakus wa ne yak ora

樹木のカムイが私を守護してくれるならば、

アイヌ アナク サケ アニ イナウ アニ ヤヤッタサ クシ ネ クシ

aynu anak sake ani inaw ani yayattasa kus ne kus

人間というものは酒とイナウでもってお礼の品を贈るつもりであるので、

オンネ カムイ シリコロカムイ エネ イキ パ ワ

onne kamuy sirkorkamuy ene iki pa wa

年老いたカムイ、樹木のカムイがそのようにしてくれたら

ラマッコロ クニ アエヤヤッタサ クシ ネ クシ」

ramatkor kuni a=eyayattasa kus ne kus”

魂を持つように私がお礼をしますから」

セコロ ハウエアナン コロ トウ ニ カ アトウイエ ヒネ

sekor hawean=an kor tu ni ka a=tuye hine

と言いながら、二本の木も私は切って、

アノンノイタク ルウェ ネ アクス

a=nonnoytak ruwe ne akusu

私は祈りの言葉を唱えると、

ソレクス タプネ アン クニ シオンネ シユク

soreku tapne an kuni sionne siyuk

このように年老いた雄熊

トゥプ ネ ヒネ シネプ ルイカ も トモトウイエ アラパ

tup ne hine sinep ruyka MO tomotuye arpa wa

二頭になって、一人が橋を渡って行って

エエパッケ タ オロワノ ウコテレケ コロ パイエ パ^[2]。

eepakke ta orowano ukoterke kor paye pa.

すぐに取り組み合いをしながら進んで行った。

ルイカ ト……

ruyka to...

橋を……

(外から人の声がする)

(萱野：じゃ、どうぞどうぞ。どうぞ続けて)

ルイカ タンパ ワ アニケカ

ruyka tampa wa an h_ikeka

橋のこっち側にいるほうも、

ネア ポロ カムイ トウラノ ウコテレケ コロ

nea poro kamuy turano ukoterke kor

その大きな熊とともに取り組み合いをしながら

ルイカ トモトウイエ パイエ パ

ruyka tomotuye paye pa

橋を渡って行った。

オラノ オピッタ アテケカラ カムイ イセレマクシ クニ アイェ
orano opitta a=tekekar kamuy i=sermakus kuni a=ye

私は、手ずから作ったカムイみんなが私を守護してくれるように言い、

シリコロカムイ ネ ヤッカ ソレクス アシセレマクシテ ヒ アイェ
sirkorkamuy ne yakka sorekusu a=sisermakuste hi a=ye

樹木のカムイにも私を守護するように言い、

シオカ ウン アエコツパ カムイ ネ ヤッカ
sioka un a=ekotpa kamuy ne yakka

自分の背後から私が傳くカムイたち（憑神）(?)にも

イセレマクシ クニ アイェ コロ オラノ
i=sermakus kuni a=ye kor orano

私を守護してくれるように言いながら、

アネピッタ キ アイネ シリペケレ コツポク タ
anepitta ki ayne sirpeker kotpok ta

夜通しそのようにした挙句に、夜明け前になって

ハウエヘ カ イサム パ ルウエ ネ。

hawehe ka isam pa ruwe ne.

何の音もしなくなった。

イヨクンヌレアン コロ オラウン
iokunnure=an kor oraun

私は驚きながら、

ルイカトモトウイエアニネ オラノ アラパアン。
ruykatomotuye=an h_ine orano arpa=an.

橋を渡り進んで行った。

ペツ トウラシ パイエ パ ネ クス アラパアン ヒネ……
pet turasi paye pa p ne kusu arpa=an hine...

(樹木のカムイたちは) 川に沿って行ったので、私は (そちらへ) 進んで行った。

ルウェ ネ アクス ソンノ カ ネ ア…… アクス
ruwe ne akusu sonno ka ne a... akusu

そうすると、思った通り、

エムコ チクイ…… チクイ カ…… パソロ アクシテ アペコロ アン^[3]
emko cikuy... cikuy ka... pas or a=kuste apekor an

半分粉墨をまぶしたかのような、

シポロ カムイ ライ ヒネ アン。

siporo kamuy ray hine an.

とても大きな熊が死んでいる。

イマカケ タ ネア アテケカラ ムニンニ エムコ
imakake ta nea a=tekekar muninni emko

その向こうに件の私が手ずから作った腐れ木の片方が、

オラ ソレクシ ウパシ カ タ チチャリチャリ。

ora sorekus upas ka ta cicaricari.

雪の上に散らばっている。

ムニンニ ネ クス キ ヒネ アン。

muninni ne kusu ki hine an.

腐れ木であったので、このように散らばっているのだった。

オラ アッカリ ウコイキ コロ パイエ パクス

ora akkari ukoyki kor paye pa kusu

それからさらに（もう一方の樹木のカムイと）取っ組み合いながら進んでいったので、

イオシ アラパアン ルウェ ネ アクス

ios arpa=an ruwe ne akusu

その後ろを私は辿って行ったところ、

ソレクス トゥプ アウコセシケ アペコロ アン

sorekusu tup a=ukoseske apekor an

二頭（の熊）を重ね合わせたような

シポロ カムイ スイ ライ ヒネ

siporo kamuy suy ray hine

とても大きな熊がまた死んでいて、

イマカケ タ スイ ネア ムニン サمامニ

imakake ta suy nea munin samamni

その後ろに、またその腐った倒れ木が、

ソレクス ノカン カム ノチ ルプネ カム ノチ

sorekusu nokan kam noci rupne kam noci

それこそ細かい肉片、大きな肉片が

アメシパメシパ ウパシ カ タ チチャリチャリ コロ

a=mespamespa upas ka ta cicaricari kor

剥がされに剥がされ、雪の上に散らばりに散らばりながら

パイェ パル オカイ ペ ネ クシ

paye pa ru okay pe ne kus

進んで行った足跡があるので、

オシ アラパアニネ キ ルウエ ネ。

os arpa=an h_inē ki ruwe ne.

その後を私は辿って行き、そのようなことになっていたのだった。

イヨクンヌレアン コロ ホシピアン オラノ パシロタアン。

iokunnure=an kor hosipi=an orano pasrota=an.

私はびっくりしながら引き返してきて、そして私は抗議した。

「ヘマンタ イエヤイラムイカシパレ プ エネ イキ パイ ネ ヤツカ

“hemanta i=eyayramuikaspāre p ene iki pa h_i ne yakka

「何か私より上になろうとした者が、そのようにしたことであれ、

ウエンタラプ ヘ ネ ソモ アキ ヤクン

wentarap he ne somo a=ki yakun

夢にでも見ることもなかったら、

エネ アラム ヒ カ イサム ルウェ ネ クス」

ene a=ramu hi ka isam ruwe ne kusu.”

どう考えることもできないから」

セコロ ハウエアナン コロ パシロタアン コロ シンキアン カ キ

sekor hawean=an kor pasrota=an kor sinki=an ka ki

と私は言いながら抗議すると、疲れてもいたので、

チ アエプ カ アセ プ ネ クス アエ したり キ コロ…… イネ オラ

ci aep ka a=se p ne kusu a=e SITARI ki kor... h_ine ora

火の通った食べ物も私は背負っていたため、それを私は食べたりもして、

アペエコホピ° ホクサン ルウェ ネ アクス ウェンタラプアン。

apeekohopi hokus=an ruwe ne akusu wentarap=an.

火に背を向けて横になって寝ていると、夢を見た。

ソモ カ モコラン トカプ ネ クシ キ ア プ^[4]

somo ka mokor=an tokap ne kus ki a p

まさか昼なので眠り込むとは思わなかったのだが、

モコラン アアン ルウェ ネ アクス

mokor=an aan ruwe ne akusu

私は眠ってしまっていたところ、

フレ カパットウシ ミ カネ アン コロ フレ レク タンネレ

hure kap attus mi kane an kor hure rek tannere

(夢に出てきたカムイは) 赤いハルニレの樹皮衣を身にまとい、赤い髭を伸ばして

レララ カシ アセシケ カネ アン ワ

rerar kasi a=seske kane an wa

胸の上を覆うまでになって、

ワッテシハラキカ カマナタ シトムシ カネ アン。エポソ

wattesharkika kamanata sitomusi kane an. eposo

わらなわと山刀を腰につけている。やっぱり

シポロ トゥ アイヌ カ レ アイヌ カ アコセシケ アペコロ アン ワ
siporo tu aynu ka re aynu ka a=koseske apekor an wa
本当に大きな、人間を二人も三人も重ね合わせたような、

アイヌ イルシカ ワ アナイネ エネ ハウエアニ。
aynu iruska wa an ayne ene hawean h_i.
人間が腹を立てていたが、このように言った。

「タン オックアイポ ニシパ エネ ワ
“tan okkaypo nispa e=ne wa
「若旦那様、

イタカン チキ エイヌ カトゥ アナク エネ アニ。
itak=an ciki e=inu katu anak ene an h_i.
私が話して、あなたが耳にするのはこのようなことですよ。

アシヌマ カ アナイネ⁵ イキアニ カ ソモ ネ。
asinuma ka anayne iki=an h_i ka somo ne.
私も理由なしにしたことでもないのです。

カムイ ウタラ アイヌ オルン マラプト ネ パ コロ
kamuy utar aynu or un marapto ne pa kor
カムイたちは人間の世界で客人となって、

オラノ アイヌ オルシペ パテク エイソイタク パ ワクス
orano aynu oruspe patek eysoytak pa wakusu
そして人間のうわさ話ばかりをいろいろとするので、

アイヌ アナクネ ヌカラ ペ パテク エラムアン ペ ネ イケ
aynu anakne nukar pe patek eramuan pe ne h_ike
人間を見たものだけがわかる話なのだが

エネ カムイ ウタラ ハウエオカ
ene kamuy utar haweoka
このようにカムイたちは言っている

セコロ ハウエアナ ……ハウエオカ ルウエ ネ。オラ
sekor hawean ... haweoka ruwe ne. ora
 これこれこのように言っているのだ。

『ユペツ プトゥ コロ ニシパ ポホ、
Yupet putu kor nispa poho,
 『湧別川河口の長者の息子と、

エアニ と、イシカラ エムコ コロ ニシパ ポホ と
eani TO, Iskar emko kor nispa poho TO
 あなたと（つまり）石狩川中流を治める長者の息子とは

イヨッタ アコラムニウケシ ペ ネ クス^[6]
iyotta a=koramniwkes pe ne kusu
 一番（カムイも）かなわないものだから

ラナン ワ ヒナオカ イケカ
ran=an wa hinaoka h_ikeka
 （人間界に）下りて、誰か、

アライケ ヤク エアシリ カムイ アネ ハウエ ネ』
a=rayke yak easir kamuy a=ne hawe ne'
 （彼らを）殺せば、そこでカムイになれるのだよ』

セコロ アイェ ワクス インカラン ルウエ ネ アクス
sekor a=ye wakusu inkar=an ruwe ne akusu
 というので、見てみると、

ユペツ プトゥ コン ニシパ ポホ カ アコラムニウケシ
Yupet putu kor_nispa poho ka a=koramniwkes
 湧別川河口を治める旦那の息子にも私はかなわなさそうに思い、

ソレクシ エアニ モシリパサリ ウン ケウエ タク クス
sorekus eani Mosirpasari un kewe tak kusu
 あなたが北見の斜里へ借財を取りに

エエク シリ エエカリ アヌカリ…… ヒネ

e=ek siri e=ekari a=nukar h_i... hine

来る様子を私は見たので、

エエカリ エカン ワ タン ルイカ オツ タ

e=ekari ek=an wa tan ruyka or_ ta

私はあなたをめぐらしてやってきて、この橋のところで

アエルイカイカレ^[7] クナク アラム コロ

a=e=ruykaykare kunak a=ramu kor

私はあなたに橋を越えさせようと思い、

アエ ワ アエサンペシトゥリ クナク アラム コロ エカナアプ ワ

a=e wa a=esampesituri kunak a=ramu kor ek=an a p wa

私はあなたを食べて気分を良くしようと思って来たのだ。

モシリ パ ワ イワイ ヤマンコ

mosir pa wa iwan_ yamanko

上手から六人の山子、

モシリ ケシ ワ イワイ ヤマンコ

mosir kes wa iwan_ yamanko.

下手から六人の山子、

アッテイネ モシリ アコオテレケ パ プ

attheyne mosir a=kooterke pa p

地底の国へと蹴落とされた者たちが

イエトゥナンカラ パ ヒ クス

i=etunankar pa hi kusu

私に会いに来たものだから、

タプネ ネ ルウェ ネ クス アエライケ ワ ウカスイ アエ ワ オラ

tapne ne ruwe ne kusu a=e=rayke wa ukasuy a=e wa ora

そういうことなので、私はあなたを殺して、皆であなたを食べて、

ウエコホッパアン クス ネ」

uekohoppa=an kusu ne”

そして解散しようと思うのだ」

セコロ ハウエアン コロ キ イネ

sekor hawean kor ki h_ine

と言って

シネプ ネ ヤイウエカラパ ヒネ

sinep ne yay'uekarpa hine

(山子たちが) ひとつに集まって、

オタンパウン シネパン オイクシネ ワ アナナク (ス)

otanpaun sinep an oykusne wa an=an aku(su)

川のこちら側へひとりいて、川向こうに私がいると

カムイ イコイパク ペ ネ クシ

kamuy i=koypak pe ne kus

カムイが私に罰をあててしたことなのだが、

インカラニネ エオッシケ アラカ フム ネ クナク アラム ア プ、

inkar=an h_ine e=ossike arka hum ne kunak a=ramu a p,

眺めてみると、あなたの腹が痛んでいるようだと思つた。すると、

ポロ アペ エアリ イネ

poro ape e=ari h_ine

大きな火をあなたが焚いて、

ネウン ネウン ネ ヤッカ カムイ イコイパク ペ ネ クス

neun neun ne yakka kamuy i=koypak pe ne kusu

あれこれのカムイたちが私に罰を与えるために

シリコロカムイ ソレクス オンネ カムイ エニスキネ

sirkorkamuy sorekusu onne kamuy e=nisuk h_ine

樹木のカムイのそれこそ年老いた(倒木の)カムイにあなたは頼んで、

キムン カムイ ネ エカラ ワ

kimun kamuy ne e=kar wa

それらを熊にして

イウエンコイキカラ カムイ オピッタ イコホサラパ ヒネ

i=wenkoykikar kamuy opitta i=kohosarpa hine

(彼らが)私をひどくいじめて、カムイがみな私の方を向いて

キ ルウエ ネ ヒネ オラノ

ki ruwe ne hine orano

そのようにしたのだった。それで

アラパアン ルウエ ネ アクス

arpa=an ruwe ne akusu

私が進んで行くと、

オラノ 『ヘシト ヘシト』^[8] エネ ネ ワ アシトマ ワ アイェ ヤッカ

orano 'hesto hesto' ene ne wa a=sitoma wa a=ye yakka

そうして『そらそら』とそのように私は怖れて言っても

エヌ カ ソモ キ ルウエ ネ クシ 『ヘシト ヘシト』

e=nu ka somo ki ruwe ne kus 'hesto hesto'

あなたは聞きもしないので、『そらそら』、

セコロ アイェ コロ

sekor a=ye kor

と私は言いながら

エイエ…… エアニ パテク エイエ ヤッカ ウエン ペ

e=ye... eani patek e=ye yakka wen pe

あなたばかりが言うのもよくないのに、

カムイ オツ タ カ アッテイネ モシリ イコオテレケ クニ エイエ

kamuy or_ ta ka atteyne mosir i=kooterke kuni e=ye

カムイの世界でも地底の世界へと私を蹴落とすようにとあなたが言い、

アエウエンタラプテ ソモ キ ヤクン キ クナク エイエ プ ネ クス

a=e>wentarapte somo ki yakun ki kunak e=ye p ne kusu

あなたに夢を見せないならば、地底の世界に蹴落とそうとあなたが言うものだから、

カムイ オツ タ カ ネノ アイイエ ルウエ ネ クシ

kamuy or_ ta ka neno a=i=ye ruwe ne kus

カムイの世界でもそのように私は言われたので、

イサメソンコクシテ

i=sam e=sonkokuste

あなたは私について（神々に）伝えてくれ。

オラ タアン ア…… イヨッタ イオシ ノ イアッカリ アラパ ワ

ora taan a... iyotta i=os no i=akkari arpa wa

一番後ろから自分を乗り越して行って

ライ イケ アナクネ モシリパサリヒ ワノ アウ…… アエニウチンネ

ray h_ike anakne Mosirpasarihi wano a=u... a=eniwcinne

死んだ者は、北見の斜里から追い出された

アラウエンカムイ ネ プ ネ ルウエ (?) ネ クス

arwenkamuy ne p ne ruwe(?) ne kusu

とても悪いカムイであるから、

アッテイネモシリ エコオテレケ クナク エイエ

atteynemosir e=kooterke kunak e=ye

地底の世界に踏み落とすとあなたが言い、

オラ アシヌマ アナクネ アッテイネモシリ イコオテレケ ヤッカ

ora asinuma anakne atteynemosir i=kooterke yakka

そして私は地底の世界に踏み落とされたとしても、

ネウンアニ エエピリカ カ ソモ キ ルウエ ネ クス

neun an h_i e=epirka ka somo ki ruwe ne kusu

何もそのことでああなたの暮らしぶりが良くなるものでもなく、

かえって ウエン ルウエ ネ クス イサメソンコクシテ オラ

KAETTE wen ruwe ne kusu i=sam e=sonkokuste ora

かえってよくない。だから、あなたは私について伝言をやり、

アウタリヒ オピッタ モナク サカンラムコロ ペ エネ ネ

a=utarihi opitta monak sakanramkor pe ene ne

私の同胞たち皆、このようにただでさえ短気な者なのだ

セコロ エハウエアン コロ エヤパプ ヤコラ

sekor e=hawean kor e=yapapu yak ora

とあなたは言って、弁護をしてくれるなら、

アエピリカレ ペ ネ ルウエ ネ ナ。

a=e=pirkare pe ne ruwe ne na.

私はお前の暮らしぶりを良くしてあげるつもりだよ。

ネノ エイキ エアプカシ テクサマ カ

nenno e=iki e=apkas teksama ka

あなたが行く先々も、

ポンノ アエエヤム ルウエ ネ ク (ス)

ponno a=e=eyam ruwe ne ku(su)

私が少しあなたを気にかけるので、

アエエブンキネ プ ネ ルウエ ネ ナ、

a=e=epunkine p ne ruwe ne na,

あなたを守護しますよ。だから、

ネノ イキ ワ イコレ」

nenno iki wa i=kore”

そのようにしてくださいな」

セコロ カネ ウエンタラパン ルウエ ネ ヒクス

sekor kane wentarap=an ruwe ne hikusu

ということを私は夢に見たので、

オラ ホプニア…… ホプニアニネ
ora hopuni=a... hopuni=an h_ine
 私は起き上がって、

オンカミアン したり パシロタアン したり
onkami=an SITARI pasrota=an SITARI
 私は拝礼をしたり、抗議したりして、

「モナク サカンラムコロ パ プ エネ、カムイ ウタリ エネ ハウオカ ワクス
“monak sakanramkor pa p ene, kamuy utari ene hawoka wakusu
 「ただでさえ短気であるものが、カムイたちがそのように言うので、

サカンラムコロ カムイ ウェンノ ソモ ネ”
sakanramkor kamuy wenno somo ne”
 短気なカムイが非常に悪いというわけではありません」

セコロ ハウエアナン コロ オラ アシテレレ^[9] クス アイエ。
sekor hawean=an kor ora a=siterere kusu a=ye
 と私は言って、(熊神に) 待機するように (?) 私は言って

「アプカサン テクサマ イエブンキネ ヤク ピリカ」
“apkas=an teksama i=epunkine yak pirka”
 「私が行く先々で守護してくださいな」

セコロ ハウエアナン コロ
sekor hawean=an kor
 と私は言って、

チェホロカケプ アカリネ アアシ ヒネ
cehorkakep a=kar h_ine a=asi hine
 逆さ削りのイナウを私は作って立てて、

オロ タ レウシアン ヒネ オラノ コント
oro ta rewsu=an hine orano konto
 そこに私は泊まった。そうして

ネア ニフム ウタラ カ

nea nihum utar ka

そのバラバラになった木端にも、

アプカサン テクサマ イエブンキネ パ クナク アイェ コロ

apkas=an teksama i=epunkine pa kunak a=ye kor

私が歩いて行く先々を守護してくれるように言って、

オラノ アラパアニネ…… ヒネ (?)

orano arpa=an h_ine... hine(?)

そうして私は行って、

モシリパサリヒ タ アラパアン ルウェ ネ イネ

Mosirpasarihi ta arpa=an ruwe ne h_ine

斜里の村へと私は行った。

コタン ケシ ワ ピリカ ポン チセ アニネ

kotan kes wa pirka pon cise an h_ine

村の下手に美しい小さな家があつて、

ソイケ タ シムシシカアン ルウェ ネ アクシ

soyke ta simusiska=an ruwe ne akus

その外で私は咳払いをすると、

ピリカ ポン メノコ ソイネ ヒネ イヌカリネ オラ アフニネ

pirka pon menoko soyne hine i=nukar h_ine ora ahun h_ine

美しい少女が外に出て来て、私を見てもう一度入って、

「ソモ アイヌ シレトッコロ オツカイポ ソイ タ アン ルウェ ネ」

“somo aynu siretokkor okkaypo soy ta an ruwe ne”

「人間離れた外見の美しい青年が外にいます」

セコロ カネ ハウエアン ルウェ ネ。

sekor kane hawean ruwe ne.

と言う声がした。

ハワサクス イアフンテ クス アイイエ ヒネ アイアフンテ。

hawas akusu i=ahunte kusu a=i=ye hine a=i=ahunte.

(続いて) 声がすると、通るように言われて、私は通された。

ソアヌ ムンヌパ ヒネ ルウェ ネ アクシ

soanu munnupa hine ruwe ne akus

莫塵を敷き、掃き掃除をして、(私が入る) と、

ウトウレシコロ パ ウタンネ ロコカ イネ オカ ルウェ ネ イネ

utureskor pa utanne rokoka h_inine oka ruwe ne h_inine

兄と妹の家族で暮らしていた。

オラ アエランカラブ

ora a=erankarap

私は挨拶をして、

タン (?) ネア オッカイポ アエランカラブ イエランカラブ ルウェ ネ イネ

tan(?) nea okkaypo a=erankarap i=erankarap ruwe ne h_inine

そこの兄さんに私は挨拶をし、挨拶をされた。

オラ ネイ ワ アプカシ ペ アネ ヤ イコピシ ヒクス

ora ney wa apkas pe a=ne ya i=kopisi hikusu

すると、どこから来た者かと私に質問するので、

タブネ ワ アプカサニ アイエ ルウェ ネ アクス あの……

tapne wa apkas=an h_i a=ye ruwe ne akusu ANO...

このようにやってきたことを私が言うと、

「エネ トウ イリワク ネ ワ オカイ パ プ ネ コロ ペ

“ene tu irwak ne wa okay pa p ne kor pe

「そのように二人兄弟で暮らしている者たちが、

エアラキンネ シケサラ パ…… パ プ ネ プ

earkinne sikesar pa... pa p ne p

ひどい悪事を働いているのに、

エネ…… アコロ オツカイポ エネ ネ ハウエアン」

ene... a=kor okkaypo ene ne hawean”

そのように、あなたがこういう（ことで来たという）話か」

セコロ カネ ハウエアン コロ

sekor kane hawean kor

と言って、

イエヤム ヤク イエ コロカ

i=eyam yak ye korka

私を気遣ってくれるのだが、

ピリカ ピリカ セコロ ハウエアナン、

pirka pirka sekor hawean=an,

よいですよよいですよと私は言った。

「ヤント アコロ ワ

“yanto a=kor wa

「人を泊めておいて

ソモ アイェ ヤッカ アエパコアッ ペ ネ”

somo a=ye yakka a=epakoat pe ne”

（そのことを）言わなかったならば、私に罰をうけます」

セコロ ハウオカ ヒクス イタク ア……

sekor hawoka hikusu itak a....

とそこの兄さんたちが言うので、

「レウシアニ イェ パ ヤク ピリカ」

“rewsi=an h_i ye pa yak pirka”

「私が泊まっていることを言えばいい」

セコロ アイェ ルウエ ネ ヤクン

sekor a=ye ruwe ne yakun

と私は言うと、

ネア ポン メノコ ソイネ ルウエ ネ アクス オラ

nea pon menoko soyne ruwe ne akusu ora

その少女は外へ出ていくと、

『ニシパ アプカサ イ ネ ヤクン サケカラン ワ ニシパヌカラン クス

“nispa apkas a h_i ne yakun sakekar=an wa nispanukar=an kusu

『旦那さんがやって来たというのなら、私たちは酒を醸して旦那さんをもてなしますから

ピリカノ ヤント エチコロ ヤク ピリカ。

pirkano yanto eci=kor yak pirka.

お客様を立派にお泊め下さい。

ネイ ワ アプカシ オッカイポ ネウン ネ ヤッカ

ney wa apkas okkaypo neun ne yakka

どこから来た青年で、どういうことで来たにせよ

キ ヤク ピリカ ナ』

ki yak pirka na'

泊めるべきです』

セコロ カネ アイイエ ルウエ ネ」

sekor kane a=i=ye ruwe ne”

と言われました」

セコロ ハウエアン コロ エコラ

sekor hawean kor ek ora

と言いながら戻って来た。そして、

シニアン ワ アナン ペ エトランネ クシ

sini=an wa an=an pe etoranne kus

私は何もしていないでいることもいやなので、

ネア オッカイポ イラマンテ オルン アシレン。

nea okkaypo iramante or un a=siren.

私はその兄さんを狩猟へ連れて行った。

トゥッコ レレコ キ イネ

tutko rerko ki h_inē

二日も三日もそうしていて、

イラマンテアン ヒ タ

iramante=an hi ta

私が狩猟に行ったときには、

ユク ネ チキ カムイ ネ チキ ヌウェ アコアノラノ

yuk ne ciki kamuy ne ciki nuwe a=koan orano

鹿であれ熊であれ獲物をたくさんとるので、

イヨクンヌレ ネア オツカイポ キ コロ

iokunnure nea okkaypo ki kor

その兄さんは驚いて、

ラポッケ サケ ピリカ ルウェ ネ ヤカイイエ コロ

rappoke sake pirka ruwe ne yak a=i=ye kor

その間に酒が美味しくなったよと言われると、

イアシケ アウキネ パイエアン ルウェ ネ。

i=aske a=uk h_inē paye=an ruwe ne.

私は招待されて行った。

ソレクス ニシパ ウトクペセレ ヤク (?) エロキネ オカ ヒネ

sorekusu nispa utokpeser yak(?) erok h_inē oka hine

長者が XXX、そこに座っていて、

オロ タ アフナン^[10] シントコ オシマク アイエオランラニ。

oro ta ahun=an sintoko osmak a=i=eoranrani.

そこへ私は入り、行器（ほかい）の後ろに私は座らされた。

トゥ パレ パ アク コロ オラノ イク カ アエラミシカリ プ ネ ワクス

tu pa re pa a=ku kor orano iku ka a=eramiskari p ne wakusu

二杯三杯と私は飲んで（?）、そうして私は酒を飲んだこともないので、

ネア オロ タ レウシアン、ポン メノコ アイクレ…… アコレ
 nea oro ta rewsu=an, pon menoko a=ikure... a=kore
 私が泊まっているところの少女に私は飲ませて、与え

ミマラ アクタクタ コロ キ ルウエ ネ アイネ
 mimara a=kutakuta kor ki ruwe ne ayne
 残りは（器に）空けているうちに、

イクオカ アン ルウエ ネ イネ オラ ヒクス
 ikuoka an ruwe ne h_ine ora hikusu
 酒宴が終わったので、

アペ サム タ サナニネ オラノ
 ape sam ta san=an h_ine orano
 私は火のそばへ出て行って、

タップネ ネ ワ アプカサニ アイェ ルウエ ネ アクス
 tapne ne wa apkas=an h_i a=ye ruwe ne akusu
 このように私がやってきたということを私は言うと、

オラノ ネア ニシパ キヤンネ ニシパ エネ ハウエアニ。
 orano nea nispa kiyanne nispa ene hawean h_i.
 その年上の方の旦那はこのように言った。

「アオナハ ソレクス ウサ イパシクマ プ ネ ア コロカ ネプ……
 “a=onaha sorekusu usa i=paskuma p ne a korka nep…
 「私の父はいろいろと私に言い伝えを覚えてくれたが、

ネプ カ イコイエ イ タプネ ネ セコレネ ハウエアカ ソモ キ ノ
 nep ka i=koye h_i tapne ne sekor h_ene hawean ka somo ki no
 何も私たちに言ったことの中に、そのようなことも言わずに、

イホッパ プ ネ プ スンケ ネ ハウエ ネ」
 ihoppa p ne p sunke ne hawe ne”
 この世を去ったのだから、それは嘘だ」

セコロ ハウエアニネ

sekor hawean h_inē

と言った。

ネア ポニウネ ヒケ カ ネア ネノ ハウエアシ オラノ

nea poniwne hike ka nea neno hawean orano

その年下の方も同じようなことを言って、

アコチャランケ パ ルウエ ネ アイネ

a=kocaranke pa ruwe ne ayne

そして私は彼らに対して談判をしたあげく、

「コタン パ ウン ルプネマツ

“kotan pa un rupnemat

「村の上手に住む老女、

コタン パ…… コタン ケスン ルプネマツ アタク ワ^[1]

kotan pa... kotan kes un rupnemat a=tak wa

村の下手に住む老女を呼んできて

アコウエペケンヌ ヤク エアシリ アエラムアン ハウエ ネ」

a=kouepekennu yak easir a=eramuan hawe ne”

事情を尋ねてようやくわかる話だ」

セコロ カネ ハウエオカ ルウエ ネ イネ

sekor kane haweoka ruwe ne h_inē

と（彼らが）言うものだから、

コタン ケスン ルプネマツ コタン パ ウン ポン チャチャ アタキネ

kotan kes un rupnemat kotan pa un pon caca a=tak h_inē

村の下手に住む老女と村の上手に住む小老人とを呼んで、

アラキ ヒネ アコウエペケンヌ ルウエ ネ アクス

arki hine a=kouepekennu ruwe ne akusu

やってきたので、事情を聞いたところ

「タップネ カネ アコン ニシパ

“tapne kane a=kor_ nispa

「これこれこのように旦那様に

イシカラ エムコ ワ ソウク ワ エク ヤカイエ コロ

Iskar emko wa souk wa ek yak a=ye kor

石狩川の上流から借財を受けたと言われ

オリパク ペ アネ ヤッカ イエコイタク カ キ ハウエ アヌ。

oripak pe a=ne yakka i=ekoytak ka ki hawe a=nu.

おおそれながら、旦那様が私たちに言った話も、聞いた。

オラウン ライェトク カ コロカ

oraun rayetok ka korka

そして旦那様は亡くなる前であるが、

アコロ オツカイポ ウタラ エウン イェ ワ アヌ コロ オカイ ペ

a=kor okkaypo utar eun ye wa a=nu kor okay pe

若旦那たちに言われたことも、私たちが聞いていたのに。

ヘマンタ ネ クス エネ アコロ オツカイポ アコン ニシパ ウタラ

hemanta ne kusu ene a=kor okkaypo a=kor_ nispa utar

なぜ若旦那も、旦那様方も

エネ ハウオカ ワ

ene hawoka wa

そのように言って

かえって エマウコウエン パ クス エネ ネ ハウエアニ アン」

KAETTE emawkowen pa kusu ene ne hawean h_i an”

かえって、都合が悪いからと言うので、そのように言うのだろうか」

セコロ カネ ウエカリ ハウエオカ コロ

sekor kane uekari haweoka kor

ということを両人は言って、

コタン ケスン ルプネマツ

kotan kes un rupnemat

村の下手に住む老女と

コタン パ ウン ポンチャチャ ハウエオカ ルウエ ネ アクス オラ

kotan pa un poncaca haweoka ruwe ne akusu ora

村の上手に住む小老人とが言ったので、

ネ ワ アオナハ コロ ワ オカイ ペ プ アコリネ アイコレ コロカ オラ

ne wa a=onaha kor wa okay pe pu a=kor h_inne a=i=kore korka ora

そういうことで、私の父が持っていたものを、倉ごと持っていたものを(?) もらったのだが、

モシリパサリヒ コタン タプカシ アオランケ カムイ イコロ

Mosirpasarihi kotan tapkasi a=oranke kamuy ikor

斜里の村へ下ろされた神の財宝に

コント トモ アイタクウシネ

konto tomo a=itak'usi h_inne

私は言いがかりをつけて

オラノ コント チャランケアン。

orano konto caranke=an.

私は談判した。

「ソモ アイコレ ヤカナクネ ソレクス シサク ロルンペ ソモ アキ

“somo a=i=kore yak anakne sorekusu sisak rorunpe somo a=ki

「私にもらえないのなら、それこそ世になき戦争を私がしまいか、

シネナネ ヤッカ キ プ ネ ルウエ ネ。

sinen a=ne yakka ki p ne ruwe ne.

私は一人でもそれをするものであるぞ。

オラウン ソレクス イメル ウシ カネ アン ポン メノコ

oraun sorekusu imeru us kane an pon menoko

そうして、それこそ輝くほど美しい少女よ、

カムイ サシミ アネ ワ エアニ カ カムイ サシミ エネ ワ ア……

kamuy sasimi a=ne wa eani ka kamuy sasimi e=ne wa a...

私はカムイの子孫であり、あなたもカムイの子孫であるので、

『エチウコロ アタリマエ ネ ワ アン ペ ネ クシ

‘eci=ukor atarimae ne wa an pe ne kus

『お前達が結婚するのは決められたことなので、

イタクトッケシ タ トモ エイタクウシ ヤク ピリカ』

itaktokkes ta tomo e=itak’usi yak pirka’

話し合いの最後にそのことに言い及ぶと良い』

セコロ ヌプリ ケスン プリ ウエン クル イイエ プ ネ ソレクス

sekor nupuri kes un puri wen kur i=ye p ne sorekusu

と山の裾の悪い者が私に言ったのだ。

「アコロ パウエトク アエコレ ヤクネ

“a=kor pawetok a=e=kore yakne

「わが雄弁さをお前に授けるから、

ソレクス エカッタロ ワ エホシピ ウミ ネ ナ」

sorekusu e=kattaro wa e=hosipi h_umi ne na”

お前は勝って帰るのだ」

セコン ネア ヌプリ ケスン プリ ウエン クル カムイ

sekor_ nea nupuri kes un puri wen kur kamuy

と、その死んだ山裾に住む悪い者、熊が

イイエ プ ネ クス オラノ キ アイネ ネア カムイ イコロ、

i=ye p ne kusu orano ki ayne nea kamuy ikor,

私に言ったので、談判を続け、とうとう神の宝を、

ネア ポニウネ ニシパ チサ チサ コロ サンケ ヒネ イコレ。

nea poniwne nispa cis a cis a kor sanke hine i=kore.

その年下の方の旦那は泣きながら出して来て私にくれた。

「チコシンニヌプ カムイ シニウカ ヒネ

“cikosinninup kamuy siniwka hine

「他人に見せず伝えられてきた物が、飽きて

エアッチェウン アラパ ルスイ ワ ネ ハウエ ネ ヤクン

eatceun arpa rusuy wa ne hawe ne yakun

よそへ行きたいという話ならば、

エネ アイェ ヒ カ イサム ルウエ ネ クス

ene a=ye hi ka isam ruwe ne kusu

私はどう言うこともできないので、

アコロ オッカイポ アコレ ハウエ ネ ワ オラウン

a=kor okkaypo a=kore hawe ne wa oraun

この若旦那に私はやります。

アトゥレシ ネ ヤッカ トウイマ ヤッカ ニシパ オルン アコララ ヤクネ

a=turesi ne yakka tuyma yakka nispa or un a=korar yakne

私の妹も、遠くても旦那のところへ嫁にしてもらえば

トウイマ ヤッカ ウエアパコラン オアシ ハワシ ハウエ ネ ヤン」

tuyma yakka ueapakor=an oasis hawas hawe ne yan”

遠くても私たちは親戚同士になりますから、そういうことにしてください」

セコロ ハウエオカ コン

sekor haweoka kor_

と言って、

ネア ポン メノコ カ アイコレ クニ キマッタロ ルウエ ネ ヒネ オラ

nea pon menoko ka a=i=kore kuni kimattaro ruwe ne hine ora

その少女も私の嫁としてもらうことが決まって、

コント ネア アオナハ コロ ワ オカイ パ プ アナクネ

konto nea a=onaha kor wa okay pa p anakne

私の父が持っていた物は、

アコロパレ パ アサケ キ プ ネ
 a=korporare pa a=sak h_e ki p ne
 くれてやった。お前に無いものが

ヘマンタ ネ パン セコロ ヤイヌアン クス
 hemanta ne p an sekor yaynu=an kusu
 何があるだろうかと私は思ったので、

コント ネ ワ オカイ ペ アセパレ ヒネ オラ イネ
 konto ne wa okay pe a=separe hine ora h_in
 それらのものを私は背負わせて、

カムイ イコロ パテク アセ ヒネ ネア ポン メノコ アトゥラ ヒネ オラノ
 kamuy ikor patek a=se hine nea pon menoko a=tura hine orano
 神の財宝ばかり私は背負って、その少女も連れて、

アラキアン ルウェ ネ アイネ
 arki=an ruwe ne ayne
 帰ってきた。

ネア オロ タ レウシアン ポン メノコ オツカイポ ウタラ オツ タ
 nea oro ta rewsu=an pon menoko okkaypo utar or_ ta
 (途中で) 私が泊まっていた少女や青年たちの所に

エカン ルウェ ネ ア プ
 ek=an ruwe ne a p
 私は来た (立ち寄った)。すると、

「アコン ニシパ、オカケ アン ネ ヤクン オラ
 “a=kor_nispa, okake an ne yakun ora
 「旦那様がいなくなったなら、

ネンカネ イマカケ タ アイロンヌ ヘネ キ せば アシトマ プ ネ」
 nenkane imakake ta a=i=ronnu hene ki SEBA a=sitoma p ne”
 ひょっとするとその後で私たちが殺されることもあるから、恐ろしい」

セコロ カネ ハウオカ ヘム キ コロ オラ

sekor kane hawoka hem ki kor ora

ということも言ってもいて、

ネ オンネ ウタラ ヘネ タプネ ネ セコロ ハウエオカ コロ

ne onne utar hene tapne ne sekor haweoka kor

その老人たちもそういうことだと言いながら

ネン カ カラ パ ヘネ キ パ ヤク アナクネ

nen ka kar pa hene ki pa yak anakne

いろいろと（村を出るための荷物を）作っている。それなら、

ソレクス エカン ワ エネ エネ アカラ パ クニ アイェ パ コロ

sorekusu ek=an wa ene ene a=kar pa kuni a=ye pa kor

私はそこに来て、どのようにするべきか言い、

ネア オッカイポ^ポ ウタラ オロ タ エカニネ レウシアナクシ

nea okkaypo utar oro ta ek=an h_{ine} rews_i=an akus

その青年たちは、そこに私が来て泊まると、

イケサンパ パ クナク イェ パ ヒクス

i=kesanpa pa kunak ye pa hikusu

私についてくると言うものだから、

「アトゥラ パ ヤッカ ピリカ」

“a=tura pa yakka pirka”

「一緒に来てもいいですよ」

セコロ ハウエアナン。

sekor hawean=an.

と私は言った。

アシヌマ カ シネ イリワク アネ。きょうだい カ アサク ペ。

asinuma ka sine irwak a=ne. KYODAI ka a=sak pe

私も一人っ子で、兄弟もいないのだから。

セコロ ヤイヌアン クス アトゥラ パ ヒネ オラノ アラキアン
sekor yaynu=an kusu a=tura pa hine orano arki=an
 と思って、私は彼らを連れて来て、

コント イネナネ イネ オラノ ウトゥラアニネ
konto inen a=ne h_ine orano utura=an h_ine
 今度、4人で連れ立って

アラキアニネ ネア アコロ カムイ オロ タ エカニネ
arki=an h_ine nea a=kor kamuy oro ta ek=an h_ine
 やってきて、その私の熊の所に私はやって来て

レウシアニネ オラノ
rewsi=an h_ine orano
 泊まって、そして

ネア イワイ ヤマンコ アナクネ カミヒ アオチャッチャリ ヒネ イサム。
nea iwan_ yamanko anakne kamihi a=ocaticari hine isam.
 その六人の山子は、その肉を私はばら撒いてしまった。

ウサ サマムニ カシ アオ。
usa samamni kasi a=o.
 いろいろな倒木の上に（その肉を）置いた。

オラ ネロク アテケカラ カムイ ウタラ アナクネ
ora nerok a=tekekar kamuy utar anakne
 そして、例の私が手ずから作ったカムイたちは

イナウ トウンブ オロ アオ ルウェ ネ イネ オラ
inaw tumpu or a=o ruwe ne h_ine ora
 イナウの包みに入れた。

アシリ カムイ ネ ヤイカラパ ワ カムイ オツ タ ヤイカッチピ ワ
asir kamuy ne yaykarpa wa kamuy or_ ta yaykatcipi wa
 新しいカムイに姿を変えてカムイの世界で生き返って、

シリコロカムイ ネ パクス キ パクニ アイェ コロ
sirkorkamuy ne pa kusu ki pa kuni a=ye kor
 樹木のカムイなのだから、そうなるようにと私は言って

イナウトウンブ オロ アオ イネ オラノ
inawtumpu or a=o h_ine orano
 イナウの包みに私は入れて、

ヌプリ ケスン プリ ウェン クン ネ ヤッカ
nupuri kes un puri wen kur_ ne yakka
 山裾に住む振る舞いの悪い者（熊）でも、

カミヒ アエ コン レウシアン ルウェ ネ。
kamihi a=e kor_ rewsu=an ruwe ne.
 その肉を私は食べて泊まったのだった。

「カムイ ウタラ アウコアパプ。
“kamuy utar a=ukoapapu.
 カムイたちみんなに私は注意を促します。

モナク カ プリヒ ウェン ペ
monak ka purihi wen pe
 そうでなくても振る舞いの悪い者であって、

エネ ネン ネン カムイ ウタラ ハウオカ ワクス ネ ヒ ネ クス
ene nen nen kamuy utar hawoka wakusu ne hi ne kusu
 様々なカムイたちが話していて、そういうことになったということだから、

テ ワノ カ スイ カムイ ウタン ネノ ハウオカ ヤッカ
te wano ka suy kamuy utar_ neno hawoka yakka
 これからはまたカムイたちがそのように話していても、

アイヌ アネ ヤッカ カムイ ウタラ アアパプ」
aynu a=ne yakka kamuy utar a=apapu”
 私が人間であるがカムイたちに弁護いたします」

ヒ アイェ コロ キ ルウエ ネ アクス

hi a=ye kor ki ruwe ne akusu

私は言うど、

オラ ネ アンチカラ スイ ウェンタラパン ルウエ ネ アクス

ora ne ancikar suy wentarap=an ruwe ne akusu

その晩に私はまた夢を見て、

ネア カムイ アシリ サパ トウイェ カネ アニネ ミナ カネ アニネ

nea kamuy asir sapa tuye kane an h_inē mina kane an h_inē

そのカムイが新しく髪を切っていて、笑いながら、

「アコロ オツカイポ、エアン クシケライポ

“a=kor okkaypo, e=an kuskeraypo

「若旦那様、あなたがいたおかげで、

ラッチ イレンカ アコロ ワ カムイ オツ タ アナン クス オラ

ratchi irenka a=kor wa kamuy or_ ta an=an kusu ora

きつく罰せられずに、カムイの世界で私は暮らしているので、

トゥ スイ レ スイ エイキリ ワ アエコマラットネ ヤク

tu suy re suy e=i=kir wa a=e=komarattone yak

二度三度と、見おぼえのある私があなたの客人になったら、

アニンケヘ トウラノ アルシ エエイヨク ヤ カ エエピリカ ルウエ ネ。

a=ninkehe turano a=rusi e=ei yok ya ka e=epirka ruwe ne.

私の胆嚢と私の毛皮をあなたが売ったりしても、それであなたは豊かになれる。

オラウン イノミ ヤクネ トウイマ ヤッカ エアプカシ ヤッカ

oraun i=nomi yakne tuyma yakka e=apkas yakka

そして私に祈りを唱えれば、遠くへあなたが行くとしても、

エアプカシ テクサマ アエプンキネ ワ

e=apkas teksama a=epunkine wa

あなたが行く先々を私は守護して、

ネペシトマ カ ソモ キ ノ エアプカシ ワ

nep e=sitoma ka somo ki no e=apkas wa

何もあなたは怖れることもなく歩き、

タオカ オッカイポ^o ウタン ネ ヤッカ エトウラ ワ

taoka okkaypo utar_ ne yakka e=tura wa

この青年たちもあなたと一緒にいて、

エエピリカ ナンコロ クス

e=epirka nankor kusu

それであなたは豊かになれるだろうから、

ネノ エイキ オラ

nenno e=iki ora

そのようにあなたはしなさい。

ネ モシリパサリヒ ワノ アウコエニウチンネ ウェン カムイ アナクネ

ne Mosirpasarihi wano a=ukoeniwcinne wen kamuy anakne

その斜里から追放された悪いカムイが、

アッテイネモシリ アコオテレケ ワ アラキ パ プ ネ クス

atteynemosir a=kooterke wa arki pa p ne kusu

地底の世界に踏み落とされてもやって来たので、

アッテイネモシリ エコオテレケ アシリキンネ キ プ ネ クス

atteynemosir e=kooterke asirikinne ki p ne kusu

それをあなたは新たに地底の世界に踏み落としたのです。だから、

ネウン ネ アニ エシトマ カ ソモ キ プ ネ ルウェ ネ ナ」

neun ne an h_i e=sitoma ka somo ki p ne ruwe ne na”

どのようなことでもあなたが怖れることはない」

セコロ ウェンタラパン

sekor wentarap=an

ということを私は夢に見て、

クネイワ オンカミアナ アナ コロ オラノ コント

kuneywa onkami=**an a** =**an a** kor orano konto

朝に私は何度も祈りを捧げて、そして、

ネア カ……[12] ヌプリ ケスン プリ ウェン クル アホプニレ ヒ

ne a ka... nupuri kes un puri wen kur a=**hopunire** hi

その山裾に住む素行の悪い者（熊）を送ると、

イナウ トウンプ オロ アオマレ ヒネ オラ

inaw tumpu or a=**omare** hine ora

それをイナウの包みへ私は入れて、

カミヒ コント アセ ヒケ サパン ヒネ

kamihi konto a=**se** hike sap=**an** hine

その肉を背負って山を下りて、

アオナハ オロ タ サパン ルウェ ネ ア プ

a=**onaha** oro ta sap=**an** ruwe ne a p

私の父のところへ私たちは下りてきたのだが、

アオナハ カムイオロイタク コロ アニネ

a=**onaha** kamuy'oroytak kor an h_inne

私の父はカムイへの祈り言葉を唱えていて、

オロ タ スイ マカナク アオナハ イキ ハウエ エネ ヤ

oro ta suy makanak a=**onaha** iki hawe ne ya

そこでまた、どうして私の父はそうしているのか、

ハワシ ルウェ ネ アクス

hawas ruwe ne akusu

言うことには、

「エネ ヤイヌアン カ ソモ キ アイネ

“ene yaynu=**an** ka **somo** ki ayne

「私はそんなことを考えていなかったのに、

ニサプ アポホ ア…… ヘネ アアプカシテ オラノ

nisap a=poho a... hene a=apkaste orano

急に息子を送り出した。

アポ ソイネ たか (?) アクス

a=po soyne TAKA(?) akusu

息子が外に出て行くと、

オラノ アエポタラ ワ エネ ハウエアナン コロ アナン ハウエ エネ ネ。」

orano a=epotara wa ene hawean=an kor an=an hawe ene ne.”

私は息子を心配して、このように（神へ）申ししていたのだよ。」

セコロ ハウエアニネ

sekor hawean h_in

と父は言っている。

タップネ タップネ ネ ワ アイヌトゥラアン ワ エカニネ

tapne tapne ne wa aynutura=an wa ek=an h_in

このようにして私が人を連れて来たので、

アイエ ワ アウヌフ エヤイコプンテク コロ ソイネ ルウエ ネ アクシ

a=ye wa a=unuhu eyaykopuntek kor soyne ruwe ne akus

そう言うと、私の母は喜んで外に出て来ると、

エソイネ ウエカプ ハワシネ

esoyne uekap hawas h_in

外で互いに挨拶をまずはして、

アフプテ ナニ キ パ ルウエ ネ ワ

ahupte nani ki pa ruwe ne wa

すぐに家の中に入らせた。

ネア アトゥラ ポン メノコ アナクネ

nea a=tura pon menoko anakne

その私が連れてきた少女は

アシンペ テッケシ アアプカシテ ア プ、
asinpe tekkes a=apkaste a p,
 賠償金の補いで送り出され、

アオナ コロ オカイ パ パナク アホシッパレ ヒネ
a=ona kor okay pa p anak a=hosippare hine
 私の父の持ち物は返し、

オラ ソレクス カムイコロペ^[13] パテク アセ ワ
ora sorekusu kamuykorpe patek a=se wa
 宝物ばかりを背負って

エカン ルウェ ネ ヒ アイェ アクス
ek=an ruwe ne hi a=ye akusu
 きたのだということを私は言うと、

「アサク エ キ プ ネ エネ ヘマンタ ネ プ オカ ワ
“a=sak h_e ki p ne ene hemanta ne p oka wa
 「私が持っていないものが何かあるというのか。

アホッパ ヤッカ ピリカ ハウエ ネ」
a=hoppa yakka pirka hawe ne”
 置いてきてもいい話だ」

セコロ アオナハ ハウエアン コロ
sekor a=onaha hawean kor
 と私の父は言って、

オラウン ネ カムイコロペ アナクネ
oraun ne kamuykorpe anakne
 そしてその宝は、

スウオパサム アカラパレ ルウェ ネ オラ
suwop asam a=karpate ruwe ne ora
 宝箱の底に置いて、

ネア ポン メノコ アトゥラ ワ マツ サクノ キ ヒケ アナク

nea pon menoko a=tura wa mat sakno ki hike anak

その少女と、妻を持たずに私が連れてきた青年は

アウヌフ マツネポ ネ コロ

a=unuhu matnepo ne kor

少女を母が娘として引き取って、

ネア アコロ オッカイポ アナク

nea a=kor okkaypo anak

その青年は

キヤンネ イアッカリ キ ルウェ ネ ヤ ポニウネ ルウェ ネ ヤ

kiyanne i=akkari ki ruwe ne ya poniwne ruwe ne ya

私よりも年長であるのか、年少であるのか

アエラミシカリ コロカ

a=eramiskari korka

分からないのだが、

アオナハ ウタリ ポ ネ コロ パ ルウェ ネ ヤク イエ パ コロ

a=onaha utari po ne kor pa ruwe ne yak ye pa kor

私の両親がその二人を息子として引き取ると言って、

オラ ネア オッカイポ アナク

ora nea okkaypo anak

そして青年については

タネ コタン オツ タ ピリカ オケレ ポン メノコ アオナハ エトウニネ

tane kotan or_ ta pirka okere pon menoko a=onaha etun h_ine

村でとても美しい少女と私の父が結婚をさせて、

シソイ タ チセカリネ

sisoy ta cisekar h_ine

自分の家のすぐ近くに家を作って、

オロ タ アアヌ

oro ta a=anu

そこに私たちは住ませた。

ネア ポン メノコ カ アウヌフ マツネポ ネ コロ ヤク イェ コロカ

nea pon menoko ka a=unuhu matnepo ne kor yak ye korka

その少女も私の母が娘として引き取ると言ったが

ニシパ オロ ワ オツカイポ ピリカ オツカイポ エトウニネ

nispa or wa okkaypo pirka okkaypo etun h_ine

長者の家の青年、好青年と結婚させて、

イピシカニケ タ オカ ワ

i=piskanike ta oka wa

私たちの周りで暮らした。

オラノ ソレクシ イリワク コロ ヤクン ヤイカタ イリワキ ネノ

orano sorekus irwak kor yakun yaykata irwaki neno

そして兄弟を持つと自分の兄弟のように、

オナ コロ パ ヤクン オナ ネノ

ona kor pa yakun ona neno

父をもつと（自分の）父のように、

アオナウタリ ヌヌケ パ ヒナオカ イケカ キ

a=onautari nunuke pa hinaoka h_ikeka ki

誰もが私の両親の面倒をよく見てくれていたが、

アシヌマ ネ ヤッカ ネプ アウヌフ テケ ケレ シリ イサム ノ

asinuma ne yakka nep a=unuhu teke kere siri isam no

私の方でも、私の妻が母に家事の手伝いもさせないほどに

アマチヒ イキ コロ キ オラウン

a=macihi iki kor ki oraun

面倒をよく見ている、

ネ アウタリヒ アトゥラ ワ アプカシ カ アン カ エトランネ^[14]

ne a=utarihi a=tura wa apkas ka =an ka etoranne

私はその同胞たちと一緒に歩くこともいやなので、

シネン ネ プ ネ クス

sinen ne p ne kusu

一人でいるので

モシリパ タ カ アラパアニネ

Mosirpa ta ka arpa=an h_inē

モシリパ（サリヒ）にも私は行って、

イカ オピウキ オンネ ウタラ、エキムネアン ワ オロ タ……

i=ka opiwki onne utar, ekimne=an wa oro ta

私を助けてくれた老人たち、私は山へ行って、そこへ……

ポン チャチャ オロ タ レウシアン ワ エキムネアン ワ

pon caca oro ta rewsī=an wa ekimne=an wa

小老人の所に私は泊まって、山へ行って

ユク ネ チキ カムイ ネ チキ アロンヌ ワ

yuk ne ciki kamuy ne ciki a=ronnu wa

鹿であれ熊であれ獲って、

アコロパレ パ ワ オラ ルプネ マッ ネ ヤッカ キ パ オラノ

a=korporē pa wa ora rupne mat ne yakka ki pa orano

与えて、(例の) おばあさんに対してもそのようにして、

「アコロ オッカイポ アン クシケライポ」

“a=kor okkaypo an kuskeraypo”

「若旦那がいてくれるおかげだ」

セコロ ハウオカ イネ オロ ワ マッ アコロ ワ アトゥラ ワ アラパアン

sekor hawoka h_inē oro wa mat a=kor wa a=tura wa arpa=an

と(その二人は)言い、そこで私は妻をめとって、一緒に行って

ニシパ ウタラ オロ タ ネ ヤッカ アラパアン ワ

nispa utar oro ta ne yakka arpa=an wa

長者たちのところにも、私は行った。

イコシネウパ パ アコシネウパ パ ソ………

i=kosinewpa pa a=kosinewpa pa so... .

長者たちも私たちのところを訪問し、私も彼らのところを訪問して、

オロワノ アナクネ シットウイマ ヤッカ

orowano anakne sittuyma yakka

それからは、遠くても

イコイクタシパ パ アコイクタシパ パ アプカサン。

i=koykutaspa pa a=koykutaspa pa apkas=an.

私の所に酒を飲みに来て、私も彼らの所に酒を飲みに行き、そうやって行き来した。

コント エペ……… エカリ ノ ネロク オンネ ウタリ イサム パ コロ

konto epe... ekari no nerok onne utari isam pa kor

そのうちに、あの老人たちも亡くなって、

ヤイカタ ニシパ オスラ クニ カツケマツ オスラ クニ

yaykata nispa osura kuni katkemat osura kuni

自ら（通常の）長者を葬り、貴婦人を葬る、

オッカシケ タ アオスルパ コロ オラノ

okkaske ta a=osurpa kor orano

よりももっと立派に二人を葬ると、

アプカサニネ アトゥラ ウタラ アナクネ イトゥラ プ カ コパン パ ワ

apkas=an h_inine a=tura utar anakne i=tura p ka kopan pa wa

私は出かけて、私が連れて来た人々は私と一緒に行くことを嫌がり、

アイオシ ロク パ プ ネ クス キ ワ キ コロカ

a=i=osi rok pa p ne kusu ki wa ki korka

私が（あの悪人のいた村に）滞在するので嫌がるのだが

ネプ アエ ルスイ ネパコン ルスイ ソモ キ ノ ア……

nep a=e rusuy nep a=kor_ rusuy somo ki no a…

何を私は食べたいとも何を私は欲しいとも思うことなく、

アウヌウタリ ネ ヤッカ キ コロ オカアン オラ

a=unuutari ne yakka ki kor oka=an ora

母たちもそのように暮らしていた。

ウエカリ ポウタリ マツネポホ ネ ヤク イェ パ プ

uekari poutari matnepoho ne yak ye pa p

集まって、息子たちや娘と呼んでいる者たちは

ポシレシッテ パ コロ

posiresitte pa kor

子どもがたくさんできて、

オラノ ナ ウアッチェ タ ウオカラパ ウオカラパ ワ パイェ ワ

orano na uatce ta uokarpa uokarpa wa paye wa

まだ、互いに行き来していたのだが、

イコウエライニンネウエライニンネ パ コロ アオナウタリ キ アイネ

i=kouerayninneuerayninne pa kor a=onautari ki ayne

私の両親は私たちに対してたくさん世話をしてくれて、そうして

アオナウタリ カ アピリカコロオンネレ。

a=onautari ka a=pirkakor'onnere.

私は両親を大切にし、よい晩年を過ごさせた。

オカケ タ ヌプリ ケスン プリ ウェン クル アノミ ワ

okake ta nupuri kes un puri wen kur a=nomi wa

その後、私は山裾に住む素行の悪い者へ祈って、

イセレマクシ ワ ネ クニ アラム。

i=sermakus wa ne kuni a=ramu.

(その者が) 私の守護をしてくれますようにと思った。

ネプ アシトマ カ アコン ルスイ カ ソモ キ

nep a=sitoma ka a=kor_rusuy ka somo ki

何を私は怖れることも、私は欲しいと思うこともなく、

オラノ アキリ ワ トウ スイ レ スイ イコマラットネ ネ…… ネン……[15]

orano a=kir wa tu suy re suy i=komarattone ne... nen...

そうして見覚えのある熊が、二度三度と私の客人になってくれて、

ルシヒ アエイヨク コロ ポ ヘネ トウ アタイェ レ アタイェヘ アウク ワ

rusihi a=eyok kor po hene tu ataye re atayehe a=uk wa

その皮を私は売って、いっそう二つの代金、三つの代金も私は受け取って、

アエピリカ コロ オカアナイネ

a=epirka kor oka=an ayne

それで私は裕福になって暮らしていると、

タネ オンネアン シリ エネ アニ ネ クス アエイソイタク

tane onne=an siri ene an h_i ne kusu a=eysoytak

今や私はこのように年老いたので、話をしておく。

アポウタリ カ ヤイラメコツパ キ シリ エネ アニ ネ クス

a=poutari ka yayramekotpa ki siri ene an h_i ne kusu

息子たちもこのように結婚しているので、

アポウタリ アエパシクマ

a=poutari a=epaskuma

息子たちへ私は教えおくのだ

セコロ シノ ニシパ ハウエアン セコロ。

sekor sino nispa hawean sekor.

と本当の長者が言ったのだと。

【注】

- [1] 萱野茂氏による解説 (21-5) によれば、これは「ハラヤミ」(腹病み) のふりをして、わざとやっている。

- [2] 萱野茂氏による解説 (21-5) によれば、これは腐った木に魂を吹き込んで熊にして、待ち伏せしている熊に対して喧嘩をさせている場面である。
- [3] 悪い熊を描写する際の常套句 (の半分)。
- [4] カムイが夢を通じて何かを伝えようとしたため急に眠くなったのだと考えられる。
- [5] 音としては ananayne と聞こえる。
- [6] koramniwkes 「～にかなわなく思う」(『静内語彙集』 p. 69)。
- [7] ikare 「越えさせる」(『萱野辞典』 p. 47)。
- [8] heshto-hestho 「何時も何時も○そらそら、それ見ろ (Karepia)」(『久保寺辞典稿』p. 84)。
- [9] terere 「待たしむ」(『久保寺辞典稿』 p. 272)。
- [10] この後に (wa)kusu などの音が聞こえるかも知れず、微妙なところである。
- [11] ここは kotan kes un rupnemat が正しいことが後ろから分かるので、一度間違えて言い直したのであろう。また、kontan pa un poncaca が対になって出て来るはずで、これを入れ損なったのだと考えられる。
- [12] nea kamuy などと言おうとして言い直したのではないか。
- [13] kamuikorpe 「宝物、重代の什器、宝器、祭器」(『久保寺辞典稿』 p. 118)。
- [14] モシリパサリヒに行くのに、そこから逃げてきた人々を連れて行くわけにいかないので、ひとりで行動している。
- [15] ここは neun nen 「あれこれと」と言っているかもしれない。

21-5 ウエペケレ「モシリパサリヒタ ソアタイタク クス アラパアン」解説

語り手：木村きみ
聞き手・解説：萱野茂

萱野：Mosirpasarihi ta soataytak kusu arpa=an [斜里の村へ借金を請求しに私は行った] という uepeker [散文説話] だな。

木村：ふふふ（笑） うん、そう。

萱野：これは行く途中にハラヤミ [腹痛] の真似をして、それ（は）熊が待ち伏せしているらしいので、わざとその熊の見える場所でハラヤミ [腹痛] のふりをして、そして腐った木に、あの……魂を入れて、

木村：うんそう。熊にして、

萱野：熊にして、そしてその熊、待ち伏せしている熊に、喧嘩させるわけだな。

木村：（笑いながら） そうそうそうそう。

萱野：そしてその自分では傷もつかずに、あの……

木村：自分では手かけないで、

萱野：手かけないで、ちゃんとその熊を征伐したと。

そして、夢に見させられて、えーまあ、それからその soataytak [借金取りに行く] というのは、Mosirpasarihi というのは、シャリ [斜里] の方へだな。

木村：うん、そう。

萱野：シャリ [斜里]、今の言葉で言うシャリの方だっちゅう話、聞いたことあ

るんだが、そのシャリへ行って、昔貸してあった、父が貸してあったものを寄越せと言って、取って、帰ってきたと、そういう、短く言えばそういう uepeker [散文説話] でしたね。

木村：うん、そうそうそう。

21-6 ウエペケレ

「ポンニマ」途中テープ切れ 22号へ続く

小皿

語り：木村きみ

(萱野：何でもいいですよ)

アユピヒ トウン アン ヒネ オカアン。

a=yupihi tun an hine oka=an.

私には兄が二人いて暮らしていた。

アユプタリ イオマプ ロク イオマプ ロク コロ オカアン ルウェ ネ。

a=yuputari i=omap rok i=omap rok kor oka=an ruwe ne.

兄たちは私のことを可愛がりながら私たちは暮らしていた。

ネプ アエ ルスイ ネプ アコン ルスイ カ ソモ キ ノ オカアン アワ、

nep a=e rusuy nep a=kor_ rusuy ka somo ki no oka=an awa,

何を私は食べたいとも欲しいと思うこともなく暮らしていたのだが、

アユプ…… ポロ アユピヒ イカイ カネ ワ

a=yup... poro a=yupihi i=kay kane wa

私の兄……、上の兄が私をおぶってくれて、

ユク ネ チキ カムイ ネ チキ ヌウェコアン ア プ

yuk ne ciki kamuy ne ciki nuwekoan a p

鹿だの熊だのたくさん獲物をとったのだが、

イカイ エアイカピ オロワノ イホツパ ワ

i=kay eaykap h_i orowano i=hoppa wa

私をおぶれなくなってからは、私を置いて

エキムネ パ コロ セタ スイ カ キキリ スイ カ セシケセシケ パ ワ^[1]

ekimne pa kor seta suy ka kikir suy ka seskeseske pa wa

(兄二人が) 山に行くと、犬の穴も虫の穴もしっかり塞いで

エキムネ パ コロ オカケ タ ア……

ekimne pa kor okake ta a...

(二人が) 山へ行った後で、

エロンネ オウトウンネ アクシノタン ワ

eronne outunne aksinot=an wa

私は上座で下座で弓遊びをして

ヤユナコタチアン コロ アナン ルウェ ネ ア プ

yayunakotaci=an kor an=an ruwe ne a p

自分に灰をぬりつけたりしていたりしたのだが、

シネ アン タ スイ ネノ イキアン コロ アナン ア プ

sine an ta suy neno iki=an kor an=an a p

ある日のこと、私はまた同じようにしていたのだが、

アハ…… アパオッキ アオマウスイエ ペコロ シリキ ヒネ

aha... apaotki a=omawsuye pekor sirki hine

戸口の簾が風で揺らされるようなので、

インカラン ルウェ ネ アクシ

inkar=an ruwe ne akus

私は見ていると、

ポン ニマ トupp ウトゥラ ヒネ アフピネ エネ オカ イ

pon nima tup utura hine ahup h_inine ene oka h_i

小さな皿が二枚連れ立って入って来て、このように言った――

「タン アコロ オッカイポ ニサッタ ネ アン チキ イム……

“tan a=kor okkaypo nisatta ne an ciki imu...

「さあ私の男の子よ、明日になると……

(萱野：ポン ニマ?)

(萱野：pon nima?)

(萱野：小皿?)

ポン ニマ。

pon nima.

小皿

(萱野：あー、うん)

アコロ ペツ エムコ タ……

a=kor pet emko ta…

我々の川の奥の方で……

(萱野：木で作ったやつだな?)

うんうんうん。

アコロ ペツ エムコ タ コタン コン ニシパ (咳の声) マチヒ ポ サク ワ

a=kor pet emko ta kotan kor_nispa (咳の声) macihi po sak wa

我々の川の奥の方で、村長の妻が子どもがなくて、

ポエコイトウパ プ ネ クス

poekoytupa p ne kusu

子どもを欲しがっていたので、

ネプ ネ ヤッカ カラ ペ オラ マカニ クス ムン オスラ カ ソモ キ ノ

nep ne yakka kar pe ora makan h_i kusu mun osura ka somo ki no

何をしても、どうしたことかごみも捨てないで、

アパ パ タ ムン トイプ^[2] カラ タ (?) チセ ソイ^[3] カラ コロ

apa pa ta mun toypu kar ta(?) cise soy kar kor

戸口の上手にゴミがうずたかく積もって、家の外にそのように積もって、

ムン トイプ カラカラ ヒネ アン ルウェ ネ ア プ

mun toypu karkar hine an ruwe ne a p

ゴミの山が幾つもできているのだが

ネプ トイプ だか ルトム ウン カムイ イルシカ ヒネ
nep toypu DAKA rutom un kamuy iruska hine
 何の積もった山だか、土間にいるカムイが怒って

コタン コン ニシパ ラマチヒ ウク ルウェ ネ ワ
kotan kor_ nispa ramacihi uk ruwe ne wa
 村長の魂を取ってしまって、

カシ チスン コロ シラン ルウェ エネ アニ。
kasi cisun kor siran ruwe ene an h_i.
 死者を悼んで泣いている様子がこのようであるのだ。

ニサッタ ネ アン チキ エユプタリ エシレン ワ エカイ ワ エチパイェ ワ
nisatta ne an ciki e=yuputari e=siren wa e=kay wa eci=paye wa
 明日になったら、あなたはお兄さん二人を誘って、あなたをおぶってそこへ行って

ネ ラマツ エウク ワ ネア コタン コン ニシパ エシクヌレ ワ オラウン……
ne ramat e=uk wa nea kotan kor_ nispa e=siknure wa oraun...
 その魂を取り戻して、その村長を生き返らせて、

オロワ エチサプ ヤクン
orowa eci=sap yakun
 そうしてあなたたちが戻ってきたなら、

オラ イシムネ スイ タン ペツ トウラシ パイエアン^[4] コロ
ora isimne suy tan pet turasi paye=an kor
 その翌日にまたこの川に沿って上流に行くと

エチコン ペツ ネ ポロ ナイ アン ルウェ ネ クシ
eci=kor_ pet ne poro nay an ruwe ne kus
 あなたたちの川である大きな川筋があるので、

ネ ナイ トウラシ エチパイェ ワ
ne nay turasi eci=paye wa
 その筋に沿ってあなたたちは行って

エユピ° スイ エカイ ワ エチパイェ チキ

e=yupi suy e=kay wa eci=paye ciki

あなたのお兄さんがまたあなたをおぶって行ったら、

イナウ ネ ニ トウイパ ワ エチパイェ ワ エ……

inaw ne ni tuypa wa eci=paye wa e…

イナウになる木を切って行って、

オロ タ エオナハ コロ キムシプ アン ルウエ ネ クス

oro ta e=onaha kor kimuspu an ruwe ne kusu

そこでああなたのお父さんの山の倉があるので、

キムシプ オツ タ エチパイェ チキ

kimuspu or_ ta eci=paye ciki

山の倉にあなたたちは行ったら、

キムシプ オツ タ エオナハ エイワンケ カパラ ス ネ ヤッカ

kimuspu or_ ta e=onaha eywanke kapar su ne yakka

山の倉でああなたのお父さんが使っていた薄手の鍋も

アオカ ネ ヤッカ イエイワンケ ア プ

aoka ne yakka i=eywanke a p

私たちも使われていたのだが、

オラ ネノ オカアン ワ ネノ オカアン ワ

ora neno oka=an wa neno oka=an wa

そのままになっていて、そのままに私たちはいて、

キムシプ オロ オ カムイ コロ ペ カ エチエラミシカリ ノ イサム ヤクネ

kimuspu or o kamuy kor pe ka eci=eramiskari no isam yakne

山の倉の中にあるカムイの持ち物（宝物）もあなたたちは全く知らないから、

エネ エチラム ヒ カ イサム。

ene eci=ramu hi ka isam.

そのように思い至りもしない。

キムシプ カムイ カ シンリッ コロ ペ ヒクス

kimuspu kamuy ka sinrit kor pe hikusu

山の倉のカムイも先祖を持つものであるので、

ネノ エユプタリヒ キ ワ ヤクン オラウン…… ウン……

nenno e=yuputarihi ki wa yakun oraun... un...

そのようにあなたの兄たちがするなら、

ウン…… エウエインカン ネ ヤ

un... e=ueinkar_ ne ya

あなたは遠くのものを見ることも、

カムイサシミ エネ クス エウエインカン ネ ヤ

kamuysasimi e=ne kusu e=ueinkar_ ne ya

あなたはカムイの世継ぎであるので、あなたは遠くのものを見ることも

ムン ネ ヤッカ キキン ネ ヤッカ ネプ ネ ヤッカ ウコイタク ハウエ カ

mun ne yakka kikin ne yakka nep ne yakka ukoytak hawe ka

草であれ、虫であれ、何であれお互いに話しをしていることを

エヌ プ ネ ルウエ ネ ナ。

e=nu p ne ruwe ne na.

あなたは聞くこともできるのですよ。

ネノ エイキ プ ネ ルウエ ネ ナ」

nenno e=iki p ne ruwe ne na.”

そのようにあなたはするのですよ」

セコロ カネ ハウエオカ コロ

sekor kane haweoka kor

ということを書いて、

ソヨシマ パ オピッタ キ ヒネ イサム ルウエ ネ ヒネ

soyosma pa opitta ki hine isam ruwe ne hine

二枚とも外に出て行って去って行ってしまったので、

コント アユ…… アユプタリ ウン アイェ カ ソモ キ ノ アナニネ
 konto a=yu... a=yuputari un a=ye ka somo ki no an=an h_ine
 兄たちに私は言うこともなくいて、

クネイワ アン ヒクス
 kuneywa an hikusu
 朝になったので、

「アユピ° ポロ アユピヒ イカイ ヤクネ
 “a=yupi poro a=yupihi i=kay yakne
 「私の兄さん、上の兄さんが私をおぶって、

アコロ ペツ エムコ ウン パイエアン クシ ネ」
 a=kor pet emko un paye=an kus ne”
 我々の川の上流の方に行きましょう」

セコロ カネ ハウエアナン ルウェ ネ アクス
 sekor kane hawean=an ruwe ne akusu
 ということを私は言うと、

イ…… イエオリパク パ マク アニクス エネ アナン ペ ネ ア プ
 i=... i=eoripak pa mak an h_ikusu ene an=an pe ne a p
 (兄二人は) 私に遠慮して、どうしてか私はそのような姿であったのだが、

アパハ ノ (?) ポロ プ ネ クニ アラム ヤ カ
 a=paha no (?) poro p ne kuni a=ramu ya ka
 私の年齢はもう大きいと私は思うのだが、

ポンポナン ペ ネ クス…… ペ ネ コロカ
 ponpon=an pe ne kusu... pe ne korka
 とても小さくて……のだが、

イエオリパク パ プ ネ クシ
 i=eoripak pa p ne kus
 私に遠慮して、

ポロ アユピ[°] イカイ イネ オロワノ パイエアン ソレクス
 poro a=yupi i=kay h_ine orowano paye=an sorekusu
 上の兄が私を背負って、そうして私たちは行くと、

パシ カネ テレケ カネ パイエアン ルウェ ネ アクス
 pas kane terke kane paye=an ruwe ne akusu
 走るように飛ぶように私たちは行くと、

ソンノ カ インネ コタン ポロ コタン アニネ
 sonno ka inne kotan poro kotan an h_ine
 聞いていた通りに人数の多い村、大きな村があって、

コタン ノシキ ウンノ ル アン ペ ネ アニネ チセ ソイ タ パイエアン。
 kotan noski unno ru an pe ne an h_ine cise soy ta paye=an.
 村の中央へ道があるものであるので、家の前まで私に行った。

アユピ[°] イランケ ヒクス
 a=yupi i=ranke hikusu
 家の外に兄は私を下ろして、

インネ メノコ トパ オッカヨポ[°] トパ
 inne menoko topa okkayopo topa
 大勢の女の人たち、男の人たちが

イウタ コロ オカ ルウェ ネ ヒクス
 iuta kor oka ruwe ne hikusu
 杵つきをしているので、

「イテキイ イウタ パ ノ タアン ムン トイプ
 “iteki iuta pa no taan mun toypu
 「杵つきなどをしないで、このゴミの山積みが、

ソンノ カ ポロ ムン トイプ アン ヒクス
 sonno ka poro mun toypu an hikusu
 聞いていた通り大きなゴミの山積みがあるので、

チャッチャリ パ ワ イコレ パ ヤク ピリカ」

catcari pa wa i=kore pa yak pirka”

ばらまいて散らしてくださいな」

セコロ ハウエアナン。オラノ

sekor hawean=an. orano

と私は言った。そうすると、

「ヘマンタ ネ クス エネ ハウエアニ アン？」

“hemanta ne kusu ene hawean h_i an?”

「どうしてそのように言うのだろうか」

セコロ アユプタリ ハウオカ コロ イヌカラ ワ オカ。

sekor a=yuputari hawoka kor i=nukar wa oka.

と兄たちは言いながら私を眺めている。

ソンノ カ メノコ ウタラ オッカヨ ウタラ イウタ カ ソモ キ パ ノ

sonno ka menoko utar okkayo utar iuta ka somo ki pa no

本当に女たち男たちが杵つきをやめて

ネ ムン トイプ チャッチャラパ

ne mun toypu catcarpa

そのゴミの山積みを散らして、

チセ オルン…… ウン…… クス ウコヌウェ (?) セ パ コロ オカ ハウエ

cise or un... un... kusu ukonuwe (?) se pa kor oka hawe

皆で掃き掃除を (?) しているという話を

アヌ コロ オラノ アキ オラノ エウン インカラン ワ アナン アクス

a=nu kor orano a=ki orano eun inkar=an wa an=an akusu

私は聞いて、そちらの方へ私は目を向けていると、

ライク…… ライタマヌム アパ…… ア…… アヌカリクス

rayk... raytamanum a=pa... a... a=nukar h_ikusu

死んだ人の丸い魂の粒を私は見つけて……私は見たので、

エウン アウクテキネ

eun a=uktek h_ine

それを私はぱっと取って、

アパ パ タ アラパアン アクシ オツ ソイネ イエカリ キ ヒクス

apa pa ta arpa=an akus ot soyne i=ekari ki hikusu

戸口の上手にその死骸を包んだ莫塵が外にいる私の方に向かってくるので

「ネア オツ アフプテ ヤ パ ヤク ピリカ ピリカ」

“nea ot ahupte ya pa yak pirka pirka”

「その死骸を中に入れてくださいな、くださいな」

セコロ ハウエアナン コロ キ パ ルウエ ネ アクス コンド…… ヒクス

sekor hawean=an kor ki pa ruwe ne akusu kondo... hikusu

と私が言うと、人々はそのようにすると、するので、

「ヘカチ ネ ヤッカ カムイ シリ ネ アン ペ

“hekaci ne yakka kamuy siri ne an pe

「男の子であるがカムイのような者が

ヤイサムネサムネ ハウエ ネ クス

yaysamnesamne hawe ne kusu

心配してそのように言うので、

ア…… オツ アフンケ ヤク ピリカ」

a... ot ahunke yak pirka”

棺を中に入れるといい」

セコロ ハワシ ヒネ オツ アフンケ ヒネ

sekor hawas hine ot ahunke hine

と言うので、棺を中に入れて、

「ホクレ ホクレ アピタ ヤク ピリカ」

“hokure hokure a=pita yak pirka”

「さあさあ、(ごぎを) ほどいてくださいな」

セコロ ハウエアナン。アピタ ヒネ

sekor hawean=an. a=pita hine

と私は言った。ほどいて、

「ライクル エシピンパ プ クワ ネ ヤッカ ネプ ネ ヤッカ

“raykur esipinpa p kuwa ne yakka nep ne yakka

死に装束、墓標であれ何であれ、

オピッタ オヤクン アリ パ ヤク ピリカ」

opitta oyakun ari pa yak pirka”

全て別のところへ置いてくださいな」

セコロ ハウエアナン ハウエ…… ペ ネ クス オヤクン アリ パ ヒネ オラ

sekor hawean=an hawe... pe ne kusu oyak un ari pa hine ora

と私は言ったので、(人々は) 別のところへ持っていき、

「モシマ アミプ アミレ ニシパ カムイ キ ヤク ピリカ」

“mosma amip a=mire nispa kamuy ki yak pirka”

「長者様には他の着物を着せてください」

セコロ ハウエアナン ペ ネ クス モシマ アミプ アミレ ルウエ ネ。

sekor hawean=an pe ne kusu mosma amip a=mire ruwe ne.

と私は言うので、他の着物を人々は着せたのだ。

オラノ タネ ア ライタマヌム サパハ ワノ テク……

orano tane a raytamanum sapaha wano tek...

そうして、次に魂の粒を頭から手……

アシケペツ エトウプシケ ウンノ ウレペツ エトウプシケ ウンノ

askepet etupsike unno urepet etupsike unno

手の指の先まで、足の指の先まで

アエシル アイネ

a=esiru ayne

こすりつけると

ネア ライタマヌム イサム ルウエ ネ ア プ
 nea raytamanum isam ruwe ne a p

その魂の粒は無くなったが、

ネア ニシパ ヘセ ヒネ ホプニ ルウエ ネ。
 nea nispa hese hine hopuni ruwe ne.

その長者は息をして起き上がったのだ。

ヘセ ルウエ ネ ヒクス
 hese ruwe ne hikusu

息をしているので、

オラ ヤイテクナタ ポイ ス アウキネ ウセイ アカリネ
 ora yayteknata pon_ su a=uk h_ine usey a=kar h_ine

私は自分で小さな鍋を取ってお湯を沸かして

サ…… パラ アオツテ^[5] ルウエ ネ アクス
 sa... par a=otte ruwe ne akusu

彼に飲ませると

ネプ カ アカラ カ エラミシカリ プ ネ コロカ
 nep ka a=kar ka eramiskari p ne korka

私は（今まで）何もそういうことをしたことがなかったのだが

アキ ルウエ ネ アクス
 a=ki ruwe ne akusu

私がそのようにすると

エサンペシトゥリ ルウエ ネ ノイネ アニネ オラウン……
 esanpesituri ruwe ne noyne an h_ine oraun...

気持ちがよくなったようなので、

ルウエ ネ ヒネ オラ スイ アユピヒ イカイ クス アイェ イネ
 ruwe ne hine ora suy a=yupihi i=kay kusu a=ye h_ine

しているので、また兄に私をおぶってくれるよう言って、

イカイ イネ サパン ルウエ ネ。ネ……

i=kay h_ine sap=an ruwe ne. ne...

私をおぶって帰ってきたのだ。

アウニ タ サパン ルウエ ネ オラウン

a=uni ta sap=an ruwe ne oraun

家に帰ってきて、そして

「アコロ…… アアキヒ

“a=kor... a=akihi

「私たちの弟は、

ソレクス エネ アン ペ アシトマ ワ アエオリパク ペ

sorekusu ene an pe a=sitoma wa a=eoripak pe

それこそ私たちが恐れ畏まる者が

アキヒ ネ ルウエ ネ アクス エネ ネ」

a=akihi ne ruwe ne akusu ene ne”

であるのだが、こんなことをするとは」

セコロ アユプタリ ハウオカ コロ オラノ

sekor a=yuputari hawoka kor orano

と、兄たちは言っていて、

イコプンテク ロク イコプンテク ロク パ ヒクス イシムネ アニネ

i=kopuntek rok i=kopuntek rok pa hikusu isimne an h_ine

私のことを何度も喜んでいると、翌日になって

スイ アキ

suy a=ki

また私は同じことをして、

「アユプタリ イカイ ヤク ピリカ」

“a=yuputari i=kay yak pirka”

「また私は兄さんたちにおぶってほしい」

セコロ ハウエアナニネ
sekor hawean=an h_ine
 と言って

「ヒナク ウン スイ エネ エネ ネ ハウエア」
“hinak un suy ene ene ne hawean”
 「どこに行くと言うので、またそのようなことを言うのか」

セコロ アユプタリ ハウオカ コロ スイ ポロ アユピ° イカイ イクス
sekor a=yuputari hawoka kor suy poro a=yupi i=kay h_ikusu
 と兄たちは言って、また上の兄が私を背負うと、

オラ アプカシ ホントム タ
ora apkas hontom ta
 歩いて行く途中で、

「イナウ ネ ニ トウイパ パ ヤク ピリカ」
“inaw ne ni tuypa pa yak pirka”
 「イナウにする木を切るといいよ」

セコロ カネ ハウエアナン コロ、コロ……
sekor kane hawean=an kor, kor…
 と私が言うと、

イナウ ネ ニ トウイパ パ ヒネ ポロ イナウ シケ ポン アユピ° セ ヒネ
inaw ne ni tuypa pa hine poro inaw sike pon a=yupi se hine
 イナウになる木を切って、大きなイナウの荷を下の兄が背負って、

オラノ パイエアン ヒネ シ ポロ ナイ アニクス
orano paye=an hine si poro nay an h_ikusu
 そうして私たちは行くととても大きな川があるので、

「タン ナイ トウラシ アユプタリ パイエ ヤク ピリカ」
“tan nay turasi a=yuputari paye yak pirka”
 「兄さんたちこの川に沿って行くといいよ」

セコロ ハウエアナニネ
sekor hawean=an h_ine
 と私は言って、

ナイ トウラシ イカイ パ ヒネ パイエアン ルウエ ネ アクス
nay turasi i=kay pa hine paye=an ruwe ne akusu
 川に沿って私を背負って私たちは進んでいくと、

キムシプ アン ルウエ ネ イネ ネ キムシプ アパ オロ タ イラプテ パ ヒネ
kimuspu an ruwe ne h_ine ne kimuspu apa oro ta i=rapte pa hine
 山の倉があって、その山の倉の戸口の所で私を下ろしてもらい、

キムシプ アパ アマラ…… アマカ ルウエ ネ アクス
kimuspu apa a=marara... a=maka ruwe ne akusu
 山の倉の戸を私は開けると、

キムシプ アパ パ タ カムイ アン シピネアン^[6]。
kimuspu apa pa ta kamuy an sipine=an.
 戸口の上手の所にカムイがいる。

チョイペプ カムイ エブンキネ カムイ ソ パ タ アン
coypep kamuy epunkine kamuy so pa ta an
 食器のカムイを守護するカムイが上座にあり、

キムシプ オツ タ キ ルウエ ネ ヒネ オラ
kimuspu or_ ta ki ruwe ne hine ora
 山の倉にそのようなカムイがいて、

スワツ オロ ワ カパラス アッ ヒネ アン ア プ…… イネ
suwat or wa kapar su at hine an a p... h_ine
 炉鉤から、薄手の鍋がかかっている、

オラ ウトゥル ワ ポン ニマ シネプ アン。
ora utur wa pon nima sinep an.
 下座に小皿が一つある。

ロツ タ シネプ アン ルウエ ネ ヒクス

ror_ ta sinep an ruwe ne hikusu

上座にもう一つあるので、

「ヘタク アユプタリ アペ アリ パ ヤク ピリカ」

“hetak a=yuputari ape ari pa yak pirka”

「さあさあ兄たちは火をおこしてくださいな」

セコロ カネ ハウエアナン ルウエ ネ ア プ

sekor kane hawean=an ruwe ne a p

と私は言ったところ、

アペ アリ パ ルウエ ネ イネ オラ

ape ari pa ruwe ne h_ine ora

二人は火をおこして、そして

「イナウケ パ ワ タオカ カムイ ウタラ ホプンパレ パ ヤク ピリカ」

“inawke pa wa taoka kamuy utar hopunpare pa yak pirka”

「イナウを削って、ここのカムイたちを送って下さいな」

セコロ ハウエアナン ペ ネ アクス

sekor hawean=an pe ne akusu

と私が言うので、

オラノ シネン ソモ キ ペ

orano sinen somo ki pe

一人ですべきではないのは、

シネ ト トウ カムイ ソモ アホプニレ プ ネ ク (ス)

sine to tu kamuy somo a=hopunire p ne kus(u)

一日に二つのカムイを送るものではないので

アユプタリ ウサ ウサ シウエ…… シネン シネン ホプンパレ パ オラ

a=yuputari usa usa siwe... sinen sinen hopunpare pa ora

兄たちはめいめいに一人一人ずつカムイたちを送って

「タオカ アオナハ コロ エヤイラメコツパ

“taoka a=onaha kor eyayramekotpa

「これらの父が使った

ポン ニマ ネ ヤッカ ス ネ ヤッカ

pon nima ne yakka su ne yakka

小皿であれ鍋であれ

オピッタ イナウ コロパレ パ ホブンパレ パ ヤク ピリカ」

opitta inaw korpore pa hopunpare pa yak pirka”

全てイナウを捧げて送って下さいな」

セコロ ハウエアナン ペ ネ クス

sekor hawean=an pe ne kusu

と私が言うので、

コント アパ サム タ アン カムイ ポン アユピ ホプニレ

konto apa sam ta an kamuy pon a=yupi hopunire

戸口にいるカムイを下の兄が送り、

イナウ トウンブ オロ オレ イネ ホプニレ ワ

inaw tumpu oro ore h_inē hopunire wa

イナウの包みに入れて送って、

ソ パ タ アン カムイ

so pa ta an kamuy

座の上手にいるカムイを

ポロ アユピ ホプニレ ヒネ オラウン ルウェ ネ ア プ

poro a=yupi hopunire hine oraun ruwe ne a p

上の兄が送って、

ネア ポン ニマ ネ ヤッカ

nea pon nima ne yakka

件の小皿についても

ウトウル アン ヒケ カ^カ ロロ アン ヒケ ポロ アユピ^ピ ホブニレ

utur an hike ka ror an hike poro a=yupi hopunire

下座にあるものも、上座にあるものを上の兄が送り、

ウトウル アン ヒケ ポン アユピ^ピ ホブニレ

utur an hike pon a=yupi hopunire

下座にある方を下の兄が送り、

ネア カバラ ス ネ ヤッカ ホブンパレ パ ルウェ ネ ヒネ オラ

nea kapar su ne yakka hopunpare pa ruwe ne hine ora

その薄手の鍋であれ送って、

「へタク イワカン。

“hetak iwak=an.

「さあ帰りましょう。

オラ ニサッタネ ワノ タン キムシプ オロ オ プ

ora nisattane wano tan kimuspu or o p

そして明日からこの山の倉にある物を

アユプタリ ルラ パ ヤク ピリカ。

a=yuputari rura pa yak pirka.

お兄さんたちは運んできてください。

アオナハ コロ ワ オカイ パ プ ネ ルウェ ネ クス ルラ パ ヤク ピリカ」

a=onaha kor wa okay pa p ne ruwe ne kusu rura pa yak pirka”

私たちの父のものであったのだから、持ってきてください」

セコロ ハウエアナン コロ

sekor hawean=an kor

と私が言うと、

キ ルウェ ネ ヒネ

ki ruwe ne hine

そのようにして、

オラ アユプタリ スイ イカイ ヒネ サパン ルウェ ネ アクス
ora a=yuputari suy i=kay hine sap=an ruwe ne akusu
 兄たちはまた私を背負って山を下りたのだが、

オラノ サパン ホントム ワノ
orano sap=an hontom wano
 山を下りる途中に、

ムン ネ ヤッカ キキン ネ ヤッカ ウコイタク ハウエ アヌ コロ
mun ne yakka kikin ne yakka ukoytak hawe a=nu kor
 草であれ虫であれ話し合っている声を私は聞いて、

サナン…… サパン ルウェ ネ ヒネ アウニ タ サパン ルウェ ネ ヒネ
san=an... sap=an ruwe ne hine a=uni ta sap=an ruwe ne hine
 下りて下りて、私たちは山を下りて、我が家に下りて行って

ネ イネ ネア アンチカリ モコラニネ
ne h_iner nea ancikari mokor=an h_iner
 その夜は眠って、

イシムネ…… イシムネ…… ネ アンチカリ ピリカ モコラニネ
isimner... isimner... ne ancikari pirka mokor=an h_iner
 翌日……、その夜私たちははよく眠って、

モサン ルウェ ネ アクス シトゥリリアヌミ カ ピリカ ヒクス
mos=an ruwe ne akusu situriri=an h_umi ka pirka hikusu
 私は目覚めて伸びの運動をすると気持ちがいいので、

シトゥリリアン。
situriri=an.
 伸びをした。

インカラン アクス コント ポロ オッカイポ アネ
inkar=an akusu konto poro okkaypo a=ner
 私が眺めていると、今度私は大きな青年になって、

ソレクス カムイ ネ クス コラチ アン

sorekusu kamuy ne kusu koraci an

それこそ私はカムイのような

オッカイポ アネ ヒネ アナン ルウエ ネ ヒネ

okkaypo a=ne hine an=an ruwe ne hine

青年になっていて、

ソレクス クネイワ アユプタリ ホブンパ ヒネ イヌカラ パ オラノ

sorekusu kuneywa a=yuputari hopunpa hine i=nukar pa orano

それこそ朝になって私の兄たちは起きて私を見て、

ソレクス イトゥカリ タ イコシケプニ^[8] パ カ ソモ キ パ ノ

sorekusu i=tukari ta i=kosikepuni pa ka somo ki pa no

私のわきで私を見上げることもできないで

オカ ルウエ ネ ヒクス

oka ruwe ne hikusu

いるので、

タブネ カネ カムイ ハウエアン ワ アヌ ルウエ ネ ヒネ オラウン

tapne kane kamuy hawean wa a=nu ruwe ne hine oraun

このとおりにカムイが話していて、聞いたことであって、

ウエインカラン カ キ ヘ (?) キ ルウエ ネ クス

ueinkar=an ka ki he(?) ki ruwe ne kusu

千里眼もできるので

「ヘタク ヘタク アユプタリ アオナ コロ オカイ ペ アルラ クシ ネ」

“hetak hetak a=yuputari a=ona kor okay pe a=rura kus ne”

「さあさあ、兄さんたち、父さんが持っていた物ををを持ってきましょうよ」

セコロ ハウエアナン コロ

sekor hawean=an kor

と私は言って、

コント アユプタリ アトゥラ ヒネ アコロ ワ

konto a=yuputari a=tura hine a=kor wa

今度は兄たちと一緒に、私たちは持って、

アオナ コロ オカイ ペ チセ オッ タ アルラ

a=ona kor okay pe cise or_ ta a=rura

父がもっていた物を家に持ってきて、

ソレクス カムイ コロ ペ パテク キ チセ シク ナ。

sorekusu kamuy kor pe patek ki cise sik na.

それこそカムイがもつような宝物ばかりを持ってきて、家は一杯になったのだ。

アルラ ルウェ ネ ヒネ オカアン ルウェ ネ アク (ス)

a=rura ruwe ne hine oka=an ruwe ne aku(su)

私たちは持ってきて暮らしていたところ

esoyne humas ruwe ne akus

エソイネ フマシ ルウェ ネ アクシ

外で物音がすると

ネア アコロ ペッ エムコ コロ ニシパ (咳をする声) ア ウムレク ネ ヒネ

nea a=kor pet emko kor nispa (咳をする声) a umurek ne hine

あの私たちの川の上流を治める長者が、夫人と一緒に

シ ポロ シケ キ イネ サプ パ ルウェ イネ アアフプテ パ ルウェ ネ。

si poro sike ki h_ine sap w_a ruwe h_ine a=ahupte pa ruwe ne.

とても大きな荷物を持って、下ってきたので、私は二人を中に通したのだ。

「アコロ オッカイポ ニシパ ウタラ オカ クシケライポ

“a=kor okkaypo nispa utar oka kuskeraypo

「私たちの年若い旦那と那些人々がいてくれたおかげで、

シクヌアン ワクス ヤヤッタサアン クス サパン ルウェ ネ」

siknu=an wakusu yayattasa=an kusu sap=an ruwe ne.”

私は生き返ることができたので、お礼をしに私たちは来たのです。」

セコロ カネ ハウエオカ ネア カツケマツ カムイ
sekor kane haweoka nea katkemat kamuy

と言っていて、その婦人は、

「ソレクス ウェナン ワ

“sorekusu wen=an wa

私の性質が悪くて、

ヘマンタ ネ クス エネ ネプ ネウン アラム カ ソモ キ ノ
hemanta ne kusu ene nep neun a=ramu ka somo ki no

どうしたことかそのように、何とも思わずに、

ルトム ウン エネ ムン トイプ アカラ ワ アヌ プ ネ ア プ、
rutom un ene mun toypu a=kar wa anu p ne a p,

土間にそのようにゴミの山を作って置いていたところ、

ナアニ アコロ ニシパ アニ アホッパレ ヤッカ

naani a=kor nispa ani a=hoppare yakka

そのために私の旦那はもう少しでこの世を去るところだったのですが、

オッカイポ ニシパ アン クシケライポ アヘコテ ニシパ シクヌ ワクス
okkaypo nispa an kuskeraypo a=hekote nispa siknu wakusu

年若い旦那がいてくれたので、私の夫は生き返ったので、

ヤヤッタサ クス サパン ルウェ ネ」

yayattasa kusu sap=an ruwe ne”

お礼をしに来たのですよ」

セコロ カネ ハウエアン ルウェ ネ ヒクス

sekor kane hawean ruwe ne hikusu

ということを言うので、

「アサク ペ カ ソモ アン ヒクス アイヌ イコレ。

“a=sak pe ka somo an hikusu aynu i=kore.

「私は不足している物もないものだから、人間を私にください。

チヨイペプ キ クス ネ ヤクン アイヌ イコレ ヤク ピリカ」

coypep ki kusu ne yakun aynu i=kore yak pirka”

宝物をくれるつもりであれば、(むしろ) 人間を私にください。」

セコロ カネ ハウエアナン ルウェ ネ アクス

sekor kane hawean=an ruwe ne akusu

と私が言うと、

オラノ エアラキンネ エヤイコプンテク パ コロ イコレウシ パ ヒネ

orano earkinne eyaykopuntek pa kor i=korewsi pa hine

とてもその二人は喜んで、私の所に泊まって、

オラ ホシッパ ワ イサム パ ルウェ ネ アクス

ora hosippa wa isam pa ruwe ne akusu

そして帰って行ったところ、

コント ウタリヒ トウラ ヒネ サプ インネ ウタリ キ ヒネ オラノ

konto utarihi tura hine sap inne utari ki hine orano

今度は同族の者たちを連れて下ってきて、たくさんの村人たちを連れて来て、そして、

チセカラン ヒネ アオナハ アシヌマ ネア アウニ タ コント アナン

cisekar=an hine a=onaha asinuma nea a=uni ta konto an=an

私は家を作って、私の父は...私はその自分の家に住んだ。

アシヌマ アナク キ クナク アイエ。

asinuma anak ki kunak a=ye.

私はそのようにすると私は言った。

アユプタリヒ ネア アオナ コロ ワ オカイ ペ アウコサライエ ヒネ

a=yuputarihi nea a=ona kor wa okay pe a=ukousaraye hine

私の兄たちは例の父の持ち物を分け合って、

アユプタリ イウレンピシカニケ タ オカ。

a=yuputari i=urenpiskanike ta oka.

私の兄たちは私の家の両隣に住んだ。

オキムネ サブ ウタラ カ エヤ…… イウレンピシカニケ ペツ パ オカ イネ
 okimne sap utar ka eya... i=urenpiskanike pet pa oka h_ine
 山の方から下ってきた人たちも、私の家の両側に (?)、

モヨノ コタン アネ ヒネ オカアン オラノ
 moyono kotan a=ne hine oka=an orano
 人数の少ない村として私たちは暮らしている

ネプ アエ ルスイ ネプ アコン ルスイ カ ソモ キ オラ
 nep a=e rusuy nep a=kor_ rusuy ka somo ki ora
 何を私は食べたいとも、何を私は欲しいとも思わずに、

カムイサシミ アネ ワ アナン アイネ
 kamuysasimi a=ne wa an=an ayne
 私はカムイの血筋として暮らしていると、

カムイ アツパケ ワノ ピリカ アネ ヤクン イエヤム ヤク イェ コロ
 kamuy atpake wano pirka a=ne yakun i=eyam yak ye kor
 カムイが最初から私が美しいと、心配だと言って

ネ ヒ アイウエンタラプ ペ ネ クス オロワノ
 ne hi a=i=wentarap pe ne kusu orowano
 そのことを私は夢に見せられたものだから、

リクン カント カムイ アオナハ オリパク カムイ カムイ アオナハ
 rikun kanto kamuy a=onaha oripak kamuy kamuy a=onaha
 上天のカムイである私の父、伝染病のカムイである私の父へ、

アノミ コロ オカアン。
 a=nomi kor oka=an.
 私は祈りを唱えて暮らしていた。

アオナハ ネ カムイ…… ウエインカラン ペ ネ クス
 a=onaha ne kamuy... ueinkar=an pe ne kusu
 私の父のカムイが……、私は千里眼ができるものだから

エネ イキ ヒ カムイ オツ タ キ イ アヌカラ。

ene iki hi kamuy or_ ta ki h_i a=nukar.

そのようにしたことを、カムイの世界でそのようにしたことを私は見た。

サケコラン コロ イナウ エヤイパタライエ^[9] プ ネ ヤク

sakekor=an kor inaw eyaypataraye p ne yak

酒宴を開くと、イナウがもらえなくて気の毒なものなのだと、

アオナハ カムイ アオナハ イウエンタラプテ プ ネ クス

a=onaha kamuy a=onaha i=wentarapte p ne kusu

私の父が、カムイである私の父がが私に夢を見せるので、

ウオ サケネ プ ウエンノ キ コロ カムイ オツ タ

uo sakene p wenne ki kor kamuy or_ ta

お酒の材料を適当に上げると、カムイの世界で

アイヌ アポ イエイクラ プ セコロ アン コロ

aynu a=po i=eikra p sekor an kor

人間である私の息子から私に贈られたものだと言って、

マラットコロ シリ カ アヌカラ コロ オラノ オカアン オラ

marattokor siri ka a=nukar kor orano oka=an ora

酒宴をしている様子も私は見て、そうして私は暮らしていて、

アコロ ペツ エムコ ウン ニシパ ウタラ イコシネウエ パ アコシネウエ パ

a=kor pet emko un nispa utar i=kosinewe pa a=kosinewe pa

私たちの川の上流に住む長者たちは、私を訪問して、私も彼らを訪問して、

ネプ アエ ルスイ ネプ アコン ルスイ ソモ キ ノ クス (?)

nep a=e rusuy nep a=kor_ rusuy somo ki no kusu(?)

何も私は食べたいとも何を私は欲しいとも思うことなく、なので (?)、

ピリカ メノコ アオナハ ネ カムイ (咳の声) エクテ ワ

pirka menoko a=onaha ne kamuy (咳の声) ekte wa

美しい女性を私の父であるカムイが来させて

アコロ クナク アオナハ ネ カムイ イェ プ ネ アクス

a=kor kunak a=onaha ne kamuy ye p ne akusu

(その女性を) 私がめとるようにと私の父であるカムイも言うものだから、

ソンノ カ カムイ ネ クス コラチ アン メノコ ネイ ワ ネ エク ワ

sonno ka kamuy ne kusu koraci an menoko ney wa ne ek wa

本当にカムイのような出で立ちの女性がどこからか来て、

(以下 22-2 に続く)

【注】

- [1] seta suy seske ermu suy seske 「犬の穴をふさぎ、ネズミの穴をふさいだ (子供を家から外へ出られないようにする時の常套句)」(『千歳方言辞典』 p. 229)。
- [2] toipu 「n. 土倉」(『久保寺辞典稿』 p. 274)、toypuhu 「【名】[所] (概 toypu の用例は未出) … (地面の上に積み上げられた) … の山積み」(『沙流方言辞典』 p. 730)。
- [3] ここは ta が入るべき所であるが、そのようには聞こえない。
- [4] ここで=an が使われているのは、不定人称ということだとしておく。
- [5] parotte 「ノマセル、口の中に入れる、くはせる、のませる」(『久保寺辞典稿』 p. 201)。
- [6] 語義不明。
- [7] 話の流れから言って、「下座にあるもの」を「上座にあるもの」に言い直したと思われる。
- [8] koshikepuni 「目をあげる」(『久保寺辞典稿』 p. 141)。
- [9] 伝染病の神は通常祀られないので、他のカムイのようにイナウや酒をもらうことができない。

22-1 21号から続いていること説明

解説：萱野茂

萱野：えー、テープ番号 21 号からの続きの uepeker [散文説話] を 22 号へ入れます。はい、いまの ney wa ne ya ka [どこからか] (から始めましょう)。

22-2 ウエペケレ

「ポンニマ」

小皿 [1]

語り：木村きみ

ネイ ワ ネ ヤ ピリカ メノコ エク ヒネ アエウタンネ。

ney wa ne ya pirka menoko ek hine a=eutanne.

どこからか美しい女性が来て、私は一緒になった。

イネアプクスン アリキキ ワ イキ ヤ カ アエラミシカリ。

ineapkusun arikiki wa iki ya ka a=eramiskari.

彼女はどれほど働き者であるのか分からないほどの働き者であった。

アユプタリヒ ネ ヤッカ

a=yuputarihi ne yakka

私の兄たちも

ネ ヒ アコロ ペツ エムコ コン ニシパ コタヌ ワ

ne hi a=kor pet emko kor_ nispa kotanu wa

その私たちの川の上流を治める長者の村から、

ピリカ アイヌ トシカ サプ ペ ネ クス

pirka aynu toska sap pe ne kusu

よい人たちがたくさん下ってきたものだから、

アイヌ エウタンネ アユプタリ カ キ パ ワ

aynu eutanne a=yuputari ka ki pa wa

兄たちも人を自分たちの妻にめとり、

ネプ アエ ルスイ ネプ アコン ルスイ カ ソモ キ ノ オカアン オラウン

nep a=e rusuy nep a=kor_ rusuy ka sono ki no oka=an oraun

何を私は食べたいとも何を私は欲しいとも思わずに暮らして、

キキン ネ ラム (?) ムン ネ ヤッカ イタク ハウエ アヌ イネ
kikir_ ne ram(?) mun ne yakka itak hawe a=nu h_ine
 虫やら草やらの話す声を聞いて、

ネイ タ オカイ ペ カ キ プ ネ クス
ney ta okay pe ka ki p ne kusu
 どこにいるものでもそのようにしているものだから、

ハンケ トウイマ オカ ニシパ ウタラ イコウエカラパ コロ
hanke tuyma oka nispa utar i=kouekarpa kor
 近くや遠くに住む長者たちが私の所に集まって、

ネ モトホ アイエ コロ シイエイエ モト アイエ コロ
ne motoho a=ye kor siyeye moto a=ye kor
 その素性を私は言い、病気の原因を私は言い、

ネノ ウエポタラパ コロ ピリカ ペコロ シリキ プ ネ クス
nenno uepotarpa kor pirka pekor sirki p ne kusu
 そのようにまじないをして、快方に向かう様子であるので、

ポ ヘネ アイウコアイヌコロ オラウン
po hene a=i=ukoaynukor oraun
 いっそうみんなから尊敬されて、そして、

サケ アコロ ワ アオナハ カムイ アオナハ アエイクラ コロ
sake a=kor wa a=onaha kamuy a=onaha a=eikra kor
 酒宴があると、私の父、神の父にそれを送って、

カムイ オツ タ アイヌ オツ タ
kamuy or_ ta aynu or_ ta
 カムイの世界では、人間の世界で

アポホ イエイクラ プ セコロ ハウエアン コロ
a=poho i=eikra p sekor hawean kor
 息子が私に送ってくれたものだと（父が）言って、

サケ カラ ワ カムイ オツ タ シイペヤラ シリキ イ (?) カ
sake kar wa kamuy or_ ta siipeyar siriki h_i (?) ka
 酒を造ってカムイの世界で食べさせて（飲ませて）やる様子も、

アイヌ モシリ カ ワ アヌカラ コロ オカアン。
aynu mosir ka wa a=nukar kor oka=an.
 人間の世界からも私は眺めながら暮らしていた。

ネプ アエ ルスイ ネプ アコ…… アコン ルスイ ソモ キ
nep a=e rusuy nep a=ko... a=kor_ rusuy somo ki
 何を私は食べたいとも何を私は欲しいとも思わず、

カムイ ア…… アイヌ アオナハ アヌラッパ ネ ヤ キ コロ オカアン。
kamuy a... aynu a=onaha a=nurappa ne ya ki kor oka=an.
 人間の父の供養などもして、私は暮らしていた。

アコロ ペツ エムコ ワ イコウエカラパ アウタリヒ キ パ ワ
a=kor pet emko wa i=kouekarpa a=utarihi ki pa wa
 私たちの川の上流からも私の一族が私のところに来てきて、

アサク ペ カ ソモ ネ ヤッカ
a=sak pe ka somo ne yakka
 私が不足している物ではないけれど、

キリプ ピリカ ヒ イカ オシケ カム ピリカ ヒ キ パ プ ネ クス
kirpu pirka hi i=ka osike kam pirka hi ki pa p ne kusu
 脂身のよい所を私の所へ背負って来て、肉のよい所もそのようにするものだから、

ポ ヘネ ア…… シアスラシテアン コロ オカアン。
po hene a... siasuraste=an kor oka=an.
 いっそう自分の評判を高めて私は暮らしていた。

アユプタリ ネ ヤッカ キ コロ オカアン アイネ
a=yuputari ne yakka ki kor oka=an ayne
 兄たちもそのようにして暮らしていると、

タネ ネア カムイ アマチヒ アコポシレシッテ ワ オンネアン。
 tane nea kamuy a=macihi a=koposiresitte wa onne=an.
 今やあの神のような私の妻にたくさん子どもを生ませて、私は年を取った。

オラウン カムイ アオナハ
 oraun kamuy a=onaha
 そしてカムイである私の父は、

「アイヌ…… カムイ オッ タ ポ サク クル アネ クス
 “aynu ... kamuy or_ ta po sak kur a=ne kusu
 「カムイの世界では私には子供がいないので、

アイヌ オッ タ アイヌ アポホ オンネ カシパ カ ソモ キ ノ
 aynu or_ ta aynu a=poho onne kaspaka somoki no
 人間の世界で人間の私の息子はあまり年を取り過ぎることもないうちに

カムイ オッ タ アシコエクテ ワ イエプンキネ プ ネ ルウェ ネ ナ」
 kamuy or_ ta a=sikoeekte wa i=epunkine p ne ruwe ne na”
 カムイの世界へ私が来させて私を世話するものであるのだよ」

セコロ カムイ アオナハ イウエンタラプテ プ ネ ア ヒクス ヘ ネ ヤ
 sekor kamuy a=onaha i=wentarapte p ne a hikusu he ne ya
 とカムイである私の父は私に夢を見せたので、そのためなのか

ナ オンネカシパアン カ ソモ キ ノ
 na onnekaspa=an ka somoki no
 まだあまり年をとってもいないのだが、

トウツコ レレコ シイエイエアン ワ オンネアン シリ ネ クス
 tutko rerko siyeye=an wa onne=an siri ne kusu
 二日三日病気を（ただけで）あの世へ行く様子なので

アマチヒ イオカケ タ ピリカノ アコロ ソン ウタラ エプンキネ ワ
 a=macihi i=okake ta pirkano a=kor son utar epunkine wa
 私の妻が私がいなくなった後で、きちんと私たちの赤ん坊たちの世話をし

カムイ オルン イエサク (?) ヤクネ
kamuy or un i=esak (?) yakne
 カムイの所へ私がいなくなってしまうたら (?)

アオナハ アユプタリ アナクネ アイヌ オンネ キ パ ワ
a=onaha a=yuputari anakne aynu onne ki pa wa
 私の父や私の兄たちは、人間の年の取り方をして

アイヌ モシリ カ ワ シンリトウ……
aynu mosir ka wa sinritu…
 人間の世界から先祖……

アイヌ モシリ アイヌ シンリッ オルン アユプタリ パイエ ヤッカ
aynu mosir aynu sinrit or un a=yuputari paye yakka
 人間の世界、人間の先祖のところへ兄たちが行っても

アシヌマ アナク
asinuma anak
 私はといえば、

タプネ ネ ワクス カムイ アオナハ エウン アラパアン ペ ネ クス
tapne ne wakusu kamuy a=onaha eun arpa=an pe ne kusu
 このようなわけでカムイである私の父の所へ行くのだから

アユプタリ ネプ カ ヌ パ ワ ア……
a=yuputari nep ka nu pa wa a…
 兄たちが何か聞いて (?)

アイヌ シンリッ オルン イテキ……
aynu sinrit or un iteki…
 人間の先祖の所へはけっして、

ラヤン アユプタリ コッチャオツケ シンネ ヤッカ
ray=an a=yuputari kotcaotke sinne yakka
 兄たちよりも先に私が死ぬようなことがあっても、

アイヌ シンリッ オルン イテキイ イパイェレ ノ

aynu sinrit or un iteki i=payere no

人間の先祖の所へ私を行かせないで、

カムイ アオナハ エウン アラパアン クニ ネ

kamuy a=onaha eun arpa=an kuni ne

カムイである父の所へ私が行くように

イサム ソンコクシテ パ イコレ ヤク ピリカ^[2] セコロ ハウエアナン コロ

i=sam sonkokuste pa i=kore yak pirka sekor hawean=an kor

私についての伝言を伝えてくださいなと私は言いながら、

カムイ オルン アラパアン ペ ネ クス アエイソイタク

kamuy or un arpa=an pe ne kusu a=eysoytak

カムイの世界へ私に行くことになっているものだから、そのように話しますよ

セコロ シノ ニシパ ハウエアナン セコロ。

sekor sino nispa hawean sekor.

と本当の長者が語ったんだと。

(萱野：うーん……はい、どうもありがとうございます……)

【注】

[1] 21-6 の続き、話の結末部分。

[2] 死んだときに、ioytakkote「引導渡し」と行って、祭主が死者に行く先を指示するお祈りをする。その時に、兄たちが自分を人間の先祖の国へ送らないように、伝言しておいてくれということ。

22-3 黒川てしめさん テープ番号紹介

解説：萱野茂

萱野：昭和44年、今日は4月15日です。荷負本村へ来て黒川てしめさんに uepeker〔散文説話〕をやっていただきます。テープ番号22号です。

22-4 ウエペケレ

「アスチヒ イレス」

祖母が私を育てた

語り：黒川てしめ

アコロ フチ こないだ フチ イレス ウエペケン
 a=kor huci KONAIIDA huci i=resu uepeker_

祖母がこの間、祖母が私をそだてた話。

なんというんたって俺さいても人いたりしてずっと黙っていたから俺先に言う。

アコロ フチ イレス ヒネ オカアン チシ コロ パテク イレス ワ
 a=kor huci i=resu hine oka=an cis kor patek i=resu wa

祖母が私を育てていました。祖母はいつも泣きながら育ててくれたのですが、

オカアン アイネ ポロアニ ワノ
 oka=an ayne poro=an h_i wano

私が大きくなるまで

キナ ラタシケプ ムン ラタシケプ カラ ワ アエ コロ オカアン
 kina rataskep mun rataskep kar wa a=e kor oka=an

山菜の混ぜ煮、草の混ぜ煮などを作ってくれ、私はそれを食べていたのです。

アイネ ポロアニ ワノ アトゥラ カネ ワ
 ayne poro=an h_i wano a=tura kane wa

私が成長してからも一緒にいて

アカラ ワ アエ コロ オカアン アイネ ポロアン ルウェ ネ ア プ
 a=kar wa a=e kor oka=an ayne poro=an ruwe ne a p

私が料理を作りそれを食べていたのです。私が成長すると

オロ タ ヒナク ワ ピリカ オツカイ^ポ ヒナク ワ シネプ エク ヒネ オラノ
 oro ta hinak wa pirka okkaypo hinak wa sinep ek hine orano
 どこからか美しい男が1人やって来てそして

トゥラノ アナン だか イヨッ タ アン ワ
 turano an=an DAKA i=or_ ta an wa
 一緒にとにかく私のところにいる

エキムネ ワ…… エキムネアン ワ…… エキムネ ワ
 ekimne wa... ekimne=an wa... ekimne wa
 山へ行っては

ユク チコイキ プ カムイ チコイキ プ コイキ ワ アエ オラノ アナクネ
 yuk cikoyki p kamuy cikoyki p koyki wa a=e orano anakne
 鹿の獲物、熊の獲物を獲って来るので私たちはそれを食べ、それから

イペノアン コロ オカアン アイネ
 ipeno=an kor oka=an ayne
 満身に食べながら暮らしていました。そうするうちに男が

「アコロ カツケマツ ネン カ アラパアン カ ソモ キ ノ アナン クシ ネ ワ
 “a=kor katkemat nen ka arpa=an ka somo ki no an=an kus ne wa
 「お婆さん、どこにも行かないでここに留まるので

オロ タ アナン チキ マツ…… コロ マツミッポ
 oro ta an=an ciki mat... kor matmippo
 ここにいるから、孫娘さんを

イコレ チク ウエン ルウエ アン？」
 i=kore cik wen ruwe an?”
 私が貰い受けるということにしてはどうでしょうか？」

シコロ ハウエアン アクシ
 sekor hawean akus
 というので

「ネン カ アトゥラ ヤクン エネ イキアン クニ カ アエランペウテク

“nen ka a=tura yakun ene iki=an kuni ka a=erampewtek

「どこかへ連れて行くというなら、私はどうやっていけばいいかもわからないので

ルウェ ネ クス トウラノ アナン イヨツ タ アナン クシ ネ ヤクン クス ネ」

ruwe ne kusu turano an=an i=or_ ta an=an kus ne yakun kusu ne”

一緒に、私のところにいてくれるということだね。」

シコロ カネ ハウエアン アスチ キ アクス

sekor kane hawean a=suci ki akusu

そのように祖母が言うと

「ネン カ アラパアン カ ソモ ノ アナン ペ ネ」

“nen ka arpa=an ka somo no an=an pe ne.”

「どこにも行かずにここにいますよ。」

シコロ ハウエアン ヒネ オラ ネ ヤクン

sekor hawean hine ora ne yakun

と男が言ったので

「ネン カ ソモ アラパアナクン ヤッカ ピリカ」

“nen ka somo arpa=an y_akun yakka pirka.”

「どこにも行かないのならばいいですよ。」

シコロ アスチ ハウエアニネ オラノ コント アコロ ワ オカアン ヒ ワノ

sekor a=suci hawean h_ine orano konto a=kor wa oka=an hi wano

と祖母がいいそれから私たちは夫婦として暮らしてました。それからも夫は

ユク チコイキプ カムイ チコイキプ エアウナルラ

yuk cikoykip kamuy cikoykip eawnarura

鹿の獲物、熊の獲物を獲ってきてくれます。

コント プ カラ ワ カム オ プ シンナ

konto pu kar wa kam o pu sinna

なので次に夫は倉を建てました。肉用の倉

チェプ オ プ シンナ カラ ワ オロ サツサトウ ワ

cep o pu sinna kar wa oro satsatu wa

魚用の倉と別々に建て、食料を乾燥させて、

サツ ウシケ オロ オ パラカ オ コロ オカアン アイネ

sat uske oro o parka o kor oka=an ayne

干しあがったものをそこに入れ、天井の方に入れながら暮らしていたのです。

ラポク アコロ ヒネ ナニ ホンコラン ヒネ ヌワパン ルウェ ネ アクシ

rapok a=kor hine nani honkor=an hine nuwap=an ruwe ne akusi

そのうちに夫婦となったのですぐに妊娠しお産をすると

ピリカ オッカヨヘカチ アコロ

pirka okkayohekaci a=kor

美しい男の子を授かり、

オラノ ソレクス ワ イヨマプ コロ オカアン アイネ

orano sorekusu wa iomap kor oka=an ayne

それこそかわいがって過ごしました。

イコオマプ コロ オカアン ワ オラノ イラマンテ ワ

i=koomap kor oka=an wa orano iramante wa

(夫も)一緒に子供をかわいがり、そして(夫の)獵(のおかげ)で

ネプ アエ ルスイ ネプ アコン ルスイ

nep a=e rusuy nep a=kor_ rusuy

何が食べたい何が欲しいとも

ソモ キ アコロ フチ イコイオマプ コロ オカアン アイネ

somo ki a=kor huci i=koiomap kor oka=an ayne

思わないで過ごし、祖母も私たちの子供をかわいがってくれていたのです。

ラポッケ スイ ホンコラン ヒネ

rapokke suy honkor=an hine

そのうちにまた妊娠して

マッカチ アコロ スイ キ ルウエ ネ ア プ
 matkaci a=kor suy ki ruwe ne a p

今度は女の子が生まれました。

ラポッケヘ ネア アスチ イサム ルウエ ネ
 rapokkehe nea a=suci isam ruwe ne

そうしているうちにその祖母が亡くなってしまいました。

オラノ チサン コロ アナン ルウエ ネ ア プ
 orano cis=an kor an=an ruwe ne a p

それから私は泣きながら暮らしたのですが

ラポッキケ コント ネア アホク スイ エネ ハウエアニ
 rapokkike konto nea a=hoku suy ene hawean h_i

夫がこのように言いました。

「タン アマチヒ エネ ワ イタカナクネ エイヌ カトウ エネ アニ
 “tan a=macihi e=ne wa itak=an y_akne e=inu katu ene an h_i

「俺の嫁であるお前よ、俺が語る話をよく聞きなさい。

タン エコタヌ インネ コタン ポロ コタン ネ ワ シラン ペ
 tan e=kotanu inne kotan poro kotan ne wa siran pe

このお前の村は大勢の人がいて大きな村であったのだが

トカプチ エムコ ワ エク トパットウミ アニ
 Tokapci emko wa ek topattumi ani

十勝の中ほどから来た夜盗団によって

エアラキンネ アアラウエンテカラ ルウエ ネ ヒネ
 earkinne a=arwentekar ruwe ne hine

めちゃくちゃに破壊されたのだ。

オカケ タ エコロ フチ トウレプタ オツ タ
 okake ta e=kor huci turepta or_ ta

そのあと、お前の婆さんがウバユリ堀りに

エカイ カネ ワ エキムネ ワ イワク ペ エトコ タ エネ ネ ワ
e=kay kane wa ekimne wa iwak pe etoko ta ene ne wa
 お前を背負って 山へ行って帰る前だったので

ナニ キラ ワ エレス ワ タネ パクノ エアン
nani kira wa e=resu wa tane pakno e=an
 すぐに逃げてお前を育てて今のお前があるのだ。

オラ アシヌマ アナクネ タ イパナケ タ インネ コタン ポロ コタン
ora asinuma anakne ta i=panake ta inne kotan poro kotan
 そして俺はというところから下流に大勢の人が住む大きな村

アン ヒネ オロ タ アオナハ アケシケ クス
an hine oro ta a=onaha a=keske kusu
 があるのだが そこでは俺の父親は人から憎まれていたので

オラノ ネン ネン アカラ アイネ キム タ
orano nen nen a=kar ayne kim ta
 何やかやと策をめぐらされ、山で

アライケ ワ イサム ルウェ ネ
a=rayke wa isam ruwe ne
 殺されてしまった。

オラノ コント アウヌフ チシ パテク キ アイネ チシ エコツ ワ イサム
orano konto a=unuhu cis patek ki ayne cis ekot wa isam
 それで俺の母親は泣いてばかりいて、それが原因で母親も死んでしまった。

オカケ タ エネ イキアニ カ イサム コロ アナン アイネ
okake ta ene iki=an h_i ka isam kor an=an ayne
 そのあと俺はどうしたらいいかということもわからずいて

ポロアニネ スイ イラマンテアン ワ
poro=an h_ine suy iramante=an wa
 大きくなり獵に出ると

ネン アッカリ アエモニピリカ ワ ユク ネ チキ カムイ ネ チキ
 nen akkari a=emonipirka wa yuk ne ciki kamuy ne ciki
 誰よりも獵運があり鹿でも熊でも

アエアウナルラ コロ アナン アクス
 a=eawnarura kor an=an akusu
 獲って来るものだから、

ネワ アン ペ スイ アイエケシケ クシ オロワノ スイ ネン ネン ネ アイネ
 newa an pe suy a=i=ekeske kus orowano suy nen nen ne ayne
 そのことでまた人の恨みを買ってそれからまたいろいろあって

スイ アイライケ モノン ワ (?) スイ アイライケ ルウェ ネ ヒネ
 suy a=i=rayke monon wa(?) suy a=i=rayke ruwe ne hine
 俺も殺された(?) ので

アオナウタリ タ オシ アラパアン アクシ
 a=onautari ta os arpa=an akus
 父親たちの後を行くと、

エアラキンネ アオナ イコパシロタ
 earkinne a=ona i=kopasrota
 父親にひどく叱りつけられた。

「アシヌマ ポカ アナン ヤクネ アサンテケ ネ シトゥリ クナク アラム
 “asinuma poka an=an yakne a=santeke ne situri kunak a=ramu
 「俺だけが(あの世に) いるのなら、子孫も続くだろうと思って

コロ アナン ア プ エネ エイキ イ アン」
 kor an=an a p ene e=iki h_i an”
 いたのに、お前までこんなことをして。」

セコロ ハウエアン コロ イコパシロタ コロ
 sekor hawean kor i=kopasrota kor
 そう言い俺を叱りつけながら

「タア コタヌフ トパットウミ アニ アウエンテ コタン

“taa kotanuhu topattumi ani a=wente kotan

「その村、夜盗団によって破壊された村の

オカ タ スッ レス メノコ アン クス

oka ta sut resu menoko an kusu

後に祖母が育てた女がいるので、

オロ タ エアラパ エコロ ワ サンテケ エコロ ワ

oro ta e=arpa e=kor wa santeke e=kor wa

そこへお前が行き、その女を嫁に貰い子孫ができれば、

エホプ…… エ エキ ヤクネ ポ カ アサンテケ ネ アン

e=hop... e e=ki yakne po ka a=santeke ne an

そのようにお前がすれば子どももでき、我らの世継ぎとなるだろう。

オラ イオカケ タ エオカケ タ

ora i=okake ta e=okake ta

俺の跡、お前の跡

ネ ヤッカ ウパシクマ ネ コロ クル オカ クシ ネ ナ コロ

ne yakka upaskuma ne kor kur oka kus ne na kor

に家系の言い伝えをする者ができるというものだ。

エヤイエイモンタサ^田 したり キ

e=yayeymontasa SITARI ki

お前も復讐したりする

クシ エホシ…… エアラパ プ ネ ナ」

kus e=hosi... e=arpa p ne na“

ために、お前はそこへいけばよい。」

セコロ アスッ アスチ だか アオナ イイエ コロ イコパシロタ アイネ

sekor a=sut a=suci DAKA a=ona i=ye kor i=kopasrota ayne

と父親が言いながら俺を叱りつけた。

オラウン インカラアナクシ

oraun inkar=an akus

そうして目を向けると

ソンノ カ ネ エネ アイエトピシキ アイエパピシキ (?) ヒネ

sonno ka ne ene a=i=etopiski a=i=epapiski(?) hine

本当にこのように、何日もの間、何年もの間 (?)

エカン ワ エトゥラ ノ アナン ルウェ ネ ヒネ

ek=an wa e=tura no an=an ruwe ne hine

来てお前と一緒にいることになって

タネ ウトゥレシコロ ペ アウココロ シリ ネ。

tane utureskor pe a=ukokor siri ne.

そうして今は男女二人の子どもが俺たちにはいて

タネ アナクネ アイエトピシキ アイエパピシキ プ (?) ネ クシ

tane anakne a=i=etopiski a=i=epapiski p(?) ne kus

今ではもう何日も経ち、何年も経ったので

アイフナラ アイタク たか アラパアン クス ネ ヤクネ

a=i=hunara a=i=tak TAKA arpa=an kusu ne yakne

俺が探し出され、呼ばれて、(先祖の国へ) 行くことになった。そうになったら

トカプチ エムコ カ アイヌ オピッタ アロンヌ

Tokapci emko ka aynu opitta a=ronnu

十勝の中ほどの連中も全員殺し、

イパナケ タ カ アイヌ オピッタ アロンヌ ヤクン

i=panake ta ka aynu opitta a=ronnu yakun

俺のところの下流の連中も皆殺しにしたなら、

エネ イキ イ カ イサム アコロ ソンタク オカ ヤッカ

ene iki h_i ka isam a=kor sontak oka yakka

どうにもしようがない。俺たちの子どもたちがいたとしても

エネ エチイキ クニ カ アエランペウテク ルウェ ネ クス イパナケ タ
 ene eci=iki kuni ka a=erampewtek ruwe ne kusu i=panake ta
 お前たちはどうすればよいものかもわからないので、俺のところの下流でも

ネ ヤッカ ケウトウム ウエン ペ オピッタ アロンヌ クス ネ
 ne yakka kewtum wen pe opitta a=ronnu kusu ne
 精神の悪い者はみんな俺が殺すつもりで、

オラウン トカプチ エムコ タ ネ ヤッカ
 oraun Tokapci emko ta ne yakka
 そして十勝の中ほどでも

ケウトウム ウエン ペ オピッタ アライケ ワ
 kewtum wen pe opitta a=rayke wa
 精神の悪い者はみんな俺が殺して

ケウトウム ピリカ ヒケ アシクヌレ ヤクネ
 kewtum pirka hike a=siknure yakne
 精神の良い者だけ俺は生かしておくので、そうしたら

コント エコホシッパ オラ ネイ ワ カ
 konto e=kohosippa ora ney wa ka
 お前はそこに戻って、そうするとどこからか

ケウトウム シノ ケウトウム アラムオシマ オッカイポ エク ワ
 kewtum sino kewtum a=ramuosma okkaypo ek wa
 精神が本当に気に入った若者がやって来て

トゥラノ エアン ワ ネ ヤクネ ソレクス ワ
 turano e=an wa ne yakne sorekusu wa
 お前と一緒になれば、

ネプ エエシリキラプ ネプ エコン ルスイ
 nep e=esirkirap nep e=kor_ rusuy
 お前は何を心配することも何が欲しいとも

ソモ キ ノ イトゥラ エアン クニ カス エピリカ
somo ki no i=tura e=an kuni kasu e=pirka
 思うことなく俺と一緒にいるより幸せになるだろう。

オラ アコロ ソン ポロ ルプネ ヤクネ
ora a=kor son poro rupne yakne
 俺たちの子どもが立派に成長すると

イトゥラ エアン クニ アッカリ カ エエピリカ クシ ネ
i=tura e=an kuni akkari ka e=epirka kus ne
 俺というよりお前は幸せになるだろう。

イテキ イオシクン ノ エアナク ナニ
iteki i=oskur_ no e=an y_ak nani
 決して俺のことを惜しがるのではない。すぐに

ネイ ワ カ ケウトウム アラムオシマ ネ シノ キ…… オツカイポ
ney wa ka kewtum a=ramuosma ne sino ki... okkaypo
 どこからか俺の気に入った精神の良い若者が

ホシキ ノ エク ナンコロ クシ イテキ エコパン ノ
hoski no ek nankor kus iteki e=kopan no
 まずやって来るだろうからお前は決して拒むようなことはせずに

エエウタンネ ワ エアナク オラ シンリッ オツ タ アエテレ ワ
e=eutanne wa e=an y_ak ora sinrit or_ ta a=e=tere wa
 一緒になって暮らせば、先祖のところで俺がお前を待ち、

アポ ウタリ ポ コロ カ キ ルプネ カ キ ワ ヤクン
a=po utari po kor ka ki rupne ka ki wa yakun
 子どもたちもその子どもを持つことになって、成長したら、

オラ エアラパ ヤクン ウトゥラ オカアン クシ ネ ナ キ」
ora e=arpa yakun utura oka=an kus ne na ki”
 お前が（あの世に）行ったら、私と一緒に暮らすことになるぞ」

シコロ カネ ハウエアン エアラキンネ パラパラカン コロ
sekor kane hawean earkinne paraparak=an kor
 そのように言いました。私はひどく泣き叫び

「タネ アナクネ オンネ パクノ ウトゥラ オカアン クシ ネ
“tane anakne onne pakno utura oka=an kus ne
 「今では歳をとって死ぬまで添い遂げることになる

ハウ ネ クナク フム ネ クナク
haw ne kunak hum ne kunak
 話だと、感じだと

アラム コロ イキアン ヒ ネ ア プ エネ ハウエ アニ アン？」
a=ramu kor iki=an hi ne a p ene hawe an h_i an?”
 と思っていたものをそのような話なのですか？」

シコロ カネ ハウエアナン コロ オラ コロ ホプニ チンキ ケセ
sekor kane hawean=an kor ora kor hopuni cinki kese
 そのように私が言うと、夫は立ち上がりました。夫の着物の裾端を

アウコライパ アクシ イオピチレ コロ
a=ukoraypa akus i=opicire kor
 私が掴むと、私に放させながら

「アイエ プ ネノ エイキ ヤク
“a=ye p neno e=iki yak
 「俺が言うようにお前がすれば、

エアシリ アシヌマ アナク ラマタニ (?) クシ
easir asinuma anak ramatani(?) kus
 初めて俺は魂を持つことになる (?) のだ。

ネン イキアナッカ エイキ ヤッカ エトゥラ アナン エアイカプ ペ ネ ナ」
nen iki=an y_akka e=iki yakka e=tura an=an eaykap pe ne na”
 俺が何としようがお前が何としようが、お前と一緒にいるということは出来ないのだ。」

シコロ ハウエアン コロ

sekor hawean kor

そう言いながら、

イオピチレ ヒネ タプ アパ オピチ[㊦] ヒネ オシ ソイエネアン ヒ ネ ア プ

i=opicire hine tap apa opici hine os soyene=an hi ne a p

私を放させて、夫はこうして戸を開め、後から私も外に出たのだが、

コント タプ アパ オピチ ワ

konto tap apa opici wa

夫は、今、戸を開めて、

ナニ オシ アパ アタツテクテク ペ

nani os apa a=tattektek pe

すぐ後から私は戸のむしろを持ち上げたのだが、

エウン シキル ル アニ カ アエランペウテク

eun sikiru ru an h_i ka a=erampewtek

どちらへ向かったのか私にはわからず、

エウン アラパ ル アニ カ アエランペウテク オラノ

eun arpa ru an h_i ka a=erampewtek orano

どこに行ったのかもわからないのです。

チセ オカリ ホユプアン ワ シルワンテ ヤッカ ウェン ヒ クス

cise okari hoyupu=an wa siruwante yakka wen hi kusu

それから家の周りを走ってよく見てもダメでした。なので

オラ ナニ イワク…… イワカン

ora nani iwak... iwak=an

私はすぐに戻ったのです。

ネン たか アフナン オラノ ヤイカラカラセレアン コッ

nen TAKA ahun=an orano yaykarkarsere=an kor_

誰……じゃなくて、私は入って、のたうちまわりながら

チサナアナ コロ アナン
 cis=an a =an a kor an=an
 泣いて泣いて過ごしました。

ヒケ カ パラカ ネ ヤ プ トウプ カ シク ノ
 hike ka parka ne ya pu tup ka sik no
 しかし 天井にも、倉2つにもいっぱいになるほど

カム サッサトウ チェプ サッサトウ ワ オロ
 kam satsatu cep satsatu wa oro
 肉を干し、魚を干して、そこには

カム オ プ シンナ チェプ オ プ シンナ
 kam o pu sinna cep o pu sinna
 肉用の倉、魚用の倉と別々にあり

アエプ アナク ポロンノ オカイ ペ ネ クス オラノ
 aep anak poronno okay pe ne kusu orano
 食料はたくさんあるので

チサン コロ アコロ ソン ウタラ アエレ コロ アナン ア プ
 cis=an kor a=kor son utar a=ere kor an=an a p
 泣きながら子どもたちに食べさせていたのですが、

ラポッケ エソイネ シムシシカ ハワシ
 rapokke esoyne simusiska hawas
 そのうちに外で咳払いの音がするので

ヒネ ソイネアン アクシ ピリカ オッカイポ チセ ソイ タ エク ヒネ ネ
 hine soyne=an akus pirka okkaypo cise soy ta ek hine ne
 外に出てみると美しい若者が来ていて

アアフンテ ルウェ ネ ヒネ イエランカラプ イネ
 a=ahunte ruwe ne hine i=erankarap h_ine
 中へ入れると私に挨拶の口上を述べ

「マクネ ヒネ プイネ カツケマツ カムイ エアン ペ ネ ル アン？」

“makne hine puyne katkemat kamuy e=an pe ne ru an?”

「なぜあなたが1人でおられるのですか？」

シコロ ハウエアニ クス

sekor hawean h_ikusu

と言うので

「タップネ タップネ ネ ワ トパットウミ オカ タ

“tapne tapne ne wa topattumi oka ta

「こういういきさつだと、夜盗団に襲われた後は

アスチヒ イレス ワ アナン ア プ アス……

a=sucihi i=resu wa an=an a p asu...

祖母が私を育てていたのだが、

ヒナク ワ ピリカ オックアイポ エク ワ アトゥラ ノ アナン ア プ

hinak wa pirka okkaypo ek wa a=tura no an=an a p

どこからか美しい若者が来て私と一緒にいたのですが、

チウエンテ…… アライケ アケシケ ワ キ ワ

ciwente... a=rayke a=keske wa ki wa

荒らされて……嫌われて殺されて

オロワ シンリッ オロ ワ エク ルウエ ネ ヤク イェ コロ

orowa sinrit or wa ek ruwe ne yak ye kor

先祖のところからやって来たというと、

オラ ネイ ワ カ ホシキ ノ

ora ney wa ka hoski no

そうしてどこからか、まず

オックアイポ ケウトウム アラムオシマ プ アエクテ ヤク エコロ アクネ

okkaypo kewtum a=ramuosma p a=ekte yak e=kor y_akne

心が気に入った若者を来させてお前と一緒にになったら、

シノ エエピリカ ルウエ ネ ワ

sino e=epirka ruwe ne wa

それでお前は本当に幸せになるのだ。

シコロ ハワン コロ ナニ ソイネ ワ ケセ (ア) アンパ タプ アパ オピチ

sekor hawean kor nani soyne wa kese (a=)anpa tap apa opici

そう言いながらすぐに外に出たので、私は後を追ったのです。夫は戸を開め、

アオサエタロ アクシ イオピシ…… オピチレ ヒネ

a=osaetaro akus i=opis... opicire hine

私が（戸を）押さえたら、私の手を放させ（?）

ア…… イ…… イオピチレ ヒネ

a... i... i=opicire hine

私に手を放させて、

アオピチ ア プ タプ ソイネ ア プ

a=opici a p tap soyne a p

私が手を離すと、すぐに（夫は）外に出たのですが、

ナニ オシ ソヨテレケアン ペ エオロ オシマ ヒ カ

nani os soyoterke=an pe eor osma hi ka

私はすぐに後から飛び出したのですが、夫がどこに行ったのか

アエランペウテク ワ

a=erampewtek wa

わからなくなって

オラノ チシ パテク キ コロ アン ペ アネ ルウエ ネ」

orano cis patek ki kor an pe a=ne ruwe ne”

それから泣いてばかりいるのです。」

シコロ ハウエアナナクス エアラキンネ イケムヌ ハウ コカリ。

sekor hawean=an akusu earkinne ikemnu haw kokari.

そう言うと、とても気の毒だと口にしました。

イオクンヌレ ア イオクンヌレ ア コロ

i=okunnure a i=okunnure a kor

私（の生い立ち）のことをひどく驚き、あきれるといったふうでした。

コント ナニ コント ネン カ アラパ カ ソモ キ ノ イオツ タ アン イネ

konto nani konto nen ka arpa ka somo ki no i=or_ ta an h_inē

それからすぐどこかに行くということもなく私のところにいました。

オラノ スイ エキムネ ワ ユク カ ライケ カムイ カ ライケ コロ

orano suy ekimne wa yuk ka rayke kamuy ka rayke kor

そしてこの若者も山へ行つては鹿を獲り熊を獲りながら

オカアン アイネ スイ アエウタンネ ヒネ

oka=an ayne suy a=eutanne hine

過ごしたのです。そして、また私はこの若者と一緒になり

オカアン ア プ オラノ ネイ ワ ネ ヤ アイヌ アラキ ワ

oka=an a p orano ney wa ne ya aynu arki wa

暮らしていたのですが、どこからか人びとがやって来て

イエコタンネ チセ カラ ワ ネ トカプチ エムコ ワ カ アイヌ アラキ ワ

i=ekotanne cise kar wa ne Tokapci emko wa ka aynu arki wa

私のところに村を作るべく家を建て、あの十勝の中ほどからか人びとがやって来て、

イパナケ ワ カ アイヌ アラキ ワ イエコタンネ チセ カラ パ アイネ

i=panake wa ka aynu arki wa i=ekotanne cise kar pa ayne

我われの下流域からも人びとがやってきて村人となるべく家を何棟も建てそうして

モヨノ アン コタン アネ ヒネ オカアン アウニヒ カ ネア ニシパ

moyono an kotan a=ne hine oka=an a=unihi ka nea nispa

人の少ない村となったのです。私の家も旦那

カラ ワ ピリカ チセ ポロ チセ カラ ワ オロ タ オカアン

kar wa pirka cise poro cise kar wa oro ta oka=an

が立派な大きな家を建てそこで暮らしました。

オラノ ソレクス ワ イソン ペ ネ クシ

orano sorekusu wa ison pe ne kus

そして旦那はそれこそ獵運のある人なので

ネプ アエ ルスイ ネプ アコン ルスイ ソモ キ ノ

nep a=e rusuy nep a=kor_ rusuy somo ki no

何を食べたいとも何が欲しいとも思わないで

オカアン ルウェ ネ アイネ

oka=an ruwe ne ayne

暮らしたのですが、

ラポク スイ ネア アコロ アホクフ アコポコロ コロ アナン ヒケ カ

rapok suy nea a=kor a=hokuhu a=kopokor kor an=an hike ka

そうしている間にまた、その旦那との間に子どもができました。

ネイ パク アナナッカ アホク アオイラ カ ソモ ノ

ney pak an=an y_akka a=hoku a=oyra ka somo no

いつまでたっても、私は前の主人のことを忘れることも出来ずに

チシ パテク アキ コロ アナン

cis patek a=ki kor an=an

泣いてばかりいて過ごしました。

アイネ ラポッケ スイ タネ アポ ウタリ ネ ヤ ホシキ アコロ ヒケヘ

ayne rapokke suy tane a=po utari ne ya hoski a=kor hikehe

そのうちに今では始めにに出来た息子のほうは

ピリカ メノコ コロ ワ コント アラソケ アウヌ (?) ワ オカアン ヒネ

pirka menoko kor wa konto arsoke a=unu(?) wa oka=an hine

美しい女を嫁に貰い自分の家の向かいに住まわせて (?) いました。

ホシキ アコロ アマツネポ ピリカ オッカイポ コロ ワ アシソユンテ

hoski a=kor a=matnepo pirka okkaypo kor wa a=sisounte

そして最初の娘は立派な若者を旦那に貰い私の家の北側に住ませました。

ポコロ ワ オカイ ペ ウシンナ ウシンナ アリ パ アイネ
 pokor wa okay pe usinna usinna ari pa ayne
 子どもを授かった息子、娘たちもそれぞれに家を持ち、

インネ コタン ポロ コタン アネ ヒネ オカアン
 inne kotan poro kotan a=ne hine oka=an
 村も大勢の住む大きな村となりました。

ラポッケ イヨシ アコロ アポウタリ カ ルプネ パ ワ
 rapokke i=os a=kor a=poutari ka rupne pa wa
 一方、後から授かった子どもたちも成長し

アイヌ コロ ヒケ コロ マッ コロ ヒケ マッ コロ ワ
 aynu kor hike kor mat kor hike mat kor wa
 旦那を持つものは持ち、嫁を持つものは持ち、

シンナ ウシンナ オカ パ ワ
 sinna usinna oka pa wa
 別々にかまどを持ち

ネプ アエ ルスイ ネプ アコン ルスイ ソモ キ ノ アナン ペ ネ アイネ
 nep a=e rusuy nep a=kor_ rusuy somo ki no an=an pe ne ayne
 私は何が食べたいとも何が欲しいとも思わない幸せな暮らしを送りました。それで

オンネカシパアン カ ソモ キ ノ ニサプタスムアン ワ
 onnekaspa=an ka somo ki no nisaptasum=an wa
 歳をとりすぎたというわけでもなく、急に病気になり、

タネ イサマン エトクシ シリ エネ アニ ネ ワ
 tane isam=an etokus siri ene an h_inine wa
 今はもう私は死ぬことになるようだということ

タプネ アン ペ アエヤイスクプカ モトホ ワノ アコタヌ
 tapne an pe a=eyaysukupka motoho wano a=kotanu
 このように私がつらい思いをした元からを語ると、私の村はもともと

インネ コタン ネ ワ オカアン ルウェ カ ソモ ネ
inne kotan ne wa oka=an ruwe ka somo ne
 大勢の人がいる村ではなかったのです。

タップネ タップネ ネ ワ トパットウミ トカプチ
tapne tapne ne wa topattumi Tokapci
 こういったわけで夜盗団が十勝の

エムコ ワ エク ワ アニ アコタヌ アアンルシテッカ オラ イパナケ ワ
emko wa ek wa ani a=kotanu a=anrustekka ora i=panake wa
 中ほどから来て、それによって私の村は全滅させられ、そしてこの下流域では

エチオナハ アケシケ ヒネ エチエカシ カ アライケ
eci=onaha a=keske hine eci=ekasi ka a=rayke
 お前たちの父親が嫌われ、お前たちの祖父は殺され、

エチオナハ カ アライケ オラ シンリッ オロ ワ
eci=onaha ka a=rayke ora sinrit or wa
 父親も殺されそして先祖のところから

エネ イキアン、エネ アスチ トウラ イキアニ カ イサム コロ オカアン ワ
ene iki=an, ene a=suci tura iki=an h_i ka isam kor oka=an wa
 私が祖母と一緒にどうにもならず暮らしているところに

ヘトポ アイホシ…… アウン……
hetopo a=i=hos... a=un...
 逆に、

エチオナハ アホシピレ ワ エク ルウェ ネ アアン ヤク
eci=onaha a=hosipire wa ek ruwe ne aan yak
 実はお前たちの父親が（死者の国から）帰らされて来たのだと

イエ コツ トウラノ オカアン ワ エ…… アナン ワ エチオカ ルウェ ネ。
ye kor_ turano oka=an wa e... an=an wa eci=oka ruwe ne.
 言いながら、一緒に暮らしてお前たちが生まれたのだ。

オラウン スイ ネイ ワ エク ニシパ ネ ルウェ ネ ヤ アエウタンネ ワ
oraun suy ney wa ek nispa ne ruwe ne ya a=eutanne wa

そうしてまたどこからか来た立派な人と一緒になって、

タ オ…… オロワノ オカ アポウタリ オカ ルウェ エネ アニ ネ クス
ta o... orowano oka a=poutari oka ruwe hene an h_i ne kusu

それから子どもたちがこのように生まれたので、

アポウタリ シンリッ オルン オナハ ノミ オイラ
a=poutari sinrit or un onaha nomi oyra

私の子どもたちよ先祖のところの父親に祈ることを

イテキ ノミ オイラ パ ノ シンリッ オルン オナハ ノミ パ ヤクネ
iteki nomi oyra pa no sinrit or un onaha nomi pa yakne

決して祈ることを忘れないで先祖のところの父親に何度も祈りを捧げて

ポカ オナハ コトウヤシ クス ネノ イキ パ ヤク ピリカ
poka onaha kotuyasi kusu neno iki pa yak pirka

それだけでも父親が安心するので、そのようになさい。

シコロ シネ メノコ ハワン コロ イサム したと。
sekor sine menoko hawean kor isam SITATO。

と1人の女が言い残しながら死にました。

(萱野：あー、どうも有難うございます。)

【注】

- [1] 『千歳方言辞典』に「montasa 【動1】 仕返しする。復讐する。」とあるため、
 yay-e-montasa[自分～について-復讐する]「自分のことについて復讐する」という意味か。
- [2] 戸というのはむしろが下げてあるので、戸を開ける時にはそれを持ち上げることになり、opici「放す」というのは、持ち上げた手を放すことであるので、戸を閉めることになる。

22-6 ウエペケレ

「ホイヌトノ イカオピューキ」

テンの神様が助けてくれた話

語り：黒川てしめ

コント アウヌフ アン、アオナハ アン、オカアン。

konto a=unuhu an, a=onaha an, oka=an.

母がいて父がいて私達は暮らしていました。

アユピヒ トウン アン、

a=yupihi tun an

兄が二人いて、

アサハ…… ポナサハ、ポロ アサハ アン。

a=saha... pon a=saha, poro a=saha an.

小さい姉と大きい姉がいました。

イヨッタ ポン ペ アネ イネ オカアン ルウェ ネ アクス ポナサハ……

iyotta pon pe a=ne h_in e oka=an ruwe ne akusu pon a=saha...

私は一番末っ子であり、私達は暮らしておりましたが、

オラノ アユプタリ アッカリ ネパカラッカ アエモニピリカ ワ

orano a=yuputari akkari nep a=kar y_akka a=emonipirka wa

私は兄たちよりも何を作っても上手に作り、

エキムネアン コロ オラノ ウトゥラ カネ ワ…… パ コロ

ekimne=an kor orano utura kane wa... pa kor

私が山へ行くと、(兄たちと) 一緒に行けば

ネパカラッカ エイカウンノ アエ…… アカラ ワ ア…… コロ

nep a=kar y_akka eykaunno a=e... a=kar wa a... kor

私は何をするのも誰にも勝って

オカアン ペ ネ ア プ、

oka=an pe ne a p,

私達は暮らしていたのですが、

オラノ コント ヘムトマニ ワノ アオナハ ホッケ ワ

orano konto hemtomani wano a=onaha hotke wa

近頃、私の父は横になって

パテク アン ペ ネ ア プ、

patek an pe ne a p,

ばかりいるものでした。

エキムネアニネ イワカナクス

ekimne=an h_ine iwak=an akusu

私が山へ行って帰ってくると、

ルトム タ ア…… ネア ポナサハ ネプ ネ ヤッカ

rutom ta a... nea pon a=saha nep ne yakka

道の途中で小さい姉が、何かで

ポイ サラニポロ エシク ワ コロ ヒネ アニネ イエカリ……

pon_ saranip or esik wa kor hine an h_ine i=ekari...

小さな袋[□]が一杯になっているのを持って私のほうに向かって……

ポロ カムイ スイ アライケ イネ

poro kamuy suy a=rayke h_ine

私はまた大きな熊を獲り、

ラムネノ アセ ヒネ イワカナ プ、

ramnenno a=se hine iwak=an a p,

それを丸まんま背負って帰ってきたところだったので、

イエカリ ルトム タ エキネ エネ ハウエアニ

i=ekari rutom ta ek h_ine ene hawean h_i

(小さい姉は) 私に向かって道の途中までやって来て、このように言うのです。

「タン アアキヒ エネ ワ

“tan a=akihi e=ne wa

「弟よ、

アウエノナハ アウエンユプタリ アサハ コエトウレン ノ

a=wenonaha a=wenyuputari a=saha koeturen no

私達の悪い父親や悪い兄たちや姉さんも一緒に、

『エネ ネペカラッカ アユプタリ アッカリ エアシカイ。』

‘ene nep e=kar y_akka a=yuputari akkari easkay.’

『このようにお前は何をするにも兄さんたちよりできるのだ。』

セコロ ハウエオカ コロ エアラキンネ キ ワ

sekor haweoka kor earkinne ki wa

と、やたらに話し、

『エイワカカナク コント アナクネ アエライケ クス ネ。』

‘e=iwak y_ak anak konto anakne a=e=rayke kusu ne.’

『お前が帰ってきたら、今度は殺そう。』

セコロ ハウオカ コロ オカ ルウエ ネ クス…… クス アウヌ

sekor hawoka kor oka ruwe ne kusu... kusu a=unu

と言っているのです、私の母は

『ホクレ ネウン ポカ アエキラレ ヤク ピリカ。』

‘hokure neun poka a=e=kirare yak pirka.’

『早くなんとかお前を逃がさなければ。』

セコロ ハウエアン コロ タプ エエ クニ プ エミ プ トウラノ

sekor hawean kor tap e=e kuni p e=mi p turano

と言いながら、このようにお前の食べ物や着る物、

エシピンパ プ トウラ アカラ ワ オカアン ワ

e=sipinpa p tura a=kar wa oka=an wa

身にまとうものを母と一緒に作っていました。

アセ ワ エカン ナ、ホクレ ホクレ。」

a=se wa ek=an na, hokure hokure”

それを私が背負って来たのですから、さあさあ早く。」

セコロ アサ…… ポナサハ チシ コロ ハウエアン クス オラウン

sekor a=sa... pon a=saha cis kor hawean kusu oraun

と私の小さい姉が泣きながら言っています。それで

アシケ アオスラ テキネ

a=sike a=osura tek h_ine

私は自分の荷物をさっと投げおろすと、

「アエプ カ オロ エシク ナ。」

“aep ka oro esik na.”

「食べ物もその中にいっぱい詰め込みなさい。」

セコロ ハウエアニネ ア…… アセ テキネ

sekor hawean h_ine a... a=se tek h_ine

と小さい姉が言い、私はそれをすぐに背負って

オロワノ ペツ トウラシ ホユプテクテカン。

orowano pet turasi hoyuputektek=an.

それから川に沿って走りました。

アラパアナイネ ペテトク タ アラパアン ルウェ ネ イネ

arpa=an ayne pet etok ta arpa=an ruwe ne h_ine

進んで行くと、川の水源に私は着きました。

レウシアン、リトゥッ タ キ ヒネ オラ イシムネ スイ アラパアナイネ

rewsi=an, ritur_ ta ki hine ora isimne suy arpa=an ayne

途中で私は休んで、それから翌日また進んで行くと、

ペテトク タ アラパアン ルウェ ネ アクス

pet etok ta arpa=an ruwe ne akusu

水源に着きました。すると、

ポロ スンク アシ ワ アニネ ネ スンク…… コント スンク オウシ タ……
 poro sunku as wa an h_{ine} ne sunku... konto sunku ousi ta...
 大きなエゾマツが立っていて、そのエゾマツの根元に

エアラキンネ エエエ…… ヘラシ ヘラシ パテク ニテク ウシ ワ
 earkinne eee... herasi herasi patek nitek us wa
 ものすごく下へ下へとばかり枝がついて

オカ チクニ アニ スンク アニ クス チョロポツケ タ
 oka cikuni an h_i sunku an h_i kusu corpokke ta
 いる木、エゾマツがあったので、その下に

アラパアニネ レウシアン ルウェ ネ イネ アナナクス
 arpa=an h_{ine} rewsu=an ruwe ne h_{ine} an=an akusu
 行き泊まっていると、

オロ タ ポナユピ ヒナク ワ エク カネ イキ、ヒナク ワ イキ
 oro ta pon a=yupi hinak wa ek kane iki, hinak wa iki
 そこへ小さい私の兄がどこからかひょっこりとやって来た

セコロ ヤイヌアン コロ アヌカラ ア アヌカラ ア イケカ
 sekor yaynu=an kor a=nukar a a=nukar a h_{ikeka}
 と私は思い、私は何度も見たけれど、

ネア ポナユピ ネ カトゥ カ アエランペウテク ペ
 nea pon a=yupi ne katu ka a=erampewtek pe
 その小さい兄の姿か私はわからないのですが、

オラノ アユピヒ ハウ…… ポナユピ ハウコロ キ コロ アン アクス
 orano a=yupih haw... pon a=yupi hawkor ki kor an akusu
 私の小さい兄の声を出しています。すると、

ラポツケヘ オキムン ヘマンタ サン コロ コロ…… (?)
 rapokkehe okimun hemanta san kor kor...(?)
 そのうちに、山から何かが下りてくる

サヌミ アサ ヒネ ニ カ ウン レワクシ
 san h_umi as a hine ni ka un rew akus
 音がして、それが木にとまると

ネア スンク ソレクス タネ ホラク ノイネ フマシ アイネ
 nea sunku sorekusu tane horak noyne humas ayne
 そのエゾマツは今にも倒れそうになり、

オラ スイ イサミネ
 ora suy isam h_ine
 それでまたいなくなりました。

ラポッケへ シリペケリネ オカアン ルウェ ネ ア プ、
 rapokkehe sirpeker h_ine oka=an ruwe ne a p,
 そのうちに夜が明けて私達はそうしていましたが、

イシムネ イケ アナクス スイ ネノ フマシ ルウェ ネ アクス
 isimne h_ike an akusu suy neno humas ruwe ne akusu
 翌日になってまたそのような音がすると、

オロワ ネプム カ イサム ア プ…… ア プ、
 orowa nep h_um ka isam a p... a p,
 その後、何の音もしなくなり、

オラ ネア ポナユピ カ ソイネ ワ イサム。
 ora nea pon a=yupi ka soyne wa isam.
 その小さい兄も外に出てしまいました。

アヌカラ ア アヌカラ ア イケカ
 a=nukar a a=nukar a h_ikeka
 何度も見たのだけれど、

ポナユピ ネ カトゥン カ アエランペウテク ルウェ ネ ア プ、
 pon a=yupi ne katun ka a=erampewtek ruwe ne a p,
 私の小さい兄の姿なのかわからなかったのですが、

ソイネ ア ポラノ イサム。

soyne a p, orano isam.

外に出ていなくなっていました。

エク ルウェ カ イサマイネ エク ヒネ アフン イネ

ek ruwe ka isam ayne ek hine ahun h_ine

戻って来なかったのですが、そのうちに来て入り、

イアラソケ タ アニネ アヌカラ ワ アナナイネ

i=arsoke ta a h_ine a=nukar wa an=an ayne

囲炉裏を挟んで私と向かい側の席にいます。私はそれを見て

オッカヨ ネ ウム ネ クナク アラム コロ アナナ プ、

okkayo ne h_um ne kunak a=ramu kor an=an a p,

男であると思っていたのですが、

ピリカ カムイ ネ クス コラチ アン ポン メノコ

pirka kamuy ne kusu koraci an pon menoko

美しい神様であるからこそそう見える若い女性が

イアラソケ タ ア ワ アン イネ エネ ハウエアニ

i=arsoke ta a wa an h_ine ene hawean h_i

囲炉裏を挟んで向かいに座っていて、言うことには、

「タン オッカイポ ニシパ エネ ワ イタカナク エイヌ カトウ エネ アニ

“tan okkaypo nispa e=ne wa itak=an y_ak e=inu katu ene an h_i

「その旦那様、私がこれから話すことをお聞きなさい。

アシヌマ アナク ホイヌ トノ アネ ルウェ ネ ヒネ

asinuma anak hoynu tonno a=ne ruwe ne hine

私はテンの大将であって、

マツネポ アネ ワ アナン ルウェ ネ イケ インカラニケ

matnepo a=ne wa an=an ruwe ne h_ike inkar=an h_ike

その娘なのですが、私が見ると、

エオナハ ポネサハ たか²

e=onaha pon e=saha TAKA

お前の父親や小さい姉でなくて

ポロ エサハ エユプタリ エオナハ コクシシ

poro e=saha e=yuputari e=onaha kokusis

大きい姉、兄達は父親共々みんな

パク ウエン ケウトウム ウエイ サンペ コロ ペ

pak wen kewtum wen_ sampe kor pe

これほどの悪い気持ち、悪い心を持つものは

イサム ペ ネ ヒネ コント

isam pe ne hine konto

いないという人です。それで、

『タヌ克蘭 ネ エイワカカナク アエライケ クシ ネ。』

'tan ukuran ne e=iwak y_akanak a=e=rayke kus ne'

『今晚お前が帰ってきたらお前を殺そう』

セコロ ハウオカ コロ オカイ ペ エオロ タ フリ トノ エヌカラ、

sekor hawoka kor okay pe e=oro ta huri tono e=nukar,

と彼らは話しているのですが、お前のところのフリの神様がお前を見て、

たか フリ ニツネ ウエニケヘ

TAKA huri nitne wen h_ikehe

いや、フリの極悪の神を

ネイ ワノ スイ アニ エオナウタリ エラムオカ ワ

ney wano suy an h_i e=onautari eramuoka wa

どこからかまたいるところをお前の父親達が知って

エコノンノイタク ルウェ ネ ヒネ ネワオカイペ サプ ルウェ ネ。

e=kononnoytak ruwe ne hine newaokaype sap ruwe ne.

お前のことを呪いをかけたので、そいつが下りてきたのです。

サン ワ オラノ タパン スンク スンク トノマツ ウニヒ キタイケ キシマ ワ
 san wa orano tapan sunku sunku tonomat unihi kitayke kisma wa
 フリが下りて、このエゾマツの女神様の家のでっぺんをつかみ、

エホトゥリトゥリ ヤッカ ウエン コロ アン フミ エヌ コロ エアン。
 ehoturituri yakka wen kor an humi e=nu kor e=an.
 引っ張ったけれど力が及ばずに、そうしている音をお前が聞いていたのです。

エカリ コント スンク トノマツ トウラノ パイエアニネ
 ekari konto sunku tonomat turano paye=an h_inē
 そこへ今度私がエゾマツの女神様と一緒に、

ネア フリ トノ アウエンパカシヌ アライケ ワ イサム ルウェ ネ ヤクン
 nea huri tonō a=wenpakasnu a=rayke wa isam ruwe ne yakun
 そのフリを懲らしめて殺したのです。そうしたので

オラ テワノ ネア エウヌフ ポン エサハ アラキ ナンコロ クシ
 ora tewano nea e=unuhu pon e=saha arki nankor kus
 これから、そのお前の母と年下のほうの姉が来るだろうから、

テタ チセカラン ワ オカアナカナクネ オ…… クシ ネ ナ。」
 teta cisekar=an wa oka=an y_akanakne o... kus ne na.”
 ここに家をつくり私達は暮らすことにしましょう。」

セコロ ハウエアン コロ コント ピリカ チセ ポロ チセ アカリネ
 sekor hawean kor konto pirka cise poro cise a=kar h_inē
 とテンの神様は言いながら、立派な家、大きな家を私達はつくって、

オロ タ オカアン ルウェ ネ アクス コント エネ ハウエアニ
 oro ta oka=an ruwe ne akusu konto ene hawean h_i
 そこで私達は暮らしていると、テンの神様はこう言った。

「ポン エサハ エウヌフ アラキ ナンコロ。
 “pon e=saha e=unuhu arki nankor.
 「お前の小さい姉と母親が来るでしょう。」

アレンカイネ アラキ ナンコロ ヤクネ テタ オカ ヤク オロワ
a=renkayne arki nankor yakne teta oka yak orowa

私の意思で来るので、ここで暮らしていれば

アシ…… アシヌマ…… エアニ アナク
as... asinuma... eani anak

お前は、

テエタ カムイ パヨカ カムイ パヨカ イ タ
teeta kamuy payoka kamuy payoka h_i ta

昔の神様、病気の神様が歩きまわっていた時に

セコラン メノコ タ カムイ メノコ ネ ヤク
sekor an menoko ta kamuy menoko ne yak

そのような女こそ女神である（思い）、

アコロ セコロ ヤイヌ ヒ クス ヘトウク プ エネ ワ エアン ルウエ ネ。

a=kor sekor yaynu hi kusu hetuku p e=ne wa e=an ruwe ne.

結婚しようと思って、それでお前が生まれたのです。

ネプ アイヌ サニ エネ ワ エアン ルウエ カ ソモ ネ ワ クス
nep aynu sani e=ne wa e=an ruwe ka somo ne wa kusu

お前はどんな人間の血統でもないのだから、

ポ ヘネ エイソン ペ エネ。

po hene e=ison pe e=ne.

なおさらお前が幸運が良かったのです。

エオナハ アエク…… アケシケ クス

e=onaha aek... a=keske kusu

お前の父親はお前を妬んだので

エネ シリキ イ クス キ セコロ ネア エオ…… クス
ene sirki h_i kusu ki sekor nea eo... kusu

このようなことでそうしたのですから、

エウヌフ エ…… ポネサハ アラキ ヤクネ

e=unuhu e... pon e=saha arki yakne

お前の母親や小さい姉が来たら

ネイ ワ ネ ヤ ケウトウム アラムオシマ プ アアラキレ ワ

ney wa ne ya kewtumu a=ramuosma p a=arkire wa

どこからか、私が気に入ったものをよこして、

エコタン ネ ヤク オラウン エアニ ネ ヤッカ

ekotanne yak oraun eani ne yakka

それで村ができたならば、お前も、

エオナウタリ カ エ…… エユプタリ カ

e=onautari ka e... e=yuputari ka

お前の父親達も兄達も

エネ イキ パ コロ オカ ヒ エヌカラ コロ エアン。

ene iki pa kor oka hi e=nukar kor e=an.

どのようにしているかお前は見ながら暮らすのです。

オラ エ…… エウヌフ カ ポネサハ カ ネノ

ora e... e=unuhu ka pon e=saha ka neno yakne...

そして、お前の母親も小さい姉も同じように、

エネ イキパアン コロ オカアン ヒ カ ヌカラ コロ オカ ヤクネ……

ene ikipa=an kor oka=an hi ka nukar kor oka

私達がどうしているかを見ていれば、

オカ ヤクネ アナクネ ネペラナッカ ソモ キ ノ

oka yakne anakne nep eranakka somo ki no

彼女達は何を心配することもなく、

オラ エアン クス ネ ナ

ora e=an kusu ne na

そうしてお前は暮らすことができるでしょう。

カムイ オツ タ オカアナッカ エネ イキパアン コロ オカアニ
 kamuy or_ ta oka=an y_akka ene ikipa=an kor oka=an h_i
 神様のところで私たちが暮らしても、私達がどうしているか

ヌカラ コロ オカ クシ ネ ナ。」
 nukar kor oka kus ne na.”
 彼女達は見ることになるでしょう」

セコロ カネ ネア ポン メノコ ハウエアン コロ
 sekor kane nea pon menoko hawean kor
 とその若い娘は言い、

コント トウラノ オカアン ルウェ ネ アクス
 konto turano oka=an ruwe ne akusu
 一緒に暮らしていると、

シネアンタ スイ コア…… ポン アサハ アウヌフ
 sineanta suy koa... pon a=saha a=unuhu
 ある日また小さい姉と母親が

タラペ ムイエ エホトウイトウイエ (?) ルプネ シケ キ ワ アラキ。
 tarpe muye ehotuytuye(?) rupne sike ki wa arki.
 敷物を束ねたもので (?) 大きな荷物を背負って来ました。

オラノ イウコムライパ コロ ウコパラパラク コッ
 orano i=ukomuraypa kor ukoparparak kor_
 それから私と一緒に抱きしめながら

チシ ロク チシ ロク パ コロ オカアン ルウェ ネ アクス オロワ
 cis rok cis rok pa kor oka=an ruwe ne akusu orowa
 二人はワアワアと泣き続け、私達がそうしていると、

「タップネ タブネ カムイ アネ ワ カシ アオピウキ タブネ ネ ワ
 “tapne tapne kamuy a=ne wa kasi a=opiwki tapne ne wa
 「かくかくしかじかで私は神様であって、私が助けたのはこのようなことなのです。

エカリ フリ ト…… フリ トノ エタップ ニツネ エタップ コノンノイタク ワ
ekari huri to... huri tonon h_etap nitne h_etap kononnoytak wa
 (お前の悪い父親達が) フリの神様だか悪神だかに頼んで呪いをかけたので、

サン クシ ネ ワ アヌカラ ワ クス
san kus ne wa a=nukar wa kusu
 フリはお前の息子に向かって下りていきました。それを私は見たので

エカリ サパン ワ たか ワ クス エカリ エカン マ
ekari sap=an wa TAKA wa kusu ekari ek=an w_a
 そこへ下り私はやって来て、でなくて、そこへやって来て

スルク トノマツ トウラノ ウカスヤン ワ
sunku tonomat turano ukasuy=an wa
 エゾマツの女神様と一緒に助け合って

アウエンパカシヌ ルウェ ネ ヤクネ イ…… カムイ オツ タ オカアナツカ
a=wenpakasnu ruwe ne yakne i... kamuy or_ ta oka=an y_akka
 フリを倒したのです。ですから、神様のところで私たちが暮らしていても、

エネ イキパアニ ヌカラ コロ オカ。
ene ikipa=an h_i nukar kor oka.
 私達がどうしているか見ていなさい。

オロワ アホクフ カ エネ エチイキ パ コロ エチオカ イ カ
orowa a=hokuhu ka ene eci=iki pa kor eci=oka h_i ka
 私の夫もお前達がどうしているか

カムイ オロ ワ アン ワ ヌカラ コロ アン。
kamuy or wa an wa nukar kor an.
 神様のところから見ています。

エチオカ カ エネ イキパアン コロ オカアニ
ecioka ka ene ikipa=an kor oka=an h_i
 お前達も私達がどうしているか

エチヌカラ コロ エチオカ ラポッケ

eci=nukar kor eci=oka rapokke

お前達が見ているうちに、

ネイ ワ ネ ヤ ケウトウム アラムオシマ プ アラキ ワ

ney wa ne ya kewtumu a=ramuosma p arki wa

どこからか気持ちに合うものが来て、

エチエコタンネ アイネ モヨノ アン コタン エチネ ワ

eci=ekotanne ayne moyono an kotan eci=ne wa

お前達の集落に仲間入りをします。人口が少ない村がお前たちの村であり、

エチオカ ナンコロ ルウェ ネ イ クス イ…… ア…… アポホ イサム セコロ

eci=oka nankor ruwe ne h_i kusu i... a... a=poho isam sekor

お前達は暮らすことになるでしょうから、自分の息子がいなくなったと

イテキ エヤイヌ ノ エアン エネ イキペアニ エチヌカラ

iteki e=yaynu no e=an ene ikipa=an h_i eci=nukar

考えずに暮らし、私達がどうしているかお前達は見て、

エポ アア…… エポウタリ エネ イキパ ヒ、エホクフ エネ イキ ヒ

e=po aa... e=poutari ene ikipa hi, e=hokuhu ene iki hi

お前の子も達やお前の旦那がどうしているか

アコロ オンネ カツケマツ ヌカラ コロ アン。

a=kor onne katkemat nukar kor an.

夫人は見えていなさい。

タン ペウ…… ポン イサネプ ネ ヤッカ ヌカラ コロ アン ペネ クシ キ。」

tan peu... pon isanep ne yakka nukar kor an pe ne kus ki.”

小さい姉も見えていなさいね。」

セコロ カネ ハウエアン ルウェ ネ ヒネ コロ オカアナ プ

sekor kane hawean ruwe ne hine kor oka=an a p

と言って、私達は暮らしていたのですが、

ソンノカ コント アシケトコ チヌメマカ^[3] イネ
sonnoka konto a=siketoko cinumemaka h_ine

聞いていた通り、私の眼前がぱっと開かれ、

ネア アウヌフ カ だか アオナハ ポナユピ° ポロ アユピ°
nea a=unuhu ka DAKA a=onaha pon a=yupi poro a=yupi

その母親でなくて、私の父親や小さい兄、大きい兄、

ポン…… ポロ アサハ アオナハ エネ イキパ コロ オカ ヒ
pon... poro a=saha a=onaha ene ikipa kor oka hi

大きい姉、私の父親がやっていることを

アヌカラ コロ アナン カ…… アオナ…… アサ…… アウヌフ カ アサハ カ
a=nukar kor an=an ka... a=ona... a=sa... a=unuhu ka a=saha ka

私は見ていました。私の母親も私の姉も

ネノ ネ ヤク イェ パ コロ オカアナクス
nenno ne yak ye pa kor oka=an akusu

同じように（見える）と言いながら、私達は暮らしていると

オラ ネア ア…… カムイ メノコ エネ ハウエアニ
ora nea a... kamuy menoko ene hawean h_i

あの女神様が言うことには、

「カムイ オツ タ オカアナツカ キ オラ ネイ ワ ネ ヤ アイヌ アラキ ワ
“kamuy or_ ta oka=an y_akka ki ora ney wa ne ya aynu arki wa

「神様のところで私達は暮らしても、どこからか人間達がやってきて

シノ ニシパ ア…… エウタンネ ヤク
sino nispa a... eutanne yak

真の長者の一員となって、

ネペシリキラプ ネプ コン ルスイ ソモ キ ノ
nep esirkirap nep kor_ rusuy somo ki no

何か困ることもなく、何か欲しいとも思わずに

エチオカイ ペ ネ クス ネノ エチイキ オラウン
 eci=okay pe ne kusu neno eci=iki oraun

お前達は暮らすために、お前達はそのようにするのです。

カムイ オルン ネプ アイヌ サニ ネ ルウェ カ ソモ ネ
 kamuy or un nep aynu sani ne ruwe ka somo ne

神様のところでどんな人間の血統でもない。

タン イヨッタ ポネポホ アナクネ エケウトウム ピリカ ワ クス
 tan iyotta pon e=poho anakne e=kewtumu pirka wa kusu

この一番末っ子である子どもは心がきれいなので、

セコロ ケウトウム ピリカ プ
 sekor kewtum pirka p

そのように心の良いものこそが

タ カムイ ネ ヤクネ アコロ セコロ ヤイヌ イ クス
 ta kamuy ne yakne a=kor sekor yaynu h_i kusu

神様であり私は結婚しようと思って、そのために

ヘトゥク プ エネ クス ネノ エイキ プ ネ ナ。」
 hetuku p e=ne kusu neno e=iki p ne na.”

お前は生まれたのですから、お前はそのようにするものです。」

セコロ ハウエアン コロ コント ネア アマチヒ アトゥラ ワ
 sekor hawean kor konto nea a=macihi a=tura wa

と言っています。私はその妻と一緒に

ソイエンパアン オラノ ア…… ネア アウヌタリ エネ イキパ イ アヌカレ
 soyenpa=an orano a... nea a=unutari ene ikipa h_i a=nukare

外に出て、私の母親達がどうしているかを見せられました。

ソンノカ ネイ ワ ネ ヤ アイヌ アラキ アイネ
 sonnoka ney wa ne ya aynu arki ayne

やはりどこからか人間が来て、

モヨノ アン コタン ネア アウヌウタリ コタヌ ネ ワ

moyono an kotan nea a=unuutari kotanu ne wa

人口の少ない村はその私の母親の村となり、

オロワ アユピヒ アオナハ ネ ヤ エネ イキパ ヒ カ イサム コロ オカ パ。

orowa a=yupihhi a=onaha ne ya ene ikipa hi ka isam kor oka pa.

私の兄や父親はどうすることもできなくなっています。

アサハ カ アユプタリ カ マツ ポカ カ サク ノ

a=saha ka a=yuputari ka mat poka ka sak no

私の姉も私の兄達も妻も持たずに、

エネ イキパ イペ ヒ カ イサム ノ オカ ロキネ ラポッケヘ

ene ikipa ipe hi ka isam no oka rok h_ine rapokkehe

どうすることも食べることもできなくなって暮らしている一方で、

ア……… ネア ポナサハ アナクネ

a... nea pon a=saha anakne

その私の小さな姉が

ピリカ オッカイポ コロ ワ アン ワ ラポッケヘ ポシレシクテ。

pirka okkaypo kor wa an wa rapokkehe posiresikte.

立派な若者と結婚し、そのうちに子供がたくさん生まれました。

アポウタリ カ ウシンナ ウシンナ オカ シリ アウヌフ ヌカラ コロ

a=poutari ka usinna usinna oka siri a=unuhu nukar kor

私の子ども達も（結婚して）別々に暮らす様子を私の母親は見ながら、

エネ イキパ アユプタリ キ ヒ カ ヌカラ コロ アナイネ

ene ikipa a=yuputari ki hi ka nukar kor an ayne

私の兄達がどうしているか見ながら暮らし、

ピリカ オンネ オラウン

pirka onne oraun

大往生しました。

オカケ タ ネ アユプタリ アオナウタリ エネ イキパ ヒ カ イサム。

okake ta ne a=yuputari a=onautari ene ikipa hi ka isam.

その後、私の兄達、私の父親達はどうすることもできませんでした。

アオナハ アサハ エネ イキパ ヒ カ イサム。

a=onaha a=saha ene ikipa hi ka isam.

私の父親も私の姉もどうしようもなくなり、

マツ カ サク ホク カ サク ノ

mat ka sak hok ka sak no

妻も旦那も持たずに

エネ イキパ イ カ イサム コロ オカ ロキネ

ene ikipa h_i ka isam kor oka rok h_ine

どうすることもできずに暮らし、

イサム パ シリ アヌカラ コロ アナン ペ ネ クス アイェ セコロ

isam pa siri a=nukar kor an=an pe ne kusu a=ye sekor

それで生涯を終えたのを私は見て暮らしていたものですから、私は言うのですと

シノ ニシパ イソイタク したって

sino nispa isoytak SHITATTE

真の長者が話したと。

フンナ エウン イェ ハウエ ネ? エネエコテ イェ ハウエ だべし。

hunna eun ye hawe ne? en=h_ekote ye hawe DABESI.

(これは) 誰に向かって言った話だ? 私に言った話でしょう?

【注】

[1] pon_ saranip : 「小出し」とも言う。

[2] 「たか」というのは日本語の「だか」だが、何か言い間違えた時によく使う言葉。

[3] cinumemaka : 音声はこのように聞こえるが不明。cinumaka と同様に解釈した。

22-7 ルパイエユカラ

語り：黒川てしめ

……ノ シネ アンチカッ タカラ イタク ネ インカラ ヘタブ アキ クス
 ...no sine ancikar_ takar itak ne inkar hetap a=ki kusu
 一晩の夢の言葉として見たのか、

ライ エ ネ ヤ モコレ ネ ヤ
 ray h_e ne ya mokor h_e ne ya
 死んだのか、眠っていたのか

アエコンラムコンナ シツネ フミ エネ オカ ヒ
 a=ekonramkonna sitne humi ene oka hi
 意識が朦朧とする（夢の中で見た）様子はこのようだ。

アコロ ポン ペッ ペッ テクサマ インネ ウタラ チ…… エウエホリピ
 a=kor pon pet pet teksama inne utar ci... ewehoripi
 私たちの小さな川、川のそばで大勢の仲間が踏舞をして

サンケ ヌミキン ニウエノリピ
 sanke num ikir_ niwen h_oripi
 手前の群集は魔払いの行進をして

エ…… エウコ…… エヤイコサンテク トゥリヒタラ
 e... euko... eyaykosantek turihitara
 手を伸ばしている。

マクン ヌミキリ シノトリピ
 mak un num ikir sinot h_oripi
 奥の群集は戯れの足踏みをして

エウコサンテクトウルパ カネ
 eukosantekturpa kane
 互いに手を伸ばして

マクン ヌミキリ シノ…… ニウエン…… シノトリピ

mak un num ikir sino... niwen... sinot h_oripi

奥の群集は戯れの足踏みを

エウサンタプカ タプカッタプカラ

eusantapka tapkattapkar

肩から踊って(?)

サンケ ヌミキン ニウエノリピ

sanke num ikir_ niwen h_oripi

手前の群集は魔払いの行進をして

エウサンタプカ タプカッタプカラ コロ オカ シリ

eusantapka tapkattapkar kor oka siri

肩から踊って(?) いるのか。

アコロ ポン ペッ ペッ テクサマ キ シリ アヌカラ ペコロ ヤイヌアン コロ

a=kor pon pet pet teksama ki sir a=nukar pekor yaynu=an kor

私たちの小さい小川、小川のそばで、そうしている様子を見たように思うと

アシケトコ ウシコサヌ

a=siketoko uskosanu

(その様子は) 私の目の前からさっと消えた。

タンペ クス アキ ソイエネ ホ…… モサン コロ アクス

tanpe kusu a=ki soyene ho... mos=an kor akusu

そこで私が目覚めると

モ…… モコラン ワ ネ アアン インカレ タカレ アキ フミ ネ アニネ

mo... mokor=an wa ne aan inkar h_e takar h_e a=ki humi ne an h_ine

眠りながら例の予見だか夢見だかをした様子で

オラノ ソッキ アサム アンパ カムイ イエリキオツケ カネ

orano sotki asam anpa kamuy i=erikiotke kane

それから、寝床の底にいる神が私を高く突いて

アマネンポク オン…… アン パ カムイ イエラナオツケ カネ
amanenpok on... anpa kamuy i=eranaotke kane
 梁の下にいる神が私を低く突いて（寝ていられず）

モコロ ポカイキ アエトランネ オアルウエン ワ
mokor pokayki a=etoranne oarwen wa(?)
 眠ることさえも嫌になり、まったく駄目で（?）

コント アキ ホプニ ポロ カラウト カンプタ アエトゥルセレ
konto a=ki hopuni poro karawto kanputa a=etursere
 今度、起きあがると、大きな唐びつのふたを外し

カムイ ハヨクペ アエシクルカサムオピラサ
kamuy hayokpe a=esikurkasam'opirasa
 神なる鎧を自分の体に合わせて広げて

ウ…… カムイ コソソテ コロ
u... kamuy kosonte kor
 神の小袖の

カネ ポン カサ カサ ル…… ラントウペプ アヤイコユブ
kane pon kasa kasa ru... rantupep a=yaykoyupu
 金の小笠、笠から下がる紐を自分で締めた。

ア…… アラン…… アムツ エムシ シリカ ケシ タ
a... aran... a=mut emus sirka kes ta
 私が佩く刀の鞘の下端には

サッキモツペ ニツネ ヒケ
sakkimotpe nitne hike
 夏狐の性悪なやつが

シクヌ ピト ネ シッカ…… ヌ 𑌐 カムイ ネ
siknu pito ne sikka... nu kamuy ne
 生きている神のように、生きているカムイのように

インカン ル コチャイナタラ パク…… ワ ヤヨトゥイマアヌアヌ
inkar_ ru kocaynatara pak... wa yayotuymaanuanu

見る様子は、ギョロッとにらみつけて、体をかがめて、

エトゥフ クシ ペ パロホ クシ ペ
etuhu kus pe paroho kus pe

鼻から出るもの、口から出るものは

トゥ クンネ ウラン レ クンネ ウラッ チソイナライエ
tu kunne urar_ re kunne urar_ cisoynaraye

二つの黒い霧、三つの黒い霧が立ち現れる。

エムシ ニプ カ タ カネ ポン ホロケウ
emus nip ka ta kane pon horkew

刀の柄の上には、金の小さなオオカミが

シクヌ ピト ネ シクヌ カムイ ネ ヤヨトゥイマアヌアヌ
siknu pito ne siknu kamuy ne yayotuymaanuanu

生きている神のように、生きているカムイのように、体をかがめて

エトゥフ クシ ペ パロホ クシ ペ
etuhu kus pe paroho kus pe

鼻から出るもの、口から出るものは

トゥ クンネ ウララ レ クンネ ウラッ チソイナライエ
tu kunne urar re kunne urar_ cisoynaraye

二つの黒い霧、三つの黒い霧が立ち現れる。

オラウン カネ ポン カサ カサ…… カサ チキタイ
oraun kane pon kasa kasa... kasa cikitay

そして、金の小笠、笠のてっぺんでは

カネ ケソラプ ポン ケソラプ コラピラサ^[2] コラタララ^[3]
kane kesorap pon kesorap korapirasa koratarara

金の斑紋鳥、小さな斑紋鳥が羽を広げ、羽を高く持ち上げて、

アタプスツ タプスツ カ タ ウエカリ

a=tapsut tapsut ka ta uekari

私の肩の上に集まった

カネ ポン カッコク ラタララ ラピラサ

kane pon kakkok ratarara rapirasa

金の小さなカッコウが羽を高く持ち上げ、羽を広げ

レカウ コンナ チャウロトツケ コロ オカ イネ シ……

rek h_aw konna cawrototke kor oka h_in e s...

鳴く声は声が響き渡っている。

アエハヨク ペ アエハヨキネ オラ

a=ehayok pe a=ehayok h_in e ora

私はその鎧を身につけると、

コント オマニヌンペ アウレペカレ

konto omaninumpe a=urepekare

今度、長い炉縁を伝って

ソユン チケトイ アコエソヨシマ

soyun ciketoy a=koesoyosma

外庭に出て行き

チケトイ カ ワ アキ ホプニ

ciketoy ka wa a=ki hopuni

外庭から飛び立つと

アコロ ポン ペツ ペツ テクサマ アエホプニ

a=kor pon pet pet teksama a=ehopuni

私たちの小さな川、川のそばを飛んで行って

インカラニケ ウェンタカラ タプネ インカッ タプネ アラム アワ

inkar=an h_ike wentakar tapne inkar_ tapne a=ramu awa

見ると、夢に見たとおりのように思った。

ソレクス ワ インネ ウタラ ウタラ クルカシ クンナタラ ヒネ
sorekusu wa inne utar utar kurkasi kunnatara hine
 それこそ、多くの人々で、黒山の人ばかりで

インネ ウタラ マクン ヌミキリ シノトリピ° エウサンタプカタプカラ
inne utar mak un num ikir sinot h_oripi eusantapkatapkar
 多くの人々の、奥の群集が戯れの足踏みをして、肩から踊って (?)

サンケ ヌミキン ニウエン オリピ° エウサンタプカタプカラ カネ
sanke num ikir_ niwen h_oripi eusantapkatapkar kane
 手前の群集が魔払いの行進をして、肩から踊って (?)

トゥイカシケ イタコ ハウエ エネ オカ ヒ
tuykasike itako hawe ene oka hi
 そうしながら言うことはこうだった。

「コロ オカ クス ネア アトゥイヤウンクル ウェナイヌ ニツネ イ
“kor oka kusu nea Atuyyaunkur wen aynu nitne h_i
 「こうしているのか (?)、例のアトゥイヤウンクル (という)、悪い人間の性悪は

ウタレホシキ
utar ehoski
 仲間を不足に思い (?)

サンケ ヌミキン ヌミキリ カ タ
sanke num ikir_ num ikir ka ta
 手前の群集、群集にも

アトゥイヤウンクル ウタレホシキ」
Atuyyaunkur utar ehoski”
 アトゥイヤウンクルは仲間を不足に思うのだ」 (?)

セトウル カシ タ キムントウンクル ヤイコサンテクトゥリヒタラ
seturu kas ta Kimuntounkur yaykosantekturihitara
 その背後でキムントウンクルが手を伸ばし (?)、

セトウル カシ タ コント ニセツ…… ニセトクウンクル キムントウンクルと
seturu kasi ta konto Niset... Nisetok'unkur Kimuntounkur TO
 その背後で今度はニセトクウンクルとキムントウンクルと、

コント セトウル カシ タ チュプカウンクル
konto seturu kasi ta Cupkaunkur
 今度はその背後ではチュプカウンクルが、

イネ ウタラパ イネ ラメトク ウコサンテクヤイコサンテクトウリヒタラ
ine utarpa ine rametok ukosantek- yaykosantek- turihitara
 どの勇士、どの勇者も互いに手を伸ばし(?) 自分の手を伸ばし(?) ている

キムントウンクル たか アトウイヤウンクル エネ イタキ
Kimuntounkur TAKA Atuyyaunkur ene itak h_i
 キムントウンクルでなくて、アトウイヤウンクルがこう言った。

「アウタリポ ルイノ モイモイケ ルイノ タマニ エチキ ナンコン ナ。
“a=utaripo ruyno moy moyke ruyno tamani eci=ki nankor_ na.
 「わが仲間たちよ、激しくはたらき、激しく太刀を振るえ。

ルイノ タマニ ルイノ モイモイケ エチキ ワ ネ ヤク
ruyno tamani ruyno moy moyke eci=ki wa ne yak
 激しく太刀を振るい、激しく働き、そうしたら

ソレクス ワ カム……
sorekusu wa kam...
 それこそ

シヌタプカ ウン オマ イヨイペ オマ イヨマ シネプ コロ クル カ
Sinutapka un oma iyoype oma ioma sinep kor kur ka
 シヌタプカにある宝器、ある宝物をひとつ持ってきた者は

ウコエニヌイ キ プ タパン ナ。
ukoeninuy ki p tapan na.
 枕を高くできるのだよ(?)。

ホクレ クナク ネノ ルイノ モイモイケ アウタリヒポ エチキ ナンコン ナ」
hokure kunak neno ruyno moymoyke a=utarihipo eci=ki nankor_ na.”

さあ早く、そのように激しく働け、わが仲間たちよ、そうするのだよ」

セコロ ネア アトウイヤウンクル ハウエアン コロ
sekor nea Atuyyaunkur hawean kor

と、例のアトウイヤウンクルは言いながら

ヤイコサンテクトウリヒタラ コロ ウホリッパレ コロカ ヒ クス
yaykosantekturihitara kor uhorippare kor oka hi kusu

手を伸ばしながら励ましているので

トンタ テ タ アトウイヤウンクル ユプケ タムクル アエテレケレ プ
tonta te ta Atuyyaunkur yupke tamkur a=eterkere p

私があちこちに、アトウイヤウンクルに激しい太刀影を飛ばすと

シネ チキリパシネ (?)

sine cikir pas h_ine(?)

(アトウイヤウンクルは) 片足だけで走って (?)

イネ ウタラパ イネ ラメトク ネ ヒネ

ine utarpa ine rametok ne hine

どの勇者、どの勇士であって

オラノ コント インネ ウタラ ウタラ クルポク エホユプ コロ

orano konto inne utar utar kurpok ehoyupu kor

それから今度、(アトウイヤウンクルは) 多くの人々、人々の下を走って (逃げ)

インネ ウタラ キナオトウイエ ムノトウイエ アエカンナユカラ

inne utar kinaotuye munotuye a=ekannayukar

私は多くの人たちを草を刈るように斬り、雑草を刈るように斬った。

オロワノ スイ コント ホユプ コロ ウタレンカ エシスイエ コロ

orowano suy konto hoyupu kor utar enka esisuye kor

それからまた今度、(アトウイヤウンクルは) 走っては人々の間を駆け回って (逃げ)

インネ ウタラ、インネ ウタラ^[4] アエオラウキ プ ウタレンカ

inne utar, inne utar a=eorawki p utar enka

私を取り逃がした多くの者たちの間を

エシスイェ コロ キナオトウイェ ムノトウイェ アエカンナユカラ コロ

esisuye kor kinaotuye munotuye a=ekannayukar kor

走り回って、私が（その人たちを）草を刈るように斬り、雑草を刈るように斬ると

サパ サカイヌ オロ チラピ° ウタラ クルポク エホユプ コツ

sapa sak aynu oro cirapi utar kurpok ehoyupu kor_

頭がない人間がバタバタ倒れ、（アトウイヤウンクルは）その人々の下を駆けて

チキリ サカイヌ オロ チラピ°

cikir sak aynu oro cirapi

足がない人間がバタバタ倒れると、

チキリ サキケ ノツ コイケセ ノツ コイパケ コユシタラ エネ オカ ヒ

cikir sak h_ike not koykese not koypake koyusitara ene oka hi

足がなくなったものは顎の下、顎の上をくちやくちや鳴らして、こう言った。

「ネ…… ソンノ ヘタプ エネ エアシリ エ…… ハウエアン ハウエ

“ne... sonno hetap ene easir e... hawean hawe

「本当にこう言わなければならないことだが、

エネ アイロンヌ ヤクン チトウナシトウイェ チトウナシロンヌ ワ

ene a=i=ronnu yakun citunastuye citunasronnu wa

こうやって私たちを殺すなら早く斬り早く殺して

アイイエカラカリケ マクネ ヒネ

a=i=ekarkar h_ike makne hine

くれたらどうなんだと

エネ エアシリ アイラムタササ アイカルミ アニ アン」

ene easir a=iramutasasa a=i=kar h_umi an h_i an”

こんなに私は苦しませなければならないのか？」

セコロ オカイ ペ ネシ エタイェ カネ エノッコイケセ コユシタラ コロ
sekor okay pe nesi etaye kane enotkoykese koyusitara kor

ということを書いて、顎の下端をくちやくちや言わせて、

オロワノ コント アンヌキッポ イエモンタシパ コロ
orowano konto annukippo i=emontaspa kor

それから今度は、（アトウイヤウンクルが）私がしたとおりに私に仕返しをすると、

オロワノ ウタラ ポキシリ アエホユプ コロ
orowano utar pokisir a=ehoyupu kor

私は、人々の下半身を持って走り（逃げたので）

アイヌ ネ イエオラウキ プ
aynu ne i=eorawki p

人間として（五体満足なまま（？））私を取り逃がしてしまったものが

キナオトウイエ ムノトウイエ エカンナユカラ コロ
kinaotuye munotuye ekannayukar kor

草を刈るように斬り、雑草を刈るように斬ると

オラノ コント チキリ サク アイヌ オロ チラピ
orano konto cikir sak aynu oro cirapi

それから今度は足を欠いた人間がバタバタ倒れる。

サパ サク イ…… ウタレンカシ アエシスイエ コロ
sapa sak i... utar enkasi a=esisuye kor

私が、頭を欠いた人々の間を走り回ると、

サパ ク…… サカイヌ オロ チラピ
sapa ku... sak aynu oro cirapi

（私を追ってきたアトウイヤウンクルに斬られて）頭を欠いた人間がバタバタ倒れ、

トゥ カムイ ラユム レ カムイ ラユム
tu kamuy ray h_um re kamuy ray h_um

二神の死ぬ音、三神の死ぬ音が

カムイ ニシ カ ウン パイエ フム コンナ トゥリミムセ ケウロトツケ
kamuy nis ka un paye hum konna turimimse kewrototke
 神の空の上に行く音が鳴り響き、鳴り轟いた。

カムイ ニシ カ ウン ソレクス ワ
kamuy nis ka un sorekusu wa
 神の空の上に、それこそ

トゥ カムイ ラユム エフムニコロケツケ カネ
tu kamuy ray h_um ehumnikorkekke kane
 二神の死ぬ音、死ぬ音がひとつの響きとなって鳴りくだけで

オロワノ ネノ イキアン アイネ
orowano neno iki=an ayne
 それから、そうしていたあげくには

エネ アッ アイヌ エネ インネ プ ネ ア コロカ
ene at aynu ene inne p ne a korka
 あのようにたくさんいた人、あんなに多くの者であったのに

ネア インネ ウタラ アッ
nea inne utar at
 大勢の人々が群れていたのに、

コント タネ アナクネ モヨノ ウタツ チ…… チパラソソ ヤッカ
konto tane anakne moyono utar_ ci... ciparasoso yakka
 今はごく少数の人々が皆一斉に立ち上がると

ネ モヨノ ウタラ アコトウツコトウク コロ
ne moyono utar a=kotukkotuk kor
 そのごく少数の人たちの間を、私は飛び回る。すると、

オラノ イエオラウキ プ エ……
orano i=eorawki p e...
 それから私を取り逃がしたものを

トゥ プ ネ レ プ ネ アオウサトゥイパ アイネ

tu p ne re p ne a=ousatuypa ayne

私が二つに三つに斬ってしまったあげく

トイ キキリ ムイ キキリ ウアスラシテ

toy kikir mun_ kikir uasuraste

土の虫、草の虫（までも）噂を伝える（ものは殺しつくした⁵)

オラノ イネ ウタラパ イケサンパ

orano ine utarpa i=kesanpa

すると、どれかの勇士が私を追いかけてきた。

オロワノ アコロ コタヌ ネウンカ ネ ワ アコロ コタヌ コパクサムオロケ

orowano a=kor kotanu neunka ne wa a=kor kotanu kopaksam'orke

それから私の村をもしや（と思い）、私の村のほうに

アオイラムネレキ ワ ネ ヤクン

a=oyramnereki wa ne yakun

意識を向けてみたら

アコロ コタヌ アイコウエンテ クニ

a=kor kotanu a=i=kowente kuni

私の村を荒らされるようだが

オトゥ ライサンペ オレ ライサンペ アエコテ クス

otu raysampe ore raysampe a=ekote kusu

そうなるは大変だ、そうはさせじと思ったので

オロワノ ピスン キロル キリ……

orowano pis un kiroru kir...

それから浜の道

ピシ…… ピシ コッ…… コパクン

pis... pis kot... kopak un

道のほうへ（向かい）

マカン ネ コロ キナ チンケウスツ キナ アエムケテレケ
makan ne kor kina cinkewsut kina a=emuketerke

時には、草の根もとの草に潜って

アエムケチャルセ コロ
a=emukecarse kor

這い駆けると

キナ チンケウシ…… キナ コイケセ キナ コイパケ タタタタ
kina cinkews... kina koykese kina koypake tatatata

(敵は私が潜っている) 草の下端、草の上端を叩きに叩いて

マカン ネ コロ シリコロカムイ トウクノ イケ
makan ne kor sirkorkamuy tukno h_ike

時には、樹木ですくと伸びたものの

ランケ テケ リクン テケ アコトウツコトウク コン
ranke teke rikun teke a=kotukkotuk kor_

低い枝、高い枝を私が飛び回ると

ランケ テケ リクン テケ ラプテ ラプテ
ranke teke rikun teke rapte rapte

(敵は) 低い枝、高い枝を下ろし下ろし (して妨害) する。

オロワノ イケサンパ パ オロワノ イキアナイネ
orowano i=kesanpa pa orowano iki=an ayne

それから私を追っていたあげく

タネ アナクネ ピシ タ サパニケカ
tane anakne pis ta sap=an h_ikeka

今は浜に下りたが

アコロ コタヌ コパクサモロケ アオイラムネレ キワ ネ ヤクン
a=kor kotanu kopaksamorke a=oyramnere ki wa ne yakun

私の村のほうに心を寄せたら

アコロ コタヌ アイコウエンテ クニ オトゥ ライサンペ アエコテカラ
a=kor kotanu a=i=kowente kuni otu raysampe a=ekotekar
 私の村が荒らされるようだが、そうはさせじと思い

オロワノ イネヒナクン
orowano inehinak un
 それから、どこか

インルツ テクサム アエホユプ ワ イケサンパ パ アイネ
inrur_ teksam a=ehoyupu wa i=kesanpa pa ayne
 波打ち際のそばへ走って、私を追ったあげく

オヤク タ ネ トウイマノ アラパアニ アエラムアン コロ
oyak ta ne tuymano arpa=an h_i a=eramuan kor
 ほかのところに、遠くに来たことがわかると

オロワノ アコン ル…… アテムカ コンナ マッコサヌ
orowano a=kor_ ru... a=temka konna makkosanu
 私の手元が閃いて

トゥ ル エトコ エワケワク パ アイネ
tu ru etoko ewakewak pa ayne
 二つの太刀筋の先々が走りに走ったあげく

ア…… アタメトコ セレコサヌ^[6]
a... a=tametoko serkosanu
 私の刀の前でズバツと音がした。

インカラナクシ チュプカウンクル アタプストゥ アラエカッタ^[7]
inkar=an akus Cupkaunkur a=tapsutu a=raekatta
 見るとチュプカウンクルを切り下げると (?)

アオマ シリ コ ラママツキ
aoma siri ko ramamatki
 (チュプカウンクルが) のめる様子はよろよろとしている。

セトウル カシケ アエア…… エラリレ^[8]

seturu kasike a=ea... erarire

私は（チュプカウクルの）背中の上を押しつけて

トウプ ネ レプ ネ アオウサトウイェ

tup ne rep ne a=ousatuye

二つに三つに斬ってしまった。

イノトウ オロケ アラパ フミ トウリミムセ

inotu orke arpa humi turimimse

（チュプカウクルの）魂が（飛んで）行く音が鳴り響く。

パクノ ネコロ スイ シ…… オラノ スイ シ…… アトウイヤウクル

pakno nekor suy si... orano suy si... Atuyyaunkur

そうすると、それからまたアトウイヤウクルは

シエトウウイナ シパルイナ

sietuuyuna siparuyna

自分の鼻を押さえ、自分の口を押さえ（て驚き）

「カムイ ネ ア プ クス ウママ カムイ シタサアシテ プ

“kamuy ne a p kusu umama kamuy sitasaaste p

「神であるものだからこそ、凡庸ならざる神の反撃を、

ヒナク タ アン ペ ネ ヒネ エネ イキアニ アン？」

hinak ta an pe ne hine ene iki=an h_i an?”

どこの誰が、そのようにできるというのか（？）」

セコロ ハウエアン コロ エアラキンネ ライ パシロタ コロ キラ イネ

sekor hawean kor earkinne ray pasrota kor kira h_in

と（アトウイヤウクルが）言いながら、ひどくののしりながら逃げると、

スイ アタメトコ セレコサヌ

suy a=tametoko serkosanu

また私の刀の前でズバツと音がした。

インカラナクス ニセトクンクル スイ ネノ ネ イネ

inkar=an akusu Nisetokunkur suy neno ne h_ine

見るとニセトクンクルがまた同じようになって

アタプストゥ アラエカッタ イネ スイ アオマ シリ コ ラママッキ

a=tapsutu a=raekatta h_ine suy aoma siri ko ramamatki

刀を切り下げると(？)、(ニセトクンクルが)のめる様子はよろよろとしている。

セトゥル カシケ アヤイラリレ トゥプ ネ レプ ネ アオウサトウイエ

seturu kasike a=yayrarire tup ne rep ne a=ousatuye

彼の背中の上を私は押さえつけ、二つに三つに斬ってしまった。

アンヌキッポ イイエモンタシパ コロ

annukippo i=emontaspa kor

(アトウイヤウンクルは)私がしたとおりに私に仕返す。

オロワノ コント スイ アコロ コタヌ エホシ パテク

orowano konto suy a=kor kotanu ehosi patek

すると今度は、また私の村に背を向けばかりして

キラアン ペ ネ クス イケサンパ パ ワ

kira=an pe ne kusu i=kesanpa pa wa

私は逃げたものだから私を追って

シリコロカムイ リクン テケ ランケ テケ アコトウツコトウク コロ

sirkorkamuy rikun teke ranke teke a=kotukkotuk kor

樹木の高い枝、低い枝を私が飛び回ると

シリコロカムイ ランケ テケ リクン テケ ランケ ランケ パ

sirkorkamuy ranke teke rikun teke ranke ranke pa

樹木の低い枝、高い枝を下ろし下ろしして(妨害し)

マカン ネ コロ アワ キナ キワ…… キナ チンケウスツ

makan ne kor awa kina kiwa... kina cinkewsut

時には、青草の草の根もとの

アエムケテレケ アエムケチャラセ コロ

a=muketerke a=emukecarse kor

草に潜って、私が這い駆けると

キナ コイケセ キナ コイパケ タタタタ

kina koykese kina koypake tatatata

(アトゥイヤウンクルは) 草の下端、草の上端を叩きに叩いて

イキ ロキネ ヒナク パキ タ

iki rok h_inine hinak paki ta

そうして、どこまででも

スイ アンヌキッポ アイモンタシパ

suy annukippo a=i=montaspa

また私がしたとおりに私に仕返した。

オロワノ オトゥ ル エトコ オレ ル エトコ アエワクワク アイネ

orowano otu ru etoko ore ru etoko a=ewakwak ayne

それから二つの太刀筋の先、三つの太刀筋の先を私が走りに走らせたあげく、

スイ アタメトコ セレコサヌ

suy a=tametoko serkosanu

また私の刀の前でズバツと音がした。

インカラナクス キムントウンクル アツ……

inkar=an akusu Kimuntounkur at...

見ると、キムントウンクルを

スイ トウプ ネ レプ ネ アオウサトウイエ イネ

suy tup ne rep ne a=ousatuye h_inine

また二つに三つに私が斬り散らして

イノトゥ オロケ アラパ フミ トウリミムセ

inotu orke arpa humi turimimse

(キムントウンクルの) 魂が (飛んで) 行く音が鳴り響いた。

アトウイヤウンクル シエトゥウイナ シパラウイナ エネ オカ イ

Atuyyaunkur sietuuyuna sipar'uyna ene oka h_i

アトウイヤウンクルは自分の鼻を押さえ、自分の口を押さえ（て驚き）、こう言った

「ソノノ ヘタプ イネ クスン シアスラシテ プ エネ プ ネ クス

“sonno hetap ine kusun siasuraste p e=ne p ne kusu

「本当に、なるほど、有名なものがお前なのだから

カムイ クシナム ネ シタサアシテ プ

kamuy kusnam ne sitasaaste p

神であっても仕返せるものが

ネイ タ オカイ ペ ネパ クス

ney ta okay pe ne p a kusu

どこにいるものか（?）

エネ エイキ シリ アナク クスン

ene e=iki siri anak kusun

このようにお前がすることに対して

タン ウタラパ タン ラメトク カ イキ ナムネ(?) カムイ クシナム ネ

tan utarpa tan rametok ka iki namne(?) kamuy kusnam ne

勇士であっても神であっても（?）

エペットウラシ ピナク タ アン ペ ネ ワ」

epetturasi p h_inak ta an pe ne wa”

かなうものがどこにいるものか」

セコロ ハウエアン コロ テムカ コンナ マッコサヌ

sekor hawean kor temka konna makkosanu

と言いながら、手元を閃くと

オロワノ トウ ル エトコ レ ル エトコ エワケワク

orowano tu ru etoko re ru etoko ewakewak

それから二つの太刀筋の先、三つの太刀筋が走りに走る。

イ…… テレケアン クニ シキルアン クニ エワケワク アナツキコロカ

i... terke=an kuni sikiru=an kuni ewakewak anakkikorka

私は跳ぶように、振り向くようにしていると、（刀は）走りに走るけれども

シ…… キラ カ アトランネ クス

si... kira ka a=toranne kusu

逃げるのも面倒なので

オラノ コント タムクル ポキ アオサノサン ノ

orano konto tamkur poki a=osanosan no

それから今度は、（アトウイヤウンクルの）刀の前に踊り出て

アノタウキカラ アウエンタウキカラ

a=no-tawkikar a=wen-tawkikar

私が激しく叩き斬り、ひどく叩き斬ると

アタムクル ポキ オサニタラ ア…… コロ

a=tamkur poki osanitara a... kor

私の太刀影の下に（アトウイヤウンクルが）出てきて

イノタウキカラ イウエンタウキカラ

i=no-tawkikar i=wen-tawkikar

私を激しく叩き斬り、私をひどく叩き斬り、

ユプケ スイエ プ ルイカ シンネ アコオテレケ

yupke suye p ruyka sinne a=kooterke

激しく振り回す刀は橋のように（弧を描き）、私が（その相手の刀を）踏みつけ、

アユプケスイエ プ ルイカ シンネ イコオテレケ コロ

a=yupke-suye p ruyka sinne i=kooterke kor

私が激しく振り回す刀は橋のように（弧を描き）、（相手はその私の刀を）踏みつけると

オロワノ アコン ロルンペ アエコトウイマシアリキキ イキアナイネ

orowano a=kor_ rorunpe a=ekotuymasiarikiki iki=an ayne

それから私たちの戦いは長い間奮闘したあげく

タネ アナクネ インカラニケ カムイ ラメトク イキ ヤッカイキ
tane anakne inkar=an h_ike kamuy rametok iki yakkayki
 今は見ると、神なる勇者ではあったが

オッシケオプ トウルセ サイ クンネ
ossikeop turse say kunne
 内臓が落ちて、弧のように

エシプ…… エピシカニケ クルン カネ
esip... episikanike kurun kane
 彼のまわりに漂って

アシヌマ カ オッシケオプ アエピシカニケ クルン カネ コロ
asinuma ka a=ossikeop a=episkanike kurun kane kor
 私も自分の内臓が私のまわりに漂って

オラノ ウコイキアナイネ
orano ukoyki=an ayne
 それからも戦ったあげく

アライケ カトゥ アトゥイパ カトゥ アエラムアン ペ
a=rayke katu a=tuypa katu a=eramuan pe
 殺した様子、斬った感じが感じられたものの

タサ タム クリ イアンヌ カム
tasa tam kuri i=annu kamu
 お返しの太刀影が私にかぶさり

ライ エ ネ ヤ モコレ ネ ヤ
ray h_e ne ya mokor h_e ne ya
 私は死んだのか、眠ったのか

アエコンラムシツネ カネ タナク カネ アイネ
a=ekonramusitne kane tanak kane ayne
 私の心は苦しくなって、気が遠くなったあげく

イキアン (?) コロ アコヤイシカルン アコヤイモソソ インカラナクス
iki=an(?) kor a=koyaysikarun a=koyaymososo inkar=an akusu
 そうなっていると (?) 意識を取り戻し、自力で起き上がって、見ると

エコイポクン マ エコイカウン マ ルンニ モム シリ シコパヤラ
ekoypokun w_a ekoykaun w_a runni mom siri sikopayar
 西から東から寄り木が流れる様子のように

ネア アトゥイヤウンクル オウサトゥイ ケウエヘ キ ヒネ
nea Atuyyaunkur ousatuy kewehe ki hine
 例のアトゥイヤウンクルが斬られた死体となって漂っていて、

オラウン アシヌマ アナク オプコラン カネ ワ (?)
oraun asinuma anak opkor=an kane wa(?)
 それから私のほうは槍を持って (?)

ルンニ モム シリ アシコパヤラ コロ アナン コロカ
runni mom siri a=sikopayar kor an=an korka
 寄り木が流れる様子のようにになっていたが

ヤイモイモイエ アアンヌクリ コロ アナン ラポク
yaymoymoye a=annukuri kor an=an rapok
 みずから動くこともひどく億劫でいるうちに

タパン カムイ マウ ネ ヒネ ウコタンブシコサヌ (?)
tapan kamuy maw ne hine ukotanpuskosanu(?)
 神風となって、破裂するような音がして (?)

カムイ エクム トウリミムセ
kamuy ek h_um turimimse
 神の来る音が鳴り響き

オロワノ アラキ フミ ホシキ ニシ トウ トイトイ ニシ レ トイトイ ニシ
orowano arki humi hoski nis tu toytoy nis re toytoy nis
 それから来る音は、先の雲は、二つの土の雲、三つの土の雲で

ヌムヌ アプト ヌムヌ カウカウ エラン

numnu apto numnu kawkaw eran

大粒の雨、大粒の霰が降り、

イヨシ ニシ ニソパラクルアッテ^[9] カネ コロ エカイネ

ios nis nisoparkur'atte kane kor ek ayne

後から来る雲は、雲が広がって来る。そうしているうちに

イカランケ エキネ

i=karanke ek h_ine

私の近くに来て

オラノ アプト ラン ネ(?) ウミ インカラナクス アイェ ロク クニ

orano apto ran ne(?) h_umi inkar=an akusu a=ye rok kuni

それから雨が落ちるような(?)音がして、見ると、(ここに来ていたのは)言うところの

なんたっけな?

(萱野：アイェ ロク クニ)

(萱野：a=ye rok kuni)

(萱野：いわゆる)

はい。

(萱野：なんだっけな?)

ふふ。ほんとに、あの。あの……何よ?

メコロ カムイ よ。ピカタ トノよ。

mekor kamuy よ。Pikata tonno よ。

寒気の神よ。ピカタトノだよ。

(萱野：うん、ピカタ トノ)

(萱野：うん、Pikata tonno)

(萱野：うん、ピカタトノ)

ピカタ トノ

Pikata tono

ピカタトノ

こっからよ。

(萱野：うん)

こっから、コント、こっからはもう、前に言ったんでないか。

こっから、konto、こっからはもう、前に言ったんでないか。

今度、ここから先はもう、前に言ったんでないか。

(萱野：いやあ、いい。言ってもいい。その続き、言ってみて)

はい。

(萱野：うん)

ピカタ トノ イエンカシケ エオラチッケ

Pikata tono i=enkasike eoracitke

ピカタトノが私の上にゆっくり下りてきて

ソモ ネプ イェ ノ オカ ロキネ エネ イタキ

somo nep ye no oka rok h_ine ene itak h_i

何も言わずにいたが、(やがて) こう言った

「インカラ クス イタカン チキ ポイヤウンペ カムイ ラメトク

“inkar kusu itak=an ciki Poyyaunpe kamuy rametok

「さあさあ、私が話すから (聞きなさい)、ポイヤウンペ、神なる勇士よ、

アエライケ ヤクン

a=e=rayke yakun

お前が殺されたら

タ ネノ エアン ワ アエトウイェ ヤクン アエライケ ヤクン

ta neno e=an wa a=e=tuye yakun a=e=rayke yakun

今、お前がそうして、斬られて殺されたら

カムイ オツ タ シアパプヤラ たか ネオライエ ワ
kamuy or_ ta siapapuyar TAKA neor a=ye wa
 神のところで非難だかを、どこかで言われて

アスル アシ カ ソモ キ クス アイェ コロ
asur as ka somo ki kusu a=ye kor
 (素晴らしい戦いだったという) 噂が立ちもしないので、私が言うのは

アラパアン ワ アエシクヌレ ワ ウコイキアン
arpa=an wa a=e=siknure wa ukoyki=an
 私が行ってお前を生き返らせて、戦って

ウラメトコロ ウワンテアナクネ オラ エコロ (?) クス ネ だか ヤク
urametok or uwante=an y_akne ora e=kor(?) kusu ne DAKA yak
 我々が互いの勇気比べだかをしたら

ウコイキアナク アエアスルアシ クス ネ ナ」
ukoyki=an y_ak a=easur'as kusu ne na”
 戦ったら有名になるだろうよ」

セコロ ハウエアン コロ イエシカリ コロカ
sekor hawean kor i=esikari korka
 と言うと、私をつかんだが

アンライ クニ プ カトウン クニ アホロカスイエ ネン モマン ヤッカ
anray kuni p katun kuni a=horkasuye nen mom=an yakka
 本当に死にそうなので、どのようにも流れたら

ヤイモイモイェ カ アアンヌクリ アオッシケオプ
yaymoymoye ka a=annukuri a=ossikeop
 自分の体を動かすのもおっくうで自分の内蔵が

アエピシカニケ クルンクルン ペ ネ クス キ コロ オラノ
a=episkanike kurunkurun pe ne kusu ki kor orano
 私の横に漂っているのです、そうして、それから

イネヒナクン イエキラ アイネ ヒナク タ パイエアン コロ
inehinak un i=ekira ayne hinak ta paye=an kor

(ピカタトノは) どこかへ私をさらって、どこかへ行くと

カムイ ヌプリ ヌプリ カ ワ ラッキ コンル エオラチッケ
kamuy nupuri nupuri ka wa ratki konru eoracitke

神の山の、山の上から垂れる氷が垂れ下がり

カムイ ニシ ヌプリ ヌプリ タプカ エシエタイェ
kamuy nis nupuri nupuri tapka esietaye

神の雲が、山の頂上に漂い(?)

ヌプリ カ タ カムイ カッ チャシ チシレアヌ
nupuri ka ta kamuy kar_ casi cisireanu

山の上に神造りの山城が建っている。

チセ カ ワ ラッキ コンル
cise ka wa ratki konru

家の上から垂れ下がる氷は

ヌプリ クルカ たか ほんに(?) チセ ソ カ エオラチッケ ヒネ
nupuri kurka TAKA HONNI(?) cise so ka eoracitke hine

山の上ではなく、本当に床の上にまで垂れ下がり

パイェアナイネ
paye=an ayne

私たちが行くうちに

ネ…… ネ…… アフパン イ…… イヤニ ヒネ アフニネ
ne... ne... ahup=an ie... i=ani hine ahun h_ine

私たちが入ると、私を抱えて(ピカタカムイが)入って

アペ エトク タ イエアヌ コロ インカラニケ
ape etok ta i=eanu kor inkar=an h_ike

上座に私が座らされて見ると、

イヤイノマレ ポン メノコ アン ナンコロ アエラミシカリ

iyaynomare pon menoko an nankor a=eramiskari

まあ立派な若い女が（これほどの女がほかに）いるのか、わからない（ような）

ポン メノコ チシレアヌ キ アクス

pon menoko cisireanu ki akusu

（美しい）若い女がいて、（ピカタノは）

「アコッ トウレシ インカラ クス イタカナクネ

“a=kor_ turesi inkar kusu itak=an y_akne

「わが妹よ、さあさあ、私が話すから

エシクヌレ ヤク エトウサレ ヤクネ シクヌ ワ ネ ヤク

e=siknure yak e=tusare yakne siknu wa ne yak

お前が（この男を）生き返らせ、お前が（この男を）治して生き返ったら

アシヌマ アナク ユク チコイキプ カムイ チコイキプ

asinuma anak yuk cikoykip kamuy cikoykip

私はシカでもクマでも

アコエキムネ ワ イワカン ナンコロ ヤクネ

a=koekimne wa iwak=an nankor yakne

（捕るために）山へ行って帰ってくるだろう。そうしたら

ネ カムイ チコイキプ アエレ ワ シクヌ トウモ ヤク

ne kamuy cikoykip a=ere wa siknu tumo yak

そのクマを食べさせて（彼が）生き返って力が出たなら

オラノ ウコイキアナクネ コント ウコイキアナクネ

orano ukoyki=an y_akne konto ukoyki=an y_akne

それから私たちが戦ったら、戦ったら

ウラメトクコロ ウワンテアナク アエアスルアシ クス ネ ナ。

urametok or uwante=an y_ak a=easur'as kusu ne na.

度胸比べをしたら私の名声は高まるだろうよ。

アコツ トウレシ シクヌレ ワ イコレ」

a=kor_ turesi siknure wa i=kore”

わが妹よ、（彼を）生き返らせておくれ」

セコロ ハウエアナクス

sekor hawean akusu

と（ピカタトノが）話すと

ネア メノコ ライ パシロタ ライ キマテク ハウエ エネ アニ

nea menoko ray pasrota ray kimatek hawe ene an h_i

その女はひどくののしり、ひどく驚いてこう言った。

「ア…… ウサイネ カ タプ アウエン コロ ユピ^o ホイヨ ハウエ ヤ？

“a... usayne ka tap a=wen kor yupi hoyyo hawe ya?

「なにしたことでしょう。馬鹿な兄さん、ふざけているの？

パウチ コロ アウエ アヤモクテ ナ。

pawci kor h_awe a=oyamokte na.

頭をおかしくさせる神がついているのかと思いますよ。

エネ アン クル（？） ポ^o ヘネ シピトネレ シカムイネレ プ ネ

ene an kur(?) po hene sipitonere sikamuynere p ne

この人は、なおいっそう、高慢で傲慢なものだ

ヤカイエ ワ アヌ ア ペ ネ（？） ヒナク ワ エネ アニ ネ コロ ワ エキネ

yak a=ye wa a=nu a pe ne(?) hinak wa ene an h_i ne kor wa ek h_ine

と言われて聞いている者なのに、どこからこのようなものを（？）持ってきて

エネ ハウエアニ アン？」

ene hawean h_i an?”

そのように言うのですか？」

セコロ ハウエアン コロ

sekor hawean kor

と言いながら、

オトウ シウエンパ オレ シウエンパ シロタツパ コロ

otu siwenpa ore siwenpa sirotatpa kor

二度もののしり、三度もののしり、悪口をぶちまけると

ネア イケカ

nea h_ikeka

例の（ピカタトノの）ほうは

「アコツ トウレシ ホクレ エシクヌレ ヤク エキムネアン マ

“a=kor_ turesi hokure e=siknure yak ekimne=an w_a

「わが妹よ、早く生き返らせたなら、私は山へ獵に行つて

ユク チコイキプ アライケ ヤクネ パロ アオイキ ワ

yuk cikoykip a=rayke yakne paro a=oyki wa

シカを殺して来るから、食べさせてやつて

トウサ ワ ネ ヤクネ ウラメトツコロ ウワンテアナク

tusa wa ne yakne urametokkor uwante=an y_ak

（こいつが）治つたら度胸試しをして力試しをしたら

アエヤイヤ…… アエアスルアシ ペ ネ ナ。ホクレ シクヌレ オラ」

aeyayya... a=easur’as pe ne na. hokure siknure ora”

私の名聲が立つものだよ。早く生き返らせなさい」

セコロ ハウエアン コロ イアヌ テク イヨタンネトウリ カネ

sekor hawean kor i=anu tek i=anneturi kane

ということを言うと、さつと私を置いて長々と寝そべらせて

アペ エトク タ キ イネ

ape etok ta ki h_ine

上座でそうして、

オラ チソイエカッタ ヒネ イサム アクス

ora cisoyekatta hine isam akusu

それから家を飛び出してしまった。

オラウン オカケ タ ポン メノコ ライパシロタ コロ
 oraun okake ta pon menoko raypasrota kor

すると、その後で若い女は、ひどくののしると

オラノ コント トゥ スイ ノフッセ レ スイ ノフッセ イイエシタイキ
 orano konto tu suy nohusse re suy nohusse i=esitayki

それから、今度は、2回の強い息吹、3回の強い息吹を私に吹きかけると、

アノカンカムノチ アルプネカムノチ
 a=nokankamnoci a=rupnekamnoci

私の小さい肉片、大きな肉片が

ヘサウオチウエ ヘマコチウエ
 hesaociwe hemakociwe

前に寄り、後ろに寄り

アエサンペケセ アエサンペパケ コシトゥリリ
 a=esampekesese a=esampepake kosituriri

私の心臓の下端、私の心臓の上端はのびのびとして

イネアプ クスン ア…… ア…… エサンピシシトゥリ フマサ カ
 ineap kusun a... a... esampesituri humas y_a ka

なんとまあ、心臓がのびのびと生き返る心地なのか、

アエラミシカリ コロ キ アイネ
 a=eramiskari kor ki ayne

わからないでいるうちに

アフシコカトゥ アテエタカトゥ イコカラカラ クス
 a=huskokatu a=teetakatu i=kokarkar kusu

私の昔の様子、私のかつての様子に（回復するまでに）手当をされたので、

オラウン ホプニアニネ モノアアナクス
 oraun hopuni=an h_ine monoa=an akusu

そして私は起き上がって静かに座ると

オラ ピリカ ポイ ス フライエカッタ (?)

ora pirka pon_ su hurayekatta(?)

それから、(女は)立派な小鍋を洗いに行き (?)

オトゥ ペ チリペ オレ ペ チリペ エカリレ

otu pe cirpe ore pe cirpe ekarire

二つの水のしたたり、三つの水のしたたりをしたたらせて水洗いして (?)

ピリカ メシ カSUP コキル ペラ コキル

pirka mesi kasup kokiru pera kokiru

素晴らしいごはんを杓子でかきませ、しゃもじでかきませ

カパラペ オッチケ カパラペ イタンキ アニ

kaparpe otcike kaparpe itanki ani

薄いお膳、薄い椀に

ポロ ソナピ イコプニ ヒケ

poro sonapi i=kopuni hike

大きな山盛りご飯を私に差し出したところ

イペ ポ マシキン イノイエ ノイネ ヤイヌアン ペ ネ クス

ipe po maskin i=noye noyne yaynu=an pe ne kusu

私は(これまでは)少しの食事もせずに、空腹すぎると思っていたから

オトゥ ソナピ オレ ソナピ アエ オケレ

otu sonapi ore sonapi a=e okere

二つの山盛りご飯、三つの山盛りご飯を私は食べ終えた。

パクノ ネコロ イオシ ソナピ ソナピ アラケ

pakno nekor ios sonapi sonapi arke

そうすると、次の山盛りご飯、山盛りご飯の半分を

ポン メノコ アコトゥリリ コロ イタカナウエ エネ オカ イ

pon menoko a=koturiri kor itak=an h_awe ene oka h_i

若い女に差し出しながら^[10]、私が言ったことはこのようだった。

「タップクス ヘ イクルカシケ オタサシケ プ ネ ナ。エ ワ イコレ」
 “tap kusu he i=kurkaske otasaske p ne na. e wa i=kore”
 「このためにか、辛酸をなめたものだよ(?)。食べてください」

セコロ ハウエアナン コロ アコトウリリ アクシ リシテクテキネ
 sekor hawean=an kor a=koturiri akus ristektek h_ine
 と私が言いながら差し出すと、(女は山盛りご飯を) 奪い取って

アペサムシ ペ エシタイキ
 apasam us pe esitayki
 (それを) 入口の柱に叩きつけて

「イトウイパ プイペ イロンヌ プイペ エ ケセケ アエ ルスイ ヘ キ ワ」
 “ituypa p uype ironnu p uype e keseke a=e rusuy he ki wa?”
 「人斬りの子孫、人殺しの子孫の食べ残しを私は食べたいものか？」

セコロ アウエアン コロ アパサムシ ペ エシタイキ ルウエ ネ ヒネ
 sekor h_awean kor apasamus pe esitayki ruwe ne hine
 と言いながら、戸の脇の柱に(山盛りご飯を) 叩きつけて、

コント オラノ ヒクス オラノ コント
 konto orano hikusu orano konto
 そうしたので、それから今度、

タパイ シノツチャ ラウンクチカムイノイエ
 APAN_ sinotca raunkucikamuynoye
 私は、歌を喉の奥を美しく震わせて

イカツカラ シノツチャ アイェ チキ
 ikatkar sinotca a=ye ciki
 恋歌を口にしたら

ア…… アラムコパシテク ウ…… ケセケ タ
 a... a=ramkopastek u... keseke ta
 私の刀の端に

サク チロンヌプ ルプネ ヒケ

sak cironnup rupne hike

夏狐の年老いたやつが

エトウフ クシ ペ パロホ クシ ペ ウタサ カネ ヤヨトウイマアヌアヌ

etuhu kus pe paroho kus pe utasa kane yayotuymaanuanu

鼻から出るものと口から出るものが交叉して、体をかがめている。

エムシ ニプ カ タ

emus nip ka ta

刀のさやの上に

ホロケウ カムイ ネ ワ ネ ヤッカ ヤヨトウイマアヌアヌ

horkew kamuy ne wa ne yakka yayotuymaanuanu

オオカミの神も、体をかがめて

エトウフ クシ ペ パロホ クシ ペ シンナ カネ

etuhu kus pe paroho kus pe sinna kane

鼻から出るものと口から出るものは別々（のかたまり）になっている。

カネ ポン カサ カサ ソ カ タ

kane pon kasa kasa so ka ta

金の小笠の上に

カネ ケソラプ ポン ケソラプ ラピラササ

kane kesorap pon kesorap rapirasasa

金の斑紋鳥、小さな斑紋鳥が羽を広げて

レコワ…… レカウ コンナ チャウロトツケ

rekowa... rek h_aw konna cawrototke

鳴く声は高く響き渡り

アタプストウ カ タ カネ ポン カッコク レカウ コンナ

a=tapsutu ka ta kane pon kakkok rek h_aw konna

私の肩の上で金の小さいカッコウが鳴く声は

シクヌ ピト ネ チャラ…… サラ タララパ

siknu pito ne cara... sar tararpa

生きている神のようで、尾羽を持ち上げて

チャ…… レカウ コンナ チャロトツケ コロ

ca... rek h_{aw} konna carototke kor

鳴く声が高く響き渡ると

オラノ イカツカラ シノツチャ アイェ コン

orano ikatkar sinotca a=ye kor_o

それから、私は恋歌を口にしながら

ネア ポン メノコ タプストゥ カシ アオレポレプ コロ オラノ

nea pon menoko tapsutu kasi a=oreporep kor orano

その若い女の肩の上をトントン叩きながら拍子を取ると、それから

「ヒンタ エコロ ユピ エヌプル ペ ヒンタ ネ ル アン?

“hinta e=kor yupi enupur pe hinta ne ru an?

「あなたの兄の霊力が本当に強いのは何によるのですか?

フンタ ネ ハワン?

hnta ne haw an?

何だという話ですか?

ア…… イエパカシヌ ワ イヌカレ ワ イコレ」

a... i=epakasnu wa i=nukare wa i=kore”

私に教えて、私に見せてくれ」

セコロ ハウエアナン コロ アヌ。イコパシロタ

sekor hawean=an kor a=nu. i=kopasrota

と私が言って聞いた。すると（彼女は）私をののしって

「ウェナイヌ ニツネ イ ポイヤウンペ ウェナイヌ ニツネ イ

“wen aynu nitne h_i Poyyaunpe wen aynu nitne h_i

「悪い人間の性悪め、ポイヤウンペ、悪い人間の性悪め、

ネイ タ アン ペ エネ ヒネ

ney ta an pe e=ne hine

どこにいるものがお前であって

エ…… ウタラパ エハヨク ペ ウタラパ コロ ペ ネイ タ オカ ヤ

e... utarpa ehayok pe utarpa kor pe ney ta oka ya

勇士の鎧、勇士の持ちものが、どこにあるのかを

ネプ メノコ エラムオカイ ペ ネ ワ エネ エハウエアニ アン？」

nep menoko eramuokay pe ne wa ene e=hawean h_i an?"

どんな女が知っていると思って、そんなことを言うんだ？」

セコロ ハウエアナッカ オラノ アイェ アイネ コロ ホプニ ヒケカ

sekor hawean y_akka orano a=ye ayne kor hopuni hikeka

と（女が）言っても、それから私に聞きただと、やがて（女は）立ち上がったが

オラスイ ヘトポ モノ ア ランケ アイネ ホプニ ヒネ アラパ アイネ

orasuy hetopo mono a ranke ayne hopuni hine arpa ayne

それから、また、元に戻って静かに座る。何度もそうしたあげく、立ち上がって行って

シナ スウオプ ランケ ヒネ

sina suwop ranke hine

縛られた箱を下ろして

カンプタハ チシナ アトゥ カ エトゥイエ カンプタハ エトゥルセレ

kanputaha cisina atu ka etuye kanputaha etursere

（箱の）上のふたを結んだ紐を切り落として、上のふたを外した。

オロワ カムイ ハヨクペ サンケ ルウエ

orowa kamuy hayokpe sanke ruwe

それから神の鎧を出すと、

ソレクス ワ カムイ ハヨクペ テク ネ アラパ チキン ネ アラパ

sorekusu wa kamuy hayokpe tek ne arpa cikir_ ne arpa

それこそ神の鎧は、手まで覆われ、足まで覆われ

ハヨクペ カワ カサ ソ カワ ラッキ エ…… コンル

hayokpe ka wa kasa so ka wa ratki e... konru

鎧の上から笠の上から垂れる氷が

カサ ソ タプスッカ エラチツケ カサ…… カネ アン コソソテ サンケ ヒネ

kasa so tapsutka eracitke kasa... kane an kosonte sanke hine

笠の上から肩に垂れ下がっている金の小袖を出して

「タパンペ タシ アコロ ユピ エ…… エハヨク ペ ネ ワ

“tapanpe tasi a=kor yupi e... ehayok pe ne wa

「これこそが私の兄の鎧であって

エヌプル ペ ネ ネク」

enupur pe ne nek”

このために巫力が強いのですよ」

セコロ ハウエアン コロ イコトウリリ ヒケカ

sekor hawean kor i=koturiri hikeka

ということを行いながら私に差し出したが

アイェ アイネ スイ ネヌ…… ネン ネン ハワナニネ サンケ ヒネ

a=ye ayne suy nenu... nen nen hawan=an h_ine sanke hine

また私がいろいろと言うと、（女は）出して

konto nea…… コロ オラノ ヒ…… ハ……

konto nea... kor orano hi... ha...

今度、持って（戻そうとするので）

「ナ ハンケノ エキ ヤク アヌカラ

“na hankeno e=ki yak a=nukar

「もっと近くに持ってきてくれたら、私にも見えるが、

アヌカル ウミ カ イサムミ アン？

a=nukar h_umi ka isam h_umi an?

（これでは）私には見えないではないか。

ナ ハンケノ タ エキ ヤクネ アヌカラ オカ」

na hankeno ta e=ki yakne a=nukar oka”

もっと近くにしてくれたら見えるのになあ」

セコロ ハウエアナン コロ テッカキポ アリコウイルケ アラオウイルケ コロ

sekor hawean=an kor tekkakipo a=rikouyruke a=raouyruke kor

と私が言いながら、手びさしを高く置き、低く置きすると

オラノ コント フムネ イコパシロタ コロ コロ ワ ホシピ ヒケカ

orano konto humne i=kopasrota kor kor wa hosipi hikeka

それから、今度は、ときどき私をののしりながら持って戻ったが

コロ ワ サン ランケ アイネ

kor wa san ranke ayne

持って外に出すうちに

イサム タ エキネ イコトゥリリ イクス アウイナ

i=sam ta ek h_ine i=koturiri h_i kusu a=uyna

私のそばに来て、私に差し出すので私は受け取り、

オラノ イヨクンヌレアン コロ アヌカラ ペコロ イキアナイネ

orano iokunnure=an kor a=nukar pekor iki=an ayne

それから驚きあきれて、（鎧を）じっと見るかのようにしたあげく

エネ アン メノコ セウリ ポキ アアシ…… テックシテ^[11]

ene an menoko sewri poki a=asi... tekkuste

例の女の喉の下を絞めて殺し

オピリ サク ケウエ アシリエカッタ

opir sak kewe a=sir'ekatta

傷がない(?) 死体を叩きつけて

マクイ ソウスツ アオランラリ イネ

makun_ sowsut a=oranrari h_ine

奥の隅に押し込んで

オラ カムイ ハヨクペ ハヨクペ カ…… アエハヨクペ カシ ワ
ora kamuy hayokpe hayokpe ka... a=ehayok pe kasi wa
 そして神の鎧を、私が身に着けているものの上から

アエハヨク カネ ヒネ ネ アナナクス
a=ehayok kane hine ne an=an akusu
 身に着けていると

ラポッケ アパ トウイカ タ ネア ピカタ トノ サ オライエ エネ オカ ヒ
rapokke apa tuyka ta nea Pikata tono sa oraye ene oka hi
 そのうちに入口のところに例のピカタトノが出て来てこう言った。

「イネクシネプン アコッ トウレシ イコパシロタ
“inekusnepun a=kor_ turesi i=kopasrota
 「なるほど、若いわが妹が私をののしったとおり、

ポカサンペ ネ ヤッカ キ ヤク エネ エイキ イ アン？」
pokasanpe ne yakka ki yak ene e=iki h_i an?”
 劣ったものであったから、このようにお前がしたのだな？」 (?)

セコロ ハウエアン コロ オラワノ コント ウコイキアナイネ
sekor hawean kor orawano konto ukoyki=an ayne
 と言うと、それから、今度は、我々は戦った。そうすると、

ネア ヌプリ ヌプリ ノシキ
nea nupuri nupuri noski
 例の山、山の真ん中が

アトウイ ソ クルカ コエハム…… エハムコサヌ (?)
atuy so kurka koeham... ehamkosanu(?)
 海の上にぶつかり (?)

アトウイ ソ カ ワ ヤオシマ
atuy so ka wa yaosma
 海の上から陸に飛び出し

ウェノレプンペ ウェノキムンペ

wen orepunpe wen okimunpe

ひどい海津波、ひどい山津波が

アイヌ モシリ モシリ ソ カシ チョヤンケカラ

aynu mosir mosir so kasi coyankekar

人間の国土に上陸し、

モシッ タプカシ チョヤンケカラ

mosir_ tapkasi coyankekar

国土に上陸し

オロワノ ネア アコイキ アイネ

orowano nea a=koyki ayne

それから、例のように(?) 私たちが戦ううちに

ネア ピカタ トノ アライケ ウェン ルイ コロカ

nea Pikata tono a=rayke wen ruy korka

例のピカタトノを私は殺して、ひどくしてやったけれど、

オラ ヤイモイモイエ アアンヌクリ ヒネ

ora yaymoymoye a=annukuri hine

それから、私は自分で動くこともひどく億劫になって

スイ アナナクス

suy an=an akusu

また(そうして)いると

オロ タ ネア ポン メノコ アライケ ペコロ ヤイヌアナク

oro ta nea pon menoko a=rayke pekor yaynu=an y_ak

そこに例の若い女が、私が殺したように思ったのに

イサム タ エキネ オラノ コント エネ イタキ

i=sam ta ek h_ine orano konto ene itak h_i

私のそばに来て、それから、今度このように言った。

「ネプ ウェン イタク アイェ カ ソモ ネ ア プ

“nep wen itak a=ye ka somo ne a p

「何の悪い言葉も私は言わなかったのに、

エネ カムイ ラメトク ライ ルウエ エネ アニ アン ヤクン

ene kamuy rametok ray ruwe ene an h_i an yakun

この神の勇士がこうして死にそうなのだったら

アエシクヌレ プ ネ ナ」

a=e=siknure p ne na”

私がお前を生き返らせるのだよ」

セコロ ハウエアン コロ オラノ コント

sekor hawan kor orano konto

と言うと、それから、今度は

トゥ スイ ノフッセ レ スイ ノフッセ イエシタイキ アイネ

tu suy nohusse re suy nohusse i=esitayki ayne

2回の強い息吹、3回の強い息吹を私に吹きつけるうちに

シクヌアン クニ トウサアン クニ

siknu=an kuni tusa=an kuni

私は生き返るまでに、治るまでに

イイエパレ ヤイヌアン ウミ エネ オカ イ

i=epare yaynu=an h_umi ene oka h_i

いたったように思ったのはこのようだ。

「ウェン メノコ シルン メノコ

“wen menoko sirun menoko

「悪い女、いやしい女が

エネ イコソモクルヤイカタヌ イタク ネ ヤッカ

ene i=kosomokuryaykatanu itak ne yakka

こうして、私に対して無礼なことを話し、

イタク シンナイサム (?) イタク ウェニケ

itak sinnaysam(?) itak wen h_ike

話の嫌なもの、話の悪いものを

イエコッ…… イコスイエ ア プ エネ ハウエアニ アン？」

iekot... i=kosuye a p ene hawean h_i an?”

私に浴びせて、ああ言ったのか」

セコロ ヤイヌアン クス コント ユプケ タムクル アエテレケレ

sekor yaynu=an kusu konto yupke tamkur a=eterkere

と私は思ったので今度は、強い太刀影を（女に）飛ばして

オロワノ トウ ル エトコ レ ル エトコ アエワクワク ヤッカ

orowano tu ru etoko re ru etoko a=ewakwak yakka

二つの太刀筋の先、三つの太刀筋の先を走りに走らせた

テレケ カ タ ホプニ カ タ

terke ka ta hopuni ka ta

（女は）跳びながら、飛びながら

「ネプ ウエイ サンペ ネプ ウエン ケウトウム アコロ ワ イキアニネ ワ

“nep wen_ sampe nep wen kewtum a=kor wa iki=an h_ine wa

「なんの悪い心、なんの悪い気持ちを私が持っていると思って

エネ カムイ ラメトク イキ」

ene kamuy rametok iki”

神の勇者はこうするの？」

セコロ ハウエアナッカ ケセアンパ イネ

sekor hawean y_akka kesianpa h_ine

と（女が）言っても追いかけて

「ライコパンペ トイコパンペ アネ ヘ キ ヤ

“raykohanpe toykohanpe a=ne he ki ya

「死ぬほど嫌なもの、ひどく嫌なものが私なのですか。

カムイ ラメトク ムテムシ アイトゥリ ヤク
kamuy rametok mut emus a=i=turi yak
 神の勇士が佩いている刀を私に伸ばされるのなら

ラヨロロ ワ カ アエコトムカ (?) ワ」
ray or orowa ka a=ekotomka(?) wa”
 死んでもいいですよ (?)」

セコロ ハウエアン コロ
sekor hawean kor
 と (女が) 話すと

ラッチ アプカシ エヤイケフマシエワケワク (?)
ratci apkas eyaykehumas-ewakewak(?)
 ゆっくり歩いてXXX

ヤイレンカネ トupp ネ レp ネ アオウサトウイエ
yayrenkane tup ne rep ne a=ousatuye
 喜んで二つに三つに私が斬り散らすと

イノトゥ オロケ アラパ フミ トゥリミムセ ケウロトツケ コロ
inotu orke arpa humi turimimse kewrototke kor
 魂が (飛んで) 行く音が鳴り響き、鳴り轟くと

オラ コント オロワノ ヤナヌミ アエキサラストウマウクルル セコロ。
ora konto orowano yan=an h_umi a=ekisarsutumawkururu sekor.
 そして、今度、それから私が陸に向かう音は耳元でビュービュー鳴った。と。

(萱野：ふうん。どうもありがとう)

【注】

- [1] シッカヌはシクヌ siknu の言い間違い。
- [2] コラピラサ korapirasa は ko- 「～に対して」 ra 「(鳥の) 羽」 pirasa 「～を広げる」。
- [3] コラタララ koratarara は ko- 「～に対して」 ra 「(鳥の) 羽」 tarara 「～を高く持ち上げている」。

- [4] この直前に咳き込んでいるので、言い直している。
- [5] 通常、こうした表現のあとには a=ekeskekar 「私が殺しつくした」などの動詞がくることが多いが、ここではそれにあたる表現は言われていない。
- [6] Disk22 トラック 8 の解説によると、tametoko serkosanu は「殺して死んで」しまう様子。
- [7] a=tapsutu 「私の肩を」 a=raekatta 「ぐっと下に下げる」ということで、力を込めて刀を切り下げることを言うか？
- [8] この部分はアエラリレ a=erarire の言い間違い。
- [9] Disk22 トラック 8 の解説によると、nisopar'kuratte は「あとさ、天気になってくる」「さきにくもってくる」ということ。
- [10] 山盛り飯の半分だけを男が食べ、もう半分を女に差し出すのは結婚の申し込みを意味する。
- [11] アアシ…… テックシテは a=tekkuste か。Disk22 トラック 8 の解説によると sewri poki a=tekkuspare で「絞め殺すこと」。

22-8 ルパイエユカラで出てくる言葉について質問

語り手：黒川てしめ

聞き手：萱野茂

萱野：nisoparakur atte kane ちゅーのはどうゆうことを言うの、これ。

黒川：nisoparakur? nisoparakur atte は、あとさ天気なってくるのよ。あとさ天気なって先の雲が sorekusu [それこそ] 天の上から雲、しっとく [ひどく] 来れば、雨降って、しっとく雨降って、a... apto as h_um car... catta... carototke ったら sorekusu ran h_um konna turimimse kor ってあとさ konto [今度] 天気なるから nisoparakur atte って言うの。あと天気なって、先に曇ってその神様来るのが……

萱野：そしたらこれは nisoparakur atte kane と言ったらね、おれら聞くんならさ、その雲の nisoparakur atte kane、雲の端がこう広がっているというふう聞こえるけれども、したら、雲の後ろへ……

黒川：あとさ天気なってくるの。

萱野：あー、あとさ。

黒川：nisoparakur atte ってゆうのは nisoparakur atte ってゆうのは天気なってあとさ来る。先の nis、雲はしっとく [ひどく] 来るからそれでそうなる。

萱野：nisoparakur atte kane あとさ天気になるということだ。

黒川：うん、そうよ。それ……

萱野：後で晴れるということだな。

黒川：あと晴れてきて先に曇ってくるの。

萱野： sewri poki a=tekkuspare

黒川： sewri poki a=tekkuspare ってゆうのは、その生きているものその sewri poki てったら。

萱野： 首絞めることだな。手でな？

黒川： 首絞めることだべ？ sewri poki askekuste って言ったら。

萱野： sewri... うん。

黒川： して、 opirsak kewe sir'ekatta [傷のない死体を地面に叩きつけて]。

萱野： sewri poki a=tekkuspare、指で絞め殺すことだな？

黒川： そうよ。絞め殺すことゆうのよ。しる [する] から、そう言う。

萱野： それからね。 awakina koypok というのはどうゆうことだ？ awakina ってどうゆうこと？

黒川： awakina kina koykes kina koypake a=tatatata って言うのか？ その草しっとい草あるとこ、草の下からくぐって、あんまりぼわれて [追われて]、くぐっ……せちないば [切なければ、困ったら]、その下くぐって、あせだら kina koykese tatatata humpa humpa iruokake iruetoko tamkuspare って言うのは、その草の下から逃げるから草のこと、awakina って言った。

萱野： そうか。普通の草のことだな。したら、 awakina というのは？

黒川： その草しっとい草の下くぐって逃げれば、あと何、 sir.. sirkorkamuy って言うのは枝 wa...

萱野： うんうん、わかった。 a=tametoko serkosanu, serkosanu [私の刀の前でズバッと音がした]。

黒川： serkosanu って言うのは殺したから、

萱野：ずしんと落ちたとか？

黒川：殺して死んで、**serkosanu, inkar=an akusu, a=tapsutu a=raekatta, aoma sir koramamatki, seturu kasike a=yayrarire tup ne rep ne a=usatuye**
〔ズバツと音がして見ると、私の肩をぐっと押し下げ（刀を切り下げて）、彼はよろよろとしている。私はその背中を押さえて二つ三つに切った〕
したっていうこと。

萱野：**a=tametoko serkosanu** と言う。

黒川：**serkosanu** って言うのは **a=tametoko serekosanu** は、もう、かっちて
〔かっちやいて（？）〕殺して、殺しに、そして切ったものまた生きて逃
げて、後ぼう〔追う〕っていうこと。

萱野：あー、なるほどな。

23-1 テープ内容説明

語り手：黒川てしめ

解説：萱野茂

(マイクの雑音)

萱野：昭和 44 年、4 月です。

黒川：ん。

萱野：荷負本村へ来ております。テープ番号 23 号、録音者萱野茂です。それでは、あの、黒川てしめさんから、いろいろお話をうかがいます。

(マイクの雑音)

23-3 カムイユカラ

「ヌプリ コロ カムイポホ (ヘイノ)」

山を持つ神の息子

語り：黒川てしめ

サケヘ V=ヘイノ
heino

V イレス アイネ (?) [1] 私は育てられて
V i=resu ayne(?)

V イパンコツ トット 私の母は
V ip an=kor_ totto

V イレス キワ 私を育てて
V i=resu ki wa

V オカアン ヒケ 暮らして
V oka=an hike

V タネ アナクネ 今は
V tane anakne

V アイアラパレ クシ 私を行かせるため (の 때가 (?))
V a=i=arpare kus

V ウ ハンケハンケ 近づいてくる
V u hankehanke

V ウ タンペ クス このために
V u tanpe kusu

V アイアラパレ クシ	私を行かせるために
V a=i=arpare kus	
V サケカラン コロ	酒をつくりながら
V sakekar=an kor	
V ウ シラニネ	いる様子であって
V u siran h_ine	
V ソヤイオマレ	私は外に出され
V soy a=i=omare	
V エヌネ キ (?) イネ ^[3]	そうして
V enune ki(?) h_ine	
V ソイエネアン ヒケ	外へ出ると
V soyene=an hike	
V イパンコロ アイヌ	私の父が
V ip an=kor aynu	
V エカム…… オ…… イナウル	冠りもので
V ekam... o... inawru	
V エチパクルカ ^[4]	頭の上を
V ecipakurka-	
V ラリレ カネ	押さえつけて
V rarire kane	
V イパンコロ トット	私の母は
V ip an=kor tutto	
V トウ ペケンヌペ	二しずくも
V tu pekennupe	

V レ ペケンヌペ	三しずくも
V re pekennupe	
V ヤイコランケ	涙を流した
V yaykoranke	
V ウ キ コロカ	けれども
V u ki korka	
V イパンコツ トット	私の母は
V ip an=kor_ totto	
V オトウ タプカンル	2回も舞を
V otu tapkanru	
V オレ タプカンル	3回も舞を
V ore tapkanru	
V ウエ……… ウカクシテ	何度もくり返して
V ue... ukakuste	
V オカアン アクス	いると
V oka=an akusu	
V ウ アコラ アイヌ	私の父は
V u a=kor a aynu	
V イナウチパ オツ タ	外の祭壇で
V inawcipa or_ ta	
V チトウイエ イナウ	枝を切っただけの木幣
V cituye inaw	
V チトウイエ クワ	枝を切っただけの杖を
V cituye kuwa	

V ウ アンパ カネ	持って
V u anpa kane	
V オルイペネ エムシ	刀身だけの刃を
V oruypene emus	
V ウ アンパ カネ	持って
V u anpa kane	
V オトゥ タプカンル	2回も舞を
V otu tapkanru	
V オレ タプカンル	3回も舞を
V ore tapkanru	
V ウカクシテ	何度もくり返して
V ukakuste	
V オカ ロク ヒネ	いて
V oka rok hine	
V エネ イタク ヒ	このように言った
V ene itak hi	
V 「タパン テワノ	「今から
V “tapan tewano	
V ウ ペッ トウラシ	川に沿って上流へ
V u pet turasi	
V エアラパ ヤクネ	行ったら
V e=arpa yakne	
V ウ チュプカ ワ クシ ペッ	東から通る川 ⁵⁾
V u cupka wa kus pet	

V ウ ペツ トウラシ V u pet turasi	川をさかのぼって
V エアラパ ヤクネ V e=arpa yakne	行ったら
V トウ ペツ ネ ペツ アン V tu pet ne pet an	二股の川がある
V ウ ペツ トウラシ V u pet turasi	川をさかのぼって
V エアラパ ヤクネ V e=arpa yakne	行ったら
V カムイ シクマ V kamuy sikuma	神の峰が
V ウ アン ナンコロ ワ V u an nankor wa	あるであろうよ。
V オロ タ エアラパ V oro ta e=arpa	そこに行き
V ウ キワ ネ ヤク V u ki wa ne yak	そうしたら
V ウ シトウ カタ V u situ kata	尾根の上に
V エヘメス ヤク V e=hemesu yak	お前が登ったら
V ウ カネ チセ V u kane cise	金の家

V ポロ チセ アン	大きい家がある
V poro cise an	
V オロ タ エアフン	そこに入ると
V oro ta e=ahun	
V キワ ネ ヤクネ	そうしたら
V ki wa ne yakne	
V カムイ エオナ	神の父
V kamuy e=ona	
V カムイ エウヌ	神の母が
V kamuy e=unu	
V ウ アン ナンコン ナ	いるだろうよ。
V u an nankor_ na	
V アエコプンテク ナ	お前は喜ばれるよ。
V a=e=kopuntek na	
V オルイペネ エムシ	刀身だけの刀で
V oruypene emus	
V エエニタウキタウキ ^[6]	お前は木を切り切り
V e=enitawkitawki	
V ウ タパン イナウ	この木幣
V u tapan inaw	
V キケパラセイナウ	削りかけを散らしてある木幣で
V kikeparseinaw	
V エエニキツキク	お前は木を叩き叩き
V e=enikikkik	

V キケヘ エトウイパ V kikehe e=tuypa	削りかけの木幣を切り
V ウ ⁷ キ コロ エアラパ V u ki kor e=arpa	ながら行き
V ウ キ ワ ネ ヤク V u ki wa ne yak	そうしたなら
V アエコプンテク ナ」 V a=e=kopuntek na”	お前は喜ばれるよ」
V ハウエアン キ コロ V hawean ki kor	言いながら
V イコレ ヒ クス V i=kore hi kusu	私に与えたので
V アラパアン オラノ V arpa=an orano	私は言われたように行き、それから
V アラパ トウイカ タ V arpa tuyka ta	行く途中で
V ウ アコロ イナウ V u a=kor inaw	私が持つ木幣で
V アネニキツキク V an=enikikkik	木を叩き叩き
V アネ…… アコロ エムシ V ane... a=kor emus	刀で
V アネニタウキタウキ V an=enitawkitawki	木を切り切り

V アラパアナ アイネ	行くと
V arpa=an a ayne	
V カムイ シクマ	神の峰に
V kamuy sikuma	
V トウ ペツ ネ ペツ アン	二股になった川があり
V tu pet ne pet an	
V トウ ペツ ウトウル カリ	二股の間から
V tu pet utur kari	
V ヘメスアン アイネ	登り、しばらくして
V hemesu=an ayne	
V カム…… シトウ カ タ	尾根の上へ
V kamu... situ ka ta	
V ヘメスアン アクス	登ると
V hemesu=an akusu	
V イヤイヌマレ	それは立派な
V iyaynumare	
V カムイ カネ チセ	神なる金の家
V kamuy kane cise	
V ポロ チセ アン	大きい家があり
V poro cise an	
V オロ タ ネシ	そこに
V oro ta nesi	
V アフプアナクス	入ると
V ahup=an akusu	

V カムイ オンネクル V kamuy onnekur	神のおじいさん
V カムイ ルプネマツ V kamuy rupnemat	神のおばあさん
V オカ ルウエ ネ V oka ruwe ne	がいる
V アフンアナクス V ahun=an akusu	入ると
V カムイ ル…… オンネクル V kamuy ru... onnekur	神のおじいさんが
V ウ シアペパスイ V u siapepasuy	太い火箸を
V ウ テクサイカレ V u teksaykare	さっと取り
V アパ トウイカ ウン V apa tuyka un	入口の上まで
V ウ コチョラウキ V u kocorawki	攻めてきて
V イトイコキツキク V i=toykokikkik	私をひどく殴り
V カムイ ルプネマツ V kamuy rupnemat	神のおばあさんが
V シアペケシ V siapekes	太い燃えさしを

V ウ テクサイカレ V u teksaykare	さっと取り
V イトイコキッキク V i=toykokikkik	私をひどく殴り
V ウ トウイカシケ V u tuykasike	ながら
V イタクオマレ V itako'mare	話したのは
V エネ オカ ヒ V ene oka hi	このようだ。
V 「エネ エイキ クシ V "ene e=iki kus	「こうするために
V ウ アイヌ オツ タ V u aynu or_ ta	人間のところに
V アエカシヌカリ V a=ekasnukar h_i	神から授かったこと
V ウ ネ ワ ヘタプ V u ne wa hetap	であろうか。
V ネプ エカラ クシ V nep e=kar kus	お前は何のために
V ソイエネ トウイカ タ V soyene tuyka ta	外へ出たときに
V アイヌ オックイボ V aynu okkaypo	人間の若者を

V シネペライケ V sinep e=rayke	一人殺したのか。
V ウ ネワアンペ V u newaanpe	そのことが
V ウ フチ アペ V u huci ape	火の神
V ウ オロ ワノ V u oro wano	のところから
V エエク ワ ネ チキ V e=ek wa ne ciki	来たのだから
V ウ アッテイネシリ V u atteynesir	非常に湿った国土
V ウ アラウエン モシリ V u arwen mosir	非常に悪い国土
V アエコオテレケ V a=e=kooterke	にお前は踏み落とされ
V ウ キ ヤク ピリカ」 V u ki yak pirka”	たら良い」
V セコロ オカイペ V sekor okaype	という
V トウ ソンコ イキリ V tu sonko ikir	二つの伝言の束
V レ ソン(コ) イキリ V re son(ko) ikir	三つの伝言の束を

V アルカラリ [8]	重ね重ね
V arukarari	
V キルイネペ	ひどくそうしたが
V ki ruy ne pe	
V 「ウ アイヌ アナク	「人間は
V “u aynu anak	
V ウライキキコロ	死んで
V u ray ki ki kor	
V チトウイェイナウ	枝を切っただけの木幣と
V cituye inaw	
V オルイペネエムシ	刀身だけの刀を
V oruypene emus	
V アコロパレワ	与えられて
V a=korpora wa	
V ライペネヒケ	死ぬものだが
V ray pe ne hike	
V ヘマンタネクシ	いったいなんで
V hemanta ne kus	
V アイヌチョスラ	人間に捨てられて
V aynu cosura	
V アエカラカラワ	しまって
V a=ekarkar wa	
V エエクルウエネ	お前はここに送られて来たのだ。
V e=ek ruwe ne	

V エネ アエトムテ クニ V ene a=e=tomte kuni	このようにお前が飾られ
V エネ アエカラ クニ V ene a=e=kar kuni	このようにお前がされるように (?)
V ウネノ カネ V uneno kane	同様にして
V アエトムテ キワ V a=e=tomte ki wa	お前が飾られて
V アイヌ ネ ヒケ V aynu ne hike	人間であるものも
V ウ シンリッ オルン V u sinrit or un	先祖のところ
V ウ アラパ…… エコホピ ノ V u arpa... ekohopi no	と別れて (先祖のところへは行けず)
ヘマンタ ネ プ hemanta ne p	化け物になったものを
V エネ オカワ V ene oka wa	このようにして
V エコロ ワ エエク V e=kor wa e=ek	お前は持って来た
V キ シリ オカ」 V ki siri oka”	のか？」
V セコロ イタク コロ V sekor itak kor	と、言いながら

V イトイコキツキク V i=toykokikkik	私をひどく殴り
V インカラアナクス V inkar=an akusu	見ると
V ウ ソンノ ポカ V u sonno poka	本当に、言われたとおり
V ウ ネ ロコカ V u ne rokoka	だったのだなあ。
V ソイエネ トウイカ タ V soyene tuyka ta	外へ出たときに
V オロヤチキ V oroyaciki	気がついてみると
V ケナシ ウナラペ V kenas unarpe	野原の化け物おばさんが
V イテクサム オロケ V i=teksam orke	私のそばで
V ウ エウンエウン V u eun-eun	うろうろしていた。
V 「イテキ イネノ V "iteki i=nenno	「決して私のようにするな
V ウ エイキ ヤクネ V u e=iki yakne	お前がそうしたら
V アリペクンネ アニ V aripekunne ani	小刀でもって

- V アエチャチャチャチャ お前を引き切って
V a=e=cacacaca
- V アエウエンパカシヌ (?) [9] クス ネ」 罰してやるぞ」
V a=e=wenpakasnu(?) kusu ne”
- V セコロ ハワシ ナ と、声がする
V sekor hawas na
- V ケナシ ウナラペ 野原の化け物おばさんが
V kenas unarpe
- V イイエ ルウエ ネ 私に言ったのだが
V i=ye ruwe ne
- V ケナシ ウナラペ 野原の化け物おばさん
V kenas unarpe
- V アシタイキ ペ を叩くと
V a=sitayki pe
- V ネ イ オロ タ そこに
V ne h_i oro ta
- V アイヌ オッカイボ 人間の若者を
V aynu okkaypo
- V コトウクテ キ(?) くっつけていた (?)
V kotukte ki
- V アイヌ オッカイボ 人間の若者と
V aynu okkaypo
- V ケナシ ウナラペ 野原の化け物おばさんを
V kenas unarpe

V アライケ フミ V a=rayke humi	私が殺した感じで
V ウ ネ キ クナク V u ne ki kunak	あったと
V アエラム クス V a=eram kusu	思うので
V ウ エカン カトウ V u ek=an katu	私がここに送られて来たの
V ウ ネ ロコカ V u ne rokoka	だったなあと
V ウ チサン キ コロ V u cis=an ki kor	泣きながら
V ソイエネアン ワ V soyene=an wa	外へ出て
V ウ エカン キ ワ V u ek=an ki wa	来て
V ケナシ ウナラペ V kenas unarpe	野原の化け物おばさんを
V ウ アッテイネシリ V u atteynesiri	非常に湿った国土
V ウ アラウエン モシリ V u arwen mosir	非常に悪い国土
V アコオテレケ V a=kooterke	に私は踏み落と

V キルウエ ネ コロカ V ki ruwe ne korka	したけれど
V ウ イペ ハット V u ipe hatto	食べることを禁じられ
(ここから散文)	
V ワッカ ク ハット アイコキ ヒネ ^[10] V wakka ku hatto a=i=koki hine	水を飲むことを禁じられ
オロワノ ワッカ ク…… ワッカ カ orowano wakka ku... wakka ka	それから水も
アク カ ソモ a=ku ka somo	飲みもしない
イペ カ ソモ ipe ka somo	食べもしない
アキ ノ a=ki no	でいて
チサン コロ ケメカラアン (?) cis=an kor kemekar=an(?)	泣きながら餓死して (?)
アラウエンカムイ arwenkamuy	極悪神 (である)
ケナシ ウナラペ kenas unarpe	野原の化け物おばさんを
アッテイネシリ atteynesiri	非常に湿った国土
アコオテレケ a=kooterke	に踏み落とした

ルウエ ネ コロカ ruwe ne korka	けれども
キワ ki wa	して
アテケヘ カ カルシ ネ オカ (?) a=tekehe ka karus ne oka(?)	私の手もキノコになって (?)
アケマハ カ カルシ ネ オカ (?) a=kemaha ka karus ne oka(?)	私の足もキノコになって (?)
タネ アナクネ tane anakne	今は
ソモ イペ ノ ネノ somo ipe no neno	食事もしないで、そのまま
イキアナイネ iki=an ayne	そうしているうちに
ライ ネ ヤッカ ray ne yakka	死んでも
ライ シンナイサム ray sinnaysam	ひどい死にざまを
アキ クシ ネ クシ a=ki kus ne kus	とげることになるだろうから
タネ オカ カムイ tane oka kamuy	今いる神様は
イテキ ネノ iteki neno	そんなことを

イキパ ヤク ピリカ セコロ するのではないと
 ikipa yak pirka sekor

ヌプリ コロ カムイ ポホ 山を持つ神の息子が
 nupuri kor kamuy poho

ハウエアン コロ イサムしたと いいながら死んだんだと
 hawean kor isam. SITATO

(萱野：ほー、珍しいカムイユカラ)

(萱野：ほー、珍しい kamuyyukar)

(萱野：ほー、珍しい神謡)

ほんとに、どこにあるもん

タネ アナクネ イサンペ 今はいないものが
 tane anakne isampe

ケナシ ウナラペ 野原にいるおばさんという
 kenas unarpe

アラウエンカムイ ネワ クス 極悪神であるので
 arwenkamuy newa kusu

エネ ハワシ このような話を
 ene hawas h_i

ネ ハウエ ネ ハウエ 聞いた
 ne hawe ne hawe

【注】

[1] 音はアヌ のように聞こえるが、アイネ ayne か。

[2] 主人公は人間に育てられている熊であるため、ここでの「母」は人間の母。

[3] 音はエヌネイネ のように聞こえるが、enune ki の k の音が弱まったものか。

[4] e-「～でもって」 ci-「自ら」 pa「頭」 kurka「の上」 rari「～を押さえつける」

-re 「～させる」か。ここでは、父親が冠りものをかぶったということ。

- [5] ここでは、「二股になっている」の後に言うべきフレーズを先に言ってしまったもので、川に沿って上流に進んでいくと二股になっている支流があるので、そのうちの東のほうを流れている川に沿ってさらに上流に行けという指示か。
- [6] e- 「～でもって」 ni 「木」 tawkitawki 「～を何回も叩いて切りつける」
- [7] ヌ nu のように聞こえるが、虚辞のウ u か。
- [8] 『久保寺辞典稿』に「arukarapa 重ね重ね来る =arukarari」(P29) とある。
- [9] 音はウェンパカイヌ wengkapaynu のように聞こえるがウェンパカシヌ wengkapasnu か。
- [10] 『千歳方言辞典』の hatto の項に「nepki hatto/a=koki hawe? 仕事をしちやいけな
いって言うのか」(P322) という例文があることを参考にした。

23-4 カムイユカラ

「ポロシルン カムイ トウレシ イレス (ヘイノ)」

ポロシリポの神様の妹が私を育てた

語り：黒川てしめ

サケヘ V=ヘイノ
heino

V ポロシルン カムイ ポロシリポの神様
V Porosirun kamuy

V ウ コッ トウレシ の妹は
V u kor_ turesi

V イレス キワ 私を育てて
V i=resu ki wa

V タネ タ パクノ 今まで
V tane ta pakno

V オカアニケ 暮らしていて、
V oka=an h_ike

V シネ アン ペ タ あるとき
V sine an pe ta

V イレス サポ 育ての姉が
V i=resu sapo

V 「イタカン チキ 「私が話をするから
V "itak=an ciki

V アアクトノケ V a=aktonoke	わが弟君よ、
V ウオンネレ ヤン。 V uonnere yan.	よく聞きなさい。
V ポロシルン カムイ V Porosirun kamuy	ポロシリ <small>の</small> 神様
V ウ コッ トウレシ V u kor_ turesi	の妹が
V イパンネ イネ V ip an=ne h_ine	私であって
V アイレス…… エレス クニプ V a=i=resu... e=resu kunip	お前を育てるべきものを
V アフナラ ヤッカ V a=hunara yakka	探しても
V イサム ルウエ ネ V isam ruwe ne	いなかったのだ
V パクノ エアシリ V pakno easir	これほど本当に
V イオマプ クニ プ V iomap kuni p	(子どもを) 可愛がるものは
V イサム キ クニ プ V isam ki kuni p	いないものが
V アネ プ ネ クス V a=ne p ne kusu	私なので

V オ…… アエレス ヤク ピリカ V o... a=e=resu yak pirka	私があなを育てればいい
V ウ ハワシ クス V u hawas kusu	と言うので
V アエレス キワ V a=e=resu ki wa	私があなを育てて
V タネ タ パクノ V tane ta pakno	今まで
V ウ アナン コロカ V u an=an korka	いたけれど
V タネ アナクネ V tane anakne	今は
V イパコロ ユピ V ip a=kor yupi	私の兄を
V アエシカルン クシ V a=esikarun kus	思い出すので
V シネン ネ エアン ワ V sinen ne e=an wa	あなたは一人でいて (ください)
V エカン クシ ネ ナ (?)」 V ek=an kus ne na(?)”	私は (すぐに) 戻って来ますよ」
V セコロ イタク コロ V sekor itak kor	と、言いながら
V イホッパ…… 「アラパアン クス ネ ワ V i=hoppa... “arpa=an kusu ne wa	「(残して) 行くのは

V ウエン ルウエ アン V wen ruwe an	悪いけど
V ヤイ…… アラ ウクラン V yay... ar ukuran	一晩
V シネ アンチカラ V sine ancikar	一晩だけ
V アラパアン ペ ネ ナ V arpa=an pe ne na	私は行くのだよ
V スケアン キ ワ V suke=an ki wa	私は料理をして
V アホッパ キ ワ V a=hoppa ki wa	残して行って
V タネ ニサッ タ V tane nisat ta	ちょうど夜明けに (?)
V エカン ペ ネ ナ」 V ek=an pe ne na”	私は戻って来るよ。」
ノ ^[1] セコロ イタク コロ NO sekor itak kor	と、言う
V チソイエカッタ V cisoyekatta	飛出し
V イサム ル…… ルウエ ネ V isam ru... ruwe ne	いなくなった。
V ペ シンネ ヒケ V pe sinne hike	そのようだったが

V ウ イン(カ)ラン アクス V u in(ka)r=an akusu	見ると
V タパン ホトウイエ V tapan hotuye	この叫び声
V ウ ルイ ホトウイエ V u ruy hotuye	ひどい叫び声を
V ウカクシパレ V ukakuspare	何度もくり返し
V ウ アラキ ハウエ V u arki hawe	来る様子は
V エネ オカ ヒ V ene oka hi	このようである
V 「コニンカラ クス」 V “koninkar kusu”	「よく聞いてください」
V タパン ホトウイエ V tapan hotuye	このように叫び声をあげ
V ウ エク フム コンナ V u ek hum konna	来る音が
V コクルラッキ V kokururatki	響きわたり
V エネ イタク ヒ V ene itak hi	このように言った
V 「イタカン チキ V “itak=an ciki	「私が話すから

V アレシパ ピト V a=respa pito	私が育てた神よ
V アレシパ カムイ V a=respa kamuy	私が育てたカムイよ
V イタカン チキ V itak=an ciki	私が話すから
V ウオンネレ ヤン V uonnere yan	よく聞きなさい
V エネ オカ ヒ V ene oka hi	こういうことなのです
V ポロ ニツネ カムイ V poro nitne kamuy	大きい悪神が
V タナイヌ モシリ V tan aynu mosir	この人間の国を
V ウ ウエンテ クス V u wente kusu	荒らすために
V ウ シサム モシリ V u sisam mosir	和人の国
V オケマラチチ V okemaracici	に足をだらんとぶらさげ
V ウ アイヌ モシリ V u aynu mosir	人間の国
V オテクラチチ V otekracici	に手をだらんとぶらさげている。

V エトゥナンカラ ヤク V etunankar yak	(その悪神に) 出会っても
V ウ ピリカ キ クル V u pirka ki kur	大丈夫な人は
V アフナラ ヤクン V a=hunara yakun	探しても
V イサム ルウエ ネ V isam ruwe ne	いなかったのだ。
ノ キ ワクス NO ki wakusu	だから
V インカラン ヒケ V inkar=an hike	私が見ると
V アレシパ ピト V a=respa pito	私が育てた神
V アレシパ カムイ V a=respa kamuy	私が育てたカムイ
V ネ ヤク エアシリ V ne yak easir	であってこそ初めて
V ウ ピリカ セコロ V u pirka sekor	大丈夫だと
ノ ハワシ キ コロ NO hawas ki kor	いう話だと
V ポロシルンカムイ V Porosirunkamuy	ポロシリの神の

V イパンコロ ユピ V ip an=kor yupi	私の兄が
V カムイ ウコラムコロ V kamuy ukoramkor	神と互いに相談を
V ウ アン コロ シラン V u an kor siran	していた
V アラパ アクス V arpa akusu	行くと
V アレシパ ピト V a=respa pito	私が育てた神
V ネ ヤク エアシリ V ne yak easir	であればこそ
ノ ウ ピリカ セコロ NO u pirka sekor	大丈夫だと
V ウ ハワシ ワクス V u hawas wakusu	いう話だから
V ウ エカン ナ」 セコロ V u ek=an na” sekor	お前に知らせに私が来たのだよ」と
ノ イパコロ サポ NO ip a=kor sapo	私の姉が
V ハウケ ホトウイエ V hawke hotuye	静かに呼び
V ウ ルイ ホトウイエ V u ruy hotuye	大声で叫び

V ウカクシパレ V ukakuspare	何度もくり返した。
V インカラン アクス V inkar=an akusu	私が見ると
V ウ ソンノ ポカ V u sonno poka	本当に
V ポロ ニツネ カムイ V poro nitne kamuy	大きい悪神が
V ウ カヌ…… シサム モシリ V u kanu... sisam mosir	和人の国
V オシラ…… オケマラチチ V osira... okemaracici	に足をだらんとぶらさげて
V ウ アイヌ モシリ V u aynu mosir	人間の国
V オテクラチチ V otekracici	に手をだらんとぶらさげて
V ウ キワ オカ V u ki wa oka	いて
V アヌカラ ヒケ V a=nukar hike	私が (そいつを) 見ると
V キマテク ルイ ペ V kimatek ruy pe	私はひどく驚いた
V アネ プ ネ クス V a=ne p ne kusu	ので

V ウ キ ホプニ V u ki hopuni	起き上がり
V シピネアン ナ。 V sipine=an na.	身支度をした。
V ラポッケヘタ V rapokkeheta	その一方で
V イレス ユピ V i=resu yupi	育ての兄は [㊦]
V ウ ア…… イレス サポ V u a... i=resu sapo	育ての姉は
V ウ アウオテレケ V u awoterke	家の中に飛び込んで
V アヌエウエン ペ V a=nuewen pe	聞いたことがないこと
V ウ セムコラチ V u semkoraci	であるかのように
V イェ コロ アフン V ye kor ahun	言いながら入ってきた
V ウ キ ヒクス V u ki hikusu	そこで
V ア…… チソイエカッタヤン V a... cisoyekatta=an	私は家の外に飛び出した
V ウ テレケ カ タ V u terke ka ta	急いで [㊦]

V コンカネ ポイ ヤ V konkane pon_ ya	黄金の小さい網を
V アオシケオシケ V a=oskeoske	編み
V シロカネ ポイ ヤ V sirokane pon_ ya	銀の小さい網を
V アオシケオシケ V a=oskeoske	編み
V アラパアン キ ワ V arpa=an ki wa	私は行って
V ポロ ニツネ カムイ V poro nitne kamuy	大きな悪神を
V アヤコチュプ ^[4] V a=yakocupu	網と一緒につぼめ
V タポロワノ V tap orowano	それから
V アヤコタタ ^[5] V a=yakotata	網と一緒に何度も叩き
V アヤコフンバ ^[6] V a=yakohumpa	網と一緒に刻み
V ウトウル アン コロ V utur an kor	時には
V ノカンカムノチ V nokankamnoci	小さい肉の塊

V ルプネカムノチ V rupnekamnoci	大きい肉の塊が
V エヘコタ (?) [7] V ehekota(?)	お互いに (くつつこうとして) (?)
V ウ シヌシヌ V u sinusinu	ズルズルとずって移動する
V オロワノ V orowano	それから
V ウ アタタタタ V u a=tatatata	切り刻み
V ウ イキアナイネ V u iki=an ayne	ずっとそうしているうちに
V タネ アナクネ V tane anakne	今は
(ここから散文)	
V ポロ ニツネ カムイ V poro nitne kamuy	大きい悪神を
アタタ オケレ a=tata okere	切り刻み終えて
アフンパ オケレ ヒネ a=humpa okere hine	刻み終えて
アライケ ワ イサム オラノ a=rayke wa isam orano	私が殺してしまうと

カムイ オピッタ 神たちみんなが
kamuy opitta

イコブンテク イラムイエ 私をほめる
i=kopuntek iramyē

ルウェ ネ クス ので
ruwe ne kusu

アイエ セコロ 私が言ったと、
a=ye sekor

ヤシケプ カムイ クモ神が
yaskep kamuy

ハウェアン セコロ。 語った、と。
hawean sekor.

(萱野：ほー、これはポロシルンカムイ トウレシヒ ヤオシケプカムイ、

(萱野：ほー、これは Porosirunkamuy turesihi yaoskepkamuy ,

(萱野：ほー、これはポロシリ神の妹がクモ神、

ヤオシケプカムイ レス したわけだ)

yaoskepkamuy resu したわけだ)

クモ神を育てたわけだ)

そうよ。ヤシケプカムイ コ…… レス ワ アン ペ ウヌフ ライ ワ

そうよ。 yaskepkamuy ko... resu wa an pe unuhu ray wa

クモ神を育てていたもの、彼の母親が死んで

レス クニ プ アフナラ ヤッカ イサム マ

resu kuni p a=hunara yakka isam w_a

育てるものを探したけれどもいなくて、

パクノ イオマップ ペ イサム ペ ネ ワ レス ペ

pakno iomap pe isam pe ne wa resu pe

可愛がる人がなくて、育てて

オラウン コント エネ ネ ワ ポロシルンカムイ ネ ヤクン

oraun konto ene ne wa Porosirunkamuy ne yakun

こうしてポロシリ神だったら、

タアン キム タ アン ヌプリ ネ ア プ だべさ。

taan kim ta an nupuri ne a p DABESA.

この山にいる、山であったものでしょう。

(萱野：うーん、なるほどな。うん。)

【注】

- [1] ノ NO はサケへの一部。以下同様。
- [2] この行は言い間違いか。すぐにイレスサポと言い直している。
- [3] 直訳は「飛び跳ねながら」。前後の文脈から意識した。
- [4] ya 「網」 ko- 「～とともに」 cupu 「～をつぼめる」。
- [5] ya 「網」 ko- 「～とともに」 tata 「～を何度も叩く」。
- [6] ya 「網」 ko- 「～とともに」 humpa 「～を刻む」。
- [7] 音はエホコテ ehokote のように聞こえるが、文脈から uhekota 「互いに向かつて」を
言い損ねたものか。

23-5 ウエペケレ

「ペトウエカリ ウン カムイ」

川の合流地の神

語り：黒川てしめ

……タ トカプチ ウン クル アネ ワ アナン ヒケ、
...ta Tokapci un kur a=ne wa an=an hike,
私は十勝の人でしたが、

トカプチ ワ エキムネアン クス
Tokapci wa ekimne=an kusu
十勝から（狩猟で）山へ行き、

オマナナン ルウェ ネ ア プ、
omanan=an ruwe ne a p,
歩き回っていたが、

ヒナク タ アラバアン アクス
hinak ta arpa=an akusu
どこやらに行くと

ソレクスワ シチプネ トウマム ネノ カネ アン ペ。
sorekusuwa sicipne tumam neno kane an pe.
それこそ大きな舟の胴体のようなものが、

（萱野茂：ウエペケレかい？ 今度）

（萱野茂:uepeker かい？ 今度）

（萱野茂：昔話ですか。今度は？）

おー、ウエペケレ^[1]

おー、uepeker

はい、昔話。

(萱野茂：あら、そうかい)

ニ カ タ ニ オウシ ワノ

ni ka ta ni ousi wano

木の上に、木の根元から、

コカカラセ ワ ヘメス ヒネ

kokakarse wa hemesu hine

(木の上に) 転がって上って行って、

リク タ ニアウコンタ レプ ネ ウエコオピ ワ アン ペ

rik ta niawkonta rep ne uekoopu wa an pe

高い所の木の股、三つ又に分かれた所の

ウトウルフ タ アシ ワ ノッタララ ワ

uturuhu ta as wa nottarara wa

その間に立ってあごを上げて、

エケシンネ インカラ コロ アン ヒクス

ekesinne inkar kor an hikusu

あちこちを見まわしているので

アエキマテク クス オロワノ

a=ekimatek kusu orowano

私はびっくりして、

カムイ ネ マヌ プ アシカオピウキレ アイェ コロ

kamuy ne manu p a=sikaopiwkire a=ye kor

「神様お助けください」と言いながら

ホユプアン アイネ ヒナク タ エカナクス

hoyupu=an ayne hinak ta ek=an akusu

私は走り続けてどこへかやってくると

イエカリ…… エカン ルウエ ネ アクス

i=ekari... ek=an ruwe ne akusu

向こうから……私がやってくると

イチエン レク アウ ネノ コント ハウコロ

icen rek h_aw neno konto hawkor

するとお金が出す(?) ような声を上げ、

ハウエアン コロ ホユプアナイネ

hawean kor hoyupu=an ayne

声がして私は走っていくと

ヒナク タ ポン エウカオマ チセ アン ヒクス

hinak ta pon eukaoma cise an hikusu

どこやらに拝み屋根の小屋があったので、

オロ タ アウオテレケアナクス

oro ta awoterke=an akusu

そこへ私は飛び込むと、

オンネクル シネプ アニ クス

onnekur sinep an h_i kusu

年寄りが一人いたので、

「タップネ カネ ネ ワ キラアン ナ

“tapne kane ne wa kira=an na

「こうこうで、私は逃げてきました。」

イヌイナ ワ イコレ ヤン」

i=nuyna wa i=kore yan.”

私をかくまって下さい」

セコロ イタカナクス

sekor itak=an akusu

と私が言うと、

「ヘタク オシルイネ アミプ チンキ チョロポッケ オ アン」

“hetak osiruyne amip cinki corpokke o an”

「さあ、隅っこの着物の裾の下に入っていないかい」

セコロ ハウエアニ クス

sekor hawean h_i kusu

と言ったので、

オシルイネ ワ チンキ チョロポッケ アオ アニネ

osiruyne wa cinki corpokke a=o an h_ine

隅っこ（の着物）の裾に入って

インカラシ ヒネ アナナクス イルカ アナン コロ

inkar=an hine an=an akusu iruka an=an kor

見ていたところ、しばらくすると、

アパ オツ タ シネ アイヌ カ

apa or_ ta sine aynu ka

戸のところに一人の人間といっても、

ソンノ ケウエポロ クル テシコサヌ イネ

sonno keweporo kur teskosanu h_ine

とても背の高い者がそっくりかえって

「タブ シネ オツカイポ ケセ アアンパ ワ エカナ プ、

“tap sine okkaypo kese a=anpa wa ek=an a p,

「このように、一人の男を追ってきたが

エク イサム マ

ek isam w_a

来なかったか？

ソモ アコロ ニシパ ヌカン ルウエ アン？」

somo a=kor nispa nukar_ ruwe an?”

ご主人よ、見なかったか？」

セコロ ハウエアン アクシ

sekor hawean akus

と言うと、

「ネプ カ アヌカラ カ ソモ

“nep ka a=nukar ka somo

「私は何も見ていない。

ネプ カ エク ルウエ カ イサム。

nep ka ek ruwe ka isam.

何も来なかった。

ネプ カ アヌカラ カ ソモ」

nep ka a=nukar ka somo”

何も見なかった」

セコロ ハウエアン ヒネ モノ ア ヒネ アン アクス、

sekor hawean hine mono a hine an akusu,

と言って座っていると

オラノ コント サパハ エホカンナシ キッキク

orano konto sapaha ehokannasi kikkik

すると今度は、頭を上から叩いた。

タプストゥ キッキク サパ エホカンナシ キッキク コロ

tapsutu kikkik sapa ehokannasi kikkik kor

肩を叩き、頭を上から叩きながら、

コパシロタ ア コパシロタ アウ エネ アニ

kopasirota a kopasirota h_aw ene an h_i

ののしってののしって、こう言った。

「アラウエンカムイ アラウエンピト エネ クス

“arwenkamuy arwenpito e=ne kusu

「お前は全く悪い神、極悪の神なので

エネ カムイ ネ ヤッカ アイヌ ネ ヤッカ

ene kamuy ne yakka aynu ne yakka

あのように神であっても人間であっても、

エエカランケ プ アナクネ

e=ekaranke p anakne

お前に近づくものは

エアヌシケ エカランケ プ アナク

e=an uske ekaranke p anak

お前の居場所に近づくものは

エシクヌレ カ ソモ キ ノ

e=siknure ka somo ki no

お前は生かすことも無く、

オピッタ エロンヌ ワ イサム。ネワアンペ…… ペ

opitta e=ronnu wa isam. newaanpe... pe

みんな殺してしまった。そのことを……

アシヌマ アナク

asinuma anak

私は、

ポロシルンカムイ サケ コロ イネ、

Porosirunkamuy sake kor h_ine,

ポロシリの神が酒宴を開いて

タン シケレペ プトゥ ウン

tan Sikerpe putu un

(私は) このシケレペ川河口の

ペトウエカリ ウン カムイ アネ ヒネ

petouekari un kamuy a=ne hine

川の合流地の神であり、

ペトウエカリ ワ イクタサアン クス

petouekari wa ikutasa=an kusu

川の合流地から酒宴のために

ポロシッ タ アラパアニネ

Porosir_ ta arpa=an h_ine

ポロシリに行つて

イクアン…… イクアン コロ オカアン ルウェ ネ ア プ、

iku=an... iku=an kor oka=an ruwe ne a p,

酒を飲んでしたが

エネ エネ エキ ワ…… シリ ネクス

ene ene e=ki wa... siri nekusu

お前がそのようなことをしている様子なので

エラウェ クス エイキ プ ネ クス

e=rawe kusu e=iki p ne kusu

お前が楽しみのためにしているので

アエウエンパカシヌ クス ネ ワ

a=e=wenpakasnu kusu ne wa

私がきつく罰して、

タ ネノ アエカラ ワ

ta neno a=e=kar wa

このようにしてやるぞ。

オロワ カ スイ ネノ エイキ ヤク アナクネ。

orowa ka suy neno e=iki yak anakne.

その後再び同じようにお前がしたならば

タン アイヌモシリ エイエウタンネ エエトランネ

tan aynumosir eyewtanne e=etoranne

人間の国土の一員となることをお前はいやがって

エルシカ クス エイキ ヒ ネ ヤクネ

e=ruska kusu e=iki hi ne yakne

お前が腹を立ててそうするのなら

アッテイネシリ アラウエンモシリ

atteynesir arwenmosir

全く濡れた国土、本当に悪い国土へ

アエコオテレケ クス ネ ワ マクネ ル アン？」

a=e=kooterke kusu ne wa makne ru an?"

私がお前を踏み落としてやるが、どうだ？」

セコロ ハウエアン コロ

sekor hawean kor

と言いながら

サパ エホカンナシ トイコキッキク アクス、

sapa ehokannasi toykokikkik akusu,

頭を上方から叩いて叩くと、

「ソモ テワノ アナクネ

"somo tewano anakne

「これからは、

ソモ ネノ イキアン クス ネ」

somo neno iki=an kusu ne."

あのようなことはしません」

セコロ ハウエアン コロ

sekor hawean kor

と言いながら、

エアラキンネ ヤヤパプ ヤッカ

earkinne yayapapu yakka

(化け物は) 本当に謝ったけれども、

トイコキッキク アイネ コント

toykokikkik ayne konto

強く殴り、そして、今度

エネ ポロ ル アナ プ

ene poro ru an a p

あれほど大きかったものが、

ボン ボン キナ ネ ヒネ

pon pon kina ne hine

小さい小さい蛇になって

レイエレイエ ヒネ ソイネ ヒネ イサム。

reyereye hine soyne hine isam.

這って出て行ってしまった。

ボンボン……

ponpon ...

小さく小さくなって。

(萱野茂：キナというのはへびにしたわけね?)

(萱野茂:kina というのはへびにしたわけね?)

(萱野茂：キナは、へびにした訳ね)

ボンボン ヘンピ ネ ワ ソイネ ハウエ

ponpon henpi ne wa soyne hawe

小さい小さいへびになって外へ出ていった、という話。

アクス オラ オカケタ エネ ハワニ

akusu ora okaketa ene hawan h_i

すると、その後こう言った。

「タン トカプチ エムコ コロ オツカイポ エネ ワ

“tan Tokapci emko kor okkaypo e=ne wa

「この十勝の上流の若者よ

イタカナク エイヌ カトウ エネ アニ。

itak=an y_ak e=inu katu ene an h_i.

私の言うことをよく聞きなさい。

アラウエンカムイ アラカムナシ

arwenkamuy arkamnasi

あれは本当に悪い神、全くの化け物である。

タップ アナクネ エキムネ ワ オカイ ペ

tap anakne ekimne wa okay pe

このように山へ行ったものは、

カムイ ヘネ アイヌ ヘネ ネヤッカ

kamuy hene aynu hene neyakka

神でも人間であっても、

ヌカラ ワ アン ペ アナクネ ロンヌ ペ ネ ペ

nukar wa an pe anakne ronnu pe ne pe

見たものは殺してしまうものであるが、

スイ エク シン ヌカ…… ヌカラ ワ

suy ek sir_ nuka... nukar wa

それがまた人が来たのを見て

エヌカラ ワ アン ペ ヌカラ ワ エキラ ペ

e=nukar wa an pe nukar wa e=kira pe

お前が見ているのに気がついて、お前は逃げたが

ソモ エカ オピウキ アカナク

somo e=ka opiwki y_ak anak

お前を助けに行かないと、

ネプ シクヌ エキ カ ソモ キ ワ クス

nep siknu e=ki ka somo ki wa kusu

お前は生きることが出来なかったので、

エトコ アウシ ワ ネ クス

etoko a=us wa ne kusu

私は先回りしたので、

エトコ アウシ ワ アナン ワ

etoko a=us wa an=an wa

私は先回りして

タネ アナクネ サン ヤクン アライケ シリ ネ クス、

tane anakne san yakun a=rayke siri ne kusu,

今山を下りてきたのを、私は退治したのだから、

オラ エサン ワ オラ エホシピ チキ

ora e=san wa ora e=hosipi ciki

お前は山を下りて（村に）戻ったら。

「ペトウエカリ ウン カムイ アノミ」

“petouekari un kamuy a=nomi.”

「川の合流地の神を私たちは祈ります」

セコロ エハウエアン コロ エカムイノミ ヤク

sekor e=hawean kor e=kamuynomi yak

と言いながら神へ祈るならば、

エコロ イナウ エコロ サケ

e=kor inaw e=kor sake

お前のイナウや酒で、

アエヤイカムイネレ クス ネ ナ。

a=eyaykamuynere kusu ne na.

私は神格を高めることができる。

ネノ イキ タネ アナク

nenno iki tane anak

あのようにして、今は

アラウエンカムイ ネ アカラ ワ

arwenkamuy ne a=kar wa

全く悪い神に私がしてやり

ポオン ポポ ネ ワ ソイネ シリ エヌカラ クス。

poon popo ne wa soyne siri e=nukar kusu.

ほんの小さなものになって外へ出て行ったのをお前は見たのだから

タネ アナク エチシトマ プ カ イサム ナ。

tane anak eci=sitoma p ka isam na.

今はもう、お前たちが恐れるものはない。

キ アナクネ サクソモアイエプ アラウエンカムイ

ki anakne saksomoayep arwenkamuy

あれは大蛇で全く悪い神なので、

クス エペカ プ アナク

kusu epeka p anak

それに行き会ったものは

カムイ ネ ヤッカ アイヌ ネ ヤッカ

kamuy ne yakka aynu ne yakka

どんな神であれ人間であれ、

ウレシパ カ エアイカプ。

urespa ka eaykap.

生きることが出来ない。

エペカ ウシケ アナク

epeka uske anak

出会ったものは、

オピッタ ロンヌ ワ イサム ペ ネ ペ。

opitta ronnu wa isam pe ne pe.

皆殺しにしてしまった。

キ ルウエ ネ クス キ ナ」

ki ruwe ne kusu ki na.”

ので、ああしたのだ」

セコロ カネ ハウエアン。

sekor kane hawean.

と言った。

ネア ポロクル キ オラノ オンカミアナ アナ

nea porokur ki orano onkami=an a =an a

その老人が言ったので、私はお祈りを重ね

トゥライ オンカミ アウカクシテ アクス

turay onkami a=ukakuste akusu

何度もお祈りをしたところ

コント ナニ ネア チセ ヘ ネ ウム ネ

konto nani nea cise he ne h_um ne

すると間もなくその家だ

クナク アラム ア プ、

kunak a=ramu a p,

と思っていたものが、

イナウ ネ ヒネ ウエホプニ ヒネ

inaw ne hine uehopuni hine

イナウとなって飛び去って

トオプ アオシリムケレ ヒネ

toop a=osirmukere hine

はるか遠くへ見えなくなり

アコッ トカプチ エムコ タ

a=kor_ Tokapci emko ta

わがトカプチの上流へ、

オラ ホシピアン ワ オラノ

ora hospi=an wa orano

私は戻った。

コント アキ プ

konto a=ki p

今度私たちがしたことは

タン ペトウエカリ ウン パセ カムイ ノミ ネ

tan petouekari un pase kamuy nomi ne

この川の合流地の尊い神に祈り、

カムイノミアン コロ アナン ヒ ネ クス

kamuynomi=an kor an=an hi ne kusu

神への祈りをしているのだから、

イテキ アポウタリ カムイノミ オイラ パ ヤク ピリカ

iteki a=poutari kamuynomi oyra pa yak pirka

私の子供たちは神へのお祈りを忘れてはいけない

セコロ トカプチ エムコ コロ クル イソイタク。

sekor Tokapci emko kor kur isoytak.

と十勝の上流に住む人が話しました。

セコロ アン ウエペケレ ヘム アン ペ ネ。

sekor an uepeker hem an pe ne.

という昔話もあるもんだ。

(萱野茂：そしたら、ペトウエカリ ウン カムイは、何というカムイだべ?)

(萱野茂：そしたら、petouekari un kamuy は、何という kamuy だべ?)

(萱野茂：そうすると、ペトウエカリ ウン カムイは、どういう神だろうか)

ほにペトエカリウン なにか イナウ カ セコン ネ ワ クス

HONI petoekariun NANIKA inaw ka sekor_ ne wa kusu

本当に「ペトエカリウン」何かイナウ (幣束) かなにかということだから、

イナウ チパ だか イナウ ホプニ ハウエ ネ ヤクン

inaw cipa DAKA inaw hopuni hawe ne yakun

(外の) 祭壇か、イナウ (幣束) が飛んで行ったという話であれば、

そこは言わないんだなあ。

そこは言わないんだね。

ソカラ (?) ペトウエカリ ウン トカプチ エムコ ワ カムイノミアン ペ ネ。

sokar(?) petouekari un Tokapci emko wa kamuynomi=an pe ne.

それから、二股の合流点にある十勝川上流で私は神への祈りをいたしました。^[2]

(萱野茂：うん、うん)

【注】

- [1] この1文は、物語の一部ではなく、萱野氏の質問に対する答え。次の行から、また物語本文に戻る。
- [2] この部分はDisk23 のトラック 6 に収録されているが、内容的にはトラック 5 の続きとなっている。

23-6 ウエペケレ

「ピラトルン ヌプル エカシ」

平取に住む巫術の老人

語り：黒川てしめ

㊦オラウン スイ というか こういう ウエペケレ クイエ ソモ キ ヘタク ヤ。

oraun suy TOIUKA KOUIU uepeker ku=ye somo ki hetak ya.

そして再び、と言うかこのウエペケレを話していなかったかな。

あの ポロサ…… ピラトルン ヌプル エカシ……

ANO Porosa... Pirator un nupur ekasi ...

あのポロサ (ル)、平取に住む巫術の老人……

トカプチ エムコ タ キムナン クス

Tokapci emko ta kimun=an kusu

私は十勝川上流へ、狩りをするために、

アラパアニネ アナン タン…… アクス ニサッタ ネ アン ヤクン

arpa=an h_ine an=an tan... akusu nisatta ne an yakun

行っていたところ、次の日になると㊦、

アラパアニネ レウシアニネ アナン アクス シムシシカ ハワシネ

arpa=an h_ine rewsia=an h_ine an=an akusu simusiska hawas h_ine

行って泊まっていたところ、来訪の咳払いの声があった。

「ネン ネ エネ ヤッカ アフン。」

“nen ne e=ne yakka ahun.”

「誰であれ、お入りなさい」

セコロ ハウエアナン アクス

sekor hawean=an akusu

と、私が言うと

オロ タ アフン アクス ポロ クル シネプ アフニネ アニネ
oro ta ahun akusu poro kur sinep ahun h_ine an h_ine
 私のいる所へひとりの大きな男が入ってきたのだった。

アエランカラプ したり スケアニネ アイペレ したり キ アクス オラ、
a=erankarap SITARI suke=an h_ine a=ipere SITARI ki akusu ora,
 私は挨拶をしたりしてご飯を作って食べさせたりすると、

「アコロ オッカイポ ニサッタ ネ アン チキ
“a=kor okkaypo nisatta ne an ciki
 「わが青年よ、明日になったら、

エキムネ オルン ソモ イトゥラ ルウエ アン？」
ekimne or un somo i=tura ruwe an?”
 山へ私を連れて行ってくれないか？」

セコロ (ハウエ)アン。
sekor (hawe)an.
 と言う。

「エアラキンネ ヒナク ワ エク ウェン チャチャ ウェン クル アニネ
“earkinne hinak wa ek wen caca wen kur an h_ine
 「本当にどこからか来た、貧乏なじいさん、貧乏人が

ヒナクン イトゥラ クス エネ ハウエアニ アン。」
hinak un i=tura kusu ene hawean h_i an.”
 どこへ連れていけと言うのか」

セコロ ヤイヌアン。
sekor yaynu=an.
 と思い、

イルシカアン ケウトウム オツ タ アナクネ キ コロ
iruska=an kewtum or_ ta anakne ki kor
 心の中で腹を立てながら、

オラウン エセアニネ レウシ オカアニネ

oraun ese=an h_ine rewsu oka=an h_ine

それから私は承諾の返事をして、ひと晩をすごした。

イシムネ イケ ウトゥラアニネ エキムネアン クス ソイエンパアナクス

isimne h_ike utura=an h_ine ekimne=an kusu soyenpa=an akusu

翌日私たちは連れ立って、山へ猟をするために外へ出たところ、

アコロ クチャ オシマケ ワノ

a=kor kuca osmake wano

私の狩小屋の裏から

ソレクス シノ ポロ プ アラパ ルウェ ネ イネ

sorekusu sino poro p arpa ruwe ne h_ine

それこそ本当に大きなもの（クマ）が山を登って行ったのだった。

ケセ アアンパ イネ パ…… ハンケノ パイエアン コロ アライケ ワ

kese a=anpa h_ine pa... hankenno paye=an kor a=rayke wa

それを追いかけて、遠くまで行くことなく、私たちは（そのクマを）しとめたので、

ポロ プ ネ クス アリ ワ

poro p ne kusu a=ri wa

大きなものだったので解体すると

キリプ ピリカ イ カム ピリカ イ ネ ルウェ アン ワ

kirpu pirka h_i kam pirka h_i ne ruwe an wa

脂身も良く、肉も良いもので、

アアリ ペ イカム マ キリプ カ イカム イネ

a=ari pe ikam w_a kirpu ka ikam h_ine

置いたものにXXXして、脂身もXXXして、

「イカン エテケ ポカ エケム ナ。」

“ikan e=teke poka e=kem na.”

「お前の手ばかりも嘗めるなよ」

セコロ ハウエアン コロ エアラキンネ イサム エウネウン ワ ネノ イイエ。

sekor hawean kor earkinne i=sam euneun wa neno i=ye.

と言いながら、私のそばに顔をつきだして、そのように言った。

ポ ヘネ アルシカ。

po hene a=ruska.

いっそう私は腹を立て、

「ヒナク ワ エク ウエン チャチャ

“hinak wa ek wen caca

「どこからか来た貧乏じいさん、

ウエン クル アニネ エネ イイエ イ アン。」

wen kur an h_inē ene i=ye h_i an.”

貧乏人がそんなことを言うか」

セコロ ヤイヌアン コロ アリ イネ アリ オケレ

sekor yaynu=an kor a=ri h_inē a=ri okere

と私は思いながら解体して、解体し終えた。

ソレクス カム トウ (?) カ サクノ

sorekusu kam tu(?) ka sakno

それこそ、肉の束 (?) も無く

ピル ウエン (?) ペ ネ ヒネ オピッタ サمامニ カ オ アクス

piru wen(?) pe ne hine opitta samamni ka o akusu

XXXXX、倒木の上に乗せて、

オラ アフパン ルウェ ネ アクス

ora ahup=an ruwe ne akusu

私たちは家に入ると、

コント エネ ハワニ……

konto ene hawan h_i ...

今度は、こう言った……

ヒネ オラ イワカニネ アフパン アクス オラ エネ ハワニ。
 hine ora iwak=an h_inē ahup=an akusu ora ene hawan h_i.
 そして帰ってきて家の中へ入ると、このように話した。

「タン アコロ オッカイポ エネ ワ ネ レウシ オカアン アクス オラノ
 “tan a=kor okkaypo e=ne wa ne rewsī oka=an akusu orano
 「わが青年よ、ひと晩泊まったら、

ネア ウシケ ウン チカプ イペ ハウ
 nea uske un cikap ipe haw
 あそこ（クマ肉を置いたところ）から、鳥が餌を食べている声が、

ネプ チカプ ネ ハウ ネ ヤ ネプ ハウ ネ ヤ
 nep cikap ne haw ne ya nep haw ne ya
 どんな鳥だろうか、何の声なのか、

シリポプ カネ ハワシ。レウシ オカアン アクス エネ ハウエアニ。
 sirpop kane hawas. rewsī oka=an akusu ene hawean h_i.
 にぎやかに聞こえるだろう。ひと晩泊まったら、そのような音がするだろう。

タン アコロ オッカイポ エネ ワ クンネ イワン ト トカプ イワン ト
 tan a=kor okkaypo e=ne wa kunne iwan to tokap iwan to
 わが青年よ、六日の夜と六日の昼の間、

ネノ エウン ハワシ ハウエ エイコカヌ エン (?)
 neno eun hawas hawe e=ikokanu en(?)
 そのように聞こえる音をお前はよく聞きなさい。

エタンパクク コロ タンパク イッケウ エカラ コッ チセ オシマク ウン
 e=tanpakuku kor tanpaku ikkew e=kar kor_ cise osmak un
 お前はタバコを吸う時に、お前はタバコの茎を切っては、家の裏に、

エオスルパ コロ パテク エアニネ ネ タンパク イルシカ ワ
 e=osurpa kor patek e=an h_inē ne tanpaku iruska wa
 いつも捨てていて、そのタバコが怒って、

エライケ クナク ラム コロ アン ワ…… ネ クス…… ワ アヌカラ ペ
e=rayke kunak ramu kor an wa... ne kusu... wa a=nukar pe

お前を殺そうと思っていたので、それを私は見たのだが、

オラ モシマノ アナン ワ アエライケ イ カ アエランポキウエン ワ クス
ora mosmano an=an wa a=e=rayke h_i ka a=erampokiwen wa kusu

黙っていてお前が殺されてしまっは、かわいそうに思ったので

エカン シリ ネ クス ヘタク コント

ek=an siri ne kusu hetak konto

やってきたので、さあ急いで今度、

トカプ イワン ト クンネ イワン ト エアン ヤクネ

tokap iwan to kunne iwan to e=an yakne

六日六晩いたら

オラノ エネ ハワシ エヌ コロ エアン アイネ ネパウ カ イサム チキ オラ、
orano ene hawas e=nu kor e=an ayne nep h_aw ka isam ciki ora,

そのような音をお前が聞いているうちに何の音も聞こえなくなるので、そうしたら

エウン アラパ ワ…… エアラパ ワ エサン エネ シラニ

eun arpa wa... e=arpa wa e=san ene siran h_i

そこへ行って、山を下りて、どうなっているか、

エアラパ ワ エヌカラ ワ

e=arpa wa e=nukar wa

行って見て

オラウン イコヤイライケ ヤクン イコヤヤッタサ たか

oraun i=koyayirayke yakun i=koyayattasa TAKA

私に感謝をしたならば、私にあやまって、というか

イコヤイライケ イ エイエ コロ

i=koyayirayke h_i e=ye kor

私は感謝しますと言いながら、

ピラトルン ヌプル エカシ セコロ アイイエ コロ アナン

Pirator un nupur ekasi sekor a=i=ye kor an=an

『平取に住む巫術の老人』と私に言いながらいる

ペ ネ クス エア…… エア…… ピラトルン エアラパ ヤク ピリカ ナ」

pe ne kusu ea... ea... Pirator un e=arpa yak pirka na.”

のだから、平取へお前は行きなさい」

セコロ ハウエアン。

sekor hawean.

と言いました。

ソンノ エアラキンネ ウェニヨクンヌレアン コロ

sonno earkinne wen iokunnure=an kor

本当に大変驚きながら、

オンカミアニネ ソイネ オラノ

onkami=an h_ine soyne orano

私はお祈りをして外へ出て、それから

クンネ エネ トカプ エネ アナン オラノ エウン チカピペ アウ ネ ヤ

kunne h_ene tokap h_ene an=an orano eun cikap ipe h_aw ne ya

夜も昼もいると、そこへ鳥が餌を食べている音だか、

ネパウ ネ ヤ シロウシ アイネ インカラ……

nep h_aw ne ya sirousi ayne inkar...

何の音だか長々と続いて、見たところ……、

アラパアニネ インカラシ アクス ソレクス ワ

arpa=an h_ine inkar=an akusu sorekusu wa

行って見たところ、それこそ、

エネ ポロンノ アン ワ アヤンケル アン ア プ、ネプ カ オアラ イサム。

ene poronno an wa a=yanke ru an a p, nep ka oar isam.

あのようにたくさんあって、私が処理したもの（クマの肉）が、何も無くなっている。

ケミヒ ポカ シルシ ルウェ カ オアラ イサム。ネプ カ オアラ イサム。

kemihi poka sirus ruwe ka oar isam. nep ka oar isam.

血すら地面に残ってもおらず、何も無い。

ポネへ ポカ カ オアラ イサム クス オラ コントネプ ポネ……

ponehe poka ka oar isam kusu ora konto nep pone...

骨も無くなっていたので、今度、何の骨も……

イワカン イネ オラ ナニ クチャサンケアン オラノ

iwak=an h_ine ora nani kucasanke=an orano

家に帰ってすぐに狩り小屋を引き払って、

ソレクスワ ウエン ヤヤパプ トイ ヤヤパプ アキ クス コント

sorekusuwa wen yayapapu toy yayapapu a=ki kusu konto

私は心から謝罪をしたので、

アピリカコロ ペ アセ ヒネ オラノ エカニネ ネ ヌプル エカシ

a=pirkakor pe a=se hine orano ek=an h_ine ne nupur ekasi

立派なものを背負ってきて、その巫術のできる老人

ピラトルン ヌプル エカシ オツ タ アラパアニネ

Pirator un nupur ekasi or_ ta arpa=an h_ine

平取に住む巫術の老人の所に行つて

オラノ ソレクスワ ヤヤパプアニ アイェ ア アイェ ア コロ

orano sorekusuwa yayapapu=an h_i a=ye a a=ye a kor

それから、それこそお詫びの言葉を何度も言つて、

オンカミアナ アナ オラノ

onkami=an a =an a orano

礼拝を重ねて、それから

「イコヌコシネ ヒナク ワ エク ウエン チャチャ アニネ

“i=konukosne hinak wa ek wen caca an h_ine

「私に腹をたてて、どこからか貧乏なじいさんがやってきて

エネ ハウエアニ アン セコロ エヤイヌ シリ アヌカラ コロカ
 ene hawean h_i an sekor e=yaynu siri a=nukar korka
 そのように言ってお前は思っている様子を私は見たけれど、

エエ…… ネン カネ モシマノ アナナクン エライ クニ
 ee... nen kane mosmano an=an y_akun e=ray kuni
 なんとか、なにもしないでいたら、お前が殺されるということを、

アシトマ ワ クス イキアニ ネ クス ピリカ ピリカ ルウェ ネ。
 a=sitoma wa kusu iki=an h_i ne kusu pirka pirka ruwe ne.
 私は恐れたので、(あのよう)したので、よかったよかった。

イコヤイライケ クス エエク ヤクン ピリカ ハウエ ネ。」
 i=koyayirayke kusu e=ek yakun pirka hawe ne.”
 お前が私に礼を言いに来たので、良かった」

セコロ カネ ハウエアニ コロ
 sekor kane hawean kor
 と言いながら、

オラ トカプチ エムコ タ アラパアニケカ
 ora Tokapci emko ta arpa=an h_ikeka
 それから、十勝川の上流へ私は行ったが、

オラ オロワ ウサ アン ペ ケシパ アン コロ
 ora orowa usa an pe kespa an kor
 それからというもの、色々なものを毎年、毎年、

カシ アオセ。エキムネアン コロ
 kasi a=ose. ekimne=an kor
 私は背負って行き、山へ狩りにいくと、

ユク チコイキプ カムイ チコイキプ ピリカ ウシケ
 yuk cikoykip kamuy cikoykip pirka uske
 鹿の獲物、熊の獲物のおいしいところを

アサッサトゥ ワ アセ ワ カシ アオセ コロ アナン ペ ネ クス……

a=satsatu wa a=se wa kasi a=ose kor an=an pe ne kusu...

私は干して背負って届けに行ったので

ワ アオクンヌレ プ ネ クス アイェ セコロ トカプチ エムコ コロ

wa a=okunnure p ne kusu a=ye sekor Tokapci emko kor

驚いた話なので、私は語ったのだ、と十勝川上流を領有する

オツカイポ イソイタク。

okkaypo isoytak.

青年が話しました。

【注】

[1] この前にも録音されている部分があるが、23-5の最後の行にあたるため、23-5の末尾に書き起こした。

[2] 話の内容としては、ここから次の行の「来訪の咳払い」に続く。

23-8 ウエペケレ

「ケトウペトノ イカオピューキ」

ハリガネムシに助けられた

語り：黒川てしめ

アスチ イレス ヒネ オカアン ペ ネ チシ コロ パテク アスチ イレス ワ

a=suci i=resu hine oka=an pe ne cis kor patek a=suci i=resu wa

私は祖母に育てられ、祖母は泣いてばかりいたので、泣きながら育てられていた者であったが、

オカアン ペ ネ ヒケ、チセ エルプシク タ ポン トライ アン ペ ネ ワ

oka=an pe ne hike, cise erupsik ta pon toray an pe ne wa

家の東手に小さい湿地の水たまりがあって、

ネ ポン トライ オツ タ シノタン。

ne pon toray or_ ta sinot=an.

その小さい水たまりで私は遊んだ。

ピシカニケ ピリカ オタ ウン ウシケ(?) アン ペ ネ ワ

piskanike pirka ota un uske(?) an pe ne wa

その回りに美しい砂浜のあるところ(?)があって、

オロ タ シノタン コロ パテク アナン ペ ネ イケ

oro ta sinot=an kor patek an=an pe ne h_ike

そこで遊んでばかりいた。

アスチ トウレプ タ クス エキムネ コロ アトウラ ワ トウレプタアン。

a=suci turep ta kusu ekimne kor a=tura wa turepta=an.

私の祖母がオオウバユリを掘りに山に行く時には、私も一緒に行って掘った。

ポンノ ポロアニ ワノ キ ワ トウレプ タ コロ

ponno poro=an h_i wano ki wa turep ta kor

少し私が大きくなると、オオウバユリを掘りながら、

トゥレプカラ コロ オカアン ペ ネ

turepkar kor oka=an pe ne

採りながら祖母と暮らしていた者であった。

アイネ フナク タ シネアンタ スイ タネ ポロアニ ワノ

ayne hunak ta sineanta suy tane poro=an h_i wano

しばらくして、私は大人になり、ある日、またどこかへ

トゥレプタアン コロ イトゥラ ワ アトゥラ ワ トゥレプタアン ワ

turepta=an kor i=tura wa a=tura wa turepta=an wa

オオウバユリを掘りに行き、一緒にオオウバユリを掘って、

ヘコテ アルラ コロ エトウイエ コロ オカアン ペ ネ ア プ

hekote a=rura kor etuye kor oka=an pe ne a p

祖母の方へ運ぶと、祖母はその頭を切りながらいた者であったのだが、

シネ アン ト スイ ウトゥラアニネ パイエアニネ

sine an to suy utura=an h_inine paye=an h_inine

ある日、私はまた一緒に行って、

トゥレペトウイエ コロ アン ルウエ ネ ヒネ、

turepetuye kor an ruwe ne hine,

祖母はオオウバユリの頭を切って、

ナイ エトク タ…… ナイ オツ タ…… ナイ キプカ タ キ ルウエ ネ。

nay etok ta... nay or_ ta... nay kipka ta ki ruwe ne.

祖母は沢の上でオオウバユリの頭を切っていて、

アナン ネノ イキアン コロ アナン トゥレプタアン コロ インカラン アクス

an=an neno iki=an kor an=an turepta=an kor inkar=an akusu

私も同じようにオオウバユリ掘りしながら見たところ、

ソレクス タプ トゥプ ウオサ(?) ペコロ アン ポロ カムイ

sorekusu tap tup wosa(?) pekor an poro kamuy

それこそ、今、まさに二頭分もあるような(?)大きなクマ、

エムコ フレ エムコ クンネ チポロ ポロ アタ ペコロ アン
emko hure emko kunne cipor poro ata pekor an
 半分が赤く半分は黒く筋子をたくさん塗ったような、

プリ ウェンクル アナク エネ オカイ ペ ネ イネ キ イネ
puri wenkur anak ene okay pe ne h_ine ki h_ine
 精神の悪いクマがいるのだった。

ヘプニ ワ インカン ランケ コロ アン シリ アヌカラ クス
hepuni wa inkar_ ranke kor an siri a=nukar kusu
 頭を上げて見ている様子を私は見たので

コント アコッ トウレプ アコロ ワ エカニネ アスチ サマ タ アアリ コッ
konto a=kor_ turep a=kor wa ek=an h_ine a=suci sama ta a=ari kor_
 今度、オオウバユリを持ってきて、祖母のそばに置いて

「タップ ネ カネ ネ ルウエ ネ。」
“tap ne kane ne ruwe ne.”
 「このような様子であった」

セコロ ハウエアナン アクス
sekor hawean=an akusu
 というと、祖母は

「クス ホクレ キラ ヤク ピリカ。」
“kusu hokure kira yak pirka.”
 「では、すぐに逃げた方がいい」

セコロ ハウエアナン アクス ナニ
sekor hawean akusu nani
 というと、すぐに

コント ミピ ウセ アヌ イネ チクニ エウシ ヒネ オラ
konto mipi use anu h_ine cikuni eusi hine ora
 今度、衣服を脱いで木に刺して、それから

コント ナニ オシリピチ ナイ オロ ウン キ ヒネ イワク ワ イサム。

konto nani osirpici nay or un ki hine iwak wa isam.

今度、すぐに沢へ滑り降りて、帰ってしまった。

ネ オラ オカケ タ スイ ヤイコハウプニアン コッ

ne ora okake ta suy yaykohawpuni=an kor_

その後、私も声を上げて、

トゥレプタアニネ エカニネ アオスラ テキネ

turepta=an h_ine ek=an h_ine a=osura tek h_ine

オオウバユリ掘りをしに来ていたのを、（掘ったものを）放り出して、

オラ ナニ オフルピツテクテカニネ キラアニネ

ora nani ohurupittektek=an h_ine kira=an h_ine

すぐに坂を滑り降りて

イワカニネ アウニ タ イワカン。

iwak=an h_ine a=uni ta iwak=an.

家に逃げかえった。

（萱野茂：オオルピ？）

（萱野茂：oorupi？）

（萱野茂：オオルピ？）

オフルピチ。

ohurpici.

オフルピチ。

（萱野茂：オフルピチわかった）

（萱野茂：ohurpici わかった）

（萱野茂：オフルピチ、分かった）

アクス アナン ア…… オカアン アクス

akusu an=an a... oka=an akusu

そうしていたところ、

シリクンネ アクス コント シネ ポロクル アフン ヒネ エネ ハウエアニ。
sirkunne akusu konto sine porokur ahun hine ene hawean h_i.

日が暮れると、今度、一人の老人が入って来て、このように言った。

「ヘタク タネ エチホッケ ワ ネウン フマシ ヘネ ハワシ ヘネ イキ ヤッカ
“hetak tane eci=hotke wa neun humas hene hawas hene iki yakka

「さあ、お前たちは寝て、どんな音がしても、どんな声がしても、

イテキ エチハウエ エチアシテ ノ エチオカ ヤク ピリカ ナ。」
iteki eci=hawe eci=aste no eci=oka yak pirka na.”

声を出さずにいるのだぞ」

セコロ ハウエアニ クス、
sekor hawean h_i kusu,

と言ったので、

アスチ トウラノ アスチ ホッケ タ スイ ホッケアニネ オカアン アクス
a=suci turano a=suci hotke ta suy hotke=an h_ine oka=an akusu

私の祖母と一緒に、祖母の寝床に私も寝ていると、

オカアン アクス インネ アコロ(?) インカラン アクス
oka=an akusu inne a=kor(?) inkar=an akusu

見ていると、

アスチ ネノ カネ アン ルプネマツ
a=suci neno kane an rupnemat

私の祖母とそっくりなお婆さんが

オッカヨ ネ エネ タプ アフン ペコロ ヤイヌアン ア プ、
okkayo ne ene tap ahun pekor yaynu=an a p,

今、男の人が入ってきたと思っていたのに、

オシソウン ア ワ アン。
osisoun a wa an.

右座に（お婆さんが）座っている。

ス ホカ オツテ ヒネ アン ヒネ オラ ホツケアン ワ オカアン アクス
su hoka otte hine an hine ora hotke=an wa oka=an akusu
 鍋を掛けていて、私たちは寝ていると、

オロ タ アイヌ カスノ ケウエ ポロ クル アフン ルウエ ネ ヒネ
oro ta aynu kasuno kewe poro kur ahun ruwe ne hine
 そこへ人間より背の高い人が入ってきて

コント アペエトク タ モノ ア ルウエ ネ ヒネ ヒナクン……
konto apeetok ta mono a ruwe ne hine hinak un...
 今度、横座へ静かに座る様子であった、そして

「ヒナク ワ アラキ プ エチネ ル アン？」
“hinak wa arki p eci=ne ru an?”
 「お前たちはどこから来たのか」

とか なんとか セコロ ハウエアン コロ アン ヒケ カ
TOKA NANTOKA sekor hawean kor an hike ka
 とか、何とか、話しているうちに、

ネノ ハウエアン コロ アン アイネ
nenno hawean kor an ayne
 そのように話しているうちに

ネア アスチ エネ…… ネノ アン ペ エネ ハワニ。
nea a=suci ene... neno an pe ene hawan h_i.
 私の祖母そっくりの人がこう言った。

「アマッカラク ヒナクン アラパ ワ イサム ヒネ、
“a=matkarku hinak un arpa wa isam hine,
 「私の姪がどこかへ行ってしまって、

ス アアツテ イケカ エネ アラム イ カ イサム。
su a=atte h_ikeka ene a=ramu h_i ka isam.
 鍋を掛けたが、どうしていいかわからない。

アペアリアン クニ イケカ エネ アラム イ カ イサム ワ アン。」

apeari=an kuni h_ikeka ene a=ramu h_i ka isam wa an.”

火を起こさないとならないが、どうしていいかわからない」

セコロ ハウエアン コロ キ アイネ

sekor hawean kor ki ayne

と言っているうちに、

「タンパククアン。」

“tanpakuku=an.”

「タバコを飲もう」

セコロ ハウエアン コロ

sekor hawean kor

と言うと

タンパク ク コロ アン アイネ

tanpaku ku kor an ayne

タバコを飲みながらいたがそのうちに、

ネア キセリ ネア アペエトク タ アン アイヌ コッカサパ

nea kiseri nea apeetok ta an aynu kokkasapa

そのキセルを横座にいた男の膝頭へ

コトゥッカ アクス

kotukka akusu

押しつけた。すると、

タップ アイヌ ネ ワ アナ プ ハウカン メシコサヌ コロ

tap aynu ne wa an a p hawkan meskosanu kor

今まで人間であったのに、グワッという声を立てると、

ソレクスワ タント ネ イホタヌカラ ワ

sorekusuwa tanto ne i=hotanukar wa

それこそ、今日、私たちのところへやってきて、

アヌカラ ポロ カムイ ヤイコチュプチセアヌアヌ^[1] コロ キ アイネ、
a=nukar poro kamuy yaykocupciseanuanu kor ki ayne,
 私が見かけた大きな神（クマ）の姿になって、自分の体に火が回っているうちに、

プヤラ カリ チソイエカッタ
puyar kari cisoyekatta
 窓から飛び出して、

オロワノ ヤイコチュプチセアヌアヌ ヌマ カ エピッタ ウフイ ワ キ アイネ
orowano yaykocupciseanuanu numa ka epitta uhuy wa ki ayne
 自分の体に火が回って、毛がすべて燃えて、そして

オロ タ ライ ルウエ ネ。
oro ta ray ruwe ne.
 そこで死んでしまった。

アクス オラウン コント エネ ネア カムイ エネ ハウエアニ。
akusu oraun konto ene nea kamuy ene hawean h_i.
 それから今度、その神はこのように言った。

「タン メノコ エネ ワ。」
“tan menoko e=ne wa.”
 「そこの女よ」

アスチ トウラ チサン コロ ホブンパアン。
a=suci tura cis=an kor hopunpa=an.
 祖母と一緒に泣きながら起き上がり、

アスチ チサ チサ コロ アン アクス エネ ハウエアニ。
a=suci cis a cis a kor an akusu ene hawean h_i.
 祖母が泣いて泣いていると、このように言った。

「イタカナクネ エイヌ カトウ エネ アニ。
“itak=an y_akne e=i=nu katu ene an h_i.
 「私がお前に聞かせる話はこういうことだ。

タン エチエルプシケ タ アン

tan eci=erupuske ta an

私はお前たちの家の東手にある、

ポン ト オツ タ アン ケトウペトノ アネ イネ アナン ペ ネ イケ

pon to or_ ta an ketupetono a=ne h_ine an=an pe ne h_ike

小さい湖に住んでいたハリガネムシであるのだが、

ポンラム ワノ イオツ タ エシノツ コロ

ponram wano i=or_ ta e=sinot kor

幼い時から、私のところでお前が遊んでいて、

アエカシッカシマ コロ アナン ペ ネ アイネ

a=e=kasikkasma kor an=an pe ne ayne

私がお前のことを見守っていて、

タネ パクノ エポロ ワ エアン ルウェ ネ ア プ、

tane pakno e=poro wa e=an ruwe ne a p,

今までお前は大きくなっているのである。

コント ソレクスワ ヌプリ ケスン プリ ウェン クル

konto sorekusuwa nupuri kes un puri wen kur

今度、それこそ、山すそで素行の悪い者（熊）

コント エオナハ アナクネ ネ どこだか クスル エムコ タ だったか

konto e=onaha anakne ne DOKODAKA Kusur emko ta DATTAKA

今度、お前の父親は何処か、釧路の上流だったかで、何処か

アコレウエン オツカイポ エネ イキ ヒ カ イサム ペ ネ ワ アン ペ

a=korewen okkaypo ene iki hi ka isam pe ne wa an pe

粗末に扱われている青年だった。どうにも暮らしていけないものだったが、

オロ タ ポ サク ウタラ シネ マツネポ コロ ワ アン ペ オロ ペカ

oro ta po sak utar sine matnepo kor wa an pe oro peka

息子はおらず娘が一人いる者のところに、

シノ エオナハ イキ コロ アン アイネ

sino e=onaha iki kor an ayne

お前の父親が行き来をされていて、

イレ こんど ウエン カッ ポロ ワ(?)

ire KONDO wen kat poro wa(?)

今度、XXX (?)

イラマンテ イ ワノ アコレウエン イルシカ クス

iramante h_i wano a=korewen iruska kusu

狩猟をしたときに粗末に扱われて腹を立てたので、

ネンカ アラパ クナク イェ プ

nenka arpa kunak ye p

どこかに行こうと言って、

コント エオナウタリ トウラ クナク イェ イネ

konto e=onautari tura kunak ye h_ine

今度、お前の父親たちと一緒にしようと言って、

コント エオナハ と エコロ フチ エトウラ ヒネ

konto e=onaha TO e=kor huci e=tura hine

今度、お前の父親とお前の祖母がお前を連れて、

エアニ アナク ホン オロ エオマ イ ネノ アニネ

eani anak hon or e=oma h_i neno an h_ine

(母親は)お前をお腹にやどしたままで

エトウラ ヒネ アラキ ヒネ テタ エチオカ ルウェ ネ ペ、

e=tura hine arki hine teta eci=oka ruwe ne pe,

お前を連れて来て、そしてここにお前たちは住んでいたのだが、

コント イサム エオナハ キ ヒ クス

konto isam e=onaha ki hi kusu

今度、お前の父親がいなくなったので、

ネア クスル エムコ ワ ネア アヌ…… アイノンノイタク
 nea Kusur emko wa nea a=nu... a=i=nonnoitak

釧路で私は祀られていたのだが、

ネイ ワ ノ スイ アナニ エラムオカ クス アイノンノイタク アイネ
 ney wa no suy an=an h_i eramuoka kusu a=i=nonnoitak ayne

(お前の父親たちは)私がいるところを知っているので、お祈りを続けており、

エカニネ ネ エオナハ クチャ オツ タ アニネ
 ek=an h_inine ne e=onaha kuca or_ ta an h_inine

それで私はやってきたのだが、そのお前の父親は狩小屋で眠っているときに、

モコロ ワ アニ ウン アモコットウシマクテ アライケ ア プ
 mokor wa an h_i un a=mokottusmakte a=rayke a p

寝こみを襲われて殺されてしまった。

コント エコロ エカシ イオカフナラ クス
 konto e=kor ekas iokahunara kusu

今度、お前の祖父が、(お前の父を) 捜すために行ったが、

アラパ ヒネ エコロ エカシ カ アライケ ルウェ ネ ア プ
 arpa hine e=kor ekas ka a=rayke ruwe ne a p

お前の祖父も殺された。

スイ エウヌフ イオカフナラ ヒネ カ アライケ。
 suy e=unuhu iokahunara hine ka a=rayke.

そしてまた、母親が探しに行つて殺された。

ネ レン ネ ヒネ アロンヌ ワ イサム マ
 ne ren ne hine a=ronnu wa isam w_a

その3人は、そして殺されていなくなり、

オラノ エウヌフ エヌペコレス アイネ エネ エポロ ルウェ ネ ヒネ
 orano e=unuhu e=nupekoresu ayne ene e=poro ruwe ne hine

それからお前の母親^[2]は、涙を溜めながらお前を育てて、

エアン ルウェ ネ ペ、

e=an ruwe ne pe,

このようにお前は大きくなって暮らしていたのだが、

スイ エチオカ ヒ ネア アラウエン カムイ たか ワクス エカニ ネ ア プ、

suy eci=oka hi nea arwen kamuy TAKA wakusu ek=an h_i ne a p,

再びお前たちがいることを、あの全く悪い神だか（が知った）から私がやってきたのだが、

エネ オヤチキ エネ アラウエンカムイ エラムアニネ エク ルウェ ネ コロカ、

ene oyaciki ene arwenkamuy eramuan h_ine ek ruwe ne korka,

思うに本当に悪い神が、（お前たちがいることを）知ってやって来たのだが、

アシヌマ アナク ケトウペトノ アネ ワ

asnuma anak ketupetono a=ne wa

私はハリガネムシの神であるので、

ポンラム ワノ^[3] アエシッカシマ エトゥラノ シノタン

ponram wano a=e=sikkasma e=turano sinot=an

（お前が）幼い時から私は見守ってきて、お前と一緒に遊んだ。

イヤケ タ パテク エシノツ ワ キ コロ エアン ペ ネ ワ クス、

i=yake ta patek e=sinot wa ki kor e=an pe ne wa kusu,

私の（いる沼の）岸でばかりお前は遊んでいたのだ、

ネ ヌプリ ケシ プリ ウエンクル カ

ne nupuri kes puri wenkur ka

その山のふもとに住む乱暴者は

タネ アナクネ アッテイネシリ アラウエン モシリ アコオテレケ ワ

tane anakne atteynesir arwen mosir a=kooterke wa

湿地の国、全く悪い国土へ、私は踏み落としたのだ

イサム ルウェ ネ ヤクン

isam ruwe ne yakun

（それによって）いなくなったのだ。

タアン コント チセコロカムイ エコロ エカシ カラ カムイ ネ ワ アン ペ
 taan konto cisekorkamuy e=kor ekas kar kamuy ne wa an pe
 今度、家を司る神、お前の祖父が作った神が、

エチオカ カ イサム アクン ネ
 ecioka ka isam y_akun ne
 お前たちがいなくなったら、

エネ イキ クニ カ エランペウテク ルウェ ネ クス
 ene iki kuni ka erampewtek ruwe ne kusu
 どうしてよいかわからないだろうから、

エチルラ ワ エチルラ ワ アイヌ オカ ウシケ ウン エチサプ ヤクン、
 eci=rura wa eci=rura wa aynu oka uske un eci=sap yakun,
 運んで行って、人のいるところへお前たちが下りたなら、

アイヌ オカ ウシケ エチエラムオカ チキ オラウン オロワ
 aynu oka uske eci=eramuoka ciki oraun orowa
 人のいるところがわかったならば、

『タップネ ネ』
 ‘tapne ne’
 『これこれこういうことです』

セコロ ハワシ コロ アイノミ クニ エチイエ ヤクネ
 sekor hawas kor a=i=nomi kuni eci=ye yakne
 と言いながら、私にお祈りするようにお前たちが言って祀ってくれたならば、

アイノミ ヤクネ アエヤイカムイネレ コロ アエチエプンキネ クス ネ ナ。」
 a=i=nomi yakne a=eyaykamuynera kor a=eci=epunkine kusu ne na.”
 私はそれで神格が高まり、私はお前たちを守ってやるだろう」

セコロ ハウエアン テキネ
 sekor hawean tek h_ina
 と言って、

オラ クリ パン テキネ オアラ イサム ルウェ ネ ア プ
 ora kuri pan tek h_ine oar isam ruwe ne a p
 ぱっと姿を消してしまった。

オラ ホッケアン パ アコロ フチ チサ チサ コロ キ アイネ、
 ora hotke=an pa a=kor huci cis a cis a kor ki ayne,
 祖母は泣き続けていて、そのうちに

ホッケアン パ プ、ウエンタラパン アクス
 hotke=an pa p, wentarap=an akusu
 私たちは寝たのだが、夢を見ると、

カムイ ネ クス コラチ アン クル アニネ エネ ハウエアニ。
 kamuy ne kusu koraci an kur an h_ine ene hawean h_i.
 神のようなお方が出てきて次のようにおっしゃった。

「タネ アナクネ ラヤナクン オラ エネ エチライ ヤクン
 “tane anakne ray=an y_akun ora ene eci=ray yakun
 「今、私が死んだら、このようにお前たちが死んだなら、

エネ イキアン ワ クニ カ アエランペウテク カムイ アネ ワ キ プ
 ene iki=an wa kuni ka a=eranpewtek kamuy a=ne wa ki p
 私はどうしてよいかわからないので、

オラウン カムイ アネ ア プ オラ キ ワ クス カムイ ネ ワ クス、
 oraun kamuy a=ne a p ora ki wa kusu kamuy ne wa kusu,
 私は神であるがわからないので、

ケトウペトノ カ アニスク ワ
 ketupetono ka a=nisuk wa
 ハリガネムシの神に頼んで、

タネ アナクネ プリ ウエンクル アッテイネシリ
 tane anakne puri wenkur atteynesir
 もはや素行の悪い者（クマ神）を湿地の国へ、

アコオテレケ ワ イサム ルウェ ネ コロカ

a=kooterke wa isam ruwe ne korka

私は踏みつけて追いやったのであるが、

ネ エネ エチキ ワ アイヌ エチネ(?) クニ カ アエランペウテク クス

ne ene eci=ki wa aynu eci=ne(?) kuni ka a=erampewtek kusu

どのようにしたらお前たちが人間でいられるかもわからない(?)ので、

タップ ニサッタ アン チキ チプ オルン エチコロ ワ アン ペ エチルラ ワ

tap nisatta an ciki cip or un eci=kor wa an pe eci=rura wa

明日になったなら、舟にお前たちの荷物を運び、

オラウン チプ サパ タ エチイアシ ワ エチサプ ヤクネ、

oraun cip sapa ta eci=i=asi wa eci=sap yakne,

舟の頭に私を立てて、川を下れば

サパン アイネ ソ キプカ タ エチサプ ナンコロ ヤクネ

sap=an ayne so kipka ta eci=sap nankor yakne

川を下っていくうちに、滝の上まで来るだろう。そうしたら、

ソ キプカ タ エチサプ チキ オラ コント、

so kipka ta eci=sap ciki ora konto,

滝の上まで下ったら、

エチオカ アナク エチヤプ ワ オラノ エチラブ アイネ

ecioka anak eci=yap wa orano eci=rap ayne

お前たちは岸に上がって、山を下り、

スイ ソ ポク タ エチラブ ヤクン

suy so pok ta eci=rap yakun

そして滝の下まで下りたなら

オラ スイ タン チプ オロ エチウイル ヤク アナクネ

ora suy tan cip or eci=uyru yak anakne

再び舟に乗り、そうすれば

ソレクスワ トカプチ ホントモ コン ニシパ パクノ ニシパ イサム ニシパ
sorekusuwa Tokapci hontomo kor_ nispa pakno nispa isam nispa
 それこそ、十勝川河口の途中にいる首領、比べる者がいない程の物持ち。

ネ パク ケウトウム ピリカ プ ネ オツカイポ カ
ne pak kewtum pirka p ne okkaypo ka
 そこに住む心根の良い者である若者は、

パク ケウトウム ピリカ プ イサム ペ ネ クス、
pak kewtum pirka p isam pe ne kusu,
 他に比べる者がいない程の心根の良い者なので

ポニウネ ヒケ エコロ ヤク アナクネ、
poniwne hike e=kor yak anakne,
 その弟のほうをお前が夫に持てば、

ネプ エチイシトマ ネプ エチコン ルスイ カ ソモ キ クス、
nep eci=isitoma nep eci=kor_ rusuy ka somo ki kusu,
 お前たちは何を恐れることも、何を欲しいとも思わないでいられるので、

ケトゥペトノ エチカシオピウキ クスケライポ
ketupetono eci=kasiopiwki kusukeraypo
 ハリガネムシ（の神）がお前たちを助けてくれたお陰で、

エチシクヌ ルウェ ネ クス、
eci=siknu ruwe ne kusu,
 お前たちは生きることが出来たのだから

オラ ネ タプネ ネ イ エチイエ ヤクネ
ora ne tapne ne h_i eci=ye yakne
 それから、これこれこういうことだということをお前たちは言って、

アイホプニレ ワ アイコレ ヤクネ
a=i=hopunire wa a=i=kore yakne
 私を神の国へ帰してくれるのなら、

オラウン アエチエブンキネ ヤク

oraun a=eci=epunkine yak

私がお前たちを守ってあげるの

ソレクスワ エイリパク ペ イサム ペ エネ クス ネ ナ。

sorekusuwa eirpak pe isam pe e=ne kusu ne na.

それこそ、お前たちは並ぶものがない者になるだろうよ。

ネノ エイキ プ ネ ナ。」

nenno e=iki p ne na.”

そのようにするのだぞ」

セコロ スイ ウェンタラパン、ホッケアン アクス キ アクス

sekor suy wentarap=an, hotke=an akusu ki akusu

という夢を再び見た。寝ていたところ夢をみた。

アスチ カ ネノ ウェンタラプ ヤク (イエ) コッ チサ チサ コロ オラ、

a=suci ka neno wentarap yak (ye) kor_ cis a cis a kor ora,

すると、私の祖母も同じ夢を見たと言って泣きながらいると、

イシムネ ヒケ チプ シネプ アン オカアン ペ ネ ア プ、

isimne hike cip sinep an oka=an pe ne a p,

翌日、私たちの舟が一艘あったのだが、

ネ チプ オルン トゥ アネ スウオプ アン ヒネ

ne cip or un tu ane suwop an hine

その舟の中に細い箱がふたつ入っていて、

オラ カムイ カ ニスク ワ アン ペ ネ プ、

ora kamuy ka nisuk wa an pe ne p,

(家の)神に頼まれたことだから

ネア カムイ チプ サパ タ アシ ヒネ

nea kamuy cip sapa ta asi hine

その神を舟の頭に立て、

オラウン アシヌマ アナクネ チプ オソツ タ たか

oraun asinuma anakne cip osor_ ta TAKA

私は舟の艫でなくて、

オラ チプ オツ タ オカアン。

ora cip or_ ta oka=an.

舟に乗った。

ソモ チポアナッカ チポアン ペ ネ セコロ ウェンタラパン ア プ

somo cipo=an y_akka cipo=an pe ne sekor wentarap=an a p

私たちが舟を漕がなくても舟は進むぞと夢に見たが、

キ イネ オラノ ネア チプ サン アイネ ソンノ カ ポロ ソ アニネ、

ki h_ine orano nea cip san ayne sonno ka poro so an h_ine,

その通りになり、舟が川を下って行くと、本当に大きな滝があった。

ネ ソ キプカ タ ネア チプ ヤン ヒ クス

ne so kipka ta nea cip yan hi kusu

その滝の上で、その舟が岸についたので、

オラ アスチ トウラ ヤパニネ

ora a=suci tura yap=an h_ine

祖母と一緒に上陸し、

オラノ ヌプリ コトロ ペカ イキアン アイネ ラパン ヤクン、

orano nupuri kotor peka iki=an ayne rap=an yakun,

山の斜面を通過して山を下ると、

「エチラブ ヤクン オラ ネ チプ アナクネ アコロ ワ ラナン ワ

“eci=rap yakun ora ne cip anakne a=kor wa ran=an wa

「お前たちが山を下りたならば、舟は私が持って下りて、

アエチテレ プ ネ クス

a=eci=tere p ne kusu

お前たちを待っているのです、

スイ エチ…… ソ キッポク タ エチラプ チキ オラ エチチポ プ ネ ナ。」

suy eci... so kippok ta eci=rap ciki ora eci=cipo p ne na."

滝の下に下りたならまた舟に乗るのだぞ」

セコロ ハウエアン ペ ネ クス キ イネ、

sekor hawean pe ne kusu ki h_ine,

と（家の神が）言っていたので、そのようにして、

オラノ ラパン アイネ イキアン アイネ

orano rap=an ayne iki=an ayne

それから山からふもとへおり、そして

ソ ポク タ ラパン アクス ネ アコッ チプ ソンノ カ イヤル(?) ヒネ アン。

so pok ta rap=an akusu ne a=kor_ cip sonno ka iyaru(?) hine an.

私は下って行って滝の下へおりると、本当に私の舟があった。

オラ アスチ アナク チサ チサ コロ ネア チプ オロ アフニネ

ora a=suci anak cis a cis a kor nea cip or ahun h_ine

それで私の祖母は泣きながらその舟に入って、私たちは乗った。

オロ タ オカアニネ オラノ ネア チプ サン アイネ

oro ta oka=an h_ine orano nea cip san ayne

それからあの舟は川を下り、そのうちに

インネ コタン アン シリキ イネ コタン ラ タ ネア チプ ヤン ヒネ アン

inne kotan an sirki h_ine kotan ra ta nea cip yan hine an

大きなコタン（村）が見えてきて、その村の下の方に舟が着いた。

ヒネ オカアン アクス トウ ポン メノコ アルケサンパ ヒネ

hine oka=an akusu tu pon menoko arukesanpa hine

そうしていると、ふたりの若い娘が先を争って

サピネ エネ ハウオカイ

sap h_ine ene hawoka h_i

下りて来て、このように言った。

「ホシキ サン クツ トアン チプ オッ タ アン ペ コロ」

“hoski san kur_ toan cip or_ ta an pe kor”

「先に下りた者があの舟にあるものをもらうのよ」

セコロ ハウオカ コロ サプ アクス

sekor hawoka kor sap akusu

と言いながら下りてくると、

ポニウネ ノイネ アン ピリカ メノコ ホシキ ラニネ

poniwne noyne an pirka menoko hoski ran h_inē

年下らしい、美しい女の子が先に下りてきて、

チプ ヤンケ ヒネ ネア チプ エシカリ ヒネ オラノ コント ソレクスワ

cip yanke hine nea cip esikari hine orano konto sorekusuwa

舟を陸に上げ、その舟をつかんだ。今度、それこそ、

「ヒナク ワ アラキ プ アネ ルウエ アン？」

“hinak wa arki p a=ne ruwe an?”

「あなたたちはどこから来たの？」

セコロ ハウエオカ コロ コント アテケ ルイルイパ パ コロ

sekor haweoka kor konto a=teke ruyruypa pa kor

と言いながら、今度、私の手をなでさすり、

オラ ヘメシパ パ アクス、

ora hemespa pa akusu,

坂を上がって（戻って）行った。

オラ オヌイタサ ソレクスワ アイヌ カ ウタラパケ ポロメノコ カ ラン。

ora onuytasa sorekusuwa aynu ka utarpake poromenoko ka ran.

すると入れ替わりに、それこそ、立派な頭領、大人の女性も下りてきた。

ネ オッカヨ ネ ポロクル カ ラン。オッカイポ カ ラピネ

ne okkayo ne porokur ka ran. okkaypo ka rap h_inē

男も老人も下りてきた。青年（男）たちも下りてきた。

コント ソレクスワ アウヌフ たか アスチ カシ タ チシ パ コロ
konto sorekusuwa a=unuhu TAKA a=suci kasi ta cis pa kor
 今度それこそ、私の母親ではなくて、私の祖母を抱きしめて泣いた。

オラ コントアスチ
ora konto a=suci
 今度、私の祖母は

「タップネ タップネ ネ ワ ネ イキパアニ カ イサム アイネ
“tapne tapne ne wa ne ikipa=an h_i ka isam ayne
 「こうこうで、どうしようもなかったのだが、

タ カムイ イルラ ワ サパン ルウェ ネ。」
ta kamuy i=rura wa sap=an ruwe ne.”
 このように神が私たちを運んでくれて、山から下りてきたのだ」

セコロ ハウエアン オラ ネア チセコロカムイ ネ オンネクル アニ ワ
sekor hawean ora nea cisekorkamuy ne onnekur ani wa
 と言うと、その「家を司る神」を老人が手に持ち、

ネア トゥ アネ スウオプ ウコセ ヒネ アシケ アセ イネ イワカニネ
nea tu ane suwop ukose hine a=sike a=se h_ine iwak=an h_ine
 ふたつの細い箱を一緒に背負って、私たちは荷物を背負って家に戻った。

ネア オンネクル…… ネ インネ コタン ポロ コタン アン
nea onnekur... ne inne kotan poro kotan an
 その大勢の村、大きな村、

コタン ノシキ タ パイエアン アクス オラノ
kotan noski ta paye=an akusu orano
 村の真ん中へ行くと、

ソレクスワ オッカイポ カ ウタラパケ トゥプ アニネ
sorekusuwa okkaypo ka utarpake tup an h_ine
 それこそ、若者と言っても立派な首領がふたりいて、

オロワ ラブ ポンメノコ ウタン ネ ロコカ アン

orowa rap ponmenoko utar_ ne rokoka an

(さっき) 下りてきた娘たちと思われる者たちもいる。

オラノ エアラキンネ イコエヤイコブンテク パ コロ

orano earkinne i=koeyaykopuntek pa kor

そして私たちのことをとても喜んでくれて、

オラ アスチ カシ タ チシ パ コロ オラノ オロ タ オカアン アクス

ora a=suci kasi ta cis pa kor orano oro ta oka=an akusu

私の祖母を抱いて泣いてくれていて、それからそこに暮らしていると、

ネア オンネクル エネ ハウエアニ。

nea onnekur ene hawean h_i.

あの年寄りがこのように言った。

「タップネ ネ ハウエ ネ オラウン ネイ パク イコヤントネ パ アクン

“tapne ne hawe ne oraun ney pak i=koyantone pa y_akun

「そういうことであれば、いつまでも私の家に滞在するのも

エランペカマンパ クス

erampekamampa kusu

気づまりだろうから、

シンナ……… ポン アポホ タン ポンメノコ コロ ワ シンナ オカ。

sinna... pon a=poho tan ponmenoko kor wa sinna oka.

下の息子はこの娘を嫁にして別の家に暮らさない。

アコロ ワ アン ペ ウパクノ ウコウサライエ ワ

a=kor wa an pe upakno ukousaraye wa

私の財産を半分に分けて、

タン ポロ アポホ アイヌコロ ワ イトゥラアン

tan poro a=poho aynukor wa itura=an

大きい息子も結婚して、私と一緒に暮らし、

オラ アマツネポウタリ カ アイヌコロ ワ
 ora a=matnepoutari ka aynukor wa
 娘たちも結婚して

シンナ シンナ オカ ヤク ピリカ。」
 sinna sinna oka yak pirka.”
 それぞれ別の家で暮らさない」

セコロ カネ ハウエアン
 sekor kane hawean
 と言った。

イネ コント ネロク トウ ポンメノコ カ アイヌコロ ワ シンネ オカ。
 h_ine konto nerok tu ponmenoko ka aynukor wa sinne oka.
 そして、今度、あのふたりの娘も結婚して、別に暮らしている。

ネロク オツカイポ ウタラ キヤンネ ヒケ
 nerok okkaypo utar kiyanne hike
 件（くだん）の若者たちも年上の者は

ピリカ メノコ コロ ワ シンナ アン。
 pirka menoko kor wa sinna an.
 美しい女性を妻にして別に暮らし、

ネア ポニウネ イケ ピリカ チセ ポロ チセ カリネ
 nea poniwne h_ike pirka cise poro cise kar h_ine
 弟のほうは立派な家、大きな家を建てて、

オロ タ ネア アコロ トウ アネ スウオブ
 oro ta nea a=kor tu ane suwop
 その私が持っているふたつの細い箱と、

ネア アコロ カムイ トウラノ アエオクテ イネ オラ ネア
 nea a=kor kamuy turano a=eokte h_ine ora nea
 私の家の守り神を一緒壁に掛けて、それからその、

コント ネア カムイホプニ

konto nea kamuyhopuni

今度、その（家の守り）神を送った。

「タネ シニウカアン オホンノ アナン ワ シニウカアン クス

“tane siniwka=an ohonno an=an wa siniwka=an kusu

「もう私は疲れた。長いこと（人間の世界に）いて、私は疲れたので、

アイホプニレ ヤク カムイ オロ ワ アエチエプンキネ ヤク アナク

a=i=hopunire yak kamuy or wa a=eci=epunkine yak anak

私を送ってくれたなら、神の世界から私がお前たちを守ってやるから、

ネプ エチエシリキラプ カ ソモ キ プ ネ ナ。」

nep eci=esirkirap ka somo ki p ne na.”

そうすればお前たちは何に困ることもないぞ」

セコロ ウエンタラパン ペ ネ ヒネ ネノ ハウエアナン アクス

sekor wentarap=an pe ne hine neno hawean=an akusu

と、私は夢を見て、そのことを話すと、

オラ ネア オンネクル ネノ ネア カムイ カムイホプニ クニ

ora nea onnekur neno nea kamuy kamuyhopuni kuni

あの年寄が、その通りに家の守り神を、

オッカシタ ホプニレ イネ オラ

okkasta hopunire h_inine ora

通常以上に立派に神の国へ送り、

アシリカムイ スイ ニスキネ アウニ タ アン ワ

asirkamuy suy nisuk h_inine a=uni ta an wa

新しい神を再び頼んで私の家に置き、私たちは暮らしていた。

オラノ オカアン ワ ネプ アエ ルスイ

orano oka=an wa nep a=erusu

何を食べたいとも

ネプ アコン ルスイ ソモ キ ノ オカアン ルウェ ネ アイネ、
nep a=kor_ rusuy somo ki no oka=an ruwe ne ayne,
 何を欲しいとも思わないで暮らしているのである。

ラポッケ タ ネア サケコラン コロ
rapokke ta nea sakekor=an kor
 その間、お酒を作ると、

ケトゥペトノ アパセノミ ヒ アイェ コロ オカアン ワ、
ketupetono a=pasenomi hi a=ye kor oka=an wa,
 ハリガネムシの神へ私は尊いお祈りをしますよ、と言いながら暮らしていて、

アスチ アナク ネイ タ ヌペ サク シリ カ イサム コロ オカアン アイネ
a=suci anak ney ta nupe sak siri ka isam kor oka=an ayne
 祖母は涙が乾く様子もなく暮らしていたが、そのうちに

ポコラン マ イコイヨマップ コロ オカアン アイネ
pokor=an w_a i=koiomap kor oka=an ayne
 私は子供を産み、祖母はその子供を可愛がりながら暮らしている。

アポウタリ カラ ペ カ エ コロ アン アイネ
a=poutari kar pe ka e kor an ayne
 私の子供たちが作ったものを（祖母は）食べていて、

ラポッケ アピリカオンネレ オカケヘ タ
rapokke a=pirkaonnere okakehe ta
 そうしながら天寿をまっとうさせたその後に、

ネア アホク パク イソンクル イサム イソンクン ネ ワ、
nea a=hoku pak isonkur isam isonkur_ ne wa,
 私の夫ほどの狩りの名人はいないので、

ネプ アエ ルスイ ネプ アコン ルスイ ソモ キ ノ オカアン アイネ
nep a=e rusuy nep a=kor_ rusuy somo ki no oka=an ayne
 何を食べたいとも何を欲しいとも思わないでずっと暮らしていて

オンネ シンネ クス アイェ セコロ。

onne sinne kusu a=ye sekor.

年をとったので、(そのことを) 語りました、と。

(萱野茂：ああ、いいウエペケレでしたね)

(萱野茂：ああ、いい **uepeker** でしたね)

(萱野茂：ああ、いい散文説話でしたね)

【注】

[1] yayko- 「自分に」 cupcise 「日輪」 anuanu 「を置く・置く」

[2] 「母親」は「祖母」の誤り。

[3] ポンラム ワノ ponram wano はポンラム オロ ワノ ponram oro wano か。

24-1 日付 テープ内容 てしめさん紹介

解説：萱野茂

萱野：えー昭和 44 年 4 月です。テープ番号 24 号。黒川てしめさんの uepeker
〔散文説話〕です。

24-2 ウエペケレ

「アレヘ パシクルイワ」

カラス山という名

語り：黒川てしめ

パクノ ニシパ イサム ニシパ アネ ワ アナン ペ ネ コロカ
 pakno nispa isam nispa a=ne wa an=an pe ne korka

これほどの長者はいないほどの長者で私はあって、暮らしていたのだが

トゥ ポ アウココロ イネ アナン。

tu po a=ukokor h_inē an=an.

二人の子どもを持っていました。

カ…… (?) オラ アコロ ソンタク^[1] パロ アオイキ カ キ ルスイ クス
 ka...(?) ora a=kor sontak paro a=oyki ka ki rusuy kusu

そうして、私の子どもを養いたいの、

コロ…… アコロ イシカラ プトゥ タ

kor... a=kor Iskar putu ta

石狩の河口にある

エアラキンネ りょうば ピリカ イタク^[2] (?) キ プ ネ アクス
 earkinne RYOBA pirka itak ki p ne akusu

漁場は非常に良いと言う話で、

オロ タ サナナクシ コント アイエイワンケ ワ

oro ta san=an akus konto a=i=eywanke wa

私はそこに降りていき今度、私は雇われて

ネプ カ アコロ ソン ウタラ アイクラ ポカ キ カ エアイカプ ノ ハワシ ワ
 nep ka a=kor son utar a=ikra poka ki ka eaykap no hawas wa

何も私のいとし子たちに送ることも出来ないという話で、

ネプ カ アポ…… イクラ ヘネ キ カ ソモ キ ノ アナナコロカ
 nep ka apo... ikra hene ki ka somo ki no an=an a korka
 何も送ることが出来ずにいたけれども、

シネアンタ コント ヤイキラレアニネ エカニネ アウニ タ エカン
 sineanta konto yaykirare=an h_inē ek=an h_inē a=uni ta ek=an
 ある時に今度は逃げて、私に来て、家に(戻って)来た。

トゥ ポ アウココロ ワ イキアニネ ア プ、
 tu po a=ukokor wa iki=an h_inē a p,
 私は二人の子供を持ち、そのようにしてたが、

タネ ネ ワ…… オケレバ^[3] (?) エカン ア
 tane ne wa... okerpa (?) ek=an w_a
 もう、仕事を終えて (?) 私に来て

アマチ エアラキンネ エヤイコブンテク コロカ
 a=maci earkinne eyaykopuntek korka
 妻はとてもそのことを喜んだが

「エアラキンネ シサム ウェン ワ ヤイキラレアン ワ エカン シリ ネ ア プ
 “earkinne sisam wen wa yaykirare=an wa ek=an siri ne a p
 「とても和人がひどくて、一目散に逃げて来たので、

ナニ スイ アイオカフナラ ナンコロ クシ ネン カ ヤイキラレアン するべ」
 nani suy a=i=okahunara nankor kus nen ka yaykirare=an SURUBE”
 またすぐ私の後を探されるだろうからどこかへ逃げよう」

セコロ ハウエアナン コロ コント アコロ ワ アン
 sekor hawean=an kor konto a=kor wa an
 と私が言いながら私が持っている、

アミ パ プ ヘム アミ パ プ ヘム……^[4](?) アエヤイラメコテ プ アセ^[5]。
 a=mi pa p hem a=mi pa p hem... a=eyayramekote p a=se.
 私が着るものも、私(たち)が着るものも…… (?), また生活用品も背負った。

アマチヒ カ ミ パ プ ネ ヤ セ ヒネ ポニケ アシカオマレ

a=macihi ka mi pa p ne ya se hine pon hike a=sikaomare

私の妻も着るものなどを背負って、小さい方を私が背負って、

オラノ ポロ ヒケヘ テケ アニ ウエン ウシケ タ カイ したり キ コロ

orano poro hikehe teke ani wen uske ta kay SITARI ki kor

それから大きいほうは妻が手を取った。歩きにくいところではおぶったりしつつ、

オラノ ペツ トウラシ パイエアン アイネ

orano pet turasi paye=an ayne

それから川沿いに上手へ行ったあげく、

ヒナク タ キム タ パイエアン コロ

hinak ta kim ta paye=an kor

どこか山へ行くと

ポロ ヌプリ エン (?) タ アニネ

poro nupuri en(?) ta an h_ine

大きな山にある木 (?),

ポキ タ (?) シコタンコン^[6] ランコ アニネ

poki ta(?) sikotankor_ ranko an h_ine

下に太いカツラの大木があり

ネ ランコ チョロポッケ…… ケセ^[7] チセ オンナイ ネノ シラン ペ ネ イケ

ne ranko corpokke... kese cise onnay neno siran pe ne h_ike

そのカツラの下…、その端（木の根元）が家の中と同じような様子であったので

コント ネ ランコ トノ マッ アコロ ヤ オ ピ^[8] (?) アイェ コロ

konto ne ranko tonono mat a=kor ya o p h_i (?) a=ye kor

今度、そのカツラの女神様に私の持つ網を置くことを (?) 私は言いながら、

オラノ オロ タ アナン アイネ オロ タ オカアン オラノ オロワ アナン ワ

orano oro ta an=an ayne oro ta oka=an orano orowa an=an wa

それからそこにいたあげくそこに私はいて、それからそこにいたのであって

イラマンテアン ワ

iramante=an wa

狩猟をして

なんでもいい (?) シッポ カ サク ノ

NANDEMOII(?) sippo ka sak no

なんでもいい (?) 塩もなしに

アイヌ ネプ オカイ ペ ネ ムン カシ キ プ ネ⁹¹ (?) アイネ

aynu nep okay pe ne mun kasi ki p ne(?) ayne

アイヌは何であれ草でお払いをするので、そのあげく

ユク ネ チキ カムイ ネ チキ アエアウナルラ。

yuk ne ciki kamuy ne ciki a=eawnarura.

シカであってもクマであってもたくさん獲ってきた。

アエ コロ オカアン ペ ネ ルウエ ネ アイネ

a=e kor oka=an pe ne ruwe ne ayne

それを食べて暮らしていたので、

ラポッケ タ ポロアン ルウエ ネ イネ アナン ルウエ ネ ア プ

rapokke ta poro=an ruwe ne h_line an=an ruwe ne a p

その間に私(たち)は大きくなって、暮らしていたのだが

(萱野：ナ エハウエへ ポロレ！)

(萱野：na e=hawehe porore!)

(萱野：もっと大きい声で)

ネ アナン ペ ネ ア プ ラポッケ タ

ne an=an pe ne a p rapokke ta

そうして暮らしていたのだが、その間

シネアンタ イエンカシ タ ポロ ヌプリ アン ペ ネ ア プ

sineanta i=enkasi ta poro nupuri an pe ne a p

ある時に私の目の前にそびえる大きな山があるのであって

ネ ヌプリ カ ウン エネ ハワシ。

ne nupri ka un ene hawas h_i.

その山の上からこのような声があった。

「パシクル…… パシクル ハウコロ アウエ アヌ カ ソモ キ ペ ネ ペ

“paskur... paskur hawkor h_awe a=nu ka somo ki pe ne pe

「カラスの鳴く声を聞いたこともなかったのだが

キム タ…… シアン キム タ アナク

kim ta... sian kim ta anak

山奥では

パシクル ハウコロ アウ アヌ カ ソモ ネ。

paskur hawkor h_aw a=nu ka somo ne.

カラスの鳴く声を聞くこともない。

パシクル ハウコロ ハウエ アヌ ペ きつと ネイ タ カ アナン ワ クス

paskur hawkor hawe a=nu pe KITTO ney ta ka an=an wa kusu

カラスが声を出して鳴くのを私は聞いたけれど、きつと、どこかに私（主人公）がいるので

パシクル ハウコロ ハウエ ネ ナンコロ」

paskur hawkor hawe ne nankor”

カラスが鳴いているのだろう」

セコロ ハワシ ハワシ コロ ラブ

sekor hawas hawas kor rap

と（和人が）話しながら下り

「ネンカ ラブ ヤク ピリカ ピリカ」

“nenka rap yak pirka pirka”

「誰かが下りると良いぞ」

セコロ ハワシ ハワシ アクシ

sekor hawas hawas akus

と話すと

「アエニウケシ パ」

“a=eniwkes pa”

「下りられない」

ハウエアシ パ…… ルウエ ネ アクス シネ…… シネプ エネ アワニ。

haweas pa... ruwe ne akusu sine... sinep ene h_awan h_i.

と話していたのであるが、あるものがこのように話した。

「タ ラプ ウン…… ヤクン

“ta rap un... yakun

「そんなこと言うならば、

アシヌマ^[10] ヤクン ヤイカタ ラン ネク ラン ネク」

asinuma yakun yaykata ran nek ran nek”

そいつが、自分で下りろ」

セコロ カネ ハウエアシ ルウエ ネ アクス

sekor kane haweas ruwe ne akusu

と会話していたのであるが

インカラン オポソ キ アクス ネ ヌプリ コトロ

inkar=an oposo ki akusu ne nupuri kotoro

私が（辺りを）隙間越しに見まわしてみると、その山の斜面に

ウエンクッオンネ ウシケ アン ペ ネ ペ エウン

wenkutorne uske an pe ne pe eun

絶壁から、そちらに向かって

ネ ヌプリ キプカ ウン エネ ハウエ アシ クシ

ne nupuri kipka un ene hawe as kus

その山の上でこのような声がするので

オラノ ネア ランコ トノ マッ アノンノイタク

orano nea ranko tono mat a=nonnoytak

それから、そのカツラの女神に私は祈り、

イノンノイタカン コロ アナナ プ ヤクン

inonnoytak=an kor an=an a p yakun

祈り言葉を唱えていたら、そうしたら、

「シヌマ ラン ネク ラン ネク」

“sinuma ran nek ran nek”

「そいつが下りろ」

セコロ ハワシ パシクル イワ セコン レヘ アン ペ ネ ア プ

sekor hawas paskur iwa sekor_ rehe an pe ne a p

と、そうする声がして、カラス山という名の山だが、

「ネ ワ アン ペ ラン ヤクン アシヌマ ラナン クス ネ ナ」

“ne wa an pe ran yakun asinuma ran=an kusu ne na “

「そいつがを下りたら私も下りるのであるのだが」

セコロ ハウエアン コロ ラン ハウエ アシ ルウエ ネ ヒネ ラナクス

sekor hawean kor ran hawe as ruwe ne hine ran akusu

と話しながら下りる声がして下りると

コ…… (?) ハンケノ ラン テク コン ネア ピラ ルッコサヌ ヒネ

ko...(?) hankeno ran tek kor_ nea pira rutkosanu hine

近くに下りると、その崖が崩れ

ナニ ネ しっかり トイ トウム オシマ ワ イサム ルウエ ネ イネ アクシ

nani ne SIKKARI toy tum osma wa isam ruwe ne h_ine akus

すぐにすっかり土の中に落ちていなくなってしまうと、

オラ コント ネプ ハウ カ イサム ネプム カ イサム ス……

ora konto nep haw ka isam nep h_um ka isam su...

そして今度は、何の声もしない何の気配もない。

コント オピッタ ホシッパ ノイネ ネプ ハウ カ イサム ヒ クス

konto opitta hosippa noyne nep haw ka isam hi kusu

今度は、皆帰ったらしく、何の声もしないので、

オラ コント

ora konto

そして、今度は

「タ エタ サパン ロ」

“**ta h_eta sap=an ro**”

「さあ下りよう」

セコロ ハウエアナン コロ

sekor hawean=an kor

と私は言い、

オラ スイ アコロ ソン アク…… ウタラ

ora suy a=kor son ak... utar

すぐに私の子どもたちを

アカイ ウサ キ ワ ウユイケ (?) アセ ヒネ

a=kay usa ki wa uyuyke(?) a=se hine

背負いもし、

オラノ サパニネ アウニ タ オカアン ヒネ オラ……

orano sap=an h_inine a=uni ta oka=an hine ora...

それから私達は下りて、家において

オロワ スイ イシカラ プトゥ タ サナナクシ

orowa suy Iskar putu ta san=an akus

そこから、また石狩の河口に私が下りると

「エアラキンネ エ…… イケムヌ」

“**earkinne e... i=kemnu**”

「本当に気の毒だ」

アウココカラバ^[11]

a=ukokokarpa

と皆（和人たち）に囲まれて

「エネ アエランポキウエン エネ アエケムヌ フミ アナ プ
 “ene a=e=erampokiwen ene a=e=kemnu humi an a p
 そのようにかわいそうに気の毒に思っていたのだが、

エネ イキアン」
 ene iki=an”
 あのように（ひどい仕打ちを）した」

セコロ ハウオカ コロ キ パ ヒネ コント オロ タ オカアン ワ
 sekor hawoka kor ki pa hine konto oro ta oka=an wa
 と話しながら皆そうして、そこにいて

オロワ エキムネアン ワ ユク ネ チキ カムイ ネ チキ
 orowa ekimne=an wa yuk ne ciki kamuy ne ciki
 それから山に行つて鹿であってもクマであっても

アルラ したり キ コロ ネ ルシヒ アセ ワ
 a=rura SITARI ki kor ne rusihi a=se wa
 私が運んだりしながら、その毛皮を背負つて

サナン コロ キ ワ エアラキンネ イウコエランポキウエン パ ア……
 san=an kor ki wa earkinne i=ukoerampokiwen pa a…
 浜の方へ行きながらして、とてもかわいそうに思われながら、

オラノ アナクネ ネア イ ネノ シサム ウエン カ ソモ キ ヒネ
 orano anakne nea h_i neno sisam wen ka somo ki hine
 それからあの時のように悪い和人もなく

シサムコマウコピリカアン エアラキンネ キ ワ
 sisamkomawkopirka=an earkinne ki wa
 和人との付き合いも良好になって、そうして

オラノ アウタリ ヘネ イエウコペカペカ パ ワ
 orano a=utari hene i=ukopekapeka pa wa
 そして私の仲間もまた、みんなで私を大事にして

ネプ アエシリキラプ ネプ アコン ルスイ ソモ キ ノ
 nep a=esirkirap nep a=kor_rusuy somo ki no
 何不自由することなく

オラ スイ ポコラン ワ アポ ウタリ オカ ルウェ ネ ワ
 ora suy pokor=an wa a=po utari oka ruwe ne wa
 そしてまた、私は子供ができて、子どもたちもいて

オラノ エアシリ ポ パロイキ マツ パロイキ
 orano easir po paroyki mat paroyki
 そして、それこそ本当に子供と妻に食べ物を与えて養うことを

アキ コロ アナン アイネ タネ オンネアン ルウェ エネ アニ ネ クス
 a=ki kor an=an ayne tane onne=an ruwe ene an_hi ne kusu
 私はしながらいたので、今は年老いてそのようにあるので

アポ ウタリ アエパシクマ セコロ。
 a=po utari a=epaskuma sekor.
 私の息子たちに言い伝えを語り伝えるのだと。

【注】

- [1] 音は tuntak のように聞こえるが、sontak と解釈した。
- [2] RYOPA pirka itak と聞こえるが文法的には破格である。
- [3] ne wa... okerpa と聞えるか？ 私（主人公）が仕事を終えて帰って来たと妻が思って妻が喜んだという意味合いで言っていると思われる。
- [4] a=mi pa p hem... と聞えるか？
- [5] 音は asi のように聞こえるが、a=se と解釈した。
- [6] sikotankor の可能性も考えた。si-kotan-kor-ni で太い樹木（『萱野辞典』）
- [7] 木の根元という意味で kese を使っているか？
- [8] a=kor ya o p h_i と聞えるが、文脈とつながっていない。意義不詳。
- [9] mun kasi ki p ne と聞えるが、mune kasi kik (pe) ne 「草でお払いをした」と解した。
- [10] asinuma 「私」と聞えるが、文脈から sinuma 「彼・彼女」と解した。
- [11] ここで私(主人公)を取り囲んでいる和人は、山まで主人公を追いかけて来た和人(役人)ではなく、私(主人公)と共に漁場で下働きしていた和人たちと思われる。

24-3 ウエペケレ

「ケレプノイエ ケレプトウルセ」

トリカブトとオオトリカブト

語り：黒川てしめ

アウヌフ アン、アオナハ アニネ オカアニケ
 a=unuhu an, a=onaha an h_ine oka=an h_ike
 母がいて、父がいて、私達は暮らしていましたが、

イシカラ エムコ ウン アノトクイエ^[1] ネ ニシパ アン ペ ネ ワ
 Iskar emko un anotokuye ne nispa an pe ne wa
 石狩の中ほどに真の友達である旦那がいて、

ポロ アソウクテ キ ワ アン ペ ネ ア プ、
 poro a=soukte ki wa an pe ne a p,
 その人にたくさん借財されて（貸し付けて）いたもので、

「アポホ、エアラパ ワ アタイエ エタク ワ ヘム…… エコラク ピリカ ナ。」
 “a=poho, e=arpa wa ataye e=tak wa hem... e=kor y_ak pirka na.”
 「我が子よ、行って貸した物をお前がとって、お前が持つと良い。」

セコロ シネ ポ ネ プ アネ ワ アナン ペ イイエ
 sekor sine po ne p a=ne wa an=an pe i=ye
 と私はひとりっ子で暮らしていたのですが、そう言われ、

「タ ネノ タ ネノ パイエアン コツ トウナシ ペ ネ ナ。」
 “ta neno ta neno paye=an kor_ tunas pe ne na.”
 「このように行くと早いからね。」

セコロ イイエ ヒネ オラノ アラパアニケ
 sekor i=ye hine orano arpa=an h_ike
 と親は私に言って、それで私は行くことにしました。

シネ ナイ トウラシ イウオツ トウラシ アラパアニケ…… アイネ
 sine nay turasi iwor_ turasi arpa=an h_ike... ayne
 ひとつの沢をのぼり、獵場に沿ってのぼって行き、

コント オヤク ワ エク ペツ ペツ ルオロケ アオラン コロ オラ
 konto oyak wa ek pet pet ruorke a=oran kor ora
 それから、よそからのぼって来る川の川筋に沿って下りて行くと

レウシアン クス レウシエトコイキアニネ アナン ルウェ ネ ア プ、
 rewsian kusu rewsietokoyki=an h_ine an=an ruwe ne a p,
 私はひと休みをするために宿泊の準備をしました。

シリクンネ アクス オロ タ アイヌ エクム イオシ アシネ
 sirkunne akusu oro ta aynu ek h_um i=os as h_ine
 夜になると、そこに後ろから人が来た音がして、

ウ…… フンナ フミ アン セコロ ヤイヌアン コロ アナナ プ、
 u... hunna humi an sekoyaynu=an kor an=an a p,
 誰だろうと私は思っていたが、

ア…… エキネ シムシシカ ヒ クス
 a... ek h_ine simusiska hi kusu
 来て来訪を知らせる音をたてたので、

「ネネネ ネ ヤッカ アフン。」
 “nen h_ene ne yakka ahun.”
 「どなたさまか分かりませんがお入りなさい。」

セコロ ハウエ アナナクシ、オラ アフン ルウェ ネ アクス
 sekoyahawean=an akusu, ora ahun ruwe ne akusu
 と私が言ったところ、入って来て、

カムイ ネ クシ コラチ アン メノコ アフニネ
 kamuy ne kus koraci an menoko ahun h_ine
 神様であるような女性が入って来て、

モノ ア イネ ウオ…… オ…… オリパク ワ アナイネ
 mono a h_ine wo... o... oripak wa an ayne
 座って畏まっている、

オラ エネ ハウエアニ、
 ora ene hawean h_i,
 それからこのように言いました。

「タン アイヌ ニシパ エネ ワ イタカナク エイヌ カトウ エネ アニ、
 “tan aynu nispa e=ne wa itak=an y_ak e=inu katu ene an h_i,
 「旦那様、私がこれから述べますことをお聞きください。

タ トウラシ エヘメス ナイ ポロ コッ ヘ オマ ワ
 ta turasi e=hemesu nay poro kot he oma wa
 この、あなたがのぼってきた沢は大きな窪地に入っていて、

カリ エヘメス ナイ、ナイ アラケ ワ ケレプノイエ アサハ ネ
 kari e=hemesu nay, nay arke wa kerepnoye a=saha ne
 あなたが通ってきた沢の片側のトリカブトは私の姉です。

アシ…… ナイ アラケ ワ アシヌマ ケレプトウルセ アネ ワ
 as... nay arke wa asinuma kerepturse a=ne wa
 沢のもう片側のオオトリカブトが私であって、

オカアン ペ ネ イケ ネ ケレプノイエ ネ……
 oka=an pe ne h_ike ne kerepnoye ne...
 私達は暮らしていましたが、

エエク ワ インカラニケ パクノ ケウトウム ピリカ プ イサム ペ エネ ワ
 e=ek wa inkar=an h_ike pakno kewtumu pirka p isam pe e=ne wa
 あなたがやって来ました。私が見るに、あなたは比類のない心の良さをお持ちだ

アヌカラ ペ オラ コント エエク ワ アヌカリケ
 a=nukar pe ora konto e=ek wa a=nukar h_ike
 と見えました。さてそれから、あなたがやって来たのを私が見て

エエク テクサマ アヌカリケ ソレクスワ
e=ek teksama wa a=nukar h_ike sorekusuwa
 あなたが来た側を私が見たのですが、それはそれは、

アエニソマプ アエニソマプ ワ クス エカン カトウ エネ アニ
a=enisomap a=enisomap wa kusu ek=an katu ene an h_i
 心配してやって来たのは、このようなことです。

エ…… エサナクン タ オロ タ エウン エサン コタン オッ タ
e... e=san y_akun ta oro ta eun e=san kotan or_ta
 あなたが（川を）下ると、そこのお前が下りる村には、

コッ トモ ウンノ シチクニ トウマム ネノ アン ペ
kot tomo unno sicikuni tumam neno an pe
 窪地に向かって木の幹のようなものが

ペッ トモトウイエ ワ パラカヤシテク^[2] ワ ヤン コロ
pet tomotuye wa parkayastek wa yan kor
 川を跨いで大口を開いていて、それが陸に上がってくると、

エカリ マチヒ ピリカプ、ポホ ピリカプ エカリ アオスラ。
ekari macihi pirkap, poho pirkap ekari a=osura.
 そいつに向かって、女、子供の良いものが投げられます。

パロホ ウン アオスラ コロ オラ ナニ コロワ…… コロ シエタイエ、
paroho un a=osura kor ora nani korwa... kor sietaye,
 その口に投げられると、そいつはすぐに女、子供を持って退いていき、

ケシパ アン コロ キ コロ シラナイネ
kespa an kor ki kor siran ayne
 毎年そうしながらいるようです。そのうちに

エアラキンネ アイヌオケレ^[3]アン ノイネ シリキ ペ
earkinne aynuokere=an noyne sirki pe
 全く人がいなくなってしまうようなのですが、

オロワノ エウン エサヌシケ タ トウ マツネポ アン、
orowano eun e=san uske ta tu matnepo an,
 お前が下りるところに二人の娘と

トウ オッカヨ アン ペ
tu okkayo an pe
 二人の男がおり、

ネ メノコ ポニウネ イケ コロ シレトク アエフナラ プ ネ ペ
ne menoko poniwne h_ike kor siretok a=ehunara p ne pe
 その女の年下のほうの美貌は人が惜しがるものですが、

ネワアンペ エ…… パロホ ウン アオスラ クニ ア…… アエコラムコロ ヒネ
newaanpe e... paroho un a=osura kuni a... a=ekoramkor hine
 そうして、その口に投げ入れられることを相談されて、

パロ ウン アオスラ ノイネ ネ ルウェ ネ クス
paro un a=osura noyne ne ruwe ne kusu
 口に投げられそうなので、

ヘタク カ (?) アエトゥラ ワ サナン チキ…… オラン イネ サナナ プ、
hetak ka(?) a=e=tura wa san=an ciki... oran h_ine san=an a p,
 XXX、私はお前と一緒に下ります。そうしたら、

イエ パ ナンコロ ルウェ ネ クス サシ…… サパン チキ
i=e pa nankor ruwe ne kusu sas... sap=an ciki
 そいつは私達を食うつもりでしょうから、下りたら

『アトゥレシ エ ヤクン アトゥレシヒ ネ クシ ネ ネク。』
‘a=turesi e yakun a=turesihi ne kus ne nek’
 『食べるなら、私の妹にきなさい。』

セコロ ハ…… エハウエアン コロ イエシカリ ワ
sekor ha... e=hawean kor i=esikari wa
 とあなたは言い、私を捕まえて、

ネ カミアシ パロホ ウン エ…… イオスラ^[4] ヤクネ ピリカ ナ。」
ne kamias paroho un e... i=osura yakne pirka na.
 あなたはその化け物の口へ私をいれたらいいのです。」

セコロ カネ ハウエアン ルウェ ネ イネ
sekor kane hawean ruwe ne h_ine
 と（オオトリカブトの女神は）言うのでした。

オンカミアニネ オラ レウシアナ イネ
onkami=an h_ine ora rewsu=an a h_ine
 それで、私は拝んでから、泊まったのでした。

イシムネ イケ コント ウトゥラアニネ オロワノ サパニネ
isimne h_ike konto utura=an h_ine orowano sap=an h_ine
 翌日、私達は一緒に連れだって下りて、

インネ コタン ポロ コタナン コタン ソイ アクシ、
inne kotan poro kotan an kotan soy a=kus,
 人口の多い村、大きい村の家々の前を通り、

コタン ノシキ タ モシリ パク チセ ソイケ タ シムシシカアナクシ
kotan noski ta mosir pak cise soyke ta simsiska=an akus
 村の真ん中の島ほど大きな家の前で、私は咳払いをすると、

ピリカ メノコ ソイネ、イアフンテ クス イエ、
pirka menoko soyne, i=ahunte kusu ye,
 美しい女性が外へ出て、私達に入るように言い、

アフパン ルウェ ネ…… アフン ルウェ ネ アクス
ahup=an ruwe ne... ahun ruwe ne akusu
 私達は入ったところ、

オッカイポ カ ウタラパケ トウン アン トウ ポン メノコ アン イネ
okkaypo ka utarpake tun an tu pon menoko an h_ine
 若者のなかでも立派なお二方と二人の若い娘がおりました。

「オカアン ルウェ ネ イネ

“oka=an ruwe ne h_inē

「私達は暮らしていて、

タップネ カネ アオナ イイエ ワ ソアタイタカン クス エカン。」

tapne kane a=ona i=ye wa soataytak=an kusu ek=an.”

これこれこうだと私の父親が言うので、私は貸したものをとりに来ました。」

セコロ ハウエアナナクス

sekor hawean=an akusu

と私が言うと、

「エアラキンネ アオナハ

“earkinne a=onaha

「本当に私の父は、

『ヤクン アンノ ソウク ソンノ ソウク アキ プ ネ アクス

‘yakun anno souk sonno souk a=ki p ne akusu

『それなら、たくさん私達は借りたものでありますが、

アエコレ ハウエ ネ。』

a=e=kore hawe ne.’

あなたに返します。』

セコロ ハウエアン コロ オロワ タプネ ネ ハウエ ネ ヤッカ

sekor hawean kor orowa tapne ne hawe ne yakka

と言っていますが、このように言っても、

ニサッタ ネ アナクネ ネ アラウエン カムイ ヘ ネ ヤ

nisatta ne anakne ne arwen kamuy he ne ya

明日になれば、その極悪の神であるのか

ネプ ネ ルウェ ネ ヤ ペツ トモトウイエ コロ

nep ne ruwe ne ya pet tomotuye kor

何であるのかが、川を跨ぎ越したら、

エカリ メノコ ヘネ オッカヨ ヘネ ピリカ マチヒ ピリカ プ カ
ekari menoko hene okkayo hene pirka macihi pirka p ka
 そいつに向かって女も男も、美しい女のよいものも

エコテ ア…… パロホ ウン アオスルパ コロ
ekote a... paroho un a=osurpa kor
 口に投げられると

コノツチュブ⁵ テク ワ ナニ シキル ワ イ…… シエタイェ ワ
konotcupu tek wa nani sikiru wa i... sietaye wa
 そいつはさっと口に入れてすぐ振りかえり、退いて

イサム パテク キ ワ エアラキンネ アイヌオケレアン ノイネ
isam patek ki wa earkinne aynuokere=an noyne
 しまうばかりで、我々は全くもって絶滅してしまうような

シリキ プ ネ ルウエ ネ。」
sirki p ne ruwe ne.”
 状況なのです。」

セコロ ハウオカ。イヨクンヌレアン コロ
sekor hawoka. iokunnure=an kor
 と言います。私は驚き、

オロワ レウシオカアナクス
orowa rewsioka=an akusu
 私達は一夜を過ごして夜が明けると、

アンノ (?) ネア イヨッタ ポン ノイネ アン メノコ
anno(?) nea iyotta pon noyne an menoko
 XXX (?) その一番年下のような女が

チサ チサ コロ アン アイネ ネ シリクンネイワ アナクス
cis a cis a kor an ayne ne sirkunneywa an akusu
 泣きに泣いていて、その夜の明け方になると、

コント ソンノ カ ネ ポン メノコ イサンペシユク ライペシユク
konto sonno ka ne pon menoko isampesiyuk raypesiyuk

やはり本当にその若い女に死装束が

アエカラカリネ パラパラク コロ インネ ウタラ ウウエカリ ウウエカリ
a=ekarkar h_inne parapararak kor inne utar uekari uekari

着せられて、わあわあ泣いています。大勢の人々が集まってきて

テケ アンパ パ インネ ウタラ ペツ サム タ サプ パ ヒ クス
teke anpa pa inne utar pet sam ta sap pa hi kusu

その子の手を引いて、大勢の人々が川の側へ下りたので、

インカラナクス シチプニ トウマム ネノ カネ アン ペ
inkar=an akusu sicipni tumam neno kane an pe

見ると、大きな舟の胴体ほどもあるやつが

ペットモトウイエ シトゥリ ヒネ カシ ペカ チウ(?) ソ ラッキ コロ アン。
pettomotuye situri hine kasi peka ciw(?) so ratki kor an.

川を跨ぎ越して伸びていて、その上を急な(?) 滝が落ちていました。

パラカヤシテキネ アン ルウエ ネ ヒネ
parkayasitek h_inne an ruwe ne hine

そいつは大口を開いて笑っていて、

サパン ヒ クス…… ヤクン
sap=an hi kusu... yakun

私達が下りたら、

「アトゥレシヒ タネエヌネ(?) シンネ ヤクン アトゥレシヒ
“a=turesihi tan enune(?) sinne yakun a=turesihi

「私の妹はこのようなことでしたら(?)、私の妹を

エ…… アコララ クス ネ ア ネ ア。」
e... a=korar kusu ne a ne a.”

もらってもらいましょう。」

セコロ ハウエアナン コロ ネア ポン メノコ アエシカリ ヒネ
sekor hawean=an kor nea pon menoko a=esikari hine
 と私は言いながら、その若い（オオトリカブトの）娘をつかんで

パロ ウン アオスラ アクシ コノツチュプ テキネ
paro un a=osura akus konotcupu tek h_in
 口に投げ入れると、そいつはそれをさっと口に入れて

シエタイェ ルウェ ネ ア プ、シエタイェ アクス
sietaye ruwe ne a p, sietaye akusu
 引っ込んだが、引っ込んで

ナニ コント モム…… ペツ ホントム パクノ シエタイェ コロ
nani konto mom... pet hontom pakno sietaye kor
 すぐに、川の中程まで引っ込むと、

オラノ ネノ モム マ サニ ネノ アヌカラ コロ
orano neno mom w_a san h_i neno a=nukar kor
 そのまま流れて下っていくように見えて、

ピチ ワ サン シリキ ルウェ ネ アクス
pici wa san siriki ruwe ne akusu
 捕えた娘を放して下っていくようでありました。

オラノ…… オロワ エキネ コント エネ ハウエアニ…… アクス
orano... orowa ek h_in konto ene hawean h_i... akusu
 それから、（オオトリカブトの）娘が来て

オラ オカケ アナクス オラ
ora okake an akusu ora
 そうして、一件落着すると

ネア ポン メノコ ミナ カネ アニネ エク ヒネ
nea pon menoko mina kane an h_in ek hine
 その（オオトリカブトの）若い娘が微笑みながら戻ってきました。

オラ ネア ポン メノコ チサ チサ コロ

ora nea pon menoko cis a cis a kor

その（年下の）若い娘が泣きながらいて、

コタノッ タ アラキアニネ オカアン ルウエ ネ アクス

kotan or_ ta arki=an h_ine oka=an ruwe ne akusu

村に私達が戻って暮らしていると、

オロワ ネ ソレクス ワ アイコレ クニ プ

orowa ne sorekusu wa a=i=kore kuni p

それこそ、私にやるもの、

トゥ アタイ シリ レ アタイ シリ アイコレ ルウエ ネ ヤカイエ ヒネ

tu atay siri re atay siri a=i=kore ruwe ne yak a=ye hine

とても高い物を私にやると言われて

ア…… ソ ウク ニシパ キ コロ キ アクス

a... so uk nispa ki kor ki akusu

旦那が借りたものを私は受け取ると、

ネア ポン メノコ ライパラパラク コロ エネ ハウエアニ

nea pon menoko rayparaparak kor ene hawean h_i

その若い娘がわあわあ泣きながら言うことには、

「アン クス シクヌアン ペ ニシパ カムイ ネ クス……

“an kusu siknu=an pe nispa kamuy ne kusu...

「私が生き延びたのは、旦那様のためです。

ワッカ ポカ イエウテッカラ クシ ネ。」

wakka poka i=ewtekkar kus ne”

せめて水汲みにでも私を使ってくださいな」

セコロ ハウエアン コロカ

sekor hawean korka

と言うのですが、

「タップネ ネ コロ ネ メノコ アトゥラ ペ

“tapne ne kor ne menoko a=tura pe

「このようにその娘と私は一緒に連れだって来たのですが、

オラノ アイヌトゥラアン カ エヤイカラプ (?) [6] クス

orano aynutura=an ka eyaykarap(?) kusu

私は人間と連れだって行くことは申し訳ないので (?),

オラノ ネア メノコ タプネ エラ…… ア…… カンナ エカン ワ

orano nea menoko tapne era... a... kanna ek=an wa

その娘はこうしてまた私が来て

アトゥラ クシ ネ クス イオカケ ネ ヤッカ ナニ スイ エカン ペ ネ ナ。」

a=tura kus ne kusu iokake ne yakka nani suy ek=an pe ne na.”

連れて行きます。後になっても、すぐにまた私は来ますから。」

セコロ ハウエアナン コロ ソイエネアニネ

sekor hawean=an kor soyene=an h_inine

と私は言いながら、外に出て、

コント ネア ポン メノコ アトゥラ イネ オラノ

konto nea pon menoko a=tura h_inine orano

その (オオトリカブトの) 若い娘を私は連れて

アウニ タ アラキアニネ たか ネア チセ オッ タ アラキアン イネ

a=uni ta arki=an h_inine TAKA nea cise or_ ta arki=an h_inine

私の家にやってきた…ではなくて、その家にやってきて

オラ…… オロワ アラキアニネ ネア レウシ ウシ タ

ora... orowa arki=an h_inine nea rewsu usi ta

やってきて、その休む場所に

アラキアン ルウェ ネ アクス オラウン エネ ハウエアニ

arki=an ruwe ne akusu oraun ene hawean h_i

やってきたのです。するとその娘が言うことには、

「アサハ アナク ケレプノイエ ネ。

“a=saha anak kerepnoye ne.

「私の姉はトリカブトであり、

アシヌマ アナク ケレプトウルセ アネ ルウエ ネ ヤッカ

asinuma anak kerepturse a=ne ruwe ne yakka

私はオオトリカブトであるのですが、

アシヌマ カ ウェンカス アエヌカリケ

asinuma ka wenkasu a=e=nukar h_ike

私もあなたを見て

ケウトウム ワノ アラムオシマ プ エネ クス

kewtum wano a=ramuosma p e=ne kusu

心から気に入ったものですから、

コント チセ トウラノ サナン ワ エトゥラノ アナン ヤクネ オラニネ

konto cise turano san=an wa e=turano an=an yakne oran h_ine

家ごと私は下りて、あなたと一緒に住んだら、

エコツ クシ ネ メノコ カ エク ワ トウラノ エアン ワ

e=kor_ kus ne menoko ka ek wa turano e=an wa

あなたが結婚する娘もやってきて、一緒に暮らし、

エポコロ、アポホ カ ポコロ シリ エヌカラ パクノ エアナクン

e=pokor, a=poho ka pokor siri e=nukar pakno e=an y_akun

あなたが子どもを持ち、私の子どもも子どもを生むのをあなたが見るまで生きたら、

オラ イオシ エアラパ プ ネ。

ora i=os e=arpa p ne.

私の後を追ってあなたは（天界へ）行くのです。

シノ ウコロ ソンノ ウコロ アキ クス ネ ナ。」

sino ukor sonno ukor a=ki kusu ne na.”

それで本当に私たちは結婚することになりましょう。」

セコロ ハウエアン コロ オラン コント ウコレウシアニネ
sekor hawean kor oran konto ukorewsi=an h_ine

と言います。私達は一緒に泊まり、

オラノ アラキアニネ アオナ オロ タ サナン ワ
orano arki=an h_ine a=ona oro ta san=an wa

それから戻って私の父のところに下りて行き、

オラノ タプネ タプネ タネ タプネ サ…… レ セコロ カ
orano tapne tapne tane tapne sa... re sekor ka

これこれこのようなことだと、

イタカン カ ソモ キ ノ オカアナクス
itak=an ka somo ki no oka=an akusu

私は言うこともなくいと

オロ タ ネア アユピヒ サン ヒネ ア…… ネア オロ タ コント
oro ta nea a=yupihi san hine a... nea oro ta konto

そこに例の兄たちが下りてきて、そこに

ネロク…… ネア ポン メノコ ユプタリ ネア ポン メノコ トウラ ワ
nerok... nea pon menoko yuputari nea pon menoko tura wa

若い娘の兄達が若い娘を連れてきて、

イコロシケ…… アナン クスケライポ
ikorsike... an=an kusukeraypo

宝を背負って……私がいたおかげで

「タネ アナクネ ネ ルウェ ネ。」^[7]

“tane anakne ne ruwe ne.”

「今（の生活）があるのです（？）」

セコロ ハウオカ コロ イコン ニシケ キ ヒネ
sekor hawoka kor ikor_ niske ki hine

と言いながら宝を背負い、

ネア ポン メノコ タラペ ムイエヘ ポロシケ キ ワ サプ パ
 nea pon menoko tarpe muyehe porosike ki wa sap w_a
 その若い娘は莫産を束ねたもの、大きな荷物を持って下りてきて

「アナン クシケライ アトゥレシ シクヌ
 “an=an kuskeray a=turesi siknu.
 「私(?)がいたおかげで、妹は生き延びた

セコロ ハウオ…… アオナ ハウエアン コロ イセレ。」^[8]
 sekor hawo... a=ona hawean kor i=sere.”
 と私の父が言って私に背負させたのです。」

セコロ ハウエアン コロ アオナ ヘコテ ル…… ルツパ イネ オカアナ プ、
 sekor hawean kor a=ona hekote ru... rutpa h_inine oka=an a p,
 と言いながら、私の父の方へ荷物を押しやって、私達は暮らしました。

ラポッケヘ オラ シネ アンチカラ クンネイワ ホプニアナクス
 rapokkehe ora sine ancikar kunneywa hopuni=an akusu
 その間に、ある夜、早朝に起きると、

ヌサ ポクン アペプスマシ クス
 nusa pok un apepus h_um as kusu
 幣の裏手で火がはぜる音がするので、

インカラナクス スプヤ プイロトツケ コロ シラン ヒ クス
 inkar=an akusu supuya puyrototke kor siran hi kusu
 見てみると煙が立っているようで、

オロ タ アラバアナクシ ソレクス ワ ネア メノコ アン ワ
 oro ta arpa=an akus sorekusu wa nea menoko an wa
 そこに行くと、それこそ、その(オオトリカブトの)娘がいて、

タニオイキリ アラパルコ マクナタラ アイネ オロ タ アフナニネ
 tan ioykir arparuko maknatara ayne oro ta ahun=an h_inine
 宝棚の立派なこと、そこに私は入り、

タップネ ネ ヒ オラノ イイ…… クシ…… アコソトゥラシ アクス
 tapne ne hi orano ii... kus... a=kosoturasi akusu
 このようにして、上座に行くと

ホマコチウエ コッチャケ アクシ ロロケ タ アアナクス
 homakociwe kotcake a=kus rorke ta a=an akusu
 娘が後へ下がった前を私は通って上座に座ると、

イオシ コント アウヌフ アオナハ ピリカ シピンパ キ ワ アフパ パ
 i=os konto a=unuhu a=onaha pirka sipinpa ki wa ahup pa
 私の後ろから、私の母と私の父がきれいに身支度をして入って来て

オラノ オンカミ ロク オンカミ ロク コッ タプネ カネ アラパアニ タ
 orano onkami rok onkami rok kor_ tapne kane arpa=an h_i ta
 拝んで拝んでいて、このように私が行って、

タップネ タプネ ネ ヒ アイェ ワ
 tapne tapne ne hi a=ye wa
 こうこうこのようなことだと私が話すと、

アオナウタリ オンカミ ロク オンカミ ロク コロ オカアン ヒネ
 a=onautari onkami rok onkami rok kor oka=an hine
 両親は何度も拝みながら私達は暮らし、

オラウン ネ ポン メノコ エキ ネ イネ オカアン
 oraun ne pon menoko ek h_i ne h_ine oka=an
 それから、その（年下の）若い娘が来たことで、私達は暮らしていました。

オラノ アウトウシテ ワ ネ ポン メノコ アオナウタリ コヤントネ イネ
 orano a=utuste wa ne pon menoko a=onautari koyantone h_ine
 それで、私は2人を妻としてその（年下の）若い娘は私の両親と同居して、

ピリカ メノ…… カムイ メノコ アコヤントネ、シンナ アン ワ
 pirka meno... kamuy menoko a=koyantone, sinna an wa
 （オオトリカブトの）女神は私と同居して、別々に住まい、

ネプ カラッカ ウトゥラ カネ コロ オカ アイネ
 nep kar y_akka utura kane kor oka ayne

その2人の妻は何をするにも一緒であって、

ネア アオナハ オンネ アウヌ カ オンネ オカケ タ
 nea a=onaha onne a=unu ka onne okake ta

その私の父は年をとり、私の母も年をとって亡くなった後は、

ネア メノコ エウン オッカヨ マッカチ アコロ コン
 nea menoko eun okkayo matkaci a=kor kor_

その（オオトリカブトの）娘のほうに男の子と女の子が生まれ、

ネア マッカチ ネ ヒケ ネア アマチ シツテカニレ
 nea matkaci ne hike nea a=maci sittekanire

その女の子のほうは私の（オオトリカブトの）妻が手を取り

カムイ オロアラパ ヒネ オラ ネア メノコ アコロ ワ
 kamuy or oarpa hine ora nea menoko a=kor wa

神様のところ（天界）へ行きました。それから、その（年下の若い）娘を私はめとって

オカアン ルウェ エネ アニ ネ クス
 oka=an ruwe ene an h_i ne kusu

暮らしており、そのようなわけで、

ワ オラ ネア アコロ ヘカチ ポコロ シリ アヌカラ ヤクン オラウン カ……
 wa ora nea a=kor hekaci pokor siri a=nukar yakun oraun ka...

その私の息子に子どもが産まれるのを私は見たので、

「アイヌコロ ワ キ ヤク オラ イオシ アラパ プ
 “aynukor wa ki yak ora i=os arpa p

「敬い従って、息子に子どもが産まれたら、私の後から（天界に）来て、

イトウラ アン ペ ネ ナ。」
 itura=an pe ne na.”

一緒に暮らしましょう。」

セコロ ハウエアン コロ キ コロ オラ オカアン

sekor hawean kor ki kor ora oka=an

とオオトリカブトの女神が言い、私はそのようにして、私達は一緒に暮らしました

セコロ アン タン ウエペケレ……

sekor an tan uepeker…

というこの物語……

【注】

- [1] anotokuye 「真の親友」(『久保寺辞典稿』p. 275)
- [2] par ka yashtek で「大口を開く」(『久保寺辞典稿』p. 201)。
- [3] aynuokere は siokere と同様に「絶滅する」と考えた。
- [4] e… は人称接辞 e= かもしれないが、前の i=esikari に合わせて言いさしと解釈した。
- [5] konotcupu という語形は確認できないが、ko ～に対して、not 顎、cupu すぼめる、で「～を口に入れる」くらいの意味であろうか。
- [6] eyaykarap : 音声はあまりこのようには聞こえない。不明。
- [7] このセリフについては検討を要する。
- [8] ここのセリフについても検討を要する。

24-4 ウエペケレ

「スルクトノ イピリマ」

トリカブトの女神の警告

語り：黒川てしめ

「エアチャ ネ クル アコロ ペテムコ タ アン ワ

“e=aca ne kur a=kor pet emko ta an wa

「お前のおじさんである人は私達の川の奥にいて

エコロ クス ネ ルウエ ネ。

e=kor kusu ne ruwe ne.

お前を育てるつもりでいるのだ。

エウン エアラパ プ ネ ナ」

eun e=arpa p ne na.”

そこへお前はいくのだよ。」

セコロ ア…… アオナ イイエ コロ オカアン ペ ネ イケ

sekor a... a=ona i=ye kor oka=an pe ne h_ike

と父は私に言って私たちは暮らしていたのだが

イカ アラパアン ウシケ タ アラパアン アクス

ika arpa=an uske ta arpa=an akusu

近道し（川を越え（?））たところに、行くと

フナク タ アラパアン コロ パラコトルン エネ ハワシ イ

hunak ta arpa=an kor parakot or un ene hawas h_i

どこかに行くと、広い谷間でこのようなことを聞いた

「タン オツカイポ アラパ テクサマ サモ マク ネ ル アン」

"tan okkaypo arpa teksama samo mak ne ru an."

「この若者が行ったそばにどうしてか（?）足跡がある。」

セコロ カネ ハワシ アクシ

sekor kane hawas akus

と言うと

スイ アラ…… アラ…… フンナ エアラキ ウン エネ ハワシ ヒ アン ア プ
suy ar... ar... hunna earki un ene hawas hi an a p

また誰か来てこう言った

「イペタム^[1] コロ クル ネ アン クル

"ipetam kor kur ne an kur

「人食い刀をもつ者になった者

イペタム エシオカタカク エアシリ ピリカ ルウエ ネ ワ」

ipetam esiokatak y_ak easir pirka ruwe ne wa"

人食い刀が後ろ盾になれば(？)、本当にすばらしいことだ」

セコロ カネ ハワシ ハウエ アヌ ヒ クス オラウン ヘトポ ホシピアニネ

sekor kane hawas hawe a=nu hi kusu oraun hetopo hosipi=an h_in

と言うのを私は聞いてふたたび引き返して

アオナ エウン アイェ アクス

a=ona eun a=ye akusu

父親に言うと、

「アンペ ネ ルウエ ネ クス ソンノ アンペ ネ ハウエ ネ」

"anpe ne ruwe ne kusu sonno anpe ne hawe ne"

「本当のことなので、本当の話なのだ」

セコロ ハウエアン コロ ネ イペタム イコレ ヒネ

sekor hawean kor ne ipetam i=kore hine

と言うとその人食い刀を私に授けて、

アセ ヒネ オロワノ テレケ カネ パシ カネ ペツ トウラシ ヒネ アラパアン

a=se hine orowano terke kane pas kane pet turasi hine arpa=an

私はそれを背負って跳ぶように走るように川沿いに行った

ネア コツ トウラシ アラパアナイネ

nea kot turasi arpa=an ayne

その谷に沿って行ったあげく、

コツ カ タ アラパアン ヒネ アラパアナクス

kot ka ta arpa=an hine arpa=an akusu

谷の上に行って、行くと

フナク タ ニ カ タ アラパアン コロ

hunak ta ni ka ta arpa=an kor

どこだか木の上に行くと

イワン ウタラパ^[2] ニ カ…… サمامニ カ オオソルシ ヒネ オカ

iwan utarpa ni ka... samamni ka oosorusi hine oka

6人の勇者が木の上……倒木の上に腰を掛けていて

ネ エネ (ハウ) オカイ

ne ene (haw)oka h_i

このように話していた。

「タア ペナ タ アン コタン タヌクラン ネ アコシレパ ヤクネ

“taa pena ta an kotan tanukuran ne a=kosirepa yakne

「川上のほうにある村に今晚になって私が到着すれば

アウエンテ ワ オラウン トシ アイコイパク ワ

a=wente wa oraun tosi a=ekoypak wa

荒らして、ひどい罰を与えて

エモシリペサン クス ネ クス キ ヤク エアシリ ピリカ ルウェ ネ」

emosirpes=an kusu ne kusu ki yak easir pirka ruwe ne”

国沿いに下っていくことにすれば、とても良い」

セコロ ハウエオカ ハウエ アヌ ヒ クス オラ コント

sekor haweoka hawe a=nu hi kusu ora konto

と言うのを私は聞いたので今度

ヤイラムテアニネ オラノ アラパアナイネ
yayramte=an h_ine orano arpa=an ayne
 私は身を低くして行ったあげく

ラウネ ナイ アニネ ナイトモトウイエアン ヒ クス
rawne nay an h_ine naytomotuye=an hi kusu
 深い川があつて、川を横切ったので

コント ウエイシリ ヘコテ ウエイシリコトロ ペカ イキアナイネ
konto weysir hekote weysirkotor peka iki=an ayne
 今度急な山の方へ急な山の斜面を通って行ったあげく

ヘメスアン コロ アナナプ アラム ア プ
hemesu=an kor an=an a p a=ramu a p
 登っていたので（安全だ）と思っていたのだが

セコロ イオ（？）
sekor io(?)
 と

ソレクス ワ アルケサンパ ワ アラキ シ……
sorekusu wa arukesanpa wa arki si...
 それこそ追いかけていながらやってきて

「ヤユウエカラアン ワ パイエアン クス ネ」
“yayuwekar=an wa paye=an kusu ne”
 「合体して行こう」

セコロ ハウオカ ハウエ アヌ ア プ
sekor hawoka hawe a=nu a p
 と言うのを私は聞いていたが

ルプネ カムイ トウプ ウトゥラ ヒネ イケサンパ ワ アラキ イネ
rupne kamuy tup utura hine i=kesanpa wa arki h_ine
 大きな熊が二匹一緒になって追いかけてきて

リク タ ヘメスアン ウエイシリ オツ タ ヘメスアニ オラ コント
 rik ta hemesu=an weysir or_ ta hemesu=an h_i ora konto
 高いところに登り急な山にのぼるとそれから今度

ネア アコロ イペタム アニ アコタムスイパ ヒネ オピッタ アロンヌ イネ
 nea a=kor ipetam ani a=kotamsuypa hine opitta a=ronnu h_ine
 その私の人食い刀を私が振るうと全員殺して

ヘトポ ウエイシリ オロ ワ カラカラセ シリ アヌカラ イネ
 hetopo weysir or wa karkarse siri a=nukar h_ine
 逆に急な山から転がり落ちるのを私は見て

オラウン コント オロワ ラナニネ
 oraun konto orowa ran=an h_ine
 それからおりて

オラノ アラパアン ペツ トウラシ アラパアン。
 orano arpa=an pet turasi arpa=an.
 川に沿って行った。

ル アン ペ ネ クス カリ アキ アイネ インネ コタン ポロ コタン アン
 ru an pe ne kusu kari a=ki ayne inne kotan poro kotan an
 道があるのでそこを歩いていくと栄えている村、大きな村があつて

コタン ソイ アクシ イネ コタン ノシキ タ モシリ パク チセ アニ クス
 kotan soy a=kus h_ine kotan noski ta mosir pak cise an h_i kusu
 村の外を通り、村の中央に島ほども大きな家があつたので

ソイケ タ シムシシカ^[3]アナクス
 soyke ta simusiska=an akusu
 家の外で咳払いをすると

ピリカ メノコ ソイネ ヒネ イヌカンネ オラ アフニネ オラ
 pirka menoko soyne hine i=nukar_ h_ine ora ahun h_ine ora
 美しい女性が中から出てきて、私を見て、(家に) 入って、

ヌパ ソ アヌ フム アシ ノ イアフンテ クス

nupa so anu hum as no i=ahunte kusu

掃除やゴザを敷く音がして、入れられたので

エネ レイエ カネ シヌ カネ^[4] アフナン ルウエ ネ アクス

ene reye kane sinu kane ahun=an ruwe ne akusu

そのようにずりながら這いながら入ると

ソレクス ピリカ メノコ アニネ エネ ハウエアニ

sorekusu pirka menoko an h_ine ene hawean h_i

それこそ美しい女性がいてこのように言った

タカ…… ヒネ レウシアニネ

TAKA... hine rewsu=an h_ine

のではなくて、泊まると、

オンネ クル カ アン トウ オックアイポ アン トウ メノコ アニネ

onne kur ka an tu okkaypo an tu menoko an h_ine

老人もいて二人の若者と二人の女性がいて

タプ ネ タプ ネ カネ エカン コロ…… ヤク イエ コロ アヌ ワ

tap ne tap ne kane ek=an kor... yak ye kor a=nu wa

これこれこのようであって私が来たと言っているのを私は聞き、

タア パナ タ ウエイシリコトツ タ

taa pana ta weysirkot or_ ta

すぐそこの川下の急な山のところで

タヌクラン ネ コタン クン…… コサプ クナク ヒ モシリパ アヌ

tanukuran ne kotan kun... kosap kunak hi mosirpa a=nu

今晚村に向かって降りるようなことを東のほうで(?) 聞いて

イワン ヤマンコ アエニウチンネ ワ サプ トセイキ プ アネ クス

iwan yamanko a=eniwcinne wa sap tos eiki p a=ne kusu

六人の山子が追い払われて山を下りてきた。ひどいころをするものなので、

セコロ カネ ハウエオカ プ

sekor kane haweoka p

と言っていたが

ヤユウェカラ クナク イエ パ ロク ペ

yayuwekar kunak ye pa rok pe

合体するというもので、

ソンノ カ イワンペ ネ プ レプ…… レプ タカ トウプ タカ ネ ワ

sonno ka iwanpe ne p rep.. rep TAKA tup TAKA ne wa

本当に六人いるものが、三匹だか二匹だかになって、

イケサンパ ワ アラキ ペ キ ルウェ ネ」

ikesanpa wa arki pe ki ruwe ne.”

追いかけてきたのだ。」

セコロ カネ ハウエアナン ルウェ ネ。オラノ

sekor kane hawean=an ruwe ne. orano

と私は言ったのであった。それから

「エアラキンネ ネイタナムネ

“earkinne neytanamne

「たいそう (?) いったいどこに

アアキヒ アエセレマク コロ ペ ネ ハウエ イキ ワ」

a=akihi a=esermak kor pe ne hawe iki wa.

私の弟は守り神に守られているものであるのだ。」

セコロ ハウエオカ コロ

sekor haweoka kor

と言うと

ネア オンネクル イルシカ イルシカ。

nea onnekur iruska iruska.

その老人は怒りに怒った。

ネロク オツカイポ⁵ ウタリ イコオンカミ ロク イコオンカミ ロク コロ
 nerok okkaypo utari ikoonkami rok ikoonkami rok kor

例の若者たちは拝んで拝んで

オラ イシムネ イケ ルプ…… ネイ タ ラプ ペ ネ クス
 ora isimne h_ike rup... ney ta rap pe ne kusu

その翌日どこかに降りるため、

イトウラ ヒネ サパニネ ネア ウシケ タ サパン。
 i=tura hine sap=an h_ine nea uske ta sap=an.

私は連れられて降りて、その場所に降りた。

オラノ ネロク ウエン カムイ
 orano nerok wen kamuy

それから例の悪神が

ソレクス モシツ チュッポク ウン モシレアニ⁵
 sorekusu mosir_ cuppok un mosir ean h_i

それこそ国の西にある国（地獄）に

コタン エアニ エウン パイエ クニ ネ ワ アン ペ
 kotan ean eun paye kuni ne wa an pe

地獄の村のほうへ行くように

イルラ カムイ ネ ヤッカ カラパ ワ オラ ホブンパレ プ
 i=rura kamuy ne yakka karpa wa ora hopunpare p

墓標も作って、送ったが、

オラ カミヒ ネ ヤッカ⁶ コント ニ……
 ora kamihi ne yakka konto ni...

肉も今度、

(フチ : XXX)

(萱野 : な、たいした……ってない、大丈夫もうすぐで終わるから)

ネ カムイ ネ ヤッカ キ ヒネ コント オラ ナニ アラケ ホシッパアン
ne kamuy ne yakka ki hine konto ora nani arke hosippa=an
 その熊も神の国に送って、今度それからすぐに行って戻ると

オラノ ネイ タ アナニネ
orano ney ta an=an h_inē
 それからそこに私はいて、

「アアキヒ アエセレマク コロ ペ ネ ワ」
"a=akihi a=esermak kor pe ne wa."
 「弟は神様がついているのだなあ。」

セコロ アアチャ ハウエアン コロ
sekor a=aca hawean kor
 とおじさんは言って、

ソレクス ワ イコプンテカ イコプンテカ コロ オラウン
sorekusu wa i=kopuntek a i=kopuntek a kor oraun
 それこそ私をほめてほめて

「シクヌ ケウエ エプンパ シンネ ヤク コン…… ラヤン パ イケ
"siknu kewe epunpa sinne yak kon... ray=an pa h_ike
 生きた死骸を掘り出したようなもので (?), 我らは死んでいたところだが

アコロ オッカイポ エキサミケ ヒナク ワ シクヌアン ワ」
a=kor okkaypo ek isam h_ike hinak wa siknu=an wa."
 私の若者が来なかったらどうして生きていただろう。」

セコロ ハウエオカ コロ
sekor haweoka kor
 と言って

ネイロク オク…… ウコタン…… インネ コタン コタン ウン ウタラ
neyrok ok... ukotan... inne kotan kotan un utar
 栄えた村の人々は

ピリカコロ ペ ウエカラパレ ヒケ カ

pirkakor pe wekarpare hike ka

良いものを集めてくれたが

ヘマンタ ネ ヘマンタ ネ セコロ ハウエアナン コロ アコパン ヤッカ

hemanta ne hemanta ne sekor hawean=an kor a=kopan yakka

なんで（そんなものをもらわなきゃならない）と私が言って私が断っても

エンプキコロ（？） オラ アニネ

enpukikor(?) ora an h_in

X X X X（？）

ピリカ ポン メノコ ポン ヒケ イヨッタ ピリカ プ ネ ヒ クス

pirka pon menoko pon hike iyotta pirka p ne hi kusu

美しい娘の中でもいちばん美しかったので

オラウン アトゥラ ヒネ サパン ルウエ ネ ア プ

oraun a=tura hine sap=an ruwe ne a p

私は連れて降りてきたが、

サパン ヒ オラ イシムネ ヒケ

sap=an hi ora isimne hike

降りたその翌日に

ネア スイ チセ ソイ シムシシカ ハウエ アシ イネ アウヌ ソイネ アクス

nea suy cise soy simusiska hawe as h_in a=unu soyne akusu

また家の外で咳払いがして、私の母が外に出ると

イネン ルプネ イコロ シケ キ ワ ソイ タ オカ セコロ アン コン

inen rupne ikor sike ki wa soy ta oka sekor an kor_

四人の人が大きな宝物を背負って外にいて、

ヌパ ソ アヌ アフプテ アクス

nupa so anu ahupte akusu

掃除をしてゴザをしき、入れると

ネロク オツカイポ トウ オツカイポ トウラ ワ
nerok okkaypo tu okkaypo tura wa

例の若者が二人の若者と一緒に来て

ネロク シケ キ ワ ホシピ ア オラウン…… ホシピアン ヒ
nerok sike ki wa hosipi a oraun... hosipi=an hi

例の荷物を背負って引き返して、私も戻ると

オラウン ウェンタラパナクス
oraun wentarap=an akusu

それから夢を見ると

「ネ ナイ シ…… アラケ アエコタンコン ナイ アラケ
“ne nay s... arke a=ekotankor_ nay arke

「この沢の半分、私の村がある沢の半分は

ケレプノイエ エコタンコロ
kerepnoye ekotankor

トリカブトのカムイが村を持っている（たくさん生えているということ）

ナイ アラケ ケレプトウルセ エカン…… エコタンコロ ワ
nay arke kerepturse ekan... ekotankor wa

沢の半分にはオオトリカブトのカムイが村を持っていて、

オカアン ペ ネ ペ エネ エカリ エアラパ ワ
oka=an pe ne pe ene ekari e=arpa wa

その私たちのいるところにお前は行って

ソレクス ソモ アエピリマ クス アン ペ アナクネ
sorekusu somo a=epirma kusu an pe anakne

それこそ私が警告しないでしたら、

ネウン エイキ ヤッカ ネプ シクヌ エキ カ ソモ キ ワ クス
neun e=iki yakka nep siknu e=ki ka somo ki wa kusu

どのようにお前がしてもお前に生きるすべはなかったの

アエピリマ ハウエ ネ ワ

a=epirma hawe ne wa

お前に警告したのだよ

タップ タクスケライ エシクヌ シリ ネ ナ」

tap ta kusukeray e=siknu siri ne na"

そのおかげでお前は生きているのだよ。」

セコロ

sekor

と、

「アシヌマ アナク ケレプトウルセ アネ ワ キ ナ」

“asinuma anak kerepturse a=ne wa ki na”

「私はトリカブトであるのだ」

セコロ ウェンタラパン。

sekor wentarap=an.

と夢に見た。

オラノ コント ネ スルク トノ アノミ

orano konto ne surku tonon a=nomi

それから今度そのトリカブトの親方を拝んだ。

オロ ワ スルクト…… ネ ウシケ ウン トウイマ ヤッカ スルクタアン ワ

oro wa surkut... ne uske un tuyma yakka surkuta=an wa

そこから遠いけれどトリカブト掘りをして

アエエラマンテ ネ スルク アノミ コロ オカアン

a=eeramante ne surku a=nomi kor oka=an

私はそれで狩りをして、そのトリカブトを拝んで暮らした。

オラノ アユプタリ イコシネウパ

orano a=yuputari i=kosinewpa

それから私の兄たちが訪れてきた

アコシネウエ イコヤイライケ イエ ロク イエ ロク コロ

a=kosinewe i=koyairayke ye rok ye rok kor

私に感謝して何度も感謝を言って

シネウパアン コロ オカアン ペ ネ

sinewpa=an kor oka=an pe ne

遊びに行きながら暮らした

セコロ アン ウエペケレ ネ ワ

sekor an uepeker ne wa

というお話だよ

【注】

- [1] 空中を飛んで来て人を切る恐ろしい刀（『沙流方言辞典』）。
- [2] この iwan rametok 「6人の勇者」というのは、21-04 で出てくる iwan yamanko という悪行を働いて地下の冥府に落とされようとしている連中で、3人がひとつに合体して、2頭の大きな熊になったりする。ここでも悪事の相談をしているところであろう。
- [3] 来訪を告げるための作法。男性はたいてい咳払いをするものとされている。
- [4] 他人の家に入るとき、へりくだって遠慮深く入っていく様子の描写。（『沙流方言辞典』）
- [5] 「西の方にある国」というのは、生き返ることのできない死者の行く国。すなわち「地獄」
- [6] 悪神の化けた熊であるから、肉もばらばらに刻んで、腐った倒木などに与えた、というような話をするつもりであったのだろう。

24-5 ウエペケレ

「カネサンペアッ イワンサンペアッ」

金属の心臓の緒、六本の心臓の緒

語り：黒川てしめ

アアンテホク、アソカラホク トウラノ オカアン ワ
 a=antehoku, a=sokarhoku turano oka=an wa
 私は夫と一緒に暮らし、

ケメイキ パテク ネプキ ネ アキ。
 kemeyki patek nepki ne a=ki.
 私は縫物ばかりを仕事にしていました。

アアンテホク アナクネ ホッケ ワ アニネ オカアナ プ、
 a=antehoku anakne hotke wa an h_ine oka=an a p,
 私の夫は（何もしないで）横になっていて、私達は暮らしていましたが、

シネアンタ ラムノ カネ アパ チマカ ヒネ アフニネ インカラナクス
 sineanta ramno kane apa cimaka hine ahun h_ine inkar=an akusu
 ある日、戸が低くそーっと開いて、家に入ってくるものがあるので私が見ると、

アク…… アパ オツ タ アパタララ、インカラナクス アコロ ユピ アパタララ
 ak... apa or_ ta apatarara, inkar=an akusu a=kor yupi apatarara
 入口のところでカヤの筵をあげて、私が見ると、私の兄がカヤの筵をあげて、

「アコツ トウレシ、アイヌ オツ タ マラットネアン ワ
 “a=kor_ turesi, aynu or_ ta marattone=an wa
 「妹よ、人間のところで賓客となって、

アイヌ イナウ アイヌ サケ シト ネ ヤッカ ポロンノ アセ ワ エカン クス
 aynu inaw aynu sake sito ne yakka poronno a=se wa ek=an kusu
 人間の（作る）イナウ、人間の（醸す）酒、桑にしても、たくさん私は背負って来たから、

シネ シト、シネ イナウ アエコヌイナ ナ。」

sine sito, sine inaw a=e=konuyna na.”

一つの桑、一本のイナウを亭主に内緒でお前にこっそり持ってきてあげたよ。」

セコロ ハウエアン コロ

sekor hawean kor

と言いながら、

イコトゥリリ アパ オロ ワ キ ヒ クシ アウキネ

i=koturiri apa or wa ki hi kus a=uk h_ine

戸口から私にそれを差し出したので、

アウプソロマレ ルウェ ネ ア プ、ネア アホクフ

a=upsoromare ruwe ne a p, nea a=hokuhu

私は受け取ってふところに入れたのですが、その私の夫は、

「フンタ エチイエ ハウエアン。トゥ スイ イエ ワ レ スイ イエ ワ イヌレ。」

“hnta eci=ye hawean. tu suy ye wa re suy ye wa i=nure.”

「何を言ってるんだ。何度も言って俺に聞かせろ」

セコロ ハウエアン ヒ クス

sekor hawean hi kusu

と言うので、

「ヘマンタ アイエ イネ エネ ハウエアニ アン」

“hemanta a=ye h_ine ene hawean h_i an”

「何を私が言ったとおっしゃるのでしょうか？」

セコロ ハウエアナナクス

sekor hawean=an akusu

と私は言いました。すると、

「スンケ エネ ソム…… ソモ エイエ イケ アヌ エネネ キ ヒ ネ。」

“sunke ene som... samo e=ye h_ike a=nu enene ki hi ne”

「そんな嘘をお前が言わなくても、そのように聞こえたぞ」

セコロ ハウエアン コロ マッコサヌ イネ
sekor hawean kor matkosanu h_ine
 と言いながら ぱっと立ち上がり、

ピリカルシヒ オス…… オスルパ ヒネ
pirkarusihi osu... osurpa hine
 上等な毛皮を投げ捨てて、

オラ ウェンルシヒ シカカムレ イネ
ora wenrusihi sikakamure h_ine
 悪い毛皮を頭の上からかぶって、

オラ エカイ タシロ ノッココモ^[1] ヒネ チソイエカッタ。
ora ekay tasiro notkokomo hine cisoyekatta.
 欠けた山刀を顎でくわえて (?)、外に飛び出して行きました。

ネン カ ネ イエトコ タ アコロ ユピ アライケ クニ
nen ka ne i=etoko ta a=kor yupi a=rayke kuni
 ひょっとして私より先に兄が殺されてしまうのではと

オトゥ ライ サンペ アエコテ クス
otu ray sampe a=ekote kusu
 心臓が止まるような気持ちになり、

アシヌマ カ アピリカルシヒ アオスラ ヒネ アウェンルシヒ アシカカムレ
asinuma ka a=pirkarusihi a=osura hine a=wenrusihi a=sikakamure
 私も上等な毛皮を投げ捨てて、悪い毛皮を頭からかぶって、

エカイ タシロ アノッココモ ヒネ オロワノ アコロ……
ekay tasiro a=notkokomo hine orowano a=kor...
 欠けた山刀を顎でくわえて (?)、それから

アン ルケセ アエホプニ、ケセ アアンパ ヒネ エカナイネ
an rukese a=ehopuni, kese a=anpa hine ek=an ayne
 すぐその後を飛んで行き、夫の後を追ってやって来ました。

エカナクス アコロ ユピ オツケウエ アカイエ イネ

ek=an akusu a=kor yupi okkewe a=kaye h_ine

私が来ると私の兄の首がへし折られ、

アオスラ テク ワ アニネ

a=osura tek wa an h_ine

ひょいと放り投げられていました。

オラ アッカリ アラパ ル アノラノ ネウン カ ネ イエトコ タ

ora akkari arpa ru an orano neun ka ne i=etoko ta

その先の方に進む足跡があつて、もしや私より前に

アウヌフ ライケ クニ アエキマテク クス ホユプアン ワ エカナ アイネ

a=unuhu rayke kuni a=ekimatek kusu hoyupu=an wa ek=an a ayne

私の母を殺すつもりかと私はあわてて飛んで来たところ、

アウンチセ タ アウヌフ ライパラパラク コロ

a=uncise ta a=unuhu rayparaparak kor

私の家で母がわあわあとひどく泣いて

ホユプ コロ アナウエ アシ カネ (?) アウオテレケ アナクス

hoyupu kor an h_awe as kane(?) awoterke=an akusu

飛び上がる声がして、私が家の中に飛び込むと、

アペ オカリ アウヌフ ケセ アンパ コロ アン ヒ クス

ape okari a=unuhu kese anpa kor an hi kusu

炉のまわりで夫が私の母を追いまわしていたので、

「アウエンホクフ ネプ キ シリ エネ オカ ヒ オカ ヤ。

“a=wenhokuhu nep ki siri ene oka hi oka ya.

「私の悪い夫よ、何をしてこのようにいるのですか。

アシヌマ オロワ…… オラ イコイキ。アシヌマ オラ イライケ ワ イコレ。」

asinuma orowa... ora i=koyki. asinuma ora i=rayke wa i=kore.”

私こそ捕まえて、殺しなさい。」

セコロ ハウエアナナクス

sekor hawean=an akusu

と私が言うと、

ミナ テク コロ イヘコテ シキツテクテク コロカ

mina tek kor i=hekote sikittektek korka

夫はふっと笑って私のほうを振り向いたのですが

ネン カ ネ ワ アウニヒ アイコウエンテ、アイコチャラパ クニ

nen ka ne wa a=unihi a=i=kowente, a=i=kocarpa kuni

さては（私がここにいると）、私有家ごと荒らされてバラバラにされてしまうのではないかと

アエキマテク コツ チソイエカッタアナクス

a=ekimatek kor_ cisoyekatta=an akusu

私はあわてて外に飛び出しました。すると、

イオシ イケサンパ、チソイエカッタ オロワノ

i=os i=kesanpa, cisoyekatta orowano

私のあとから私を追いかけて夫が外に飛出して、

ウコイキアン ワ ウコイキアナイネ

ukoyki=an wa ukoyki=an ayne

取っ組み合いになって、闘ったあげく、

カネ サンペ アッ、イワイ サンペ アッ、

kane sampe at, iwan_ sampe at,

金属の心臓の緒、六本の心臓の緒、

ヤヤイ サンペ アッ、イワイ サンペ アッ

yayan_ sampe at, iwan_ sampe at

普通の心臓の緒、六本の心臓の緒を

コロ ペ ネ アアン イネ アコトウイパ。エ……

kor pe ne aan h_ine a=kotuypa. e...

彼は持っていたのですが、私は夫のそれらをバツバツと切りました。

アシヌマ カ ヤヤイ サンペ アッ、イワイ サンペ アッ、
asinuma ka yayan_ sampe at, iwan_ sampe at,
 私も、普通の心臓の緒、六本の心臓の緒、

カネ サンペ アッ、イワイ サンペ アッ
kane sampe at, iwan_ sampe at
 金属の心臓の緒、六本の心臓の緒を

アコロ ペ ネ アアニネ オラノ イコトウイパ。
a=kor pe ne aan h_ine orano i=kotuypa.
 持っていたのですが、夫は私のそれらをバツバツと切りました。

ア…… オラノ イキアナイネ
a... orano iki=an ayne
 そしてようやく

カネ サンペ アッ、イワイ サンペ アッ、
kane sampe at, iwan_ sampe at,
 夫の金属の心臓の緒、六本の心臓の緒、

ヤヤイ サンペ アッ、イワイ サンペ アッ アコトウイエ オケレ。
yayan_ sampe at, iwan_ sampe at a=kotuye okere.
 普通の心臓の緒、六本の心臓の緒、私は（最後の一本を）切ってしまいました。

シネ サンペ アッ パテク アコロ コロ
sine sampe at patek a=kor kor
 私は一本の心臓の緒だけになりながら、

アライケ ヒ クス オラ コント ナニ チソイエカッタ……
a=rayke hi kusu ora konto nani cisoyekatta...
 夫を殺したので、すぐに

オラ コント アウヌフ オロ タ エカン ワ オラノ アウヌフ イカラ ヒネ
ora konto a=unuhu oro ta ek=an wa orano a=unuhu i=kar hine
 私の母の所へ戻って来て、母親が私をどうにかこうにか介抱して

シクヌアン クニ トウサアン クニ イイエパレ クシ

siknu=an kuni tusa=an kuni i=epare kus

私が生命をとりとめるように傷が癒えるようにしたので

アウエンホクフ シルニケヘ ソレクスワ

a=wenhokuhu sirunikehe sorekusuwa

私の悪い夫、あの私の悪党の亭主、それこそ

エネ ウエン カムイ ネ アアン ペ アエウタンネ ワ オラウン エネ アン……

ene wen kamuy ne aan pe a=eutanne wa oraun ene an…

このように悪神であったものと夫婦になって

ナアニ アウヌフ カ アユ…… ライケ、アユピヒ ナアニ ライケ ペ

naani a=unuhu ka a=yu… rayke, a=yupihi naani rayke pe

今にも私の母も殺し、もう少しで私の兄を殺すところだったのですが、

アユピヒ かわり アライケ ワ

a=yupihi KAWARI a=rayke wa

兄が代わりに殺されて、

アシヌマ アナクネ シクヌアン シリ エネ アニ ネ クス

asinuma anakne siknu=an siri ene an h_i ne kusu

私は生きながらえたのがこのようなことなので、

アイエ、セコロ ヌプリ コロ カムイ マツネポ トヤラサルシケ

a=ye, sekor nupuri kor kamuy matnepo Toyarasarus h_ike

私は言うのです、と山岳を領有する神の娘が、悪い尻尾を持った奴、

フンタネ ネ ウエン カムイ マチヒ ネ プ エネ ハウエアニ

hunta ne wen kamuy macihi ne p ene hawean h_i

なぜかその悪い神の妻になったものの話。

マチヒ アネ ワ オラウン キ ワ オカイ ペ アネ クス アイエ セコロ。

macihi a=ne wa oraun ki wa okay pe a=ne kusu a=ye sekor.

その妻が私であるので、お話をいたしました。

【注】

- [1] notkokomo : (< not-ko-komo 顎・に対して・曲げる) という語構成であるが、意味ははっきりしない。koamkokomo で「驚攫(わしづか)みにする」(『久保寺辞典稿』p. 133) という例があるので、「顎でくわえて」くらいの意味であろうか。

24-6 カムイユカラ

「ポンオキクルミ ヤイエイソイタク (ハラカッコク)」

小オキクルミが自ら物語る

語り：黒川てしめ

サケへ V=ハラカッコク

V=harkakkok

V トウトウツ サボ[°] ツツドリのお姉さん

V tutut sapo

V イレシパ キ ワ が私を育てて

V i=respa ki wa

V オカアン ヒケ 私たちは暮らしていたが

V oka=an hike

V トウトウツ サボ[°] ツツドリのお姉さん

V tutut sapo

ポン トウトウトウタラ 年若いツツドリたちや

pon tutut utar

V ポン カッコク ウタラ 年若いカッコウたちと、

V pon kakkok utar

V トウラノ ネシ すっかり一緒に

V turano nesi

V シノタナクシ 私が遊んでいると

V sinot=an akus

V エネ ハウエオカ ヒ 次のように言った
V ene haweoka hi

V 「ケライ ネ クスン 「さすが
V “keray ne kusun

V トイ シッチレ 土焼き
V Toy sitcire

V ムイ シッチレ 草焼き
V Mun_ sitcire

ハラ……
har...

(女性：ストーブつけてあげるからね、石油ストーブ)

(萱野：ん？)

(女性：石油ストーブあるの)

(萱野：いや、何も、もうすぐ終わるからいいよ)

(女性：あ、いいの？)

(萱野：うん)

エ……
e...

エペヌプル ペ 霊力が強いもの
ep enupur pe

V ネ プ ネ クス であるので
V ne p ne kusu

V イキ パ」 セコロ V iki pa” sekor	そのようにしている」と
V イイエ パ ヒケ V i=ye pa hike	私に言うことに
V イネアプ クスン V ineap kusun	なんとまあ
V アルシカ クス V a=ruska kusu	私は腹を立てたので
V フマシ ヤッカ (?) V humas yakka(?)	そう思っても (?)
V 「ネプ タイペヘ V “nep taypehe	「何の子ども
V ネプ サニケ V nep sanike	何の子孫が
V アネ ワ クス V a=ne wa kusu	私であって
V アイレス ルウエ V a=i=resu ruwe	私は育てられたの
V ネ ワ クス V ne wa kusu	であるので
V ハワシ」 セコロ V hawas” sekor	そう言っているのか」と
V ヤイヌアン クス V yaynu=an kusu	私は思ったので

V オロワノ V orowano	それから
V タン パラパラク V tan paraparak	このような泣きわめく
V ハウエ アシ…… V hawe as…	声を…… (?)
アエサナニニ a=esananini	長く引いて私は泣き、
V クンネ ヘネ V kunne hene	夜も
V トカプ ヘネ V tokap hene	昼も
V チサナイネ V cis=an ayne	私は泣いているうちに
V アコロ サポ V a=kor sapo	私のお姉さん
V カッコク サポ V kakkok sapo	カッコウのお姉さんが
V カムイ タマサイ V kamuy tamasay	神様の首飾り
V サナサプテ V sanasapte	を出してきて
V ヘサシ アトウ V hesasi atu	前のほうへ (首飾りの) ひも

V イワナテリキン V iwan at erikin	六本のひもでつるし上げ
V ヘマカシ アトウ V hemakasi atu	奥のほうへ（首飾りの）ひも
V イワナテリキン V iwan at erikin	六本のひもでつるし上げて
V カムイ タマサイ V kamuy tamasay	神様の首飾り（数珠つなぎの玉）が
V ノシキケヘ V noskikehe	真ん中に
V ポロ タマサイ V poro tamasay	大きな首飾り（数珠つなぎの玉）が
V エオコク カネ プ V eokok kane p	ひっかかって（ひもに通して）いるものを
V イコレ キ コロ V i=kore ki kor	私にくれると、
V 「タンペ タシ V “tanpe tasi	「これこそ
V アレシパ ピト V a=respa pito	私が育てたお方、
V アエコレ クス ネ ナ V a=e=kore kusu ne na	あなたに与えますから、
V イテキ チシ ワ V iteki cis wa	（もう）決して泣かないで

V イコレ ヤン」セコロ V i=kore yan” sekor	ください」と
V ハウエアニケ V hawean h_ike	(カッコウのお姉さんは) 言ったが
V アテクサイカレ V a=teksaykare	私は(首飾りを) サッと手に取って、
V アッ ニコロ V at nikor	ひもの間
V アウレクシパレ V a=urekuspore	に私の足を通し、
V アトウイパトウイパ V a=tuypatuypa	私はひもをブチブチ切って
V キワ ン…… ム V ki wa n... m	
V アナン アクス V an=an akusu	いたところ
V エネ イタキ V ene itak h_i	このように言うことには
V トウトウツ サボ V tutut sapo	ツツドリのお姉さんが
V アリ コラチ V ari koraci	そのように
V トウ ピリカ クニ プ V tu pirka kuni p	二つの良いこと (=いろいろなこと)

V イエパカシヌ コロ V i=epakasnu kor	を私に教えると
V カムイ タマサイ V kamuy tamasay	神様の首飾り、
V ヘサシ アトウ V hesasi atu	前のほうへ（首飾りの）ひも
V エリキン クニ プ V erikin kuni p	でつるし上げたもの
V イコレ コロカ V i=kore korka	を私に与えたけれど
V アテクサイカレ V a=teksaykare	私は（首飾りを）サッと手に取って
V アッ ニコロ V at nikor	ひもの間
V アウレクシパレ V a=urekuspare	に私の足を通し、
V アトウイパトウイパ V a=tuypatuypa	ひもをブチブチと切って
V アムソ クルカ V amso kurka	何も敷いていない床一面
V アエチャリチャリ V a=ecaricari	に私は散らばして
V キ ヒ アクス V ki hi akusu	しまった。すると

V カッコク サポ V kakkok sapo	カッコウのお姉さんは
V エネ イタキ V ene itak h_i	このように言った
V エネ…… V ene…	
「エアン クシ タプネ “e=an kus tapne	「お前がいるためにこのように
V アポウタリ ネ ア プ V a=poutari ne a p	私の子供たちであったもの
ボン カッコク ウタラ pon kakkok utar	若いカッコウたちや
V ポン トウトウトウタラ V pon tutut utar	若いツツドリたちが
V ネノ イェ パ クシ V neno ye pa kus	そのように言ったので
V チサナイネ V cis=an ayne	私はさんざん泣いて、とうとう
オピッタ レクチ opitta rekuci	(ツツドリの姉さんは) みんなの首を
ノイパノイパ ワ イサム noypanoypa wa isam	しめてしまった
V キ パ ロク ペ V ki pa rok pe	のだが、

V エアン クシ タプネ V e=an kus tapne	お前がいるためにこのように
V テエタ カネ V teeta kane	むかしむかし
V カムイ モシツ タ V kamuy mosir_ ta	神様の国で
V カッコク トノ V kakkok tono	カッコウの神様や
V トウトウツ トノ V tutut tono	ツツドリの神様は
V アネ パ ヒネ V a=ne pa hine	私たちであって
V アイヌ モシリ V aynu mosir	人間の国
V アイオラプテ V a=i=orapte	に私たちは降ろされて
V ネ ヒ オロ タ V ne hi oro ta	そこで
V ネ…… V ne…	
ニソシッチウエ nisositciwe	雲の尻が大地を刺すところ（地平線の果て）
V イマカケ タ V imakake ta	その向こうに

V ニツネ カムイ V nitne kamuy	悪い凶暴な神様
V アラウエン カムイ V arwen kamuy	全く悪い神様は、
V カムイ エオナ V kamuy e=ona	神様であるおまえの父親
V コン ラメトク V kor_ rametok	の勇敢さや
V コロ ピリカ V kor pirka	の美しさ
V エケシケ クス V ekeske kusu	を妬んで
V コイキ クス V koyki kusu	いじめるために
V ヤプ ルウエ ネ V yap ruwe ne	(人間の国に) 降り立ったのだ
V エヌネ ヒケ V enune hike	このようにして
V ネ ヒ オロ タ V ne hi oro ta	そこで
V パクノ エアシリ V pakno easir	それこそこれほど
V イオマプ ルイ ペ V iomap ruy pe	ひどく子供をかわいがるものは

V イサム クニ プ V isam kuni p	いないものが
V アネ プ ネ クス V a=ne p ne kusu	私たちであるものだから
V アエレス ポカ V a=e=resu poka	私たちはおまえを育てるだけでも
V エヤイコラム V eyaykoramu	長い間苦勞して
V エペテッネ アイネ V epetetne ayne	育てたが
V パクノ エポロ プ V pakno e=poro p	ここまでおまえが大きくなったことを
V アポウタリ V a=poutari	私たちの子供たちは
V ネノ ハウエオカ V neno haweoka	そのように言った
V ネワ アン ペ V ne wa an pe	そのこと
V エルシカ ア クス V e=ruska a kusu	でおまえが腹を立てて
V エキ ワ クス V e=ki wa kusu	おまえがしたので
V フン…… V hun…	

アポウタリ a=poutari	子供たち
V アロンヌ キ ワ V a=ronnu ki wa	を殺して
V イサム キ ヒケ V isam ki hike	しまったのに
V ネウナイエ ヤッカ V neun a=ye yakka	どのように私が言っても
V エコパン キ ワ V e=kopan ki wa	おまえは (悪口を言われたこと) を嫌がって
V ナニ ネノ エキ ヤク V nani neno e=ki yak	すぐに、そのままおまえが嫌がってれば
V アッテイネ シリ V atteyne sir	全く湿ったところ
V アラウエン モシリ V arwen mosir	全く悪い国
V アイコキル V a=i=kokiru	に私たちは向かわせられる
V キ クス ネ V ki kusu ne	ことだろう
V キ クシ ネ セコロ V ki kus ne sekor	(そう) することになっていると
V ハワシ クス V hawas kusu	言う話なので

V タネ アナクネ V tane anakne	今は
V アラウエン カムイ ネ V arwen kamuy ne	全く悪い神様として
V アラウエン モシリ V arwen mosir	全く悪い国に
V アイコキル パ ヤッカ V a=i=kokiru pa yakka	私たちが向かわされても
V カムイ オツ タ V kamuy or_ ta	神様のところに
V アラ イワク モシリ V ar iwak mosir	XXX (?) 国に
V アオパイェ キ ワ V a=opaye ki wa	私たちは行って
V カムイ モシリ ワノ V kamuy mosir wano	神様の国から
V アラウエン モシリ V arwen mosir	全く悪い国
V アラウエン コタン V arwen kotan	全く悪い村
V アイコキル プ ネ ナ」 V a=i=kokiru p ne na”	に私たちが向かわされるのだよ」
V セコリタク コロ V sekor itak kor	と言いながら

V マツ……

V mat…

マッコサンパ
matkosanpa

パッと立ち上がった

V タラ……

V tar…

イサム ペ シユク
isam pe siyuk

亡くなった者の着物

V ライ ペ シユク

V ray pe siyuk

死んだ者の着物

V キ ワ オラ

V ki wa ora

を着て、

V カッコク サポ

V kakkok sapo

カッコウのお姉さんや

V トウトウツ サポ

V tutut sapo

ツツドリのお姉さん

V キ ワ オロワ

V ki wa orowa

が死装束を着て、それから

V タラペ ムイエ

V tarpe muye

ござの束を

V エホトウイトウイエ^[1]

V ehotuytuye

うちふるって (?)

V シケ パ ヒケ

V sike pa hike

(お姉さんたちが) 荷物を背負ったが

V

(ここから散文)

「タネ ソモ チサン クシ ネ ネ」

“tane somo cis=an kus ne ne”

「もう私は泣かない」

セコロ ハウエアナン コロ

sekor hawean=an kor

と私は言いながら

カッコク サポ^o トウトウツ サポ^o チンキ ケセ

kakkok sapo tutut sapo cinki kese

カッコウのお姉さんとツツドリのお姉さんの(着物の)すその端

アウコライパ アクス

a=ukoraypa akusu

を私がわしづかみにすると

「ソンノ ネ ヤ アンペ ネ ヤ」

“sonno ne ya anpe ne ya”

「本当か? 真実か?」

イコピシパ

i=kopisipa

(お姉さんたちが) 私にたずねた

ソンノ ネ ヒ アンペ ネ ヒ アイェ アクス オロワノ

sonno ne hi anpe ne hi a=ye akusu orowano

本当であること、真実であることを私が言うと

「ケライ ウタラパ

“keray utarpa

「さすが威風堂々とした男性

ケライ ニシパ アネ プ ネ クス エネ ネ」

keray nispa a=ne p ne kusu ene ne”

立派な男性であるものだからこのようである」

シコロ ハウエオカ コロ

sekor haweoka kor

と（お姉さんたちは）言いながら

イオマプ ロク イオマプ ロク コロ

i=omap rok i=omap rok kor

私をかわいがってかわいがってかわいがりつづけながら

オラ ソモ ノ…… スイ

ora somo no... suy

それから（このようなことは）せずに、また

イレシパ ワ オカアン ペ ネ クス

i=respa wa oka=an pe ne kusu

（お姉さんたちが）私を育てているのだから

アイエ セコロ

a=ye sekor

私が話すのです、と

ポノキクルミ イタク ハウエ

pon Okikurmi itak hawe

ポンオキクルミが話したこと

したと（?）。

（萱野：ああ、なるほどな）

【注】

- [1] 「エホトウイトウイエ バタバタ払い」（萱野茂、1988『カムイユカラと昔話』（小学館）：p343）。

24-7 カムイユカラ「ポンオキクルミ ヤイエイソイタク (ハラカツコク)」日本語交じりでの補足

語り手：黒川てしめ
聞き手・解説：萱野茂

萱野：そうしたらこれは……。

黒川：(せき払い)。

萱野：Pon Okikurmi [小オキクルミ] ……。

黒川：あの……。

萱野：うん。

黒川：あんまり……。

萱野：うん。

黒川：えくって [よくって] ……初めて生まれたやち [やつ]。

萱野：うん。

黒川: その、nisositciw imakake ta a... arwenkamuy upis rehot cikoykip(?) kor_ rametok kor siretok keske kusu koyki kusu yap pe [地の果てから全く悪い神様が、全部で 60 の神様が (?), その勇敢さ、その美貌を妬んでいじめようと人間の国に (海の向こうから) やってきたものが] 今度、その……tanepo [初めて] 生まれたばかりで今度、かか [嫁] も行く、Okikurmi [オキクルミ (伝説の主人公)] も行って、その wenkamuy koyki pa [悪い神様を退治する] するうちに、resu kuni p a=hunara yakka wen rapok pak iomap pe isam pe ne a=ne wa kusu aynumosir a=orap wa

u... oka=an rapok ne wa a=e=resu ruwe TATTE “Toy sitcire Mun_sitcire Honokkasi Osuoyanke e... Sankatososo keray ne p kusu epenupur pe ne h_ikusu iki pa” sekor pon kakkok utar pon tutut utar i=ye hine a=ruska kusu orano cis=an ayne ki [育てるものを探しても見つからなかったのだが、一方で、私たち以上に子供をかわいがるものはいないので、人間の国に私たちが降りている間におまえを育てたことだと言っても、「さすが土焼き、草焼き、おなかの上に鍋をのせる棚荒らしであるから、親譲りで霊力のあるものだから、そうしている」と、小さいカッコウたちや小さいツツドリたちが私に言って、私はそれに腹を立てたので、それから私はさんざん泣いたあげくそうした] したっていうのよ。

萱野：ああ、うん。だら、これは、pon Okikurmi yayeysoytak（小オキクルミが自ら物語る）……

黒川：そうよ。pon Okikurmi yayeysoytak したのよ。

萱野：うん。

黒川：その、おとつつあんもおつかさんも、rorunpe kusu [戦いのために] 歩いて、今度その後に kakkok と、sapo tutut sapo kamuymosir wa aynumosir oyrawketupa wakusu [カッコウのお姉さんとツツドリのお姉さんは、神様の国から人間の国へ（下りて来て）一生懸命よく働くから] たべせ、春んなれば。

萱野：うん。

黒川：初めて声するものを、rap pa h_i ta [神の国から下りたときに] ……あんまり a=erampokiwen wakusu a=e=resu a p ora ene hawean h_i “ora pon tutut utar pon kakkok utar opitta a=ronnu yakka siri e=nukar y_akka e=hawean kusu kamuymosir a=opaye wa kamuymosir wa wenkamuy ne a=i=kar y_akun a=i=kar y_akka pirka” sekor haw... hawean [私たちが気の毒に思ってお前を育てたのがこのようなことだと言い、「それから小さいツツドリたちや小さいカッコウたちをみんな殺したが、その様子をお前が見ても、お前がそう言っているので、私たちは神様の国に行つて、神様の国から悪い神様にされるのであれば、そうさ

れても良い」と言った]

萱野 : kokkok sapo utari [カッコウのお姉さんたちが]。

黒川 : tutut sapo [ツツドリの姉さんが]。

萱野 : tutut sapo iruska hawe [ツツドリのお姉さんが腹を立てる話] だ。

黒川 : うん。

萱野 : うん、なるほど。

24-8 カムイユカラ

「ポンオキクルミ ヤイエイソイタク (ココクンパイェヘー
キント)」

小さいオキクルミが語った

語り：黒川てしめ

サケヘ V=ココクンパイェヘーキント
V=kokokupayehekinto

V イレス サポ 育ての姉が
V iresu sapo

V イレシパ キワ 私を育てて
V i=respa ki wa

V オカアニケ いると
V oka=an h_ike

V ヘムトマニ ワノ このごろ
V hemtomani wano

V ウ ワッカ ク ナイ 水を飲む沢
V u wakka ku nay

V ウ シンプイ オツ タ 湧水のところで
V u sinpuy or_ ta

エンカ タ 上に
enka ta

V ポロ スンク V poro sunku	大きいエゾマツの木の
V シニシ コトロ V sinis kotor	高天の真ん中に
V エウシ カネ ヘキ ヘ…… V eusi kane heki he…	届く程に
V ヘトウク ワ アン V hetuku wa an	生えていた。
V ウ オロワノ V u orowano	それから
V ネワアンペ V newaanpe	それは
V エネ イキパ ヒ V ene ikipa hi	このようであった
V ウッシウ ウタラ V ussiw utar	召使たちが
V ワッカタ ワ アラキ V wakkata wa arki	水を汲んできた。
V エヌネ キワ V enune ki wa	そうして
V アパサム ロシキ コロ V apasam rosiki kor	戸口のそばに立てると
V スワヌ チカプ V suwanu cikap	円をかきながら舞おりの鳥が

V ラヌム コンナ V ran h_um konna	下りる音が
V シウシワツキ V siwsiwatki	びゅうびゅうと鳴った
V ポロ フリ V poro huri	大きい怪鳥 ^[1]
V カネ フリ V kane huri	金の怪鳥が
V ウイナ キワ V uyna ki wa	(召使いを) さらって
V スンク カタ V sunku ka ta	エゾマツの上で
イリシパ イペ irispa ipe	むしり食い
イトクパ イペ itokpa ipe	つつき食い
V キ コロ オカ V ki kor oka	していた
V ウ キ ロキネ V u ki rok h_in	そうしていて
タネ アナクネ tane anakne	今は
V ウッシウ ウタリ コオケレ V ussiw utari kookere	召使いもなくなった

V シネ アンペ タ V sine anpe ta	ある日
イレス サポ iresu sapo	育ての姉が
V エネ イタキ V ene itak h_i	このように言った
V 「イタカン チキ V “itak=an ciki	「私が話をするから
アレシパ ピト a=respa pito	私が育てた神よ
ウオンネレ ヤン uonnere yan	よく聞きなさい
V テエタ カネ V teeta kane	昔
V ニソシッチウイ V nisositciwi	空が大地に突き刺ささるところの
V イマカケ タ カムイ V imakake ta kamuy	そのまた向こうの神
ウエンカムイ トウミ wenkamuy tumi	悪い神の戦いに、
カムイ エオナ kamuy e=ona	神なるお前の父が
V コホプニ ワ V kohopuni wa	旅立ち

V エアニ パテク V eani patek	お前だけ
エアン キ キ コロ e=an ki ki kor	いながら
V オカ オロワノ V oka orowano	いて、それから
V パイエ ワ イサム V paye wa isam	行ってしまった
V エアニ パテク V eani patek	お前だけ
エアン キ キ コロ e=an ki ki kor	いながら
V ウ キ ルウエ ネ ワ V u ki ruwe ne wa	すごしてたのであって
V ネア カムイ エウヌ V nea kamuy e=unu	その神なるお前の母は
V ウ コン ロルンペ V u kor_ rorunpe	自らの戦いが
ウ ユプケ アイネ u yupke ayne	激しくなるうち
V ウ ライ ワ イシ V u ray wa is	死んで
アロンヌ ルウエ ネ a=ronnu ruwe ne	殺されたのだ

V ネ ヒ オロ(?) オロ タ V ne hi oro(?) oro ta	であること、そこで
V カント リ ウン クル V kanto ri un kur	天の高所の神
V ウ コツ トウレシ V u kor_ tures	の妹が
V イパンネ ヒケ V ip an=ne hike	私であって
V アシヌマ パクノ V asinuma panko	私ほど
エアシリ イヨマプ easir iomap	私こそが慈しむ
クニ プ アネ ル イサム kuni p a=ne ru isam	べきものであって、いない
キ クニ プ アネ ルウエ ネ ki kuni p a=ne ruwe ne	ほどの者であって ^[2]
V エヌネ ヒネ V enune hine	そういうことで
V ラナン ワ V ran=an wa	私が天下って
アエレス クナク a=e=resu kunak	お前を育てようと
V アシヌマ ネ ヤク エアシリ V asinuma ne yak easir	私なればこそ

V アイオトゥワシ V a=i=otuwasi	信頼されて
V ウ ラナン キ ワ V u ran=an ki wa	私が下りて
アエレス ロク ペ a=e=resu rok pe	お前を育てていたが
V エアン カトゥフ V e=an katuhu	お前がいる有様を
ネ ロク ウェンカムイ ne rok wenkamuy	例の悪神
アラ ウェンカムイ ar wenkamuy	本当に悪い神が
V オカケヘ タ V okakehe ta	(両親が死んだ) 後に
V オカイ プ キ クニプ V okay p ki kunip	いることを
エラモカ eramoka	知ったのだ
V ヤユウェカラ ワ V yayuwekar wa	自らXXXして
V オカ ルウエ ネ V oka ruwe ne	いるのだ
V ウ キ ロキネ V u ki rok h_ine	そうしていて

V アシヌマ アナク V asinuma anak	私は
ラヤナツカ ray=an yakka	死のうとも
トゥヤナツカ tuy=an yakka	切れようとも
V ウ シクヌ クニ プ V u siknu kuni p	生き返るべきものが
V アネ プ ネ クス V a=ne p ne kusu	私であるものだから
エアニ アナク eani anak	お前は
V ウ カムイ エネ ナ V u kamuy e=ne na	神であるぞ
V エライケ ヤクネ V e=rayke yakne	お前が殺されたならば
オナ ルウオカ ona ruwoka	父のあと
ウヌ ルウオカ unu ruwoka	母のあと
エタムエオマレ etam'eomare	が途絶える
V ウ キ プ ネ キ ナ V u ki p ne ki na	ことになるぞ

ネウンポカ エキ プ ネ ナ
neunpoka e=ki p ne na

どうかしなさい

V セコリタク コロ
V sekor itak kor

と言いながら

V
V

(ここから散文)

オロワノ オラ
orowano ora

それから

ライアナッカ
ray=an y_akka

死のうとも

トゥイアナッカ
tuy=an y_akka

切れようとも

シクヌ クニ プ
siknu kuni p

生き返るべき

アシヌマ アナク
asinuma anak

私は

ヤイカッチピ エアシカイ ペ
yaykatcipi easkay pe

復活できるものが

アネ ナ
a=ne na

私なのだ。

ネウンポカ エキ ワ
neunpoka e=ki wa

なんとかして

エシクヌ プ ネ ナ セコロ e=siknu p ne na sekor	生きるのだ、と
アコロ サポ a=kor sapo	わたしの姉は
ハウエアン コロ hawean kor	いいながら
ウ コント u konto	今度
ハヨク クニ hayok kuni	武装する様
シユク クニ siyuk kuni	身支度をする様を
オモンモモ omommomo	詳しく語る
ニアトウシ ウキネ niatus uk h_inē	手桶を取って
ワッカタ ヒネ wakkata hine	水汲みをして
エキネ チセ オロ ウ ek h_inē cise or un	来て、家の所へ
ナシ ^[3] アクス スイ ネア asi akusu suy nea	立てると、またあの
チカプ ラン フム コンナ cikap ran hum konna	鳥が下りる音が

シウシワツキ オラノ
siwsiwatki orano

びゅうびゅうと鳴る

アコロ サポ
a=kor sapo

私の姉は

ユプケタムクル
yupketamkur

激しい太刀筋を

コテレケレ
koterkere

走らせた

(ここから韻文)

V ウ オルン
V u or un

そこへ

V ウ クンネ レレコ
V u kunne rerko

夜三日間

V ウ トカプ レレコ
V u tokap rerko

昼三日間

V ネ イワン レレコ
V ne iwan rerko

その六日間

V ウ ネ キ キ コロ
V u ne ki ki kor

そうしていると

イマカケ タ
imakake ta

そのあと

V アコロ サポ
V a=kor sapo

私の姉の

イノトウ オロケ inotu orke	魂が
V ウ アラパ フミ V u arpa humi	飛び去る音が
トゥリミムセ turimimse	鳴り響いた
V イルシカ ケウトウム V iruska kewtum	怒りの気持ちが
アヤイコロパレ a=yaykorpore	わきおこった
V オロヤチキ V oroyaciki	はからずも
ウヌ ネ マヌ プ unu ne manu p	母というもの
オナ ネ マヌ プ ona ne manu p	父というものをも
アコラアン ペ a=kor aan pe	私が持っていたのに
V ハウケ カシパ V hawke kaspā	私があまりにも頼りなく
ウエンノ カシパ wennō kaspā	あまりに稚拙で
エキ ハウエ アン e=ki hawe an	あったということかと

V ヤイヌアン クス V yaynu=an kusu	私は思うので
V ハヨカン クニ V hayok=an kuni	私が武装する様子を
アノモンモモ an=omommomo	詳しく述べる
V ナヨッ タ ラナン ワ V nay or_ ta ran=an wa	沢に降りて
ワッカタアン イネ チセ wakkata=an h_ine cise	水を汲み、家
オルン アアシ アクス or un a=asi akusu	のそばへ立てると
V スイ スワヌ チカプ V suy suwanu cikap	再び円をかきながら舞い降りる鳥が
ラヌム コンナ ran h_um konna	降りる音が
シウシワツキ siwsiwatki	びゅうびゅうと鳴る
オロワノ orowano	それから
V アコイキ カトウ V a=koyki katu	私がそいつを打った様は
V タヌシコトイ ワ V tan h_uskotoy wa	以前から

ネ ロキネ ne rok h_ine	であって
V タネ アナクネ V tane anakne	今は
オアッチキリ oatcikir	片足を
アオツケ ア シラン a=otke a siran	突き刺した
ヌマハ カ numaha ka	毛も
トゥイパ アイネ tuypa ayne	切ってそして
V トウ カネ タムセブ V tu kane tamsep	幾度も金属を打つ音が ^[4]
ナイナタラ naynatara	響き渡った
アカン ロキネ a=kar_ rok h_ine	そうしているうち
V ヌマハ アトウイエ オケレ V numaha a=tuye okere	毛を切り終え
V オアッチキリ アトウイパ キ ナ V oatcikir a=tuypa ki na	もう片方の足も私が切るぞ ^[5]
オロワノ orowano	それから

アカン ロキネ a=kar_ rok h_ine	そうしているうちに
オアッチキリ アトウイパ チキ oatcikir a=tuyupa ciki	片方の足を切ったら
V ウ テックペテレケ V u tekkupeterke	翼でもって跳ね
テックペチャラセ tekkupecarse	翼ですべり
V イケサンパ V i=kesanpa	私を追ってくる
V オロワノ V orowano	それから
アカン ロキネ a=kar_ rok h_ine	そうしているうちに
V ウレン テックピ V uren tekkupi	両の翼を
アトウイパ ヤッカ a=tuyupa yakka	切っても
V ホネテレケ V honeterke	腹で跳ね上がり
ホネチャラセ honecarse	腹ですべり
V イケサンパ V i=kesanpa	私を追いかける

オロワノ orowano	それから
V イキアナイネ V iki=an ayne	そうして
V V	
(ここから散文)	
コント konto	今度
ポロ レクチ poro rekuci	大きい首を
アトウイテクテク (ヒ) ネ a=tuytektek (hi)ne	私がさっと切って
ホネチャラセ honecarse	腹ですべり
ホネテレケ honeterke	腹で跳ね上がり
エピッタ epitta	その間中
イパレヤシカラ i=pareyaskar	私を嘴で突く
ペ ネ クス pe ne kusu	ものだから

タネ アナクネ tane anakne	今は
アオッシケオプ a=ossikeop	私の内蔵が
トゥルセ。サイ クンネ turse. say kunne	落ちて弧を描いて
アシトムコテ コロ a=sitomkote kor	体に巻きつけながら
ポロ レクチ poro rekuci	大きい首を
アトゥイテクテク a=tuytektek	私がさっと切り
オラノ アタタタタ orano a=tatatata	それから細切れにし
アフンパ アフンパ a=humpa a=humpa	刻み刻みする
ノカン カム ノチ nokan kam noci	細かい肉の一切れ
ルプネ カム ノチ rupne kam noci	大きい肉の一切れが
ウヘコテ シヌ シヌ uhekote sinu sinu	互いに向かってずるずる (肉が集まるので)
アチャリ チャリ a=cari cari	その肉をまき散らし

アチャラパ チャラパ a=carpa carpa	バラバラにまき散らし
アタタタタ a=tatatata	私は細かく刻んだ
アカン ロキネ a=kar_ rok h_in	そうしているうちに
アタタ オケレ ヒネ a=tata okere hine	刻み終えて
ウサ ウェンキキリ usa wenkikir	その肉片がいろいろな悪い虫
ウサ ウェンチカプ ネ usa wencikap ne	いろいろな悪い鳥になり
レイパ レイパ reypa reypa	はいずってはいずって
ホブンパ ワ パイエ hopunpa wa paye	飛んで行く
アカン ロキネ a=kar_ rok h_in	そうして
アライケ ルウェ ネ アクス a=rayke ruwe ne akusu	私がそれらを殺したところ
オラヌ ヒネ オラ オカケタ oranu hine ora okaketa	そこに下り、それから後ほど
ヤイヌアン フミ エネ オカ ヒ。 yaynu=an humi ene oka hi.	よぎった考えはこうであった

ネイ タプ ネ ney tap ne	いったいどこに
イレス ポカ i=resu poka	人に育てられることさえ
ヤイコランペテク yaykorampetek	かなわなかった
クニ シリ アン ペ kuni siri an pe	はずであったものを
イレス サポ i=resu sapo	私を育てた姉
ネ アクス ne akusu	であったところ ^[6]
ネ ライ ワ アラパ ne ray wa arpa	その死んで行く
ホントム ワノ hontom wano	中ほどから
シクヌ ピト ネ siknu pito ne	生きた者として
シクヌ カムイ ネ siknu kamuy ne	生ある神として
アラパ フミ arpa humi	行く音が
トゥリミムセ turimimse	響き渡った

アナク キ コロカ anak ki korka	けれども
エネ イエコホピ アラパ イ アン ene i=ekohopi arpa h_i an	このように私から去って行くのか [7]
セコロ ヤイヌアン sekor yaynu=an	と、考えながら
オラノ orano	それから
チサン コロ オラ cis=an kor ora	私は泣きながら
アウニ タ エカン ワ a=uni ta ek=an wa	家に戻ってきて
アナン セコロ カ an=an sekor ka	暮らしている、とも
ポノキクルミ pon_ Okikurmi	小さいオキクルミが
イソイタク ハウエ だべし。 isoytak hawe DABESI.	物語った、という話だべさ。

(萱野) あ〜なるほどな。

【注】

- [1] huri は説話に現れる怪鳥で、人を食い殺すという。この後のストーリーでは、両親が地の果てに住む悪神に殺されていたこと、その悪神が生き残った子供（主人公 pon Okikurmi）に目を付けて殺そうとし、育ての姉が戦うことが語られる。この悪神が huri だと考えられるが、一般的には巨木に住む huri と地の果ての悪神は別な神格であると考えられるなど、やや語りがつながっていないように思われる点がある。

- [2] asinuma pakno easir iyomap ki kuni p isam kuni p a=ne ruwe ne 「私ほど子供を慈しむものはいないので」と言おうとして、表現が多少前後したものと思われる。
- [3] 前の行とつながって発音されるため n と a でナに聞こえる。
- [4] 直訳は「二つの金の刀の音が」。
- [5] 説話に現れる怪鳥の類は金属や岩でできた羽毛を身にまとっていることが多い。ここでも硬い羽毛が一度では切れず、幾度も斬りつけるうちによりやく羽毛をそいで足を斬ることができたのである。
- [6] 「両親を失い、本来であれば誰にも育てられることがなかったはずの境遇だが、姉が育ててくれていたのだった」というほどの意味か。
- [7] Okikurmi を育てた姉は復活したけれども、すでに Okikurmi もじゅうぶん成長し養育の役割を終えたため、再会せずに神界へ帰っていくということであろう。

24-9 カムイユカラ

「レプンカムイ トウレシヒ アネ (アトウイカ ラクラク)」

シャチ神の妹

語り：黒川てしめ

サケへ V=アトウイカラクラク
V=atuykarakrak

V イレス ユピ 育ての兄が
V iresu yupi

V イレス キワ 私を育てて
V i=resu ki wa

V オカアニケ 暮らしていると
V oka=an h_ike

V エネ イタキ このように言った
V ene itak h_i

V 「アコッ トウレシ アコロ…… 「私の妹よ
V “a=kor_ turesi a=kor...

V タパン テワノ ここから
V tapan tewano

エアラパ アイネ 旅立って
e=arpa ayne

V モシリパ サリヒ タ 東の方の草原に
V mosirpa sarihi ta

V エヤン ワ ネ ヤク V e=yan wa ne yak	上陸したなら
V ウ オロワノ V u orowano	それから
V カムイ ニシクル カ V kamuy niskur ka	神天に
コシエタイエ kosietaye	上って
エキ ワ ネ ヤク e=ki wa ne yak	行ったならば (そこにいる)
ウ ランケカント コロ カムイ u rankekanto kor kamuy	低い天の神の
オマヤラペ omayarpe	おむつの
エムコサマ アエオレス ワ emkosama a=e=oresu wa	一方でお前を育てて ^[1]
オカアン キ ペ oka=an ki pe	きたの
ネ ルウエ ネ ne ruwe ne	であるぞ。
V ウ カムイ マシキン V u kamuy maskin	ただの神にも増して
V ウイエプヌ ヒケ V uyepnu hike	良く人の話を聞く所を

V アエラヤプ ペ ネ ナ	称えられる方であるぞ
V a=erayap pe ne na	
アラパ ワ エク」 セコロ	行ってきなさい」と
arpa wa ek” sekor	
V アコロ ユピ	私の兄が
V a=kor yupi	
ハウエアニ クス	言うので
hawean h_i kusu	
V アタラペムイエ	私の織ったゴザの束を
V a=tarpemuye	
アエホトウイトウイエ	を背負って (?)
a=ehotuytuye	
ウ ヤナナイネ	陸に向かい
u yan=an ayne	
モシリパ タ ヤナン	東の方に上陸した。
mosirpa ta yan=an	
ウ キ アクス	そうすると
u ki akusu	
V モシリパサリ ウン クル	東の方の草原にいる人の
V mosirpasari un kur	
V インネ コタン	家々が並ぶ村
V inne kotan	
ポロ コタナン	大きな村がある
poro kotan an	

コタン ノシキ タ kotan noski ta	村の中央の
チセ オルン cise or un	家の中の
V パラパラカウ V paraparak h_aw	泣き叫ぶ声が
ウェン ルイ クス wen ruy kusu	あまり激しく聞こえるので
プヤラ オポソ puyar oposo	窓から
インカラン アクス inkar=an akusu	見てみると
V シネ オッカイボ V sine okkaypo	一人の男性が
V ウ ソサモツペ V u sosamotpe	愛用の刀 ^[2]
V シク…… ノタカシヌ ヒケ V sik... notakasnu hike	鋭利な刀を
V シコエタイエ V sikoetaye	抜き
「アアンテマチ “a=antemaci	「我が妻が
V イサム シンネ ヤク V isam sinne yak	居ないのなら

V タネ アナクネ V tane anakne	いまとなつては
V ウ ラヤン クニ プ V u ray=an kuni p	死んだ方がましな
ネ シリ ネ ワ」 ne siri ne wa”	くらいだ」
セコリタク コロ sekor itak kor	と言いながら
ウク ワ エシロツケ ワ uk wa esirotkwa	手に取って、床に突きたて
カシ ウン ヤヨスラ コロ kasi un yayosura kor	その上に身を投げ出した。そこで
オロ タ アオテレケ アン oro ta a=oterke an	刀を蹴り飛ばして
オヤクン アオスラ oyak un a=osura	別の所に投げ捨てた、
ウ キ ワ ネ コロ u ki wa ne kor	そうすると
オロワノ orowano	それから
ウトウルフ タ uturuhu ta	下座に
ウ ライ メノコ u ray menoko	死んだ女性の

ウ カプカシケ u kapkasike	肌に
ウ ヤイエシル u yayasiru	すがって
V エネ オカ ヒ V ene oka hi	このように言った
「アアンテマチ “a=antemaci	「我が妻
アソカラマチ a=sokarmaci	我が本妻よ
シヌマ カ タプ sinuma ka tap	そなた自身が
ウ キワ ライ ペ u ki wa ray pe	死んでしまって
ヘマンタ アカラ hemanta a=kar	私は何のために
シクヌアン ペ アン？」 siknu=an pe an?”	生きるというのか？」
セコリタク コロ sekor itak kor	と言いながら
キ コロ オラノ ki kor orano	そうして、それから
アエシカリ ワ a=esikari wa	私は刀をつかんで

オヤクン アオスラ oyak un a=osura	別の所に放り捨て
エヌネ アイネ enune ayne	そうしたところ
エラムシンネ ワ eramsinne wa	男は気が抜けて
オロワノ orowano	それから
シリカ オシマ sirka osma	横になり
トゥ スイ チシ ノイエ tu suy cis noye	二つの泣き声
レ スイ チシ ノイエ re suy cis noye	三つの泣き声をあげ
ウ キ コロカ u ki kor oka	そうしていた
ニ ネシ ウン ni nesi un	(強調)
カムイニシ コトロ kamuynis kotor	上天の中央に
コシエタイェ イパンキ イネ kosietaye ip an=ki h_in	私は上って行って
カントリモシリ kantorimosir	空のさらに上の国

アオアラパ キ ワ a=oarpa ki wa	に行って
カントリ ウン クル kantori un kur	天空にいる神
オロ タ ネシ oro ta nesi	の所に
アフナナクス ahun=an akusu	入ったところ
カントリ ウン クル kantori un kur	天空にいる神が
アラソケ タ arsoke ta	向かいの座に
ノトカムレ notokamure	目を落として
オシソウン マ osisoun w_a	右座に
オカ ヒケ oka hike	いたが
アラソケ タ arsoke ta	向かいの座で
ホリッパアン コン horippa=an kor_	私は踊りながら
ネウンネウン ヤイカラ ヤイカラ neunneun yaykar yaykar	いろいろな所作をし

アキ キ コロ a=ki ki kor	ながら
テレケテレケ terketerke	飛び跳ね
「アアンテ ホク “a=ante hoku	「私の夫
アソカラ オク a=sokar h_oku	私の本当の夫よ
ネプ ルシカ ワ nep ruska wa	何に腹を立てて
オカ ルウェ アン」 セコリ ^[3] oka ruwe an” sekor	いるのか」、と
タカン コロ itak=an kor	私は言いながら
テムラチラチアン temraciraci=an	手をぶらぶらさせ
テレケテレケアン terketerke=an	飛び跳ねたり
ホリッパアン コロ horippa=an kor	踊りながら
アナナクス an=an akusu	いるうちに
エミナ アクス emina akusu	神が笑った。すると

パロホ ワ paroho wa	その口から
ウ ライタマヌム u raytamanum	死者の魂が
ウ チトウルセレ u citursere	ころがった
ウ キ ヒ クス u ki hi kusu	そこで
アエシカリ ワ a=esikari wa	それをつかんで
ソヨテレケアン soyoterke=an	外に飛び出した
ウ オロワノ u orowano	それから
ウ ラナン アイネ u ran=an ayne	下りて行って
ネア モシリパ タ nea mosirpa ta	その東の国に
ウ ラナニネ u ran=an h_inne	下りて
アフナナクシ ahun=an akus	家に入ると
ウ ネア メノコ u nea menoko	その女性の

カシ チシ ウン コロ kasi cis un kor	上で泣いている
ウ シラン ヒ クス u siran hi kusu	様子なので
アフナニネ ahun=an h_inē	私は入って
ウ オロワノ u orowano	それから
アコイピタ ヤク a=koypita yak	着物をほどく ^[4]
ピリカ ピリカ セコロ pirka pirka sekoro	ようにと
イタカン アクシ itak=an akus	私が言うと
アコイピタツパ a=koypitatpa	着ているものがとかれ ^[5]
ウ キ クス u ki kusu	たので
ライタマヌム raytamanum	死者の魂の粒を
ウ コツパラ カシ u kotpar kasi	胸元の上に
アエシルカラ コロ a=esirukar kor	こすりつけながら

タパン シノッチャ tapan sinotca	この歌を
アエラウンクチ a=eraunkuci	のどの奥を
エカムイノイエ ekamuynoye	駆使して
トゥ スイ イムフッセ tu suy imuhusse	二つの巫術の息吹き ^[6]
レ スイ イムフッセ re suy imuhusse	三つの巫術の息吹きを
アネシタイキ an=esitayki	女性にかけ
イキアナイネ iki=an ayne	続けるうちに
アカン ロキネ a=kar_ rok h_ine	そうするうちに
ホブンパ hopunpa	起き上がった
シク マカ ヒケカ sik maka hikeka	目を開けたが
タサ ライ ランケ tasa ray ranke	また死につつ
タサ ライ ランケ tasa ray ranke	また死につつ

エヌネ アイネ enune ayne	そうするうちに
ウ シクヌ ヒケ u siknu hike	生き返って
パヌセイポ panuseypo	おも湯を
アアッテ ヒネ a=atte hine	火にかけて
アクレ アクス a=kure akusu	私が飲ませたところ
ク ワ オケレ ku wa okere	飲み終え
キ ワ クンネ ki wa kunne	て
ヘテメロシキ hetemeroski	体を起こし
ホプンパ ヒネ hopunpa hine	起き上がって
ロク パ シリ rok pa siri	座った様子を
アヌカラ ヒ クス a=nukar hi kusu	私が見たので
オロワ ネシ orowa nesi	それから

ソヨテレケアン
soyoterke=an

外にとび出て

アシケ アセ ワ
a=sike a=se wa

私の荷を背負い

オロワノ
orowano

それから

ウ エカニネ
u ek=an h_ine

(家に) 来て

アフナナウニ タ キ ヒケカ
ahun=an a=uni ta ki hikeka

私の家に入ったが

「マク エイキ ワ
“mak e=iki wa

「お前は どうして

エエク シリ アン」
e=ek siri an”

来たのだ」

セコロ エネ カ
sekor h_ene ka

とさえも

アコロ ユピ
a=kor yupi

私の兄は

ハウェアン カ ソモ ノ
hawean ka somo no

言いもせず

(ここから 散文語り)

モシマノ アン オラノ
mosmano an orano

黙っていて、それから

アコロ ユピ a=kor yupi	私の兄が
コソモタシヌ プ ネ クス kosomotasnu p ne kusu	知らぬ素振りなので
タプネ ネ セコロ カ tapne ne sekor ka	あれやこれやと
ハウエアナン カ ソモ hawean=an ka somo	私も言いもせず
「マク エイキ ワ “mak e=iki wa	「どうして
エホシピ シラン」 e=hosipi siran”	お前は帰ったのだ」
シコロ エネ カ sekor h_ene ka	とさえも
ハウエアン カ ソモ キ プ ネ クス hawean ka somo ki p ne kusu	言いもしないので
オカアナイネ oka=an ayne	そうしていて
トゥ ソンコ イキン tu sonko ikir_	二つの言伝の行列
レ ソンコ イキリ re sonko ikir	三つの言伝の行列が
アルカラリ arukarari	互いに重なる様子は

エネ オカ ヒ ene oka hi	こうであった
「フチアペ オロ ワ “huciape oro wa	「火の神から
カムイ モイレマツ kamuy moyremat	神なる淑女
レプン カムイ コツ トウレシ repun kamuy kor_ turesi	沖の神の妹が
カムイ メノコ kamuy menoko	神なる女性
たか アイヌ メノコ TAKA aynu menoko	だか、人間の女性を
シクヌレ ペ siknure pe	生き返らせた者が
ネ イシクヌレ プ ne i=siknure p	その私を生き返らせた
メノコ ネ menoko ne	女性であるので
ネ ワ アコロ…… アアンテ ne wa a=kor... a=ante	私の
ホク コロ ワ ネ ヤクネ hoku kor wa ne yakne	夫がめとったなら
コント konto	今度は

ソカラムツ ネ sokarmat ne	正妻として
コラク アシヌマ kor y_ak asinuma	めとるなら、私は
チパンケマツ ネ cipankemat ne	側室として
アナン クス ヤッカ an=an kusu yakka	いたとしても
ピリカ クス、アン クス pirka kusu, an kusu	良いので、その女性がいたおかげで
シクヌアン ペ ネ siknu=an pe ne	私が生き返ったという
ハウエ ネ クス hawe ne kusu	話なのだから
キ ナ」 セコロ ki na” sekor	そうする」と
オカイ ペ ネシ okay pe nesi	いった事柄を
トゥ ソンコ イキン tu sonko ikir_	二つの言伝の行列
レ ソンコ イキリ re sonko ikir	三つの言伝の行列が
アトゥイ カ ラクラク ア ルウエ atuy ka rakrak a ruwe	海の上を広がっていったこと

(ここから韻文語りに戻る)

V ノヌイタサ	を交わし (?)
V nonuytasa	
ウ キ ロキネ	そうしていて
u ki rok h_i ne	
ウ アコロ ユピ°	私の兄が
u a=kor yupi	
エネ イタキ	このように言った。それは
ene itak h_i	
V 「アイヌ ニシパ	「アイヌの紳士が
V “aynu nispa	
V ヘコテ カムイ	仕える神
V hekote kamuy	
ウ オロワノ	から
u orowano	
ウ イェ ア イタク	の言葉を
u ye a itak	
ソモ アヌ ワ	聞き届けない
somo a=nu wa	
ネ ワ ネ ヤクネ	とすれば
ne wa ne yakne	
カムイ イコイパク	神が我らを罰することを
kamuy i=koypak	

ウ キ ワ ネ クス u ki wa ne kusu	なさるだろうから
エヤン マ エエウタンネ e=yan w_a e=ewtanne	お前は行って、あの者と一族となり
V アイヌ メノコ V aynu menoko	アイヌの女性と
V トウラノ エアン マ V turano e=an w_a	一緒にくらして
V クス エイキ プ ネ クス V kusu e=iki p ne kusu	そのためにそうするのだから
V アイヌ オツ タ V aynu or_ ta	アイヌの所で
アイヌ オンネ aynu onne	アイヌとして老いる
エキ ヤク ピリカ」 e=ki yak pirka”	が良い」 ^[7]
セコロ オカイ ペ sekor okay pe	ということを
ウ タ イェ カネ u ta ye kane	言った。
タン ペ クス tan pe kusu	このために
ヤイレンカ ネ yayrenka ne	よろこんで

スイ アタラペ ムイエ suy a=tarpe muye	また私の織ったゴザの束を
アセテク キ イネ a=setek ki h_inē	さっと背負って
エカナイネ ek=an ayne	やって来て
アフナニネ ahun=an h_inē	かの家に入り
ネア カツケマツ nea katkemat	かの淑女が
イヌカラクス i=nukar akusu	私を見ると
アサンテク カシ a=santek kasi	私の手を取り
イコルイルイパ i=koruyruypa	喜んでなでさすり
ネア ニシパ nea nispa	かの紳士
ネ ワ ネ ヤッカ ne wa ne yakka	であっても
トゥ ライ オンカミ tu ray onkami	私に幾度も拝礼を
エウカクシテ eukakuste	繰り返し

オロワノ orowano	それから
「アアンテマチ “a=antemaci	「私の正妻は
(ここから散文語り)	
エネ アカラ クス ene a=kar kusu	このようにあなたがしたために
アカン ロキネ a=kar_ rok h_ine	あなたのしたことで
シクヌ ワ クス siknu wa kusu	(妻は) 生き返ったのだから
オラノ orano	それで
エネ ハウエアン コロカ ene hawe an korka	そのように (妻が) 言っても
エネ アエラム ヒ カ イサム ノ ene a=eramu hi ka isam no	いかようにも称える言葉がない
カムイ ネ マヌ プ kamuy ne manu p	神たるものに
アシカウンピウキ キレ a=sikaunpiwki kire	救われて
アクス エネ akusu ene	そうしてこのように

エシクヌ ワ
esiknu wa

それで (妻が) 生き返って

たか エネ エネ
TAKA ene ene

かくかくしかじか

シリ アン」シコロ ハウエアン イネ
siri an" sekor hawean h_in

なのだ」と話した。

タップネ タブネ
tapne tapne

かくのごとく

カネ ネ ワ
kane ne wa

であって

エカニ アイエ
ek=an h_i a=ye

私がやって来たわけを言った

オラノ
orano

すると

トゥ ライ オンカミ
tu ray onkami

2つの拝礼を

レ ライ オンカミ
re ray onkami

3つの拝礼を

ネア ニシパ
nea nispa

その紳士は

ウカクシパレ コロ
ukakuspare kor

繰り返しながら

コント
konto

今度は

ピリカ チセ pirka cise	立派な家
ポロ チセ カラ ワ poro cise kar wa	大きい家を作って
ソカラムッ ネ sokarmat ne	正妻として
アナン クス ネ an=an kusu ne	私が暮らように
セコン ネア sekor_ nea	とその
メノコ ハウエアン コロカ menoko hawean korka	女性が言ったけれど
ソモ アヌ ノ somo a=nu no	私はそうはせず
コント ソイ タ konto soy ta	母屋の外（はなれ）に
オカアン マ oka=an w_a	暮らして
ネパカラッカ nep a=kar y_akka	何をするにしても
ウトウラアン カネ utura=an kane	一緒にして
カムイ アネ クス kamuy a=ne kusu	私は神なので

ハンケ アエラナク ペ hanke a=eranak pe	近くの心配事
トゥイマ アエラナク ペ tuyma a=eranak pe	遠くの心配事の
モト アイェ コロ moto a=ye kor	由来を聞かせながら
トゥ アタイ シリ tu atay siri	その返礼として
アエプ ネ チキ aep ne ciki	食べ物でも
ネプ ネ チキ nep ne ciki	なんでも
アアンテホク カシ タ a=antehoku kasi ta	私の夫の所に
アコロパレ コロ a=korpare kor	運んでくると
ソレクスワ sorekusuwa	それこそ
エ コロ オカアナイネ e kor oka=an ayne	それらを食べながら暮らしていて
オラノ orano	それから
ネア マチ ソレクスワ nea maci sorekusuwa	かの妻はそれこそ

イネアプ タ イエオリパク ワ ineap ta i=eoripak wa	私を立て、大切にしてくれる
イキ ヤ カ アエラミシカリ コロ iki ya ka a=eramiskari kor	様はたとえようも無いほどで
オカアン イネ オラノ oka=an h_ine orano	そうしていて、それから
ネ アアンテホク ne a=antehoku	我が夫
アソカラホク a=sokarhoku	我が真の夫は
サケ コロ コロ sake kor kor	酒を造ると
アコロ ユピ° a=kor yupi	私の兄を
パセ ノミ pase nomi	立派に祭り
サンケ ピト ネ sanke pito ne	親しい者として
サンケ カムイ ネ sanke kamuy ne	親しい神として
ノミ ワ nomi wa	祈って
アコロ ユピ° a=kor yupi	私の兄は

エヤイカムイネレ eyaykamuynerere	それによってますます神格を増し
コラン シリ アヌカラ コロ kor an siri a=nukar kor	その様子を私は見みながら
オカアナイネ oka=an ayne	暮らして
オンネアン シリ onne=an siri	今は年老いた
エネ アニネ クス ene an h_i ne kusu	ようなので
アイヌ オンネ aynu onne	人間としての老いを
アイヌ オツ タ aynu or_ ta	人間の所で
アキ クナク a=ki kunak	私がするべく
カムイ アユピ kamuy a=yupi	神なる私の兄が
イエ プ ネ クス ye p ne kusu	言ったものである
アイヌ オンネ aynu onne	人間としての老いを
アキ ヤクン a=ki yakun	私がしたなら

ヤヨロルンノ ネア アホク ネア 自らの故郷へ、我が夫と
 yayoror unno nea a=hoku nea

アトウシ トウラノ 本妻と一緒に
 a=tusi turano

パイェアン シリ ネ クス 行くのであるのと
 paye=an siri ne kusu

アイェ セコロ 語った、ということだ。
 a=ye sekor

【注】

- [1] 「生まれた時から、一つの布を分け合ってむつきとして育てられた」という意味で、許嫁であることを表現する時の常套句。
- [2] so-sam-ot-pe 「座・の側・にかかる・物」。自分の座席や寝床からすぐ手の届くところに置いておく、最も頼みにする刀のこと。
- [3] 次の行とつながって発音されるので「セコリ」と前の行に書いた。
- [4] ここでの a=は2人称敬称「あなた（たち）」の意味で使われている。
- [5] ここでの a=は受身の形。「女性が死装束を解かれた」という意味。
- [6] 霊的な力のこもった息。回復を促したり、魔物を払う働きをする。
- [7] 物語の世界ではカムイが人間の伴侶となっても、あまり長く人間界には留まらず、早世するという形で早くに別れるのが常である。それに対し、ここでは夫と共に天寿を全うするまで人間界にいて良い、と言われている。また、死後についてここでの表現からは、神界へ戻る、あるいは夫と同じく人間の他界へ赴くという2通りの解釈がありうる。

24-10 カムイユカラ

「レプンカムイ トウレシヒ アネ（アトウイカ ラクラク）」

日本語による補足

語り手：黒川てしめ

（萱野：これはヘマンタ カムイ？）

（萱野：これは hemanta kamuy？）

（萱野：これは、なんて神様？）

レプン カムイ トウレシ！

repun kamuy turesi!

レプンカムイの妹！

（萱野：レプン カムイ トウレシヒ）

（萱野：repun kamuy turesihi）

（萱野：レプンカムイの妹）

うん。で、レプン カムイ

うん。で、repun kamuy

うん。で、レプンカムイの

トウレシ ネ ワ クス

妹であったから

turesi ne wa kusu

「カントリ ウン クル

「天空の神の

“kantori un kur

オマヤラペ

おむつ

omayarpe

エムコサマ

の片側で

emkosama

アオレス ワ a=oresu wa	育てられて
エアンペ ネ ナ e=anpe ne na	お前があるのだ
アラパ ワ インカラ」 セコロ arpa wa inkar” sekor	行ってみろ」と
イイエ ワ クス i=ye wa kusu	言われるので
コント エカン アクス konto ek=an akusu	今度、私がやって来たところ
エネ ヤナニネ ene yan=an h_ine	このように、陸に上がって
ヤ タ ヤナニネ ya ta yan=an h_ine	陸に上陸して
アラパアナクス arpa=an akusu	行ってみたところ
インネ コタン アン ペ inne kotan an pe	人の多い村があったのだが
コタン ノシキ タ kotan noski ta	村の真ん中に
エネ シリキ コロ ene sirki kor	このような様子で
パラパラカ paraparak a	泣き叫ぶ

シリ ウェン ルイ クス
siri wen ruy kusu

様子が本当にひどいので

プヤラ カリ インカラナクス
puyar kari inkar=an akusu

窓からのぞいて見ると

エネ シリキ アヌカラ
ene sirki a=nukar

このような様子が見えた

ヒクス オラ
hikusu ora

ので、それから

コント オラノ ネ
konto orano ne

今度、それからその

チセ コン ニシパ
cise kor_ nispa

家の主が

マチ ライ ヤクン
maci ray yakun

妻が死ぬなら

ライ クナク イェ コロ
ray kunak ye kor

死ぬと言いながら

エムシ エタイェ ワ
emus etaye wa

刀を抜いて

(咳) ヤヨスラ コロ アン
(咳) yayosura kor an

身を投げ出している

オラノ
orano

それから

アエシカリ ワ
a=esikari wa

私が刀をひったくって

オヤクン oyak un	よそへ
アオスラ コロ…… ア クス a=osura kor... a kusu	捨てたので
オラ 「ネウン ネ ヤッカ ora “neun ne yakka	それから「どうあっても
ライ カ エヤイカブ ray ka eyaykap	死ぬこともできない
シリ ネ ヤクン」 siri ne yakun”	ようだったら」
セコロ ハウエアン コロ オラウン sekor hawean kor oraun	と言いながらそれから
チシ コロ ネ マチ cis kor ne maci	泣きながら、その妻の
カシケ…… クルカシ kasike... kurkasi	上に
ヤイエシル コロ アン yayesiru kor an	すがりながらいる
シリ アヌカラ コロ siri a=nukar kor	様子を見ながら
カムイ…… リクン カント kamuy... rikun kanto	天空
オッ タ アラパアン ワ or_ ta arpa=an wa	に行って

カンナ カムイ kanna kamuy	雷神の
オロ タ アラパアン ペ oro ta arpa=an pe	所に行ったところ
ノト カムレ ワ noto kamure wa	俯いて
ネプ カ イェ カ ソモ ノ nep ka ye ka somo no	何も言わずに
ウニ タ オハチシ…… オシソウン アン uni ta ohacis... osisoun an	家に、右座にいる
ネ アコロ クス ネ ne a=kor kusu ne	その私が嫁ぐはずの
カンナ カムイ kanna kamuy	雷神
ネ ヤク アユピ ne yak a=yupi	だと、私の兄が
イェ プ アラソケシ タ ye p arsokes ta	言うものだから、反対の座で
ホリッパアン horippa=an	私が踊り
テムラチラチアン temraciraci=an	腕をぶらんぶらん
コロ キ アイネ kor ki ayne	していて

ネン ネン ハウエナナン コロ nen nen hawenan=an kor	色々言いながら
キ アイネ エミナ ki ayne emina	やっているうちに、彼が笑った
アクシ パロホ ワ akus paroho wa	ところ 口から
ライタマヌム raytamanum	死者の魂の粒が
トゥルセ テク ヒクス turse tek hikusu	ぽろりと落ちたので
アコロ ワ ラナニネ a=kor wa ran=an h_ine	それを持って下界へ下って
ネ メノコ ne menoko	あの女性の
オロ タ アフナナクス oro ta ahun=an akusu	家に入ると
ネ アシピネレ ワ ne a=sipinere wa	もう死装束をさせられて
アン ペ アコイピタ クス an pe a=koypita kusu	いたので、着物を開かせるように
アイェ ワ a=ye wa	私は言って
アコイピタツパ ヒネ a=koypitatpa hine	私はその装束を解いて

オラノ orano	それから
トゥ スイ イム ウッセ アエシタイキ tu suy imu h_usse a=esitayki	2度(3度)と蘇生の息吹をかけ
ネア ライタマヌム nea raytamanum	その魂の粒を
ケウ クルカシ kew kurkasi	体の上に
ア…… コツパラ カシ a... kotpar kasi	胸の上に
アエシル アイネ a=esiru ayne	擦りつけているうちに
シクヌ イネ パン siknu h_ine pan	生き返って、薄い
ウセイポ アクレ ヒネ オラ useypo a=kure hine ora	重湯を飲ませて、それから
ソヨテレケアン イネ soyoterke=an h_ine	外に飛び出して
アユピ オロタ a=yupi orota	兄のところに
エカン アクス アン…… ek=an akusu an...	やってくると
「マク エイキ ワ “mak e=iki wa	「いったいどうして

エエク シリ アン？」
e=ek siri an?”

帰ってきたのだ？」

セコロ エネ カ
sekor h_ene ka

とも

アユピ[°] ハウエアン カ ソモ ノ
a=yupi hawean ka somo no

言いもせず

モシマノ アン ペ
mosmano an pe

だまっている

ネ クス
ne kusu

ので

モシマノ アナン イネ
mosmano an=an h_ine

私も黙っていて

アナナ プ オラノ
an=an a p orano

そうしていたところそれから

トゥ ソンコ イキリ
tu sonko ikir

数多のメッセージが

アラ ウカラリ オラ
ar ukarari ora

幾度も重ねて来るので

インカラニケ
inkar=an h_ike

見ると

ネア メノコ
nea menoko

例の女性が

「イシクヌレ メノコ
“i=siknure menoko

「私を生かしてくれた女性

トゥラノ エアシリ turano easir	と一緒にあれば初めて
アナン ペ ネ」 セコロ an=an pe ne” sekor	生きていられる」 ^[1] と
ハウエアン コロ チシ コロ アン hawean kor cis kor an	言いながら泣いている
シリ アヌカラ アクス siri a=nukar akusu	様子が見えたので
オラ アユピ ora a=yupi	それから私の兄が
エネ ハウエアニ ene hawean h_i	このように私が言った。
「エヤン ワ “e=yan wa	「お前が陸に行って
ネア アイヌ メノコ nea aynu menoko	その人間の女性が
エク クス ek kusu	来たので ^[2] 、
アイヌ ニシパ aynu nispa	人間の紳士と
トゥラノ エアン ワ turano e=an wa	一緒にいて
アイヌ オツ タ aynu or_ ta	人間のところで

アイヌ オンネ…… aynu onne...	人間としての老いを……
カムイ ウタラ kamuy utar	神々たちが
アイヌ オツ タ aynu or_ ta	人間の所で
イヨシッコテ コロ オラウン iyosikkote kor oraun	恋をして、それから
「カムイ アネ クス」 “kamuy a=ne kusu”	「神が私だから」
セコロ ハウエオカ コン sekor haweoka kor_	と言いながら
ナニ カムイ モシルン nani kamuy mosir un	すぐさま神の国土へ
ホシッパ ワ hosippa wa	帰って
オカケ タ キ クス okake ta ki kusu	その後にこのようなことがあったので
アイヌ オンネ aynu onne	人間として老いを迎えることを ^[3]
アイヌ オツ タ aynu or_ ta	人間のところで
ネア ニシパ nea nispa	あの紳士が

ラヨロルンノ rayor or unno	世を去るときまで
エトゥラ クニ e=tura kuni	お前が一緒にいることを
エエセ クニ e=ese kuni	承諾しよう
エラム ヤクン e=ramu yakun	思うなら
エヤン ナ」 セコロ e=yan na” sekor	陸に行きなさい」と
アコロ ユピ a=kor yupi	私の兄が
ハウエアニクス オラ hawean h_ikusu ora	言うので
スイ アタラペ アセ テキネ suy a=tarpe a=se tek h_ine	また、私が作ったゴザをまとめて背負って
ヤナン イネ トウラノ yan=an h_ine turano	陸に上がって、共に
アナン。オラノ an=an. orano	暮らしている。それから
ネ メノコ ne menoko	その女性は
ソレクス ワ チシ トウラノ sorekusu wa cis turano	それこそ ^[4] は泣きながら

キ ワ オカアン セコロ

そうして暮らしている、と

ki wa oka=an sekor

(萱野：う～ん、そうそうわかった。よくわかった)

(萱野：チパンケマップっていうのは?)

(萱野：cipankemap っていうのは?)

チパンケマップっていうのは妾よ。

cipankemat っていうのは妾よ。

(萱野：妾?)

うん、妾はコント、本妻はソカラマップよ。

うん、妾は konto、本妻は sokarmat よ。

だからチパンケマップ ネ アナンナッカ ピリカ クス アホク コロ ヤク ピリカ。

だから cipankemat ne an=an y_akka pirka kusu a=hoku kor yak pirka.

だから私は妾になってもよいので、私の夫が(彼女と)結ばれたら良い。

(萱野：うん、うん、チパンケマクは妾?)

(萱野：うん、うん、cipankemak は妾?)

うん、妾のことチパンケマップ コント

うん、妾のこと cipankemat konto

うん、妾のことチパンケマップ、今度

(萱野：本妻は、ソカラマップ)

(萱野：本妻は、sokarmat)

ソカラマップよ。ネ ヒケ カ ソカラマップ

sokarmat よ。ne hike ka sokarmat

ソカラマップよ。であつても本妻。

【注】

- [1] 自分を救った女性への感謝と崇敬を表す表現。言葉を補えば「私を救ってくれた女性こそ我が夫にふさわしい、正妻に迎えるべき女性だ、それができないのであれば結婚

生活を維持することはできない」という程の意味。

- [2] 「生き返ったので」と言いたかったのか。
- [3] 本来、カムイは人間と結婚したとしても、いつまでも人間界に留まることはできず、配偶者をおいて神界に戻らねばならない。ここでは特例として「老衰するまで人間のところにいても良い」と兄が言っている。物語一般の描写から見ても。大変珍しい場面である。
- [4] sorekusu それこそ〔日本語が語源〕

24-11 テープ内容再説明

語り手：黒川てしめ

解説：萱野茂

黒川：XXX

萱野：昭和44年4月15日でした。録音テープ番号24号です。録音者、私、萱野茂。

黒川：ああ…

萱野：やってくださったのは、黒川てしめさんでした。

アイヌ語の保存・継承に必要なアーカイブ化に関する調査研究事業
第2年次（北海道沙流郡平取町）

調査研究報告書

3 / 3

発行日 2015年3月25日

発行者 国立大学法人千葉大学

〒263-0022 千葉県千葉市 稲毛区弥生町 1-33

電話 043-251-1111
